

# 第9期せつつ高齢者かがやきプラン

(摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)

## 策定にかかるアンケート調査

### 報 告 書

令和5年3月

摂 津 市

# 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査目的 .....	3
2. 調査の実施について .....	3
3. 報告書の見方 .....	3
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 .....	5
1. 回答者の属性 .....	7
2. ご家族や生活状況について .....	9
3. からだを動かすことについて .....	27
4. 食べることについて .....	46
5. 毎日の生活について .....	53
6. 地域での活動について .....	70
7. たすけあいについて .....	79
8. 健康について .....	94
9. 認知症支援について .....	118
10. 人生会議について .....	127
11. 災害時の対応について .....	137
12. ICTの活用について .....	144
13. その他について .....	149
第3章 在宅介護実態調査 .....	171
1. 対象者の属性 .....	173
2. 家族等による介護について .....	177
3. 支援・サービスについて .....	198
4. 人生会議について .....	222
5. その他について .....	225
6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果 .....	231
資料編 .....	257
調査票見本①『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』 .....	259
調査票見本②『在宅介護実態調査』 .....	275



# 第1章 調査の概要



## 1. 調査目的

本調査は、第9期せつ高齢者ががやきプラン（第9期摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定を行うにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズなどを把握するとともに、計画に反映させる基礎資料として活用することを目的としています。

## 2. 調査の実施について

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	令和4年11月1日現在、 50歳以上を無作為抽出 (要介護認定を除く)	令和4年11月1日現在、 要支援・要介護認定を受けている方 から無作為抽出
調査期間	令和4年12月13日(火)～令和5年1月13日(金)	
調査方法	郵送配布・郵送回収	
配布数	2,000件 (65歳以上1,500人、50～64歳500人を対象)	1,200件
有効回収数 [有効回収率]	1,309件 [65.5%]	734件 [61.2%]

## 3. 報告書の見方

1. 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
2. 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位以下で四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）の場合でも、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に「MA (Multiple Answer)」「3LA (3 Limited Answer)」「5LA (5 Limited Answer)」と記載しています。
  - ・ MA (Multiple Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3LA (3 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
  - ・ 5LA (5 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを5つ以内で選択する場合
また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。特に断りが無い限り、単数回答形式の設問となっています。

第1章 調査概要

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、一部の調査項目により、運動器の低下などの各種リスクの判定を行います。リスク該当者の割合の算出にあたり、該当する設問の無回答により判定・評価が困難な場合は、母数から除いています。
- 一部の設問について、前回調査（令和元年度）の結果を掲載し、比較を行っています。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」については、前回調査の配布数は 3,000 件（65 歳以上 2,200 人、50～64 歳 800 人）です。
- クロス集計に対する本文中の説明の中で、「区分」は同じ列での比較に対する説明、「項目」は同じ行での比較に対する説明となっています。
- 「項目」内で最も割合が高いものを濃い網掛けで着色し、2番目に割合が高いものを薄い網掛けで着色しています。

〈クロス集計表の見方〉

**【例文】**  
 ○ 75歳以上では、「近隣」を除くほとんどの項目で74歳以下に比べて少なくなっています。  
 …75歳以上では、「近隣」以外の「配偶者」「友人」等のほとんどの項目で75歳未満と比べて少なくなっていることを示しています。

		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								無回答	
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚兄・弟 親・姉 ・妹 ・孫・親	近隣	友人	その他	は その よう な 人		
全体		1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7	
↑ 「 <b>区分</b> 」 ↓	性・年齢	男性 50～64歳	116	70.7	15.5	17.2	26.7	0.9	41.4	5.2	4.3	0.9
		65～74歳	245	67.3	11.0	20.0	17.1	4.1	36.3	1.6	9.0	2.4
		75歳以上	230	71.3	10.9	31.3	19.6	5.2	29.1	2.6	4.3	0.9
	女性 50～64歳	127	50.4	37.0	29.1	42.5	5.5	67.7	4.7	6.3	0.8	
	65～74歳	286	52.8	25.9	49.3	41.3	11.5	61.9	1.0	1.4	0.3	
	75歳以上	305	31.1	17.4	39.7	29.5	13.1	46.6	3.3	3.3	3.6	
↑ 「 <b>区分</b> 」 ↓	家族構成	1人暮らし	260	2.3	0.8	37.7	30.0	12.3	55.8	3.1	13.5	2.7
		夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	81.9	2.1	40.3	26.7	8.4	42.4	1.5	1.3	2.1
		夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	91.3	5.2	28.7	23.5	3.5	37.4	2.6	2.6	0.9
		息子・娘との2世帯	172	50.6	61.6	28.5	27.3	7.0	45.9	3.5	4.1	-
		その他	258	46.1	43.4	23.6	34.5	5.0	51.6	4.3	2.3	1.6

**【例文】**  
 ○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が13.5%と他の区分に比べて多くなっています。  
 …1人暮らしは、他の家族構成と比べて「そのような人はいない」が多くなっていることを示しています。

## 第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

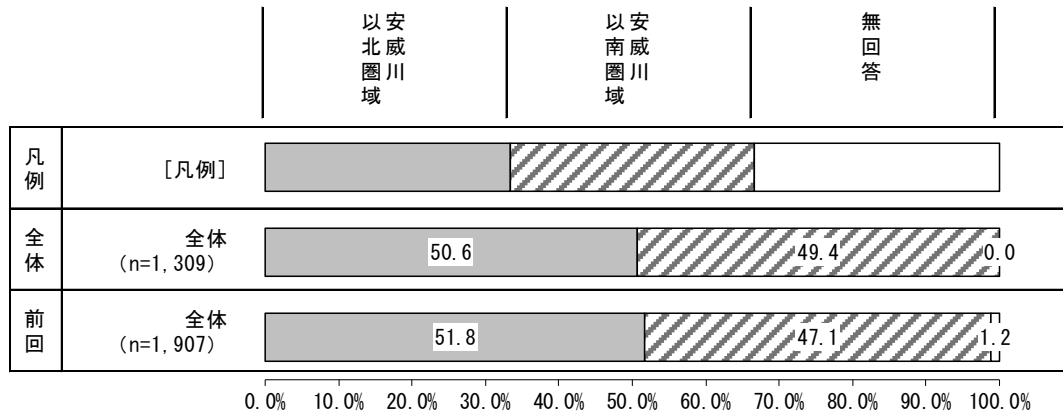




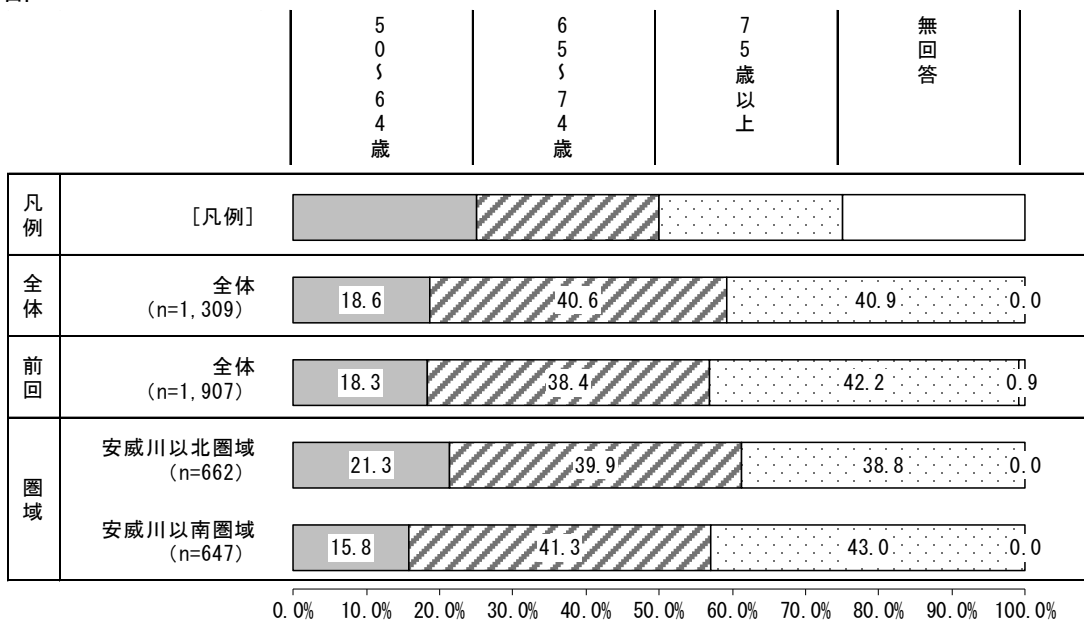
## 1. 回答者の属性

### (1) 回答者

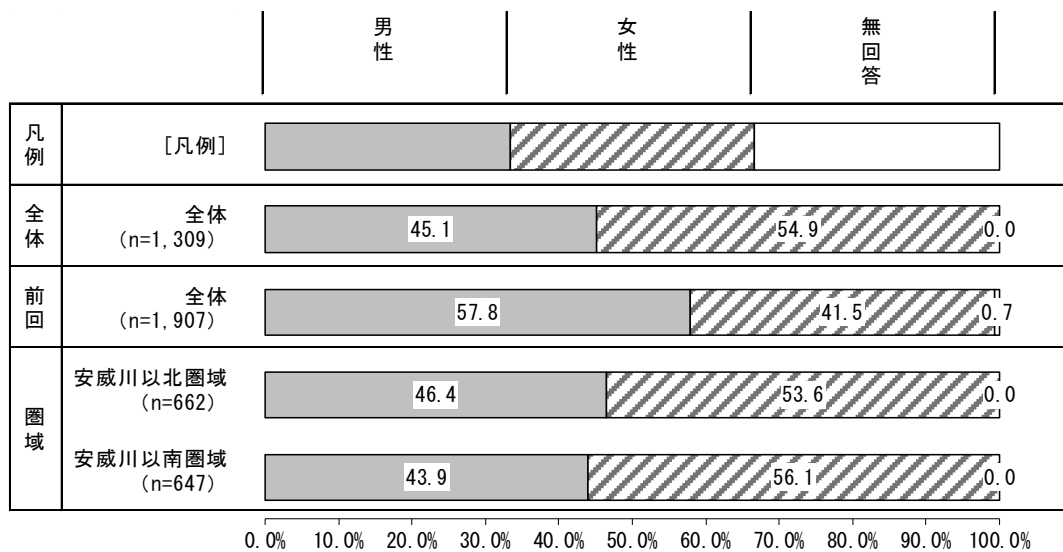
#### ① 圏域



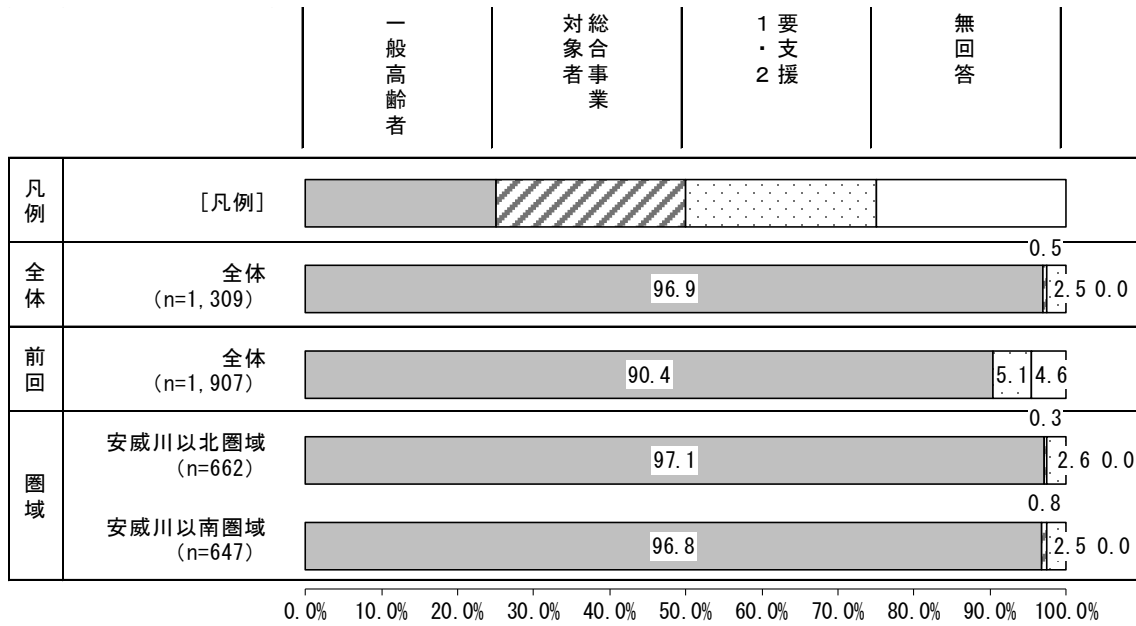
#### ② 年齢



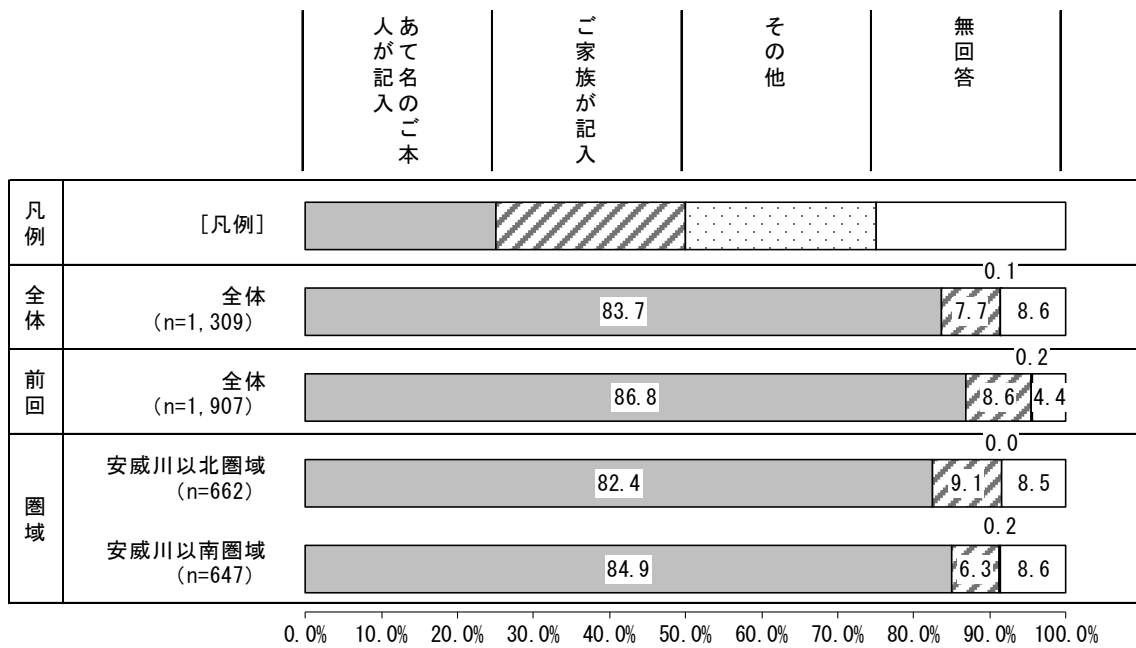
#### ③ 性別



④ 認定該当状況



(2) 回答の記入者



## 2. ご家族や生活状況について

### (1) 家族構成

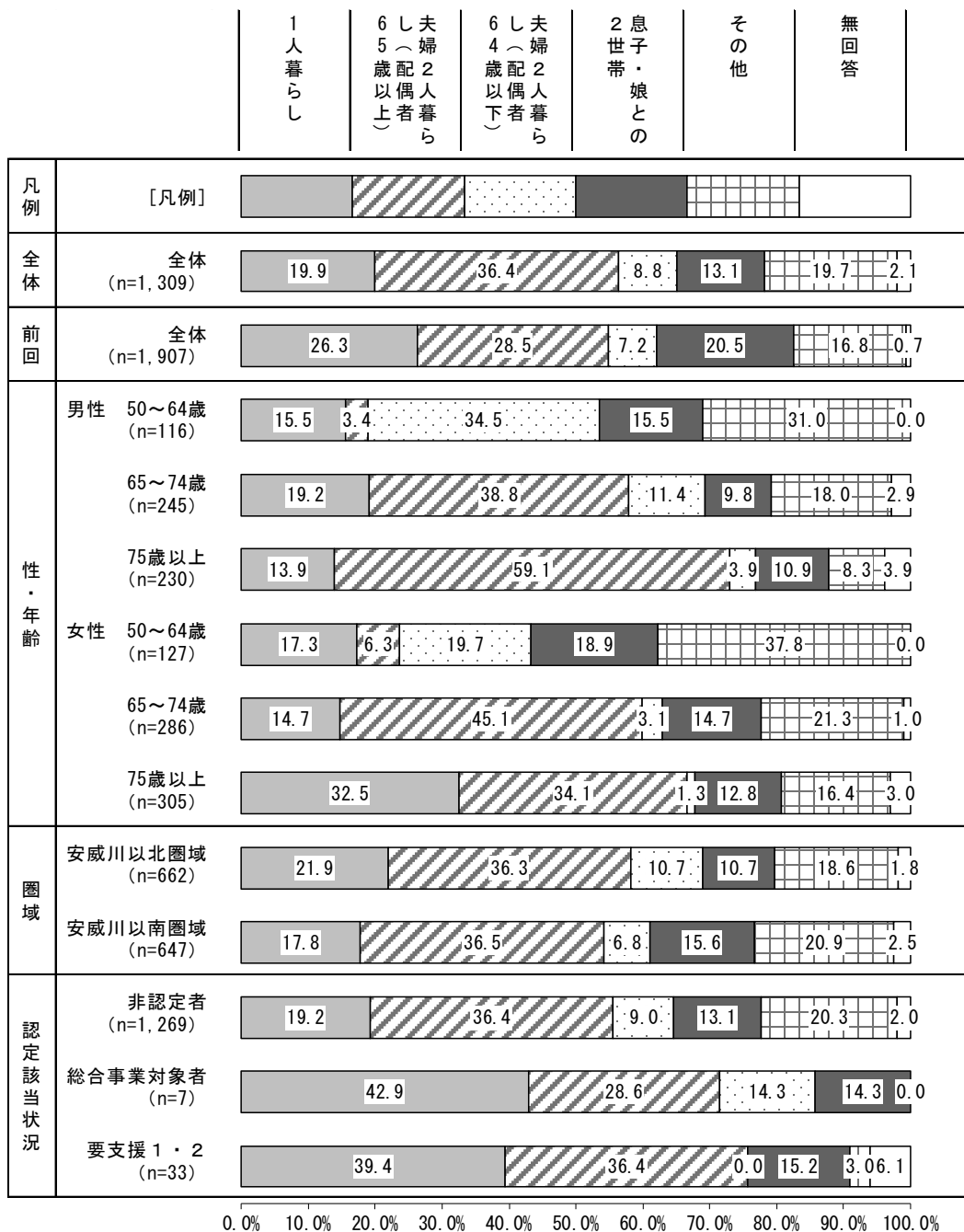
●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.4%で最も多く、次いで「1人暮らし」が19.9%、「その他」が19.7%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 「1人暮らし」は女性（75歳以上）が32.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 要支援1・2では、「1人暮らし」が39.4%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.4%、「息子・娘との2世帯」が15.2%となっています。

### 【家族構成】



(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

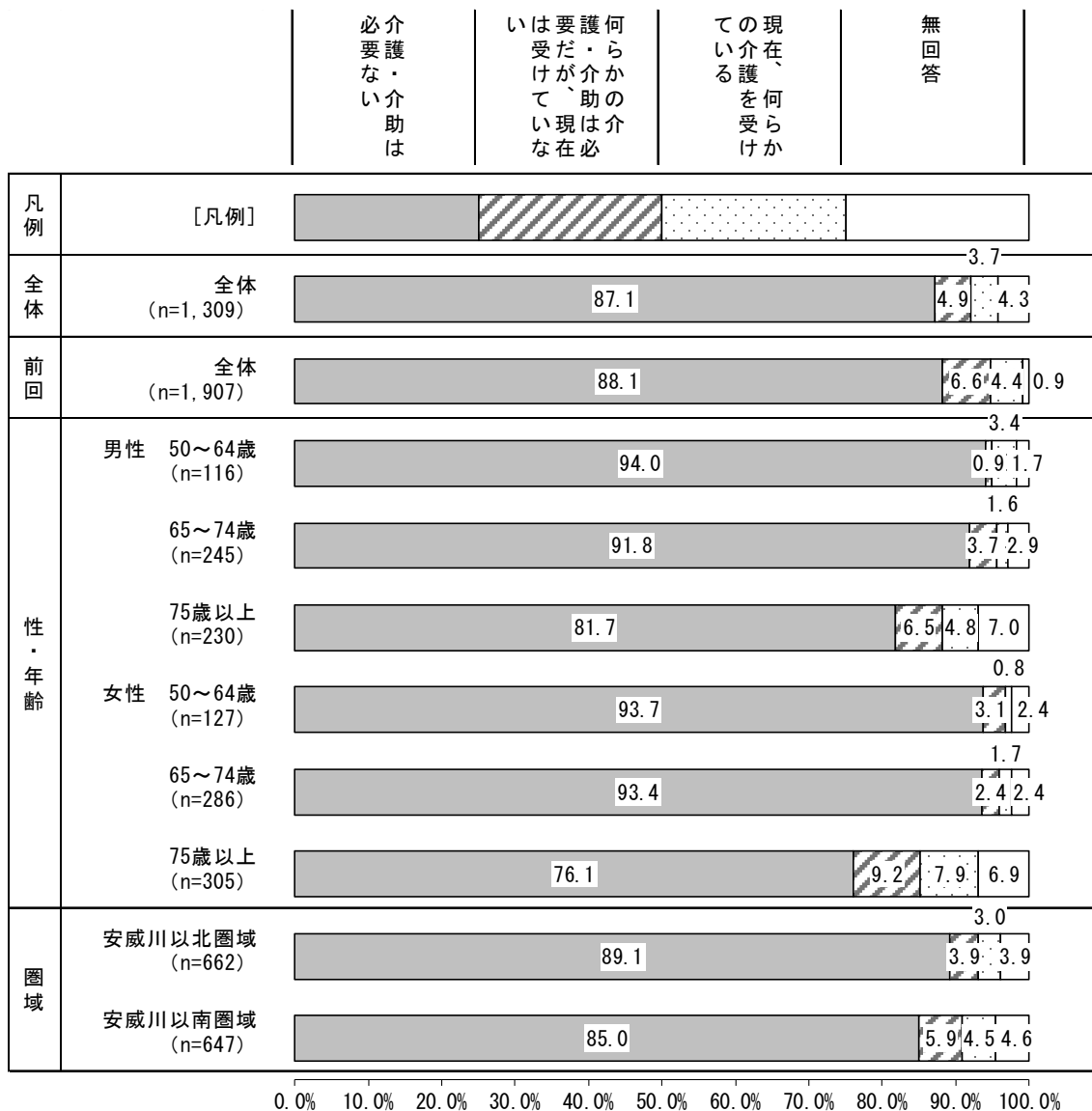
●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が87.1%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.7%となっています。  
 ○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は8.6%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ “介護・介助が必要”は男性(75歳以上)が11.3%、女性(75歳以上)が17.1%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

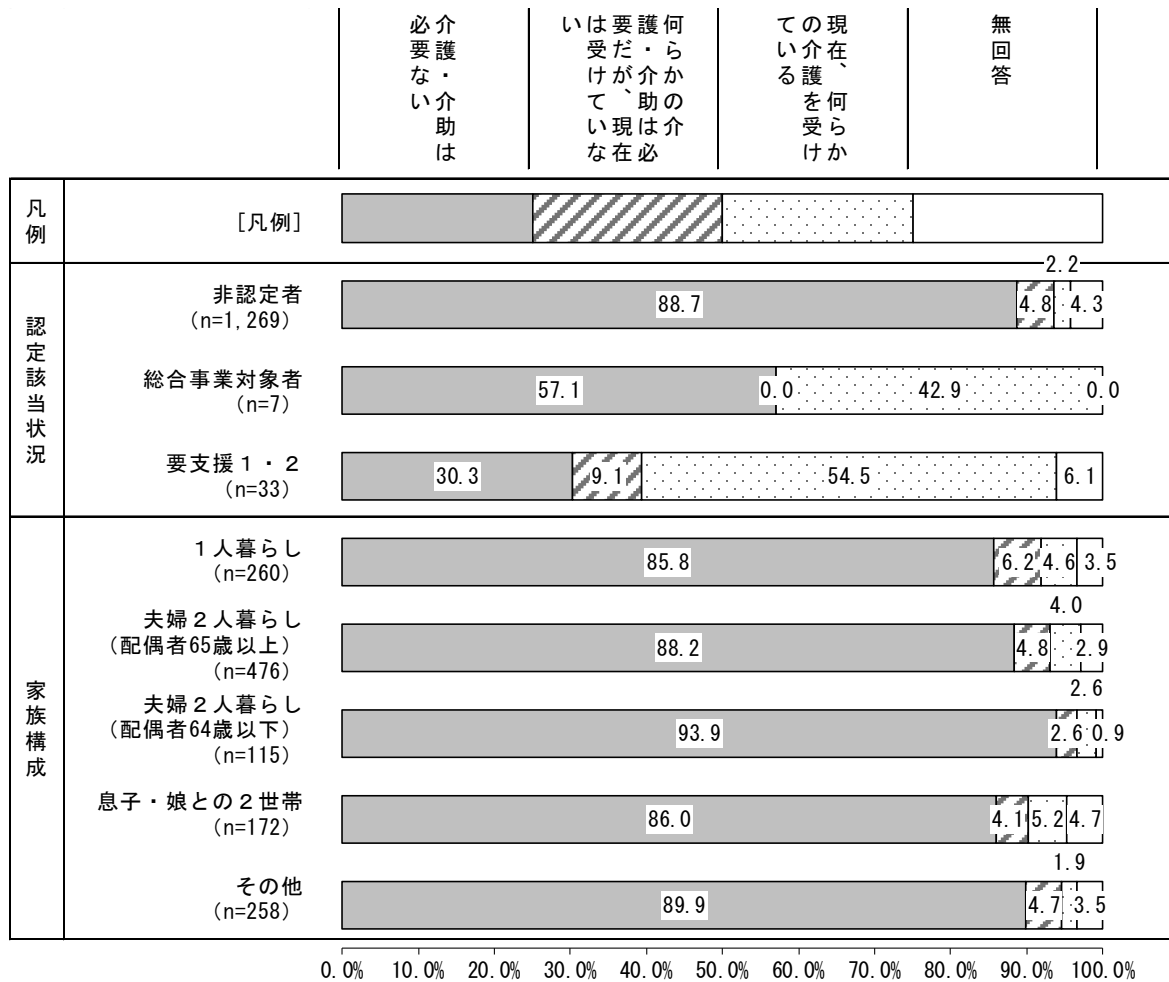
**【圏域】**  
 ○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて“介護・介助が必要”が10.4%と多くなっています。

【介護・介助の必要性】



【家族構成】

○ 1人暮らし、息子・娘との2世帯では、他の家族構成区分に比べて“介護・介助が必要”が多くなっています。

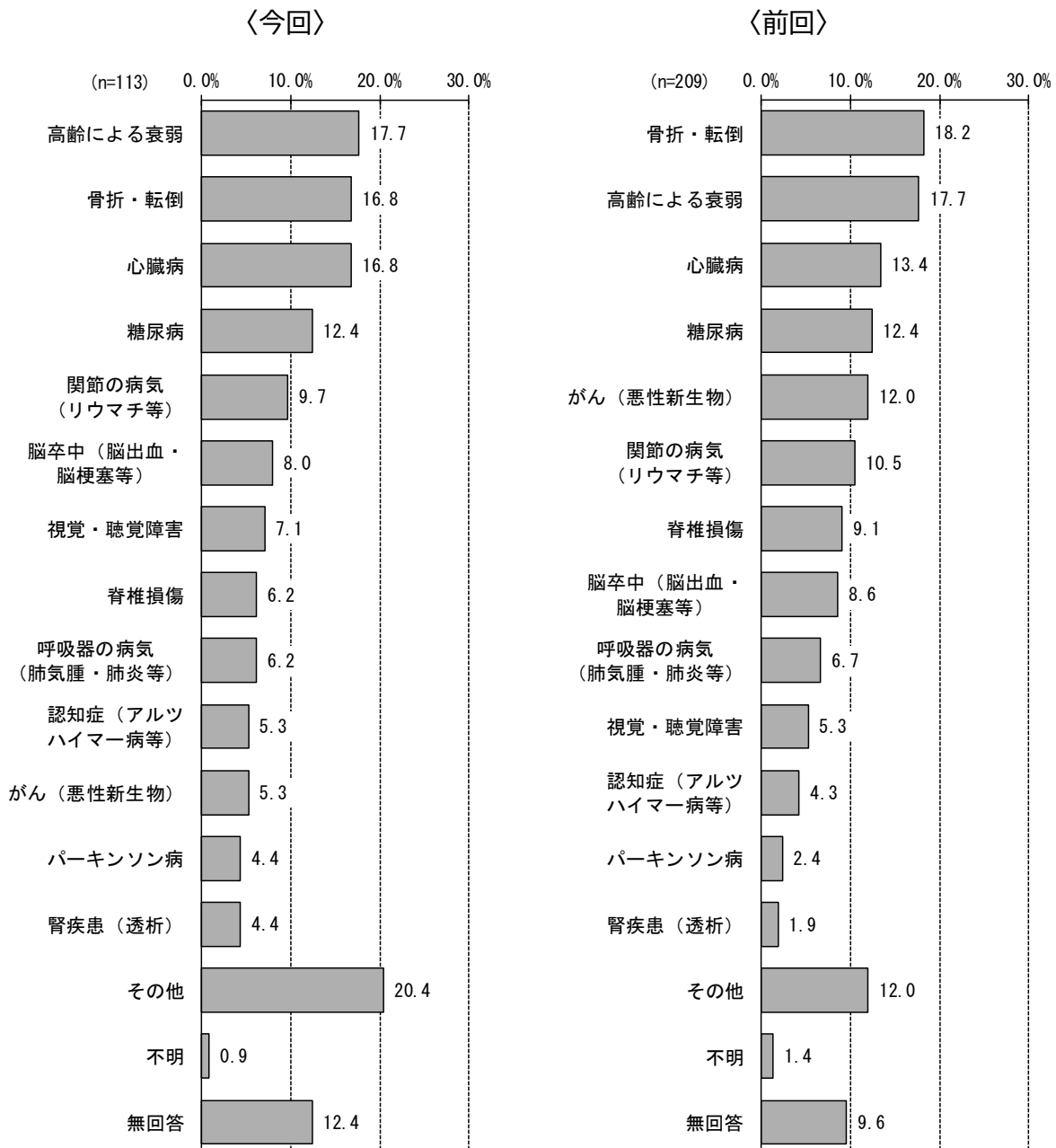


●問1.2-1 【介護・介助が必要な方のみ】介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。  
(いくつでも)

【全体】

- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が17.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」「心臓病」が16.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「心臓病」が3.4ポイント多く、「がん（悪性新生物）」が6.7ポイント少なくなっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



【性・年齢】

- 男性では、74歳以下で「糖尿病」、65～74歳で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 女性では、65～74歳で「骨折・転倒」が25.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「がん（悪性新生物）」が多くなっています。一方で、安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「糖尿病」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「骨折・転倒」が33.3%で最も多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		血脳・ 脳卒中 (脳出 梗塞等)	心 臓 病	物 が ん (悪 性 新 生 物)	等 (呼 吸 器 の 病 気 腫 ・ 肺 気 炎)	ウ 関 節 の 病 気 (リ ウ マチ 等)	ハ 認 知 症 (アル ツ イ マ ー 病 等)	パ ー キ ン ソ ン 病	糖 尿 病	
全体	113	8.0	16.8	5.3	6.2	9.7	5.3	4.4	12.4	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	5	-	-	-	20.0	-	-	40.0	
	65～74歳	13	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	38.5	
	75歳以上	26	11.5	19.2	3.8	-	7.7	7.7	7.7	
	女性 50～64歳	5	-	20.0	-	-	20.0	60.0	-	
	65～74歳	12	-	16.7	8.3	8.3	-	8.3	8.3	
	75歳以上	52	5.8	19.2	5.8	7.7	11.5	3.8	1.9	7.7
圏 域	安威川以北圏域	46	10.9	17.4	8.7	2.2	10.9	4.3	4.3	8.7
	安威川以南圏域	67	6.0	16.4	3.0	9.0	9.0	6.0	4.5	14.9
当 認 定 該 況	非認定者	89	5.6	16.9	4.5	6.7	10.1	6.7	4.5	12.4
	総合事業対象者	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	要支援1・2	21	14.3	14.3	9.5	4.8	4.8	-	4.8	14.3

単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		腎 疾 患 (透 析)	視 覚 ・ 聴 覚 障 害	骨 折 ・ 転 倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明	無 回 答	
全体	113	4.4	7.1	16.8	6.2	17.7	20.4	0.9	12.4	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	5	-	20.0	20.0	-	-	-	-	
	65～74歳	13	-	15.4	15.4	7.7	23.1	15.4	-	15.4
	75歳以上	26	11.5	3.8	19.2	3.8	15.4	19.2	-	15.4
	女性 50～64歳	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
	65～74歳	12	8.3	-	25.0	8.3	-	33.3	-	8.3
	75歳以上	52	1.9	5.8	13.5	7.7	23.1	21.2	1.9	13.5
圏 域	安威川以北圏域	46	6.5	8.7	17.4	4.3	17.4	28.3	-	6.5
	安威川以南圏域	67	3.0	6.0	16.4	7.5	17.9	14.9	1.5	16.4
当 認 定 該 況	非認定者	89	2.2	7.9	13.5	4.5	20.2	20.2	1.1	14.6
	総合事業対象者	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
	要支援1・2	21	9.5	4.8	33.3	9.5	9.5	23.8	-	4.8

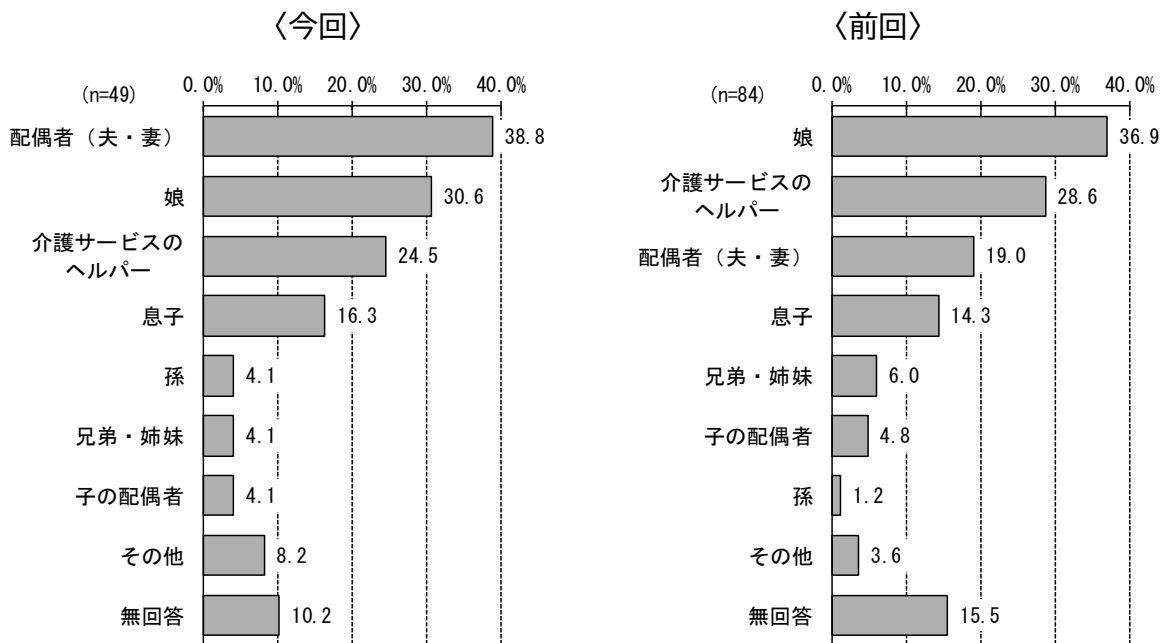


② 主な介護者

●問1.2-2 [介護を受けている方のみ] 主にどなたの介護・介助を受けていますか。  
(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が 38.8%で最も多く、次いで「娘」が 30.6%、「介護サービスのヘルパー」が 24.5%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「配偶者（夫・妻）」が 19.8 ポイント多くなっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 女性（75 歳以上）では、男性（75 歳以上）に比べて「配偶者（夫・妻）」「息子」「娘」「子の配偶者」が少なく、「介護サービスのヘルパー」が多くなっています。

【主な介護者(MA)】



単位：%

		母数 (n)	主な介護者(MA)								
			妻 配偶者 (夫・ 妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	の介 護サ ーバ ー ヘル パー ス	そ の 他	無 回 答
全体		49	38.8	16.3	30.6	4.1	4.1	4.1	24.5	8.2	10.2
性・ 年齢	男性 50～64歳	4	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0
	65～74歳	4	25.0	-	25.0	-	-	25.0	75.0	-	-
	75歳以上	11	45.5	27.3	54.5	9.1	-	-	18.2	-	9.1
	女性 50～64歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-
	65～74歳	5	80.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0
	75歳以上	24	29.2	12.5	29.2	4.2	4.2	-	29.2	8.3	8.3
圏 域	安威川以北圏域	20	40.0	10.0	30.0	5.0	-	-	40.0	5.0	5.0
	安威川以南圏域	29	37.9	20.7	31.0	3.4	6.9	6.9	13.8	10.3	13.8
当 認 状 定 該	非認定者	28	46.4	21.4	35.7	-	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1
	総合事業対象者	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3
	要支援1・2	18	27.8	11.1	22.2	11.1	-	-	50.0	-	11.1

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「介護サービスのヘルパー」が50.0%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らしでは、「配偶者（夫・妻）」が約7割となっています。

単位：%

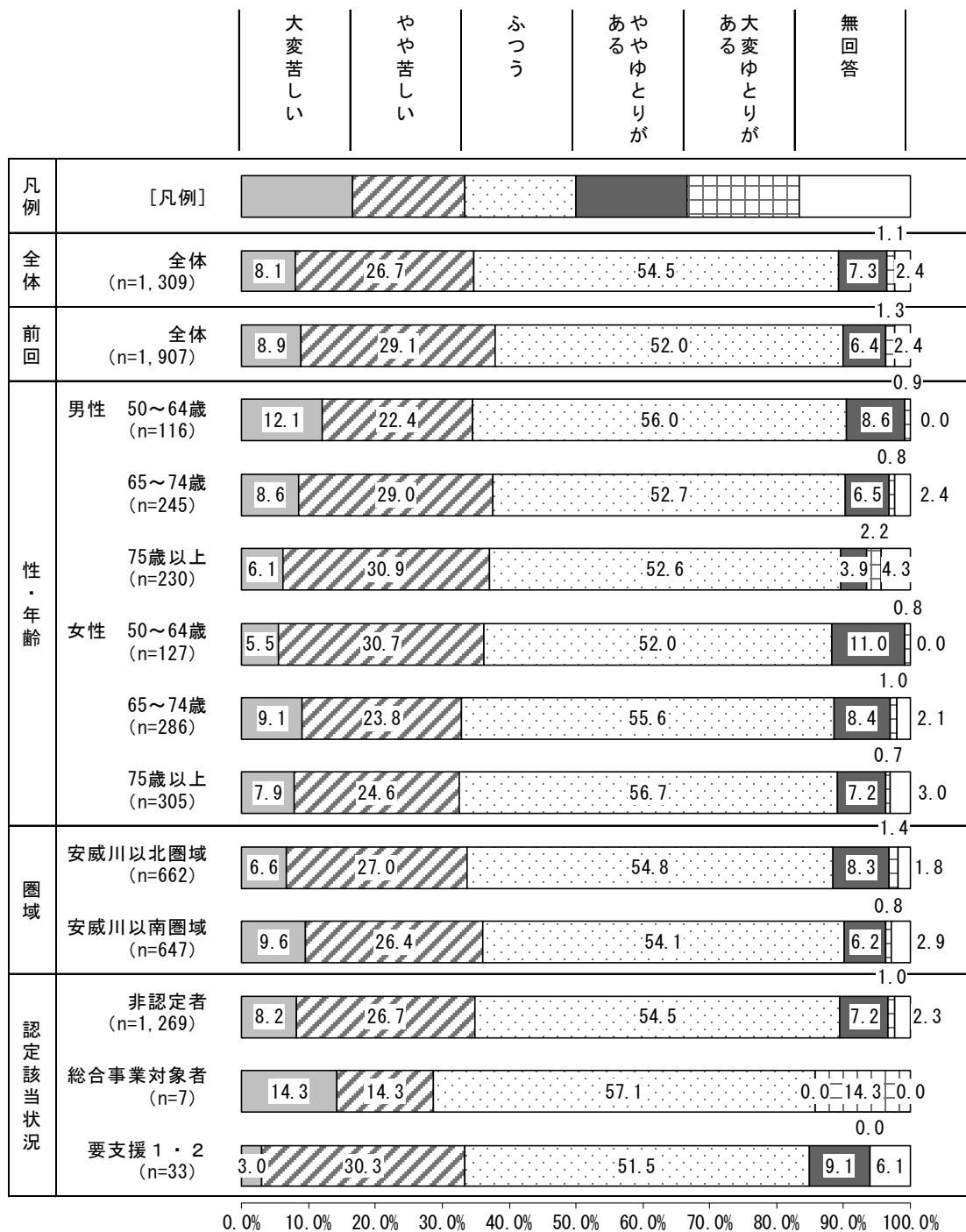
		母数 (n)	主な介護者(MA)								
			妻 (配 偶 者 ・ 夫 ・ )	息 子	娘	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	の 介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル パ ー	そ の 他	無 回 答
全体		49	38.8	16.3	30.6	4.1	4.1	4.1	24.5	8.2	10.2
家 族 構 成	1人暮らし	12	-	8.3	33.3	8.3	8.3	-	50.0	8.3	16.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	19	68.4	10.5	15.8	-	-	5.3	21.1	-	10.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	息子・娘との2世帯	9	22.2	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1
	その他	5	20.0	40.0	60.0	-	-	-	-	20.0	-

③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

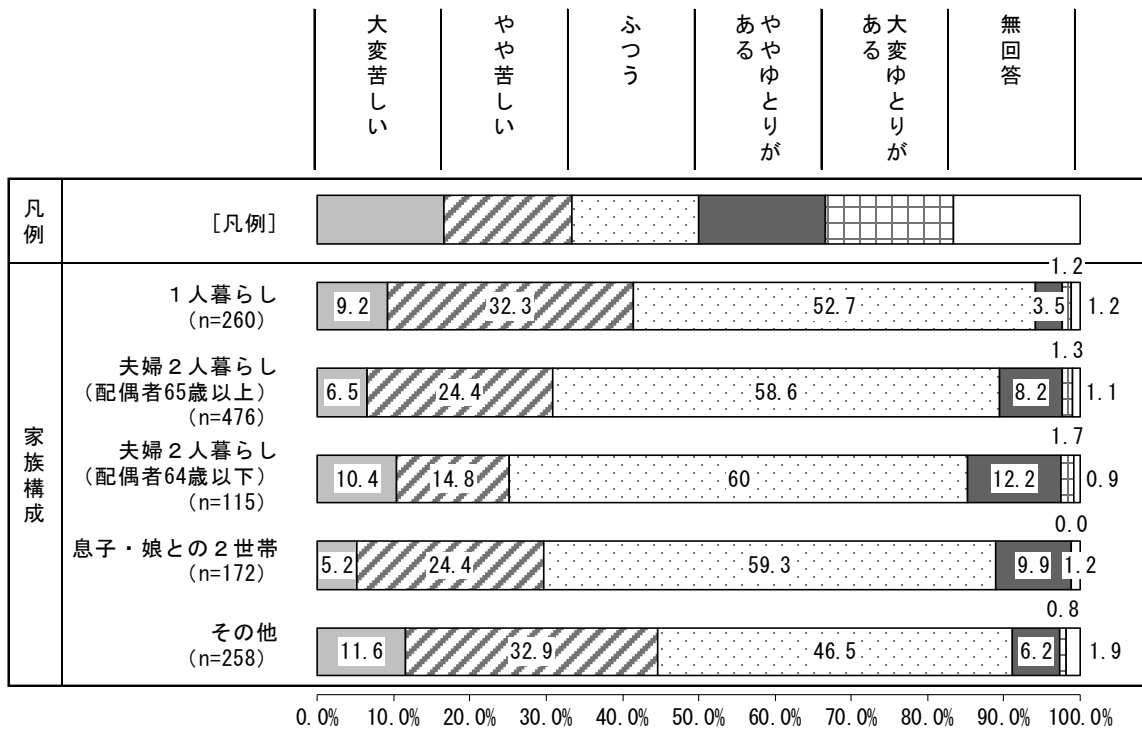
**【全体】**  
 ○ 経済状況について、「ふつう」が54.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.7%、「大変苦しい」が8.1%となっています。  
 ○ 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は34.8%となっています。

**【経済状況】**



【家族構成】

○ 1人暮らしでは、“苦しい”が41.5%と夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べて多くなっています。



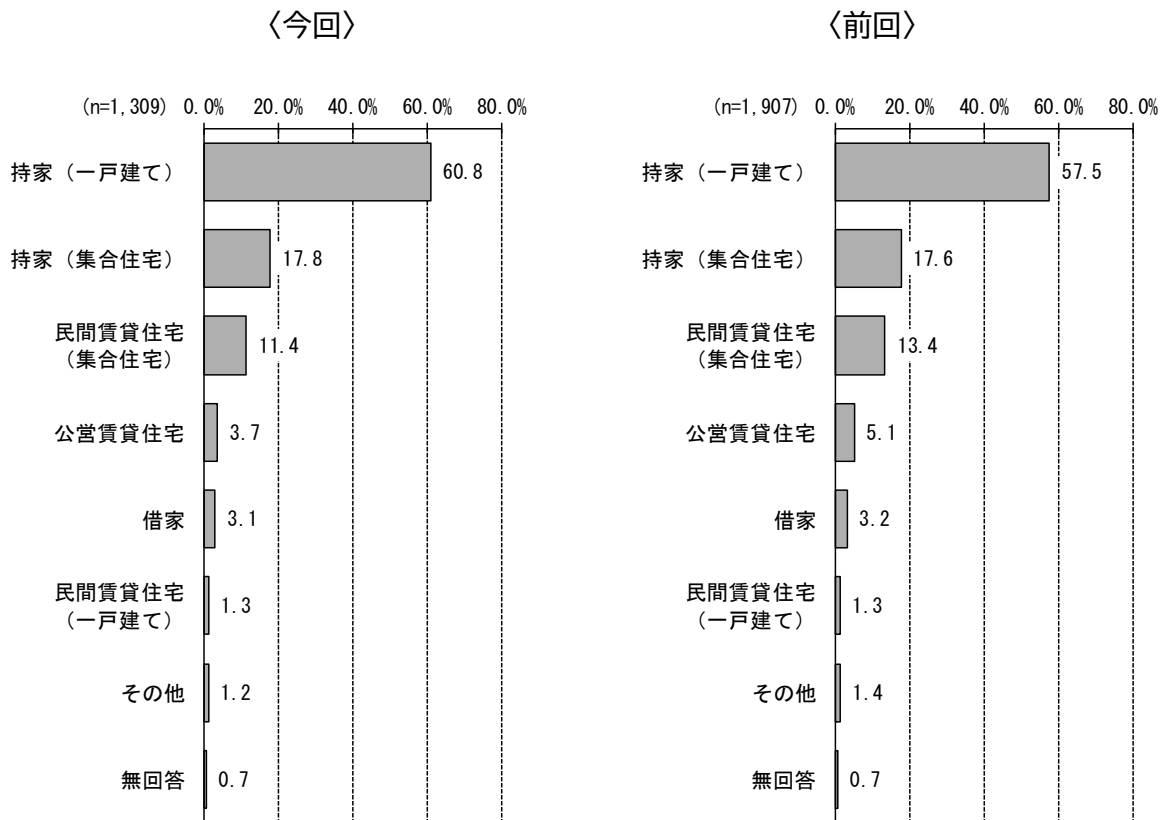
④ 住まいの状況

●問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が60.8%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が17.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が11.4%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以北圏域では安威川以南圏域と比べて「持家（集合住宅）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」が多くなっています。

【住まい】



単位：%

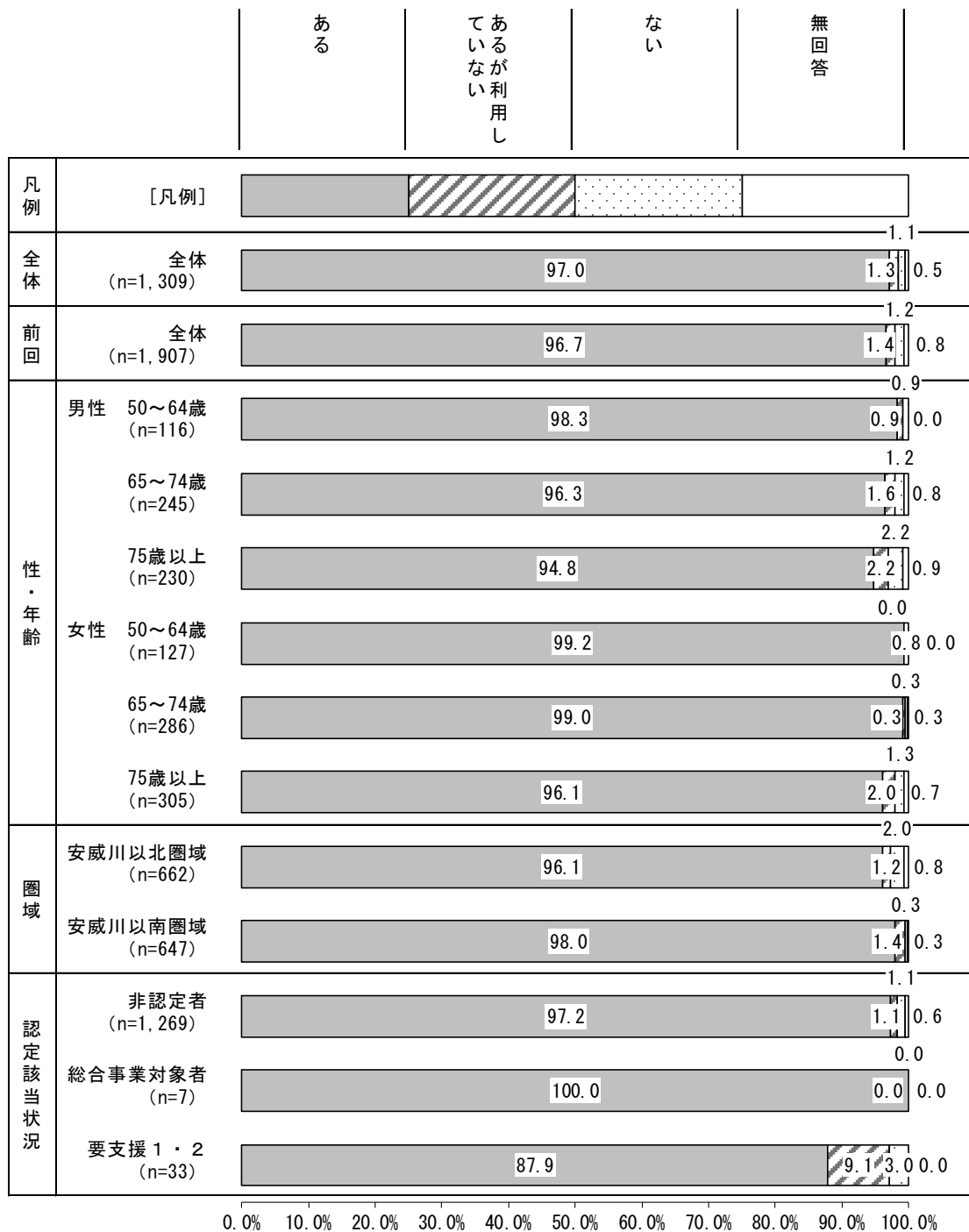
		母数 (n)	住まい							無 回 答
			戸 建 家 （ 一 戸 建 て ）	合 持 家 （ 集 合 住 宅 ）	住 公 宅 営 賃 貸	戸 住 民 建 宅 間 賃 貸 （ 一 戸 建 て ）	合 住 民 宅 間 賃 貸 （ 集 合 住 宅 ）	借 家	そ の 他	
全体		1,309	60.8	17.8	3.7	1.3	11.4	3.1	1.2	0.7
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	56.0	17.2	-	-	19.8	4.3	2.6	-
	65～74歳	245	56.3	20.0	4.1	1.2	14.3	3.7	-	0.4
	75歳以上	230	66.1	13.0	6.1	0.9	10.0	2.2	0.9	0.9
	女性 50～64歳	127	55.1	22.8	0.8	0.8	13.4	2.4	3.1	1.6
	65～74歳	286	64.3	19.6	2.8	1.4	7.3	2.4	1.4	0.7
	75歳以上	305	61.3	16.1	5.2	2.3	9.8	3.6	1.0	0.7
圏 域	安威川以北圏域	662	49.5	26.3	2.4	1.7	14.7	3.5	1.1	0.9
	安威川以南圏域	647	72.3	9.1	5.1	0.9	8.0	2.6	1.4	0.5
当 認 状 況 該	非認定者	1,269	61.1	17.5	3.7	1.3	11.3	3.1	1.3	0.7
	総合事業対象者	7	42.9	42.9	-	-	14.3	-	-	-
	要支援1・2	33	54.5	24.2	6.1	-	12.1	3.0	-	-

●問1.5 ご自宅にお風呂はありますか。(1つだけ)

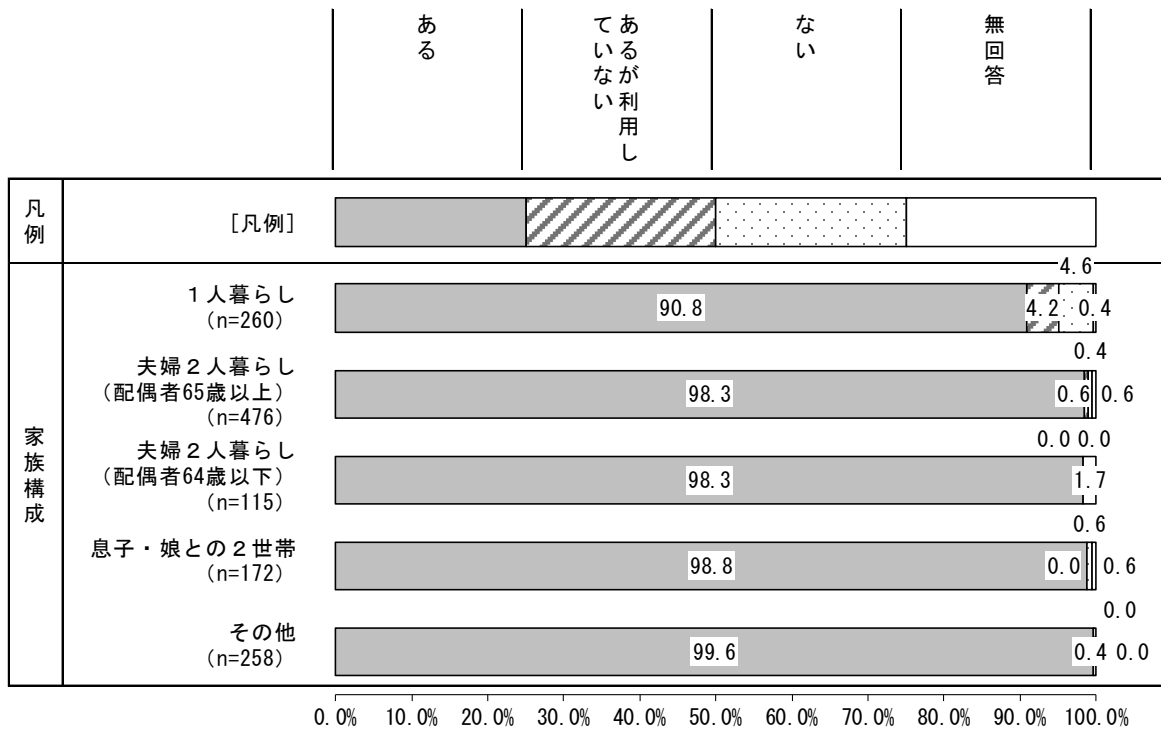
**【全体】**  
 ○ 自宅のお風呂の有無について、「ある」が97.0%で最も多く、次いで「あるが利用していない」が1.3%、「ない」が1.1%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以北圏域では、「あるが利用していない」が1.2%、「ない」が2.0%となっています。  
 ○ 安威川以南圏域では、「あるが利用していない」が1.4%、「ない」が0.3%となっています。

【自宅のお風呂の有無】



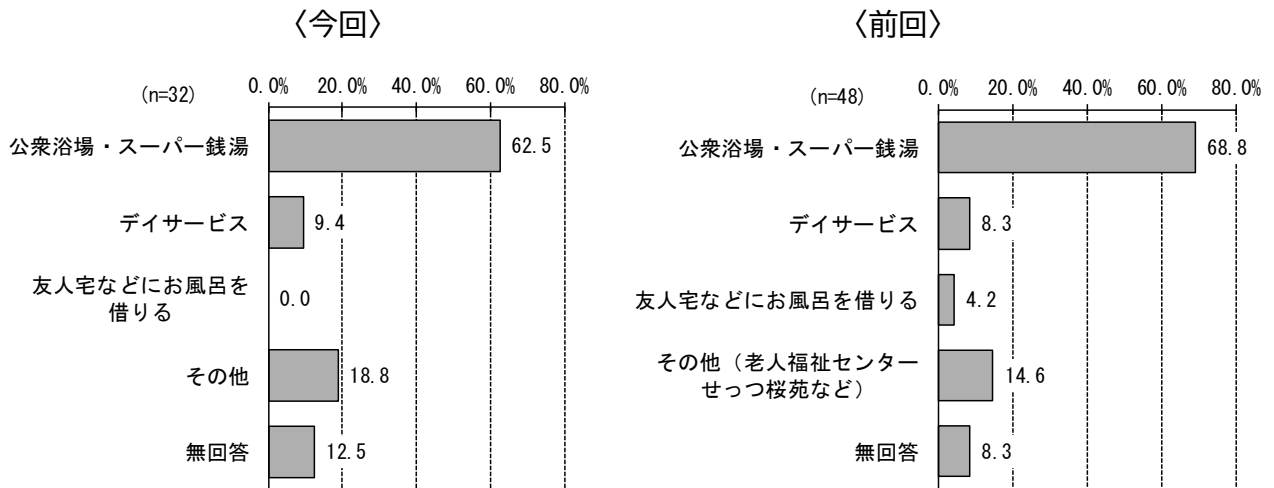
【家族構成】  
 ○ 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「ある」が少なく、「あるが利用していない」が4.2%、「ない」が4.6%と多くなっています。



●問1.5-1 【自宅にあるが利用していない方・ない方のみ】お風呂はどこに入っていますか。(いくつでも)

- 【全体】**
- どこでお風呂に入っているかについて、「公衆浴場・スーパー銭湯」が62.5%で最も多く、次いで「その他」が18.8%、「デイサービス」が9.4%となっています。
  - 「その他」については、「親族宅」「職場のお風呂」「自宅でシャワーのみ」「シニアマンションの共用の浴場」となっています。
  - 前回調査に比べて、「公衆浴場・スーパー銭湯」が6.3ポイント少なく、「その他」が4.2ポイント多くなっています。
- 【圏域】**
- 安威川以北圏域では、「公衆浴場・スーパー銭湯」が81.0%で最も多く、次いで「その他」が9.5%、「デイサービス」が4.8%となっています。
  - 安威川以南圏域では、「その他」が36.4%で最も多く、次いで「公衆浴場・スーパー銭湯」が27.3%、「デイサービス」が18.2%となっています。

【どこでお風呂に入っているか(MA)】



単位：%

		母数 (n)	どこでお風呂に入っているか(MA)				
			デイサービス	公衆浴場・スーパー銭湯	友人宅などにお風呂を借りる	その他	無回答
全体		32	9.4	62.5	-	18.8	12.5
性・年齢	男性 50~64歳	2	-	50.0	-	50.0	-
	65~74歳	7	-	71.4	-	-	28.6
	75歳以上	10	-	70.0	-	20.0	10.0
	女性 50~64歳	1	-	100.0	-	-	-
	65~74歳	2	-	100.0	-	-	-
	75歳以上	10	30.0	40.0	-	30.0	10.0
圏域	安威川以北圏域	21	4.8	81.0	-	9.5	9.5
	安威川以南圏域	11	18.2	27.3	-	36.4	18.2
当認状況該	非認定者	28	3.6	64.3	-	17.9	14.3
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	4	50.0	50.0	-	25.0	-



【家族構成】

- 1人暮らしでは、「公衆浴場・スーパー銭湯」が69.6%で最も多く、次いで「その他」が17.4%となっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では、「公衆浴場・スーパー銭湯」が60.0%で最も多く、次いで「デイサービス」が40.0%、「その他」が20.0%となっています。

単位：%

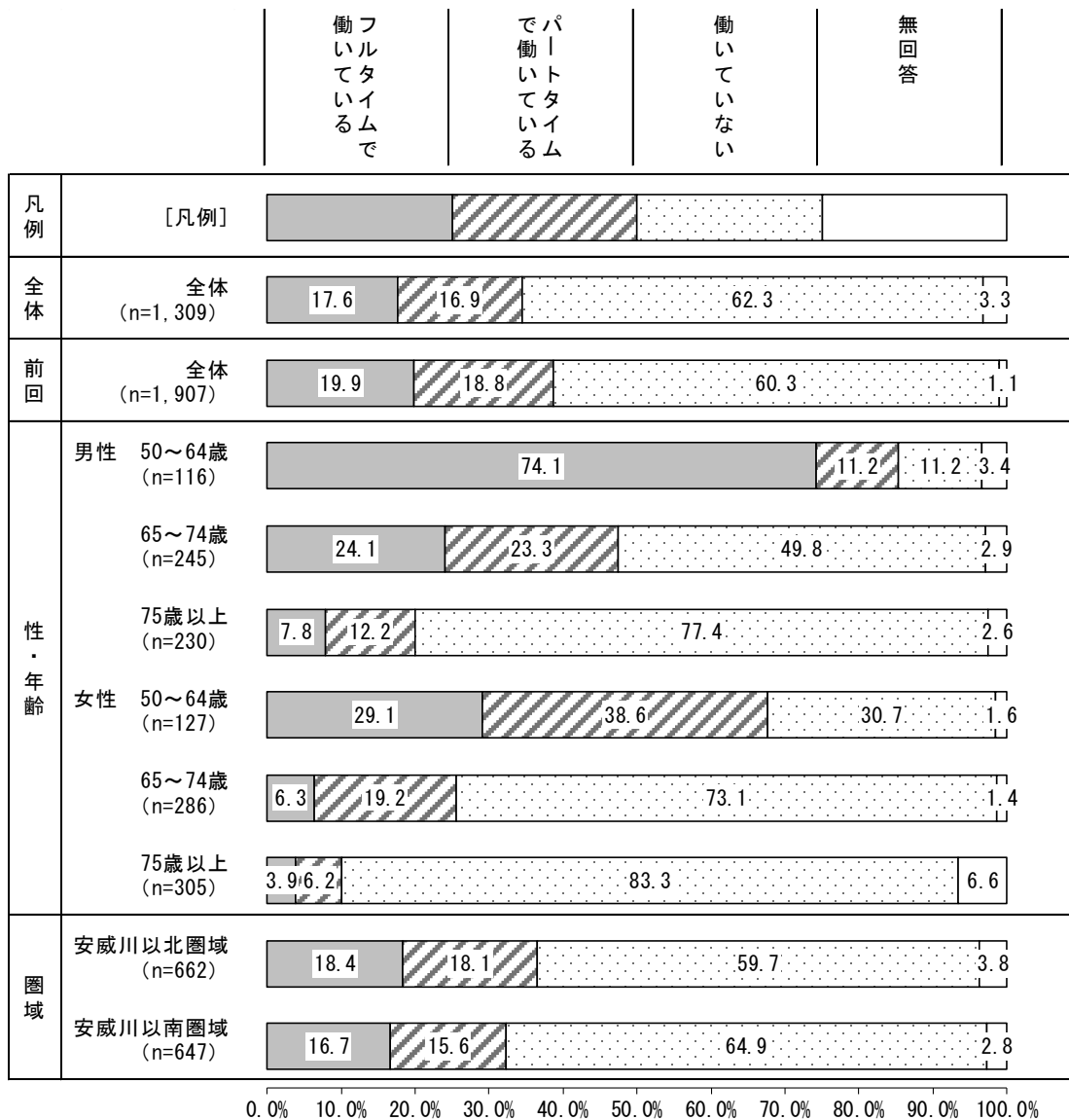
		母数 (n)	どこでお風呂に入っているか(MA)				
			デ イ サ ー ビ ス	ス ー パ ー 銭 湯	お 友 人 宅 を な 借 り に	そ の 他	無 回 答
全体		32	9.4	62.5	-	18.8	12.5
家 族 構 成	1人暮らし	23	4.3	69.6	-	17.4	8.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	5	40.0	60.0	-	20.0	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	-	-	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	1	-	-	-	100.0	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0

⑤ 勤務状況

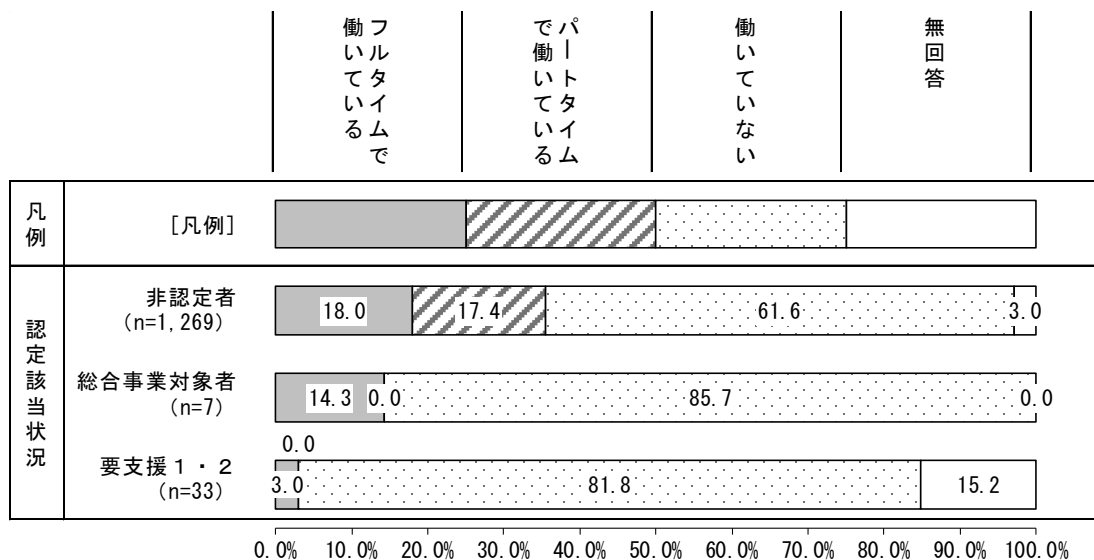
●問1.6 あなたの現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

- 【全体】**
- 現在の勤務形態について、「働いていない」が62.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が17.6%、「パートタイムで働いている」が16.9%となっています。
  - 「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせた“働いている”は34.5%となっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて“働いている”が多くなっています。
  - 男性では、50～64歳では「フルタイムで働いている」が74.1%となっていますが、65～74歳では24.1%と大きな差がみられます。75歳以上では、「働いていない」が7割以上となっています。
  - 女性（50～64歳）では「パートタイムで働いている」が38.6%と最も多くなっています。また、65歳以上になると「働いていない」が7～8割となっています。

【現在の勤務形態】



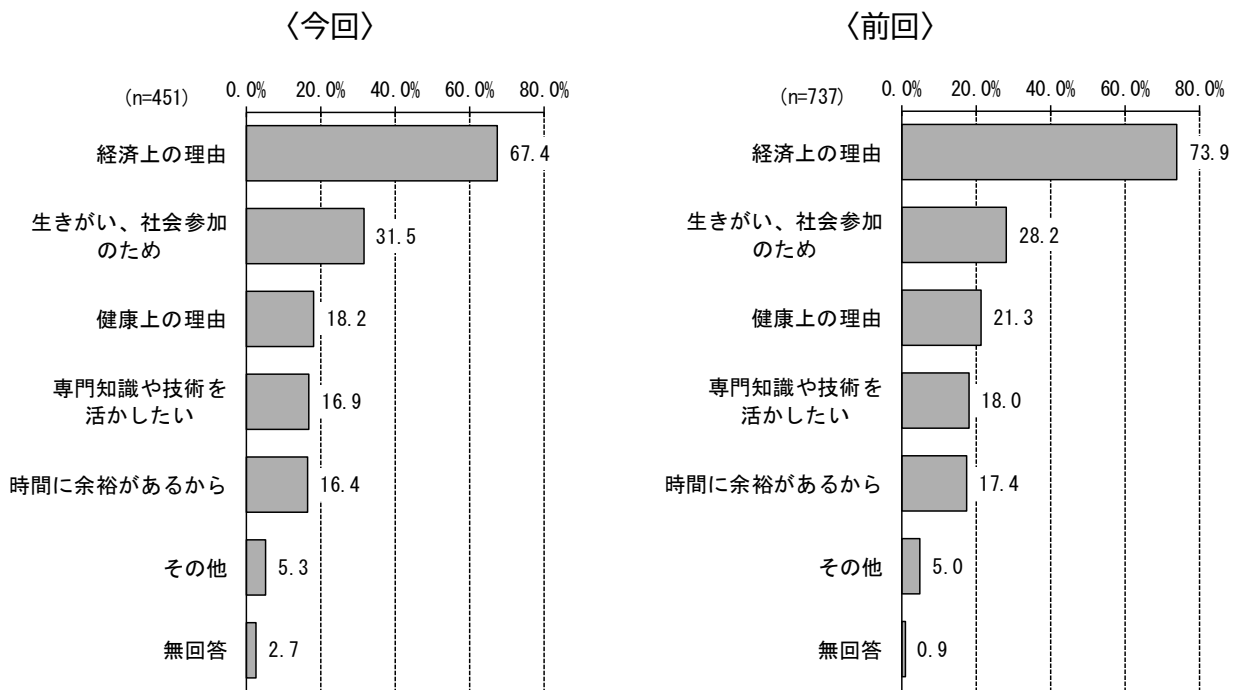
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 2. ご家族や生活状況について



●問1.6-1 【働いている方のみ】働いている理由は何ですか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 働いている理由について、「経済上の理由」が67.4%で最も多く、次いで「生きがい、社会参加のため」が31.5%、「健康上の理由」が18.2%となっています。
  - 前回調査に比べて、「経済上の理由」が6.5ポイント、「健康上の理由」が3.1ポイント少なく、「生きがい、社会参加のため」が3.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに74歳以下では「経済上の理由」が多くなっていますが、65歳以上では「健康上の理由」も多くなっています。
  - 男性(65歳以上)では女性に比べて「専門知識や技術を活かしたい」が多くなっています。
  - 女性(65～74歳)では男性に比べて「時間に余裕があるから」が多くなっています。また、女性(50～64歳)では「生きがい、社会参加のため」が39.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【働いている理由(MA)】



単位：%

	母数 (n)	働いている理由(MA)							
		由経済上の理由	由健康上の理由	た社会参加のため、生きがいの	が時間あるに余裕	し技術を知活か	その他	無回答	
全体	451	67.4	18.2	31.5	16.4	16.9	5.3	2.7	
性・年齢	男性 50～64歳	99	81.8	8.1	23.2	6.1	16.2	2.0	4.0
	65～74歳	116	62.9	24.1	28.4	19.0	20.7	2.6	2.6
	75歳以上	46	47.8	34.8	37.0	13.0	19.6	13.0	2.2
	女性 50～64歳	86	72.1	7.0	39.5	18.6	18.6	8.1	2.3
	65～74歳	73	72.6	23.3	32.9	26.0	9.6	2.7	1.4
	75歳以上	31	41.9	22.6	35.5	16.1	12.9	12.9	3.2

【経済状況】

- 経済状況にゆとりがあるほど、「生きがい、社会参加のため」「専門知識や技術を活かしたい」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	働いている理由(MA)						無回答
			由経済上の理	由健康上の理	た社生 め会き 参加の	が時 あ間 るに か余 ら裕	し技専 た術門 いを知 活識か かや	その他	
全体		451	67.4	18.2	31.5	16.4	16.9	5.3	2.7
圏域	安威川以北圏域	242	69.0	17.4	35.5	18.6	15.7	3.7	2.9
	安威川以南圏域	209	65.6	19.1	26.8	13.9	18.2	7.2	2.4
当認 状定 況該	非認定者	449	67.7	18.3	31.6	16.5	16.9	4.9	2.7
	総合事業対象者	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	要支援1・2	1	-	-	-	-	-	100.0	-
経済 状況	大変苦しい	44	84.1	4.5	9.1	2.3	9.1	9.1	2.3
	やや苦しい	115	87.0	17.4	27.8	13.0	8.7	1.7	2.6
	ふつう	236	61.9	22.0	34.3	19.1	17.4	5.9	3.0
	ややゆとりがある	43	37.2	9.3	46.5	27.9	39.5	7.0	-
	大変ゆとりがある	5	-	40.0	80.0	-	60.0	20.0	-

### 3. からだを動かすことについて

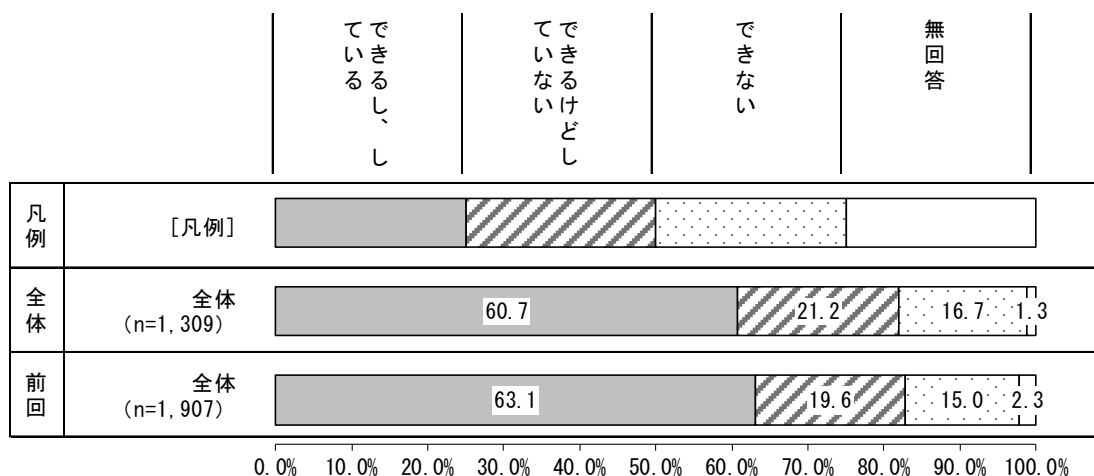
#### (1) 運動・転倒の状況

●問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が60.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が16.7%となっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

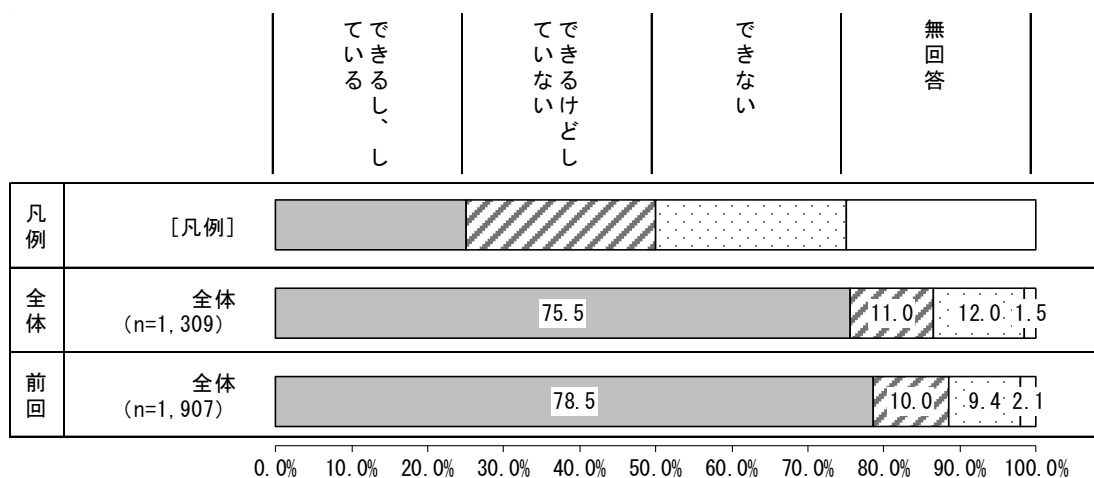


●問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

【全体】

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が75.5%で最も多く、次いで「できない」が12.0%、「できるけどしていない」が11.0%となっています。

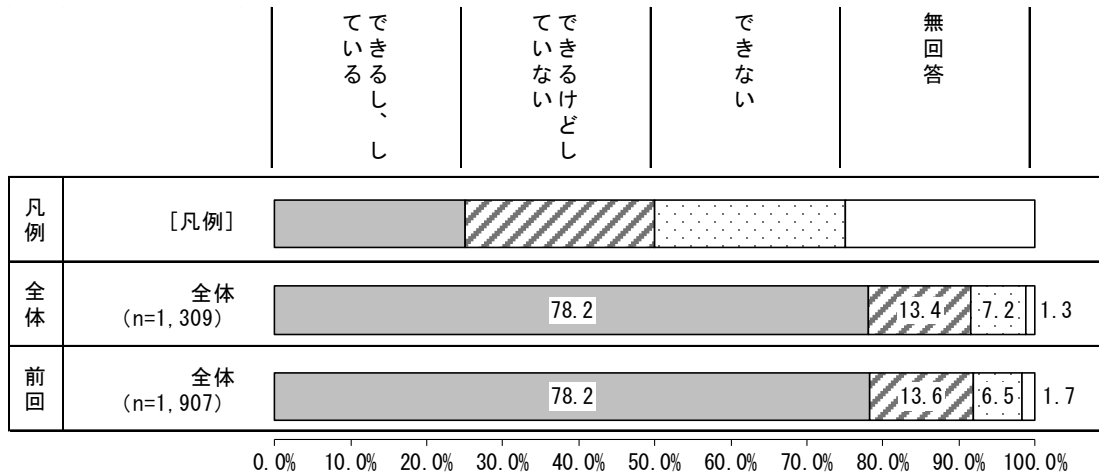
【椅子に座った状態からの立ち上がり】



●問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が78.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が7.2%となっています。

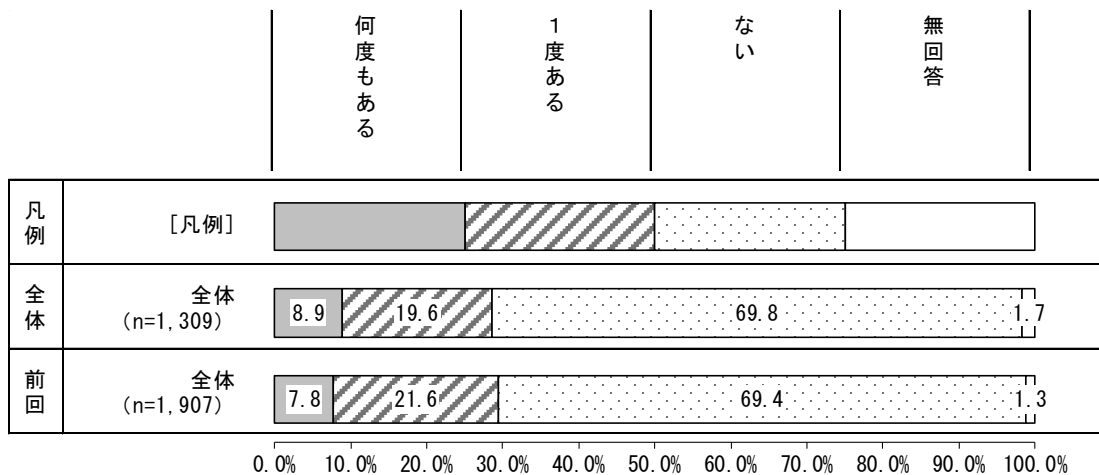
【15分位続けての歩行】



●問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 転倒経験について、「ない」が69.8%で最も多く、次いで「1度ある」が19.6%、「何度もある」が8.9%となっています。

【転倒経験】

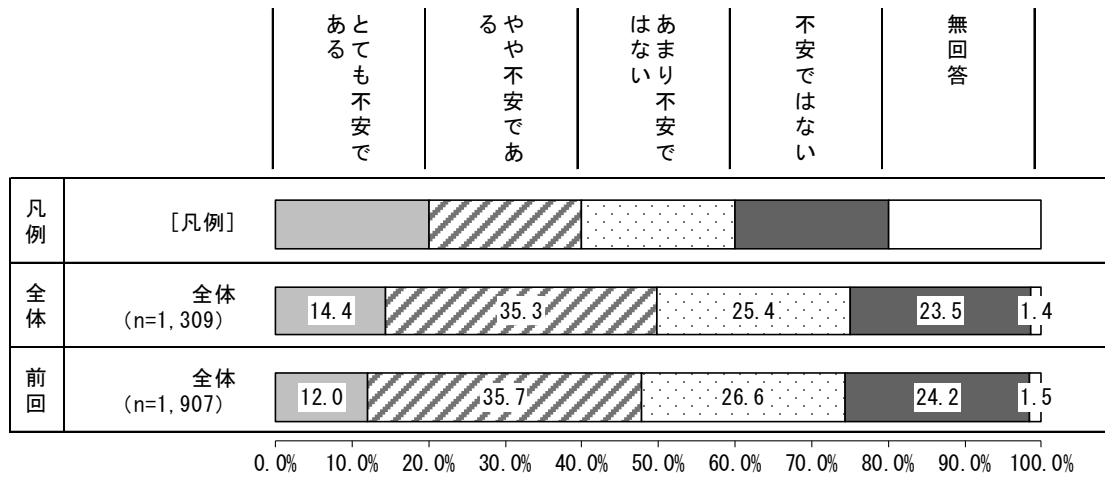


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が 35.3%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が 25.4%、「不安ではない」が 23.5%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は 49.7%となっています。

【転倒に対する不安】





◆運動器の機能低下リスクの判定

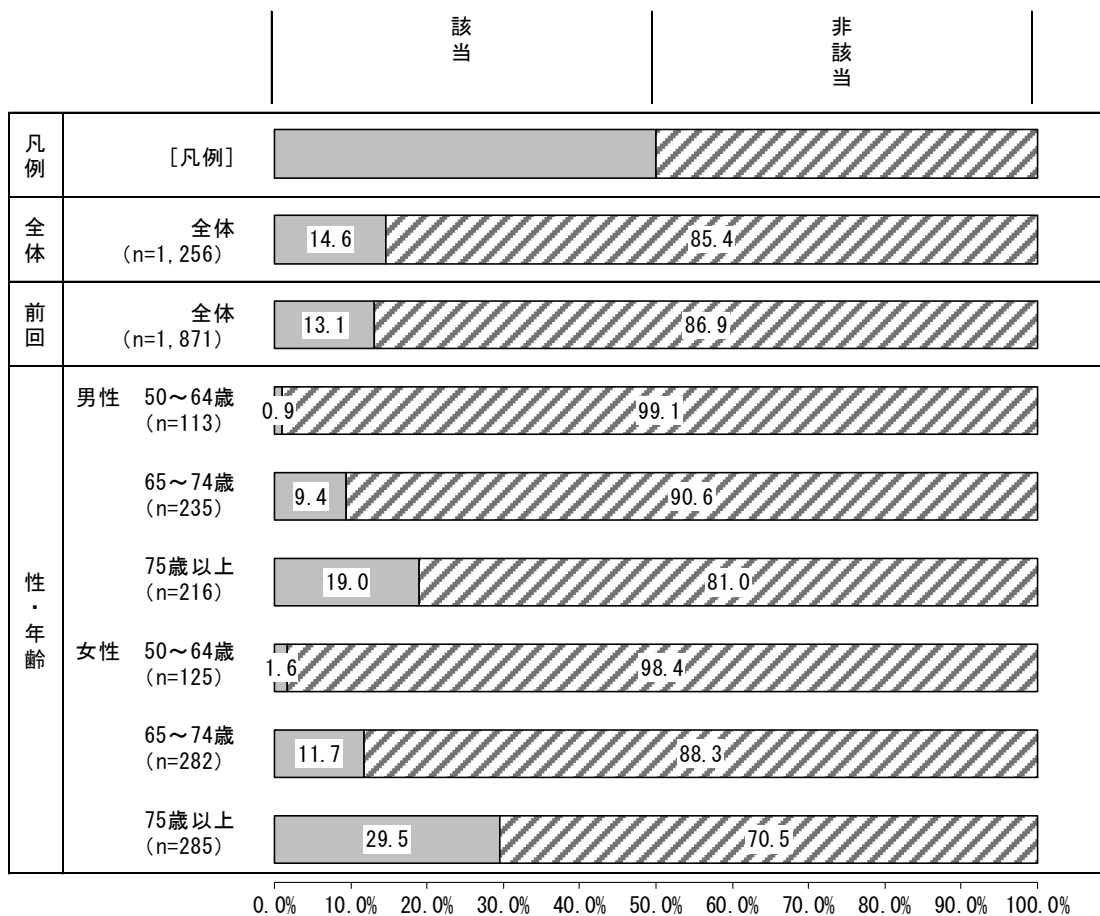
●リスク判定方法

5項目のうち3項目以上に該当する場合、「運動器の機能が低下している」と判定しました。

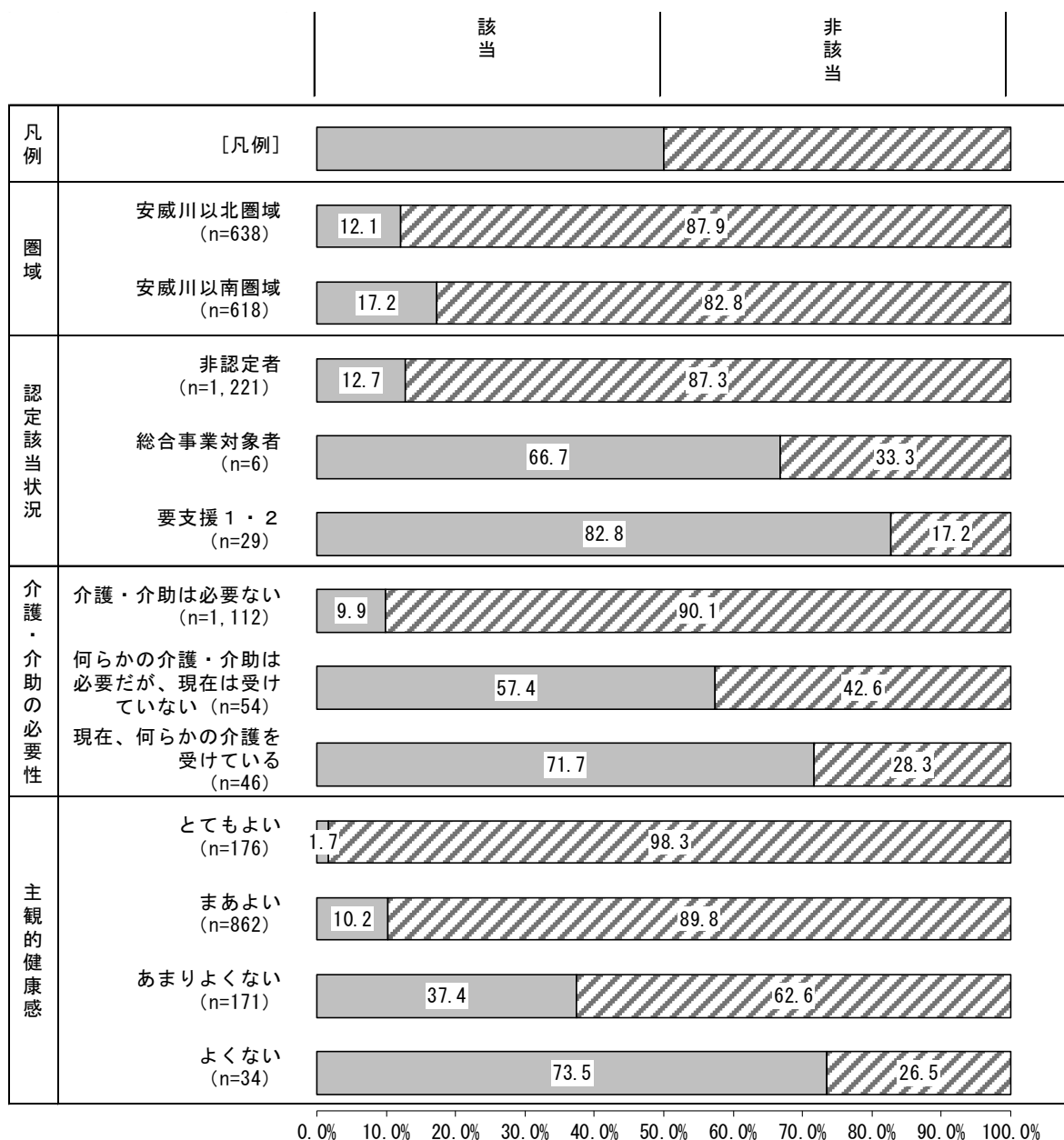
問番号	判定設問	該当する選択肢
2.1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
2.2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
2.3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
2.5	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

**【全体】**  
 ○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が14.6%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられます。特に、女性（75歳以上）では29.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



- 【圏域】**  
 ○ 安威川以南圏域では、安威川以北圏域に比べて「該当」が17.2%と多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「該当」は、非認定者では12.7%、総合事業対象者では66.7%、要支援1・2では82.8%となっています。
- 【介護・介助の必要性】**  
 ○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が9.9%となっています。
- 【主観的健康感】**  
 ○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



◆転倒リスクの判定

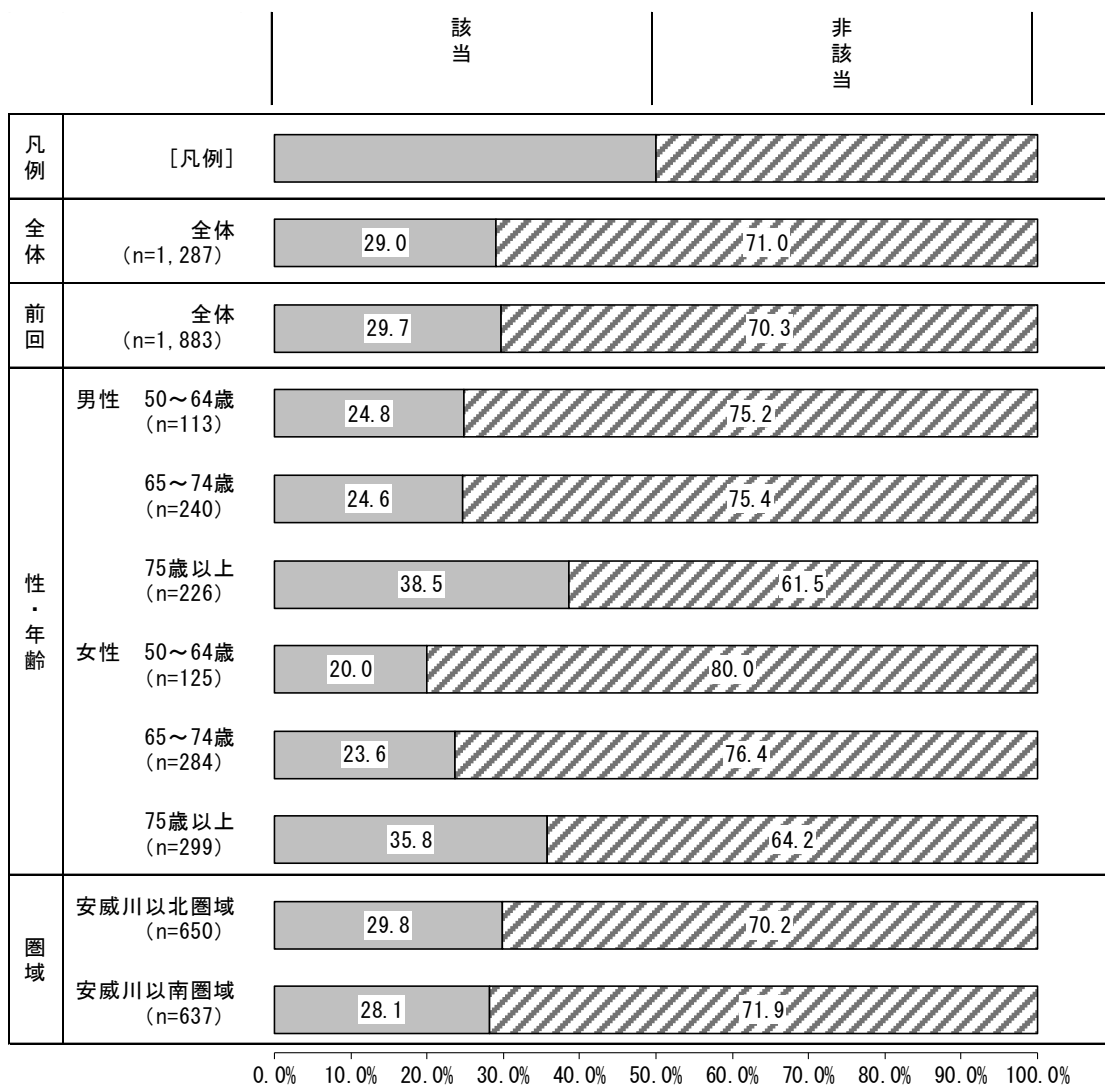
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「転倒リスクがある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

<p><b>【全体】</b> ○ 転倒リスクについて、「該当」が29.0%となっています。</p> <p><b>【性・年齢】</b> ○ 男女ともに74歳以下では「該当」は約2割であるのに対し、75歳以上では約4割と多くなっています。</p>
---

【転倒リスク】



【認定該当状況】

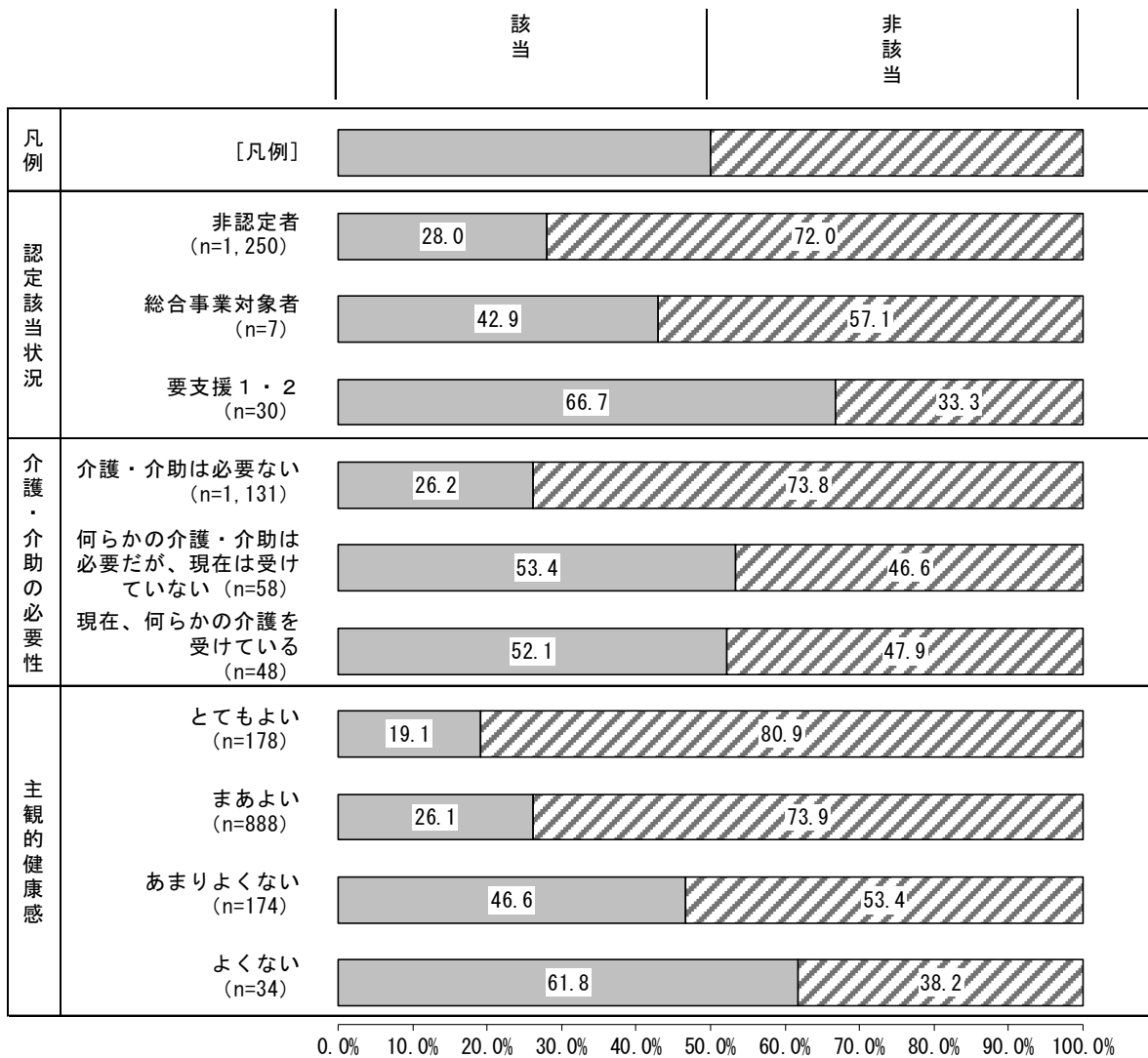
○ 「該当」は、非認定者では 28.0%、総合事業対象者では 42.9%、要支援1・2では 66.7%となっています。

【介護・介助の必要性】

○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が26.2%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



(2) 外出の状況

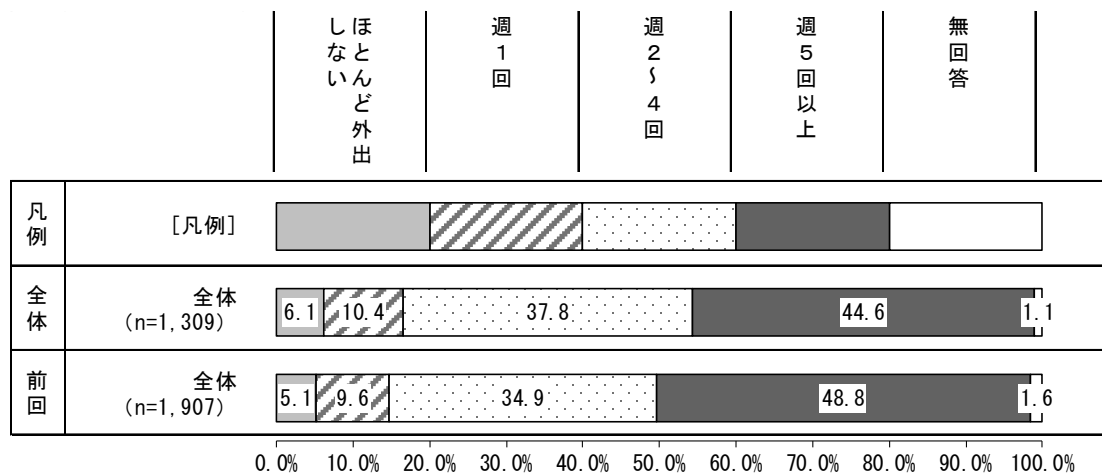
① 外出の頻度

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】

○ 外出頻度について、「週5回以上」が44.6%で最も多く、次いで「週2～4回」が37.8%、「週1回」が10.4%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

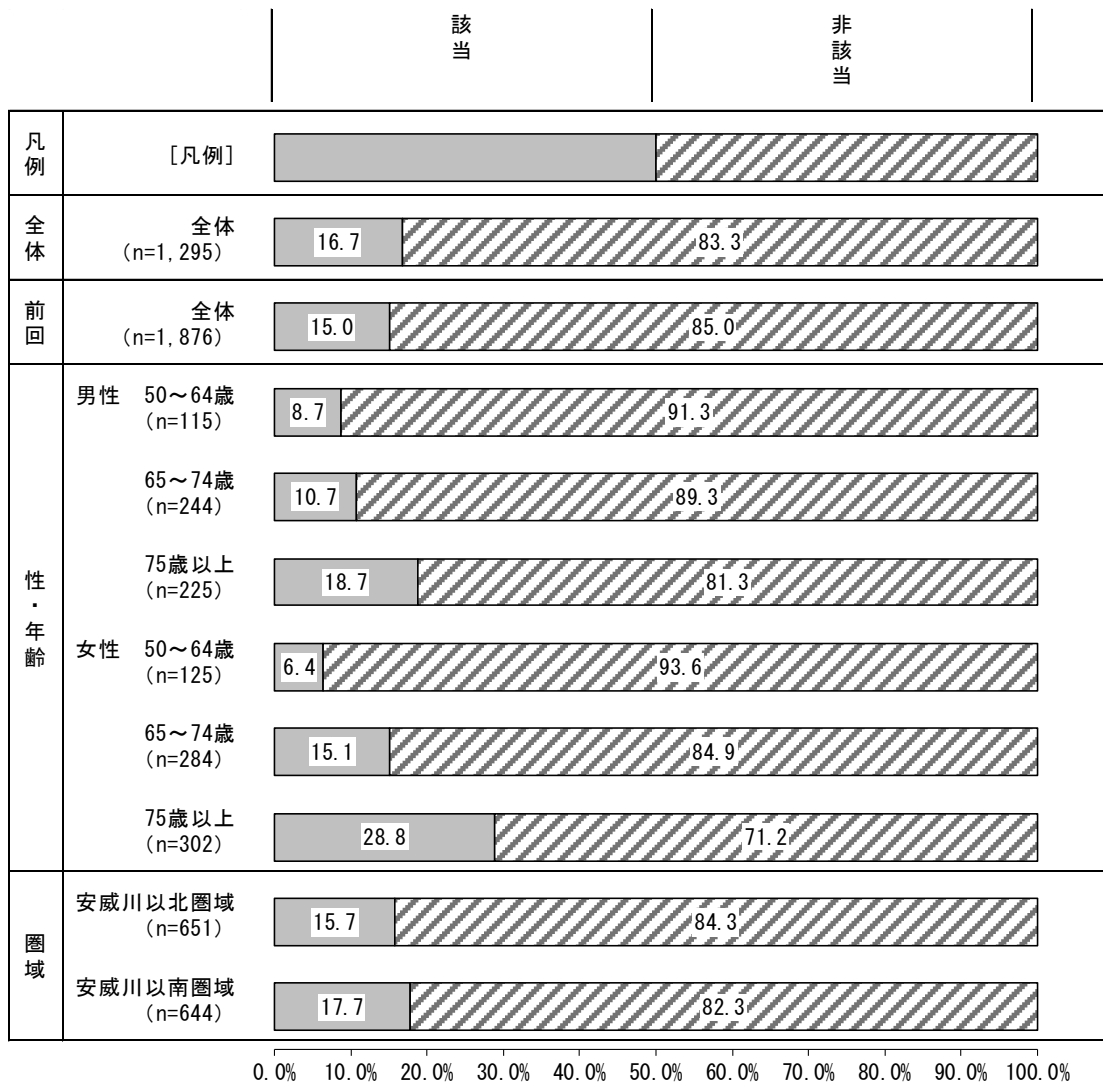
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「閉じこもり傾向がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.6	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

**【全体】**  
 ○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が16.7%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 男性では、74歳以下では「該当」は約1割であるのに対し、75歳以上では18.7%と多くなっています。  
 ○ 女性では、年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では28.8%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

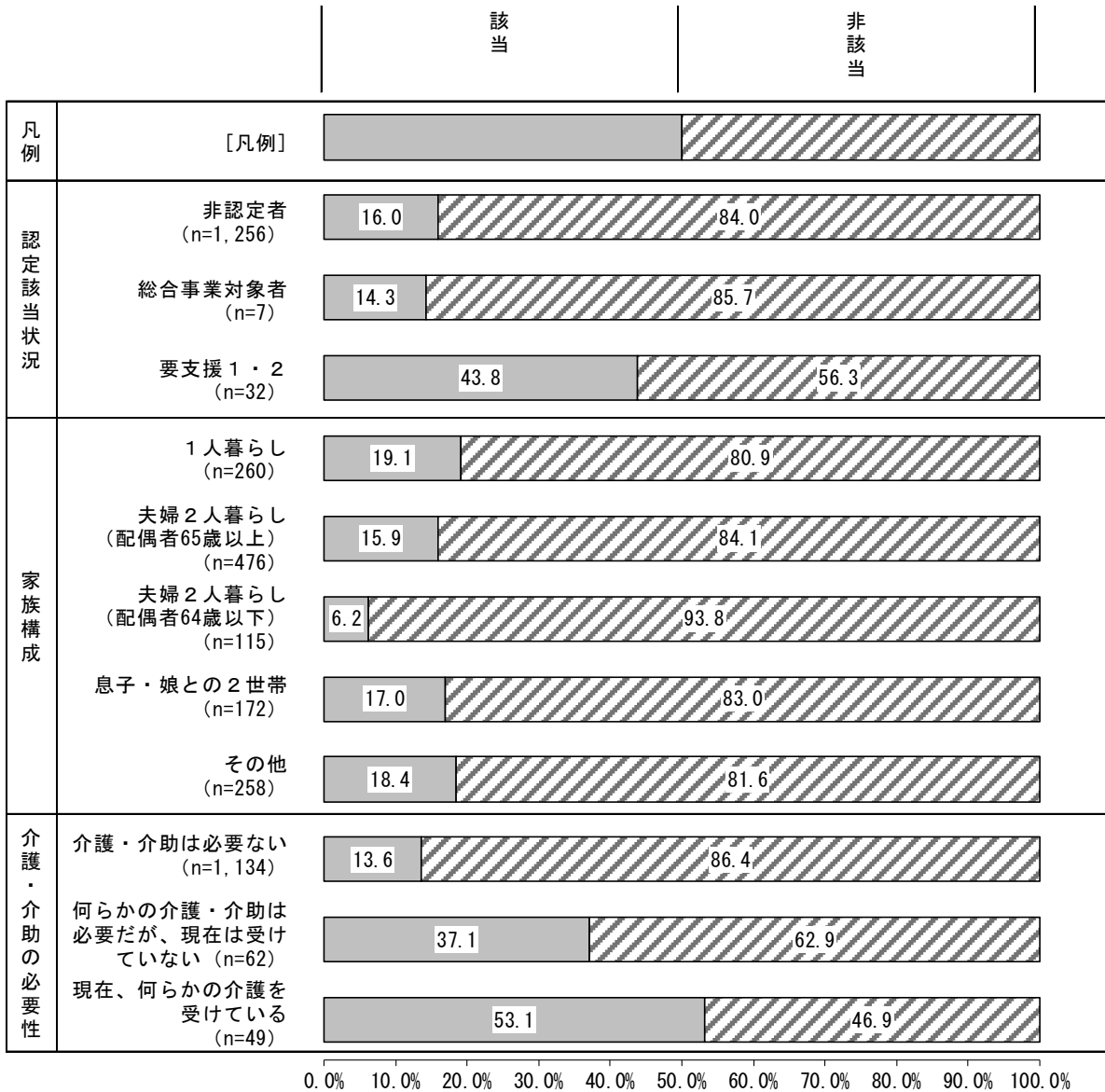
【閉じこもりのリスク】



**【認定該当状況】**  
 ○ 「該当」は、非認定者では 16.0%、総合事業対象者では 14.3%であるのに対し、要支援1・2では 43.8%となっています。

**【家族構成】**  
 ○ 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「該当」が 6.2%と他の家族構成区分に比べて少なくなっています。

**【介護・介助の必要性】**  
 ○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が 13.6%となっています。

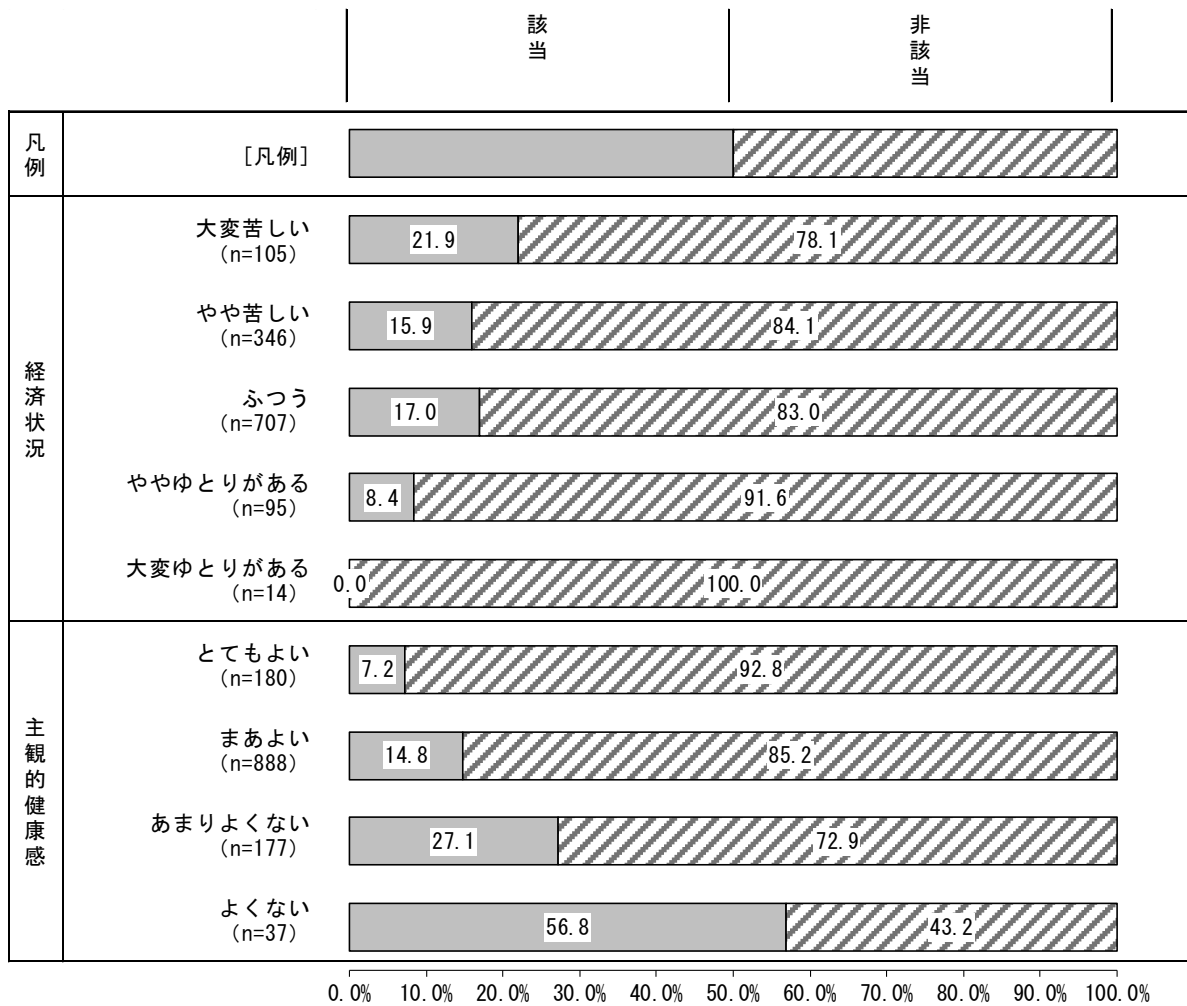


【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

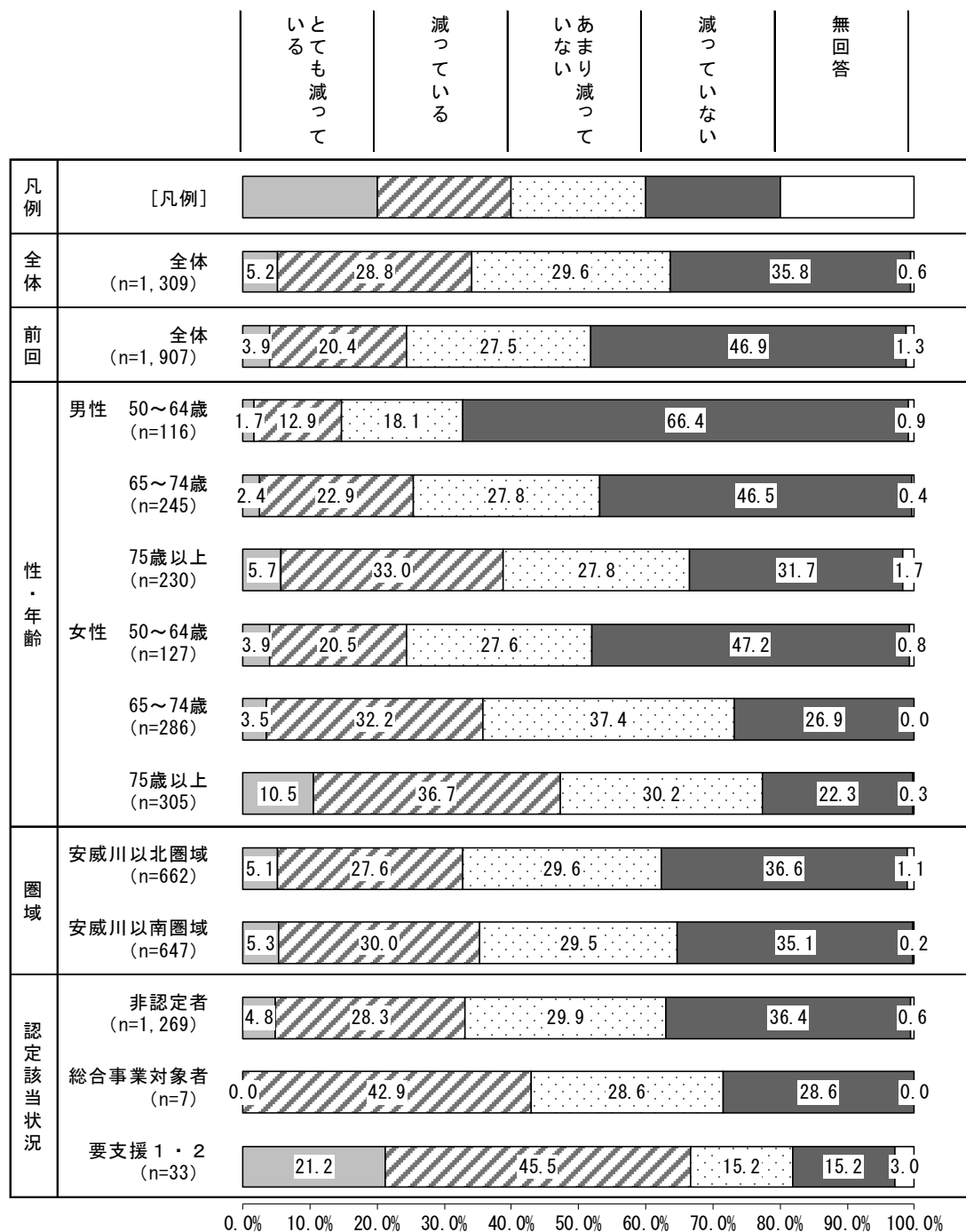




●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が35.8%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が29.6%、「減っている」が28.8%となっています。
  - 「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は34.0%となっています。
  - 前回調査に比べて、“減っている”が9.7ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに年代が上がるほど“減っている”が多くなる傾向がみられます。
  - 女性(50~64歳)では男性(50~64歳)に比べて“減っている”が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 非認定者では、“減っている”が33.1%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】



② 外出を控えているか

●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

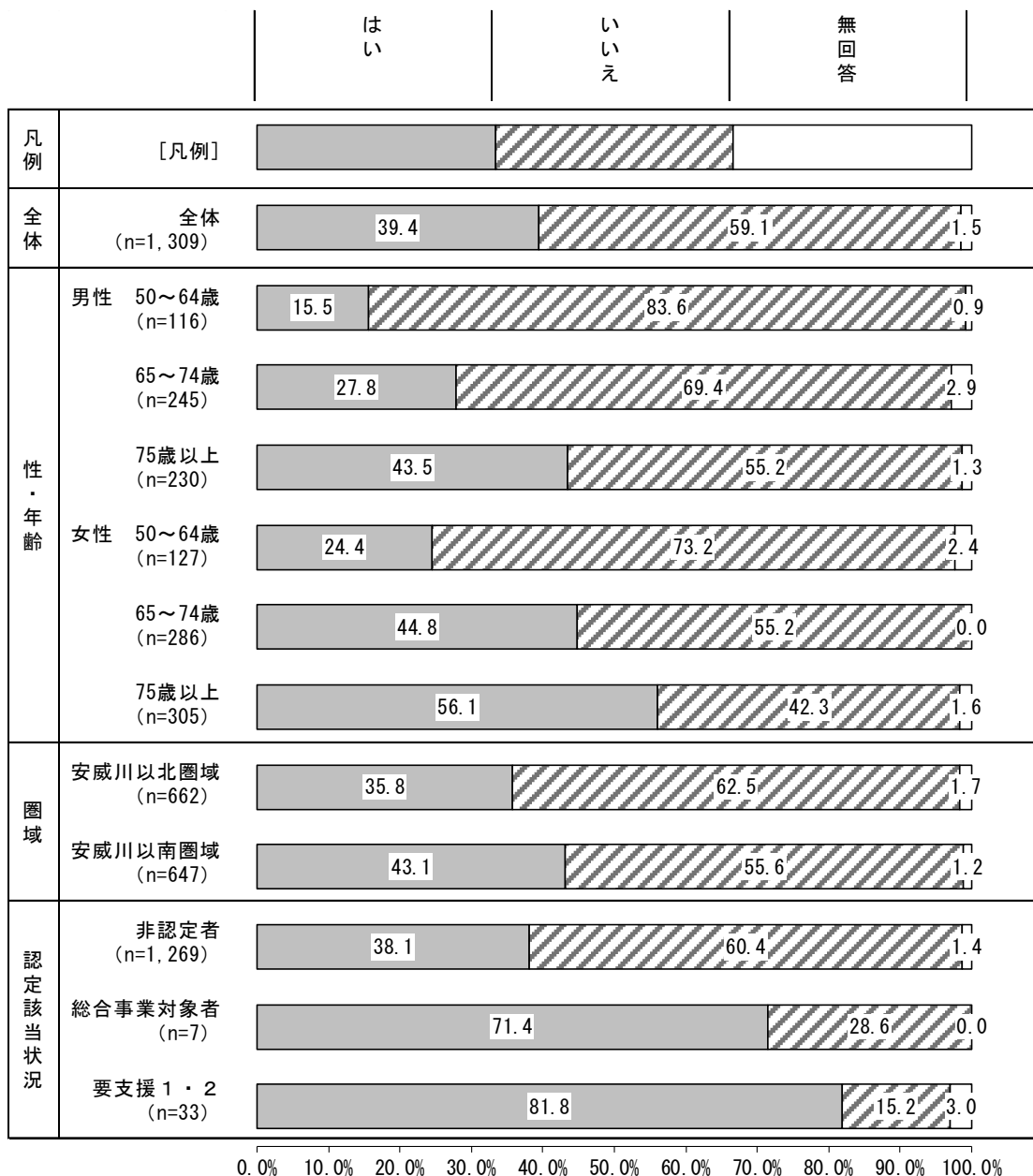
**【全体】**  
 ○ 外出を控えているかについて、「はい」が39.4%、「いいえ」が59.1%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「はい」が多くなる傾向がみられます。  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以南圏域では、「はい」が43.1%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 非認定者では、「はい」が38.1%となっています。

【外出を控えているか】

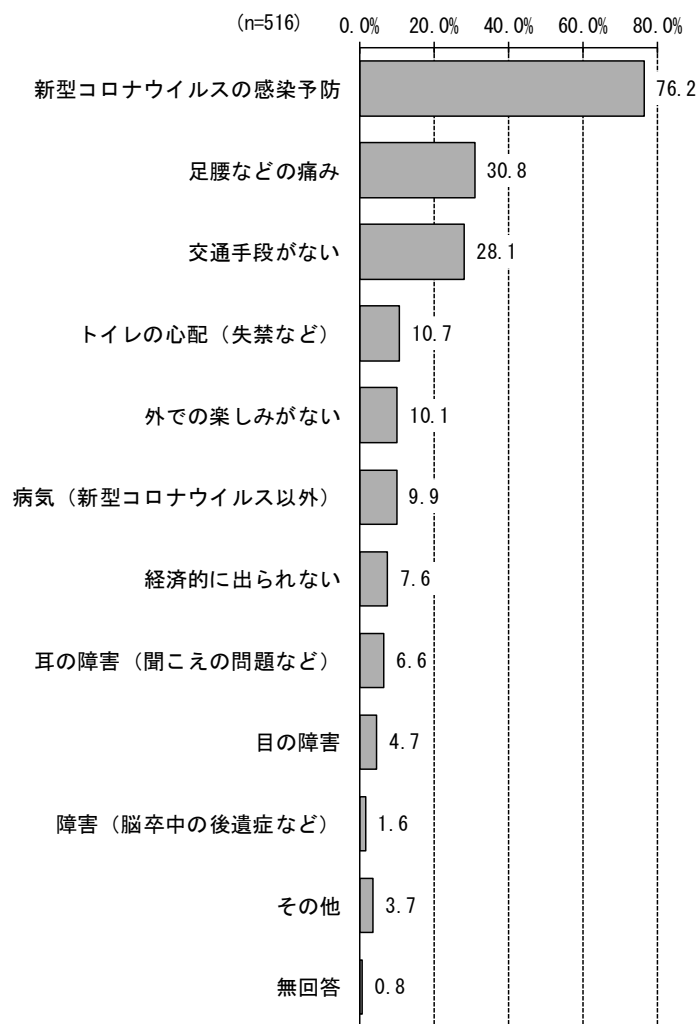


- 問2.8-1 【外出を控えている方のみ】外出を控えている理由は、次のどれですか。  
(いくつでも)

【全体】

- 外出を控えている理由について、「新型コロナウイルスの感染予防」が76.2%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が30.8%、「交通手段がない」が28.1%となっています。

【外出を控えている理由(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「足腰などの痛み」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では約4割となっています。
- 男性（65歳以上）では女性（65歳以上）に比べて「外での楽しみがない」が多くなっています。
- 男性（75歳以上）では「交通手段がない」が40.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以南圏域では「交通手段がない」が33.0%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					トイ レの 心配 (失 禁 な ど)	え耳 の障 害 な ど (聞 こ え)
			外 (ナ ウ イ ル ス 以 コ ロ)	病 気 (新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 以 コ ロ)	ル 新 型 の 感 染 予 防 イ	後 遺 害 症 (脳 卒 中 の )	足 腰 な ど の 痛 み		
全体		516	9.9	76.2	1.6	30.8	10.7	6.6	
性・ 年齢	男性 50～64歳	18	11.1	72.2	5.6	16.7	5.6	11.1	
	65～74歳	68	11.8	76.5	2.9	25.0	13.2	-	
	75歳以上	100	13.0	69.0	2.0	38.0	15.0	14.0	
	女性 50～64歳	31	9.7	93.5	3.2	19.4	6.5	3.2	
	65～74歳	128	8.6	89.1	0.8	21.1	7.8	0.8	
	75歳以上	171	8.2	67.8	0.6	39.8	10.5	9.4	
圏 域	安威川以北圏域	237	9.3	75.1	1.3	29.5	9.7	4.2	
	安威川以南圏域	279	10.4	77.1	1.8	31.9	11.5	8.6	

単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					無 回 答
			目 の 障 害	な 外 の 楽 し み が	な 経 済 的 に 出 ら れ	交 通 手 段 が な い	そ の 他	
全体		516	4.7	10.1	7.6	28.1	3.7	0.8
性・ 年齢	男性 50～64歳	18	5.6	-	5.6	27.8	-	-
	65～74歳	68	1.5	13.2	16.2	25.0	2.9	-
	75歳以上	100	6.0	16.0	7.0	40.0	5.0	2.0
	女性 50～64歳	31	-	12.9	12.9	22.6	9.7	-
	65～74歳	128	3.1	5.5	4.7	22.7	2.3	-
	75歳以上	171	7.0	9.4	5.8	27.5	3.5	1.2
圏 域	安威川以北圏域	237	5.9	12.7	7.2	22.4	2.1	1.3
	安威川以南圏域	279	3.6	7.9	7.9	33.0	5.0	0.4

【認定該当状況】

- 非認定者では、「新型コロナウイルスの感染予防」が78.3%となっています。
- 総合事業対象者では、「新型コロナウイルスの感染予防」「足腰などの痛み」が60.0%で最も多く、次いで「交通手段がない」が40.0%となっています。
- 要支援1・2では、「足腰などの痛み」が70.4%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスの感染予防」「交通手段がない」が40.7%となっています。

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					え耳 の障 害な ど(聞 こ)
			外 (ナ ウ イ ル 新 ス 以 コ ロ)	病 気 (新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 感 染 予 防)	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 感 染 予 防	後 遺 害 症 (脳 卒 中 の )	障 害 な ど の 痛 み	
全体		516	9.9	76.2	1.6	30.8	10.7	6.6
当 認 状 定 況 該	非認定者	484	9.1	78.3	1.2	28.3	9.5	6.0
	総合事業対象者	5	20.0	60.0	20.0	60.0	20.0	-
	要支援1・2	27	22.2	40.7	3.7	70.4	29.6	18.5

単位：％

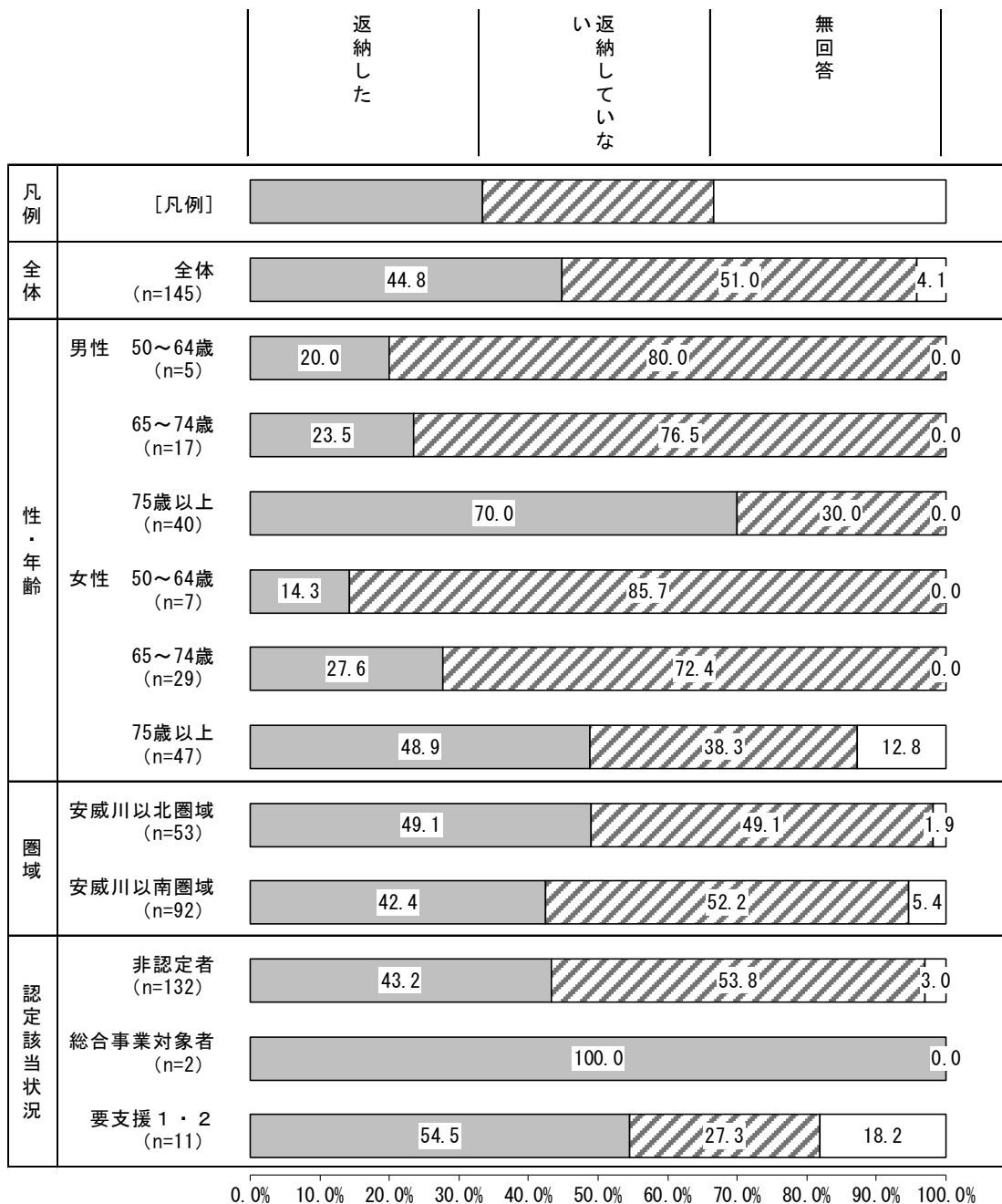
		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					無 回 答
			目 の 障 害	外 出 の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	
全体		516	4.7	10.1	7.6	28.1	3.7	0.8
当 認 状 定 況 該	非認定者	484	4.1	10.3	7.9	27.3	3.7	0.8
	総合事業対象者	5	-	-	-	40.0	-	-
	要支援1・2	27	14.8	7.4	3.7	40.7	3.7	-

●問2.8-1① 【交通手段がないために外出を控えている方のみ】（本人または家族が）車の運転免許を返納しましたか。（1つだけ）

**【全体】**  
 ○ 運転免許の返納状況について、「返納した」が44.8%、「返納していない」が51.0%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男性（75歳以上）では、「返納した」が70.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【運転免許の返納状況】



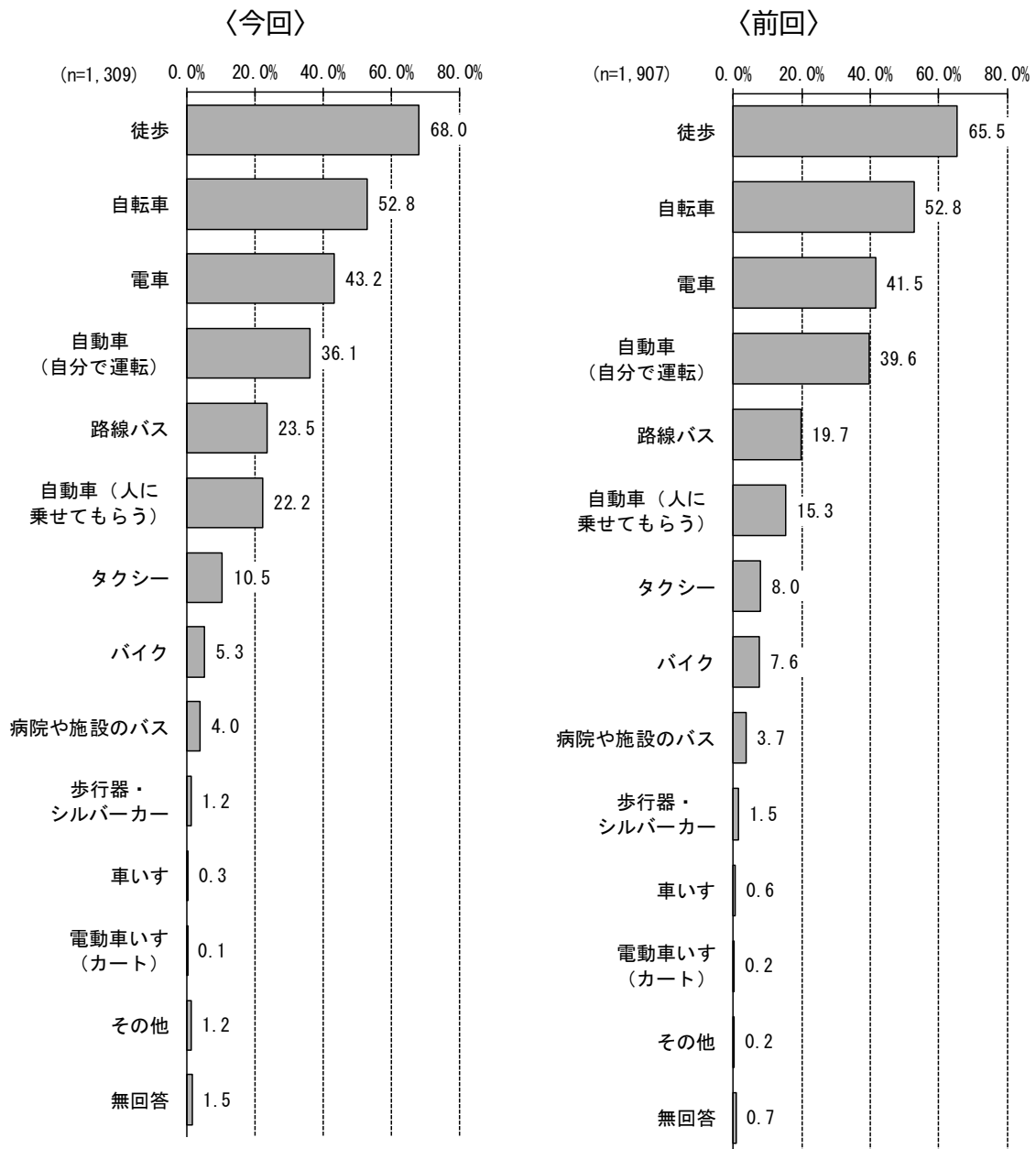
③ 外出の際の移動手段

●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「徒歩」が 68.0%で最も多く、次いで「自転車」が 52.8%、「電車」が 43.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「路線バス」が 3.8 ポイント、「自動車（人に乗せてもらう）」が 6.9 ポイント多くなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



【性・年齢】

- いずれの年代でも、男性では「自動車（自分で運転）」が多いのに対し、女性では「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 男性では、50～64歳、65～74歳では「自動車（自分で運転）」がそれぞれ79.3%、61.2%と主要な移動手段であるのに対し、75歳以上では41.7%と少なく、代わって「自転車」が主要となっています。そのほか「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」などが74歳以下に比べて多くなっています。
- 女性では、年代が上がるほど「自転車」「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」「電車」が少なくなる傾向がみられますが、そのほかの移動手段をみても「路線バス」を除いて年代による大きな差はみられません。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「徒歩」「電車」「タクシー」が多くなっています。
- 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」が多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		徒歩	自転車	バイク	運 自 転 車 ( 自 分 で )	自 動 車 ( 人 に 乗 せ て も ら う )	電車	路線 バス	
全体	1,309	68.0	52.8	5.3	36.1	22.2	43.2	23.5	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	72.4	44.0	14.7	79.3	7.8	51.7	14.7
	65～74歳	245	67.3	51.0	6.9	61.2	5.7	40.4	15.9
	75歳以上	230	60.4	53.0	3.0	41.7	14.3	32.6	19.1
	女性 50～64歳	127	74.8	64.6	7.1	43.3	38.6	57.5	19.7
	65～74歳	286	69.2	65.0	4.5	22.0	36.0	50.7	30.4
	75歳以上	305	68.5	41.0	2.3	5.6	26.9	37.4	31.1
圏 域	安威川以北圏域	662	76.4	53.5	4.4	32.8	19.0	53.5	12.5
	安威川以南圏域	647	59.4	52.1	6.3	39.6	25.3	32.8	34.6
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	68.8	53.9	5.4	37.1	21.7	43.8	23.6
	総合事業対象者	7	57.1	57.1	14.3	-	28.6	28.6	28.6
	要支援1・2	33	39.4	9.1	-	6.1	39.4	24.2	18.2

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		ス 病 院 や 施 設 の バ	車 い す	( 電 動 車 い す ) カ ー ト	バ 歩 行 器 ・ シ ル	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答	
全体	1,309	4.0	0.3	0.1	1.2	10.5	1.2	1.5	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	1.7	-	-	0.9	8.6	-	0.9
	65～74歳	245	2.4	0.4	-	-	5.3	-	2.0
	75歳以上	230	4.8	0.9	-	0.9	13.5	2.2	2.6
	女性 50～64歳	127	1.6	-	-	-	11.8	0.8	-
	65～74歳	286	3.8	0.3	-	0.7	7.0	0.7	0.3
	75歳以上	305	6.6	-	0.3	3.6	15.7	2.6	2.0
圏 域	安威川以北圏域	662	4.7	0.3	-	1.2	12.1	1.4	1.2
	安威川以南圏域	647	3.2	0.3	0.2	1.2	8.8	1.1	1.7
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	3.7	0.2	-	0.6	9.7	1.1	1.4
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	42.9	14.3	-
	要支援1・2	33	15.2	3.0	3.0	24.2	33.3	3.0	3.0



## 4. 食べることについて

### (1) 栄養

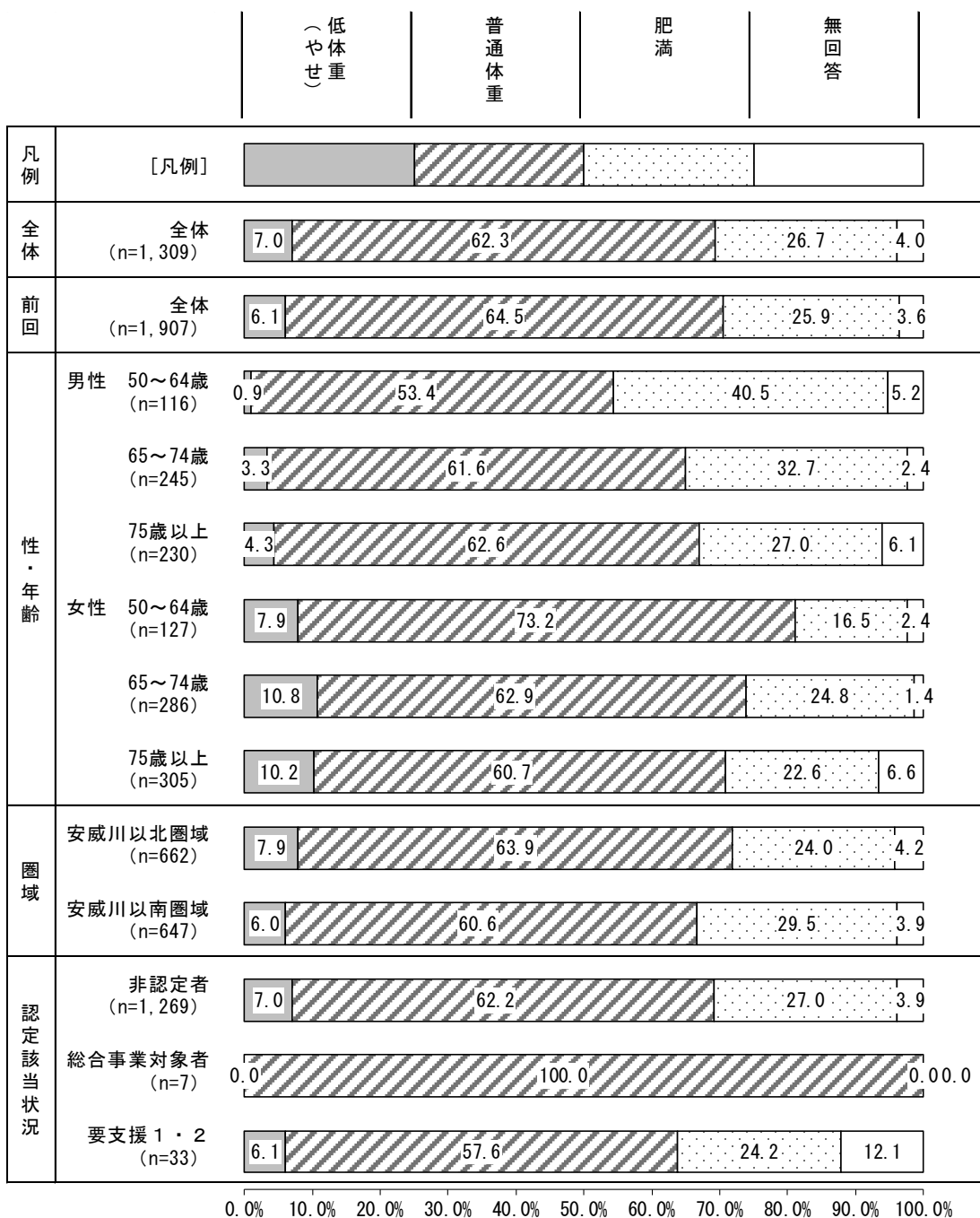
#### ① BMI

●問3.1 身長・体重を教えてください。

**【全体】**  
 ○ BMI について、「普通体重」が 62.3%で最も多く、次いで「肥満」が 26.7%、「低体重（やせ）」が 7.0%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「やせ（低体重）」が多く、「肥満」が少なくなっています。  
 ○ 男性では、年代が上がるほど「肥満」が少なくなる傾向がみられます。

【BMI】



◆栄養改善のリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「栄養改善が必要な可能性がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する場合
3.1	BMI：体重 (kg) ÷ {身長 (m) ×身長 (m) }	18.5 以下

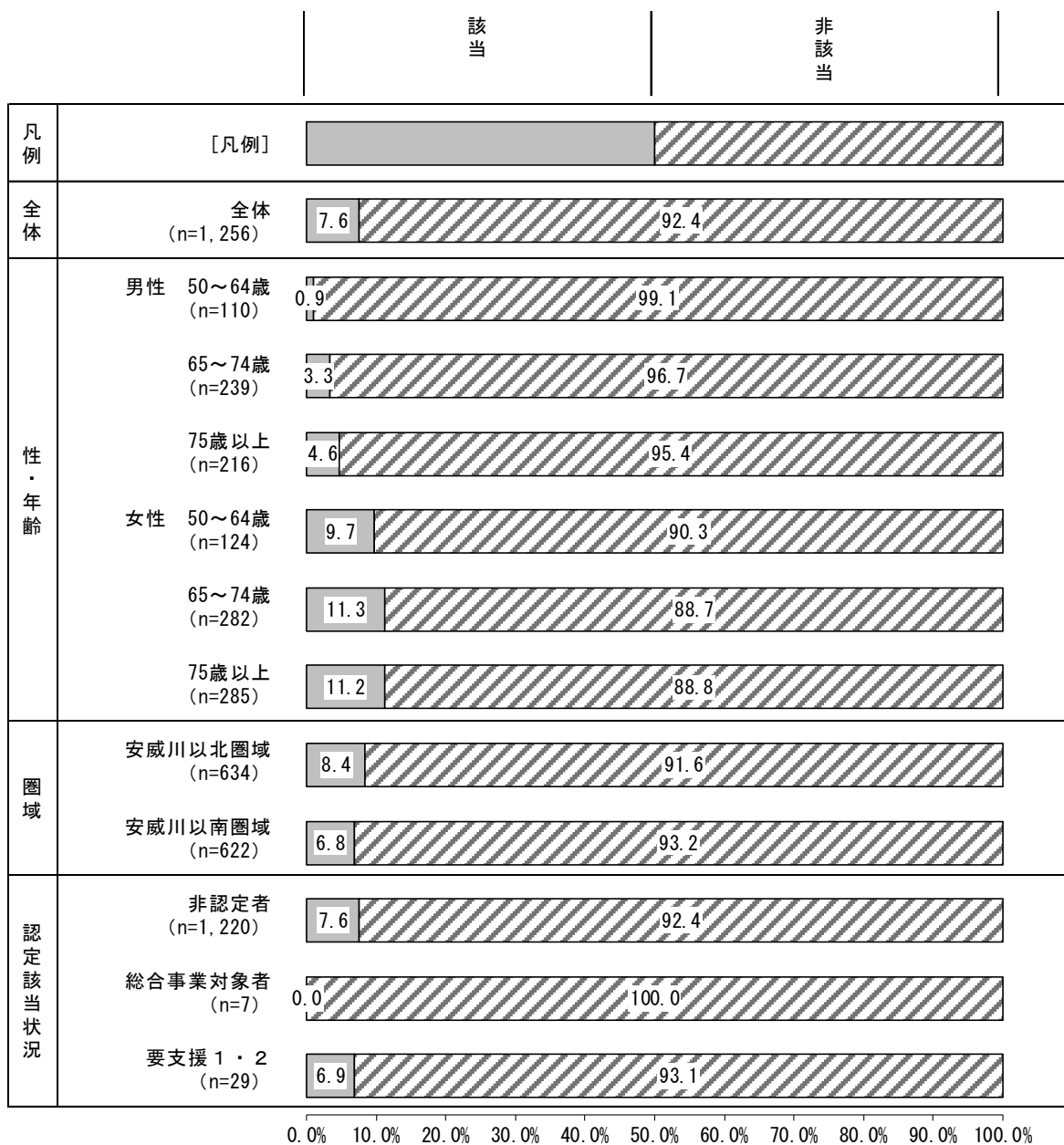
【全体】

○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が7.6%となっています。

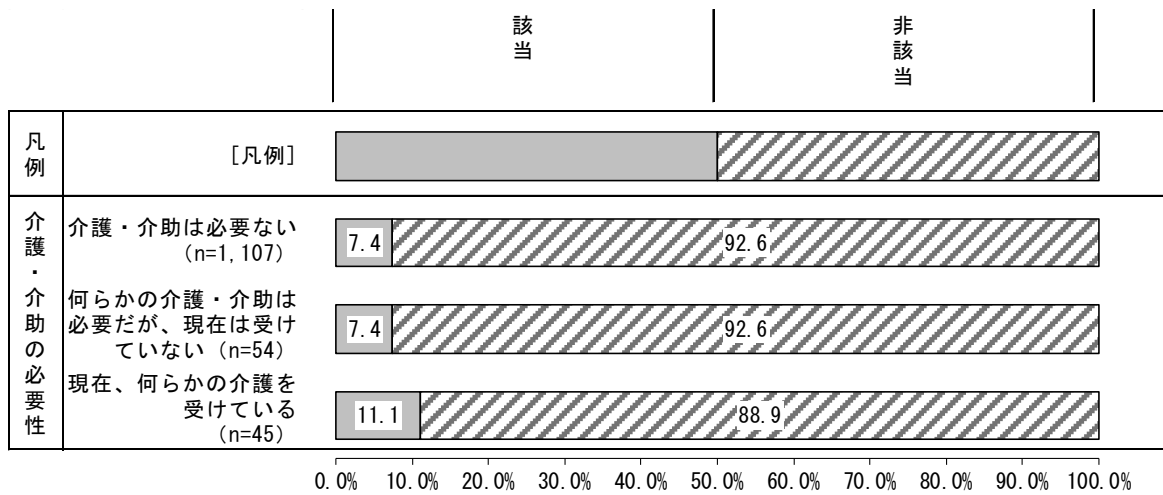
【性・年齢】

○ いずれの年代でも女性は、男性に比べて「該当」が多くなっています。

【栄養改善のリスク】



**【介護・介助の必要性】**  
 現在、何らかの介護を受けている人では、「該当」が11.1%となっています。

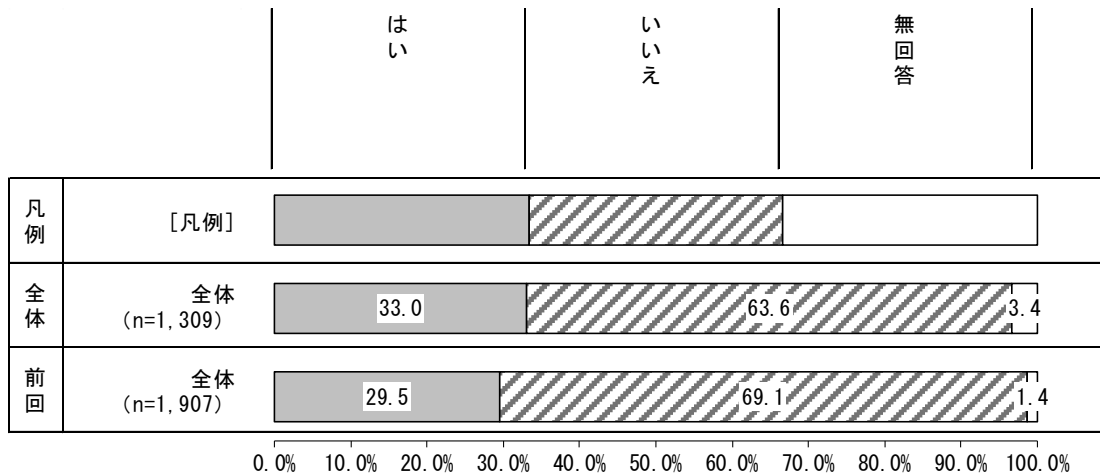


(2) 口腔

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

**【全体】**  
 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が33.0%、「いいえ」が63.6%となっています。

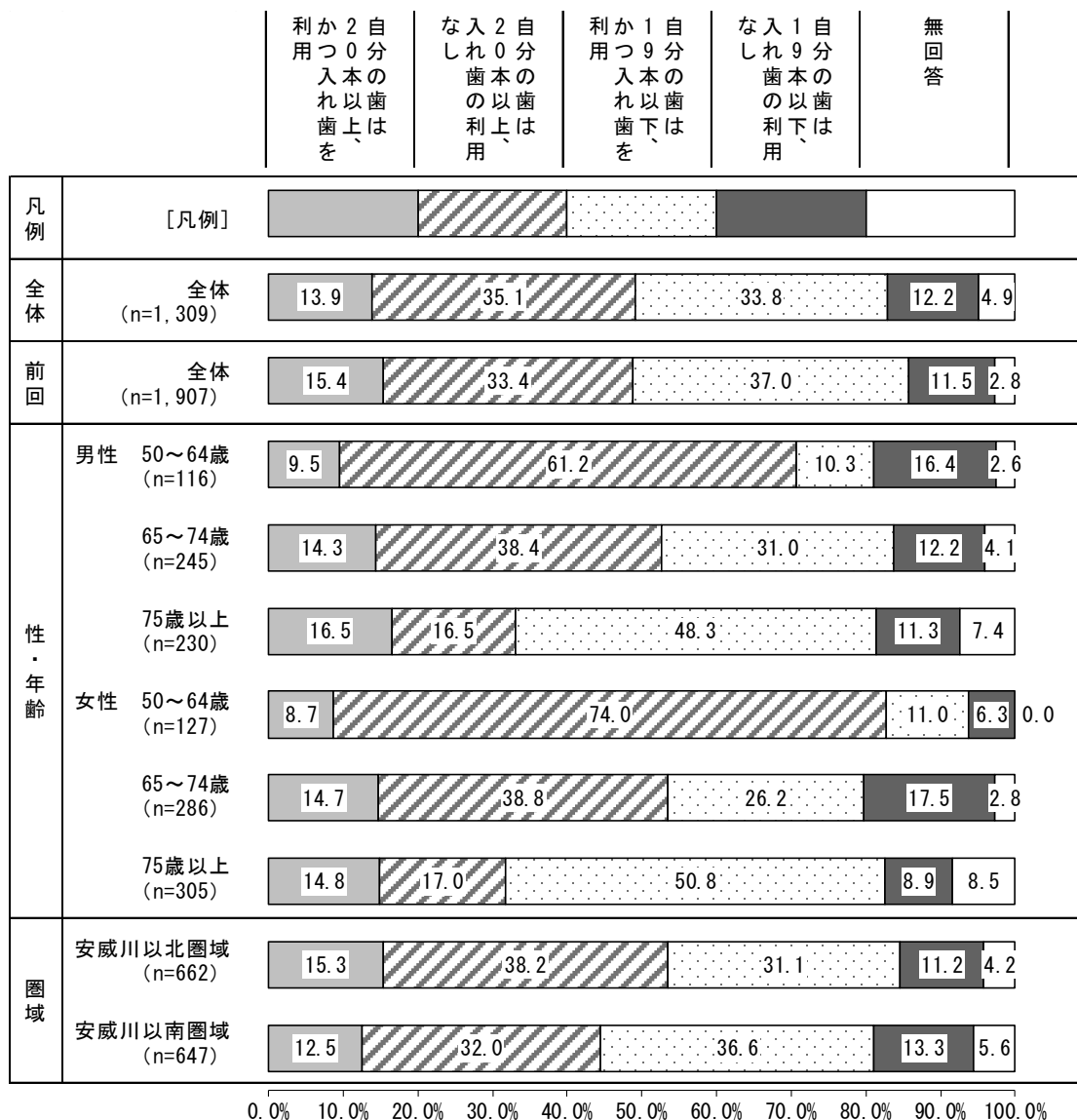
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



●問3.3 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

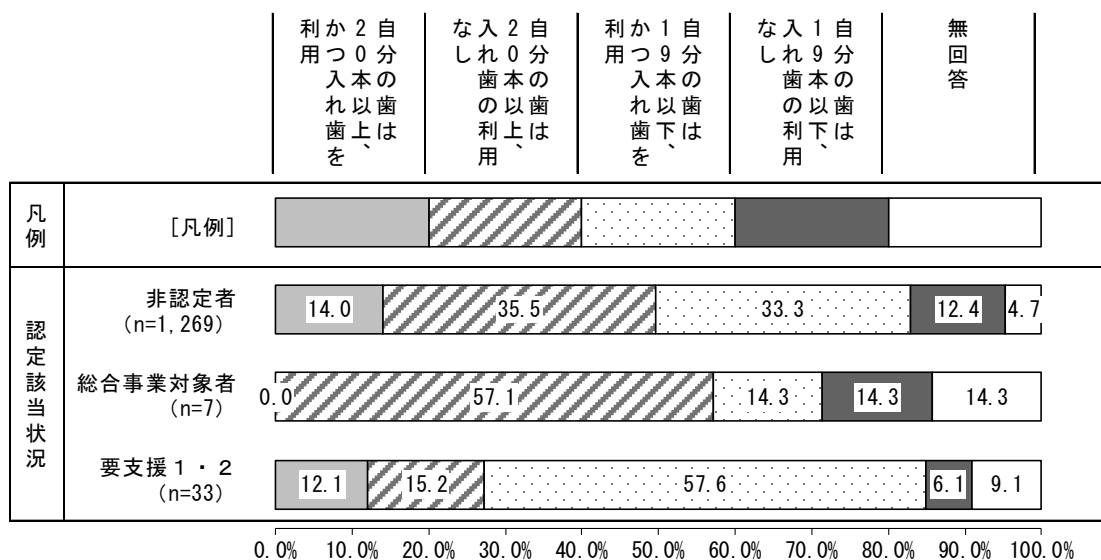
- 【全体】**
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.1%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.9%となっています。
  - 「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯は 20 本以上”は 49.0%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男性（50～64 歳）では、“自分の歯は 20 本以上”が 70.7%と女性（50～64 歳）に比べて少なくなっています。
  - 男女ともに 75 歳以上では、“自分の歯は 20 本以上”は約 3 割となっています。
- 【圏域】**
- 安威川以南圏域では、“自分の歯は 20 本以上”が 44.5%と安威川以北圏域に比べて少なくなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



【認定該当状況】

○ 非認定者、総合事業対象者では、“自分の歯は20本以上”が約5～6割であるのに対し、要支援1・2では27.3%と少なくなっています。



(3) 共食の状況

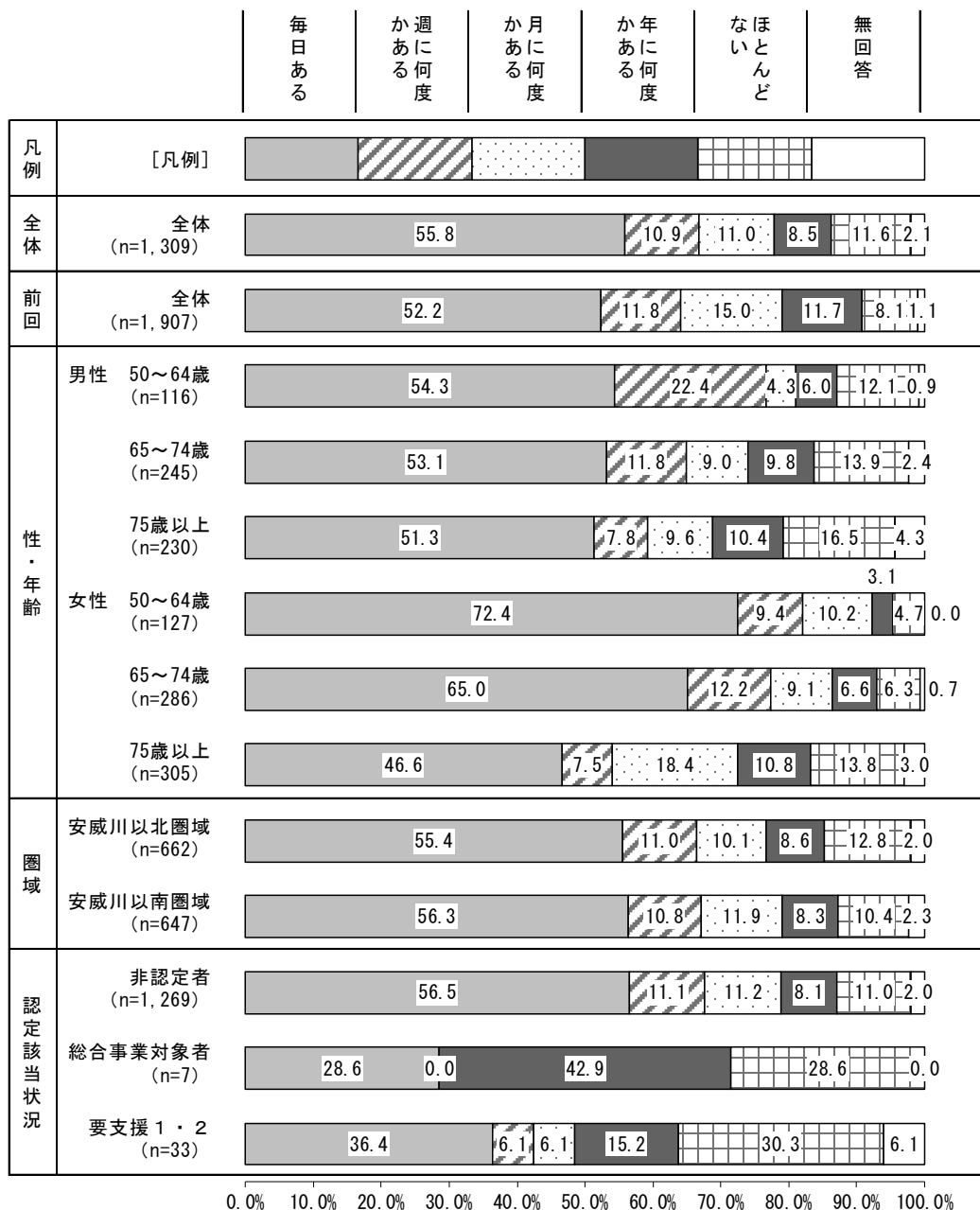
●問3.4 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 共食の有無について、「毎日ある」が55.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が11.6%、「月に何度かある」が11.0%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「毎日ある」が3.6ポイント多くなっていますが、「ほとんどない」も3.5ポイント多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男性ではいずれの年代でも「毎日ある」は約5割となっています。  
 ○ 女性では年代が上がるほど「毎日ある」が少なくなる傾向がみられ、75歳以上では男性に比べても少ない46.6%となっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「ほとんどない」は、非認定者では11.0%であるのに対し、総合事業対象者では28.6%、要支援1・2では30.3%となっています。

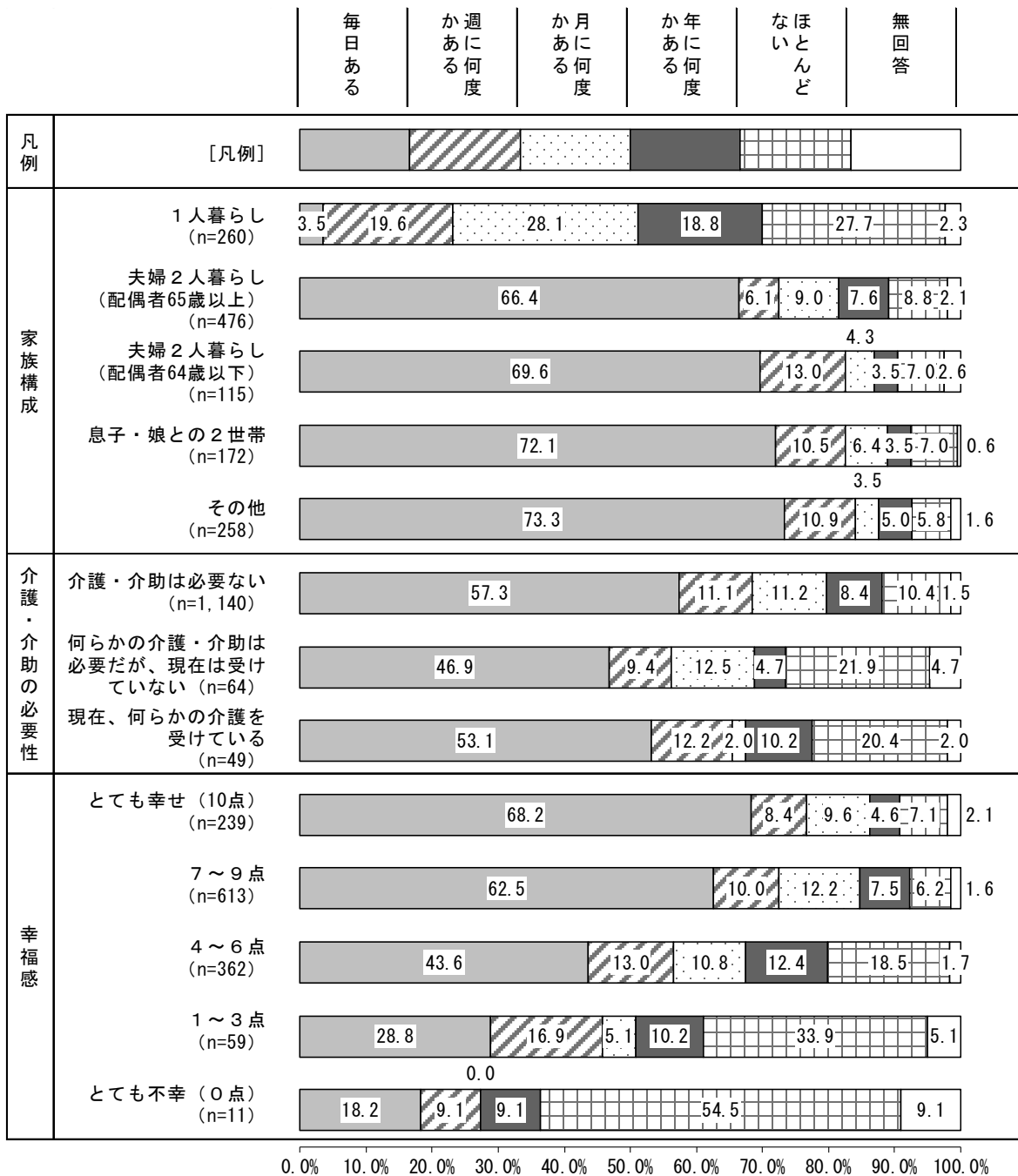
【共食の有無】



**【家族構成】**  
 ○ 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「毎日ある」が3.5%と少なく、「ほとんどない」が27.7%と多くなっています。

**【介護・介助の必要性】**  
 ○ 「ほとんどない」は、介護・介助は必要ない人では10.4%であるのに対し、介護・介助が必要な人では約2割となっています。

**【幸福感】**  
 ○ 幸福感が高いほど「毎日ある」が多く、「ほとんどない」が少なくなる傾向がみられます。



## 5. 毎日の生活について

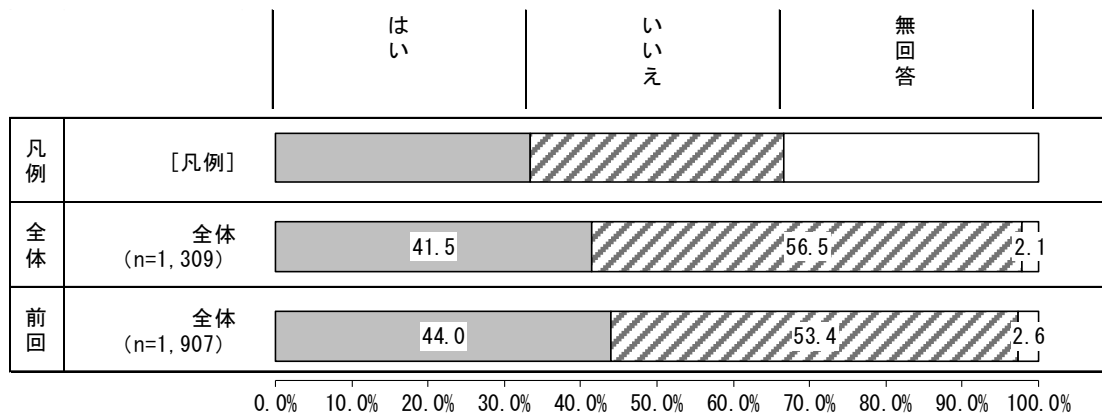
### (1) 物忘れ

●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

**【全体】**

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 41.5%、「いいえ」が 56.5%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】





◆認知機能の低下リスクの判定

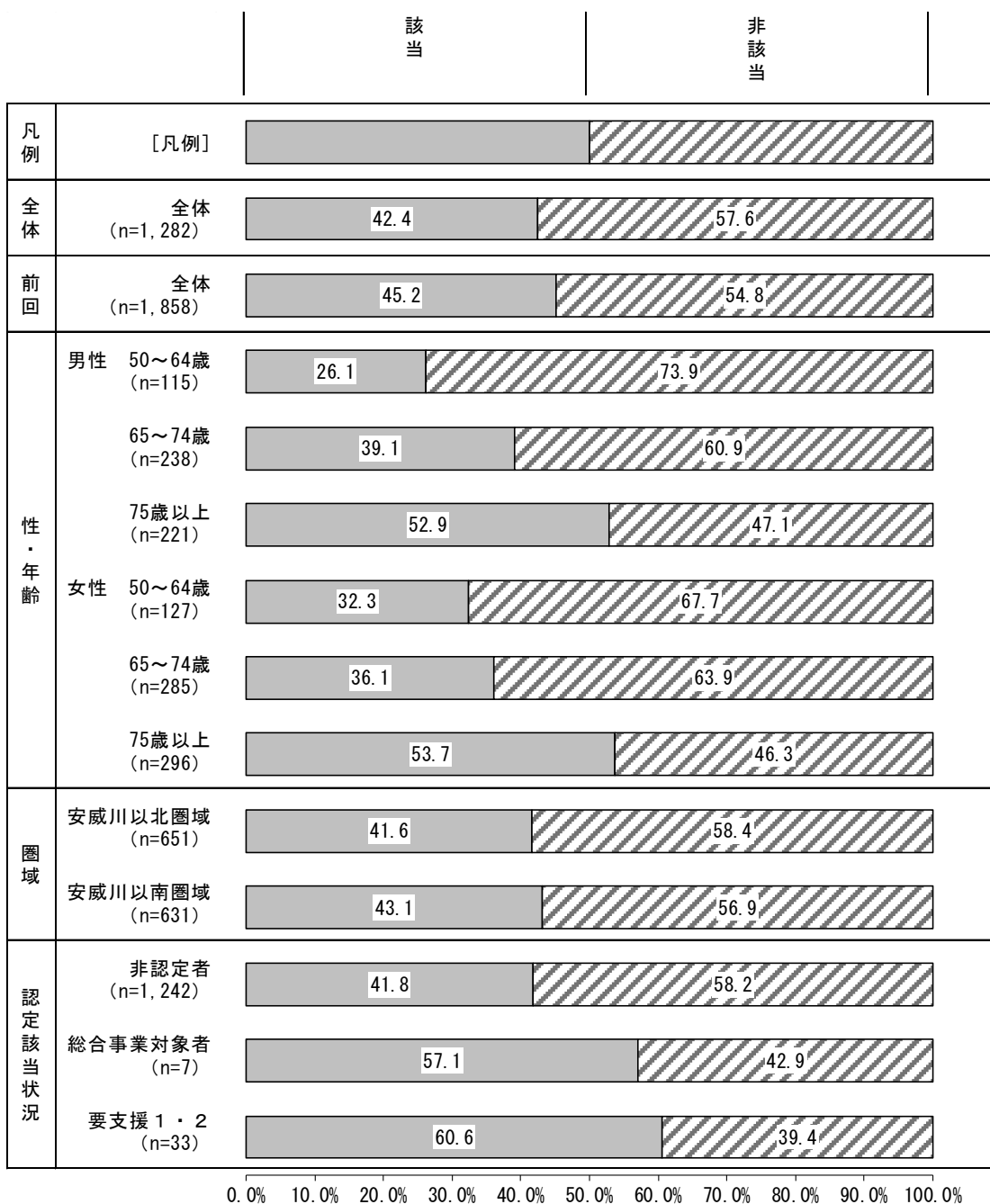
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「認知機能が低下している」と判定しました。

	判定設問	該当する選択肢
4.1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

**【全体】**  
 ○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が42.4%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられます。  
**【認定該当状況】**  
 ○ 「該当」は、非認定者では41.8%であるのに対し、総合事業対象者では57.1%、要支援1・2では60.6%となっています。

【認知機能の低下リスク】

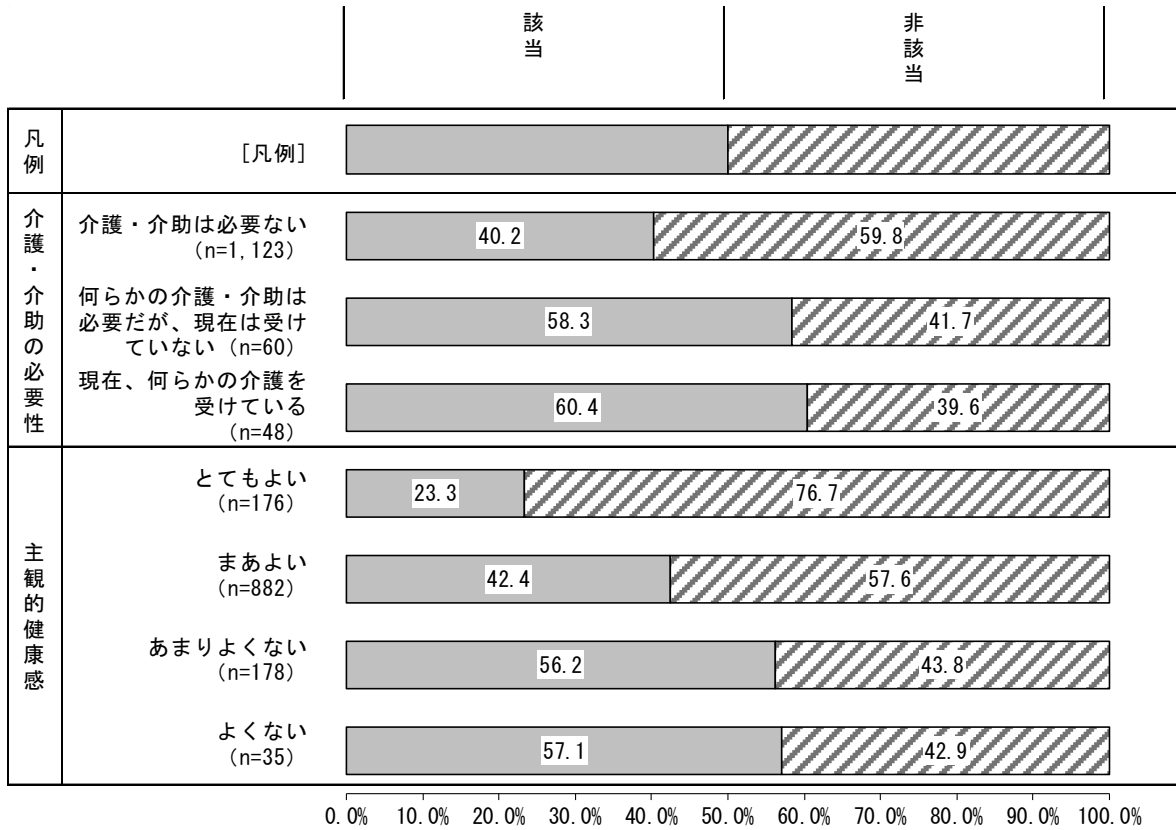


【介護・介助の必要性】

- 介護・介助は必要ない人では、「該当」が40.2%となっています。
- 何らかの介護・介助が必要な人では、「該当」が約5～6割となっています。

【主観的健康感】

- とてもよいと感じている人では、「該当」が23.3%と他の主観的健康感区分に比べて少なくなっています。



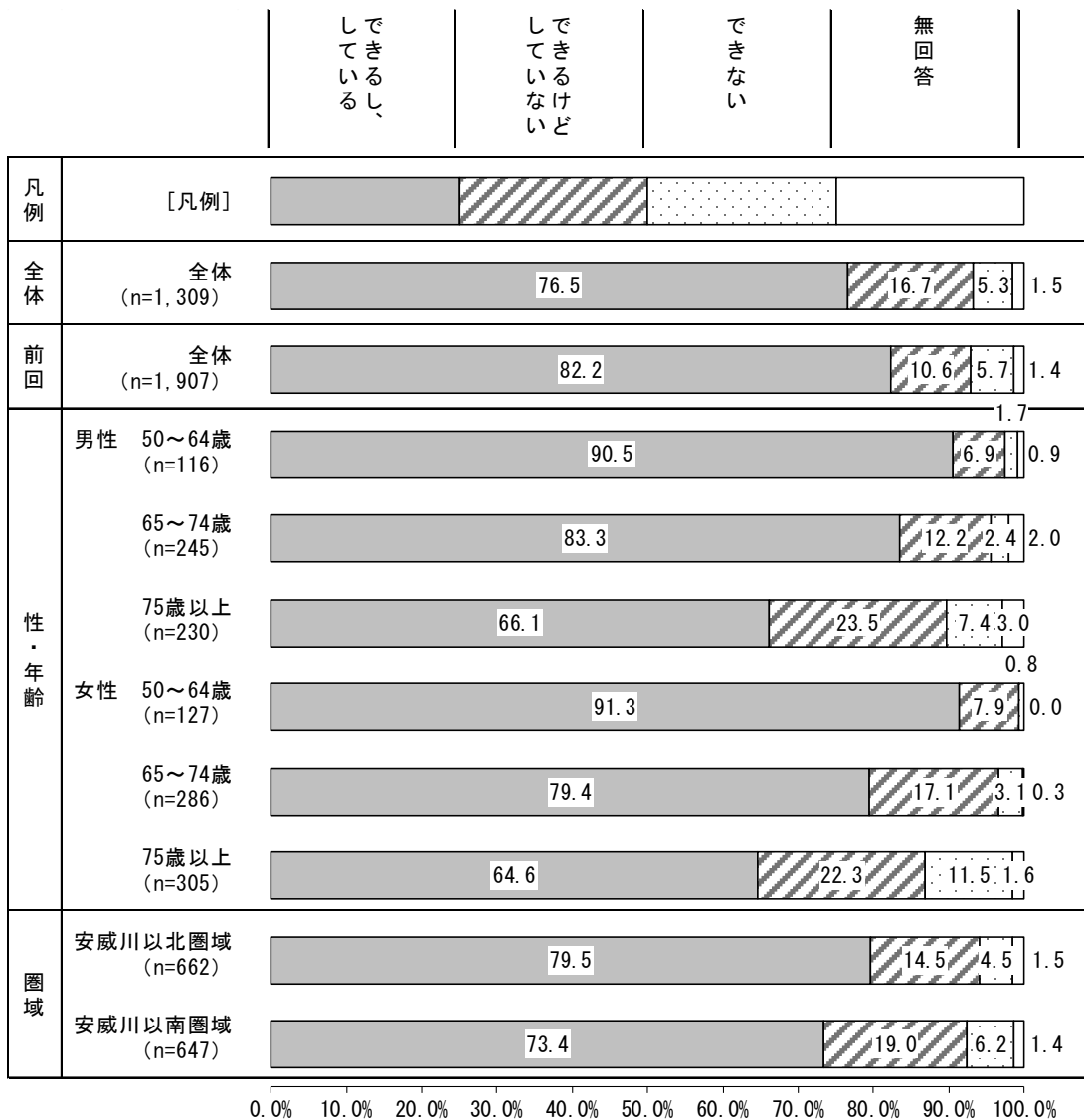
(2) IADLの状況

●問4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

**【全体】**  
 ○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が76.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.7%、「できない」が5.3%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「できるけどしていない」が6.1ポイント多くなっています。

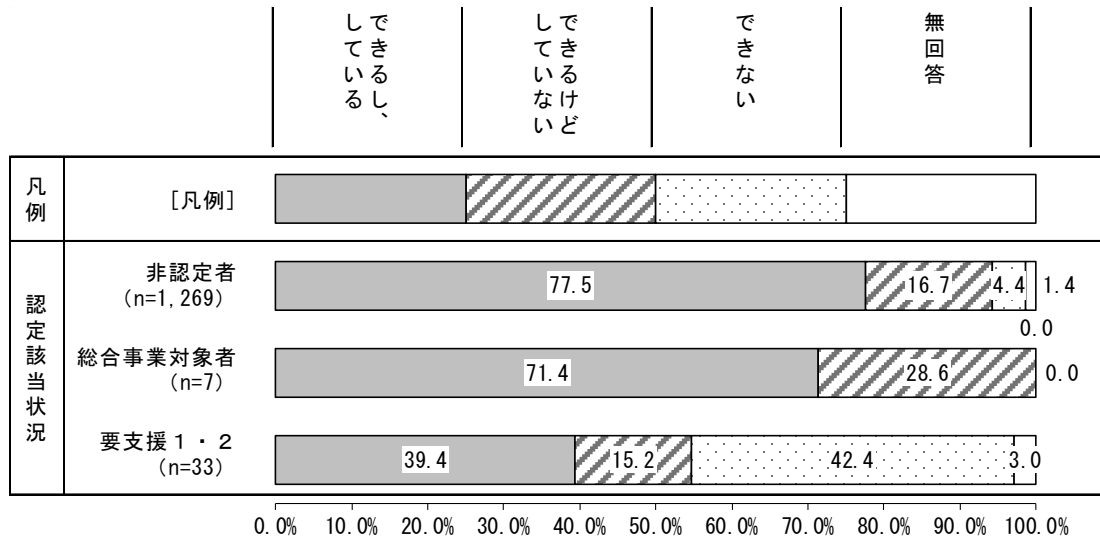
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「できるけどしていない」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では2割以上となっています。

【バスや電車を使った1人での外出】



【認定該当状況】

- 非認定者では、「できるし、している」が 77.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 16.7%、「できない」が 4.4%となっています。
- 総合事業対象者では、「できるし、している」が 71.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 28.6%となっています。
- 要支援1・2では、「できない」が 42.4%となっています。



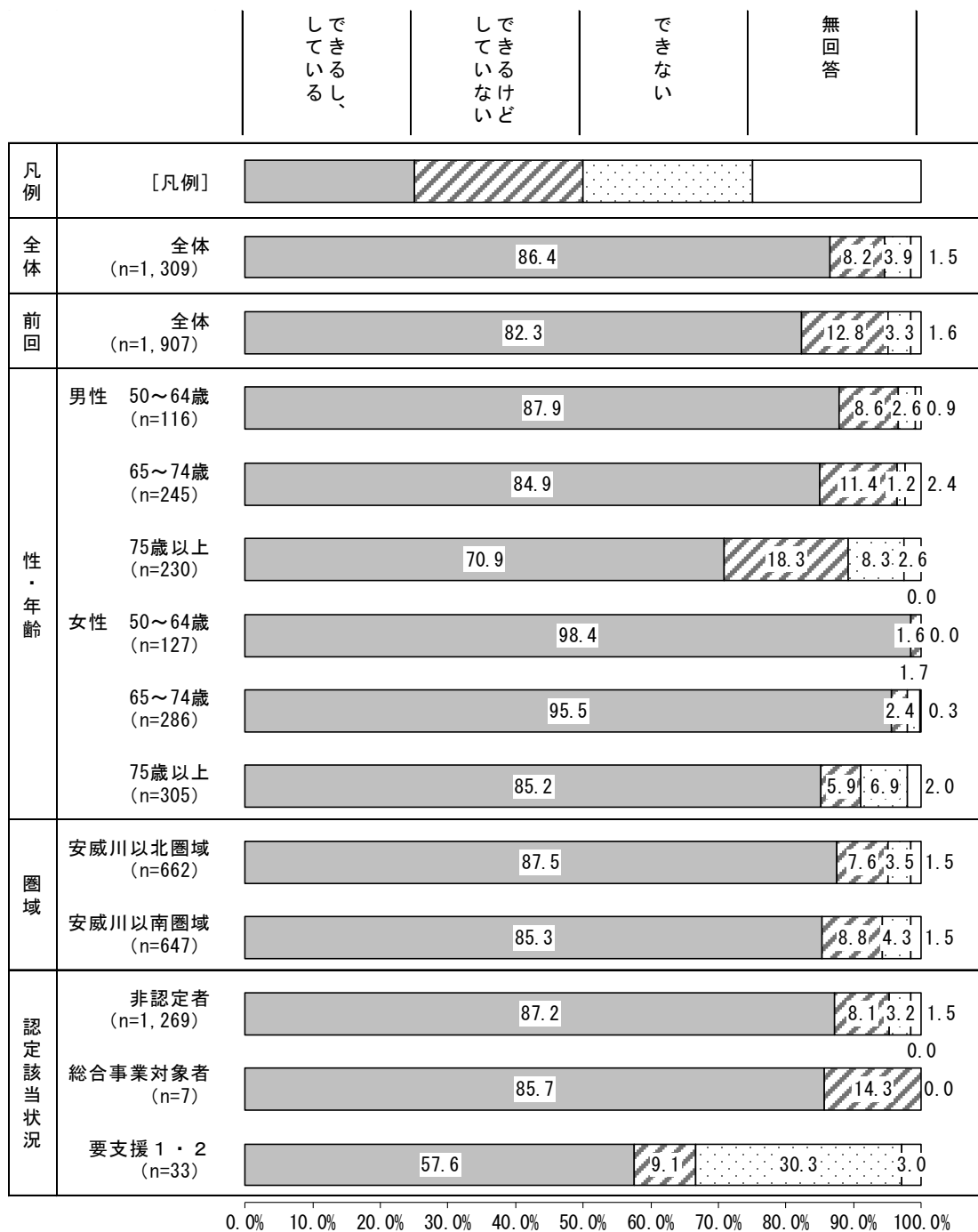
●問4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が86.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が8.2%、「できない」が3.9%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「できるし、している」が4.1ポイント多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では18.3%となっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 要支援1・2では、「できない」が30.3%となっています。

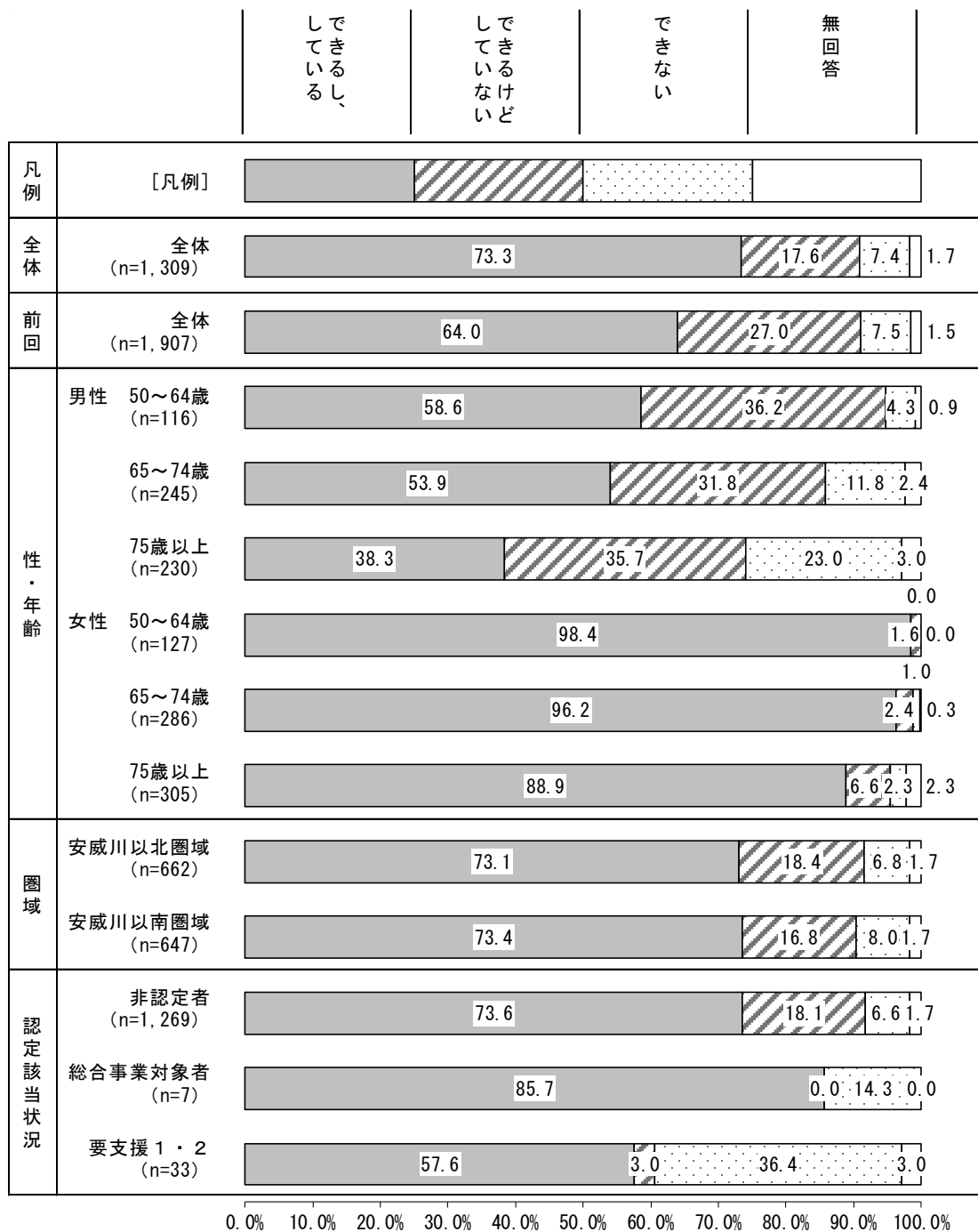
【食品・日用品の買物】



●問4.4 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 食事の用意について、「できるし、している」が73.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が7.4%となっています。
  - 前回調査に比べて、「できるし、している」が9.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できない」が23.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 要支援1・2では、「できない」が36.4%となっています。

**【食事の用意】**



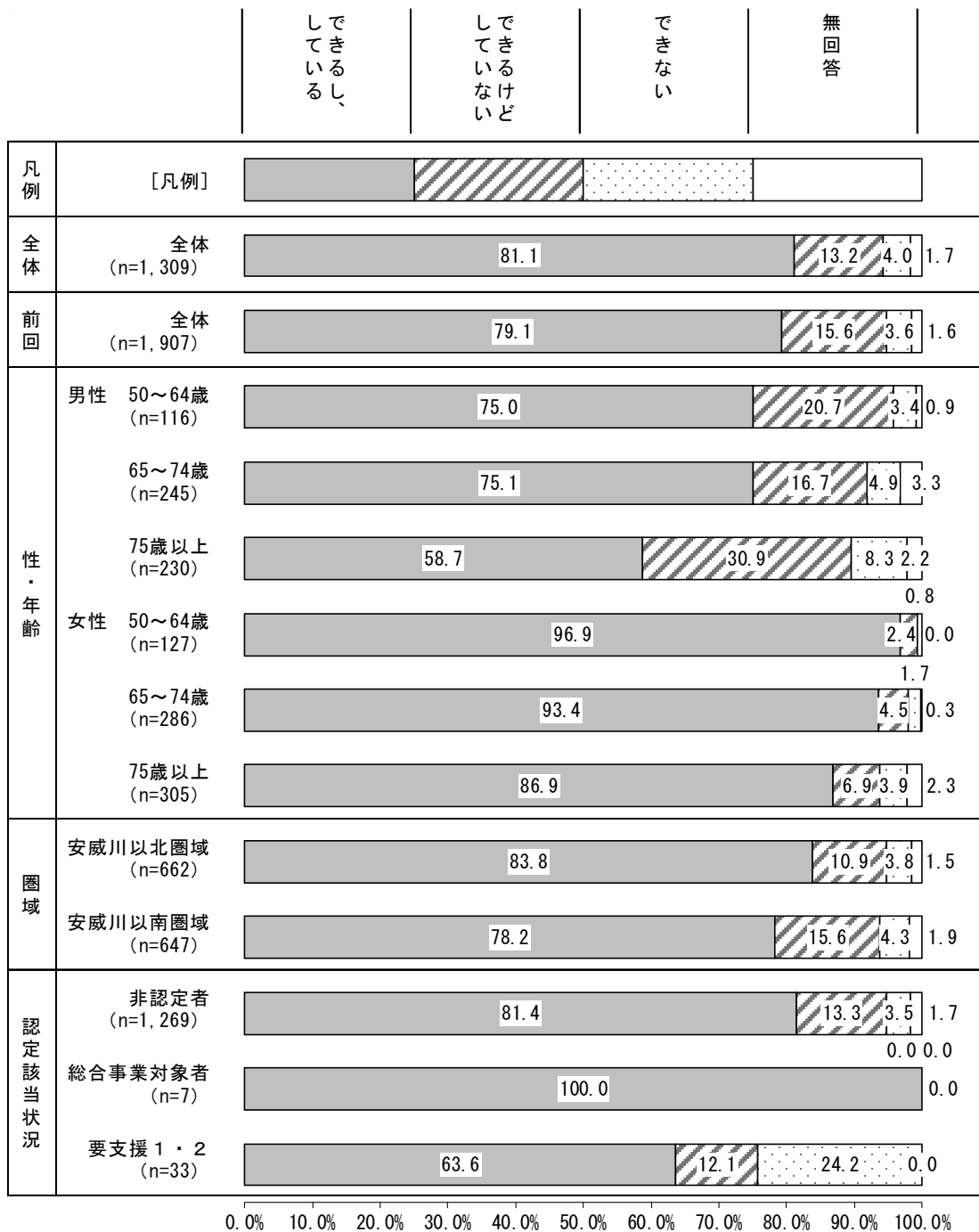
●問4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が81.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が4.0%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できるけどしていない」が30.9%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 要支援1・2では、「できない」が24.2%となっています。

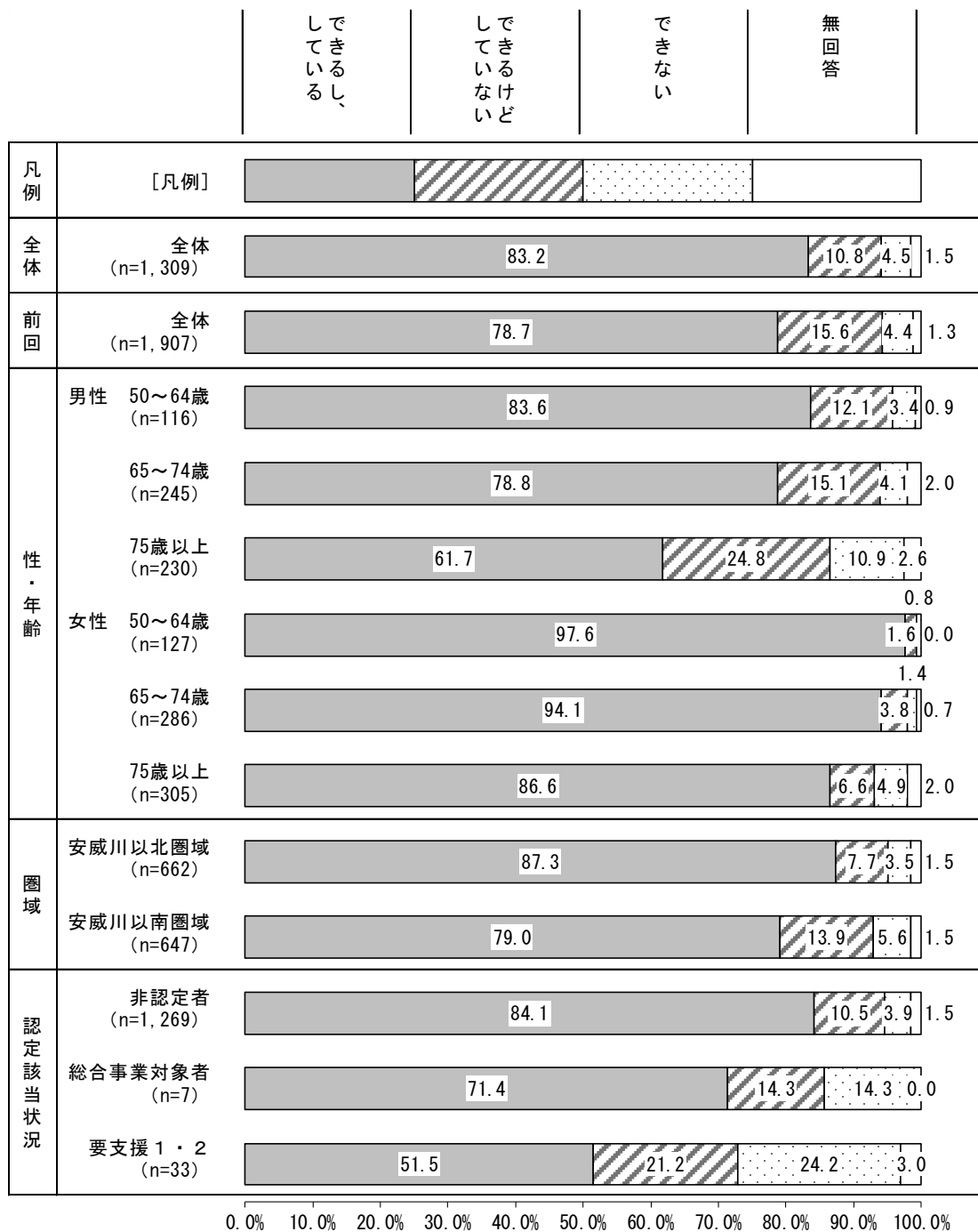
【請求書の支払い】



●問4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が 83.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 10.8%、「できない」が 4.5%となっています。
  - 前回調査に比べて、「できるし、している」が 4.5ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できるけどしていない」が 24.8%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 要支援1・2では、「できない」が 24.2%となっています。

【預貯金の出し入れ】





(3) 趣味・生きがい

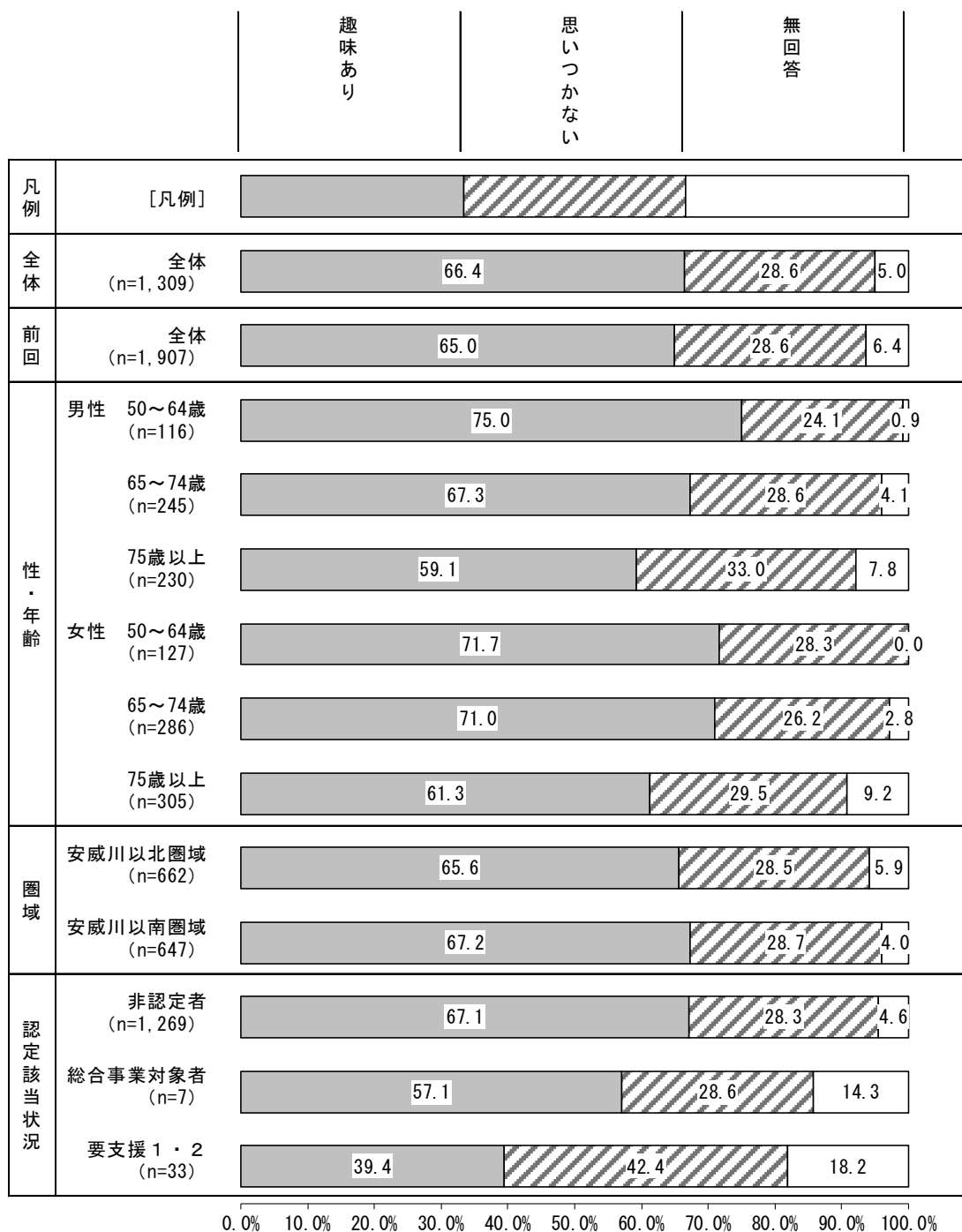
●問4.7 趣味はありますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 趣味の有無について、「趣味あり」が 66.4%、「思いつかない」が 28.6%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男性では年代が上がるほど、女性では 75 歳以上で「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「趣味あり」は、総合事業対象者では 57.1%、要支援 1・2 では 39.4%となっています。

【趣味の有無】



## 【全体】

- 趣味があると回答した人の具体的な内容としては、「スポーツ（テニス、卓球、野球など）※観戦含む」「家庭菜園（野菜づくり）、ガーデニング、庭の手入れなど」「手芸、編み物、洋裁など」「読書」といった内容が多く見られました。

## 【趣味の内容(主な内容)】

主な内容	件数
スポーツ（テニス、卓球、野球など）※観戦含む	75 件
家庭菜園（野菜づくり）、ガーデニング、庭の手入れなど	69 件
手芸、編み物、洋裁など	65 件
読書	63 件
ゴルフ	42 件
カラオケ、歌を歌うこと	36 件
音楽鑑賞、音楽活動	31 件
旅行	29 件
テレビ（ドラマ、アニメなど）	29 件
散歩、ウォーキング、ジョギング	28 件
釣り、キャンプ	28 件
体操、ヨガ、ストレッチ、太極拳	25 件
囲碁、将棋、麻雀	23 件
ドライブ、ツーリング	20 件
工芸・工作	19 件
絵を描くこと	19 件

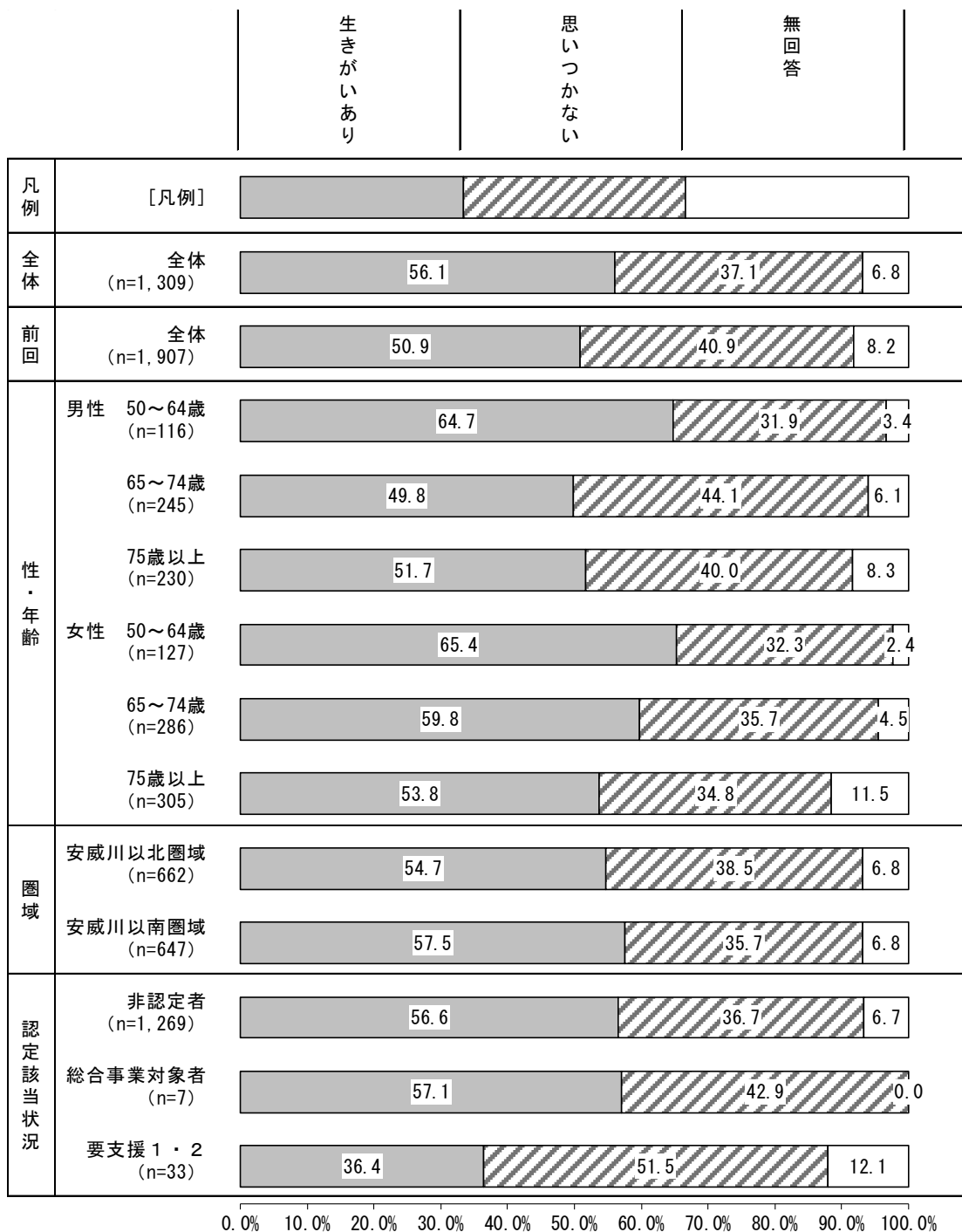
●問4.8 生きがいがありますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が56.1%、「思いつかない」が37.1%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「生きがいあり」が5.2ポイント多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男性では65歳以上で、女性では年代が上がるほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「生きがいあり」は、非認定者では56.6%、総合事業対象者では57.1%であるのに対し、要支援1・2では36.4%と少なくなっています。

【生きがいの有無】



## 【全体】

- 生きがいがあると回答した人の具体的な内容としては、「孫（子ども）の成長、孫とのふれあい」「家族の存在、家族との団らん」「楽しく暮らすこと、元気であること（健康であること）」「仕事、働くこと」といった内容が多く見られました。

## 【生きがいの内容(主な内容)】

主な内容	件数
孫（子ども）の成長、孫とのふれあい	136 件
家族の存在、家族との団らん	36 件
楽しく暮らすこと、元気であること（健康であること）	33 件
仕事、働くこと	28 件
旅行、出かけること	25 件
友人・知人との交流、ふれあい（食事会など）	24 件
ペット（犬、猫など）	23 件
趣味を楽しむこと	16 件
手芸・工作・絵・DIY	15 件
スポーツ（テニス、卓球、野球など）※観戦含む	15 件
家庭菜園（野菜づくり）、ガーデニング、庭の手入れなど	13 件
ボランティア、人の役に立つこと	11 件
グルメ、食事（食べること）	8 件
ゴルフ、グランドゴルフ	8 件

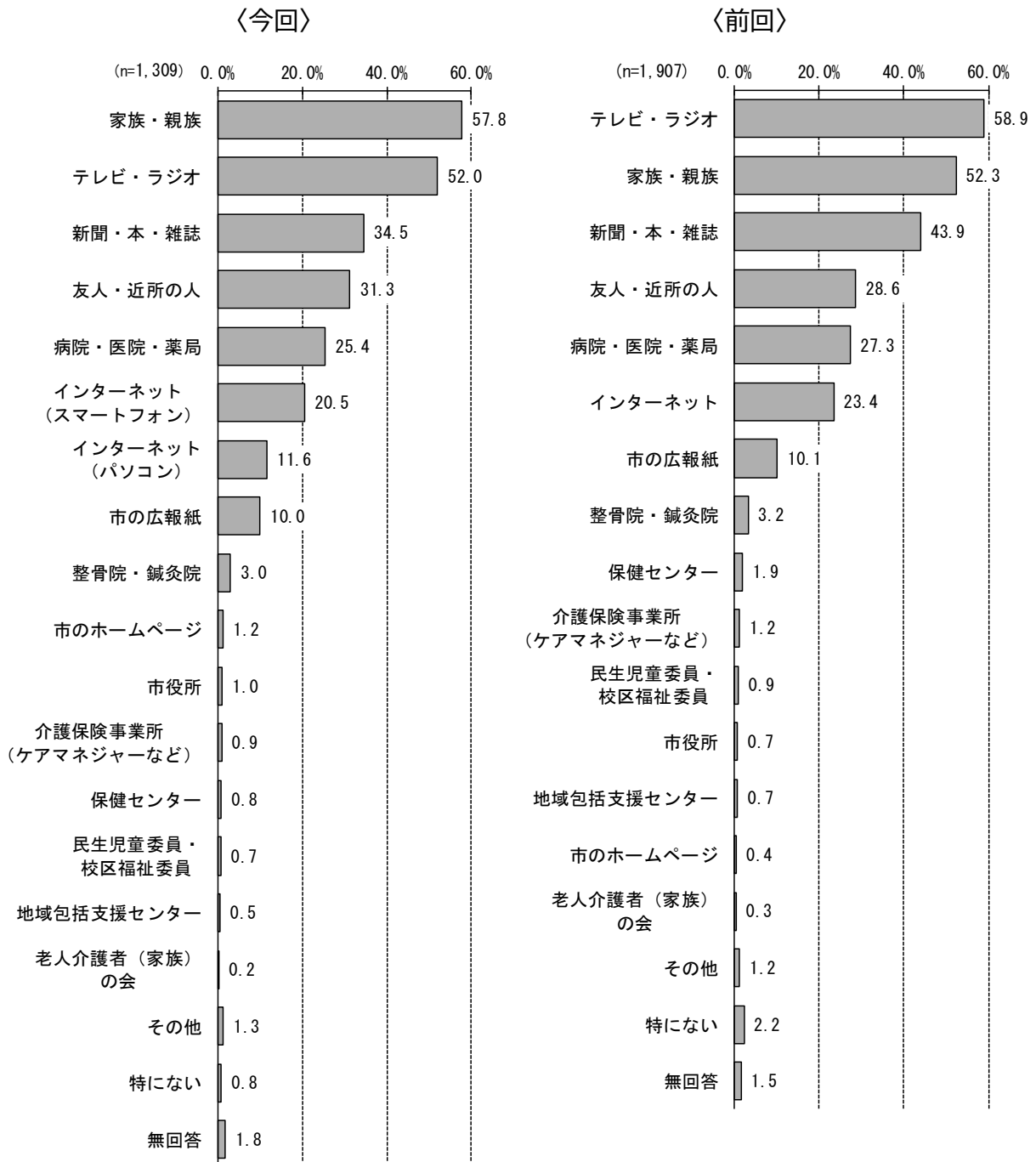
(4) 情報収集

●問4.9 あなたは、健康や日常生活の情報を、主に何（誰）から得ていますか。  
（3つまで）

**【全体】**

- 健康や日常生活の情報源について、「家族・親族」が57.8%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が52.0%、「新聞・本・雑誌」が34.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「テレビ・ラジオ」「新聞・本・雑誌」が少なく、「家族・親族」が多くなっています。

【健康や日常生活の情報源(3LA)】



【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて「友人・近所の人」が多くなっています。一方で、男性では女性に比べて「病院・医院・薬局」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では「テレビ・ラジオ」が最も多く、次いで「家族・親族」が多くなっています。
- 男女ともに75歳以上では「インターネット」が他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			家族・親族	友人・近所の	薬局・病院・医院	整骨院・鍼灸	市役所	保健センター	民生児童福祉委員
全体		1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7
性・年齢	男性 50～64歳	116	64.7	19.0	23.3	0.9	1.7	0.9	-
	65～74歳	245	53.5	18.4	33.5	1.2	2.0	2.4	-
	75歳以上	230	59.6	19.1	33.5	4.3	0.9	0.4	0.4
	女性 50～64歳	127	57.5	40.9	13.4	3.1	-	1.6	-
	65～74歳	286	60.1	44.4	19.2	1.4	-	0.3	0.3
	75歳以上	305	55.1	39.3	24.6	5.6	1.3	-	2.3

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			地域包括センター	介護保険事業所（ケアマネジャーなど）	（老人介護者の会）	市の広報紙	市のホームページ	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ
全体		1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0
性・年齢	男性 50～64歳	116	-	-	0.9	6.9	0.9	19.0	33.6
	65～74歳	245	-	0.8	-	7.8	1.6	31.8	51.8
	75歳以上	230	0.4	0.4	-	7.4	1.7	46.5	53.5
	女性 50～64歳	127	-	-	-	9.4	0.8	14.2	45.7
	65～74歳	286	0.3	0.3	-	13.3	0.7	36.7	53.5
	75歳以上	305	1.3	2.6	0.3	12.1	1.3	40.0	59.3

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)				
			インターネット（パソコン）	スマートフォン（スマートフォン）	その他	特にない	無回答
全体		1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8
性・年齢	男性 50～64歳	116	23.3	37.1	2.6	1.7	0.9
	65～74歳	245	21.6	19.6	0.4	-	2.4
	75歳以上	230	8.3	6.1	0.4	0.9	3.9
	女性 50～64歳	127	21.3	52.0	5.5	0.8	-
	65～74歳	286	7.0	26.2	0.7	1.7	0.3
	75歳以上	305	2.0	7.2	1.0	0.3	2.0

単位：％

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
		家族・親族	友人・近所の	薬局・病院・医院・	整骨院・鍼灸	市役所	保健センター	民生児童福祉委員・校区福祉
全体	1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7
圏域	安威川以北圏域	662	56.5	29.5	25.1	2.9	1.4	0.9
	安威川以南圏域	647	59.0	33.2	25.8	3.1	0.6	0.5
当該状況	非認定者	1,269	58.5	31.6	25.0	3.1	1.0	0.6
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-
	要支援1・2	33	39.4	21.2	42.4	-	-	3.0

単位：％

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
		地域包括センター	介護保険事業所(ケアマネジャーなど)	老人介護者会(家族)	市の広報紙	市のホームページ	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ
全体	1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0
圏域	安威川以北圏域	662	0.3	1.2	0.2	10.0	1.5	36.1
	安威川以南圏域	647	0.6	0.6	0.2	10.0	0.9	32.9
当該状況	非認定者	1,269	0.2	-	0.2	10.1	1.3	34.4
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	28.6	57.1
	要支援1・2	33	9.1	36.4	-	9.1	-	42.4

単位：％

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)					
		インターネット(パソコン)	スマートフォン(スマートフォン)	その他	特にない	無回答	
全体	1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8	
圏域	安威川以北圏域	662	13.9	20.8	1.4	0.8	1.8
	安威川以南圏域	647	9.3	20.1	1.2	0.9	1.7
当該状況	非認定者	1,269	11.8	21.1	1.3	0.9	1.6
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	28.6
	要支援1・2	33	6.1	-	3.0	-	3.0

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「テレビ・ラジオ」が60.4%で最も多く、次いで「友人・近所の人」が38.5%となっています。また、「家族・親族」が他の家族構成区分と比べて少なく、「病院・医院・薬局」と同数になっています。

単位：%

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			家族・親族	友人・近所の	薬局・病院・医院・	整形外科・鍼灸	市役所	保健センター	民生児童福祉委員・校区福祉社
全体		1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7
家族構成	1人暮らし	260	30.4	38.5	30.4	2.7	2.7	0.8	3.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	67.0	31.5	27.1	2.9	0.6	1.3	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	53.0	17.4	24.3	1.7	1.7	0.9	-
	息子・娘との2世帯	172	69.2	30.2	25.0	4.7	-	0.6	-
	その他	258	62.8	32.2	19.0	3.1	0.4	0.4	0.4

単位：%

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			地域包括支援センター	介護保険事業所(ケアマネジャーなど)	(老人介護)の会	市の広報紙	市のホームページ	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ
全体		1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0
家族構成	1人暮らし	260	0.4	1.9	0.8	12.7	1.9	26.5	60.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	0.4	1.1	-	9.0	0.8	42.4	52.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	0.9	-	-	9.6	1.7	33.0	47.0
	息子・娘との2世帯	172	0.6	1.2	-	11.0	2.3	27.3	51.2
	その他	258	-	-	-	8.1	-	33.7	45.7

単位：%

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)				
			インターネット	スマートフォン	その他	特にない	無回答
全体		1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8
家族構成	1人暮らし	260	10.0	17.7	1.2	-	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	8.0	16.0	0.4	0.8	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	25.2	29.6	1.7	0.9	2.6
	息子・娘との2世帯	172	11.0	22.1	-	1.2	1.2
	その他	258	15.5	28.3	3.5	1.6	1.6



## 6. 地域での活動について

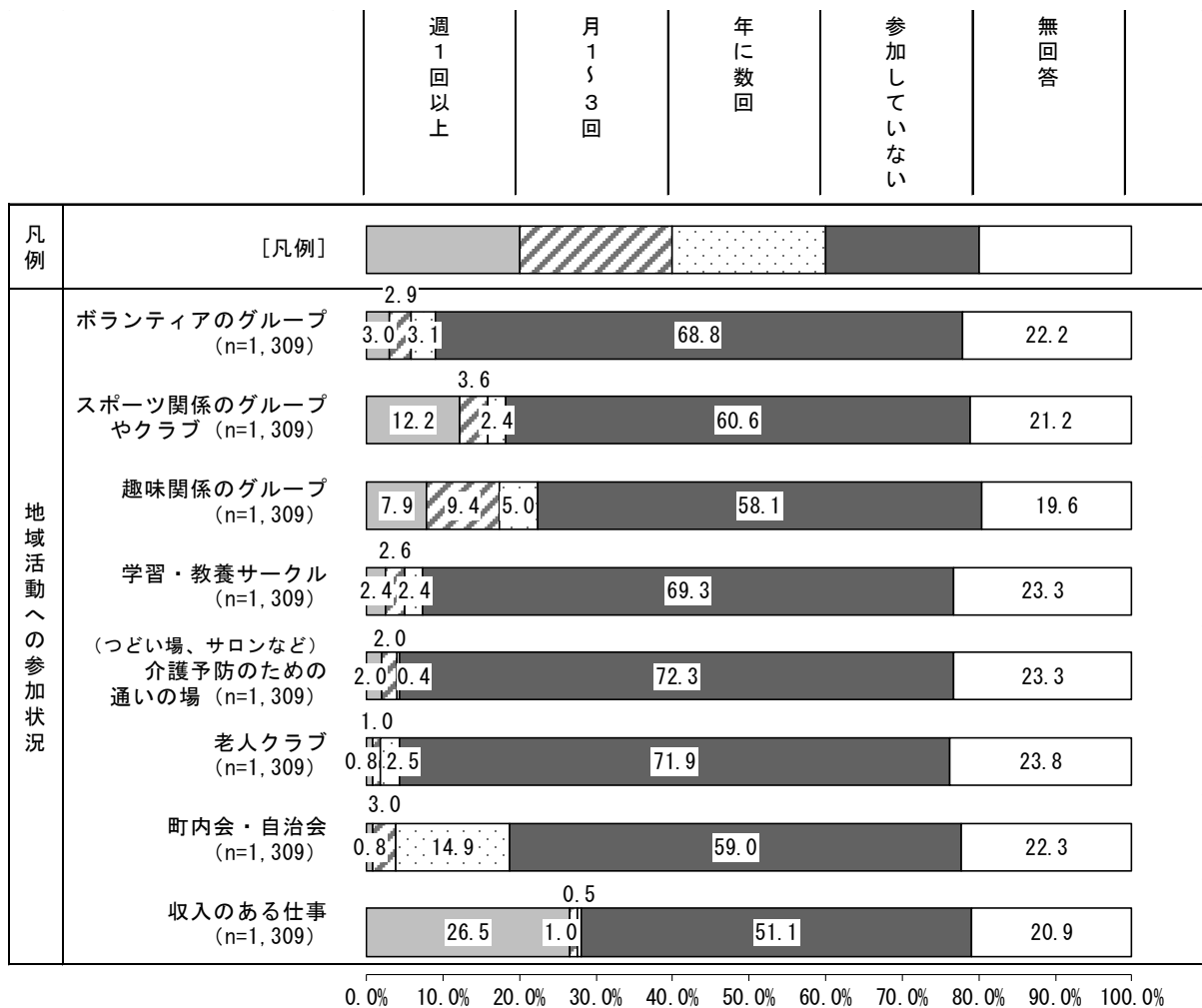
### (1) 地域活動への参加状況

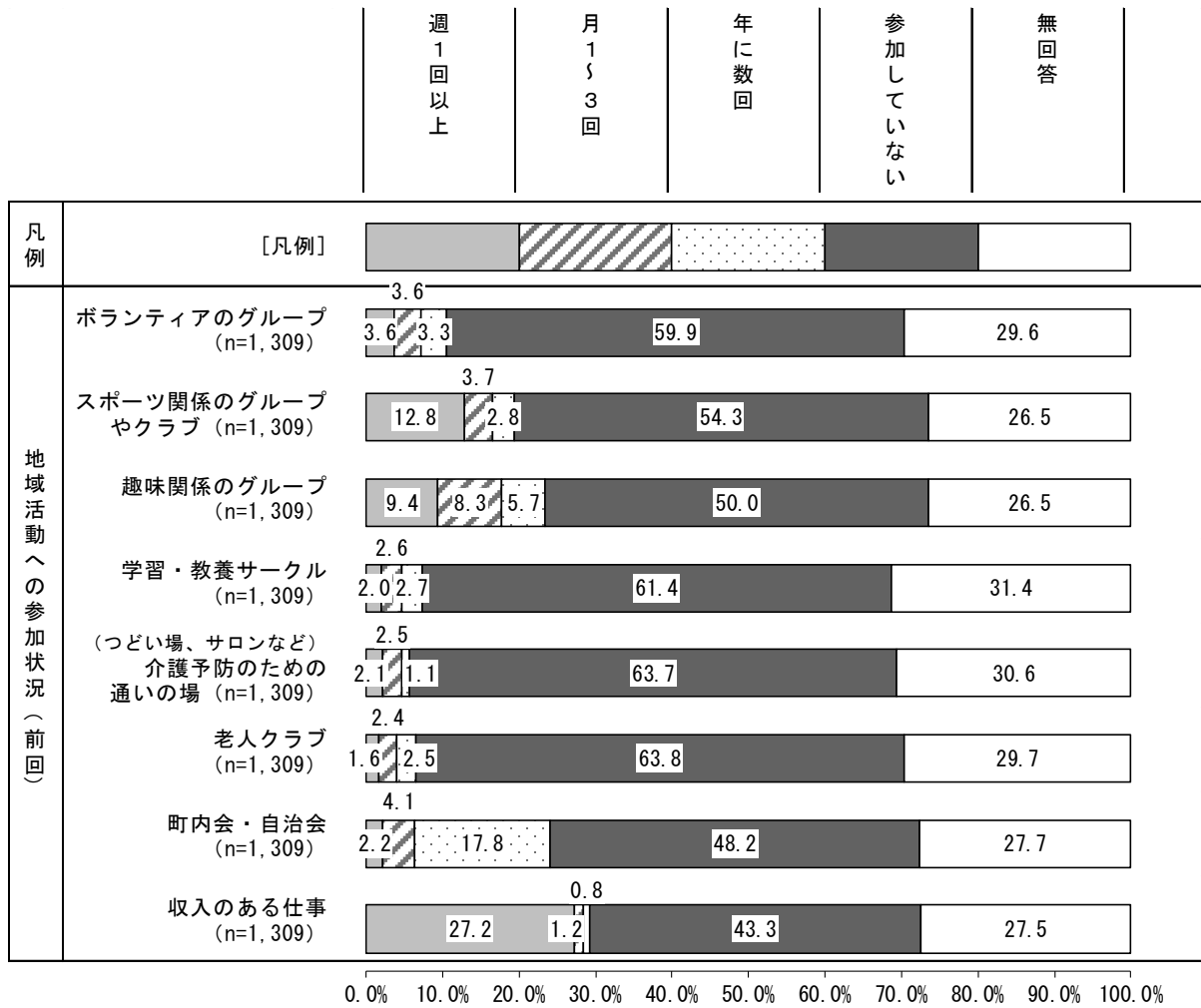
- 問5.1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。  
(それぞれ1つだけ)

**【全体】**

- 地域活動への参加頻度について、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた“参加している”は、「収入のある仕事」に次いで、「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」「スポーツ関係のグループやクラブ」となっています。
- 「週1回以上」は、「収入のある仕事」が26.5%で最も多く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が12.2%となっています。
- 「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「(つどい場、サロンなど)介護予防のための通いの場」「老人クラブ」では、「参加していない」が約7割と他の活動に比べて多くなっています。

【地域活動への参加頻度】





【性・年齢】

- 男女ともに年代が下がるほど「収入のある仕事」が多くなる傾向がみられます。特に、男性（50～64歳）では63.8%となっています。
- 男性（75歳以上）では、「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.4%で最も多く、次いで「収入のある仕事」が13.1%となっています。
- 女性（75歳以上）では、「趣味関係のグループ」が19.0%で最も多く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.9%となっています。また、「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 女性（65～74歳）では、「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」で他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「スポーツ関係のグループやクラブ」が28.6%で最も多く、次いで「ボランティアのグループ」「趣味関係のグループ」「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」がいずれも14.3%となっています。
- 要支援1・2では、「趣味関係のグループ」「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」がともに12.1%で最も多くなっています。

単位：%

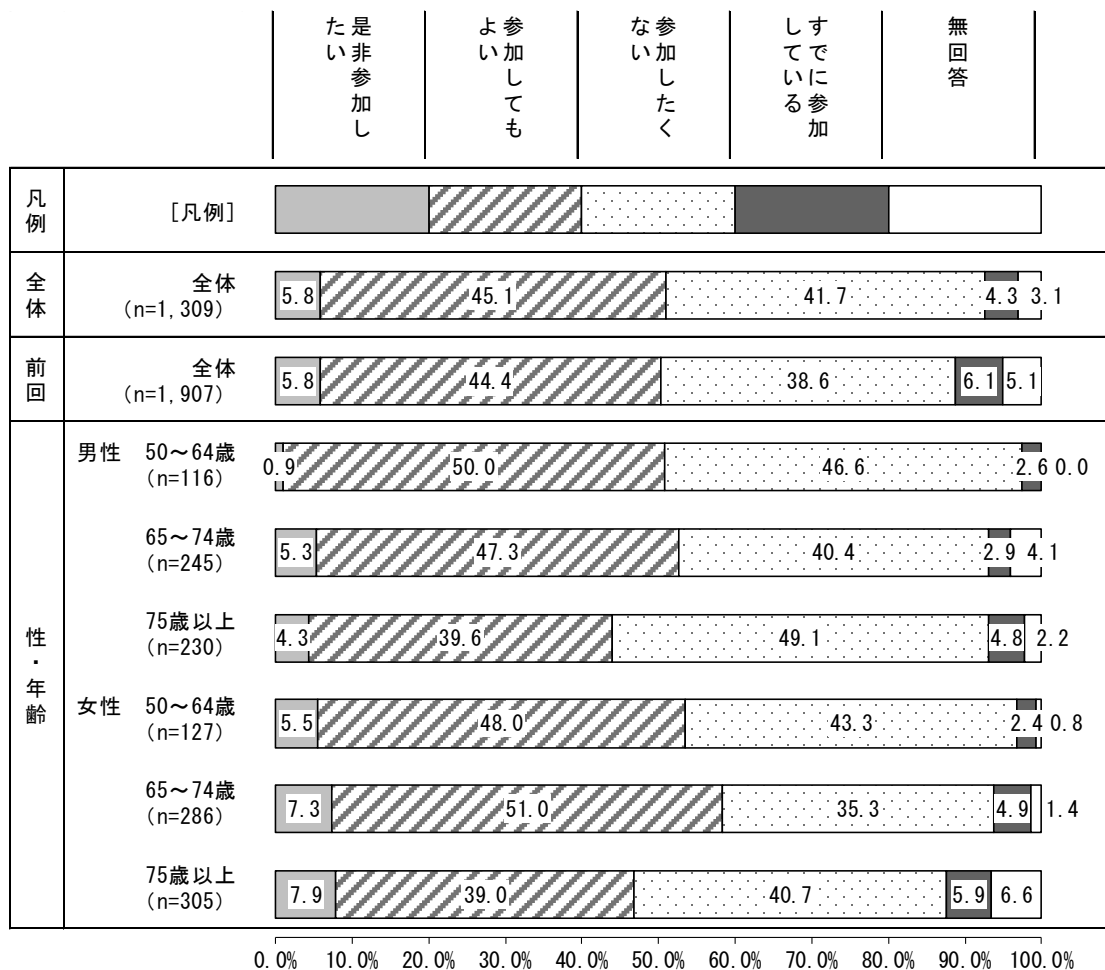
		母数 (n)	月1回以上参加							
			ボ ラ ン テ ィ ア の	グ ル ー プ の	ス ポ ー ツ 関 係 の	グ ル ー プ の	学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	予 防 の た め の 通 い の 場	ロ ン の た め の 通 い の 場	老 人 ク ラ ブ
全体		1,309	5.9	15.8	17.3	5.0	4.0	1.8	3.8	27.5
性・年齢	男性 50～64歳	116	4.3	14.7	13.8	0.9	2.6	0.9	2.6	63.8
	65～74歳	245	6.5	13.1	15.9	3.7	1.2	0.8	5.3	37.5
	75歳以上	230	4.7	13.4	10.8	1.3	3.5	0.4	5.7	13.1
	女性 50～64歳	127	3.2	16.5	17.4	5.6	1.6	0.8	2.4	55.9
	65～74歳	286	10.0	22.2	23.3	9.4	3.8	1.3	3.8	24.8
	75歳以上	305	3.9	13.9	19.0	5.9	8.2	4.6	2.2	7.6
圏域	安威川以北圏域	662	7.3	15.9	16.7	5.9	3.8	1.5	3.5	28.9
	安威川以南圏域	647	4.5	15.8	18.1	4.1	4.2	2.2	4.3	26.3
当認定状況	非認定者	1,269	5.9	16.0	17.5	5.0	3.7	1.8	3.9	28.3
	総合事業対象者 要支援1・2	7 33	14.3 3.0	28.6 3.0	14.3 12.1	- 3.0	14.3 12.1	- 3.0	- -	- 3.0

(2) 地域づくりへの参加意向

- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

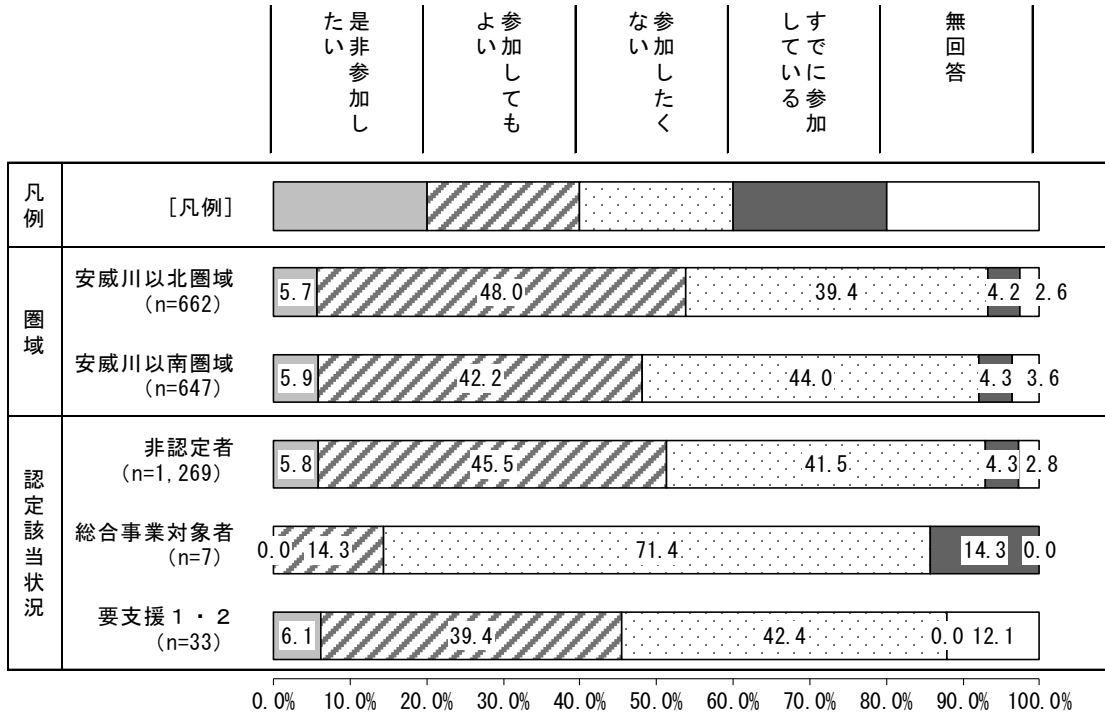
**【全体】**  
 ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が45.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が41.7%、「是非参加したい」が5.8%となっています。  
 ○ 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は50.9%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに65～74歳で他の性・年齢区分に比べて“参加意向あり”が多くなっています。特に、女性では58.3%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



**【圏域】**  
 ○ “参加意向あり”は、安威川以北圏域では 53.7%、安威川以南圏域では 48.1%となっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ “参加意向あり”は、非認定者では51.3%、総合事業対象者では14.3%、要支援1・2では45.5%となっています。



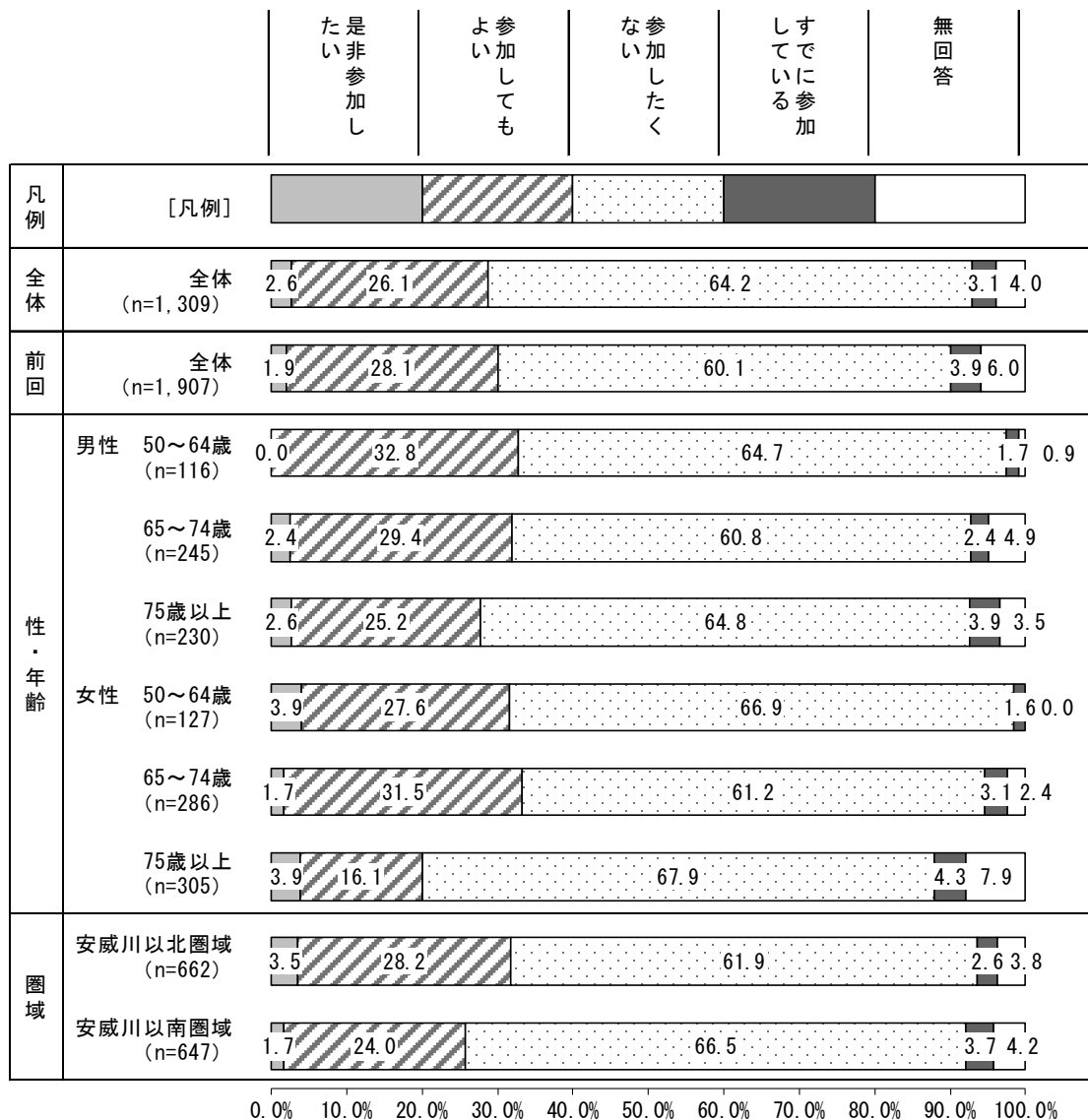
- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

**【全体】**  
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が64.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.1%、「すでに参加している」が3.1%となっています。  
 ○ 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は28.7%となっています。

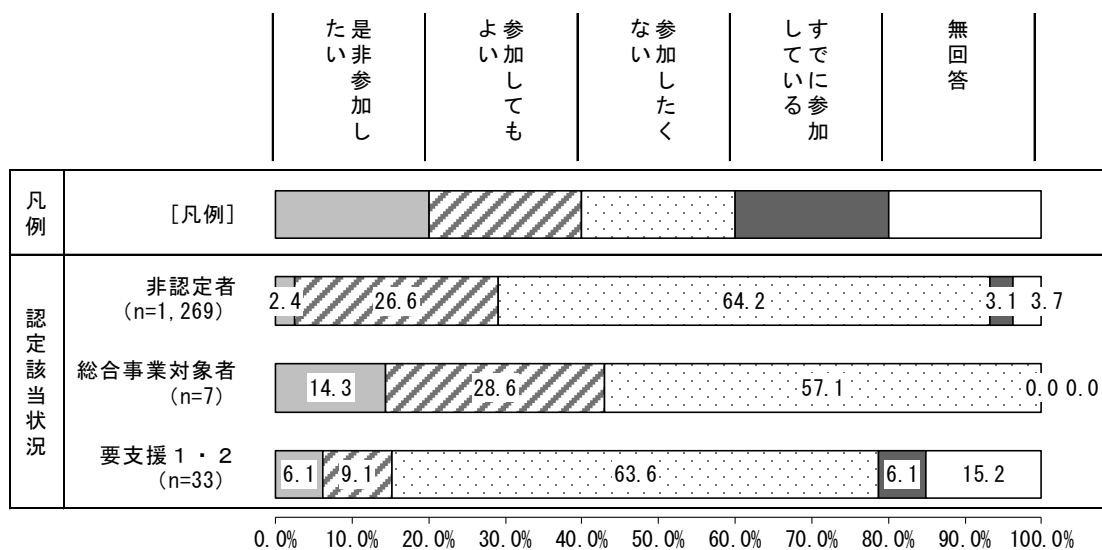
**【性・年齢】**  
 ○ 男性（75歳以上）では女性（75歳以上）に比べて“参加意向あり”が多くなっています。

**【圏域】**  
 ○ “参加意向あり”は、安威川以北圏域では31.7%、安威川以南圏域では25.7%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



【認定該当状況】  
 ○ “参加意向あり”は、非認定者では29.0%、総合事業対象者では42.9%、要支援1・2では15.2%となっています。

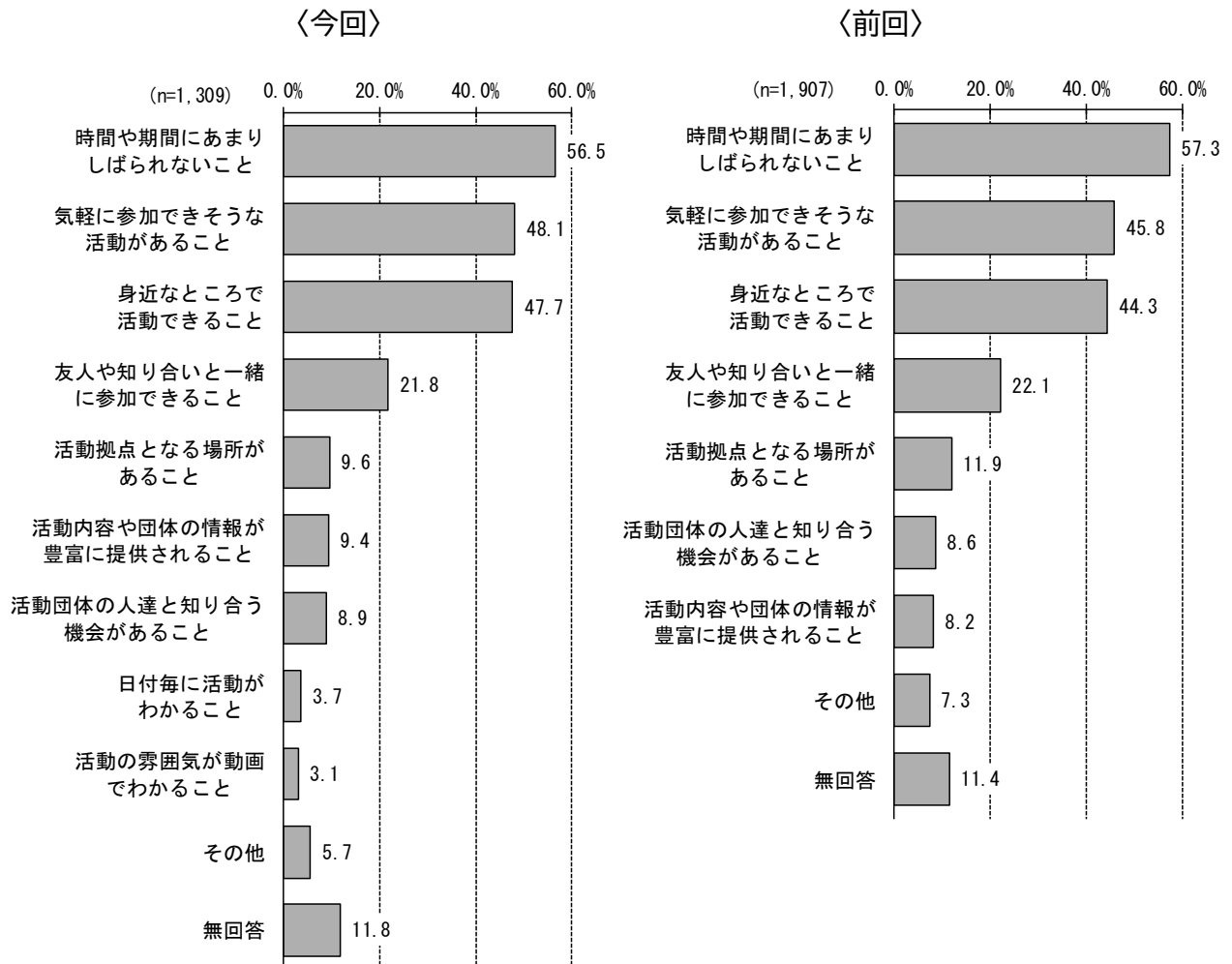


●問5.4 今後、あなたが社会的活動に参加する場合、どのような条件や環境があれば参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも)

【全体】

- 社会的活動への参加のための条件や環境について、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が 56.5%で最も多く、次いで「気軽に参加できそうな活動があること」が 48.1%、「身近なところで活動できること」が 47.7%となっています。
- 前回調査に比べて、「身近なところで活動できること」が 3.4 ポイント多くなっています。

【社会的活動への参加のための条件や環境(MA)】





【性・年齢】

- 男女ともに 74 歳以下では 75 歳以上に比べて「時間や期間にあまりしばられないこと」が約 6～7 割と多くなっています。一方で、75 歳以上では「時間や期間にあまりしばられないこと」「身近なところで活動できること」「気軽に参加できそうな活動があること」がいずれも約 4～5 割となっています。
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「友人や知り合いと一緒に参加できること」が多くなっています。
- 男性（50～64 歳）では、「活動内容や団体の情報が豊富に提供されること」が 20.7% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「時間や期間にあまりしばられないこと」「気軽に参加できそうな活動があること」が多くなっています。
- 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「友人や知り合いと一緒に参加できること」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援 1・2 では「身近なところで活動できること」「気軽に参加できそうな活動があること」が多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	社会的活動への参加のための条件や環境 (MA)						
		いま時 こり間 としや ば期 ら間 れに なあ	活身 動近 でな きと ころ とで	るそ気 こう軽 となに 活参 動加 がで あき	きと友 る一人 こ緒や とに知 り参 り加 合 でい	提の活 供情動 さ報内 れが容 る豊や こ富団 とに体	がと活 あり知 るり団 こ合 このの 機人 会達	
全体	1,309	56.5	47.7	48.1	21.8	9.4	8.9	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	68.1	41.4	44.8	14.7	20.7	8.6
	65～74歳	245	64.1	47.3	53.5	11.4	9.4	8.6
	75歳以上	230	48.7	43.5	39.6	18.7	4.3	8.3
	女性 50～64歳	127	68.5	53.5	60.6	22.8	12.6	8.7
	65～74歳	286	62.9	57.3	54.9	26.9	11.5	10.1
	75歳以上	305	40.7	42.0	40.0	30.2	5.6	8.9
圏 域	安威川以北圏域	662	59.5	49.7	51.2	19.3	10.0	11.0
	安威川以南圏域	647	53.3	45.6	45.0	24.4	8.8	6.8
当認 状定 況該	非認定者	1,269	57.4	48.1	48.7	22.0	9.6	9.0
	総合事業対象者	7	28.6	42.9	42.9	14.3	14.3	28.6
	要支援 1・2	33	24.2	30.3	27.3	18.2	-	3.0

単位：%

	母数 (n)	社会的活動への参加のための条件や環境 (MA)					
		場活 所動 が拠 あ点 ると こな とる	と動活 画動 での わ雰 か困 る気 こが	わ日 か付 る毎 こに と活 動が	そ の 他	無 回 答	
全体	1,309	9.6	3.1	3.7	5.7	11.8	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	13.8	4.3	3.4	3.4	2.6
	65～74歳	245	9.8	4.5	1.6	6.5	9.8
	75歳以上	230	11.3	2.2	4.3	7.8	17.8
	女性 50～64歳	127	9.4	7.1	3.9	4.7	3.9
	65～74歳	286	8.7	1.4	3.5	4.5	5.9
	75歳以上	305	7.5	2.0	4.9	5.6	21.0
圏 域	安威川以北圏域	662	10.3	3.6	3.8	5.6	9.5
	安威川以南圏域	647	9.0	2.5	3.6	5.7	14.1
当認 状定 況該	非認定者	1,269	9.7	3.2	3.7	5.3	11.2
	総合事業対象者	7	14.3	-	-	-	28.6
	要支援 1・2	33	6.1	-	3.0	21.2	30.3

## 7. たすけあいについて

### (1) 周囲との関係

●問6.1 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (いくつでも)

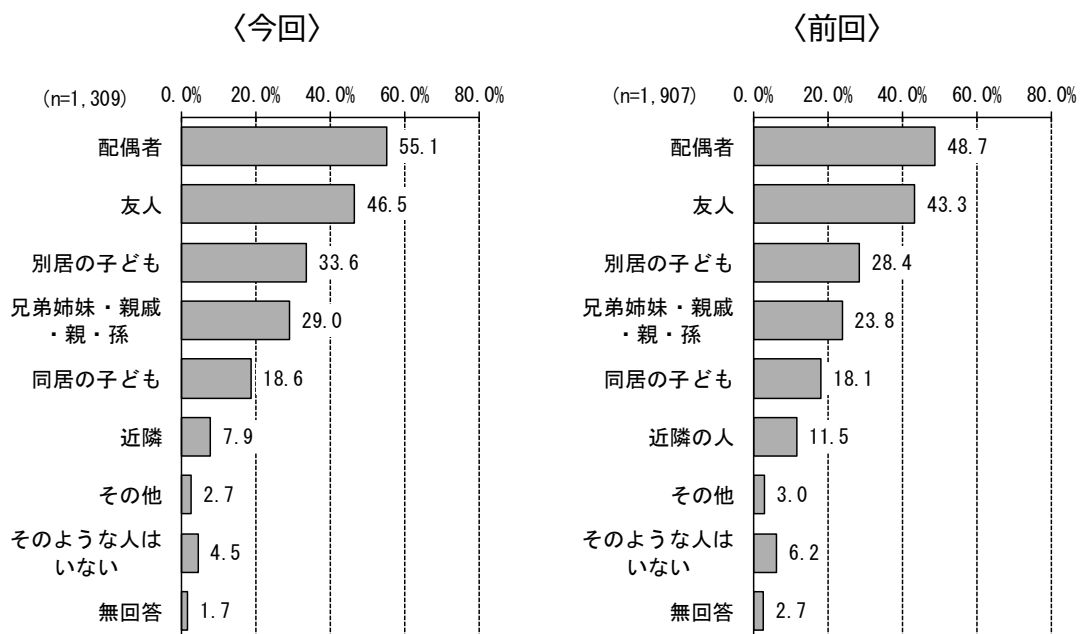
【全体】

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 55.1%で最も多く、次いで「友人」が 46.5%、「別居の子ども」が 33.6%となっています。
- 前回調査に比べて、上位4項目の割合が多くなっています。

【性・年齢】

- 男性では、年代によらず「配偶者」が約7割で最も多くなっています。一方で、年代が上がるほど「同居の子ども」「友人」は少なくなる傾向がみられます。
- 女性では、74歳以下では「友人」が約6～7割、「配偶者」が約5割で多くなっていますが、75歳以上ではそれぞれ46.6%、31.1%と少なくなっています。また、75歳以上では、「近隣」を除くほとんどの項目で74歳以下に比べて少なくなっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



単位：%

	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫親兄弟姉妹・親戚	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7	
性・年齢	男性 50～64歳	116	70.7	15.5	17.2	26.7	0.9	41.4	5.2	4.3	0.9
	65～74歳	245	67.3	11.0	20.0	17.1	4.1	36.3	1.6	9.0	2.4
	75歳以上	230	71.3	10.9	31.3	19.6	5.2	29.1	2.6	4.3	0.9
	女性 50～64歳	127	50.4	37.0	29.1	42.5	5.5	67.7	4.7	6.3	0.8
	65～74歳	286	52.8	25.9	49.3	41.3	11.5	61.9	1.0	1.4	0.3
	75歳以上	305	31.1	17.4	39.7	29.5	13.1	46.6	3.3	3.3	3.6
圏域	安威川以北圏域	662	56.6	15.6	31.4	29.3	5.6	46.4	3.2	5.6	1.8
	安威川以南圏域	647	53.5	21.8	35.9	28.7	10.2	46.7	2.2	3.4	1.5
当認状況該	非認定者	1,269	55.9	18.9	33.5	29.5	7.8	47.1	2.6	4.3	1.7
	総合事業対象者	7	28.6	14.3	28.6	-	-	57.1	14.3	-	-
	要支援1・2	33	27.3	9.1	39.4	18.2	12.1	21.2	3.0	12.1	3.0

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が13.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

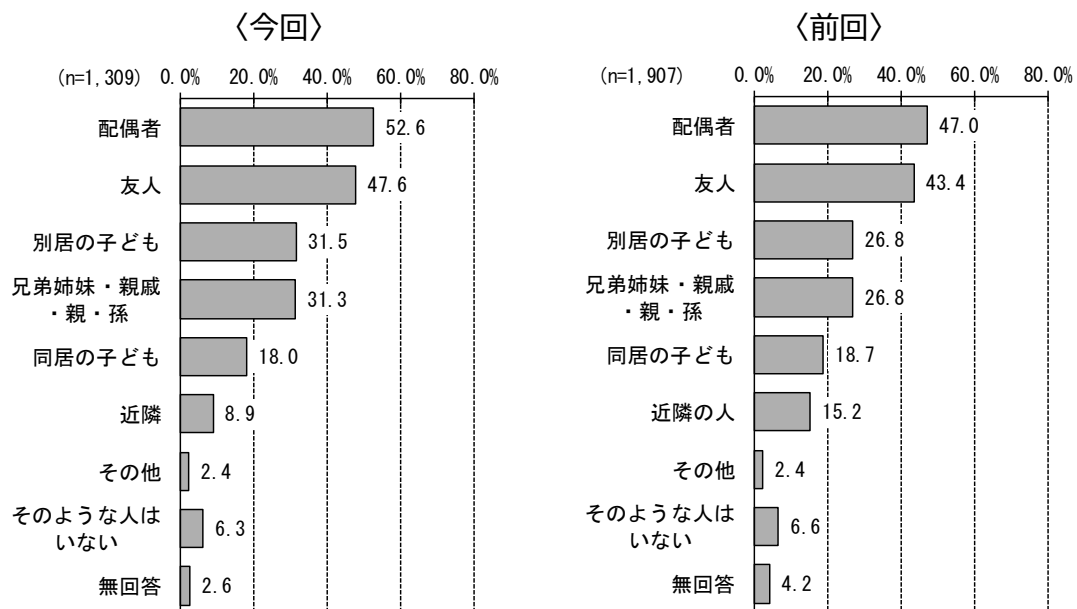
単位：%

	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・親妹・	近隣	友人	その他	人そのいよういな	無回答	
全体	1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7	
家族構成	1人暮らし	260	2.3	0.8	37.7	30.0	12.3	55.8	3.1	13.5	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	81.9	2.1	40.3	26.7	8.4	42.4	1.5	1.3	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	91.3	5.2	28.7	23.5	3.5	37.4	2.6	2.6	0.9
	息子・娘との2世帯	172	50.6	61.6	28.5	27.3	7.0	45.9	3.5	4.1	-
	その他	258	46.1	43.4	23.6	34.5	5.0	51.6	4.3	2.3	1.6

●問6.1 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (いくつでも)

- 【全体】**
- 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 52.6%で最も多く、次いで「友人」が47.6%、「別居の子ども」が31.5%となっています。
  - 前回調査に比べて、上位4項目の割合が多く、「近隣」が少なくなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性では、年代によらず「配偶者」が約6～7割で最も多くなっています。一方で、年代が上がるほど「同居の子ども」「友人」が少なくなる傾向がみられます。
  - 女性では、74歳以下では「友人」が約6～7割、「配偶者」が約5割で多くなっていますが、75歳以上ではそれぞれ47.9%、28.9%と少なくなっています。
- 【家族構成】**
- 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が15.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



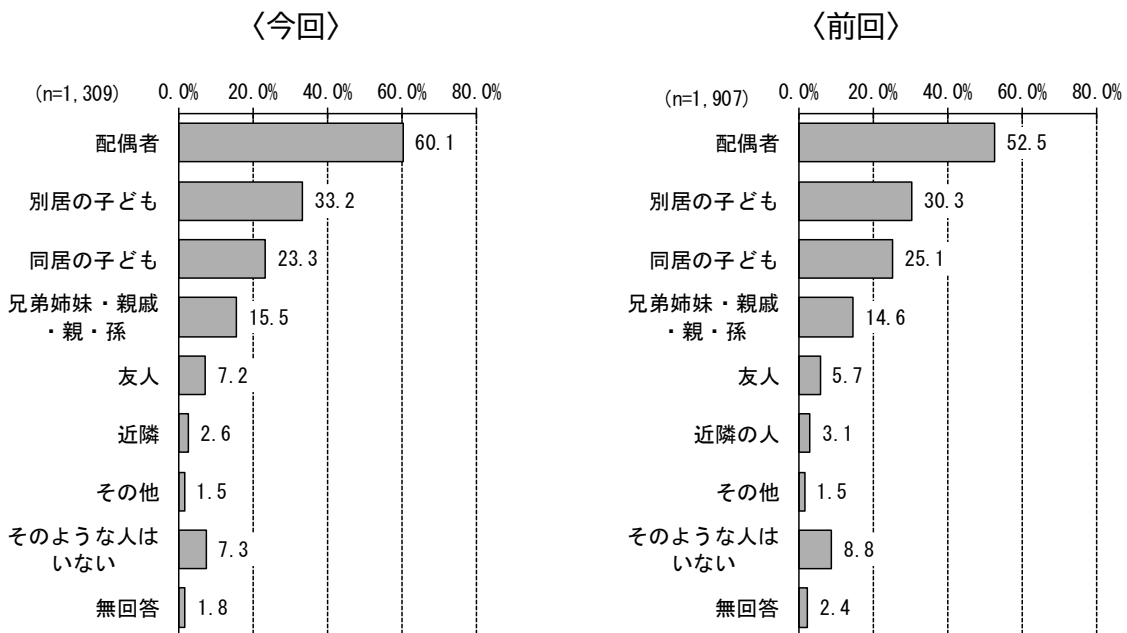
単位：%

性・年齢	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,309	52.6	18.0	31.5	31.3	8.9	47.6	2.4	6.3	2.6	
性・年齢	男性 50～64歳	116	69.0	19.0	18.1	28.4	0.9	44.0	4.3	6.9	-
	65～74歳	245	67.8	12.7	24.5	18.4	4.1	35.1	2.0	10.2	3.7
	75歳以上	230	63.5	11.3	24.8	21.3	5.2	29.6	2.2	9.1	2.6
	女性 50～64歳	127	50.4	38.6	29.9	53.5	7.1	70.1	4.7	1.6	-
	65～74歳	286	50.3	23.4	47.6	43.7	14.7	64.0	0.7	1.4	1.4
75歳以上	305	28.9	13.4	32.8	29.5	14.1	47.9	2.6	7.2	4.9	
圏域	安威川以北圏域	662	53.9	15.9	30.5	31.4	7.4	46.5	2.9	6.3	2.9
	安威川以南圏域	647	51.2	20.2	32.5	31.2	10.5	48.7	1.9	6.2	2.3
当認状況	非認定者	1,269	53.8	18.4	31.9	31.8	8.8	48.2	2.4	5.8	2.2
	総合事業対象者	7	14.3	-	14.3	14.3	-	42.9	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	12.1	6.1	18.2	15.2	15.2	24.2	-	24.2	15.2
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.8	30.0	30.4	13.8	54.2	4.2	15.4	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	77.3	2.5	37.2	28.6	9.2	43.5	0.8	3.8	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	86.1	7.0	33.9	28.7	4.3	37.4	3.5	5.2	1.7
	息子・娘との2世帯	172	50.6	53.5	26.2	32.0	6.4	49.4	2.3	4.7	0.6
	その他	258	46.5	43.0	25.6	38.0	7.0	53.5	3.1	2.7	0.8

●問6.1 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

- 【全体】**
- 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が60.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が33.2%、「同居の子ども」が23.3%となっています。
  - 前回調査に比べて、上位2項目の割合が多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性では、年代によらず「配偶者」が7割以上で最も多く、年代が上がるほど「別居の子ども」も多くなる傾向がみられます。一方で、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」は少なくなる傾向がみられます。
  - 女性では、74歳以下では「配偶者」が約6割で多くなっていますが、75歳以上では38.7%と少なくなっています。また、50～64歳では「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、65歳以上では代わって「別居の子ども」が多くなっています。
  - 男性(50～64歳)では、「そのような人はいない」が10.3%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【看病や世話をしてくれる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	
全体		1,309	60.1	23.3	33.2	15.5	2.6	7.2	1.5	7.3	1.8
性・年齢	男性 50～64歳	116	70.7	22.4	13.8	15.5	-	5.2	2.6	10.3	-
	65～74歳	245	70.6	17.1	25.7	12.2	0.8	4.9	1.2	8.2	2.9
	75歳以上	230	75.7	13.9	33.5	9.6	1.7	2.6	1.3	7.4	1.7
	女性 50～64歳	127	58.3	43.3	19.7	29.1	3.1	8.7	-	7.1	-
	65～74歳	286	58.0	28.3	42.0	16.8	4.5	11.9	0.3	3.5	1.0
	75歳以上	305	38.7	22.6	43.9	15.7	3.6	8.2	3.3	8.9	3.0
圏域	安威川以北圏域	662	61.9	20.1	31.0	15.0	1.4	8.0	1.4	8.8	1.5
	安威川以南圏域	647	58.3	26.6	35.5	16.1	3.9	6.3	1.7	5.7	2.0
当認状況	非認定者	1,269	61.1	23.5	32.9	15.8	2.5	7.2	1.5	7.1	1.7
	総合事業対象者	7	42.9	14.3	42.9	-	-	-	14.3	-	-
	要支援1・2	33	27.3	18.2	45.5	6.1	6.1	6.1	-	15.2	3.0

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が 26.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

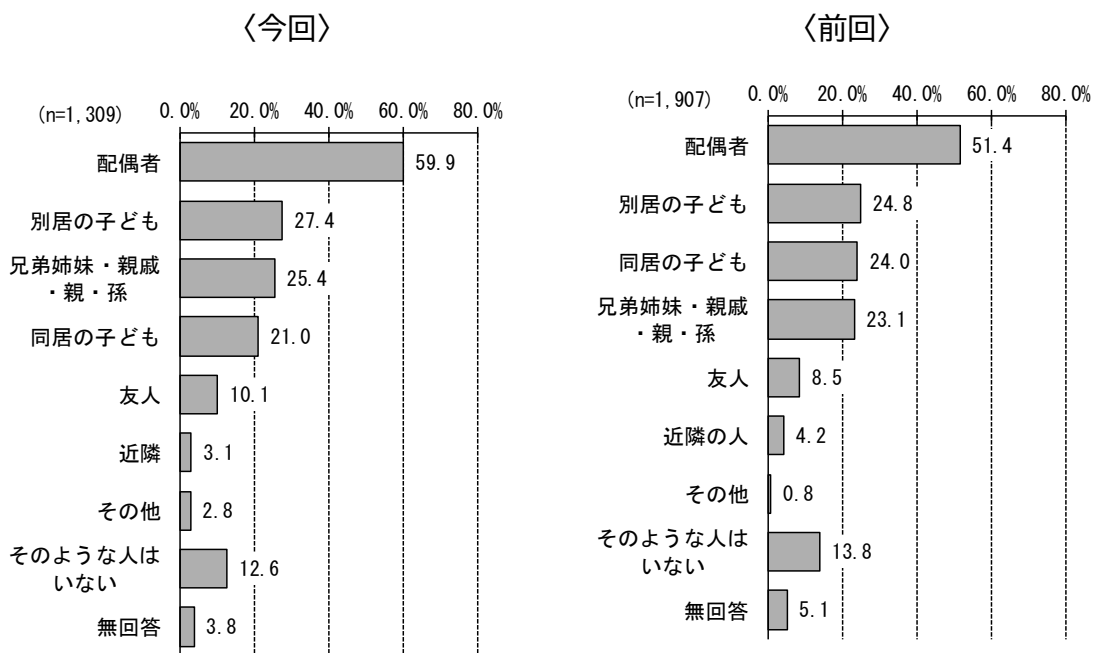
単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・親妹・	近隣	友人	その他	人そのいようないな	
全体		1,309	60.1	23.3	33.2	15.5	2.6	7.2	1.5	7.3	1.8
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.8	42.3	23.5	6.5	15.0	3.8	26.5	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	90.5	3.2	39.9	8.4	2.3	6.3	0.4	1.1	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	94.8	9.6	25.2	8.7	-	1.7	0.9	0.9	0.9
	息子・娘との2世帯	172	55.8	75.0	24.4	15.7	1.2	4.1	-	2.9	0.6
	その他	258	51.9	53.1	22.1	23.6	1.2	5.8	2.3	4.3	1.2

●問6.1 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

- 【全体】**
- 看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が59.9%で最も多く、次いで「別居の子ども」が27.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.4%となっています。
  - 前回調査に比べて、「配偶者」が8.5ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性では、年代によらず「配偶者」が約7割で最も多くなっています。次いで、50～64歳では「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」となっている一方で、65歳以上ではそれらの割合は少なくなり、「別居の子ども」が多くなっています。
  - 女性では、74歳以下では「配偶者」が約6割で多くなっていますが、75歳以上では40.7%と少なくなっています。75歳以上では「そのような人はいない」が16.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【看病や世話をしてあげる人(MA)】



単位: %

性・年齢	圏域	当認 状定 況該	母数 (n)	看病や世話をしてあげる人(MA)								
				配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫親兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体			1,309	59.9	21.0	27.4	25.4	3.1	10.1	2.8	12.6	3.8
男性	50～64歳		116	71.6	30.2	17.2	30.2	-	6.0	5.2	11.2	-
	65～74歳		245	66.5	15.9	23.3	19.2	0.4	5.7	0.4	14.3	3.7
	75歳以上		230	70.4	9.6	21.7	13.5	1.7	4.3	3.9	13.5	4.3
女性	50～64歳		127	56.7	40.9	32.3	52.8	3.1	14.2	1.6	4.7	-
	65～74歳		286	62.9	27.3	41.6	33.6	5.2	16.4	1.0	10.1	1.7
	75歳以上		305	40.7	16.1	23.6	18.7	5.6	11.8	4.9	16.7	8.5
圏域	安威川以北圏域		662	60.4	18.6	25.8	25.8	2.7	9.7	3.0	13.3	3.9
	安威川以南圏域		647	59.4	23.5	29.1	25.0	3.6	10.5	2.5	11.9	3.7
当認 状定 況該	非認定者		1,269	60.8	21.6	28.1	26.0	3.2	10.3	2.3	12.1	3.4
	総合事業対象者		7	28.6	-	-	-	-	-	28.6	28.6	14.3
	要支援1・2		33	30.3	3.0	9.1	9.1	3.0	3.0	15.2	27.3	18.2

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が 35.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

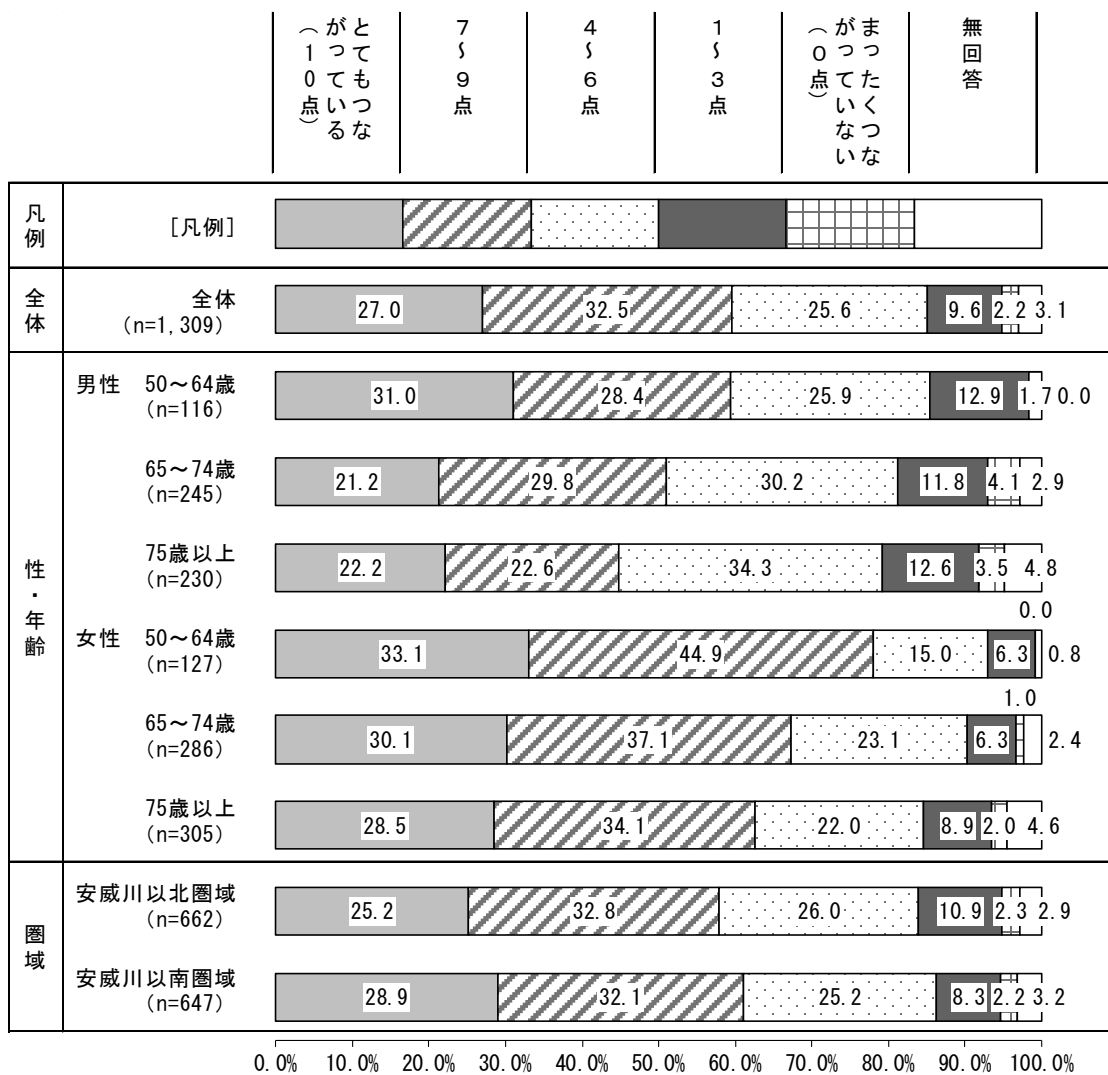
		母数 (n)	看病や世話をしている人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・	近隣	友人	その他	人そのいようないな	
全体		1,309	59.9	21.0	27.4	25.4	3.1	10.1	2.8	12.6	3.8
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.4	24.6	26.2	6.2	18.8	5.8	35.4	7.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	89.1	2.7	33.0	20.2	3.6	8.2	1.5	4.6	2.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	93.9	11.3	33.9	21.7	-	3.5	1.7	2.6	1.7
	息子・娘との2世帯	172	55.2	62.8	19.8	24.4	2.3	7.0	0.6	14.0	4.7
	その他	258	54.3	50.4	23.3	36.8	1.6	9.7	4.3	7.4	2.3



●問6.2 あなたはまわりの人（家族を含む）と、どの程度つながっていると感じますか。  
（1つだけ）

**【全体】**  
 ○ まわりの人とのつながりについて、「7～9点」が32.5%で最も多く、次いで「とてもつながっている（10点）」が27.0%、「4～6点」が25.6%となっています。  
 ○ 7点以上は59.5%となっています。  
**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて7点以上が多くなっています。特に、女性（50～64歳）では、他の性・年齢区分と比べて多くなっています。  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど7点以上が少なくなる傾向がみられます。特に、男性（75歳以上）では44.8%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

【まわりの人とのつながり】



【認定該当状況】

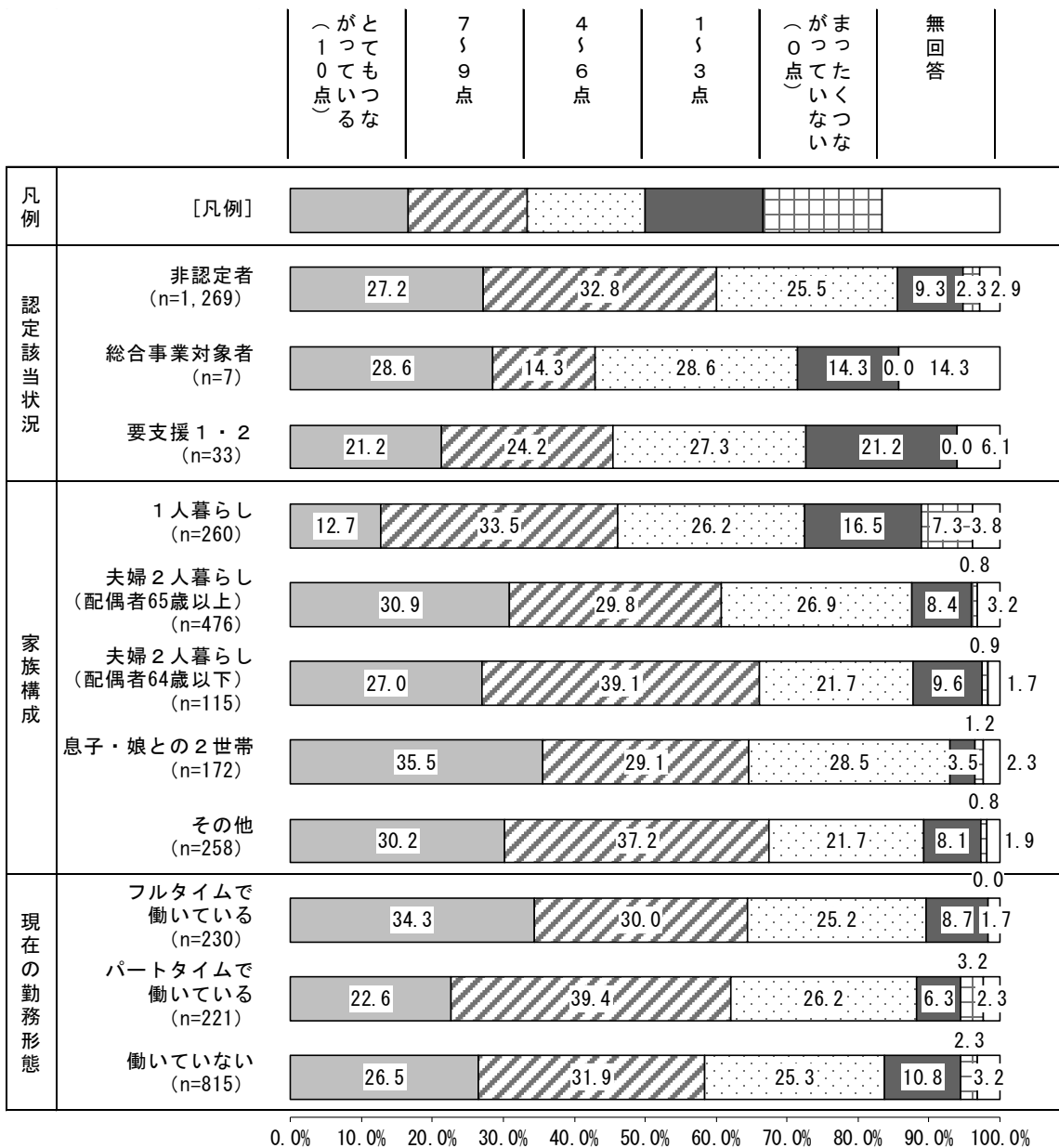
○ 7点以上は、非認定者では60.0%であるのに対し、総合事業対象者では42.9%、要支援1・2では45.4%となっています。

【家族構成】

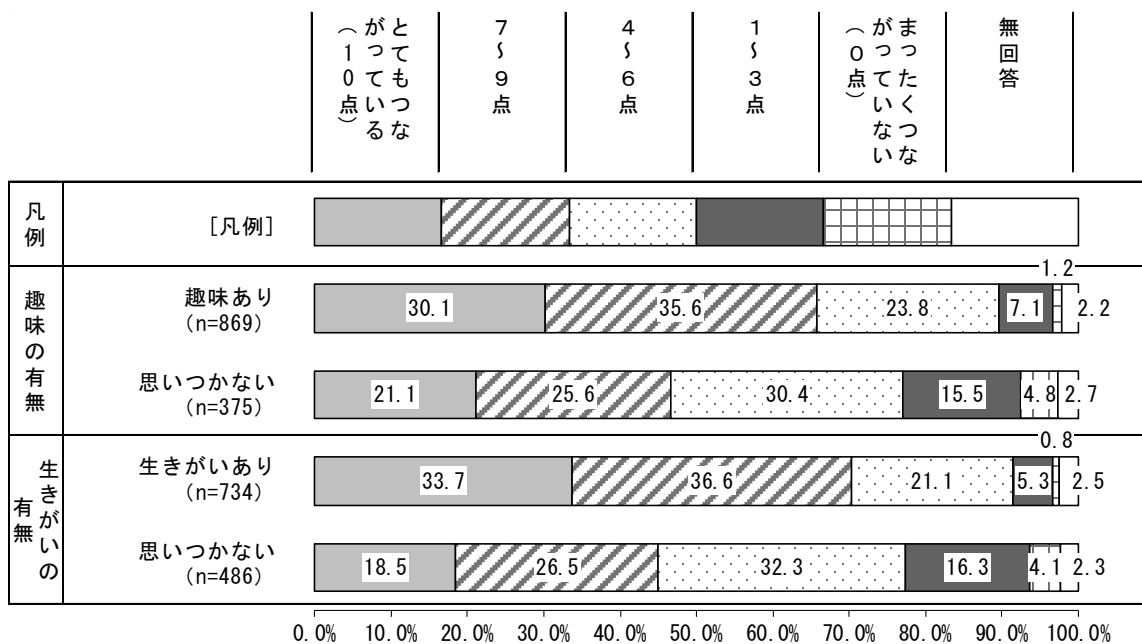
○ 1人暮らしでは7点以上が46.2%と他の家族構成区分に比べて少なくなっています。

【現在の勤務形態】

○ 働いている時間が長いほどまわりの人とつながっていると感じる傾向がみられます。



**【趣味の有無】**  
 趣味がある人ではない人に比べて、7点以上が多くなっています。  
**【生きがいの有無】**  
 生きがいがある人ではない人に比べて、7点以上が多くなっています。



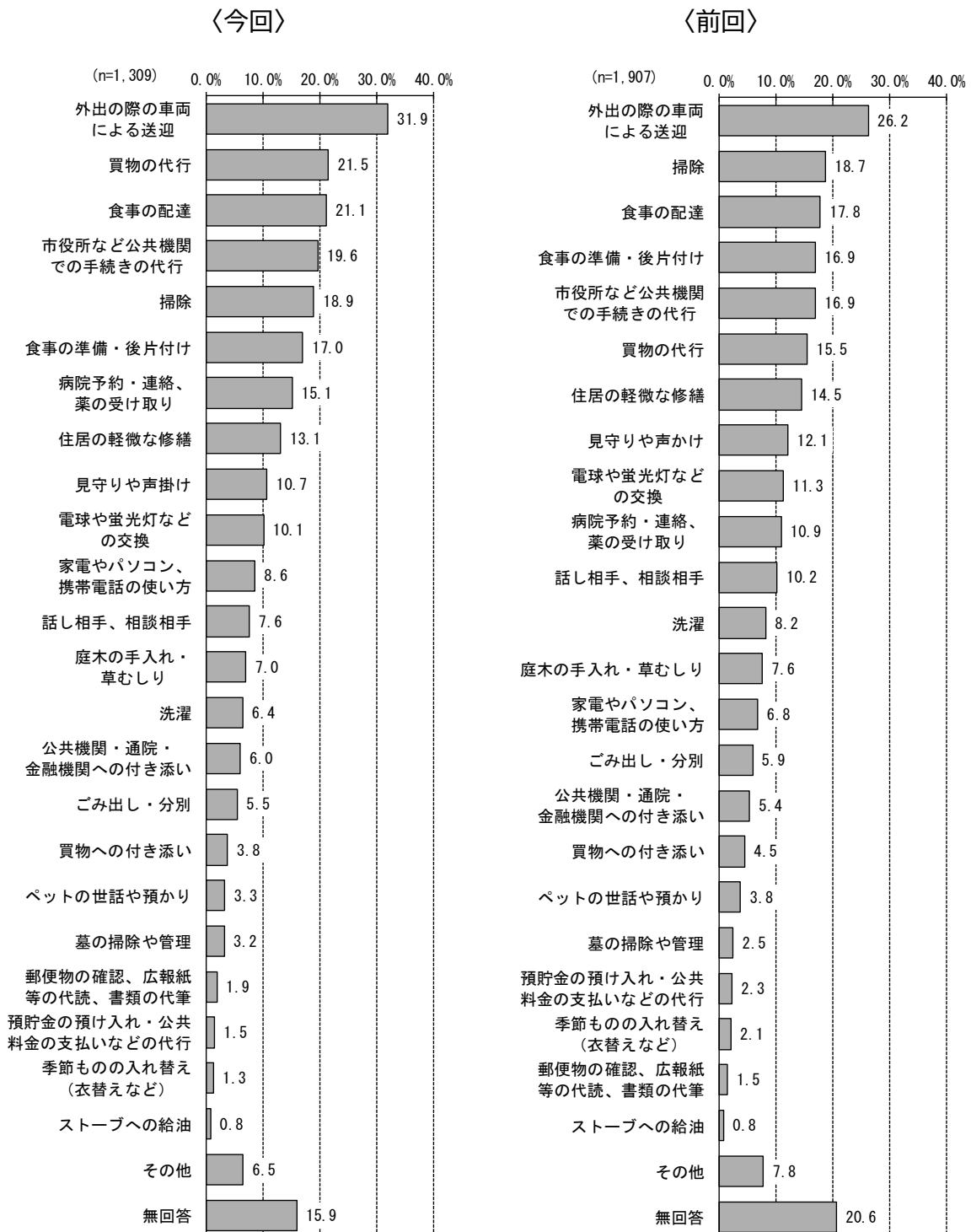
(2) 介護保険制度外の支援

●問6.3 介護保険制度外の支援について、今後どのようなものがあれば、利用したいと思いますか。(5つまで○)

【全体】

- 介護保険制度外で利用したい支援について、「外出の際の車両による送迎」が31.9%で最も多く、次いで「買物の代行」が21.5%、「食事の配達」が21.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「外出の際の車両による送迎」「買物の代行」「食事の配達」「病院予約・連絡、薬の受け取り」が3ポイント以上多くなっています。

【介護保険制度外で利用したい支援(5LA)】



【性・年齢】

- 50～64歳では、男性で「食事の配達」が31.0%で最も多く、次いで「掃除」が26.7%となっており、いずれも他の性・年齢区分に比べても多くなっています。
- 75歳以上では、男性で「食事の準備・後片付け」が28.7%で最も多く、他の性・年齢区分に比べても多くなっています。女性では、「電球や蛍光灯などの交換」が16.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)									
		片食 付け の 準備 ・ 後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 よ る 送 迎 の 車 両	り絡 病 院 薬 の 受 け 取 り	行支 れ 払 い 公 金 の 預 け 代 り	預 貯 金 の 預 け 代 り	の機 代 行	市役 所 な ど 手 続 公 共	掃 除
全体	1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	21.6	31.0	22.4	21.6	18.1	0.9	16.4	26.7	9.5
	65～74歳	245	15.5	22.0	16.3	24.5	16.7	2.9	20.0	21.2	10.2
	75歳以上	230	28.7	19.1	20.4	27.0	15.7	2.6	21.7	19.6	10.4
	女性 50～64歳	127	12.6	21.3	29.1	35.4	20.5	0.8	14.2	18.9	2.4
	65～74歳	286	14.7	19.6	24.8	40.9	11.9	0.3	18.5	17.8	4.9
	75歳以上	305	11.5	19.3	20.0	35.4	13.1	1.3	22.3	14.8	2.3

単位：%

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)									
		ご み 出 し ・ 分 別	草 庭 木 の 手 入 れ ・ し り	使 い 方 携 帯 電 話 の	ン、 家 電 や パ ソ コ の	油 ス ト ー プ へ の 給	読 広 郵 便 物 の 確 認 、 書 紙 等 の 代 筆	預 か り の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	ど 電 球 や 蛍 光 灯 な の 交 換	繕 住 居 の 軽 微 な 修
全体	1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	10.3	1.7	6.9	0.9	0.9	4.3	1.7	0.9	6.0
	65～74歳	245	4.9	5.7	8.2	0.4	1.2	3.7	4.5	6.5	8.6
	75歳以上	230	7.0	7.0	7.4	2.2	1.7	1.7	3.9	8.3	11.3
	女性 50～64歳	127	6.3	7.1	7.1	-	0.8	5.5	3.1	8.7	17.3
	65～74歳	286	4.2	7.0	10.1	0.3	1.4	4.2	1.0	11.9	17.5
	75歳以上	305	3.9	9.8	9.5	0.7	3.9	2.0	4.3	16.7	15.1

単位：%

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)							
		い 買 物 へ の 付 き 添	の 院 公 機 関 ・ 通 へ	相 話 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど 替 え 節 も の 衣 替 え な れ	そ の 他	無 回 答	
全体	1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	4.3	5.2	11.2	9.5	0.9	3.4	19.0
	65～74歳	245	2.9	5.7	5.7	7.8	2.4	8.2	15.5
	75歳以上	230	3.5	9.1	6.1	7.8	0.4	7.8	16.5
	女性 50～64歳	127	4.7	5.5	9.4	13.4	0.8	7.9	11.8
	65～74歳	286	2.8	5.6	7.0	13.6	-	4.2	14.3
	75歳以上	305	5.2	4.6	8.9	11.8	2.6	6.9	17.7

【中学校区】

- 中学校区別に回答の多い上位 6 項目とその割合は次ページのようになっています（その他、無回答は除きます）。
- 第二中学校区、第四中学校区、第五中学校区では、「外出の際の車両による送迎」が他の項目と比べて1割以上高くなっています。

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)									
		片食 付け の 準備 ・ 後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 出 の 際 の 送 迎 の 車 両	り絡 病 院 予 薬 の 約 受 ・ 連 取	行支 れ 預 払 ・ 貯 金 の 共 預 け 代 の 入	の機 代 行 で の 手 続 公 共	市役 所 な ど 公 共	掃 除	洗 濯
全体	1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4	
圏 域	安威川以北圏域	662	16.6	22.8	24.2	27.9	16.0	1.8	18.1	21.5	7.4
	安威川以南圏域	647	17.3	19.3	18.9	35.9	14.2	1.2	21.2	16.4	5.4
中 学 校 区	第一中学校	353	15.0	24.9	22.9	27.2	15.9	1.7	17.6	21.2	6.5
	第二中学校	222	14.0	20.7	18.0	32.9	11.3	1.8	18.9	13.1	4.1
	第三中学校	317	18.3	20.5	24.9	29.0	16.1	1.9	18.6	21.5	8.8
	第四中学校	265	22.6	17.7	19.6	38.5	15.1	0.8	22.6	20.0	6.8
	第五中学校	152	13.2	19.7	19.7	35.5	17.1	1.3	22.4	15.1	3.9

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
		ご み 出 し ・ 分 別	草 庭 木 の 手 入 れ ・ し り	使 い 方 携 帯 電 話 の	ン、 家 電 や パ ソ コ の	油 ス ト ー ブ へ の 給	読 広 郵 報 物 の 確 認 、 書 紙 等 の 代 筆	預 ベ ツ カ リ ト の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	ど 電 球 や 蛍 光 灯 な の 交 換
全体	1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1
圏 域	安威川以北圏域	662	5.9	6.3	8.3	1.2	2.4	2.9	10.6	11.9
	安威川以南圏域	647	5.1	7.6	8.8	0.3	1.4	3.7	9.6	14.4
中 学 校 区	第一中学校	353	5.7	7.9	9.3	0.8	2.3	1.4	11.6	16.1
	第二中学校	222	5.9	7.2	9.0	0.5	2.3	4.5	8.6	13.1
	第三中学校	317	6.3	4.7	7.3	1.6	2.5	4.4	9.1	8.5
	第四中学校	265	4.9	7.9	8.7	-	-	3.0	12.1	14.0
	第五中学校	152	3.9	7.2	8.6	0.7	2.6	3.9	7.2	14.5

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)						
		い 買 物 へ の 付 き 添	の 院 公 共 機 関 ・ 通 へ	相 話 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど 替 え 節 も の 衣 替 え な れ	そ の 他	無 回 答
全体	1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9
圏 域	安威川以北圏域	662	4.4	4.8	8.3	12.8	2.0	15.9
	安威川以南圏域	647	3.2	7.1	7.0	8.5	0.6	15.9
中 学 校 区	第一中学校	353	3.7	6.2	7.9	11.3	2.3	17.8
	第二中学校	222	1.8	6.8	6.8	10.4	0.5	15.8
	第三中学校	317	5.0	3.8	8.8	14.5	1.6	13.2
	第四中学校	265	4.5	7.9	7.2	8.3	1.1	12.1
	第五中学校	152	3.3	5.3	6.6	5.9	-	23.7

中学校区別上位6項目

単位：%

第一中学校		第二中学校		第三中学校		
1	外出の際の車両による送迎	27.2	外出の際の車両による送迎	32.9	外出の際の車両による送迎	29.0
2	食事の配達	24.9	食事の配達	20.7	買物の代行	24.9
3	買物の代行	22.9	市役所など公共機関での手続きの代行	18.9	掃除	21.5
4	掃除	21.2	買物の代行	18.0	食事の配達	20.5
5	市役所など公共機関での手続きの代行	17.6	食事の準備・後片付け	14.0	市役所など公共機関での手続きの代行	18.6
6	住居の軽微な修繕	16.1	掃除	13.1	食事の準備・後片付け	18.3

第四中学校		第五中学校		
1	外出の際の車両による送迎	38.5	外出の際の車両による送迎	35.5
2	食事の準備・後片付け	22.6	市役所など公共機関での手続きの代行	22.4
3	市役所など公共機関での手続きの代行	22.6	食事の配達	19.7
4	掃除	20.0	買物の代行	19.7
5	買物の代行	19.6	病院予約・連絡、薬の受け取り	17.1
6	食事の配達	17.7	掃除	15.1

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「掃除」が42.9%で最も多く、次いで「外出の際の車両による送迎」「電球や蛍光灯などの交換」が28.6%となっています。
- 要支援1・2では、「外出の際の車両による送迎」が39.4%で最も多く、次いで「電球や蛍光灯などの交換」が18.2%、「病院予約・連絡、薬の受け取り」「掃除」が15.2%となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「話し相手、相談相手」「見守りや声掛け」が多くなっています。

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			片食 付事 けの 準備 ・後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 よ 出 る の 送 迎 の 車 両	り絡 病 院 薬 予 約 の 受 け 連 取	行支 れ預 払・貯 い公 金 な共 の料 け預 の金 け代 の入	の機 市代 関 役 行 で 所 な ど 手 続 公 共	掃 除	洗 濯
	全体	1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4
当認 状定 況該	非認定者	1,269	17.2	21.6	21.8	31.7	15.1	1.5	20.0	18.9	6.5
	総合事業対象者	7	-	14.3	14.3	28.6	14.3	-	14.3	42.9	-
	要支援1・2	33	12.1	3.0	12.1	39.4	15.2	3.0	6.1	15.2	3.0
家族 構 成	1人暮らし	260	10.8	17.3	21.5	25.4	15.4	3.1	16.2	16.9	3.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	22.7	23.1	23.7	35.9	14.9	1.5	22.5	20.6	9.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	18.3	22.6	17.4	31.3	16.5	0.9	20.0	20.9	8.7
	息子・娘との2世帯	172	16.9	20.3	16.9	29.7	11.6	2.3	15.1	19.2	5.2
	その他	258	12.4	22.5	22.5	32.9	16.3	-	19.4	17.4	4.7

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			ごみ 出 し ・ 分 別	草庭 む木の しり手 入れ・	使い 方携 帯電 話ソ コ の	油ス ト ー プ への 給	読 書 類 の 代 筆	読 報 紙 等 の 確 認	預 ベ ツ ト の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	ど電 球 の 交 換 や 蛍 光 灯 な
	全体	1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1
当認 状定 況該	非認定者	1,269	5.3	6.9	8.7	0.8	1.9	3.3	3.3	9.8	13.3
	総合事業対象者	7	14.3	-	-	-	-	-	-	28.6	-
	要支援1・2	33	12.1	12.1	6.1	-	3.0	3.0	-	18.2	9.1
家族 構 成	1人暮らし	260	4.6	4.6	12.7	1.5	2.3	2.3	1.9	18.1	15.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	5.3	8.2	10.5	0.6	1.9	2.5	4.4	11.3	11.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	8.7	5.2	7.8	-	-	8.7	6.1	5.2	13.9
	息子・娘との2世帯	172	7.0	8.1	2.9	-	2.3	2.9	3.5	4.1	14.0
	その他	258	4.3	7.4	5.0	0.8	1.6	3.9	0.8	5.8	13.2

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)						
			い買 物 へ の 付 き 添	の院 付 き 添 い 機 関 通 へ	相 話 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど替 え 節 も の 替 え な れ	そ の 他	無 回 答
	全体	1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9
当認 状定 況該	非認定者	1,269	3.8	6.1	7.7	10.8	1.2	6.5	15.6
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	6.1	3.0	6.1	9.1	6.1	3.0	27.3
家族 構 成	1人暮らし	260	4.6	4.2	12.3	15.0	1.9	5.0	18.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	4.0	5.5	4.8	11.3	1.9	6.3	13.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	2.6	8.7	7.8	12.2	0.9	1.7	17.4
	息子・娘との2世帯	172	4.1	5.8	8.1	8.1	0.6	9.9	17.4
	その他	258	3.5	6.2	7.8	6.6	0.4	8.1	15.9



## 8. 健康について

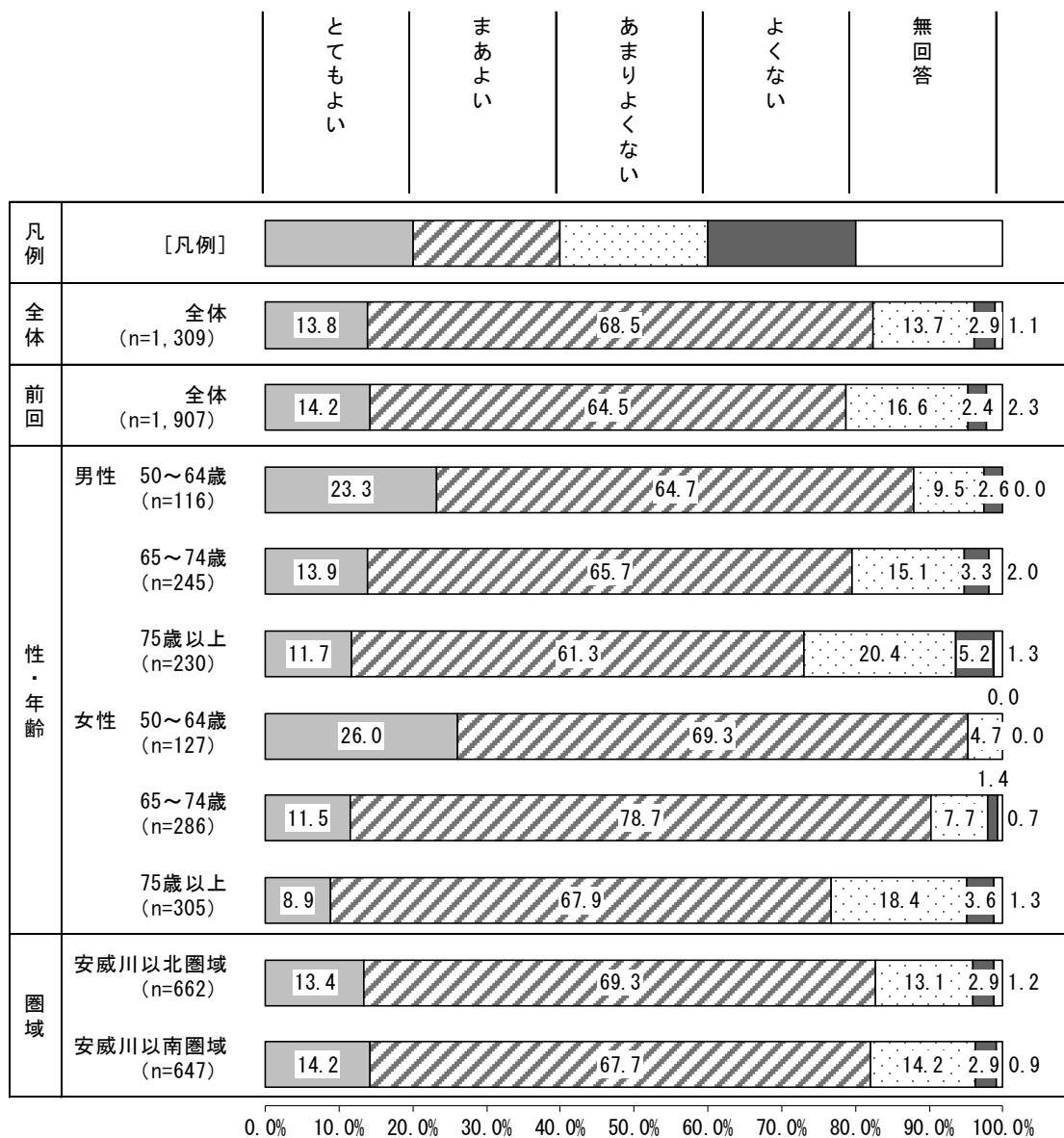
### (1) 健康状態

#### ① 主観的な健康感

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

<b>【全体】</b>
○ 主観的健康感について、「まあよい」が68.5%で最も多く、次いで「とてもよい」が13.8%、「あまりよくない」が13.7%となっています。
○ 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は82.3%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”は16.6%となっています。
○ 前回調査に比べて、“よい”が3.6ポイント多くなっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ 男女ともに年代が上がるほど“よい”が少なくなる傾向がみられます。75歳以上では、男性で25.6%、女性で22.0%が“よくない”と感じています。

【主観的健康感】

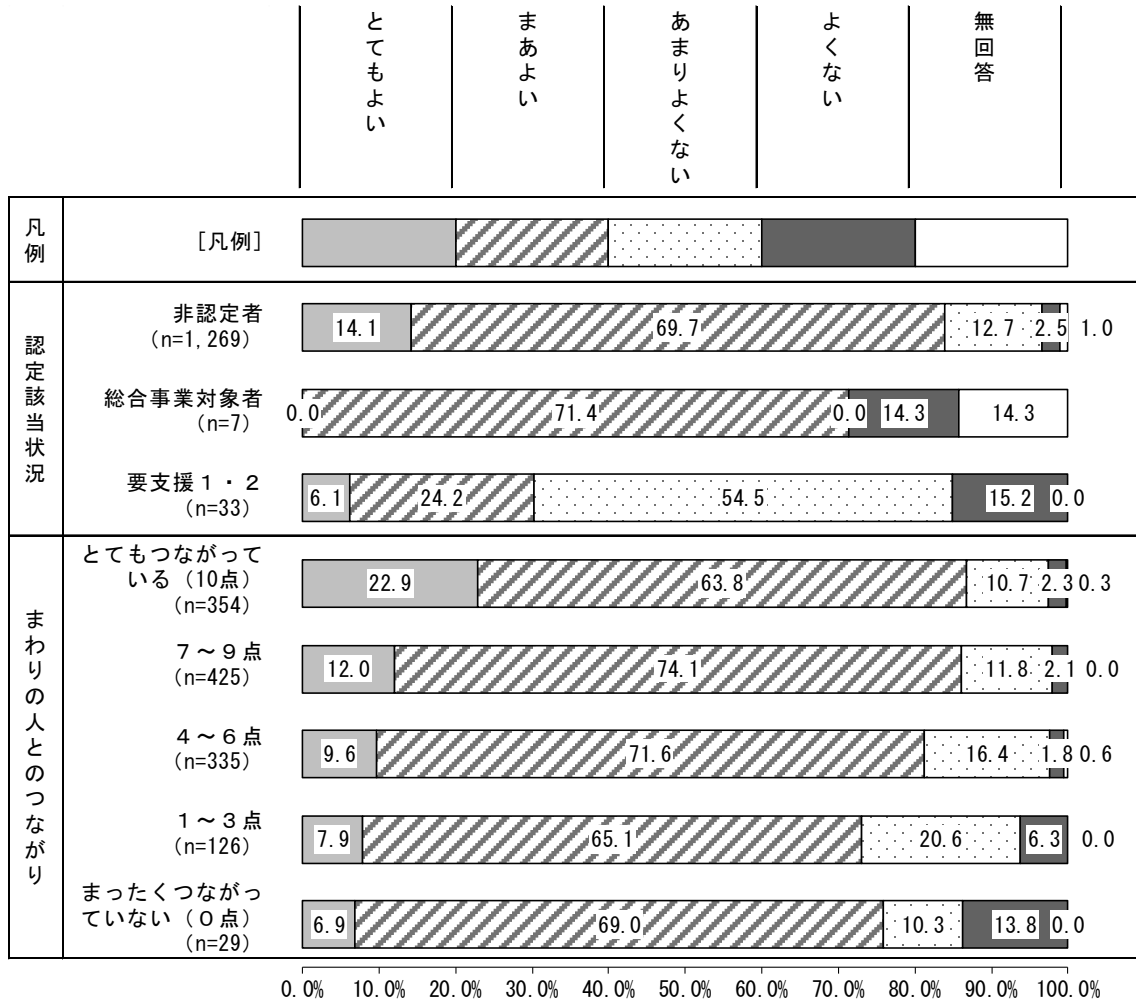


【認定該当状況】

○ “よい”は、非認定者では 83.8%、総合事業対象者では 71.4%であるのに対し、要支援1・2では 30.3%となっています。

【まわりの人とのつながり】

○ まわりの人とつながっていると感じている人ほど「とてもよい」が多くなる傾向がみられます。

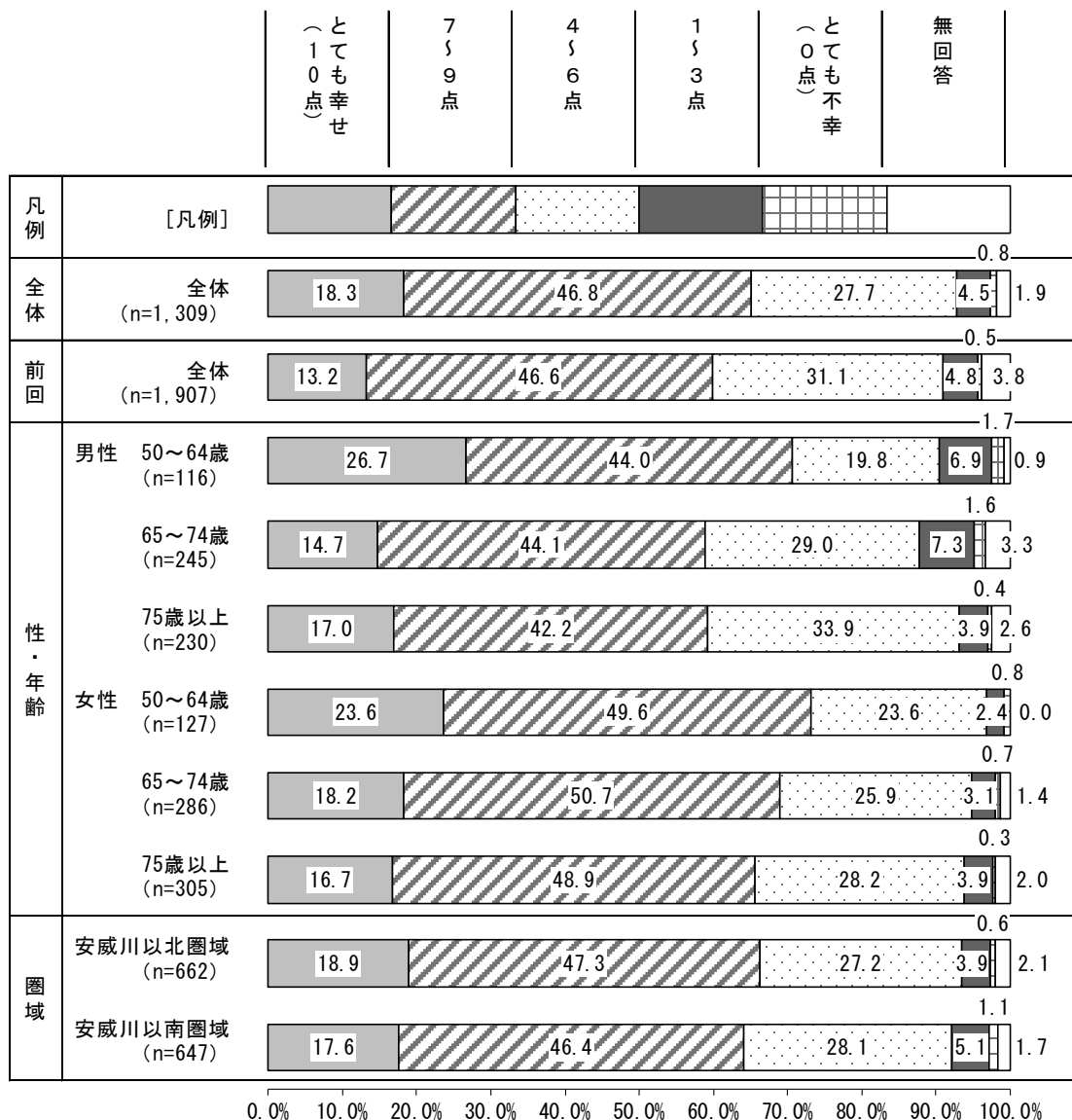


② こころの健康

●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 幸福感について、「7～9点」が46.8%で最も多く、次いで「4～6点」が27.7%、「とても幸せ(10点)」が18.3%となっています。
  - 7点以上は65.1%となっています。また、3点以下は5.3%となっています。
  - 平均点は7.2点となっています。
  - 前回調査に比べて、「とても幸せ(10点)」が5.1ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも女性では男性に比べて7点以上が多くなっています。
  - 男女ともに65歳以上では64歳以下に比べて7点以上が少なくなっています。
  - 女性では年代が上がるほど徐々に7点以上が少なくなる傾向がみられるのに対し、男性では65～74歳で1割ほど低下し、その後は横ばいとなっています。

**【幸福感】**

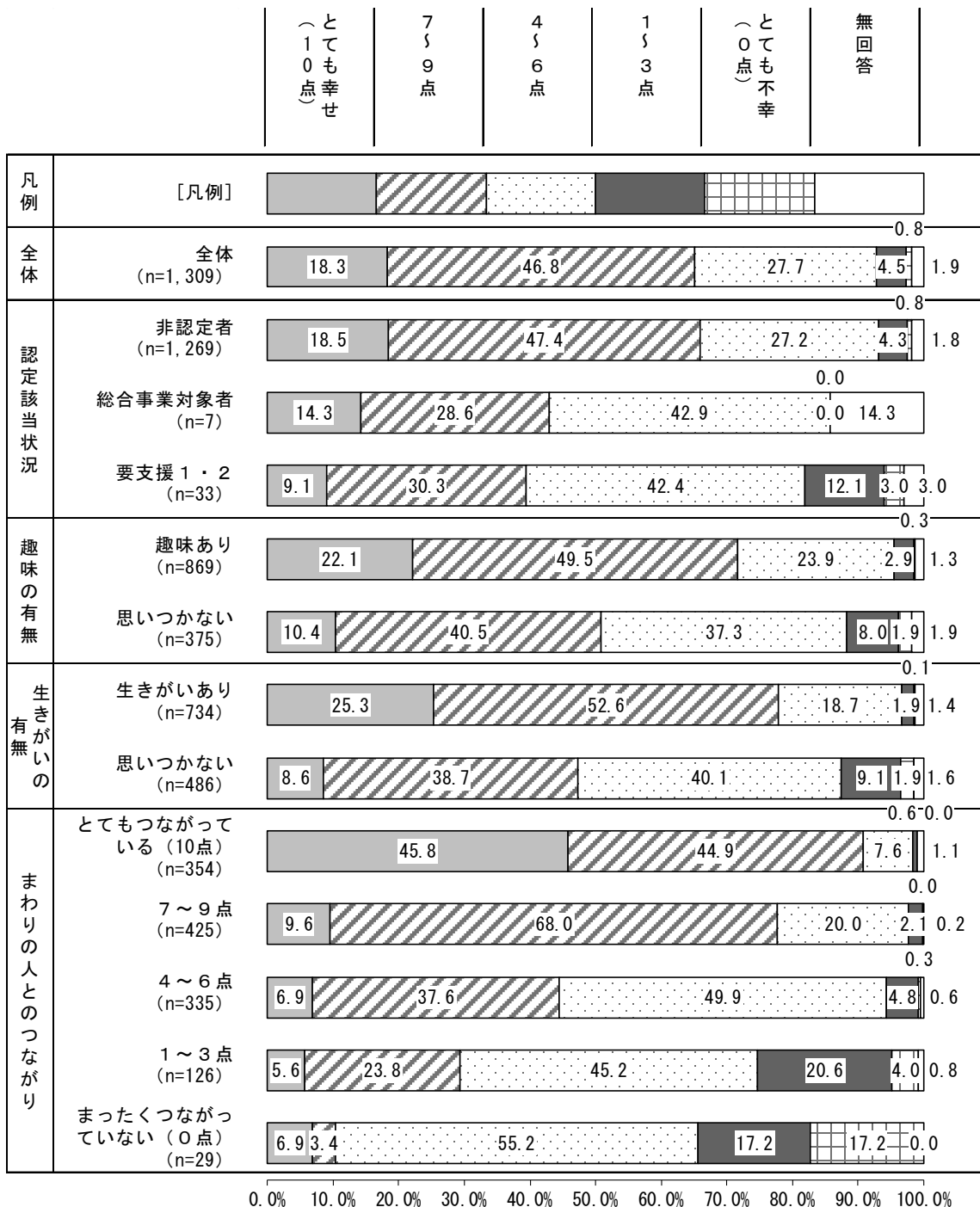


**【認定該当状況】**  
 ○ 7点以上は、非認定者では65.9%であるのに対し、総合事業対象者では42.9%、要支援1・2では39.4%となっています。

**【趣味の有無】**  
 ○ 趣味がある人では7点以上が71.6%と、思いつかない人の50.9%に比べて多くなっています。

**【生きがいの有無】**  
 ○ 生きがいがある人では7点以上が77.9%と、思いつかない人の47.3%に比べて多くなっています。

**【まわりの人とのつながり】**  
 ○ まわりの人とつながっていると感じている人ほど7点以上が多くなる傾向がみられます。特に、とてもつながっていると感じている人では、「とても幸せ」が45.8%と多くなっています。

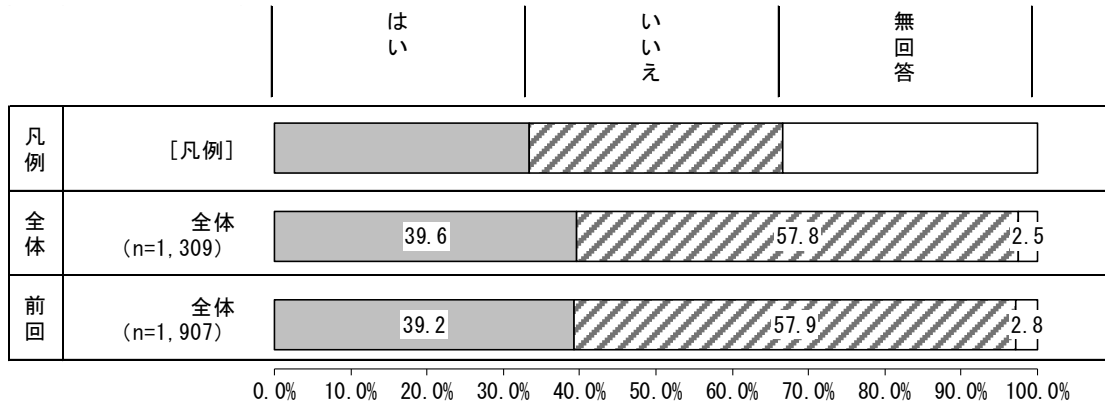


●問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

**【全体】**

○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が39.6%、「いいえ」が57.8%となっています。

【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

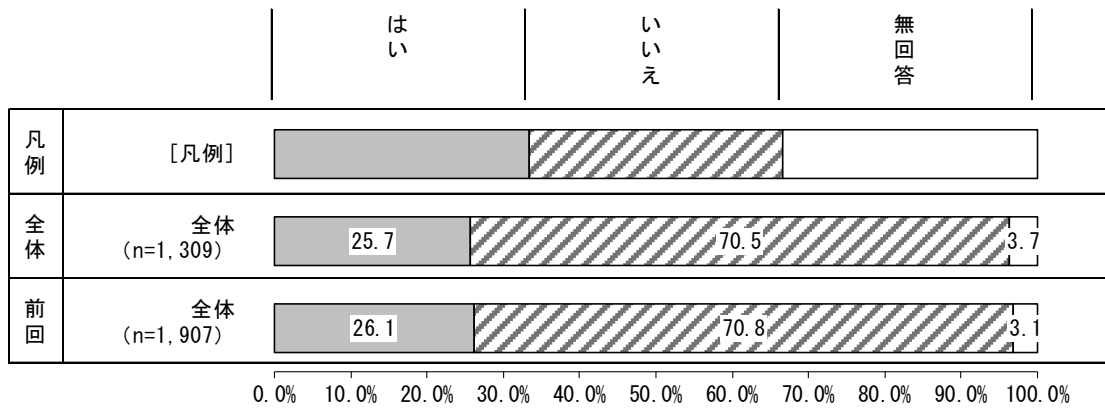


●問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

**【全体】**

○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が25.7%、「いいえ」が70.5%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



◆うつリスクの判定

●リスク判定方法

2項目のうち1項目に該当する場合、「うつ傾向にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
7.3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
7.4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくありましたか。	1. はい

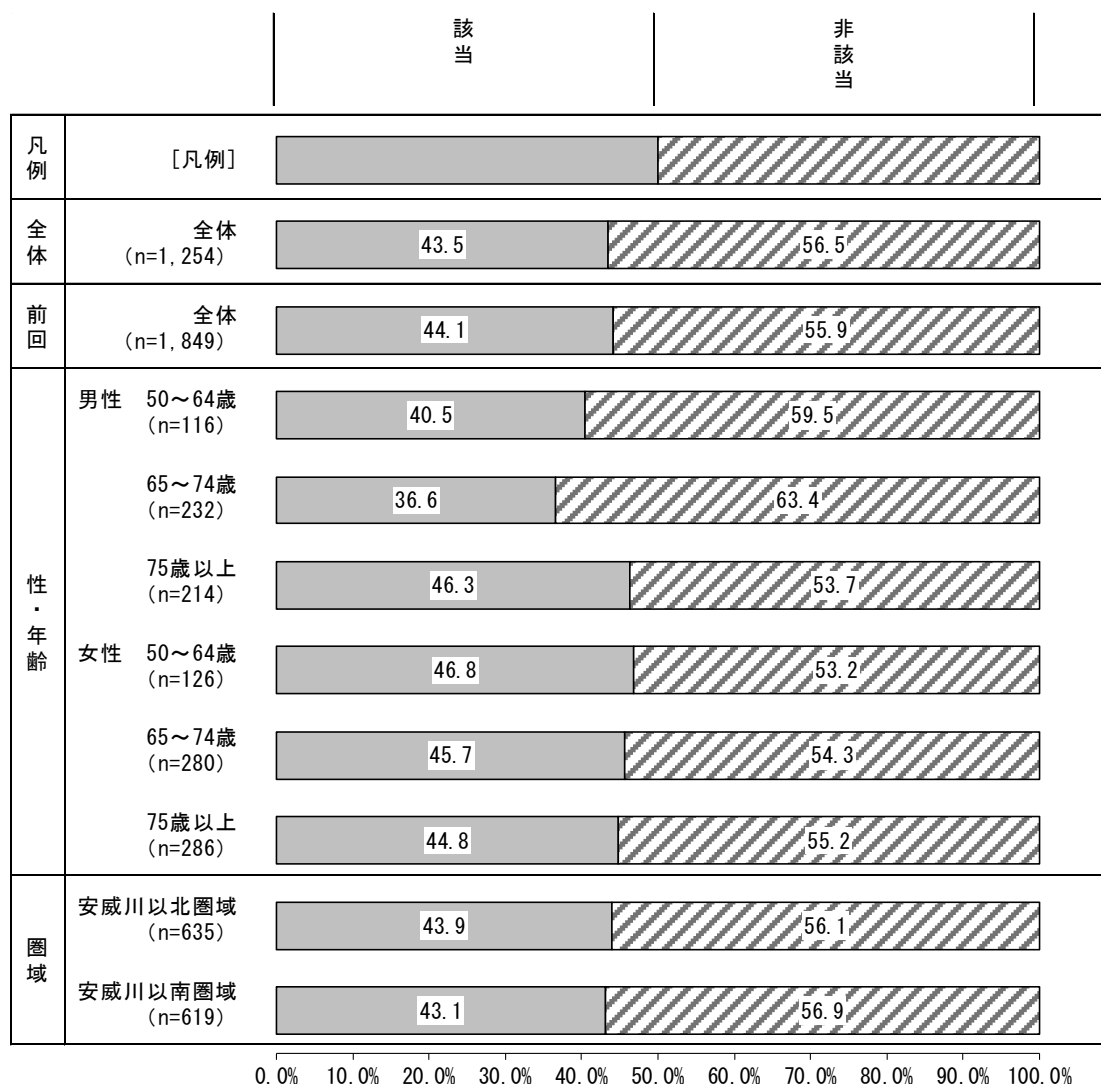
【全体】

○ うつのリスクについて、「該当」が43.5%となっています。

【性・年齢】

○ 男性（74歳以下）では女性（74歳以下）に比べて「該当」が少なくなっています。

【うつのリスク】



【認定該当状況】

○ 「該当」は、非認定者では 43.3%、総合事業対象者では 16.7%、要支援1・2では 61.5%となっています。

【介護・介助の必要性】

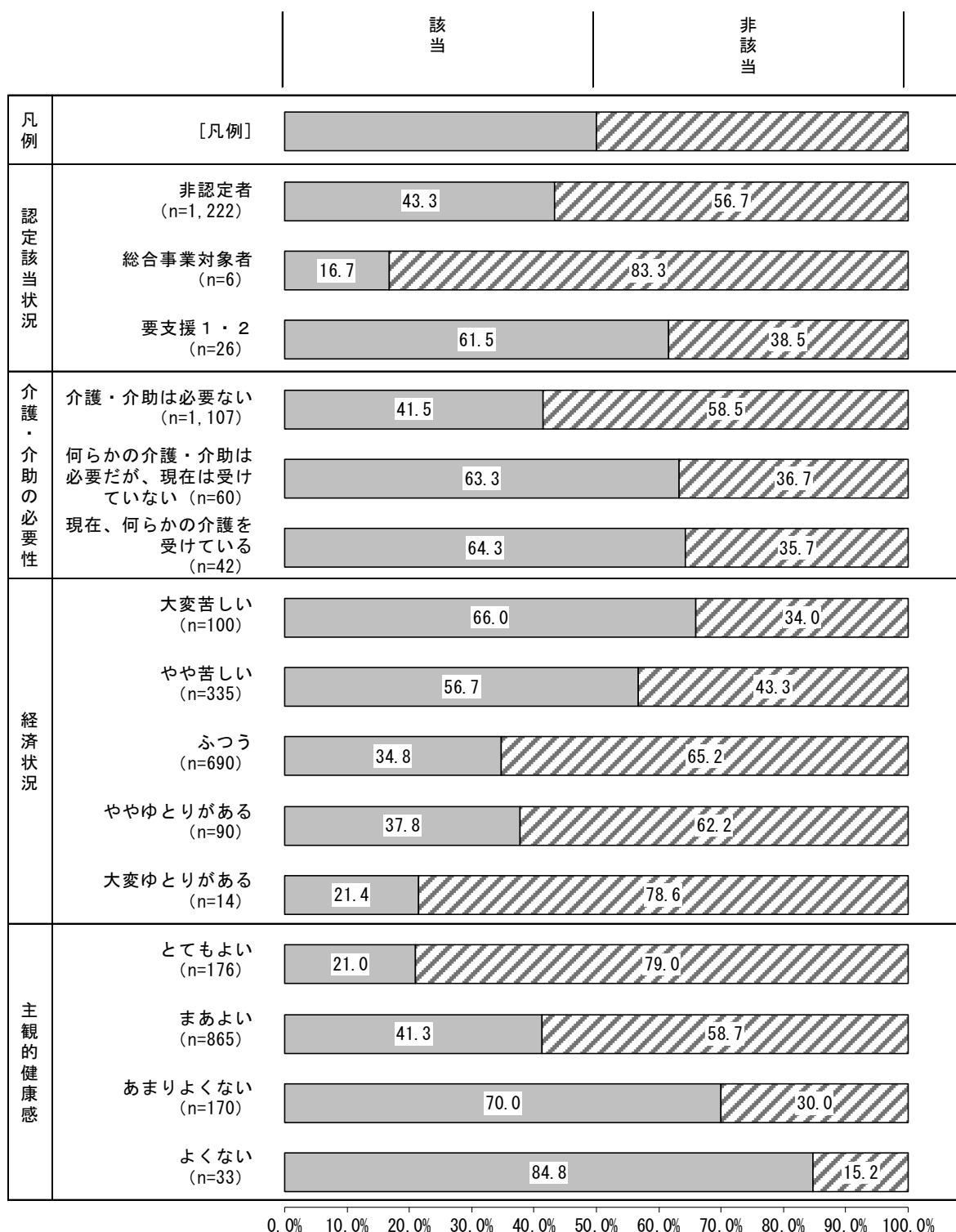
○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 41.5%であるのに対し、何らかの介護・介助が必要な人では約6割となっています。

【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



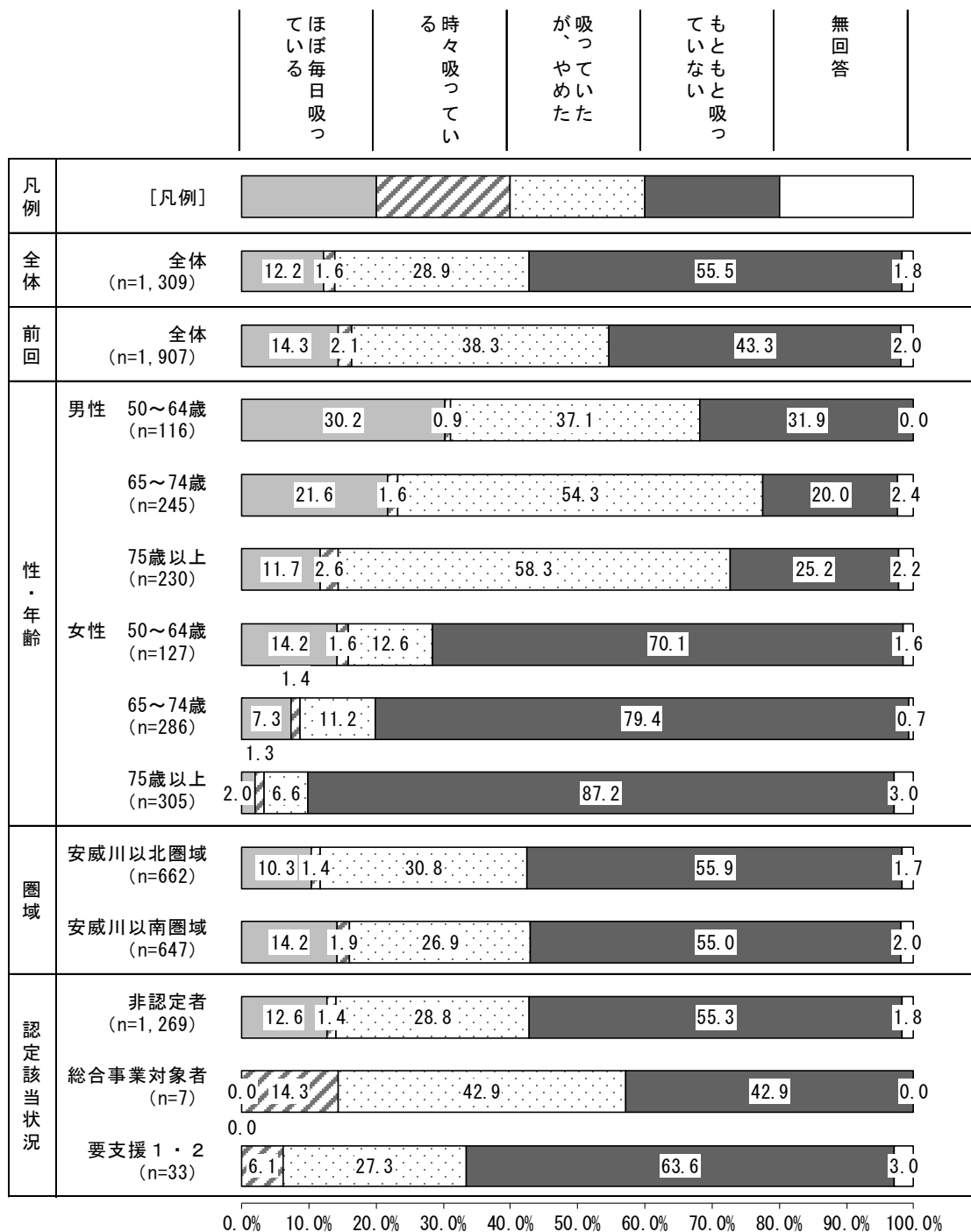
(2) 喫煙

●問7.5 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が55.5%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が28.9%、「ほぼ毎日吸っている」が12.2%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「もともと吸っていない」が多くなっています。  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「ほぼ毎日吸っている」が少なくなる傾向がみられます。

【喫煙の状況】





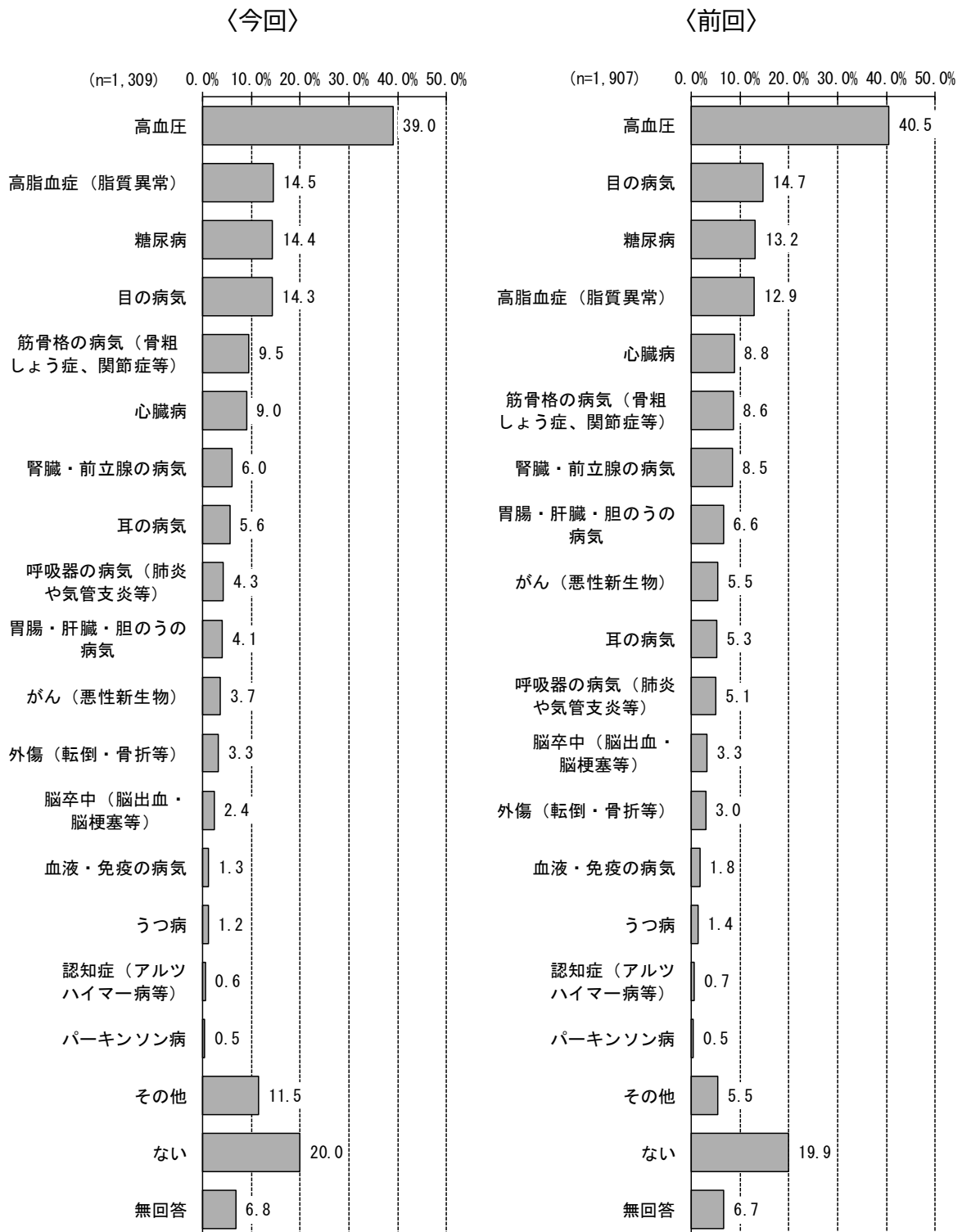
(3) 病気の状況

●問7.6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が39.0%で最も多く、次いで「ない」が20.0%、「高脂血症（脂質異常）」が14.5%となっています。
- なお、「その他」の内容としては、「腰痛・膝痛」「精神疾患」「湿疹」「歯科」等があります。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 50～64 歳では「ない」が最も多くなっていますが、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられ、75 歳以上では約 1 割となっています。
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「糖尿病」、女性では男性に比べて「高脂血症」が多くなっています。
- 女性では、年代が上がるほど「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなる傾向がみられ、75 歳以上では 19.3% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（75 歳以上）では、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が 10.0% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)						
			ない	高 血 圧	血 脳 ・ 卒 脳 中 ( 梗 塞 等 )	心 臓 病	糖 尿 病	異 常 ( 高 脂 血 症 ( 脂 質 )	炎 ( 呼 吸 器 の 病 気 支 炎 等 )
全体		1,309	20.0	39.0	2.4	9.0	14.4	14.5	4.3
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	37.1	29.3	0.9	8.6	11.2	6.9	1.7
	65～74歳	245	17.6	39.6	4.5	9.8	20.8	14.3	4.1
	75歳以上	230	10.9	49.1	6.1	15.7	20.9	11.3	10.0
	女性 50～64歳	127	48.8	10.2	-	1.6	4.7	12.6	1.6
	65～74歳	286	18.5	37.1	0.3	3.8	8.7	20.6	2.8
	75歳以上	305	11.8	48.5	1.6	11.5	14.8	15.1	3.6

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)						
			の 胃 腸 の ・ 病 気 ・ 肝 臓 ・ 胆	病 腎 臓 ・ 前 立 腺 の	症 ( 筋 骨 格 の 病 気 ・ 骨 粗 しょう 症 等 )	折 外 傷 ( 転 倒 ・ 骨	物 が ん ( 悪 性 新 生	気 血 液 ・ 免 疫 の 病	う つ 病
全体		1,309	4.1	6.0	9.5	3.3	3.7	1.3	1.2
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	1.7	1.7	4.3	-	0.9	1.7	-
	65～74歳	245	4.9	12.2	4.1	0.8	4.9	0.8	0.8
	75歳以上	230	6.1	16.1	5.2	3.9	6.1	2.6	0.9
	女性 50～64歳	127	-	0.8	4.7	1.6	4.7	-	3.1
	65～74歳	286	4.2	0.7	11.5	4.5	2.4	2.1	1.0
	75歳以上	305	4.6	2.3	19.3	5.6	3.0	0.3	1.6

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)					無 回 答
			ハ イ 知 マ ー 病 等 )	パ ー キ ン ソ ン 病	目 の 病 気	耳 の 病 気	そ の 他	
全体		1,309	0.6	0.5	14.3	5.6	11.5	6.8
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	0.9	-	4.3	3.4	13.8	7.8
	65～74歳	245	-	0.4	15.1	4.1	10.6	6.5
	75歳以上	230	0.9	0.9	14.3	8.7	9.1	7.0
	女性 50～64歳	127	-	-	7.9	2.4	11.0	7.9
	65～74歳	286	0.3	0.3	16.4	3.5	11.9	7.0
	75歳以上	305	1.3	0.7	18.0	8.5	13.1	5.9

【圏域】  
 ○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「高血圧」「糖尿病」が多くなっています。  
 【認定該当状況】  
 ○ 要支援1・2では「高血圧」に次いで「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「目の病気」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)						
			ない	高血圧	血脳・脳卒中(脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	異常(高脂血症(脂質)	炎(呼吸器や気管支)
全体		1,309	20.0	39.0	2.4	9.0	14.4	14.5	4.3
圏域	安威川以北圏域	662	20.2	36.1	1.8	10.0	11.5	15.7	4.2
	安威川以南圏域	647	19.8	42.0	3.1	8.0	17.3	13.3	4.3
当認定状況	非認定者	1,269	20.4	38.8	2.2	8.5	14.3	14.5	4.1
	総合事業対象者	7	28.6	57.1	-	28.6	-	28.6	-
	要支援1・2	33	3.0	45.5	12.1	24.2	18.2	12.1	12.1

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)						
			の胃腸の病気(肝臓・胆)	腎臓・前立腺の病気	症(骨粗しょう症等)	筋骨格の病気(関節症等)	折外傷(転倒・骨)	物(がん(悪性新生)	気血液・免疫の病
全体		1,309	4.1	6.0	9.5	3.3	3.7	1.3	1.2
圏域	安威川以北圏域	662	4.7	5.7	8.9	2.9	3.5	1.2	1.2
	安威川以南圏域	647	3.6	6.3	10.2	3.7	4.0	1.4	1.2
当認定状況	非認定者	1,269	4.2	5.8	9.1	2.9	3.7	1.3	1.0
	総合事業対象者	7	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-
	要支援1・2	33	-	12.1	24.2	15.2	6.1	-	9.1

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)					無回答
			ハイ知マ(アルツ)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	
全体		1,309	0.6	0.5	14.3	5.6	11.5	6.8
圏域	安威川以北圏域	662	0.8	0.3	16.6	4.1	11.8	8.5
	安威川以南圏域	647	0.5	0.6	11.9	7.1	11.3	5.1
当認定状況	非認定者	1,269	0.6	0.4	14.1	5.4	11.4	6.9
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	33	3.0	3.0	24.2	15.2	18.2	3.0

(4) 地域医療

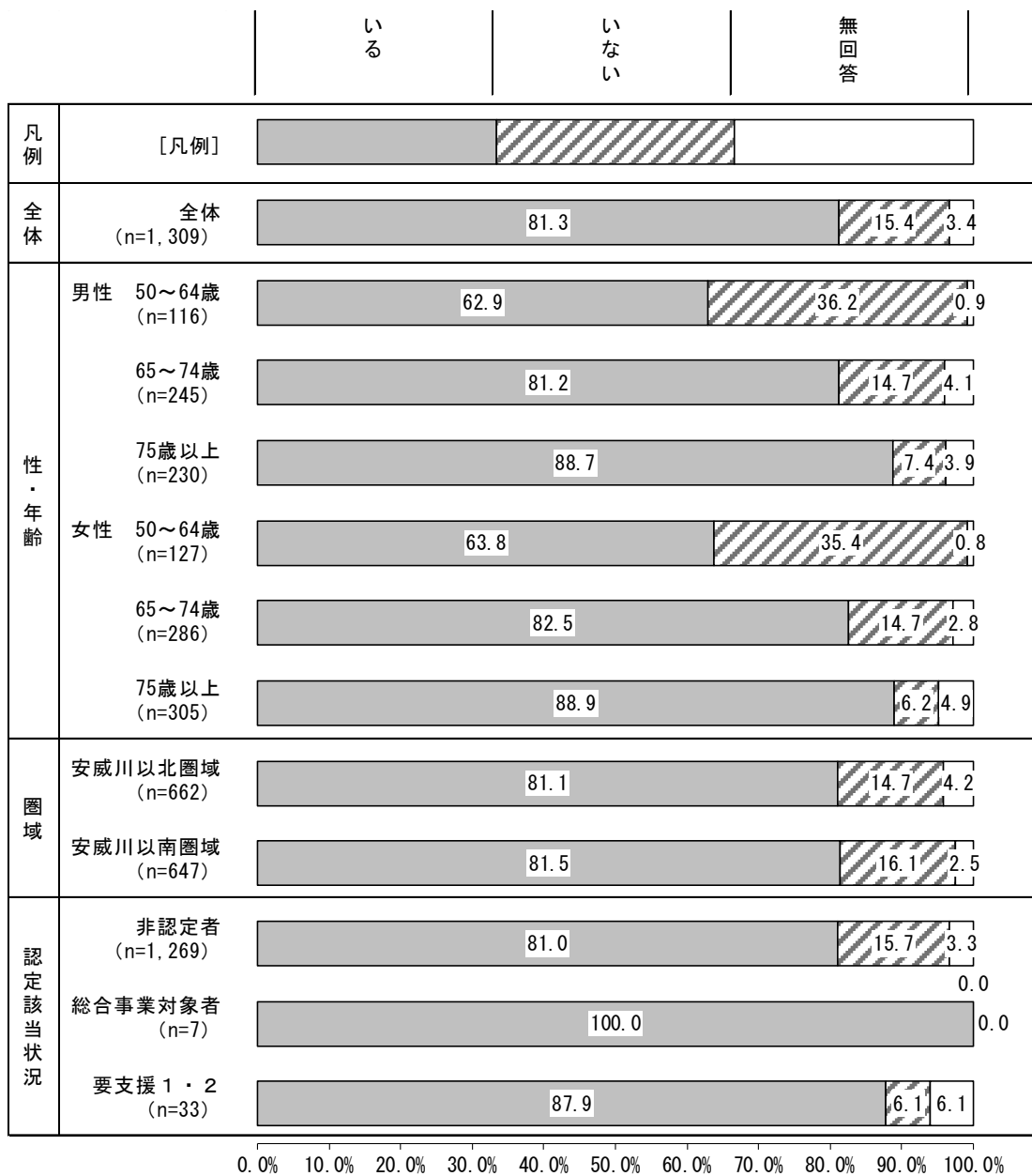
① かかりつけ医等の有無

●問7.7 (1) かかりつけ医がいますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ かかりつけ医の有無について、「いる」が81.3%、「いない」が15.4%となっています。

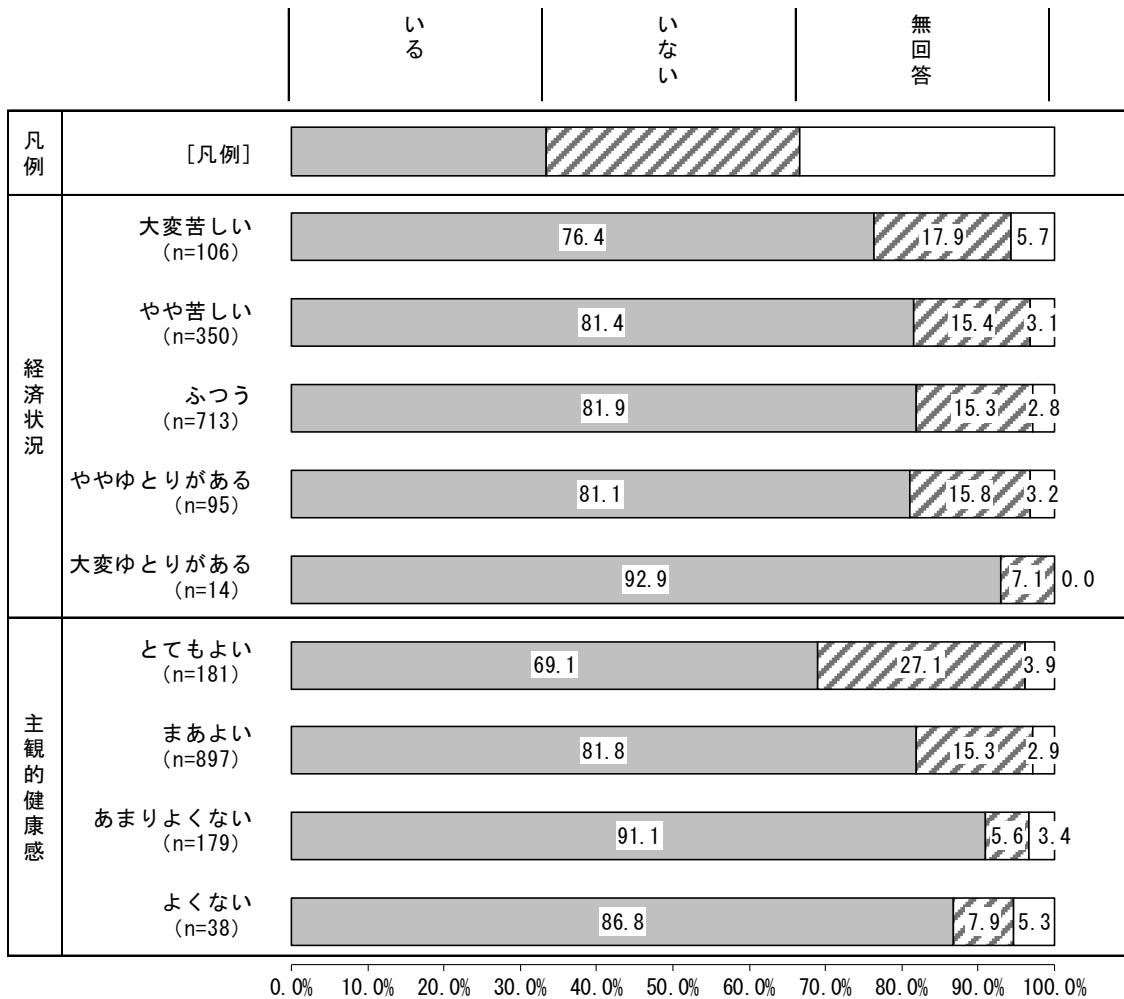
**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「いる」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では約9割となっています。  
 ○ 「いない」は男性(50~64歳)が36.2%、女性(50~64歳)が35.4%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【かかりつけ医の有無】



**【経済状況】**  
 ○ 大変苦しいと感じている人では「いる」が76.4%と他の経済状況区分に比べて少なくなっています。一方で、大変ゆとりがある人では「いる」が92.9%と他の経済状況区分に比べて多くなっています。

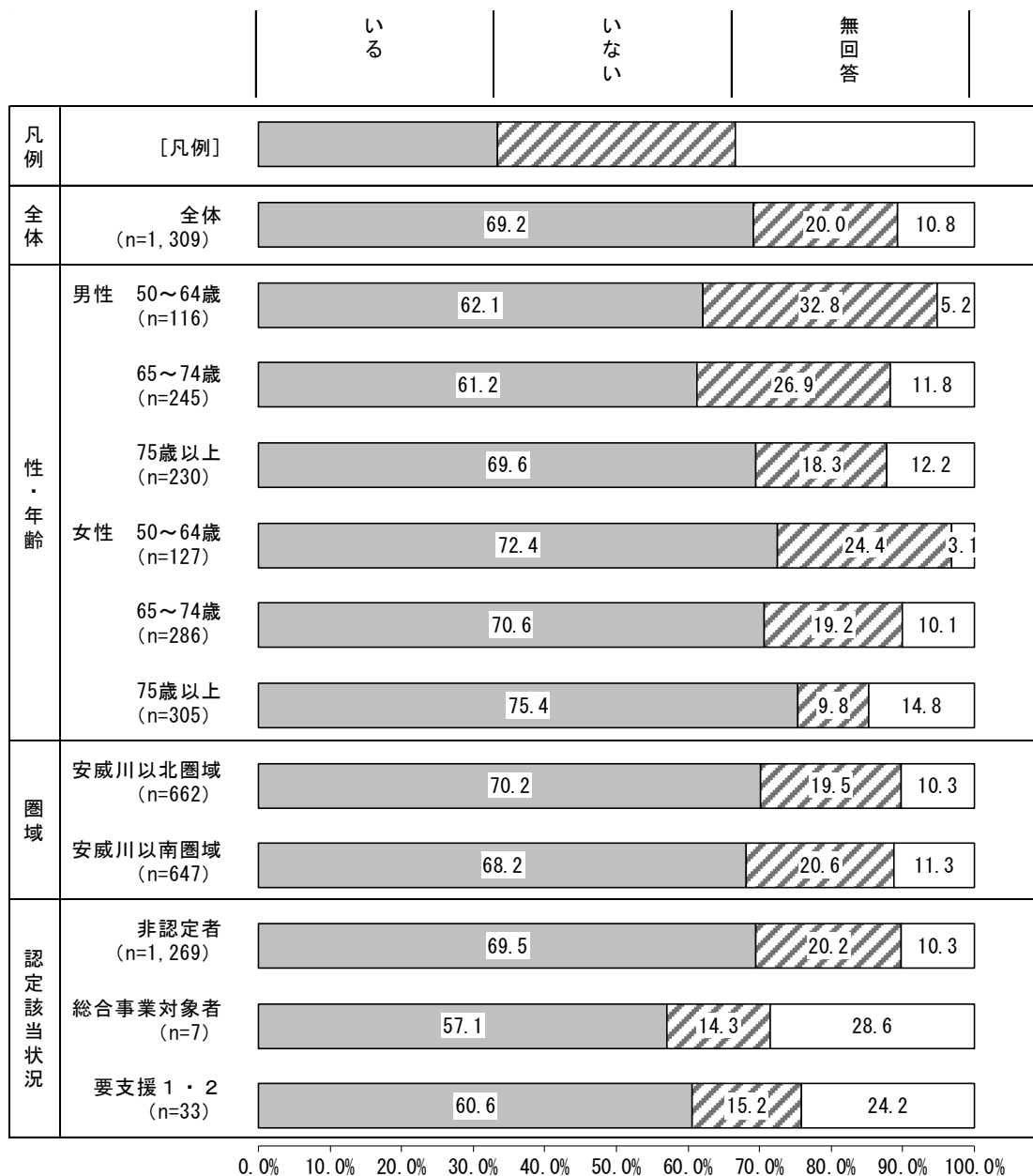
**【主観的健康感】**  
 ○ 主観的健康感がとてもよい人では「いる」が69.1%と他の主観的健康感区分に比べて少なくなっています。



●問7.7 (2) かかりつけ歯科医がいますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が69.2%、「いない」が20.0%となっています。  
**【性・年齢】**  
 いずれの年代でも女性では男性に比べて「いる」が多くなっています。

【かかりつけ歯科医の有無】

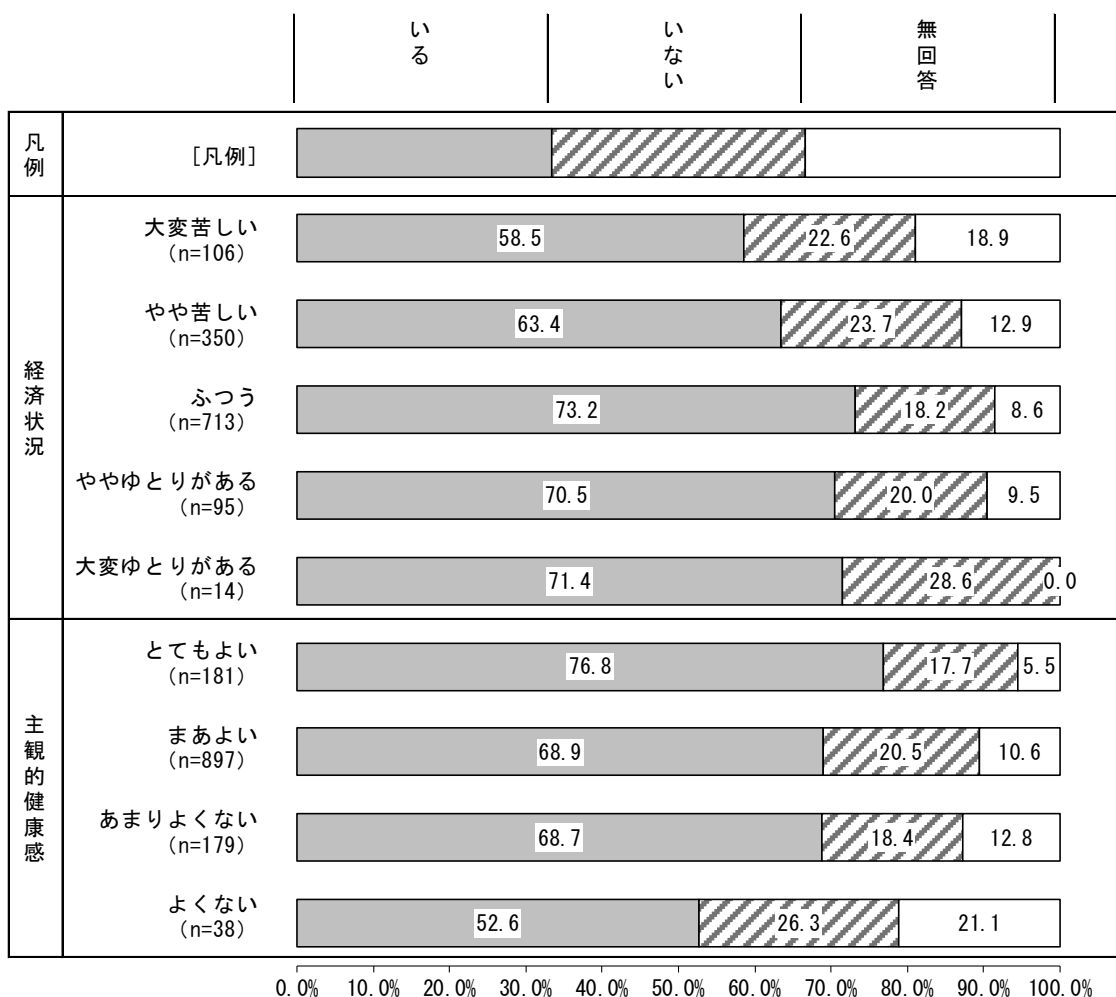


【経済状況】

○ 大変苦しい、やや苦しいと感じている人では「いる」が約6割と他の経済状況区分に比べて少なくなっています。

【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよくなるほど「いる」が多くなっています。



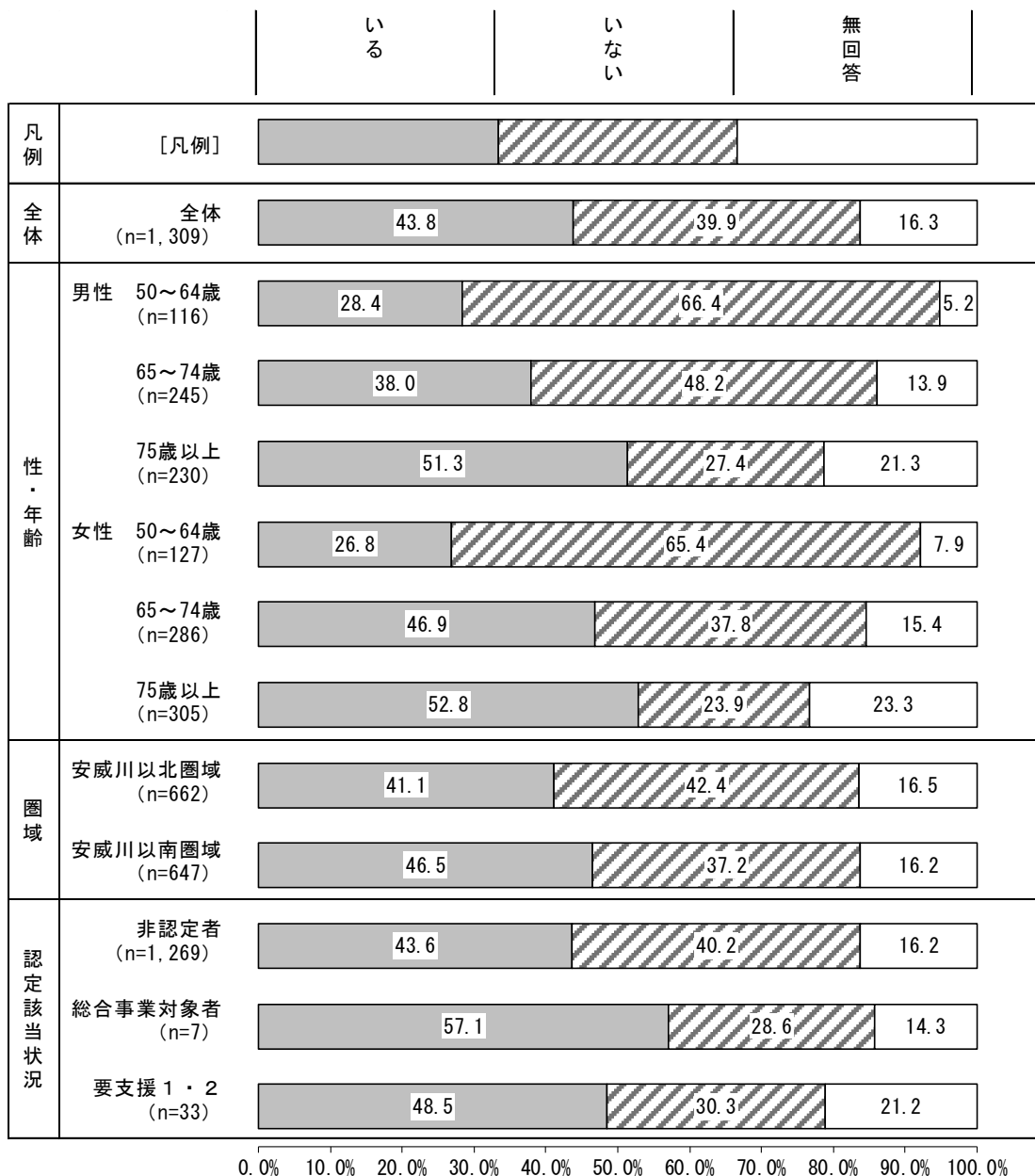
●問7.7 (3) かかりつけ薬剤師がいますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ かかりつけ薬剤師の有無について、「いる」が43.8%、「いない」が39.9%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「いる」が多くなる傾向がみられます。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「いる」が多くなっています。

【かかりつけ薬剤師の有無】



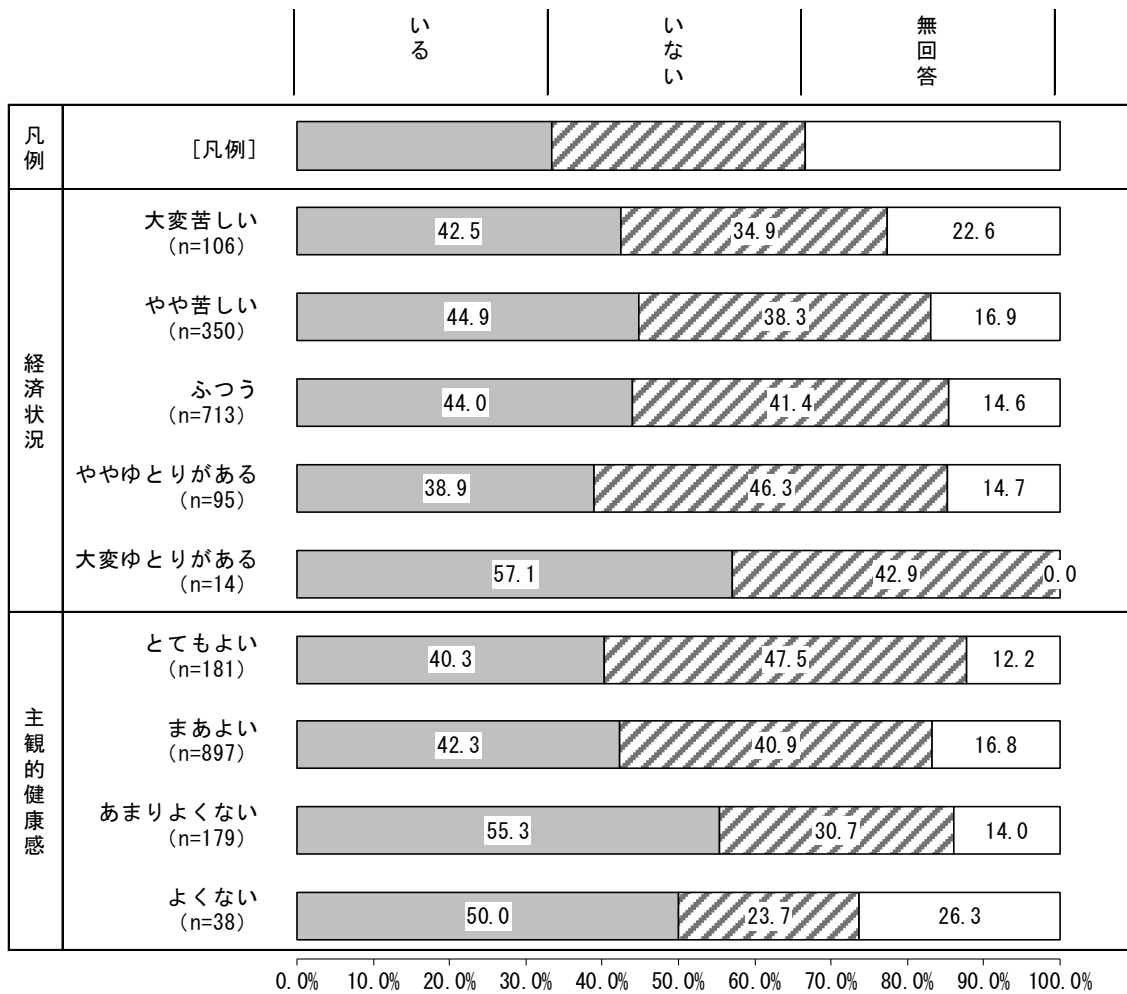


【経済状況】

○ 大変ゆとりがある人では「いる」が57.1%と他の経済状況区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよくない人ではよい人に比べて「いる」が多くなっています。



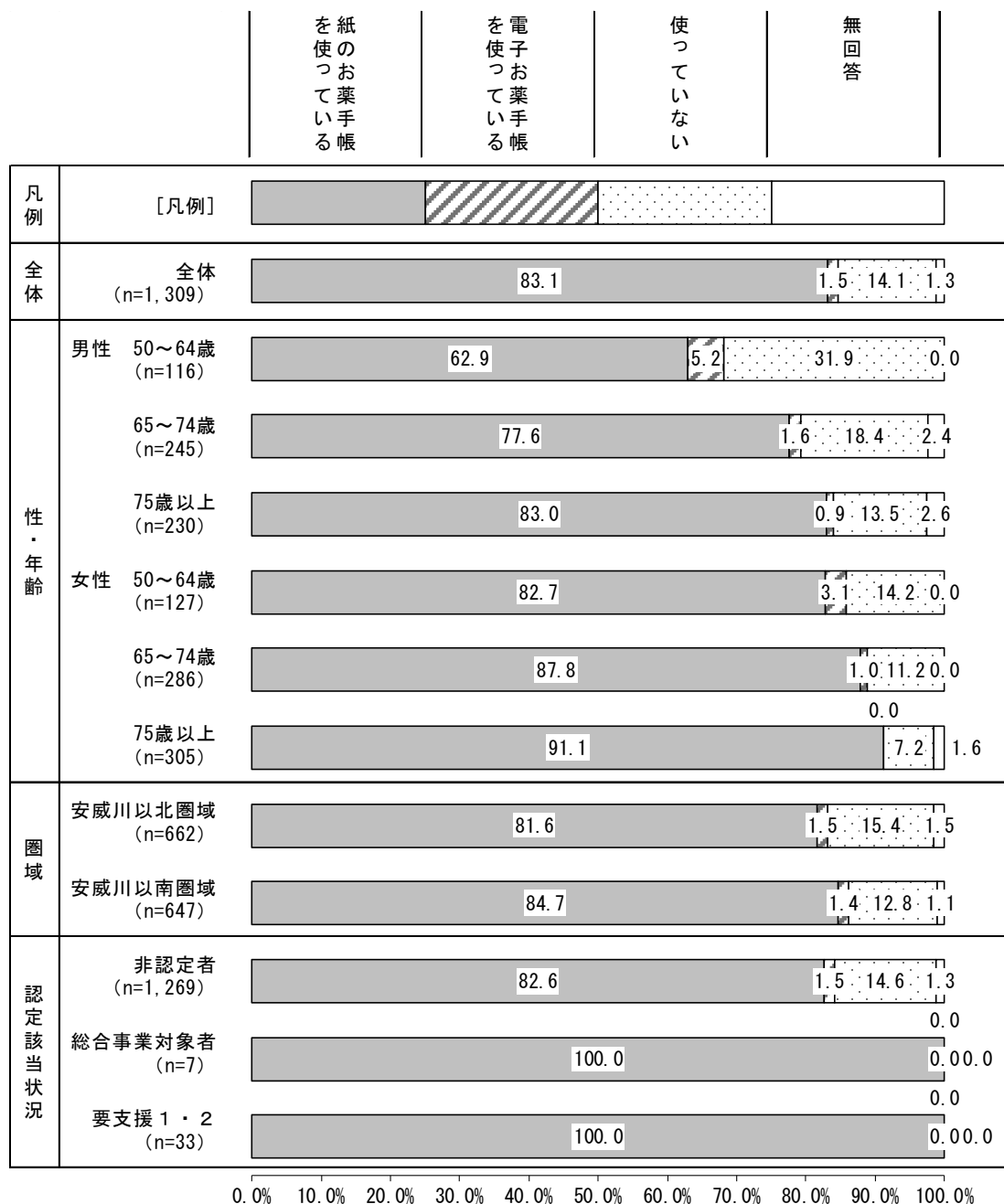
② お薬手帳

●問7.8 お薬手帳を使っていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ お薬手帳の活用状況について、「紙のお薬手帳を使っている」が83.1%で最も多く、次いで「使っていない」が14.1%、「電子お薬手帳を使っている」が1.5%となっています。  
 ○ 「紙のお薬手帳を使っている」「電子お薬手帳を使っている」を合わせた“使っている”は84.6%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて“使っている”が多くなっています。  
 ○ 男性（50～64歳）では、「電子お薬手帳を使っている」が5.2%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【お薬手帳の活用状況】



(5) 定期健診・検診

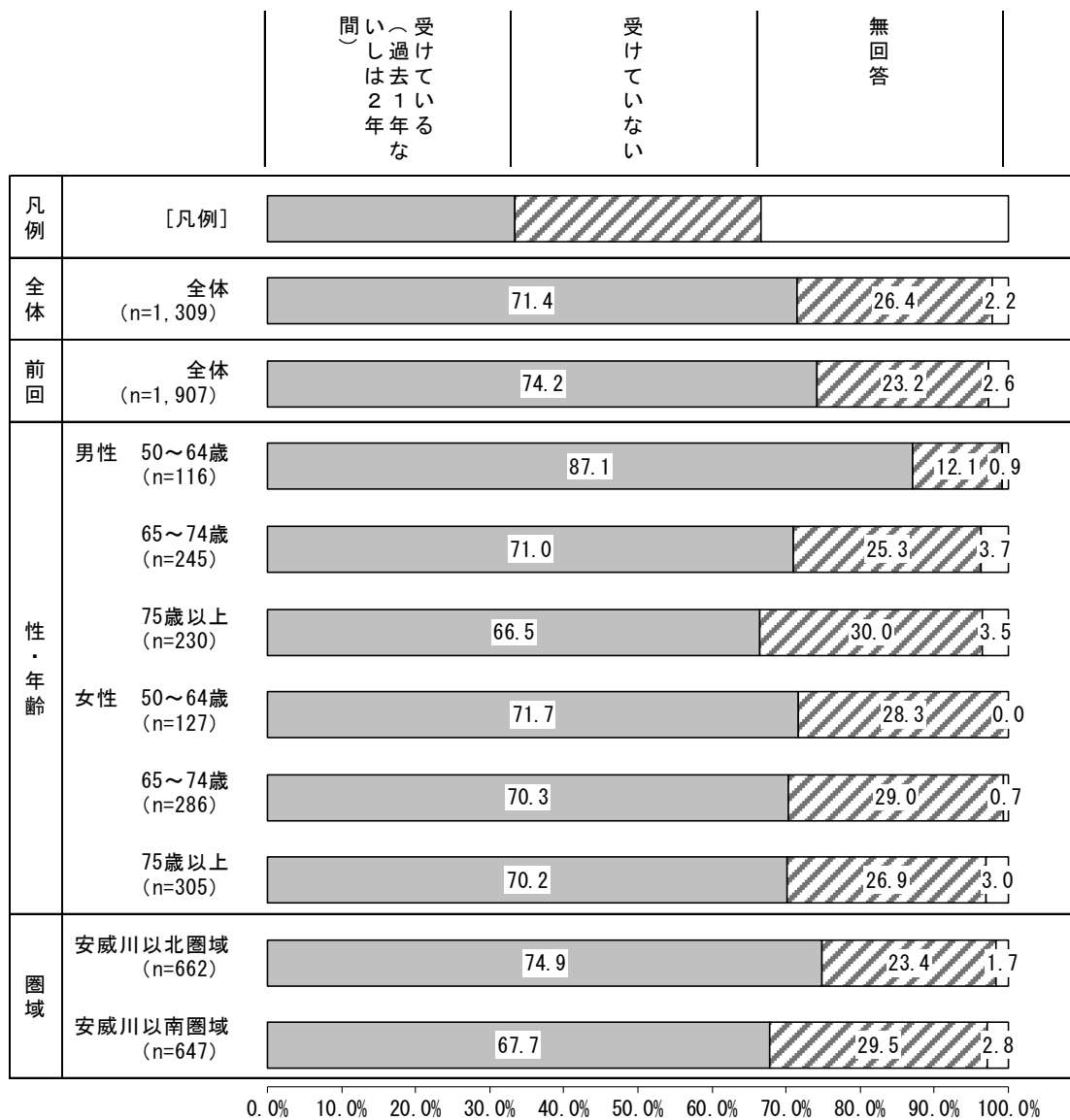
●問7.9 あなたは、定期健診・検診を受けていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 定期健診・検診の受診状況について、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が71.4%、「受けていない」が26.4%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男性（50～64歳）では、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が87.1%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。また、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられます。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以北圏域では、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が74.9%と安威川以南圏域の67.7%に比べて多くなっています。

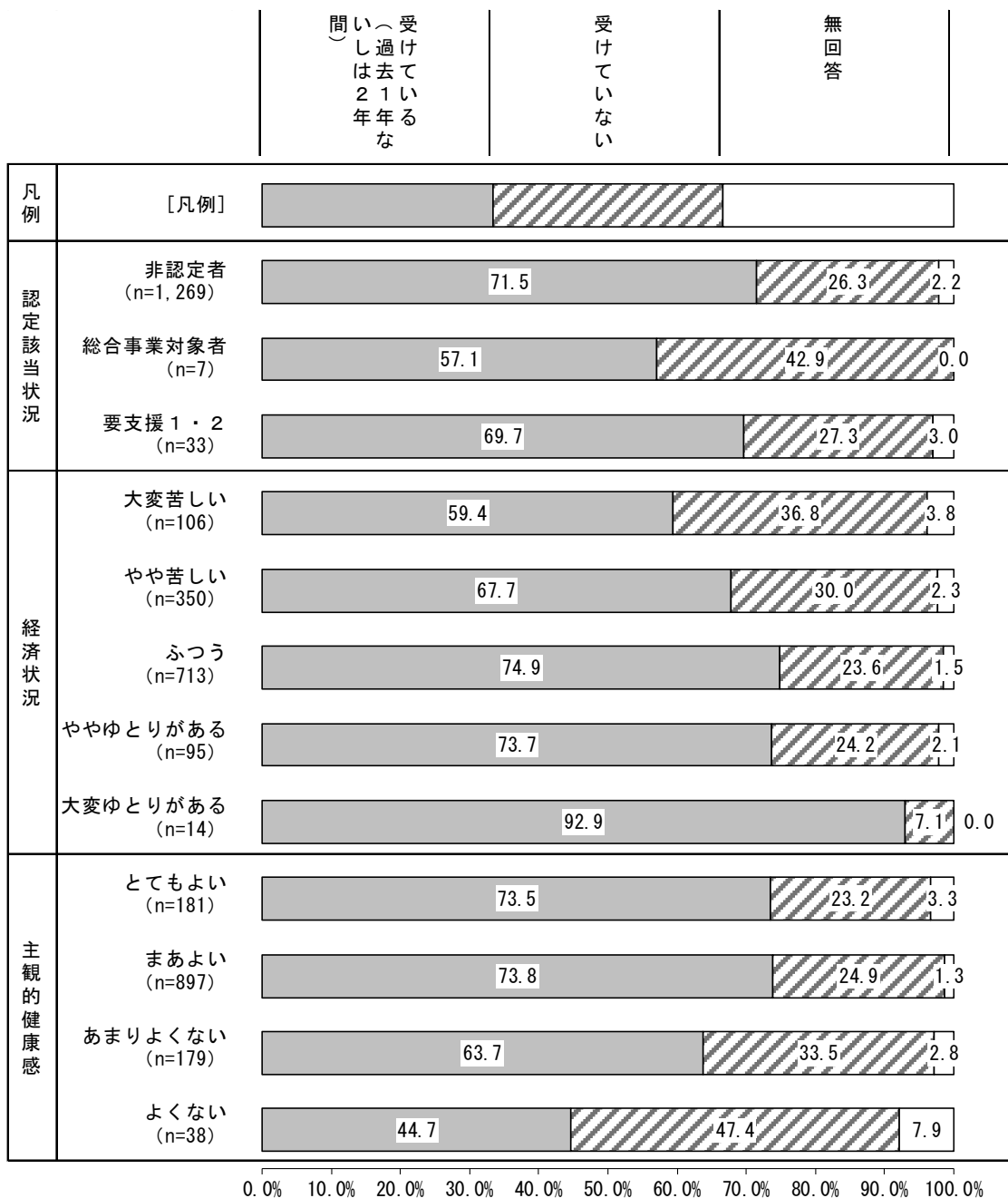
【定期健診・検診の受診状況】



**【認定該当状況】**  
 ○ 「受けている（過去1年ないしは2年間）」は、非認定者では71.5%、総合事業対象者では57.1%、要支援1・2では69.7%となっています。

**【経済状況】**  
 ○ 経済状況が苦しいほど「受けていない」が多くなる傾向がみられます。

**【主観的健康感】**  
 ○ 主観的健康感がよいほど「受けている（過去1年ないしは2年間）」が多くなる傾向がみられます。

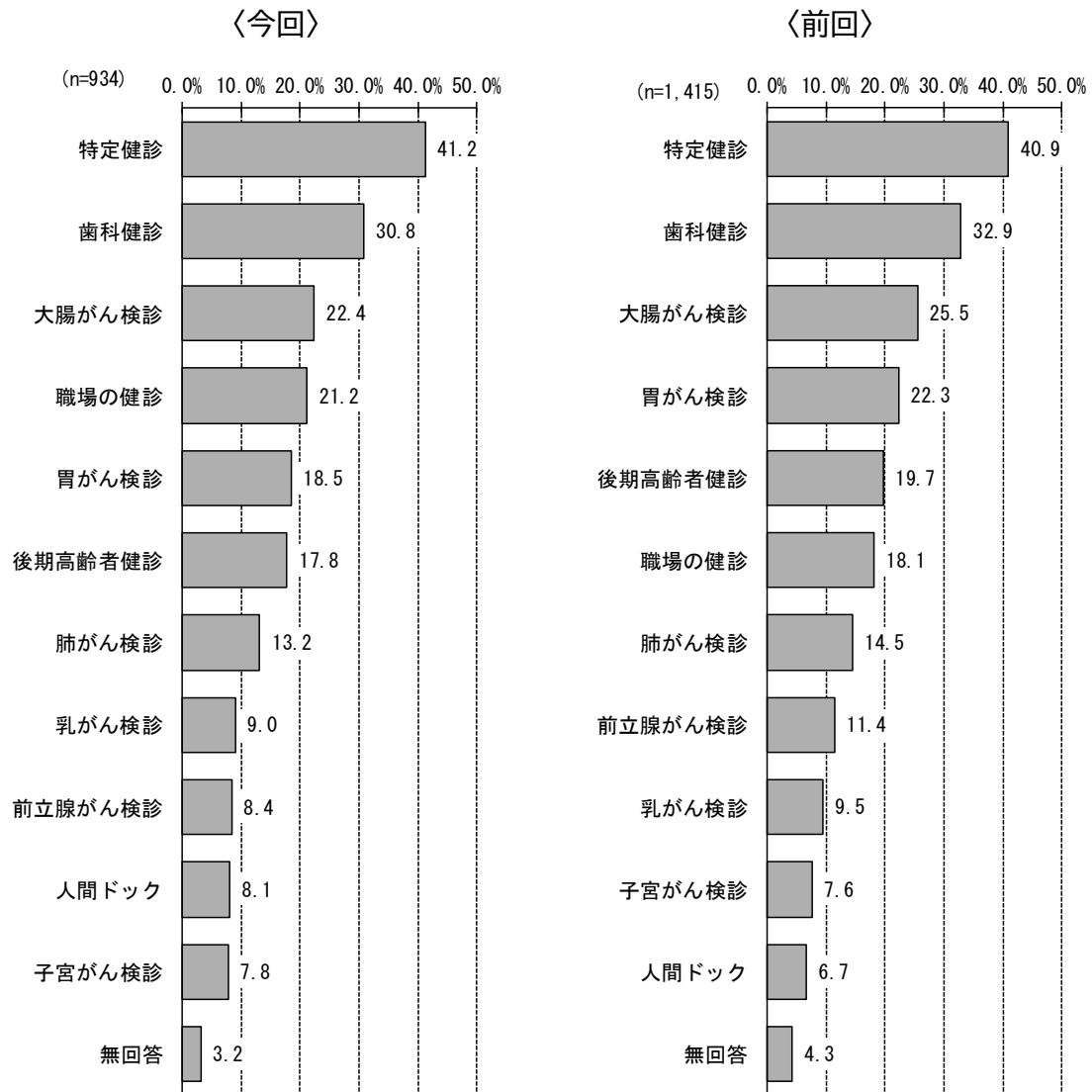


- 問7.9-1 [受けている方のみ] 受けている定期健診・検診の種類をお答えください。  
(受けたものすべて)

【全体】

○ 受けている定期健診・検診の種類について、「特定健診」が41.2%で最も多く、次いで「歯科健診」が30.8%、「大腸がん検診」が22.4%となっています。

【受けている定期健診・検診の種類(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 50～64 歳では、「職場の健診」が5割以上で最も多くなっています。また、75 歳以上では、「75 歳以上健診」が4割以上で最も多くなっています。
- 女性（65～74 歳）では、「特定健診」が68.2%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（50～64 歳）では他の性・年齢区分に比べて「人間ドック」が多く、そのほかの各種がん検診や「歯科健診」が少なくなっています。
- 男性では、「前立腺がん検診」は65 歳以上で約2割となっています。
- 女性では、「乳がん検診」「子宮がん検診」は50～64 歳でそれぞれ40.7%、30.8%であるのに対し、65 歳以上では2割未満となっています。

単位：%

	母数 (n)	受けている定期健診・検診の種類(MA)						
		特定 健診	健 7 診 5 歳 以 上	職 場 の 健 診	人 間 ド ッ ク	肺 が ん 検 診	胃 が ん 検 診	
全体	934	41.2	17.8	21.2	8.1	13.2	18.5	
性・ 年齢	男性 50～64歳	101	29.7	-	55.4	23.8	7.9	5.9
	65～74歳	174	46.6	-	33.3	12.1	16.1	16.1
	75歳以上	153	28.1	40.5	5.9	3.3	15.7	18.3
	女性 50～64歳	91	28.6	-	53.8	14.3	12.1	13.2
	65～74歳	201	68.2	-	11.9	5.5	16.9	25.9
	75歳以上	214	31.8	45.8	0.9	0.9	8.4	22.0
圏 域	安威川以北圏域	496	37.7	17.7	23.8	10.9	12.7	16.3
	安威川以南圏域	438	45.2	17.8	18.3	5.0	13.7	21.0
当 認 状 定 況 該	非認定者	907	41.6	16.5	21.8	8.3	13.5	18.9
	総合事業対象者	4	75.0	50.0	-	-	25.0	25.0
	要支援1・2	23	21.7	60.9	-	4.3	-	4.3

単位：%

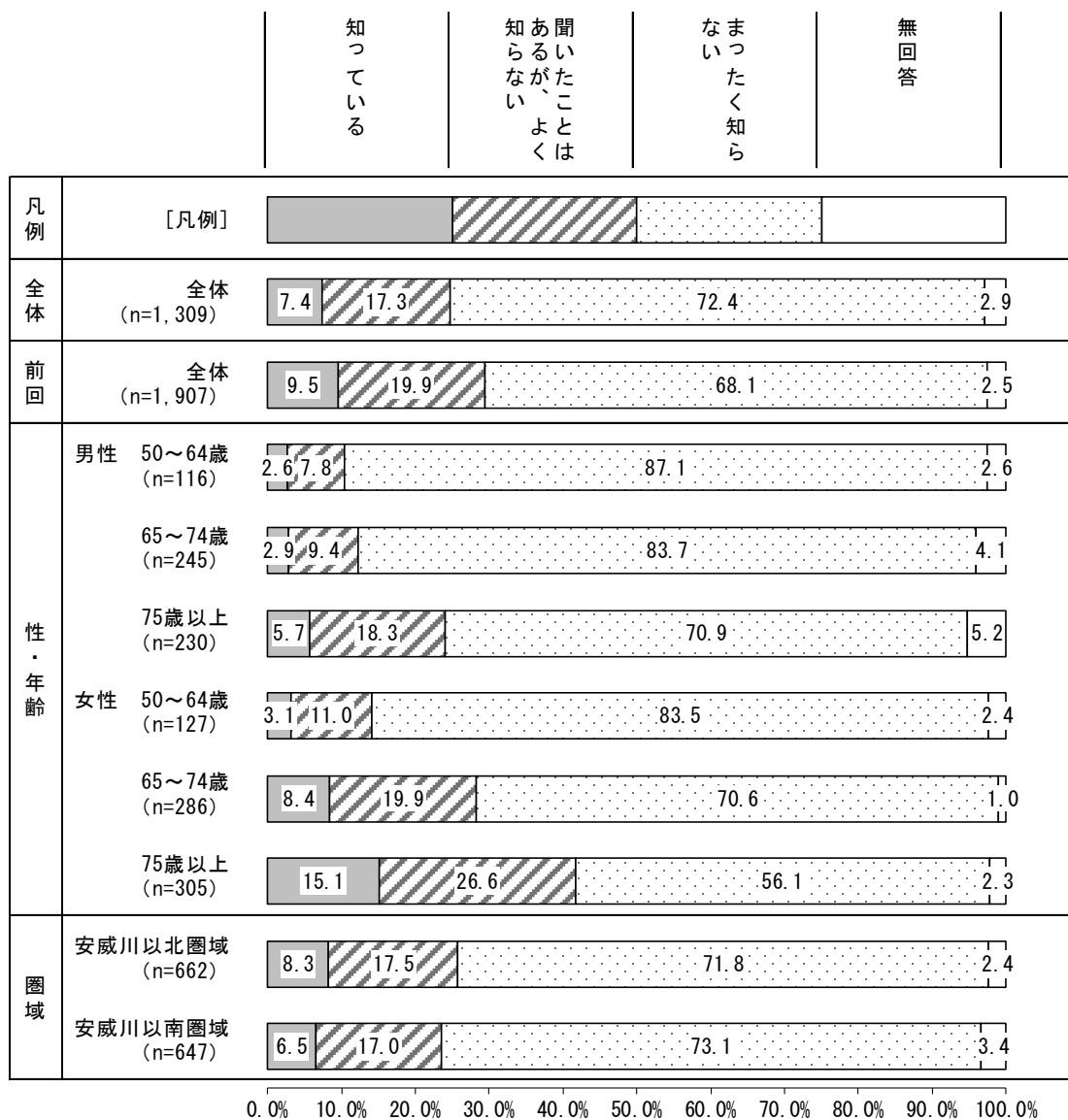
	母数 (n)	受けている定期健診・検診の種類(MA)						
		診 大 腸 が ん 検	検 前 立 腺 が ん	歯 科 健 診	乳 が ん 検 診	診 子 宮 が ん 検	無 回 答	
全体	934	22.4	8.4	30.8	9.0	7.8	3.2	
性・ 年齢	男性 50～64歳	101	8.9	7.9	14.9	-	-	-
	65～74歳	174	25.3	18.4	26.4	-	-	2.9
	75歳以上	153	29.4	23.5	31.4	-	-	6.5
	女性 50～64歳	91	18.7	-	28.6	40.7	30.8	-
	65～74歳	201	29.9	-	32.8	14.9	14.9	3.0
	75歳以上	214	15.9	-	40.7	7.5	6.5	4.2
圏 域	安威川以北圏域	496	23.0	8.7	32.9	9.7	9.7	2.2
	安威川以南圏域	438	21.7	8.0	28.5	8.2	5.7	4.3
当 認 状 定 況 該	非認定者	907	22.8	8.3	30.8	9.0	7.8	3.2
	総合事業対象者	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	要支援1・2	23	4.3	8.7	30.4	8.7	8.7	4.3

(6)健康維持・介護予防

●問7.10 「せつつみんなで体操四部作」をご存知ですか。(1つだけ)

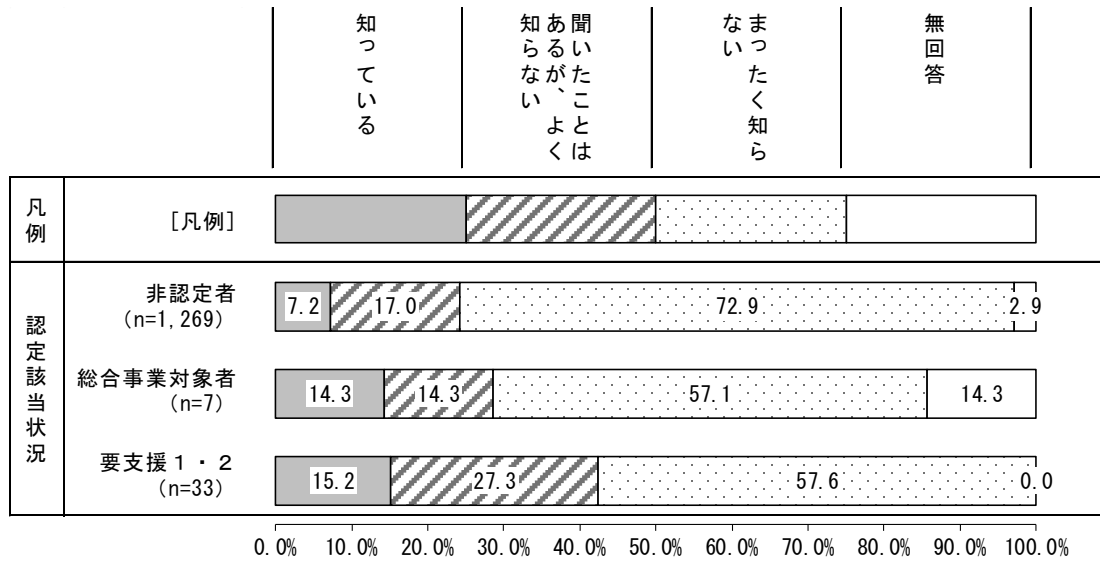
- 【全体】**
- 「せつつみんなで体操四部作」の認知状況について、「まったく知らない」が72.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が17.3%、「知っている」が7.4%となっています。
  - 前回調査に比べて、「まったく知らない」が4.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。特に、75歳以上では15.1%となっています。
  - 男性では75歳以上、女性では65歳以上で、「聞いたことはあるが、よく知らない」が多くなっています。

【「せつつみんなで体操四部作」の認知状況】



【認定該当状況】

- 「知っている」は、非認定者では 7.2%、総合事業対象者では 14.3%、要支援1・2では 15.2%となっています。
- 要支援1・2では、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 27.3%と他の認定該当区分に比べて多くなっています。





## 9. 認知症支援について

### (1) 認知症の有無

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

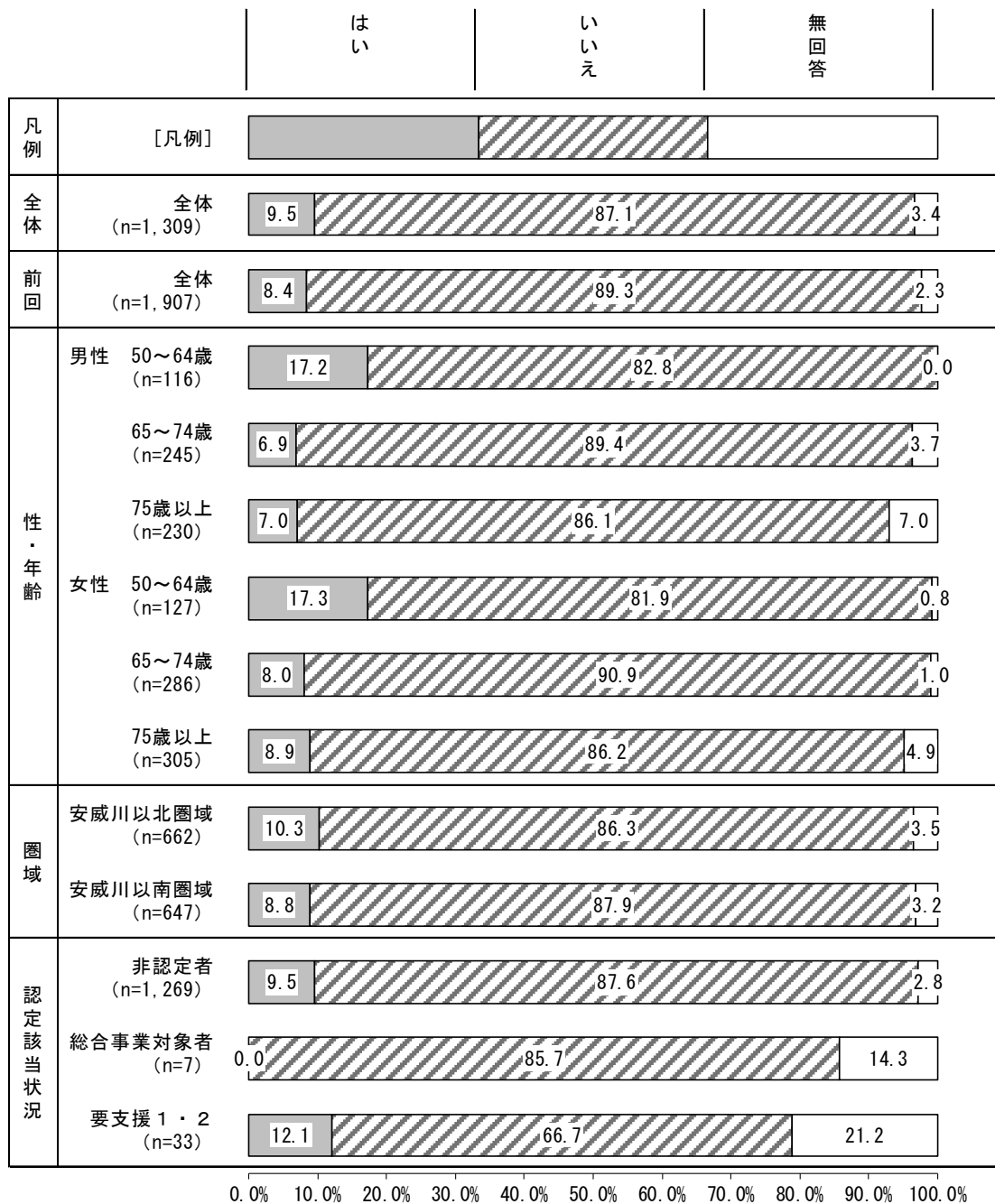
**【全体】**

○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が9.5%、「いいえ」が87.1%となっています。

**【性・年齢】**

○ 男女ともに50～64歳で他の性・年齢区分に比べて「はい」が多くなっています。

**【自身や家族の認知症の症状有無】**



(2) 認知症に関する相談窓口の認知状況

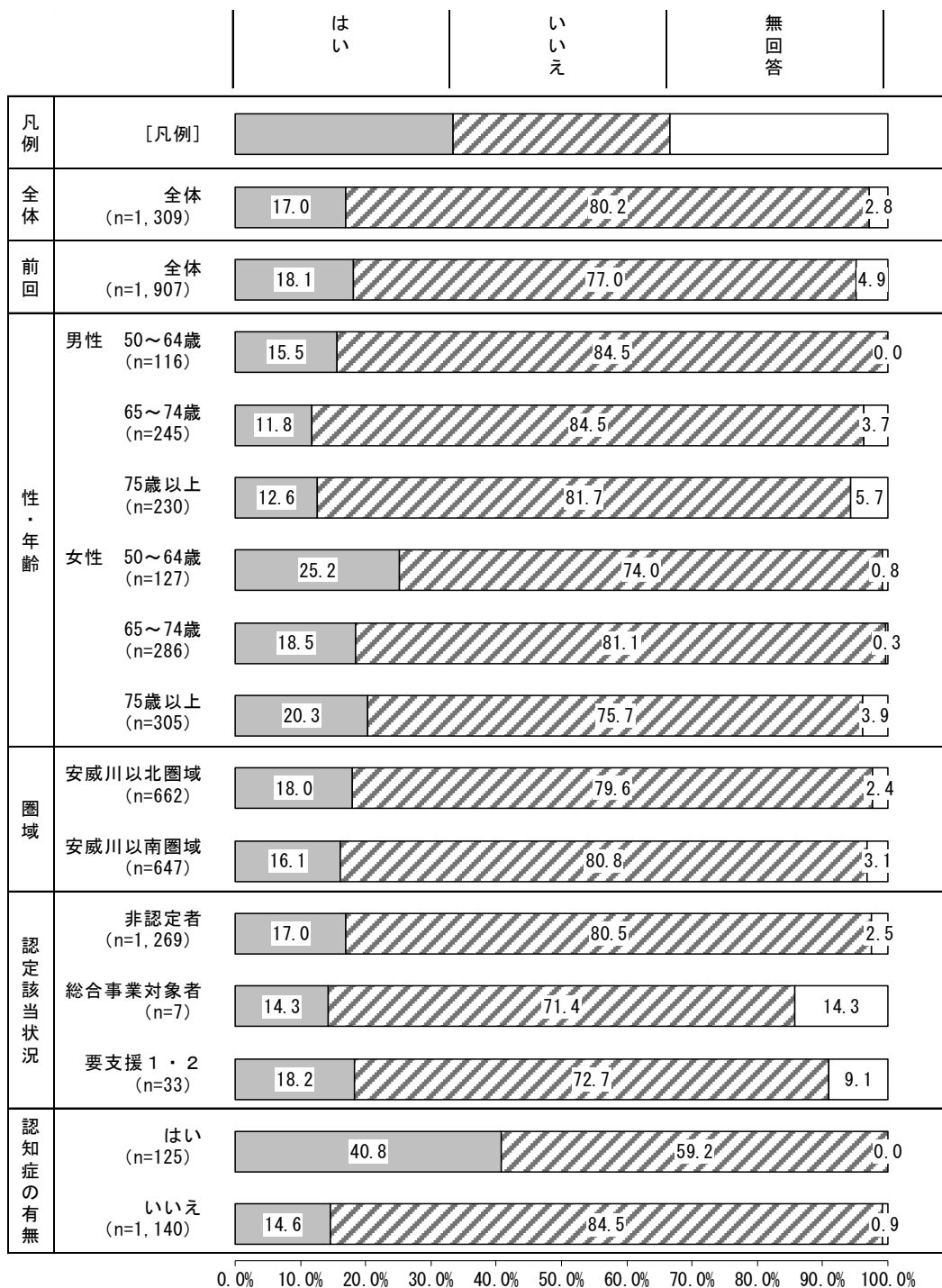
●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が17.0%、「いいえ」が80.2%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。特に、女性(50~64歳)では、25.2%と多くなっています。

**【認知症の有無】**  
 ○ 自身又は家族に認知症の症状がある人では、「いいえ」が59.2%となっています。

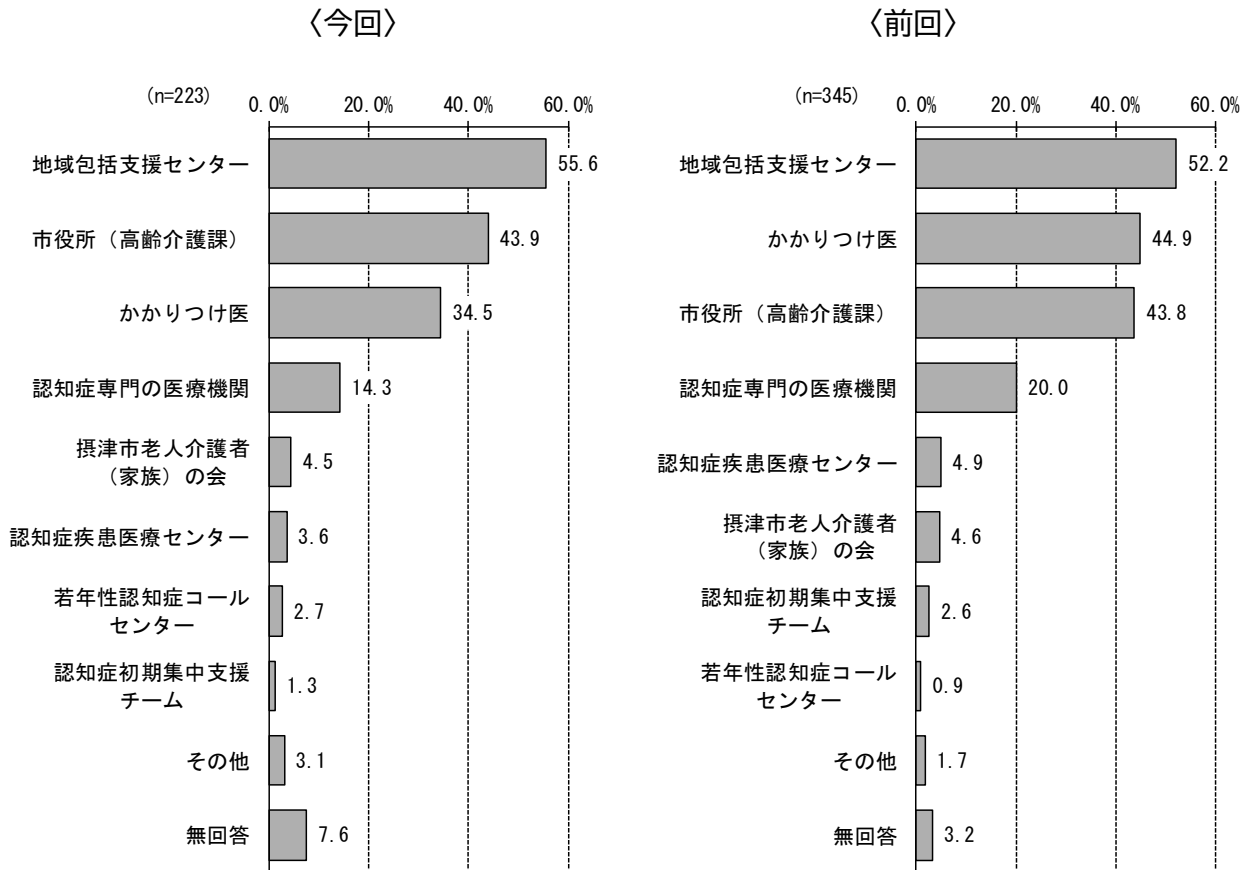
【認知症に関する相談窓口の周知状況】



●問8.2-1 【知っている方のみ】それはどちらですか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 知っている認知症相談窓口について、「地域包括支援センター」が 55.6%で最も多く、次いで「市役所（高齢介護課）」が 43.9%、「かかりつけ医」が 34.5%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「地域包括支援センター」が多く、「かかりつけ医」「認知症専門の医療機関」が少なくなっています。

【知っている認知症相談窓口】



【性・年齢】

- 男性（75歳以上）では74歳以下に比べて「地域包括支援センター」が少なく、「かかりつけ医」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では74歳以下に比べて「地域包括支援センター」「かかりつけ医」「認知症専門の医療機関」「認知症初期集中支援チーム」「市役所（高齢介護課）」が少なくなっています。
- 男性（74歳以下）では「認知症疾患医療センター」「摂津市老人介護者（家族）の会」「若年性認知症コールセンター」「認知症初期集中支援チーム」は、0.0%となっています。

【圏域】

- 「地域包括支援センター」は、安威川以北圏域では63.9%、安威川以南圏域では46.2%となっています。

単位：%

	母数 (n)	知っている認知症相談窓口					
		地域包括支援センター	かかりつけ医	認知症専門の医療機関	認知症疾患医療センター	摂津市老人介護者（家族）の会	
全体	223	55.6	34.5	14.3	3.6	4.5	
性・年齢	男性 50～64歳	18	66.7	22.2	11.1	-	-
	65～74歳	29	62.1	24.1	27.6	-	-
	75歳以上	29	48.3	44.8	17.2	10.3	10.3
	女性 50～64歳	32	81.3	34.4	25.0	3.1	6.3
	65～74歳	53	62.3	43.4	9.4	1.9	3.8
	75歳以上	62	33.9	30.6	6.5	4.8	4.8
圏域	安威川以北圏域	119	63.9	31.9	12.6	3.4	5.9
	安威川以南圏域	104	46.2	37.5	16.3	3.8	2.9
当認定状況	非認定者	216	55.1	34.3	14.4	3.7	4.6
	総合事業対象者	1	100.0	100.0	-	-	-
	要支援1・2	6	66.7	33.3	16.7	-	-

単位：%

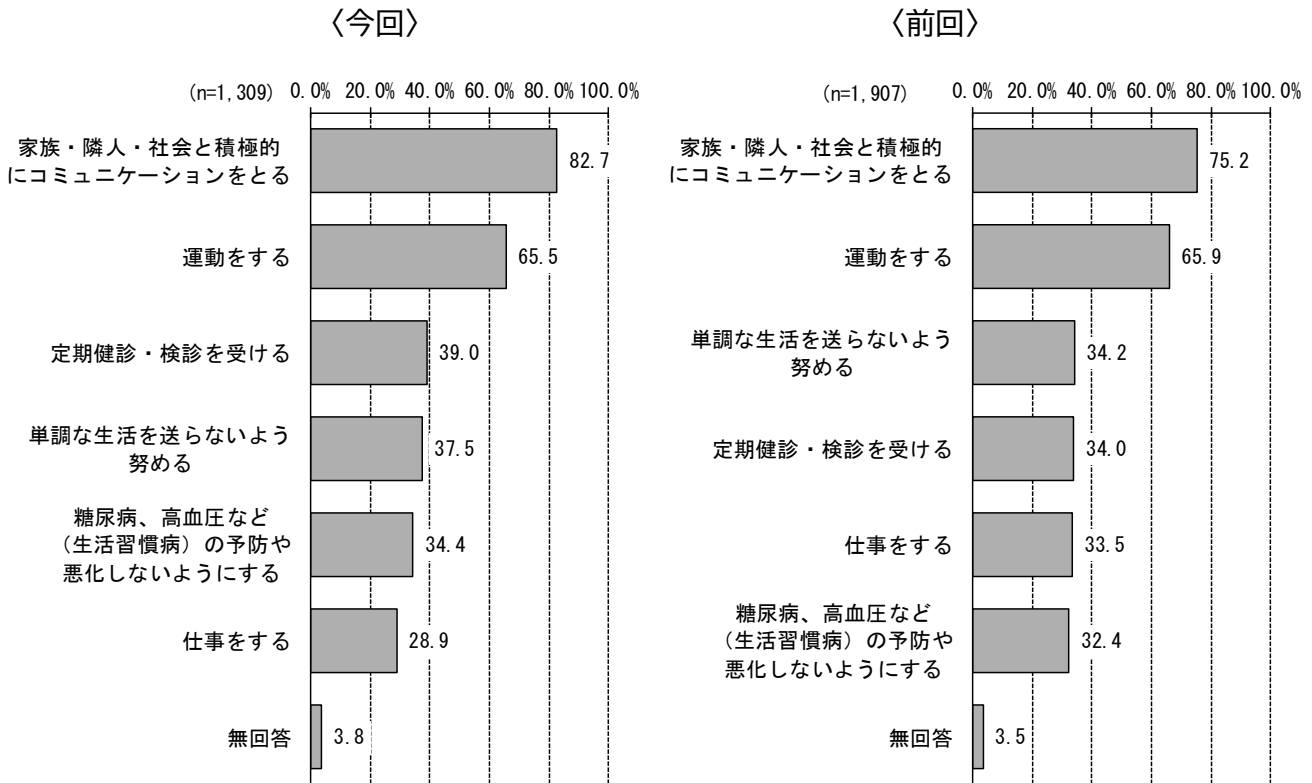
	母数 (n)	知っている認知症相談窓口					
		若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	市役所（高齢介護課）	その他	無回答	
全体	223	2.7	1.3	43.9	3.1	7.6	
性・年齢	男性 50～64歳	18	-	-	38.9	-	5.6
	65～74歳	29	-	-	44.8	3.4	3.4
	75歳以上	29	-	-	44.8	3.4	13.8
	女性 50～64歳	32	9.4	6.3	50.0	3.1	3.1
	65～74歳	53	1.9	1.9	54.7	1.9	3.8
	75歳以上	62	3.2	-	32.3	4.8	12.9
圏域	安威川以北圏域	119	2.5	1.7	45.4	4.2	8.4
	安威川以南圏域	104	2.9	1.0	42.3	1.9	6.7
当認定状況	非認定者	216	2.8	1.4	44.9	3.2	7.4
	総合事業対象者	1	-	-	-	-	-
	要支援1・2	6	-	-	16.7	-	16.7

(3) 認知症予防の方法

●問8.3 認知症予防の方法として重要なものは次のうちどれだと思いますか。  
(いくつでも)

【全体】  
○ 認知症予防の方法として重要だと思うものについて、「家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる」が 82.7%で最も多く、次いで「運動をする」が 65.5%、「定期健診・検診を受ける」が 39.0%となっています。

【認知症予防の方法として重要だと思うもの(MA)】



単位：%

性・年齢	母数 (n)	認知症予防の方法として重要だと思うもの(MA)							
		家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる	運動をする	定期健診・検診を受ける	単調な生活を送らないよう努める	予防(生活習慣病)の悪化しないようにする	仕事をする	無回答	
全体	1,309	82.7	65.5	39.0	37.5	34.4	28.9	3.8	
性・年齢	男性 50~64歳	116	81.0	69.0	36.2	37.1	26.7	58.6	0.9
	65~74歳	245	75.9	60.8	34.7	38.0	35.5	37.1	4.5
	75歳以上	230	73.0	63.5	42.6	31.7	33.5	20.0	7.0
	女性 50~64歳	127	91.3	75.6	37.8	44.1	38.6	40.9	0.8
	65~74歳	286	94.1	69.2	37.4	40.2	31.8	23.1	1.0
75歳以上	305	82.0	61.6	42.6	36.4	37.7	18.0	5.9	
圏域	安威川以北圏域	662	82.8	66.8	39.7	38.8	33.1	29.3	3.5
	安威川以南圏域	647	82.7	64.1	38.2	36.2	35.7	28.4	4.2
当認定状況	非認定者	1,269	83.5	66.0	38.8	37.8	34.4	29.5	3.5
	総合事業対象者	7	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3
	要支援1・2	33	63.6	48.5	45.5	27.3	30.3	9.1	12.1

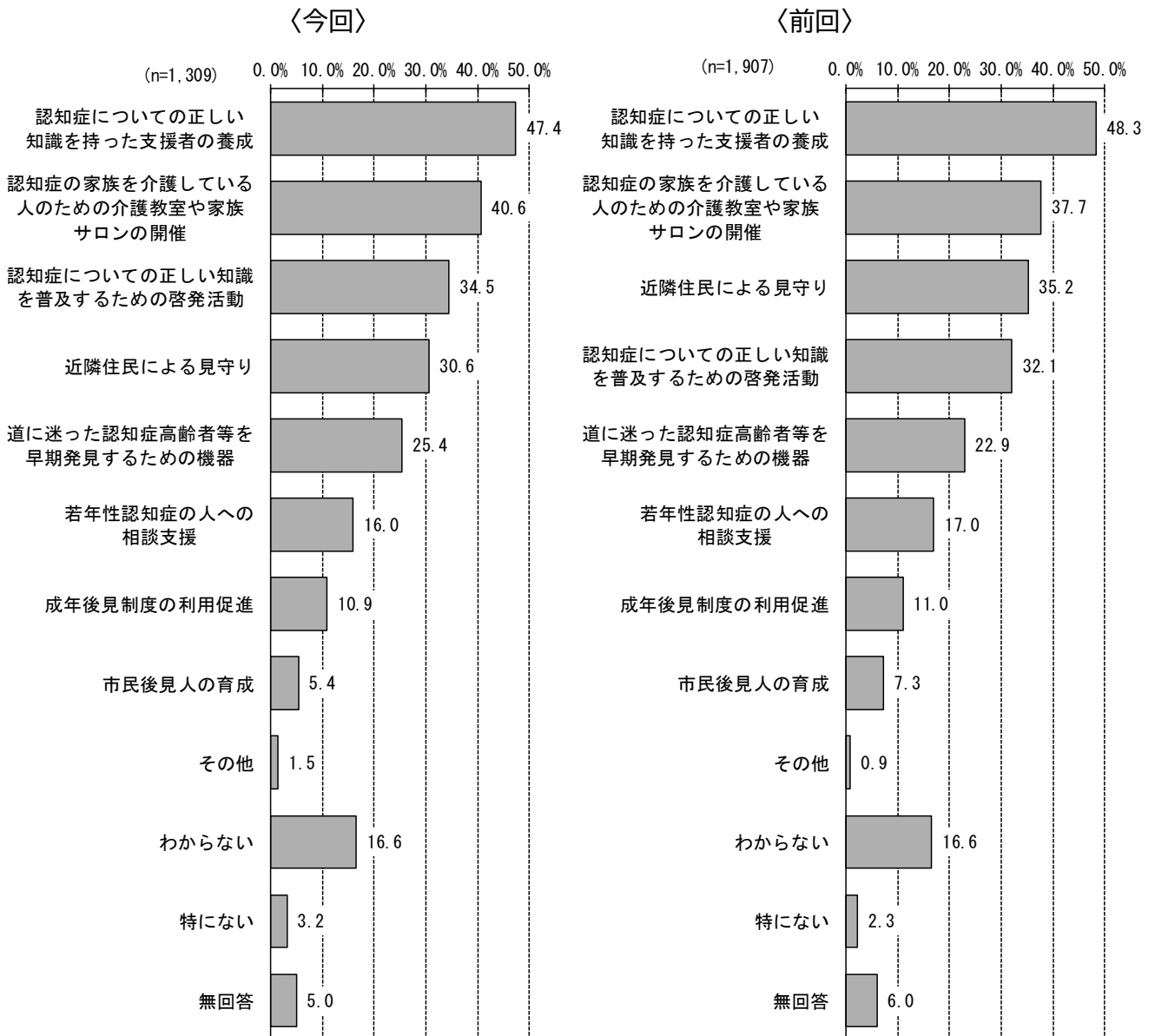
(4) 認知症の人への支援

●問8.4 認知症の人への支援に必要なことはどのようなことだと思いますか。  
(いくつでも)

【全体】

○ 認知症の人への支援に必要なだと思うことについて、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が47.4%で最も多く、次いで「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」が40.6%、「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が34.5%となっています。

【認知症の人への支援に必要なと思うこと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「わからない」が多くなる傾向がみられます。
- 男女ともに 50～64 歳では「若年性認知症の人への相談支援」が2割以上となっています。
- 男性（65 歳以上）では、女性（65 歳以上）に比べて「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が多くなっています。
- 女性（74 歳以下）では、男性（74 歳以下）に比べて「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」が多くなっています。また、「近隣住民による見守り」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- また、女性（65 歳以上）では、「近隣住民による見守り」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	認知症の人への支援に必要だと思うこと (MA)					年齢 道に迷 つた 早期 発見 す高
			介護 開 催 や 家 族 サ ロ ン の 開 催	認知 症 の 家 族 を 介 護 し て い る 人 の た め の 介 護 教 室 や 家 族 サ ロ ン の 開 催	認知 症 の 家 族 を 介 護 し て い る 人 の た め の 介 護 教 室 や 家 族 サ ロ ン の 開 催	認知 症 の 家 族 を 介 護 し て い る 人 の た め の 介 護 教 室 や 家 族 サ ロ ン の 開 催	認知 症 の 家 族 を 介 護 し て い る 人 の た め の 介 護 教 室 や 家 族 サ ロ ン の 開 催	
全体		1,309	40.6	47.4	34.5	16.0	30.6	25.4
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	45.7	44.8	37.9	23.3	23.3	24.1
	65～74歳	245	41.6	53.5	42.4	11.8	26.9	24.1
	75歳以上	230	32.2	42.6	33.0	11.3	25.7	23.5
	女性 50～64歳	127	52.8	57.5	38.6	26.0	27.6	27.6
	65～74歳	286	46.9	51.4	32.2	19.2	36.4	29.0
	75歳以上	305	33.1	39.3	28.2	13.1	36.1	24.3
圏 域	安威川以北圏域	662	42.4	48.2	35.0	16.8	29.9	25.1
	安威川以南圏域	647	38.6	46.7	33.8	15.3	31.4	25.8
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	41.1	47.6	34.8	16.2	30.7	25.9
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-
	要支援1・2	33	27.3	45.5	21.2	12.1	33.3	12.1

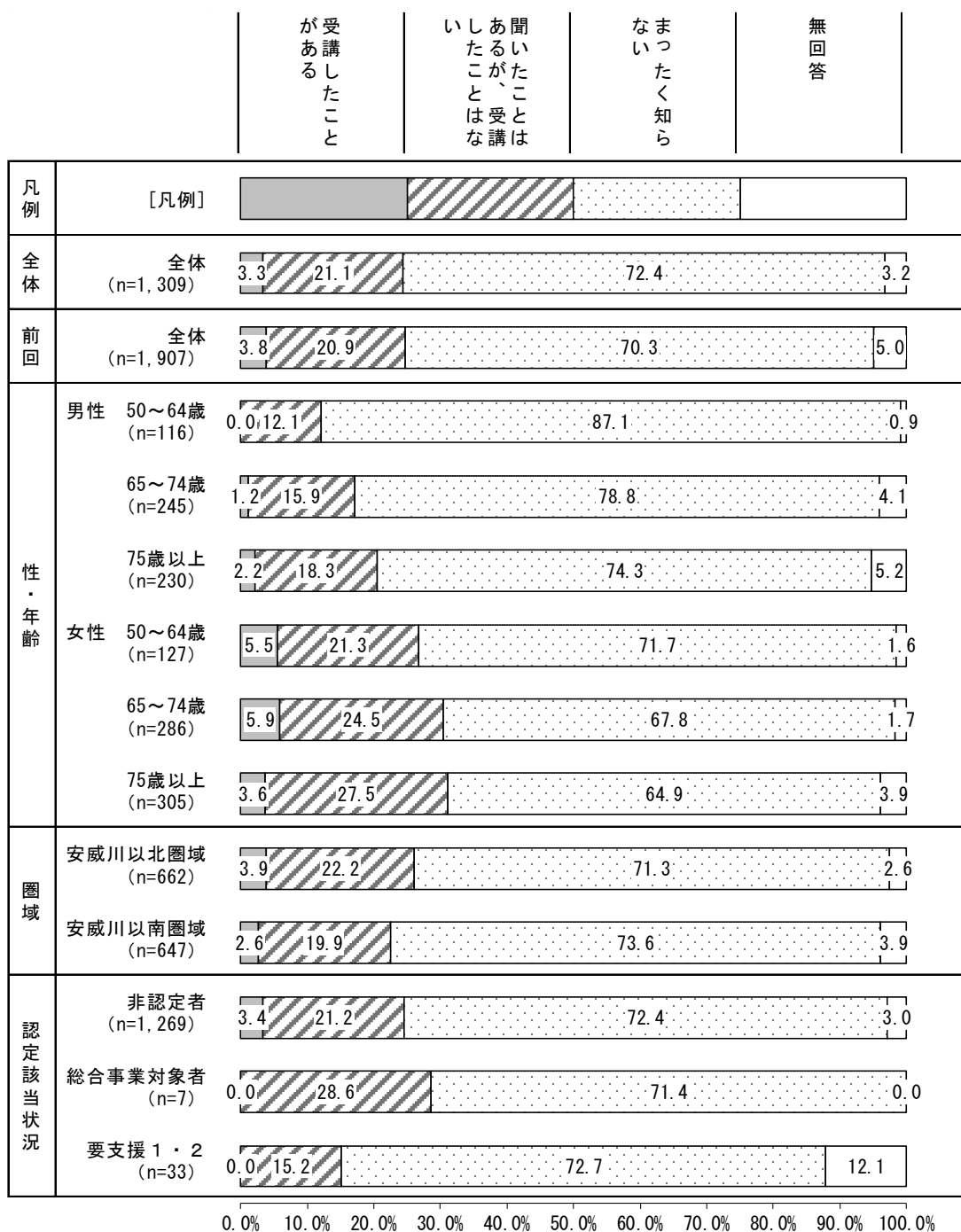
単位：%

		母数 (n)	認知症の人への支援に必要だと思うこと (MA)					無 回 答
			促 進 後 見 制 度 の 利 用	市 民 後 見 人 の 育 成	そ の 他	わ か ら な い	特 に な い	
全体		1,309	10.9	5.4	1.5	16.6	3.2	5.0
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	11.2	6.0	3.4	12.9	0.9	1.7
	65～74歳	245	11.0	6.9	1.6	14.3	4.1	4.9
	75歳以上	230	8.3	4.3	0.4	21.7	6.1	6.5
	女性 50～64歳	127	15.7	5.5	4.7	12.6	0.8	2.4
	65～74歳	286	12.2	3.8	-	15.4	1.4	2.8
	75歳以上	305	9.5	6.2	1.3	18.7	3.9	8.5
圏 域	安威川以北圏域	662	12.1	6.0	1.8	16.0	3.2	3.9
	安威川以南圏域	647	9.7	4.8	1.1	17.2	3.2	6.2
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	11.2	5.5	1.5	16.6	3.1	4.7
	総合事業対象者	7	-	-	-	14.3	28.6	-
	要支援1・2	33	3.0	3.0	-	15.2	3.0	18.2

●問8.5 認知症サポーター養成講座についてご存知ですか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 認知症サポーター養成講座の認知状況について、「まったく知らない」が72.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、受講したことはない」が21.1%、「受講したことがある」が3.3%となっています。
  - 「受講したことがある」「聞いたことはあるが、受講したことはない」を合わせた“知っている”は24.4%となっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも女性では男性に比べて“知っている”が多くなっています。特に、65歳以上では3割以上となっています。
  - 女性(74歳以下)では他の性・年齢区分に比べて、「受講したことがある」が多くなっています。

【認知症サポーター養成講座の認知状況】





(5) 「せっつはつらつ脳トレ体操」

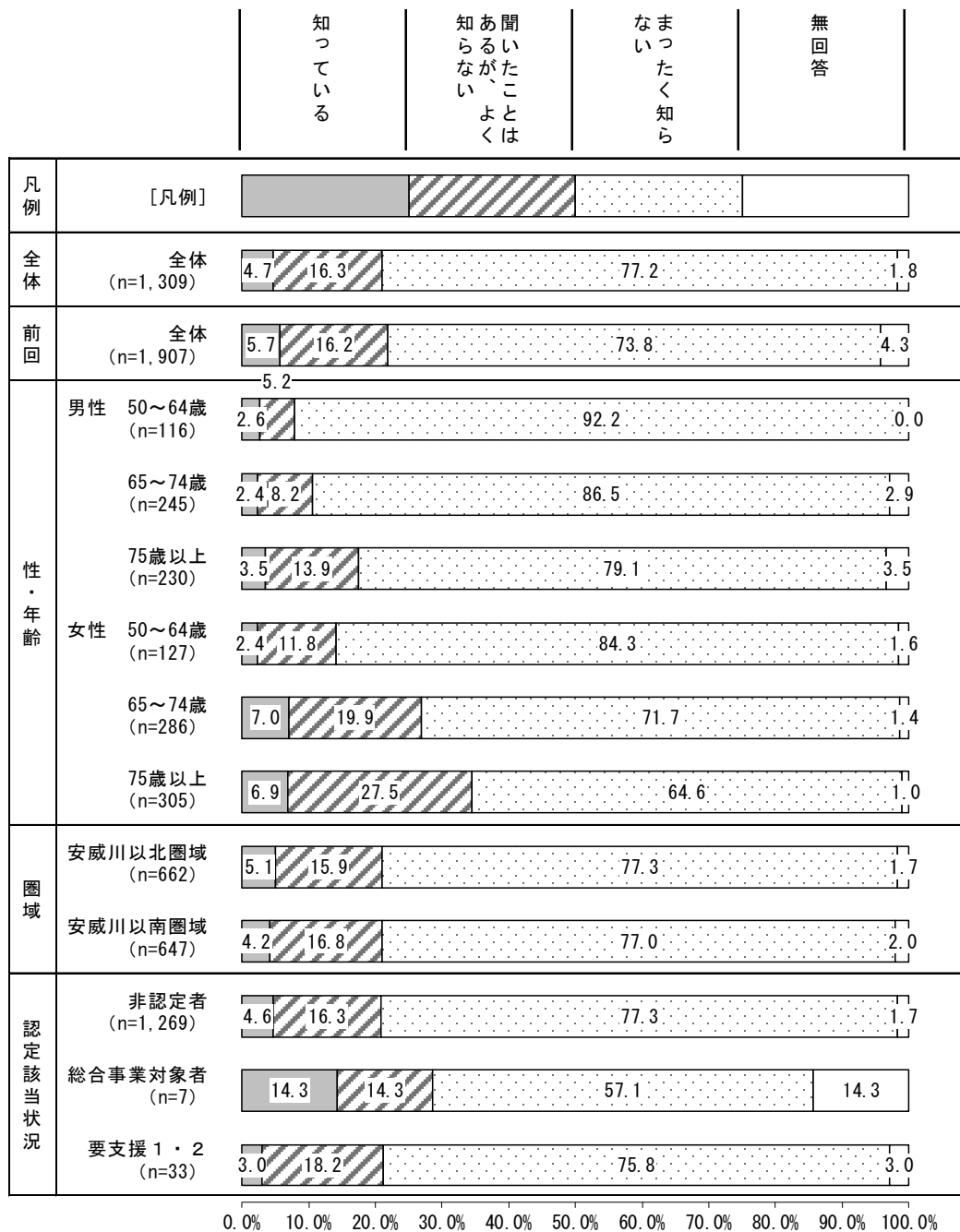
●問8.6 「せっつはつらつ脳トレ体操」をご存知ですか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 「せっつはつらつ脳トレ体操」の認知状況について、「まったく知らない」が77.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.3%、「知っている」が4.7%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 65歳以上で、女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。また、「聞いたことはあるが、よく知らない」が約2～3割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

**【認定該当状況】**  
 ○ 「知っている」は、総合事業対象者では14.3%、非認定者では4.6%、要支援1・2では3.0%となっています。

【「せっつはつらつ脳トレ体操」の認知状況】



## 10. 人生会議について

- 問9.1 あなたは介護が必要になったときの生活について考えることがありますか。  
(1つだけ)

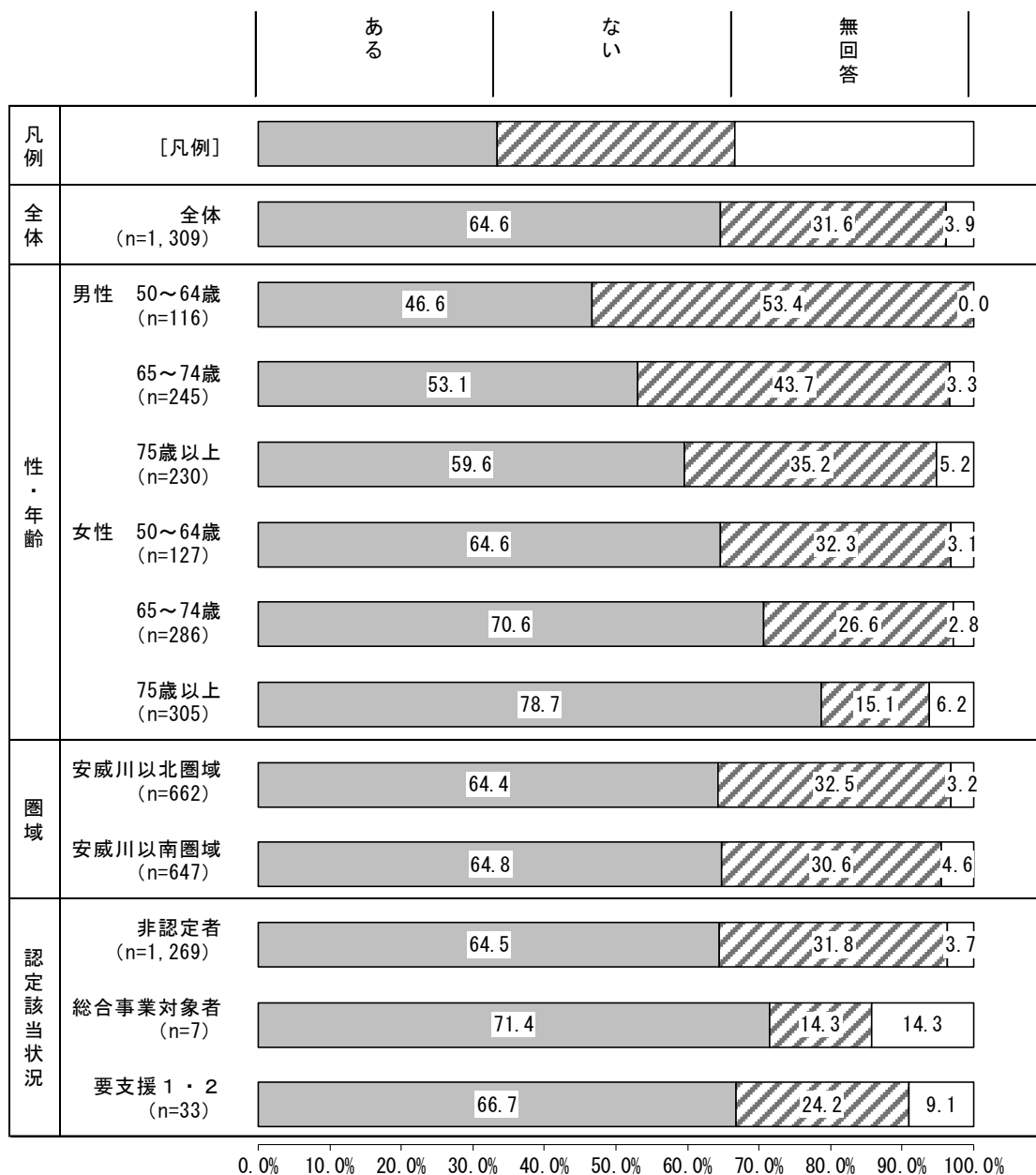
### 【全体】

- 介護が必要になったときの生活について考えることについて、「ある」が64.6%、「ない」が31.6%となっています。

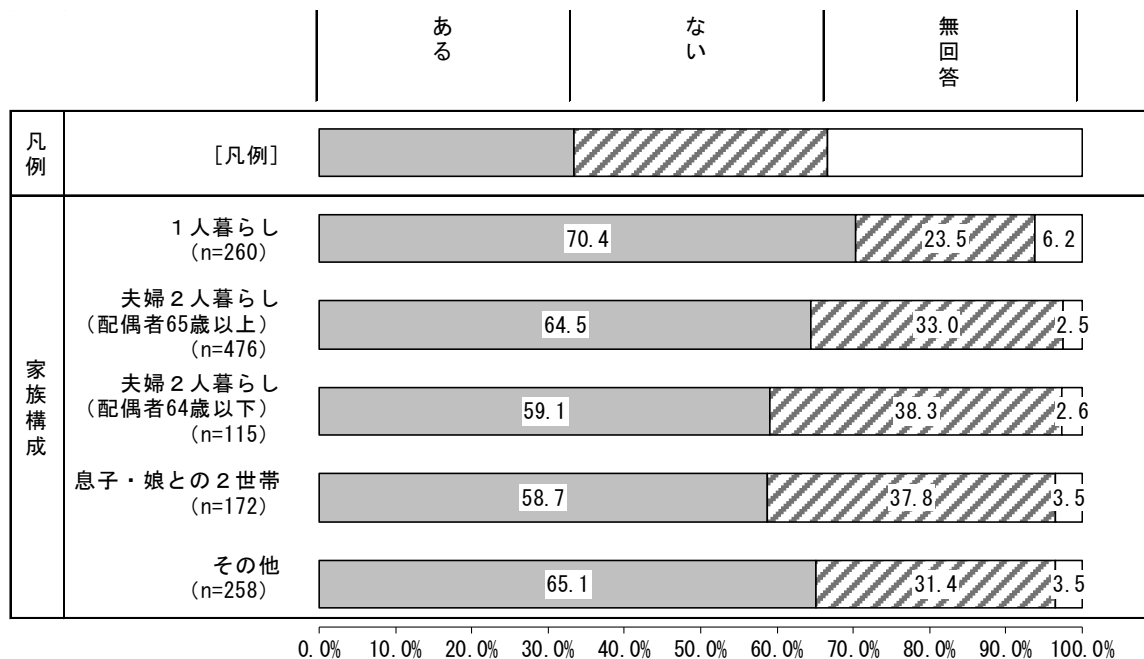
### 【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「ある」が多くなる傾向がみられます。  
○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「ある」が多くなっています。特に、女性(75歳以上)では78.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

### 【介護が必要になったときの生活について考えること】



**【家族構成】**  
 ○ 1人暮らしでは、「ある」が70.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。一方で、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、息子・娘との2世帯では、「ある」が他の家族構成区分に比べて少なくなっています。



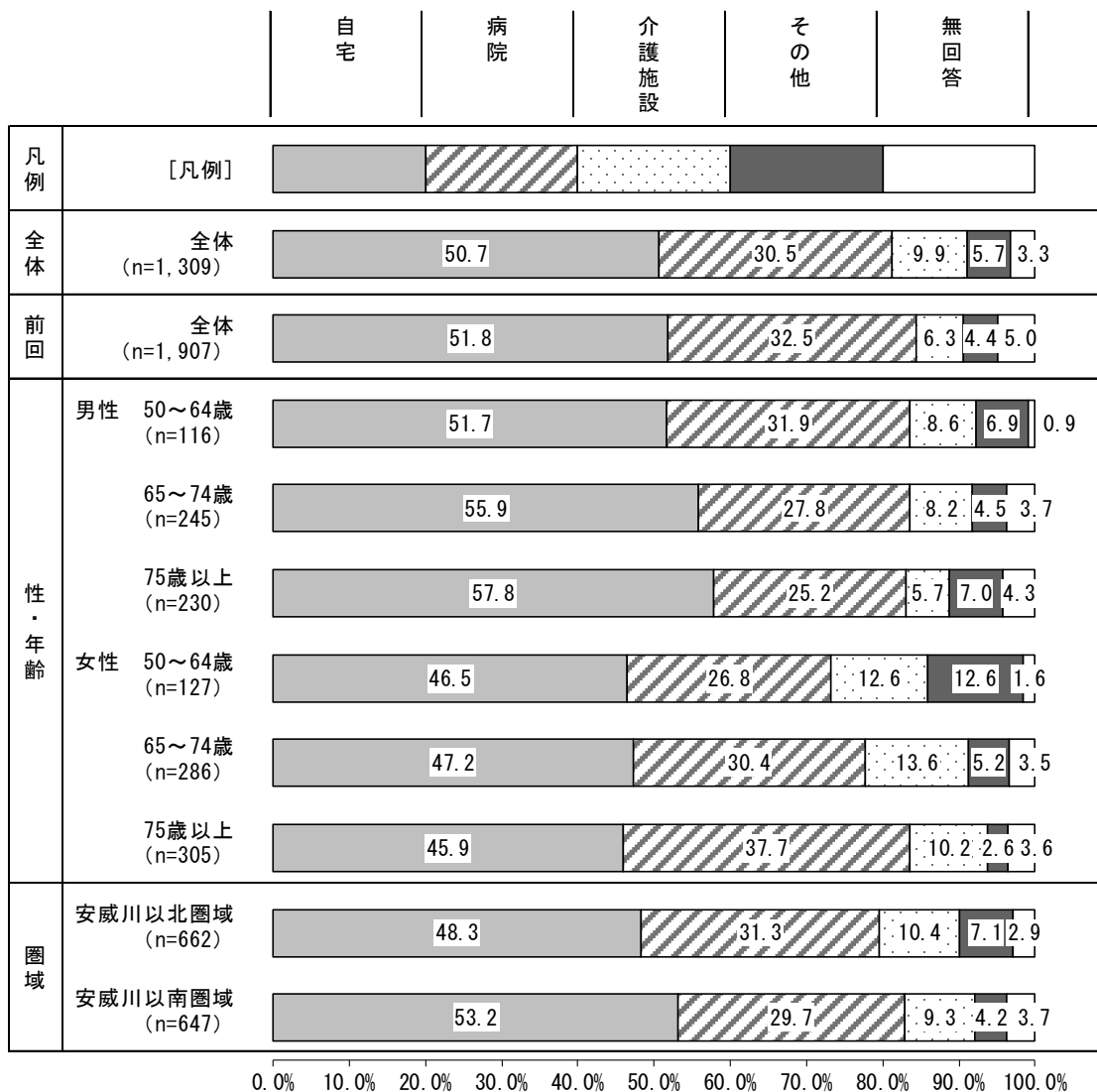
●問9.2 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 人生の最期を迎えたい場所について、「自宅」が50.7%で最も多く、次いで「病院」が30.5%、「介護施設」が9.9%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「介護施設」が3.3ポイント多くなっています。

**【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも男性では女性に比べて「自宅」が多くなっており、年代が上がるほどその差は大きくなる傾向がみられます。

**【圏域】**  
 ○ 「自宅」は、安威川以北圏域では48.3%、安威川以南圏域では53.2%となっています。

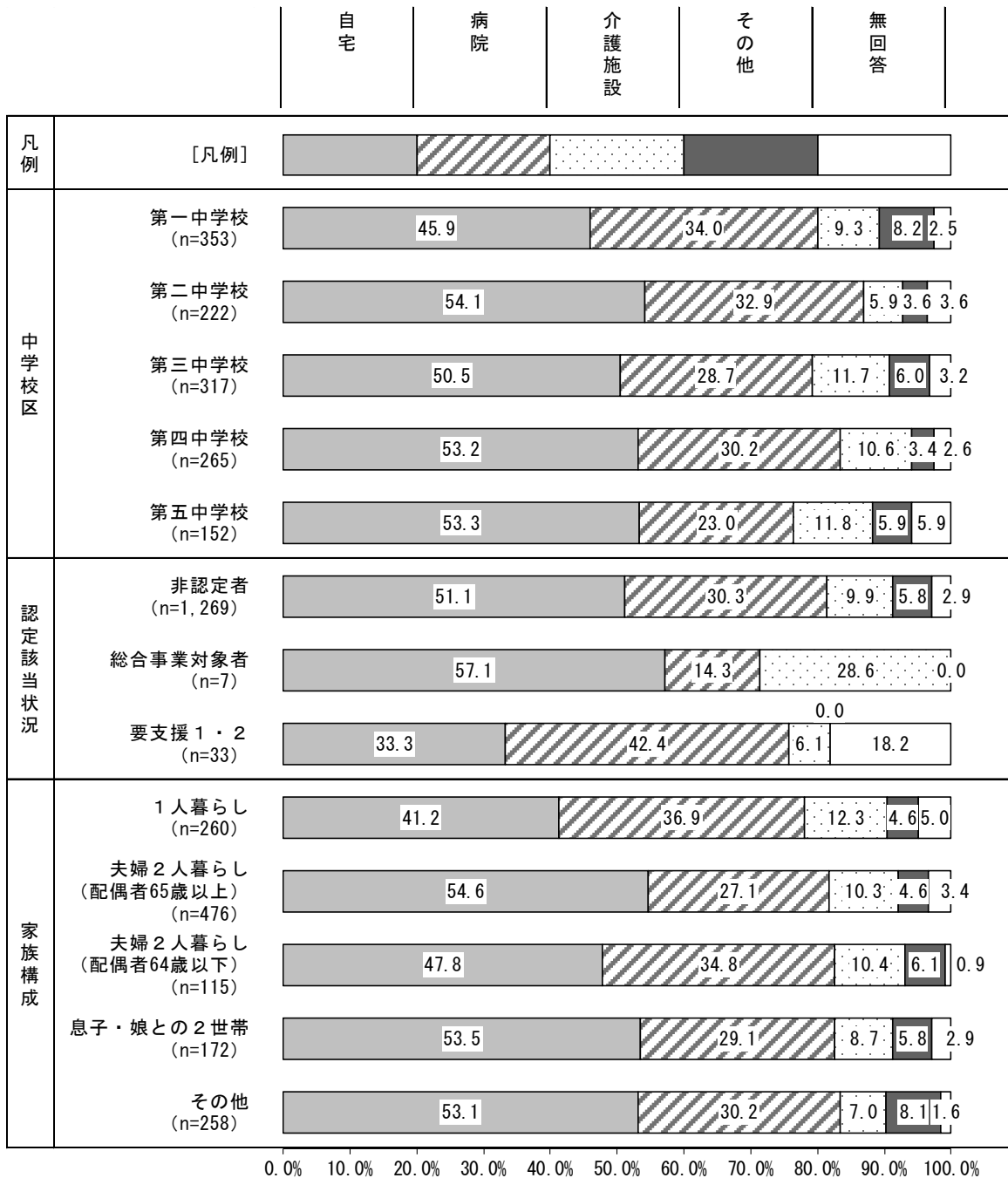
【人生の最期を迎えたい場所】



**【中学校区】**  
 ○ すべての中学校区で「自宅」が最も多くなっています。  
 ○ 第一中学校区では、他の校区と比べて「自宅」がやや少なくなっています。

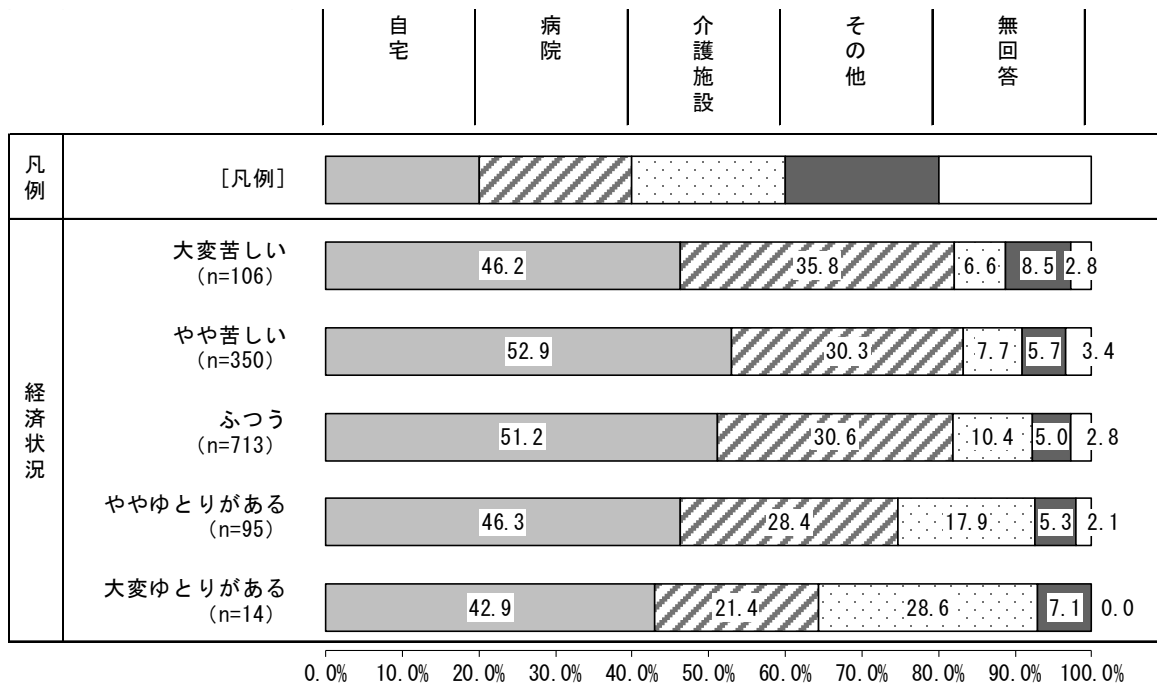
**【認定該当状況】**  
 ○ 非認定者、総合事業対象者では、「自宅」がそれぞれ 51.1%、57.1%で最も多いのに対し、要支援1・2では、「病院」が42.4%で最も多くなっています。

**【家族構成】**  
 ○ 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「自宅」が少なく、「病院」「介護施設」が多くなっています。また、1人暮らしに次いで夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）も同様の傾向がみられます。



【経済状況】

○ 経済状況にゆとりがあるほど「介護施設」が多くなる傾向がみられます。

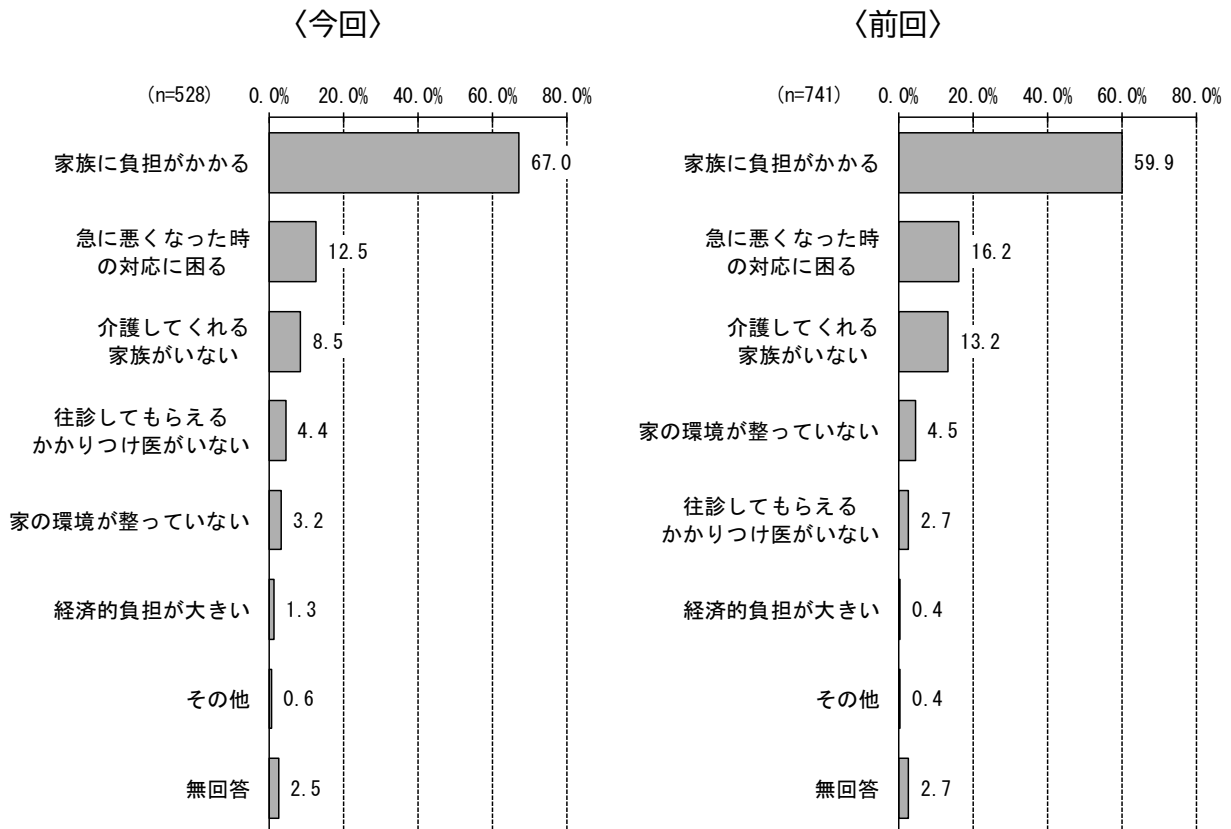


- 問9.2-1 【病院・介護施設の方のみ】 病院あるいは施設を選んだ理由をお教えてください。  
(1つだけ)

【全体】

- 病院あるいは施設を選んだ理由について、「家族に負担がかかる」が67.0%で最も多く、次いで「急に悪くなった時の対応に困る」が12.5%、「介護してくれる家族がない」が8.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「家族に負担がかかる」が多く、「急に悪くなった時の対応に困る」「介護してくれる家族がない」が少なくなっています。

【病院あるいは施設を選んだ理由】



## 【性・年齢】

- 男女ともに50～64歳では「家族に負担がかかる」が8割以上と65歳以上に比べて多くなっています。一方で、65歳以上では64歳以下に比べて「急に悪くなった時の対応に困る」が多くなっています。

## 【家族構成】

- 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「家族に負担がかかる」が少なく、「介護してくれる家族がない」「急に悪くなった時の対応に困る」が多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「家族に負担がかかる」が82.7%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

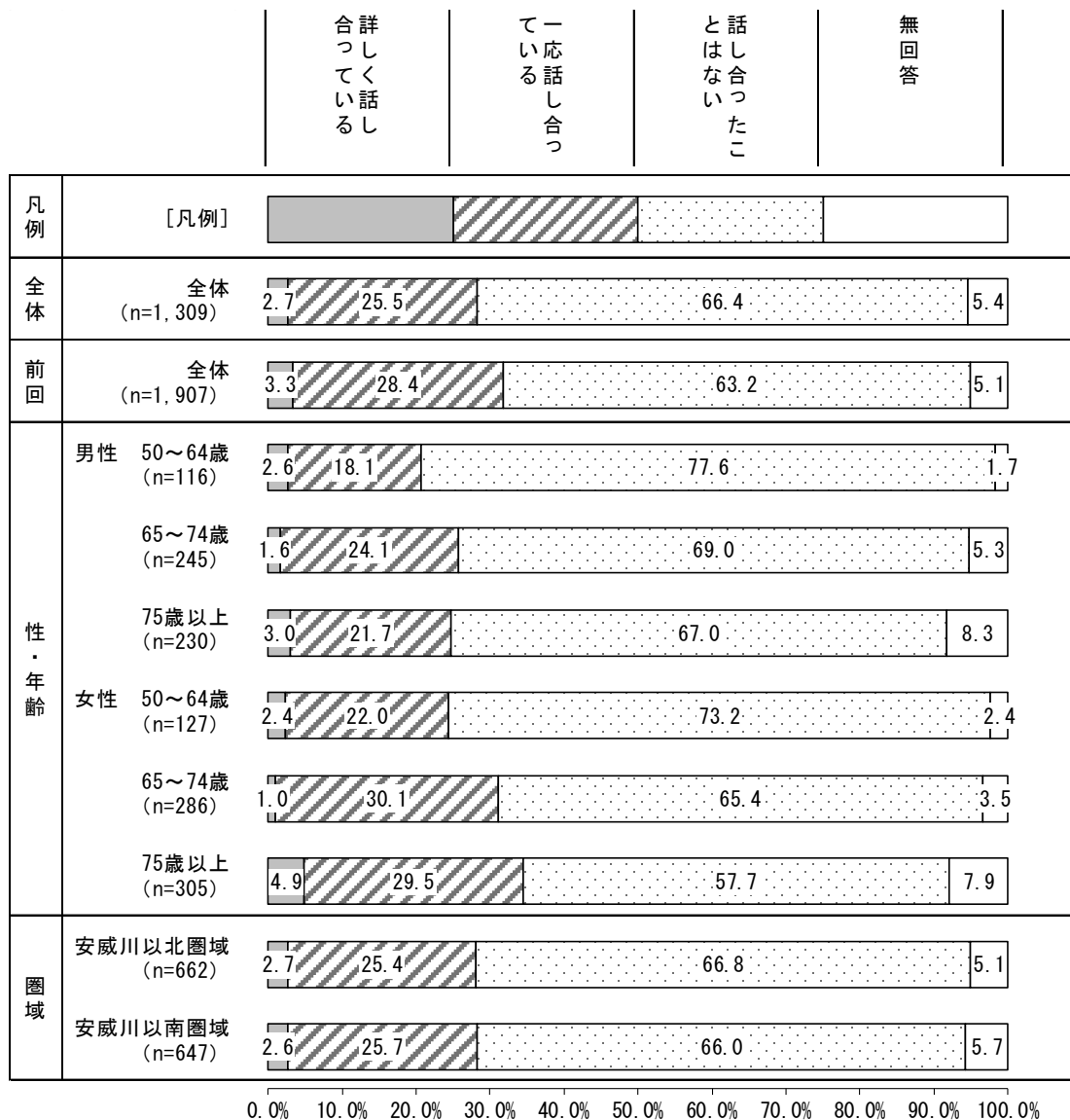
	母数 (n)	病院あるいは施設を選んだ理由							
		か家族に負担がかかる	が往診しなかつても医療機関に行かない	介護がいてくれない	急に悪くなった	て家の環境が整っていない	き経済的負担が大	その他	無回答
全体	528	67.0	4.4	8.5	12.5	3.2	1.3	0.6	2.5
性・年齢	男性 50～64歳	47	80.9	4.3	6.4	4.3	-	-	4.3
	65～74歳	88	56.8	5.7	11.4	15.9	4.5	2.3	2.3
	75歳以上	71	63.4	2.8	9.9	18.3	1.4	1.4	2.8
	女性 50～64歳	50	84.0	6.0	6.0	2.0	2.0	-	-
	65～74歳	126	69.8	2.4	6.3	11.1	3.2	0.8	4.8
	75歳以上	146	62.3	5.5	9.6	15.1	4.8	2.1	0.7
圏域	安威川以北圏域	276	67.8	4.0	10.9	11.2	3.3	0.7	1.8
	安威川以南圏域	252	66.3	4.8	6.0	13.9	3.2	2.0	3.2
当認 状況 該	非認定者	509	67.6	4.3	8.3	12.2	3.1	1.4	2.6
	総合事業対象者	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-
	要支援1・2	16	50.0	6.3	18.8	25.0	-	-	-
家族 構成	1人暮らし	128	44.5	5.5	25.0	19.5	1.6	-	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	178	70.8	3.9	2.2	12.9	4.5	2.8	2.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	52	82.7	7.7	1.9	5.8	-	-	1.9
	息子・娘との2世帯	65	72.3	3.1	3.1	13.8	3.1	1.5	1.5
	その他	96	79.2	3.1	4.2	5.2	4.2	1.0	1.0
経済 状況	大変苦しい	45	66.7	2.2	2.2	6.7	-	8.9	8.9
	やや苦しい	133	61.7	5.3	10.5	15.0	4.5	-	2.3
	ふつう	292	69.2	4.5	8.2	12.3	3.1	1.0	1.7
	ややゆとりがある	44	75.0	4.5	9.1	9.1	-	-	2.3
	大変ゆとりがある	7	42.9	-	14.3	28.6	14.3	-	-



●問9.3 あなたは、人生の最終段階における医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つだけ)

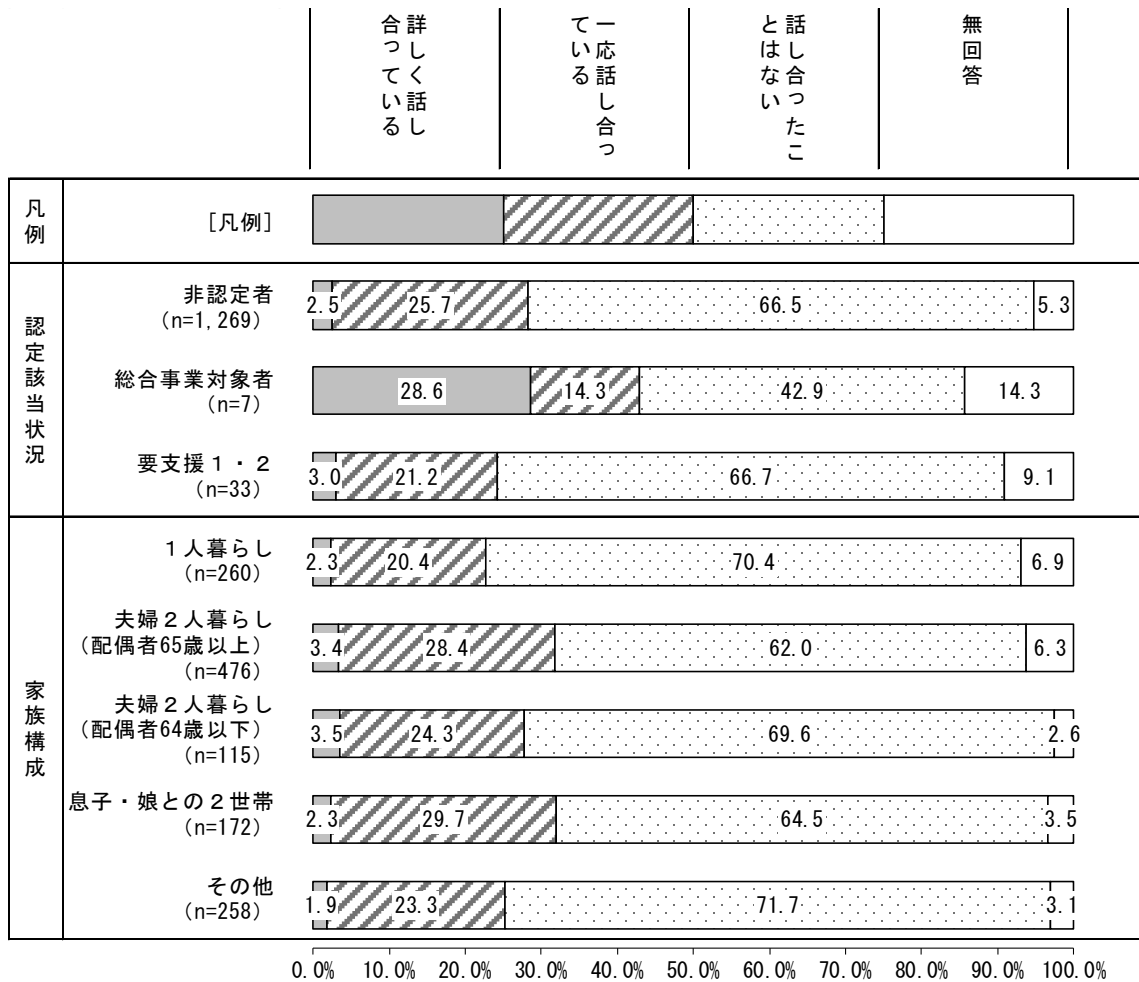
- 【全体】**
- 人生の最終段階における医療・療養についての話し合いについて、「話し合ったことはない」が66.4%で最も多く、次いで「一応話し合っている」が25.5%、「詳しく話し合っている」が2.7%となっています。
  - 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」を合わせた“話し合っている”は28.2%となっています。
  - 前回調査に比べて、“話し合っている”が3.5ポイント少なくなっています。
- 【性・年齢】**
- 女性（65歳以上）で“話し合っている”が3割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
  - 男女ともに50～64歳では他の性・年齢区分に比べて「話し合ったことはない」が多くなっています。特に、男性（50～64歳）では77.6%となっています。

【人生の最終段階における医療・療養についての話し合い】



【家族構成】

○ 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて“話し合っている”が少なくなっています。



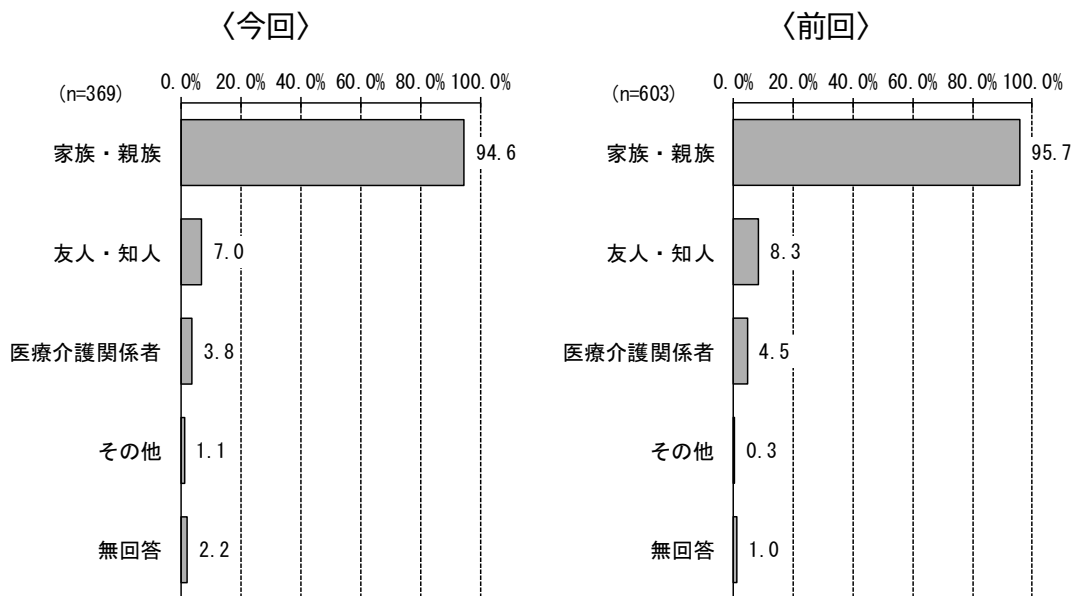
●問9.3-1 【話し合ったことがある方のみ】それはどなたと話し合いましたか。  
(いくつでも)

**【全体】**  
○ 話し合った相手について、「家族・親族」が94.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が7.0%、「医療介護関係者」が3.8%となっています。

**【性・年齢】**  
○ 男性（50～64歳）では女性（50～64歳）に比べて「家族・親族」が少なく、「医療介護関係者」が多くなっています。

**【家族構成】**  
○ 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「家族・親族」が少なく、「医療介護関係者」「友人・知人」が多くなっています。

【話し合った相手(MA)】



単位：%

	母数 (n)	話し合った相手(MA)					
		家族・親族	医療介護関係者	友人・知人	その他	無回答	
全体	369	94.6	3.8	7.0	1.1	2.2	
性・年齢	男性 50～64歳	24	91.7	8.3	-	4.2	-
	65～74歳	63	96.8	3.2	4.8	-	1.6
	75歳以上	57	93.0	5.3	5.3	-	3.5
	女性 50～64歳	31	96.8	-	9.7	-	3.2
	65～74歳	89	95.5	1.1	7.9	1.1	2.2
	75歳以上	105	93.3	5.7	9.5	1.9	1.9
圏域	安威川以北圏域	186	95.7	3.8	8.1	1.1	2.2
	安威川以南圏域	183	93.4	3.8	6.0	1.1	2.2
当認 状定 況該	非認定者	358	95.0	3.6	7.3	0.8	2.2
	総合事業対象者	3	66.7	33.3	-	-	-
	要支援1・2	8	87.5	-	-	12.5	-
家族 構 成	1人暮らし	59	88.1	8.5	13.6	3.4	3.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	151	95.4	4.6	5.3	-	2.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	32	93.8	6.3	3.1	-	3.1
	息子・娘との2世帯	55	98.2	-	9.1	-	1.8
	その他	65	96.9	-	6.2	3.1	-

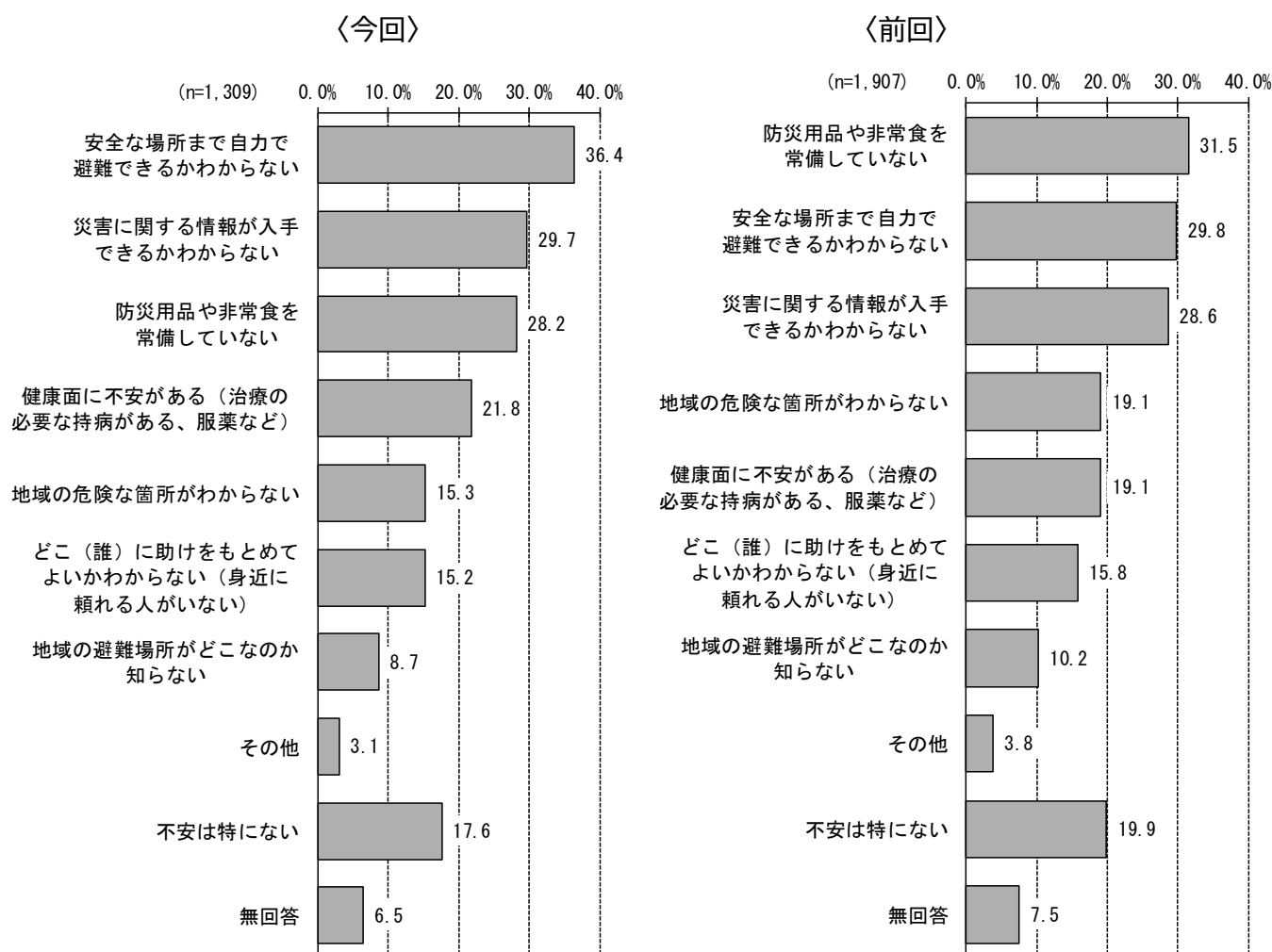
## 11. 災害時の対応について

●問10.1 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。(いくつでも)

### 【全体】

- 地震や風水害などの災害時に対する不安について、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が36.4%で最も多く、次いで「災害に関する情報が入手できるかわからない」が29.7%、「防災用品や非常食を常備していない」が28.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が4.9ポイント多く、「防災用品や非常食を常備していない」「地域の危険な箇所がわからない」が3ポイント以上少なくなっています。

### 【地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)】



- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「不安は特にはない」が多くなっていますが、男女ともに年代が上がるほど「不安は特にはない」が少なくなる傾向がみられます。また、「健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が多くなる傾向がみられます。
  - いずれの年代でも女性では男性に比べて「災害に関する情報が入手できるかわからない」が多くなっています。
  - 男性（75歳以上）、女性（65歳以上）で「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が約4～5割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
  - 男性（65歳以上）では「防災用品や非常食を常備していない」が3割以上となっています。
- 【圏域】**
- 安威川以南圏域では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が40.6%と安威川以北圏域の32.3%に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 総合事業対象者、要支援1・2では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」がそれぞれ57.1%、48.5%となっています。

単位：％

	母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)					
		か報災 わが害 か入に なです いける る情	人へい が身か い近わ ないに い頼ら れなて るいよ	ど かを こ （誰 ）	る自安 か力全 わでな か避場 ら難所 ないで いきで	ら地 が域 いこ の な避 の難 か場 知所	所地 が域 わの か危 ら険 ない 箇
全体	1,309	29.7	15.2	36.4	8.7	15.3	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	19.8	10.3	12.1	5.2	19.0
	65～74歳	245	26.1	16.7	26.9	13.9	17.1
	75歳以上	230	27.4	17.0	37.4	10.0	16.1
	女性 50～64歳	127	33.9	18.1	29.9	5.5	13.4
	65～74歳	286	32.2	12.6	42.7	7.0	14.3
75歳以上	305	34.1	15.7	49.5	7.9	13.4	
圏域	安威川以北圏域	662	28.1	15.4	32.3	8.8	14.0
	安威川以南圏域	647	31.4	15.0	40.6	8.7	16.5
当認 状定 況該	非認定者	1,269	29.9	15.2	36.0	8.6	15.4
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	57.1	-	-
	要支援1・2	33	24.2	12.1	48.5	15.2	15.2

単位：％

	母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)					
		な食防 いを災 常用 備品 しや て非 い常	る要あ健 、なる康 服持（面 薬病治に などが療不 ）あの安 必が	そ の 他	不 安 は 特 に ない	無 回 答	
全体	1,309	28.2	21.8	3.1	17.6	6.5	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	22.4	8.6	1.7	31.9	4.3
	65～74歳	245	31.4	17.6	1.6	21.2	7.3
	75歳以上	230	30.9	27.8	2.2	19.1	6.5
	女性 50～64歳	127	26.0	13.4	8.7	18.1	4.7
	65～74歳	286	26.9	18.5	3.5	15.0	3.8
75歳以上	305	27.9	32.5	2.6	10.5	9.8	
圏域	安威川以北圏域	662	26.0	20.5	3.2	20.1	6.8
	安威川以南圏域	647	30.4	23.2	2.9	15.1	6.2
当認 状定 況該	非認定者	1,269	28.4	20.8	3.2	18.0	6.2
	総合事業対象者	7	14.3	42.9	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	21.2	57.6	-	6.1	15.2

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「防災用品や非常食を常備していない」が33.1%で最も多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、息子・娘との2世帯では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が約4割と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が38.3%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。また、「不安は特にない」も24.3%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

【頼れる人】

- 頼れる人がいる人では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が36.9%で最も多く、次いで「災害に関する情報が入手できるかわからない」が30.9%、「防災用品や非常食を常備していない」が27.8%となっています。
- 頼れる人がいない人では、「どこ（誰）に助けをもとめてよいかかわからない（身近に頼れる人がいない）」が40.6%で最も多く、次いで「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が38.3%、「防災用品や非常食を常備していない」が36.8%となっています。

単位：%

		母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)				
			か報災 わが害 か入に ら手関 なです いき る情	人へい が身か い近わ なにか い頼ら れなて るいよ	どいけ かをこ わでな か避場 ら難所 なでま いきで	る自安 か力全 わでな か避場 ら難所 なでま いきで	らが地 など域 いこの な避 の難 か場 知所
全体		1,309	29.7	15.2	36.4	8.7	15.3
家族 構成	1人暮らし	260	27.3	21.5	31.9	11.5	13.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	30.7	14.5	39.9	8.6	15.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	38.3	11.3	27.0	6.1	14.8
	息子・娘との2世帯	172	29.1	8.7	41.9	8.1	16.9
	その他	258	27.9	15.9	35.3	7.0	15.1
頼 れ る 人	頼れる人がいる	1,146	30.9	12.7	36.9	8.5	15.4
	頼れる人はいない	133	26.3	40.6	38.3	12.8	16.5

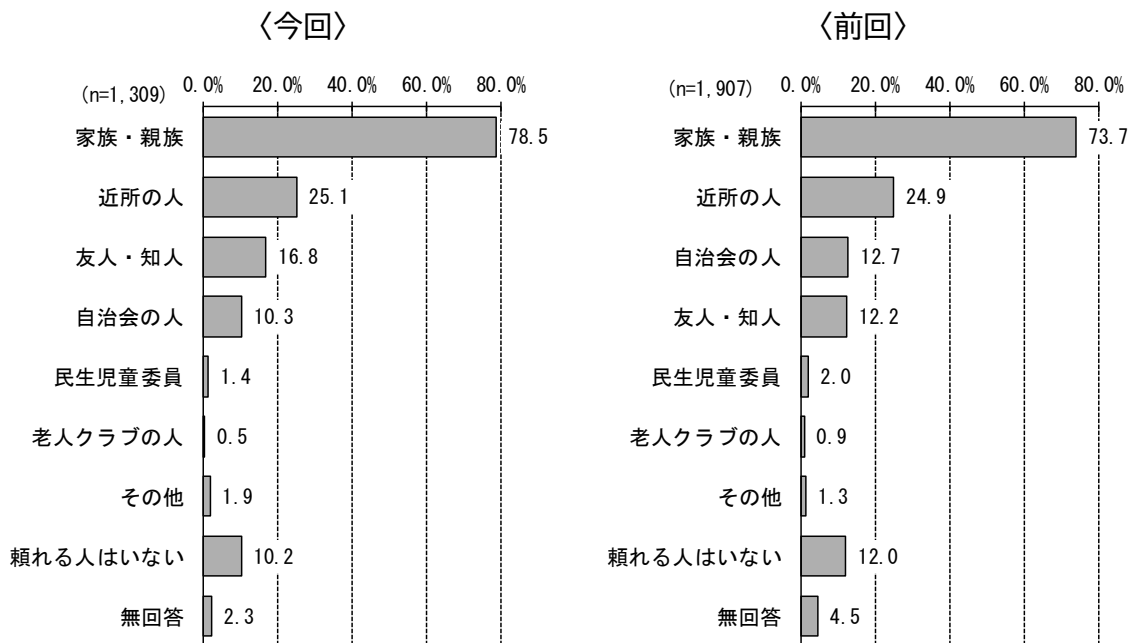
単位：%

		母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)				
			な食防 いを災 常用 備品 しや て非 い常	る要あ健 なる康 服持(面 薬病治に なが療不 ど)あの安 必が	そ の 他	不 安 は 特 に ない	無 回 答
全体		1,309	28.2	21.8	3.1	17.6	6.5
家族 構成	1人暮らし	260	33.1	20.4	1.9	19.2	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	28.6	25.6	2.7	16.4	5.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	18.3	15.7	4.3	24.3	7.0
	息子・娘との2世帯	172	29.7	23.3	3.5	14.5	6.4
	その他	258	26.7	17.8	3.9	17.4	8.5
頼 れ る 人	頼れる人がいる	1,146	27.8	22.3	2.9	18.1	4.9
	頼れる人はいない	133	36.8	21.8	5.3	17.3	3.0

●問10.2 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 災害等で避難が必要な際に頼れる人について、「家族・親族」が78.5%で最も多く、次いで「近所の人」が25.1%、「友人・知人」が16.8%となっています。
  - 「頼れる人はいない」「無回答」を除いた“頼れる人がいる”は、87.5%となっています。
  - 前回調査に比べて、「家族・親族」が4.8ポイント、「友人・知人」が4.6ポイント多くなっています。また、“頼れる人がいる”は4.0ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに50～64歳では他の性・年齢区分に比べて「友人・知人」が多くなっています。
  - 男性（65～74歳）では女性（65～74歳）に比べて「近所の人」が少なくなっています。

【災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)								
			家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	老人クラブの人	その他	頼れる人はいない	無回答
全体		1,309	78.5	25.1	16.8	10.3	1.4	0.5	1.9	10.2	2.3
性・年齢	男性 50～64歳	116	75.9	19.8	21.6	2.6	-	-	3.4	14.7	-
	65～74歳	245	73.5	16.3	11.4	9.0	1.2	-	0.4	15.9	3.7
	75歳以上	230	73.0	29.1	13.5	16.1	0.9	0.4	1.7	10.0	4.3
	女性 50～64歳	127	87.4	17.3	26.8	6.3	1.6	-	0.8	8.7	-
	65～74歳	286	87.8	26.6	17.8	9.8	0.7	0.7	0.7	4.2	1.4
	75歳以上	305	75.4	33.1	16.7	12.1	3.0	1.3	4.3	10.2	2.3

【圏域】

- 安威川以南圏域では、「近所の人」が28.9%と安威川以北圏域の21.5%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「頼れる人はいない」が18.2%となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「頼れる人はいない」が25.0%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)									
		家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	人老人クラブの	その他	な頼 いれる 人はい	無回答	
全体	1,309	78.5	25.1	16.8	10.3	1.4	0.5	1.9	10.2	2.3	
圏域	安威川以北圏域	662	76.3	21.5	16.6	8.9	1.8	0.6	2.6	11.9	2.0
	安威川以南圏域	647	80.8	28.9	17.0	11.7	0.9	0.5	1.2	8.3	2.6
当認 状定 況該	非認定者	1,269	79.4	25.1	17.1	10.2	1.4	0.6	1.9	9.9	2.0
	総合事業対象者	7	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	51.5	30.3	6.1	12.1	-	-	3.0	18.2	9.1
家族 構 成	1人暮らし	260	46.5	26.9	19.2	12.7	4.2	1.5	3.5	25.0	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	85.7	27.5	14.7	12.6	0.6	0.4	1.5	6.5	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	88.7	21.7	16.5	7.8	1.7	-	-	7.8	1.7
	息子・娘との2世帯	172	91.9	26.2	16.3	8.7	-	0.6	0.6	2.3	2.3
	その他	258	87.6	20.5	19.4	6.2	0.8	-	3.1	6.2	1.2



- 問10.3 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方（災害時要援護者）を対象に市への登録申請を受け付けています（摂津市災害時要援護者支援制度）。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか。（1つだけ）

**【全体】**

- 要援護者の登録意向について、「登録したい（検討したい）」が66.7%で最も多く、次いで「登録したいとは思わない」が23.1%、「すでに登録している」が1.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「登録したい（検討したい）」が5.9ポイント多くなっています。

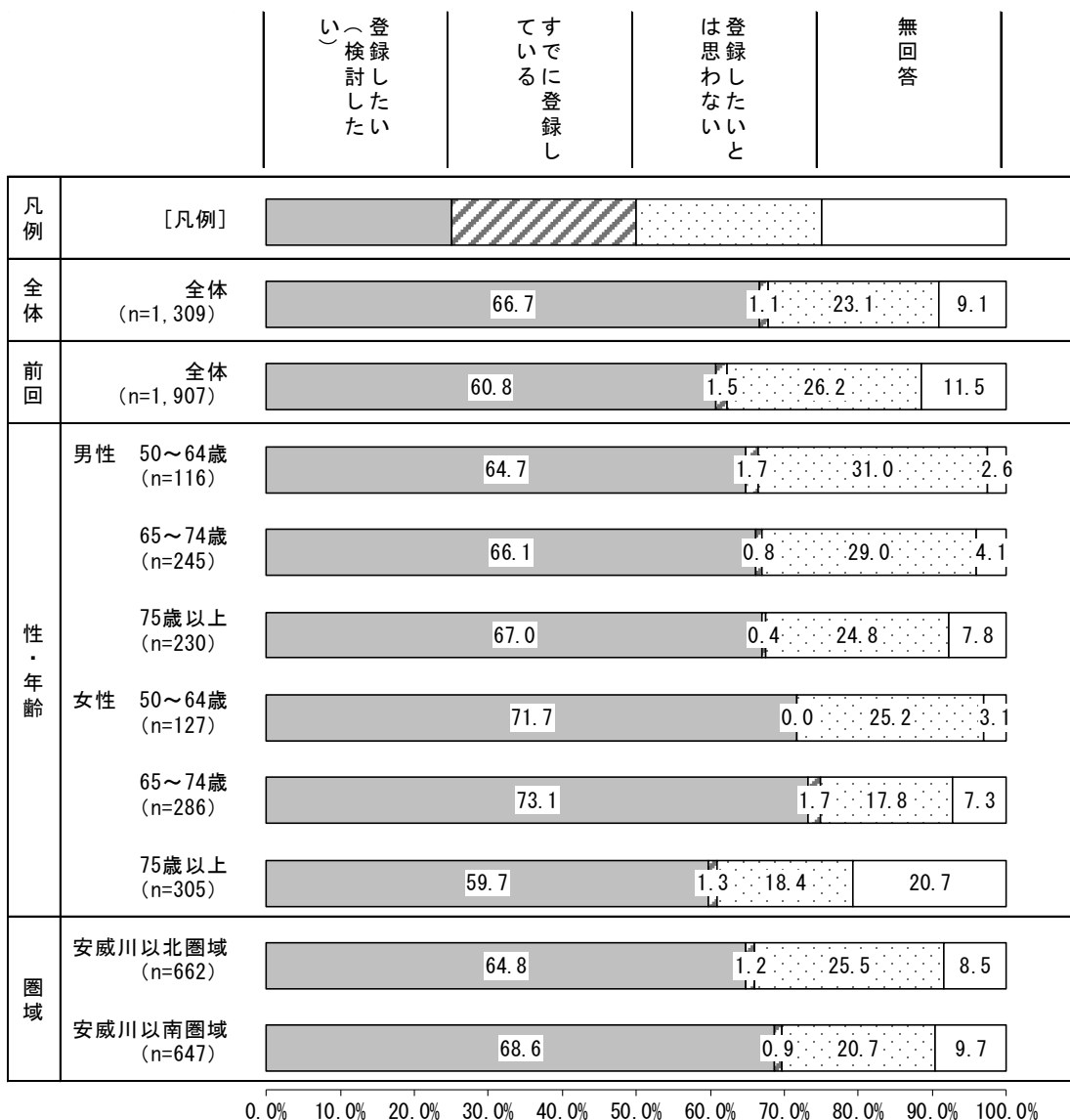
**【性・年齢】**

- 女性（74歳以下）で「登録したい（検討したい）」が7割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。一方で、女性（75歳以上）では59.7%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

**【圏域】**

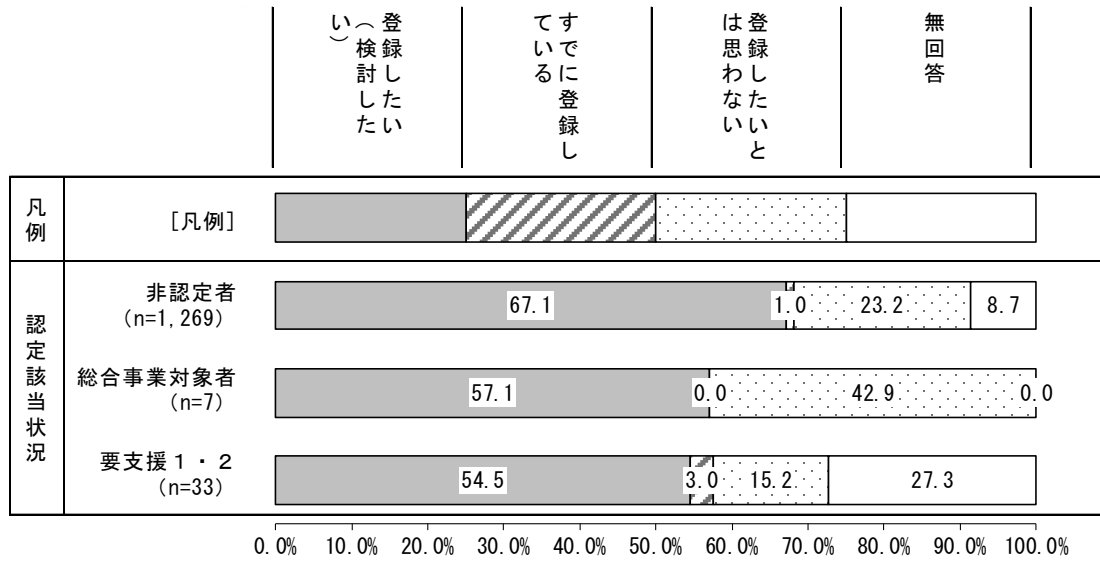
- 「登録したい（検討したい）」は、安威川以北圏域では64.8%、安威川以南圏域では68.6%となっています。

【要援護者の登録意向】



【認定該当状況】

○ 「登録したい（検討したい）」は、非認定者では 67.1%であるのに対し、総合事業対象者では 57.1%、要支援 1・2では 54.5%となっています。



## 12. ICTの活用について

### ●問11.1 携帯電話・スマートフォンを持っていますか。(1つだけ)

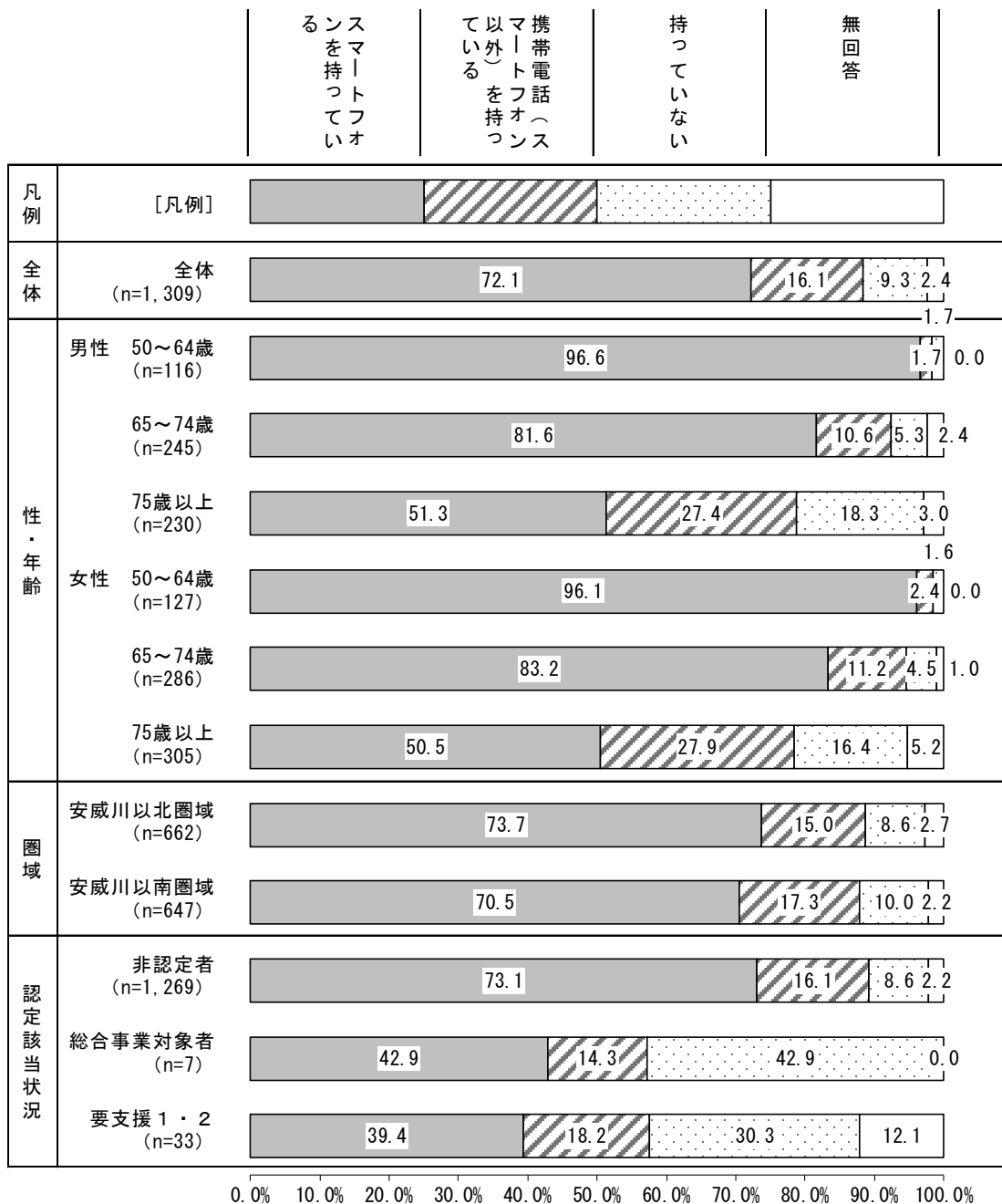
#### 【全体】

- 携帯電話・スマートフォンの所持状況について、「スマートフォンを持っている」が72.1%で最も多く、次いで「携帯電話（スマートフォン以外）を持っている」が16.1%、「持っていない」が9.3%となっています。

#### 【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「持っていない」が多くなる傾向がみられます。75歳以上では、「スマートフォンを持っている」は約5割となっています。

【携帯電話・スマートフォンの所持状況】

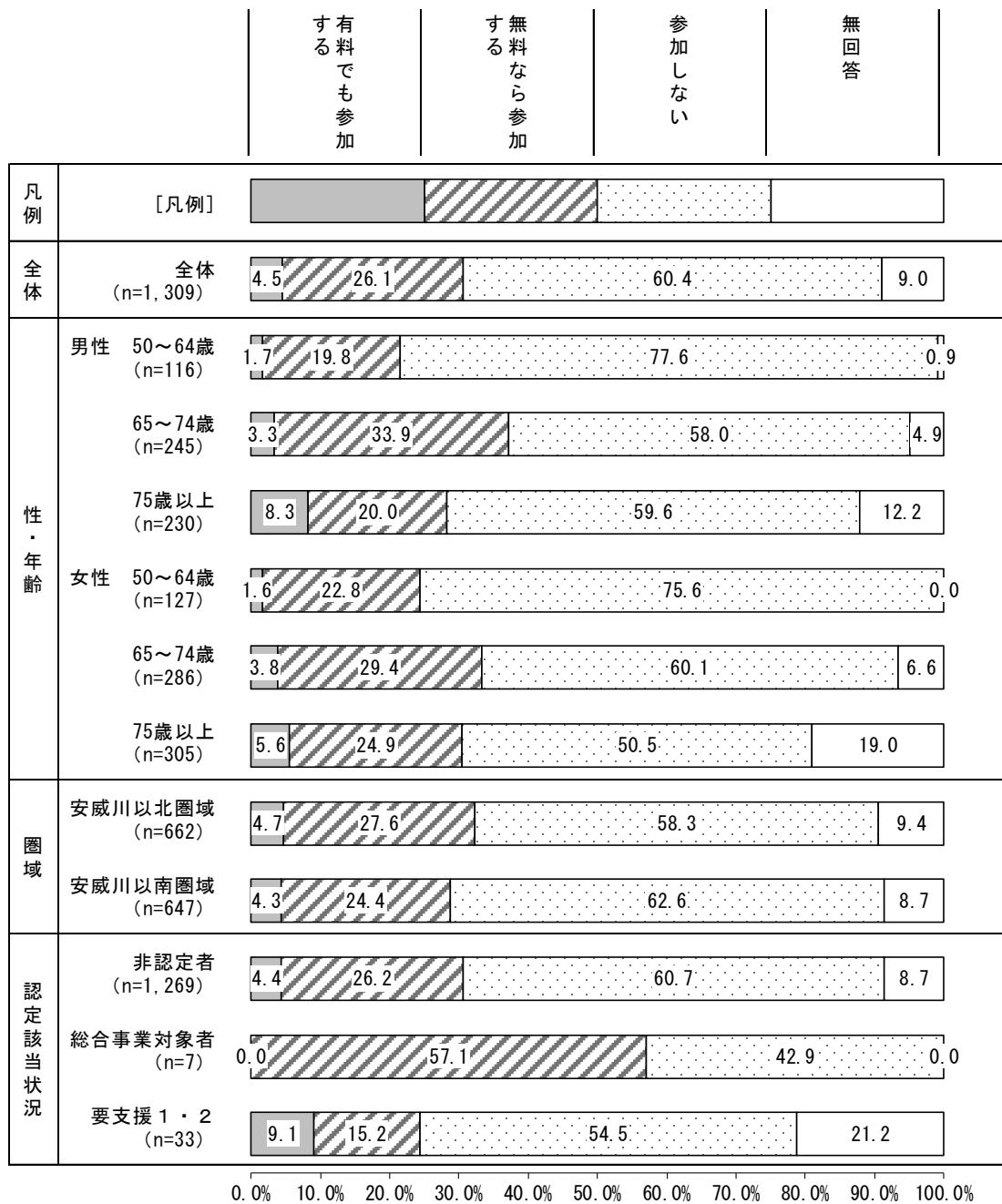


●問11.2 スマートフォンの利用に関する講座があれば参加しますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ スマートフォンの利用に関する講座への参加意向について、「参加しない」が60.4%で最も多く、次いで「無料なら参加する」が26.1%、「有料でも参加する」が4.5%となっています。

**【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「有料でも参加する」が多くなる傾向がみられます。また、65～74歳では「無料なら参加する」が約3割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

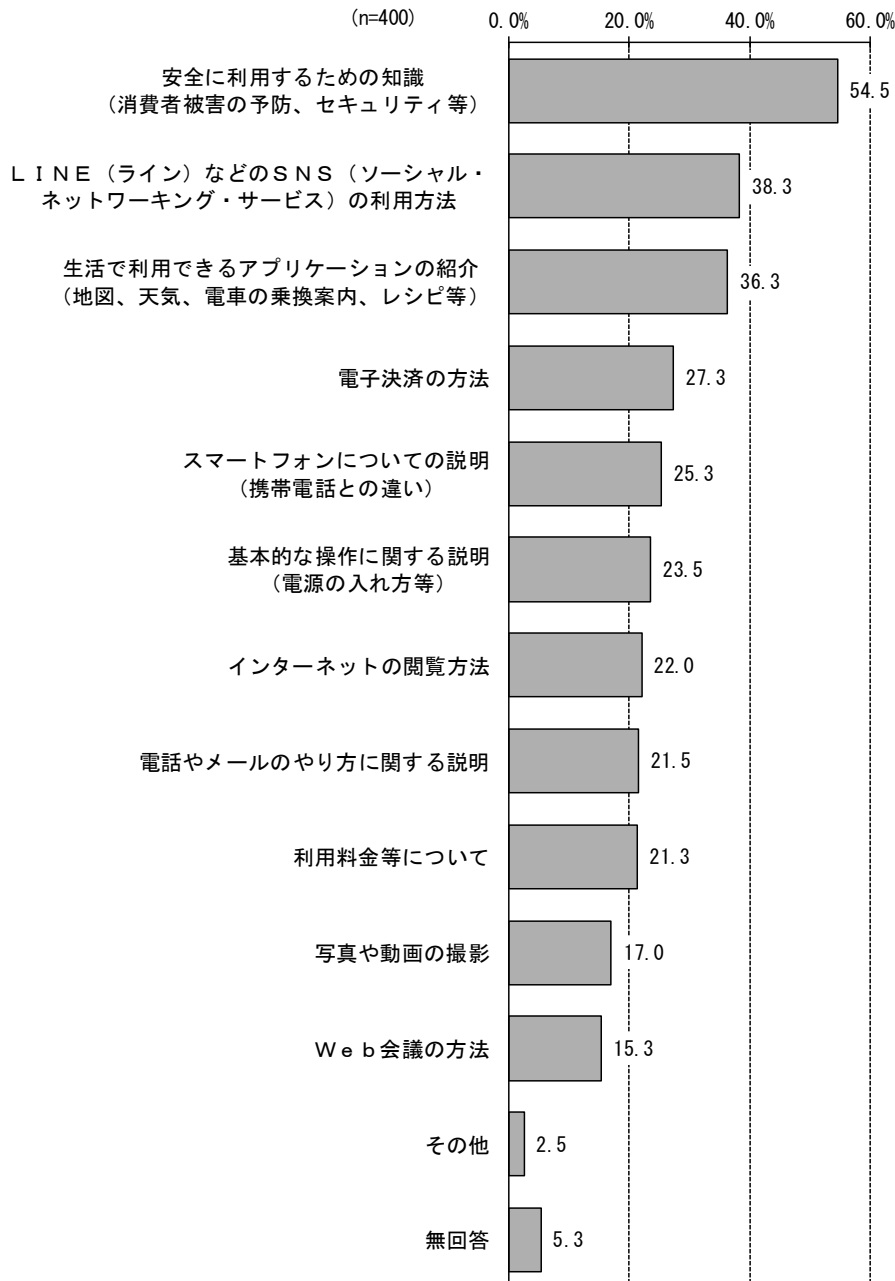
【スマートフォンの利用に関する講座への参加意向】



●問11.2-1 【参加意向がある方のみ】どのような内容を希望しますか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 希望する講座内容について、「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が 54.5%で最も多く、次いで「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」が 38.3%、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」が 36.3%となっています。

【希望する講座内容(MA)】



【性・年齢】

- 男性（50～64歳）では、他の性・年齢区分に比べて「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」や基本的な操作に関することは少なく、「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」「Web会議の方法」が多くなっています。「Web会議の方法」は、女性（50～64歳）でも多くなっています。
- 女性（65歳以上）では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」が多くなっています。また、65～74歳では、「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が65.3%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。75歳以上では、他の性・年齢区分に比べて「スマートフォンについての説明（携帯電話との違い）」が多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)							
		説明にマ ットフ のオ	つ利 い用 て料 金等 に	に基 関本 す的 るな 説操 明作	すの電 るや話 説りや 明方メ に  関ル	撮写 影真 や動 画の	トイ のン タ 覧  方 法 ツ	用のL 方S I 法N N S E のな 利ど	
全体	400	25.3	21.3	23.5	21.5	17.0	22.0	38.3	
性・ 年齢	男性 50～64歳	25	12.0	8.0	8.0	8.0	-	40.0	
	65～74歳	91	30.8	26.4	23.1	20.9	23.1	41.8	
	75歳以上	65	29.2	16.9	27.7	29.2	29.2	38.5	
	女性 50～64歳	31	12.9	12.9	12.9	6.5	9.7	48.4	
	65～74歳	95	15.8	20.0	21.1	20.0	13.7	34.7	
75歳以上	93	34.4	26.9	31.2	26.9	26.9	30.1	34.4	
圏 域	安威川以北圏域	214	22.9	21.0	23.8	18.2	19.2	21.0	36.4
	安威川以南圏域	186	28.0	21.5	23.1	25.3	14.5	23.1	40.3

単位：％

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)						
		方W 法e b 会 議 の	紹 介 し る シ ョ ン の	け る 生 活 で 利 用 で	法電 子 決 済 の 方	る安 た全 めに の利 知用 識す	そ の 他	無 回 答
全体	400	15.3	36.3	27.3	54.5	2.5	5.3	
性・ 年齢	男性 50～64歳	25	36.0	32.0	20.0	36.0	8.0	4.0
	65～74歳	91	25.3	29.7	36.3	53.8	1.1	4.4
	75歳以上	65	9.2	35.4	20.0	52.3	3.1	6.2
	女性 50～64歳	31	25.8	25.8	25.8	58.1	6.5	6.5
	65～74歳	95	9.5	37.9	31.6	65.3	-	5.3
75歳以上	93	6.5	46.2	21.5	49.5	3.2	5.4	
圏 域	安威川以北圏域	214	14.0	35.0	25.7	57.5	3.3	7.0
	安威川以南圏域	186	16.7	37.6	29.0	51.1	1.6	3.2

【中学校区】

- いずれの中学校区でも「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が最も多くなっていますが、特に第一中学校では61.2%と他の校区に比べて多くなっています。
- 次いで、第一中学校、第五中学校では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」、第二中学校、第三中学校、第四中学校では、「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」が多くなっています。
- そのほか、第二中学校では、「インターネットの閲覧方法」「Web会議の方法」、第三中学校では、「写真や動画の撮影」、第四中学校では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」、第五中学校では、「スマートフォンについての説明（携帯電話との違い）」「利用料金等について」「基本的な操作に関する説明（電源の入れ方等）」「電子決済の方法」が他の校区に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)							
		説明にまついてのオ	つ利用て料金等に	に基関本す的な説明作	すの電るや話説りや明方メに 関ル	撮写影真や動画の	トイのンタ 覧方メツ	用のL方S I N N S E のな利ど	
全体	400	25.3	21.3	23.5	21.5	17.0	22.0	38.3	
中学校区	第一中学校	116	19.8	16.4	21.6	12.9	16.4	18.1	32.8
	第二中学校	66	22.7	19.7	21.2	31.8	13.6	28.8	39.4
	第三中学校	100	26.0	26.0	26.0	25.0	22.0	25.0	41.0
	第四中学校	73	28.8	20.5	20.5	24.7	17.8	20.5	43.8
	第五中学校	45	35.6	26.7	31.1	15.6	11.1	17.8	35.6
当認 状定 況該	非認定者	388	24.7	20.6	23.2	20.6	16.0	21.4	37.9
	総合事業対象者	4	50.0	75.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	要支援1・2	8	37.5	25.0	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0

単位：%

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)					その他	無回答
		方W e b 会 議 の	紹 介   シ ア ャ ャ の	け   る シ ャ ャ の	法 電 子 決 済 の 方	る 安 た 全 め に の 利 知 用 識 ず		
全体	400	15.3	36.3	27.3	54.5	2.5	5.3	
中学校区	第一中学校	116	13.8	33.6	26.7	61.2	4.3	8.6
	第二中学校	66	22.7	34.8	27.3	50.0	1.5	4.5
	第三中学校	100	14.0	36.0	25.0	53.0	2.0	5.0
	第四中学校	73	13.7	41.1	28.8	52.1	2.7	1.4
	第五中学校	45	13.3	37.8	31.1	51.1	-	4.4
当認 状定 況該	非認定者	388	15.5	35.8	27.6	54.9	2.6	5.4
	総合事業対象者	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-
	要支援1・2	8	12.5	50.0	12.5	50.0	-	-

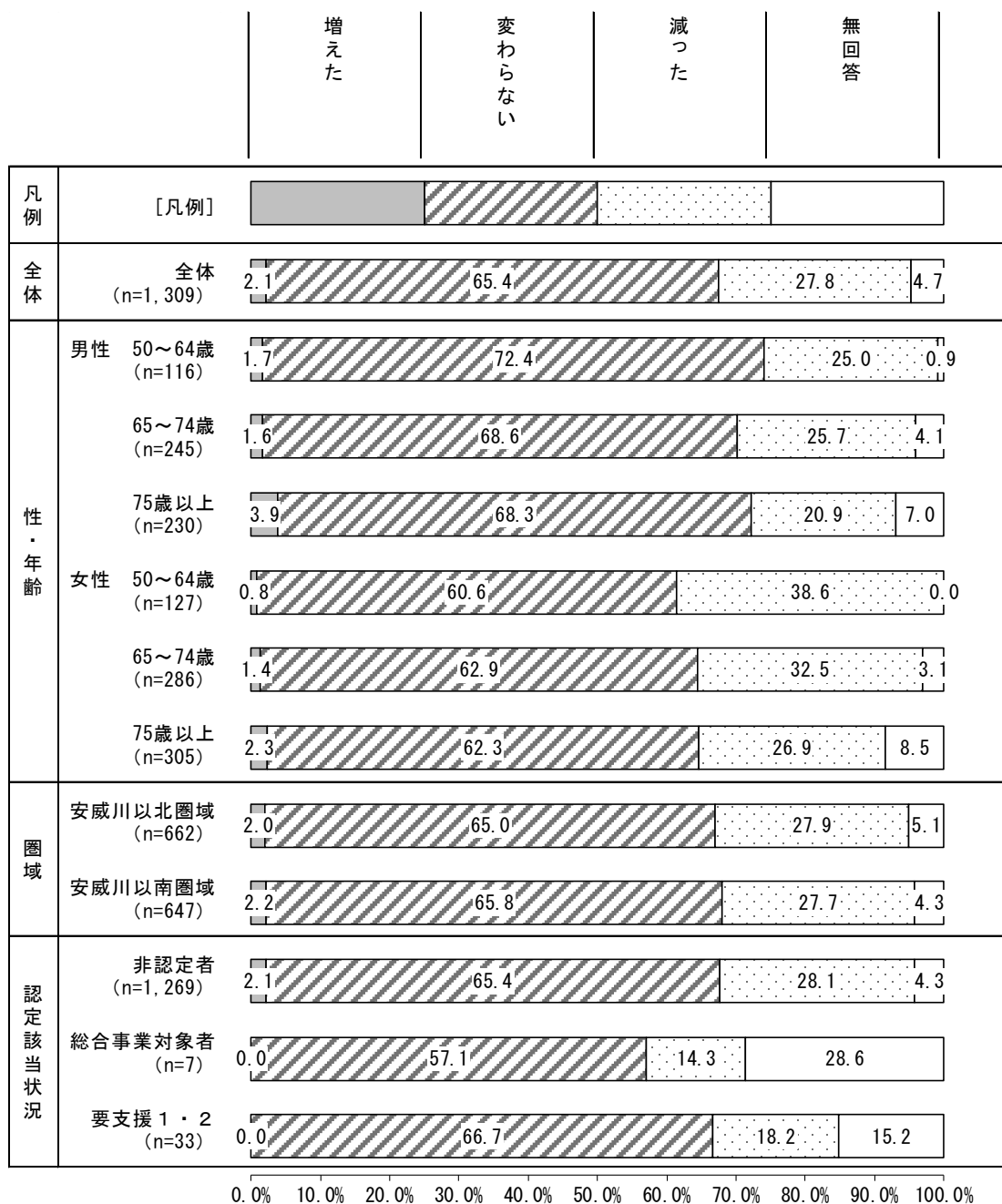
### 13. その他について

#### (1) 新型コロナウイルスの影響

- 問12.1① 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に周辺の人とのつながりに変化はありましたか。(1つだけ)

<b>【全体】</b>
○ 新型コロナウイルス感染拡大による周辺の人とのつながりの変化について、「変わらない」が65.4%で最も多く、次いで「減った」が27.8%、「増えた」が2.1%となっています。
<b>【性・年齢】</b>
○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「減った」が多くなっています。特に、女性(50～64歳)では38.6%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

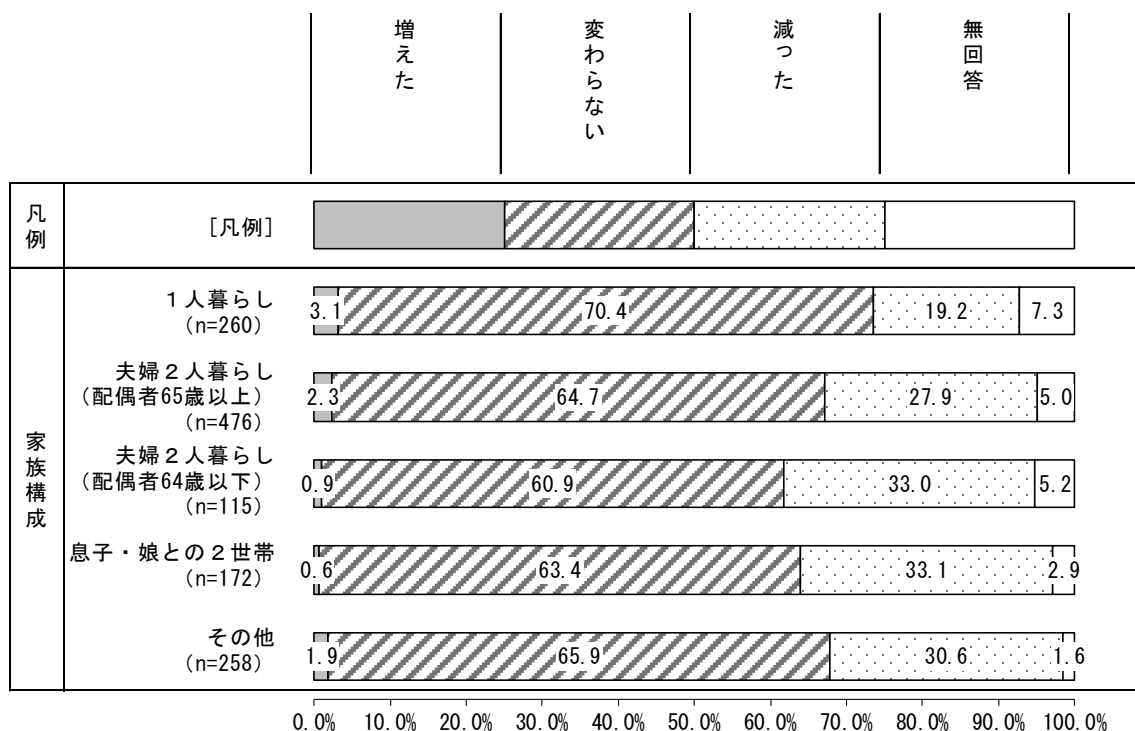
【新型コロナウイルス感染拡大による周辺の人とのつながりの変化】





【家族構成】

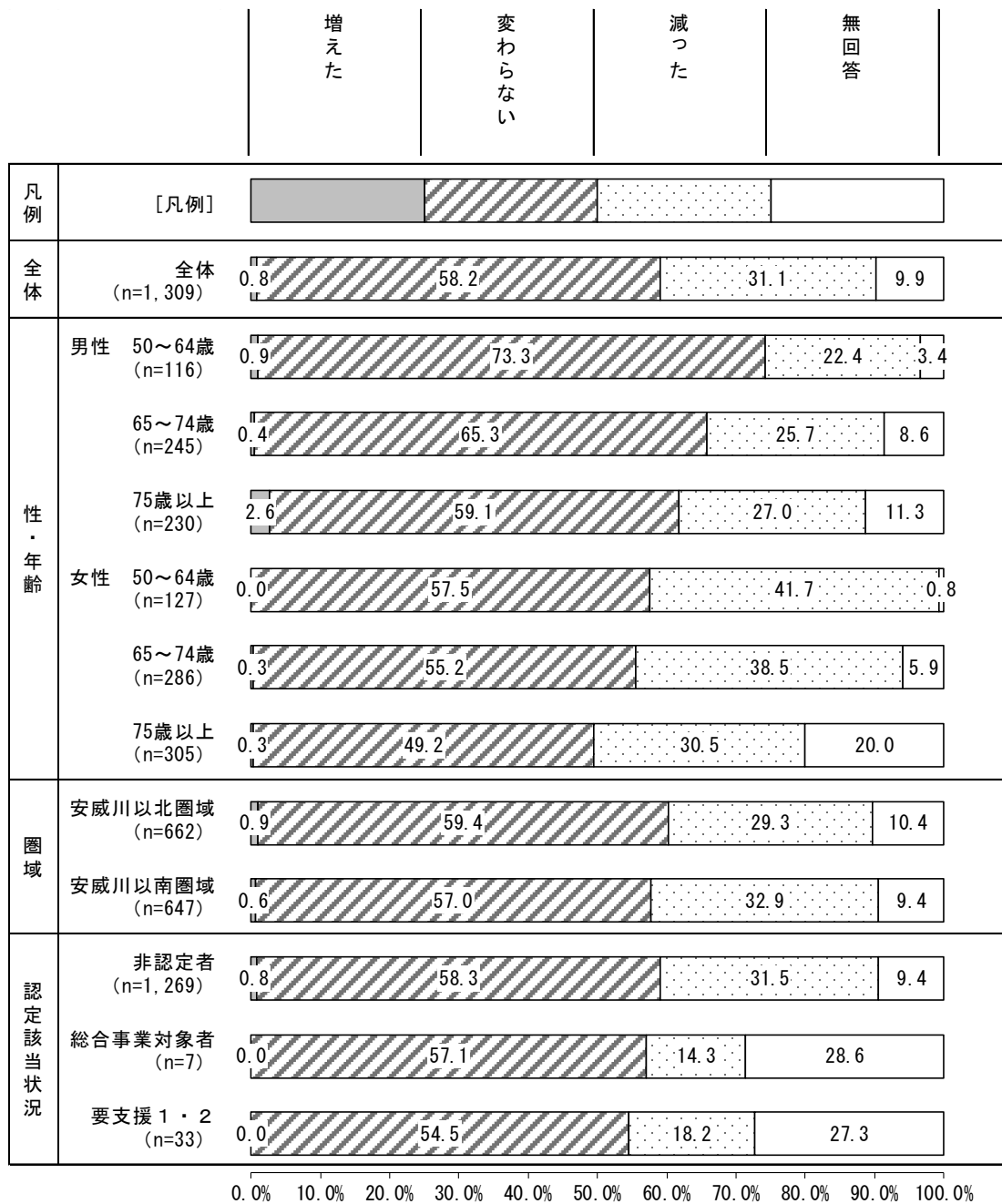
- 1人暮らしでは、「変わらない」が70.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、息子・娘との2世帯では、「減った」が3割以上と他の家族構成区分に比べて多くなっています。



●問12.1② 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に地域活動への参加に変化はありましたか。(1つだけ)

- 【全体】**  
 ○ 新型コロナウイルス感染拡大による地域活動への参加の変化について、「変わらない」が58.2%で最も多く、次いで「減った」が31.1%、「増えた」が0.8%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「減った」が多くなっています。特に、女性(74歳以下)で約4割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【新型コロナウイルス感染拡大による地域活動への参加の変化】



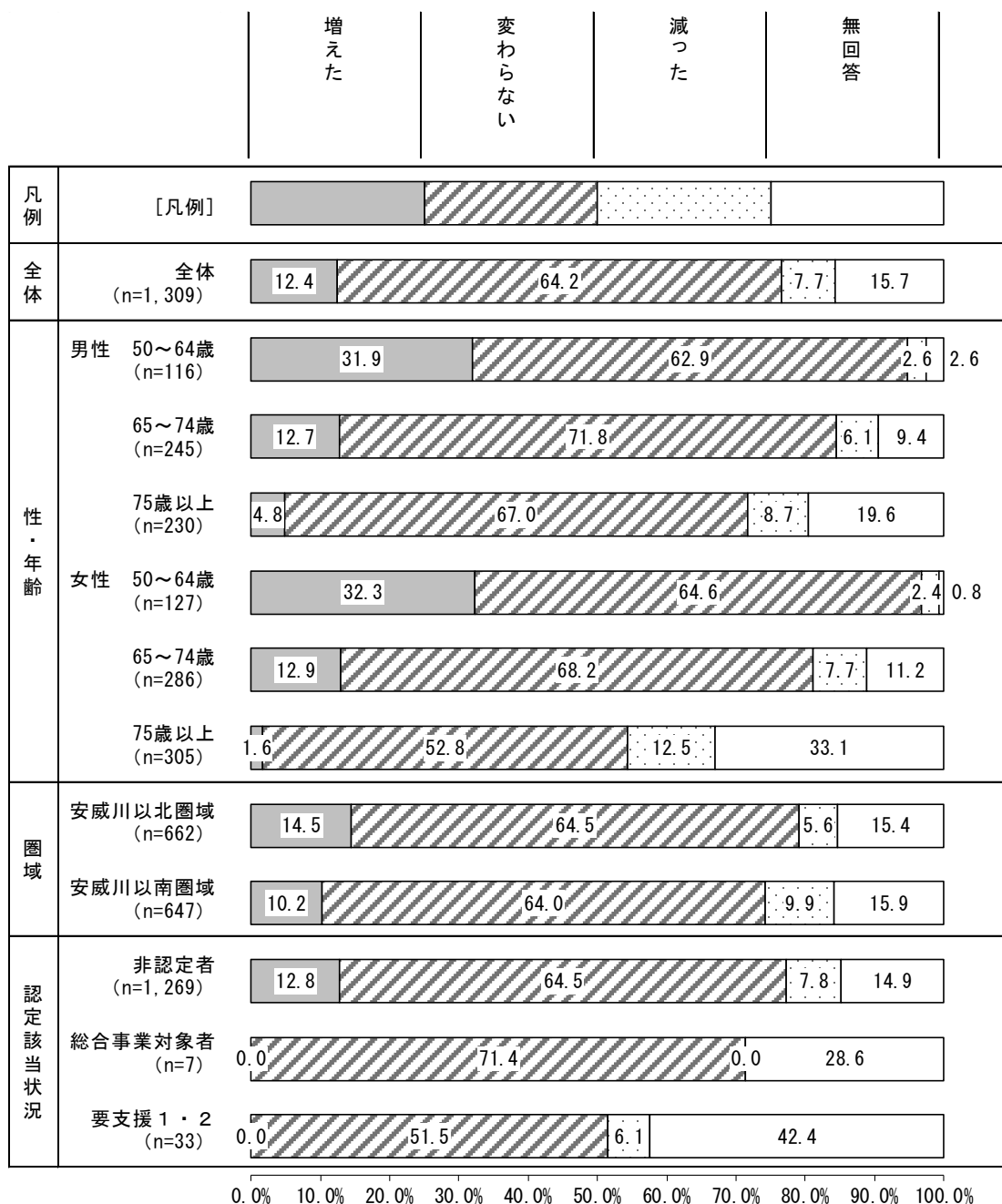
●問12.1③ 新型コロナウイルスの感染拡大を契機にIT機器の活用に変化はありましたか。  
(1つだけ)

**【全体】**  
○ 新型コロナウイルス感染拡大による IT 機器の活用の変化について、「変わらない」が64.2%で最も多く、次いで「増えた」が12.4%、「減った」が7.7%となっています。

**【性・年齢】**  
○ 男女ともに年代が下がるほど「増えた」が多くなる傾向がみられ、50～64歳では3割以上となっています。

**【圏域】**  
○ 安威川以北圏域では、「増えた」が14.5%、「減った」が5.6%であるのに対し、安威川以南圏域では、「増えた」が10.2%、「減った」が9.9%となっています。

【新型コロナウイルス感染拡大による IT 機器の活用の変化】



(2) 地域包括支援センター

●問12.2 地域包括支援センターについてご存知ですか。(1つだけ)

**【全体】**

- 地域包括支援センターの認知状況について、「知っている」「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を合わせた“聞いたことがある”は 54.2%となっています。また、「まったく知らない」が42.6%となっています。
- 前回調査に比べて、“聞いたことがある”が3.5ポイント多くなっています。

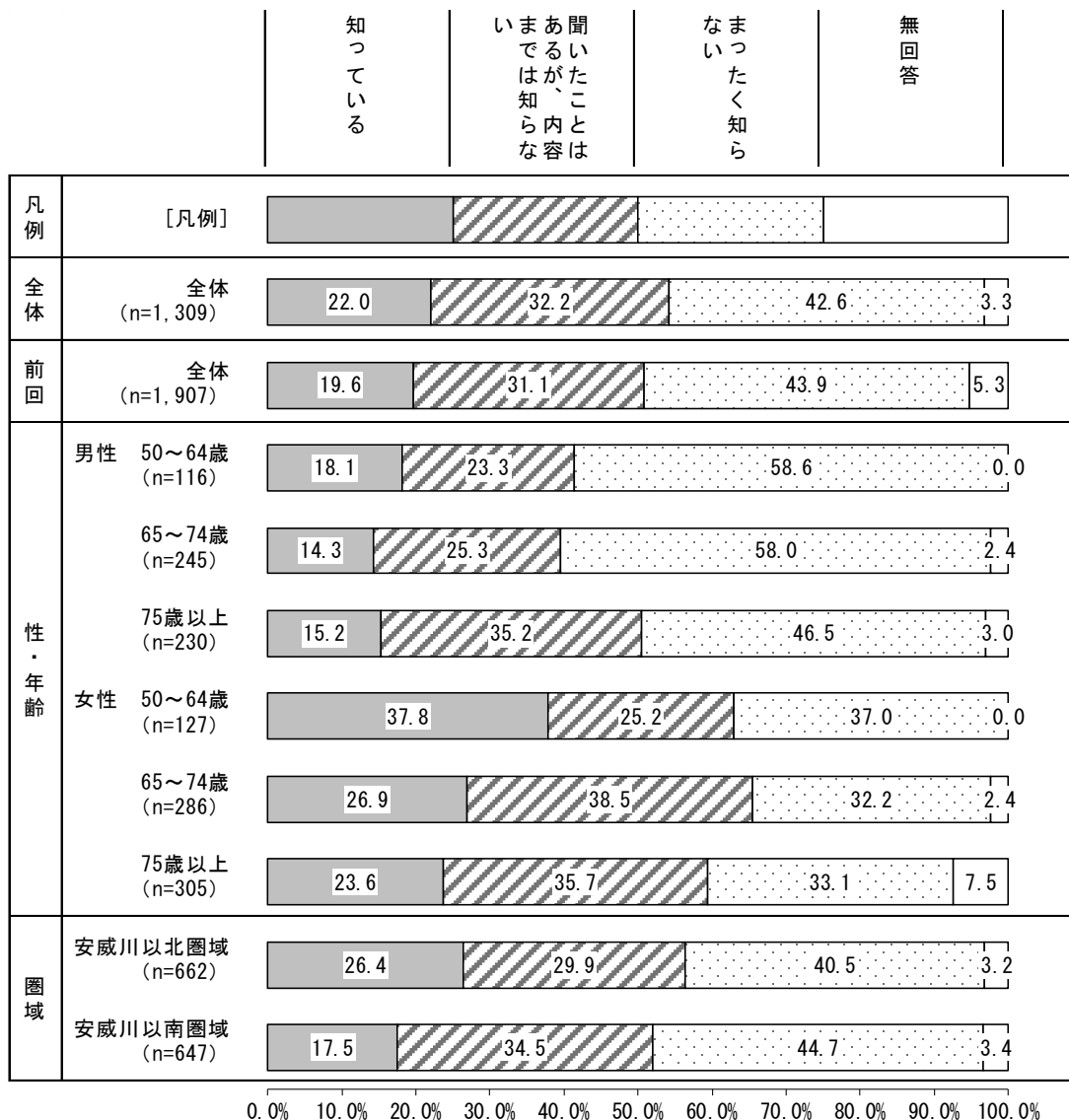
**【性・年齢】**

- いずれの年代でも女性では男性に比べて「知っている」が多くなっていますが、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられます。
- 男性（74歳以下）では、「まったく知らない」が約6割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

**【圏域】**

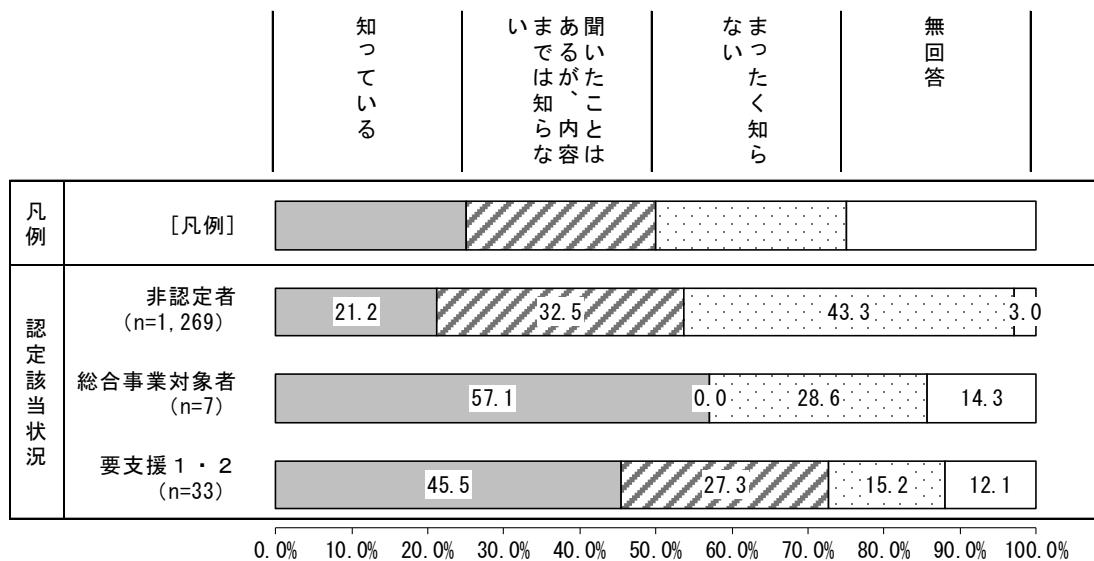
- 安威川以北圏域では、「知っている」が26.4%と安威川以南圏域の17.5%に比べて多くなっています。安威川以南圏域では、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が34.5%となっています。

【地域包括支援センターの認知状況】



【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「知っている」が45.5%と非認定者に比べて多くなっていますが、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が27.3%となっています。



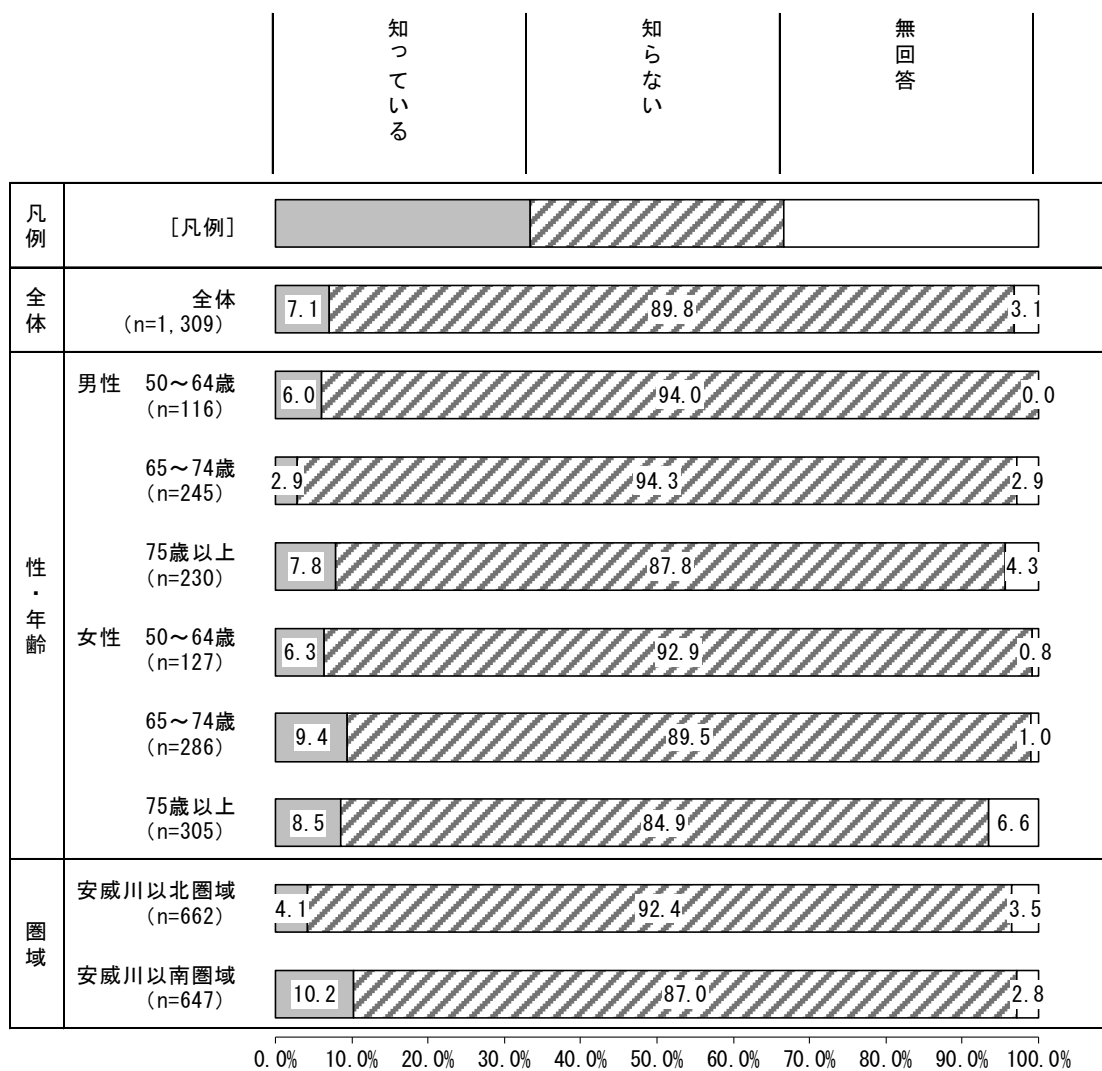
●問12.3 新鳥飼公民館内に「地域包括支援センター鳥飼分室」があることを知っていますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 「地域包括支援センター鳥飼分室」の認知状況について、「知っている」が7.1%、「知らない」が89.8%となっています。

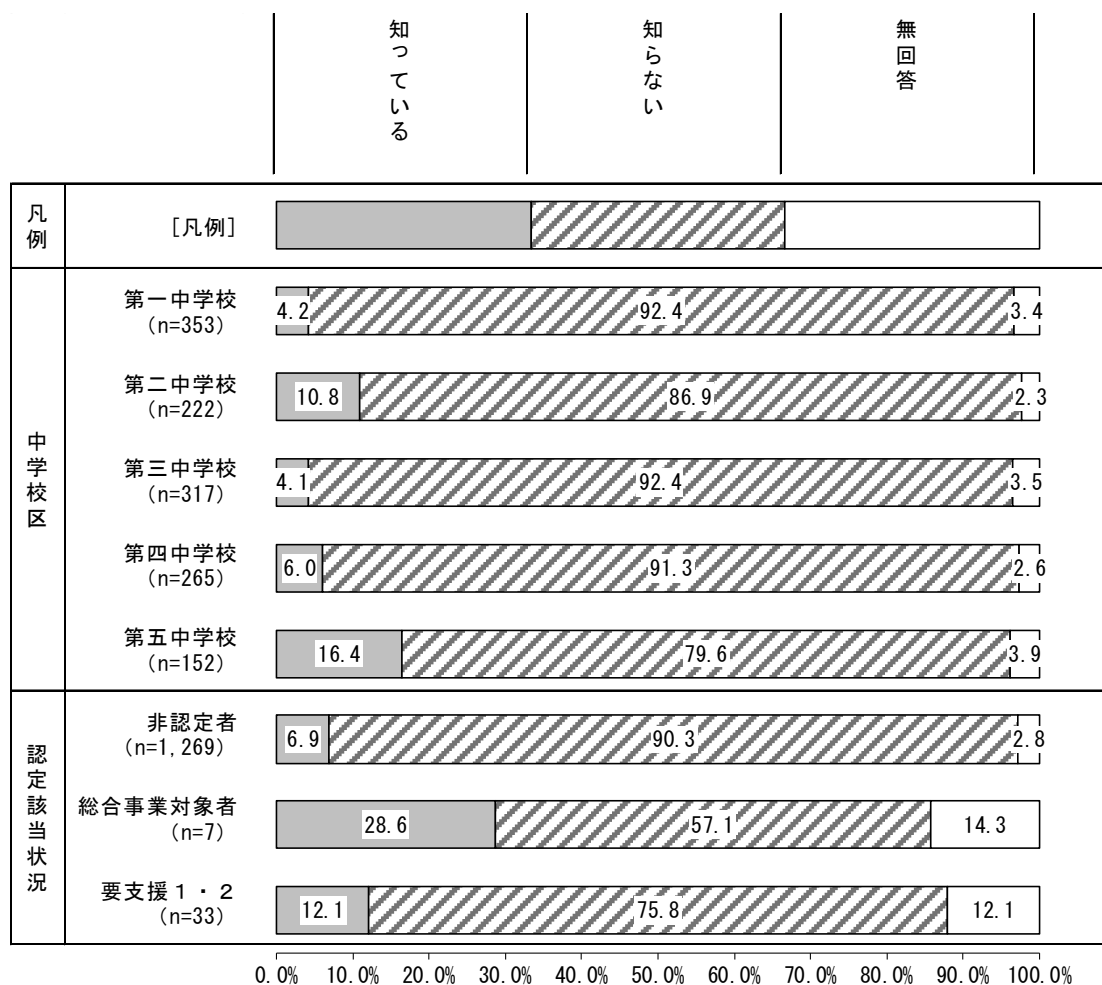
**【性・年齢】**  
 ○ 「知っている」は男性（65～74歳）が2.9%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

**【圏域】**  
 ○ 「地域包括支援センター鳥飼分室」がある安威川以南圏域では、「知っている」が10.2%となっています。

【「地域包括支援センター鳥飼分室」の認知状況】



【中学校区】  
 ○ 「知っている」は、第二中学校で 10.8%、第五中学校で 16.4%と他の校区に比べて多くなっています。



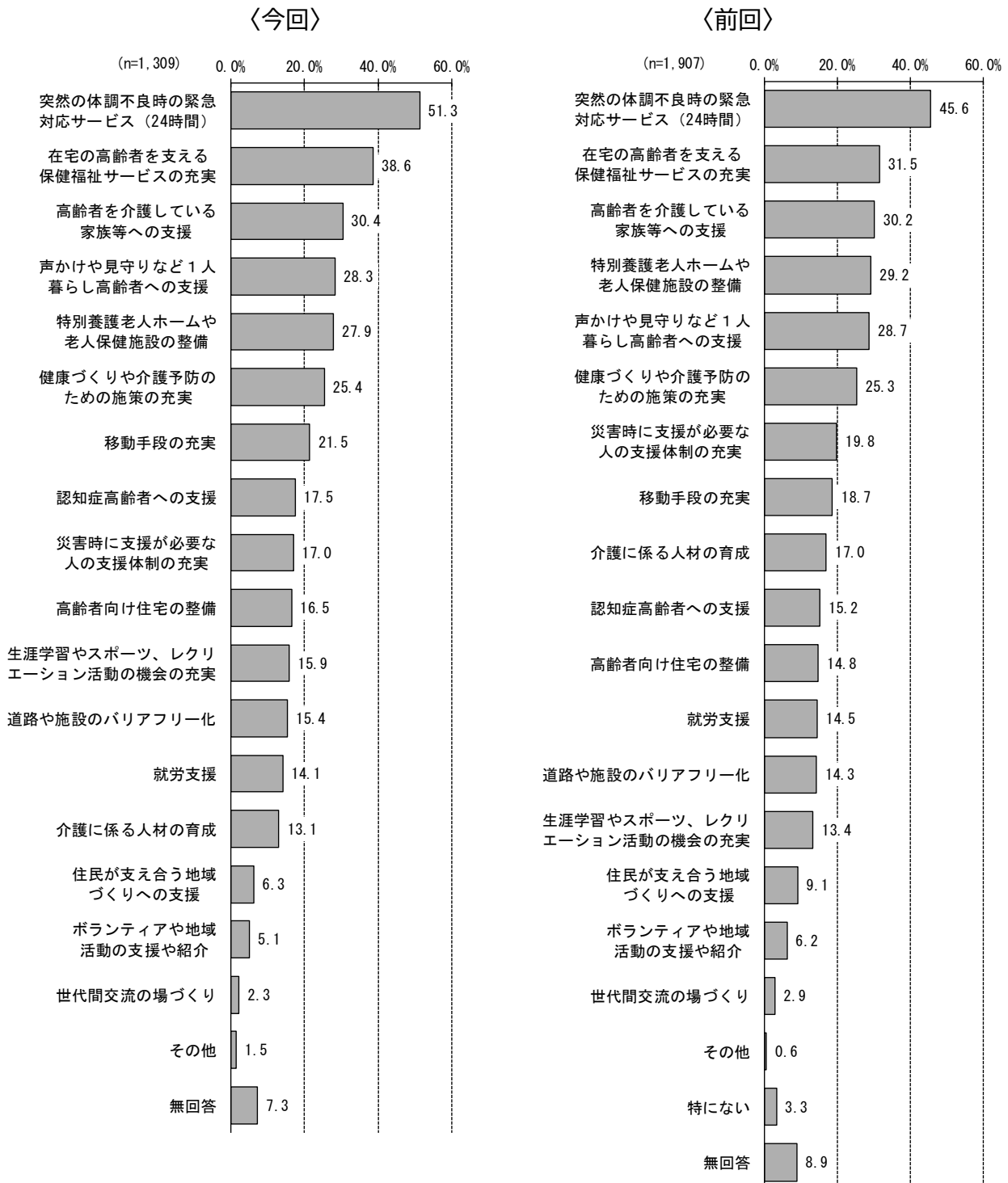
(3) 高齢者施策

●問12.4 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実してほしいことは何ですか。(5つまで)

【全体】

- 特に充実してほしい市の高齢者施策について、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」が51.3%で最も多く、次いで「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が38.6%、「高齢者を介護している家族等への支援」が30.4%となっています。
- 前回調査に比べて、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が3ポイント以上多くなっています。

【特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)】





- 【性・年齢】
- 男女ともに 50～64 歳では「高齢者を介護している家族等への支援」が4割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。また、年代が下がるほど「就労支援」が多くなる傾向がみられ、特に、男性（50～64 歳）では 40.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
  - 男性（65～74 歳）では、「生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実」が 22.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)																	
			施 策 の 充 実 の た め の 介 護 予 防 の 充 実	健 康 づ く り の 充 実	の 機 会 の 充 実 活 動	エ ー ジ ン グ の 充 実 活 動	ポ ー ツ 学 習 活 動	生 涯 学 習 活 動	就 労 支 援	サ ー ビ ス の 充 実	支 宅 の 充 実	在 宅 の 充 実	高 齢 者 へ の 支 援	な ど の 見 守 り	声 け や 見 守 り	時 間 の 充 実	サ ー ビ ス の 充 実	時 間 の 充 実	突 然 の 体 調 不 良	の 認 知 症 高 齢 者 へ
全体		1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5											
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	19.8	15.5	40.5	36.2	20.7	48.3	21.6											
	65～74歳	245	30.6	22.0	20.4	35.9	24.9	49.4	15.9											
	75歳以上	230	26.1	14.3	7.0	40.4	29.6	50.9	17.4											
	女性 50～64歳	127	24.4	14.2	23.6	40.2	29.9	48.8	23.6											
	65～74歳	286	22.4	16.8	10.8	39.5	30.8	57.3	17.5											
	75歳以上	305	26.2	12.1	3.3	38.7	30.2	49.5	14.8											

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)												
			の 支 援 の 充 実	高 齢 者 を 介 護 し て い く る た り の 充 実	健 康 づ く り の 充 実	ホ ム レ ー ン グ の 充 実	特 別 養 護 老 人 の 充 実	移 動 手 段 の 充 実	リ モ ー タ ー の 充 実	道 路 や 施 設 の 充 実	高 齢 者 向 け 住 宅 の 充 実	や 地 域 活 動 の 充 実	ポ ー ラ ン テ ィ ア の 充 実	支 援 の 充 実	住 民 が 支 え 合 う た り の 充 実
全体		1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3						
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	44.8	21.6	15.5	18.1	25.0	2.6	2.6						
	65～74歳	245	31.4	32.7	17.6	9.8	19.6	6.5	6.9						
	75歳以上	230	31.3	23.9	23.9	10.0	13.9	5.7	8.7						
	女性 50～64歳	127	43.3	32.3	22.8	22.0	19.7	5.5	3.1						
	65～74歳	286	26.6	33.9	24.5	20.3	13.6	4.5	5.6						
	75歳以上	305	21.6	22.0	21.6	15.7	14.1	4.9	7.2						

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)				
			づ く り 間 交 流 の 場	の 介 護 成 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実	災 害 時 に 人 に 支 援 が	そ の 他
全体		1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	-	10.3	14.7	2.6	4.3
	65～74歳	245	2.9	12.7	19.6	2.0	4.9
	75歳以上	230	1.3	13.0	20.0	1.3	7.8
	女性 50～64歳	127	3.9	15.0	13.4	0.8	3.9
	65～74歳	286	3.5	14.7	17.1	1.0	3.5
	75歳以上	305	1.6	12.1	15.1	1.3	14.8

【圏域】

- 安威川以北圏域では、「高齢者向け住宅の整備」が19.0%と安威川以南圏域の13.9%に比べて多くなっています。
- 安威川以南圏域では、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」が54.9%、「移動手段の充実」が24.3%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

【中学校区】

- 中学校区別に回答の多い上位7項目とその割合は次ページのようになっています。

単位：%

	母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)												
		施 策 の 充 実 の 充 実 の 充 実	健 康 の 充 実 の 充 実	の 機 会 の 充 実 の 充 実	エ ー ジ ン グ の 充 実 の 充 実	生 活 の 充 実 の 充 実	就 業 の 充 実 の 充 実	サ ブ シ ズ の 充 実 の 充 実	支 援 の 充 実 の 充 実	高 齢 者 の 充 実 の 充 実	声 の 充 実 の 充 実	時 間 の 充 実 の 充 実	突 然 の 充 実 の 充 実	の 充 実 の 充 実
全体	1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5						
圏域	安威川以北圏域	662	26.0	17.5	14.4	39.3	26.7	47.7	18.3					
	安威川以南圏域	647	24.9	14.2	13.8	37.9	30.0	54.9	16.7					
中学校区	第一中学校	353	28.6	18.4	11.3	41.1	27.8	47.9	17.8					
	第二中学校	222	23.4	13.1	16.7	36.5	32.0	55.4	18.0					
	第三中学校	317	23.3	16.7	17.4	37.9	25.9	47.9	19.2					
	第四中学校	265	28.3	13.6	12.8	40.0	30.6	52.5	15.8					
	第五中学校	152	20.4	16.4	11.8	34.9	25.7	57.9	15.1					

単位：%

	母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)												
		の 支 援 の 充 実 の 充 実	高 齢 者 の 充 実 の 充 実	健 康 の 充 実 の 充 実	ホ ム の 充 実 の 充 実	特 別 の 充 実 の 充 実	移 動 の 充 実 の 充 実	リ モ の 充 実 の 充 実	道 路 の 充 実 の 充 実	の 充 実 の 充 実	や 地 域 の 充 実 の 充 実	ポ ラ ン の 充 実 の 充 実	支 援 の 充 実 の 充 実	地 域 の 充 実 の 充 実
全体	1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3						
圏域	安威川以北圏域	662	31.0	29.3	18.7	15.1	19.0	5.9	6.0					
	安威川以南圏域	647	29.8	26.4	24.3	15.8	13.9	4.3	6.5					
中学校区	第一中学校	353	29.2	26.9	19.5	16.4	17.8	5.7	6.8					
	第二中学校	222	30.6	19.8	24.3	15.3	14.0	4.5	5.4					
	第三中学校	317	33.1	32.2	17.4	13.2	19.9	6.0	5.4					
	第四中学校	265	27.9	31.7	24.5	14.7	14.0	4.9	7.9					
	第五中学校	152	31.6	26.3	25.0	19.1	14.5	3.3	5.3					

単位：%

	母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)					無 回 答	
		づ く 代 り 間 交 流 の 場	の 介 育 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実 の 充 実	必 要 な 人 の 支 援 が	そ の 他		
全体	1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3		
圏域	安威川以北圏域	662	2.3	14.2	15.3	2.0	6.3	
	安威川以南圏域	647	2.3	11.9	18.9	0.9	8.2	
中学校区	第一中学校	353	2.0	13.9	17.6	2.5	5.4	
	第二中学校	222	1.4	12.2	17.1	0.9	9.5	
	第三中学校	317	2.5	14.8	13.2	1.3	7.3	
	第四中学校	265	1.5	10.9	19.2	0.8	7.5	
	第五中学校	152	5.3	12.5	19.7	1.3	7.9	

中学校区別上位7項目

単位：％

第一中学校		第二中学校		第三中学校		
1	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	47.9	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	55.4	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	47.9
2	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	41.1	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	36.5	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	37.9
3	高齢者を介護している家族等への支援	29.2	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	32.0	高齢者を介護している家族等への支援	33.1
4	健康づくりや介護予防のための施策の充実	28.6	高齢者を介護している家族等への支援	30.6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	32.2
5	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	27.8	移動手段の充実	24.3	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	25.9
6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	26.9	健康づくりや介護予防のための施策の充実	23.4	健康づくりや介護予防のための施策の充実	23.3
7	移動手段の充実	19.5	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	19.8	高齢者向け住宅の整備	19.9

第四中学校		第五中学校		
1	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	52.5	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	57.9
2	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	40.0	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	34.9
3	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	31.7	高齢者を介護している家族等への支援	31.6
4	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	30.6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	26.3
5	健康づくりや介護予防のための施策の充実	28.3	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	25.7
6	高齢者を介護している家族等への支援	27.9	移動手段の充実	25.0
7	移動手段の充実	24.5	健康づくりや介護予防のための施策の充実	20.4

【家族構成】

- 1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）では、「声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援」が3割以上と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らしでは、「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が43.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「就労支援」が22.6%、「高齢者を介護している家族等への支援」が40.9%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」は、1人暮らし、夫婦2人暮らしでは5割以上、息子・娘との2世帯では44.2%となっています。

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)													
			施 策 の充 実	健 康 の防 ぐ めや の介	エ シ ョ ン 活 動	ボ ー シ ョ ン レ ク ス	生 涯 学 習 や ク ス	就 労 支 援	サ ー ビ ス の 充 実	支 え る の 健 福 社 を	在 宅 の 高 齢 者 を 支 援	高 齢 者 へ の 支 援	声 か け や 見 守 り	時 間 サ ー ビ ス （ 2 4	突 然 の 緊 急 対 応 不 良	の 認 知 症 高 齢 者 へ
全体		1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5							
当 認 状 況 該	非認定者	1,269	25.8	16.2	14.5	38.8	28.8	51.7	17.7							
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	-	28.6	28.6	28.6	14.3							
	要支援1・2	33	12.1	3.0	-	33.3	12.1	39.4	12.1							
	1人暮らし	260	21.9	11.5	14.6	31.2	32.3	52.3	15.4							
家 族 構 成	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	29.0	18.5	7.4	43.5	32.6	54.6	19.3							
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	25.2	16.5	22.6	43.5	20.9	52.2	16.5							
	息子・娘との2世帯	172	25.0	14.5	16.3	37.2	23.8	44.2	18.6							
	その他	258	22.9	16.7	20.5	37.2	23.3	48.4	16.3							

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)														
			の 支 援	高 齢 者 を 介 護 し	健 康 の 整 備	ホ ム レ ー ン の 充 実	特 別 養 老 人 保	移 動 手 段 の 充 実	リ モ ー ト リ ー の 充 実	道 路 や 施 設 の バ	高 齢 者 向 け 住 宅	の 整 備	高 齢 者 向 け 住 宅	や 地 域 活 動 の 支 援	ポ ラ ン テ ィ ア や	支 援	住 民 が 支 え 合 う
全体		1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3								
当 認 状 況 該	非認定者	1,269	30.9	27.9	21.4	15.1	16.8	5.0	6.4								
	総合事業対象者	7	-	42.9	28.6	42.9	-	-	-								
	要支援1・2	33	18.2	24.2	24.2	21.2	9.1	9.1	3.0								
	1人暮らし	260	18.8	19.6	15.4	9.2	17.3	5.8	6.5								
家 族 構 成	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	28.2	33.2	22.7	12.6	15.8	5.5	7.1								
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	40.9	29.6	19.1	19.1	20.0	7.0	3.5								
	息子・娘との2世帯	172	32.6	25.0	26.7	23.3	17.4	5.8	7.0								
	その他	258	39.1	28.3	23.6	19.8	15.9	2.7	5.0								

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)						
			づ 世 代 間 交 流 の 場	の 介 護 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実	必 要 な 人 の 支 援	災 害 時 に の 支 援	そ の 他	無 回 答
全体		1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3		
当 認 状 況 該	非認定者	1,269	2.4	13.3	16.9	1.4	7.0		
	総合事業対象者	7	-	14.3	28.6	-	14.3		
	要支援1・2	33	-	3.0	18.2	3.0	15.2		
	1人暮らし	260	0.8	12.7	17.7	0.8	12.3		
家 族 構 成	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	2.1	13.9	18.3	1.3	5.0		
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	3.5	9.6	18.3	1.7	7.0		
	息子・娘との2世帯	172	2.3	12.8	12.8	1.2	7.0		
	その他	258	3.9	14.0	16.7	2.3	5.8		

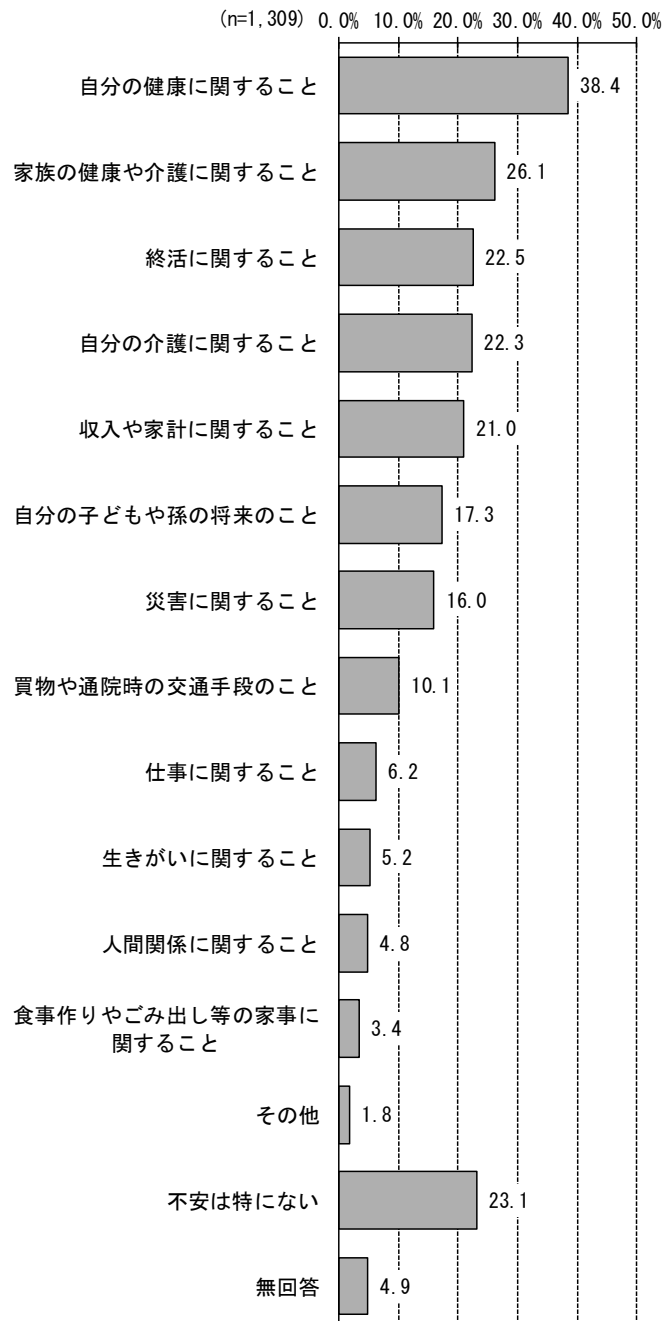
(4) 困っていることや不安なこと

●問12.5 現在困っていることや、不安なことはありますか。(いくつでも)

【全体】

○ 現在困っていることや不安なことについて、「自分の健康に関すること」が 38.4%で最も多く、次いで「家族の健康や介護に関すること」が 26.1%、「不安は特にない」が 23.1%となっています。

【現在困っていることや不安なこと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「不安は特にない」が少なくなる傾向がみられます。50～64歳では、「不安は特にない」が3割以上で最も多く、女性では「家族の健康や介護に関すること」が31.5%と同じ割合で多くなっています。次いで、男女ともに「収入や家計に関すること」が多くなっています。
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「災害に関すること」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では、「自分の介護に関すること」が34.4%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以南圏域では、「買物や通院時の交通手段のこと」が13.3%と安威川以北圏域の6.9%に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと (MA)								
		す 自 分 の 健 康 に 関 す る こ と	す 自 分 の 介 護 に 関 す る こ と	護 家 に 族 の 関 す る 健 康 こ や 介 護 に 関 す る こ と	と 仕 事 に 関 す る こ と	る 人 間 関 係 に 関 す る こ と	る 生 き が い に 関 す る こ と	交 買 物 や 通 院 時 の 交 通 手 段 の こ と	す 収 入 こ や 家 計 に 関 す る こ と	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
性・年齢	男性 50～64歳	116	23.3	11.2	22.4	19.8	3.4	5.2	0.9	29.3
	65～74歳	245	41.6	19.6	24.5	10.6	6.1	9.0	5.7	21.6
	75歳以上	230	49.6	23.9	30.4	4.3	2.2	5.7	13.5	17.8
	女性 50～64歳	127	27.6	14.2	31.5	8.7	4.7	6.3	3.9	28.3
	65～74歳	286	31.8	18.5	26.2	2.8	5.2	3.5	7.7	20.6
75歳以上	305	43.9	34.4	23.0	1.0	5.9	3.0	19.3	17.0	
圏域	安威川以北圏域	662	38.4	22.5	25.8	6.9	5.7	6.5	6.9	19.6
	安威川以南圏域	647	38.5	22.1	26.3	5.4	3.9	3.9	13.3	22.4

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと (MA)							無 回 答
		関 出 食 す し 事 等 の こ と 家 事 に 関 す る こ と	孫 自 の 将 の 来 の こ も と や	と 災 害 に 関 す る こ と	と 終 活 に 関 す る こ と	そ の 他	不 安 は 特 に な い		
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
性・年齢	男性 50～64歳	116	-	12.1	7.8	11.2	2.6	36.2	2.6
	65～74歳	245	1.6	19.2	13.1	21.2	1.6	29.0	2.9
	75歳以上	230	7.0	15.2	15.7	22.6	1.3	20.0	7.0
	女性 50～64歳	127	1.6	25.2	13.4	17.3	3.9	31.5	0.8
	65～74歳	286	1.4	18.9	18.5	26.6	1.4	22.4	4.5
75歳以上	305	6.2	14.8	20.3	25.9	1.3	12.8	7.9	
圏域	安威川以北圏域	662	3.3	16.6	14.7	23.9	2.3	23.4	4.2
	安威川以南圏域	647	3.6	18.1	17.3	21.0	1.2	22.7	5.6

- 【中学校区】
- 中学校区別に回答の多い上位 6 項目とその割合は次ページのようになっています（「不安なことは特にない」は除きます）。
  - 第一中学校、第三中学校では「終活に関すること」が他の校区と比べて順位がやや高くなっています。
- 【認定該当状況】
- 要支援 1・2 では、「自分の介護に関すること」が 45.5% と他の認定該当区分に比べて多くなっています。
  - 「買物や通院時の交通手段のこと」は、総合事業対象者では 42.9%、要支援 1・2 では 27.3% となっています。
  - 「食事作りやごみ出し等の家事に関すること」は、総合事業対象者では 28.6%、要支援 1・2 では 12.1% となっています。

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)								
		自分の健康に関	自分の介護に関	家族の健康や介護	仕事に関するこ	人間関係に関する	生きがいに関する	買物や通院時の交通手段のこと	収入や家計に関する	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
中学校区	第一中学校	353	40.5	21.2	24.1	7.6	5.4	5.9	7.6	18.1
	第二中学校	222	41.0	22.1	30.6	6.8	2.3	4.5	9.0	25.2
	第三中学校	317	36.3	23.7	27.8	6.0	6.3	7.3	6.6	21.1
	第四中学校	265	37.7	23.4	23.0	4.2	4.5	3.4	15.8	23.0
	第五中学校	152	35.5	20.4	25.7	5.9	4.6	3.3	14.5	17.8
認定該当	非認定者	1,269	37.9	21.7	26.4	6.4	4.9	5.1	9.5	21.4
	総合事業対象者	7	42.9	28.6	-	-	-	14.3	42.9	14.3
	要支援 1・2	33	57.6	45.5	18.2	-	3.0	6.1	27.3	9.1

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)							無回答
		食事等の家事に	自分の将来の子どもや	災害に関するこ	終活に関するこ	その他	不安は特にない		
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
中学校区	第一中学校	353	4.0	14.7	14.4	24.1	2.8	23.8	4.8
	第二中学校	222	3.2	18.5	17.1	20.7	0.5	23.0	6.3
	第三中学校	317	2.5	18.9	14.8	24.3	1.9	23.0	3.5
	第四中学校	265	4.5	18.1	15.5	21.5	0.8	23.4	4.9
	第五中学校	152	2.6	17.1	21.1	19.1	2.6	21.1	5.9
認定該当	非認定者	1,269	3.1	17.7	16.2	22.2	1.7	23.5	4.6
	総合事業対象者	7	28.6	14.3	-	28.6	-	14.3	14.3
	要支援 1・2	33	12.1	6.1	12.1	30.3	3.0	9.1	12.1

## 中学校区別上位6項目

単位：%

第一中学校			第二中学校			第三中学校		
1	自分の健康に関すること	40.5	自分の健康に関すること	41.0	自分の健康に関すること	36.3		
2	家族の健康や介護に関すること	24.1	家族の健康や介護に関すること	30.6	家族の健康や介護に関すること	27.8		
3	終活に関すること	24.1	収入や家計に関すること	25.2	終活に関すること	24.3		
4	自分の介護に関すること	21.2	自分の介護に関すること	22.1	自分の介護に関すること	23.7		
5	収入や家計に関すること	18.1	終活に関すること	20.7	収入や家計に関すること	21.1		
6	自分の子どもや孫の将来のこと	14.7	自分の子どもや孫の将来のこと	18.5	自分の子どもや孫の将来のこと	18.9		

第四中学校			第五中学校		
1	自分の健康に関すること	37.7	自分の健康に関すること	35.5	
2	自分の介護に関すること	23.4	家族の健康や介護に関すること	25.7	
3	家族の健康や介護に関すること	23.0	災害に関すること	21.1	
4	収入や家計に関すること	23.0	自分の介護に関すること	20.4	
5	終活に関すること	21.5	終活に関すること	19.1	
6	自分の子どもや孫の将来のこと	18.1	収入や家計に関すること	17.8	



- 【家族構成】**
- 1人暮らしでは、「自分の介護に関すること」、夫婦2人暮らしでは、「家族の健康や介護に関すること」、息子・娘との2世帯では、「自分の子どもや孫の将来のこと」が他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助は必要ない人では、「不安は特にない」が25.5%と何らかの介護・介助が必要な人に比べて多くなっています。
  - 何らかの介護・介助が必要な人では、「自分の健康に関すること」「自分の介護に関すること」が約5～6割で多くなっています。そのほか、「家族の健康や介護に関すること」「買物や通院時の交通手段のこと」「食事作りやごみ出し等の家事に関すること」「終活に関すること」が他の介護・介助の必要性区分に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)								
		す自 分 の 健 康 に 関 る	す自 分 の 介 護 に 関 る	護家 族 の 健 康 や 介 護	と仕 事 に 関 する こ と	る人 こ 間 関 係 に 関 す る	る生 き が い に 関 す る	交買 通物 手や 段通 の院 時 の こ と	す収 入 や 家 計 に 関 る	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
家族 構 成	1人暮らし	260	40.4	30.0	7.3	5.8	5.0	5.4	10.0	21.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	42.2	21.6	34.7	4.8	4.8	5.7	13.2	18.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	30.4	13.9	30.4	11.3	6.1	8.7	5.2	24.3
	息子・娘との2世帯	172	39.0	20.9	21.5	2.3	2.9	2.3	9.3	16.3
	その他	258	31.8	19.0	30.2	9.3	5.0	4.3	6.6	26.4
介護・ 介 助 の 必 要 性	介護・介助は必要ない	1,140	36.4	19.6	25.6	6.7	4.8	5.2	8.3	20.7
	何らかの介護・介助は 必要だが、現在は受け ていない	64	59.4	45.3	35.9	3.1	3.1	4.7	29.7	23.4
	現在、何らかの介護を 受けている	49	51.0	49.0	32.7	2.0	8.2	6.1	22.4	24.5

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)							
		関出 すし 事 作 る 等 の こ の り と 家 ご に み	孫自 の分 の将 来子 のど こも とや	と災 害に 関 する こ と	と終 活に 関 する こ と	そ の 他	不 安は 特 に な い	無 回 答	
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
家族 構 成	1人暮らし	260	3.8	10.4	15.8	26.9	1.5	20.0	5.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	4.6	13.2	17.4	23.5	1.5	23.7	4.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	3.5	22.6	13.9	18.3	3.5	26.1	5.2
	息子・娘との2世帯	172	2.3	27.3	18.6	25.0	0.6	25.0	4.7
	その他	258	1.9	22.9	12.8	15.9	2.7	24.0	3.5
介護・ 介 助 の 必 要 性	介護・介助は必要ない	1,140	2.5	18.2	15.8	21.9	1.8	25.5	4.4
	何らかの介護・介助は 必要だが、現在は受け ていない	64	14.1	17.2	20.3	26.6	3.1	6.3	1.6
	現在、何らかの介護を 受けている	49	14.3	8.2	16.3	32.7	2.0	2.0	10.2

## (5) ご意見

- 問12.6 高齢者福祉施策や介護保険事業について、記載したいことがあれば、ご記入ください。(自由記述)

## 【自由意見(主な意見)】

## ①市の高齢者福祉施策について

主な意見
■ 健康年齢を維持できる施策を希望。
■ 高齢者への見守りサービスの充実。
■ 時々高齢者宅を訪問してほしい。
■ ひとり暮らしの人が困っていることを話せるような継続的な関わりをしてくれる人が必要。
■ ひとり暮らしの高齢者の不幸なニュースを耳にする。突然の体調不良時に緊急対応を行うサービスの充実が日々の生活の不安をやわらげる一助になる。
■ 1日2、3時間ぐらい仕事がしたい。
■ 退職前の男性に対して、定年後に地域で活動する(外に出て他人と触れ合う)支援が必要。講師の話や数字でなく、実際に活動している男性の「実体験」をメインとした広報活動が必要。
■ 高齢者同士が集まる居場所も必要だが、現役世代や若者世代と高齢者が出会える居場所も必要。
■ 生涯学習、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動に一部の人のみが参加されているように感じる。参加したい人は多くいると思うが、一人では入りにくい、情報が身近にない等の理由で参加していない人が多いのではないかと思う。

## ②介護保険事業について

主な意見
■ 介護保険料がどのように使われているかを具体的に周知してほしい。
■ 介護保険料をとられているが、1度も介護の利用をしたことがなく、お金だけとられているように感じる。介護を使わない人にも見返りがあればと思う。
■ 介護の現場で働くヘルパーやケアマネジャーの待遇の改善に取り組んでほしい。
■ 介護に関わる人の育成・確保が急務だと思われます。
■ 今は元気だが、困ったときにすぐに介護が受けられるか不安。
■ 特別養護老人ホームにすぐに入居できるようにしてほしい。
■ 要介護認定の結果を早く出すようにしてほしい。

③経済的支援、費用の負担等について

主な意見
■ 家族が介護施設に入っているが、いつまで続くのかわからず、金銭的に不安がある。
■ 年金だけで生活できる住居が必要。
■ 介護施設を利用する際の金銭的負担を軽減する事業にお金を使ってほしい。
■ 年金額が減っている。仕事をしているが、いつまで仕事ができるか不安。
■ 介護保険料が高い。年々物価が上昇する中で、年金生活者にとって介護保険料は大きな負担になっている。
■ 介護保険料が高くならないようにしてほしい。
■ 老化のため聴力が落ちてきたが、補聴器が高額で購入しにくい。

④入所施設等について

主な意見
■ 特別養護老人ホームの数が少ない。
■ 現在、施設で生活しているが、身のまわりのことができなくなったときには、今の施設を出なければならない。その時に次の住居をどのように探せばよいか不安。
■ 低所得の人でも入れる施設があればよいと感じる。
■ 年金が少ないため、介護が必要になったときに老人ホームに入ることができるのかどうか不安。
■ 報道等で老人ホームでの問題が取り上げられており、高齢者が老人ホームに入るのを嫌がっている。老人ホームへの調査等を強化してはどうかと感じる。

⑤移動手段について

主な意見
■ 今は車を運転しているので良いが、先々運転できなくなった時に、公共交通機関への移動が不便だと感じる。
■ 医療機関に行くための交通手段がない。
■ 市役所に行きたいときの移動手段がない。
■ 文化に触れるために外出をしたいが、公共施設や駅までの交通手段がない。
■ 介護タクシーを利用しているが、帰りも利用したいと思うものの、待ってもらえない。

## ⑥情報提供について

主な意見
■ 介護保険料がどのように使われているかを具体的に周知してほしい。（再掲）
■ 介護施設に入る条件や費用などがわかる広報物を発行してもらえると助かる。
■ 介護について、今まで頼ったことがないので、何もわからない。初歩的なことでもよいので、説明資料がほしい。
■ 生涯学習、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動に一部の人のみ参加されているように感じる。参加したい人は多くいると思うが、一人では入りにくい、情報が身近にない等の理由で参加していない人が多いのではないかと思う。（再掲）
■ せっかくいろんな取組をしているのに、周知が行き渡っていないのではないか。

## ⑦相談窓口について

主な意見
■ ひとり暮らしの高齢者が相談できる窓口が必要。
■ 今は夫がいるが、夫に何かあって自分ひとりになったときに、生活のことや日常のことを気軽に相談できる窓口があるのかどうかと思う。
■ 困った時にできるだけ早く相談にのっていただき、回答をいただくと助かる。

## ⑧その他

主な意見
■ アンケートを通じて、聞きなれない言葉や制度、講座があることがわかった。地域や自治会で、このような高齢者に関する話があれば、より多くの人に関心を持つのではないか。
■ 孤独死や行政の手が届かず孤立している人が少しでも少なくなればと思う。誰かが誰かの事を見守り、気軽に声をかけあって優しく対応できる地域社会を作ってほしい。
■ 高齢者を支えるのは子ども達で、子どもを見守って育てるのは高齢者や親である。子どもがいないと未来はない。子ども達に豊かな将来・未来の選択をさせることが、高齢者の幸せにつながっていくのではないか。
■ 高齢者がサークルや趣味の会で作った作品を発表できる場を作っていただきたい。常設のギャラリーがあれば申し分ない。



## 第3章 在宅介護実態調査



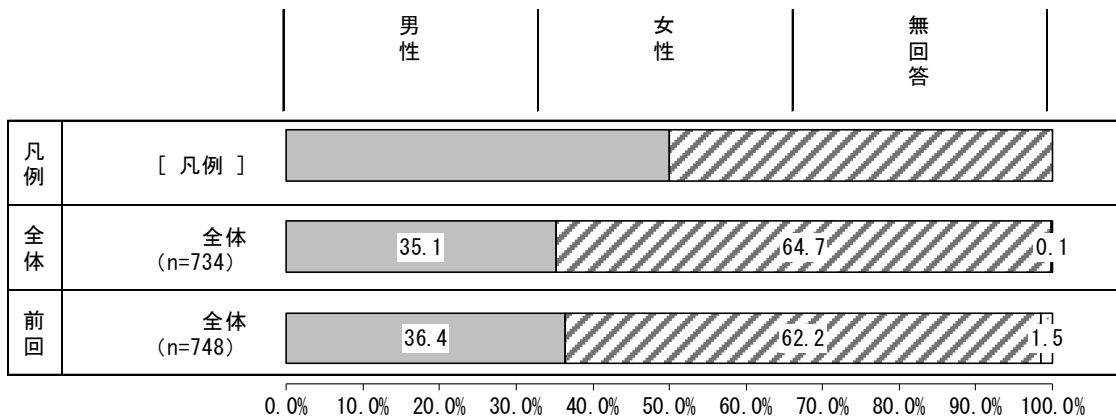
# 1. 対象者の属性

## (1) 性・年齢、圏域、要介護度

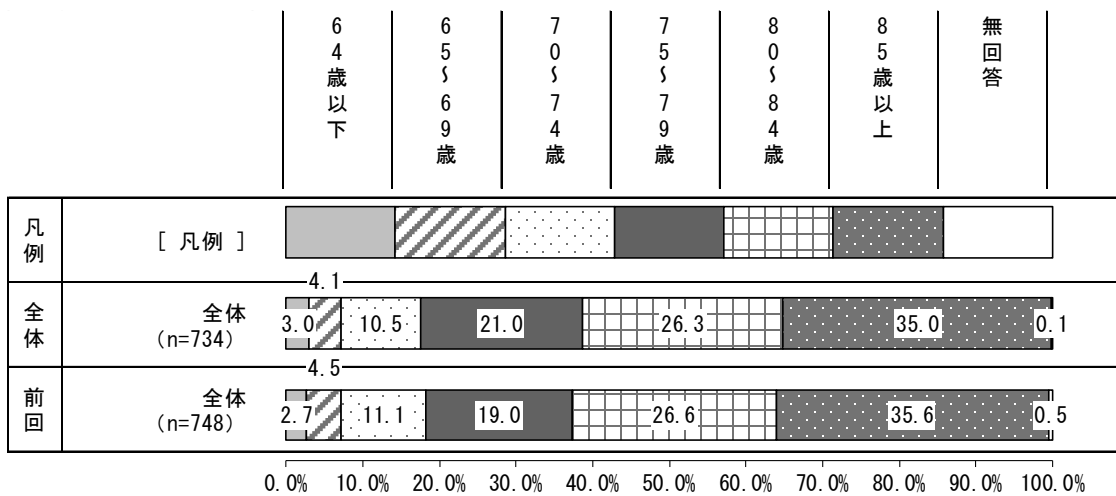
**【全体】**

○ 調査の対象者本人の性別、年齢、要介護度、圏域については以下の通りとなっています。

**【性別】**

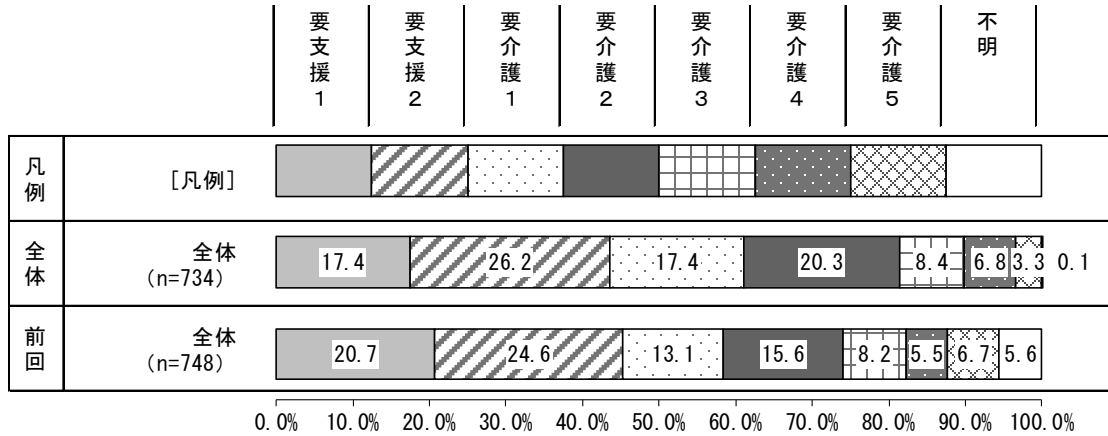


**【年齢】**

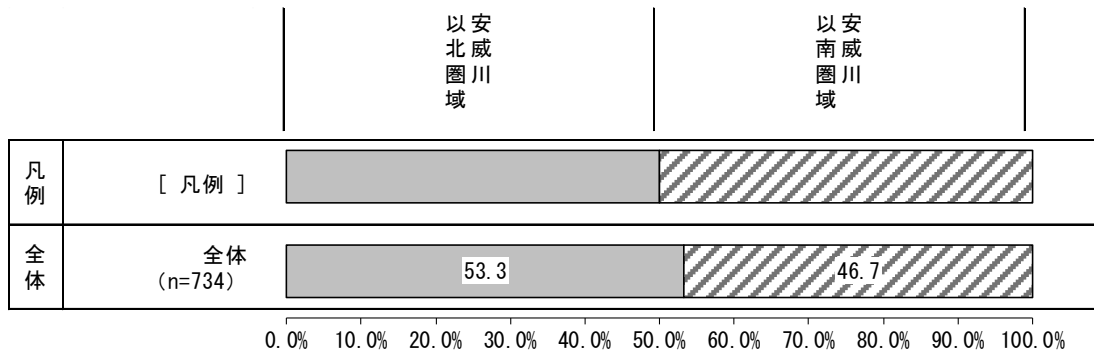




【要介護度】



【圏域】



単位：%

	母数 (n)	要介護度								不明
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
全体	734	17.4	26.2	17.4	20.3	8.4	6.8	3.3	0.1	
年齢	64歳以下	22	13.6	18.2	9.1	18.2	4.5	22.7	13.6	-
	65～69歳	30	16.7	36.7	3.3	16.7	16.7	6.7	3.3	-
	70～74歳	77	18.2	27.3	10.4	14.3	15.6	10.4	3.9	-
	75～79歳	154	22.1	27.3	16.2	21.4	6.5	4.5	1.9	-
	80～84歳	193	20.2	24.4	21.8	18.7	9.3	3.6	2.1	-
	85歳以上	257	12.8	26.1	19.5	23.3	6.2	8.2	3.9	-
性・年齢	男性 64歳以下	9	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	-	-
	65～74歳	46	10.9	32.6	4.3	19.6	15.2	10.9	6.5	-
	75歳以上	203	16.3	22.7	22.2	24.6	7.9	4.9	1.5	-
	女性 64歳以下	13	7.7	23.1	7.7	7.7	-	30.8	23.1	-
	65～74歳	61	23.0	27.9	11.5	11.5	16.4	8.2	1.6	-
	75歳以上	401	18.2	27.4	18.0	19.7	7.0	6.2	3.5	-
圏域	安威川以北圏域	391	17.6	30.4	17.6	18.4	6.4	4.9	4.3	0.3
	安威川以南圏域	343	17.2	21.3	17.2	22.4	10.8	9.0	2.0	-

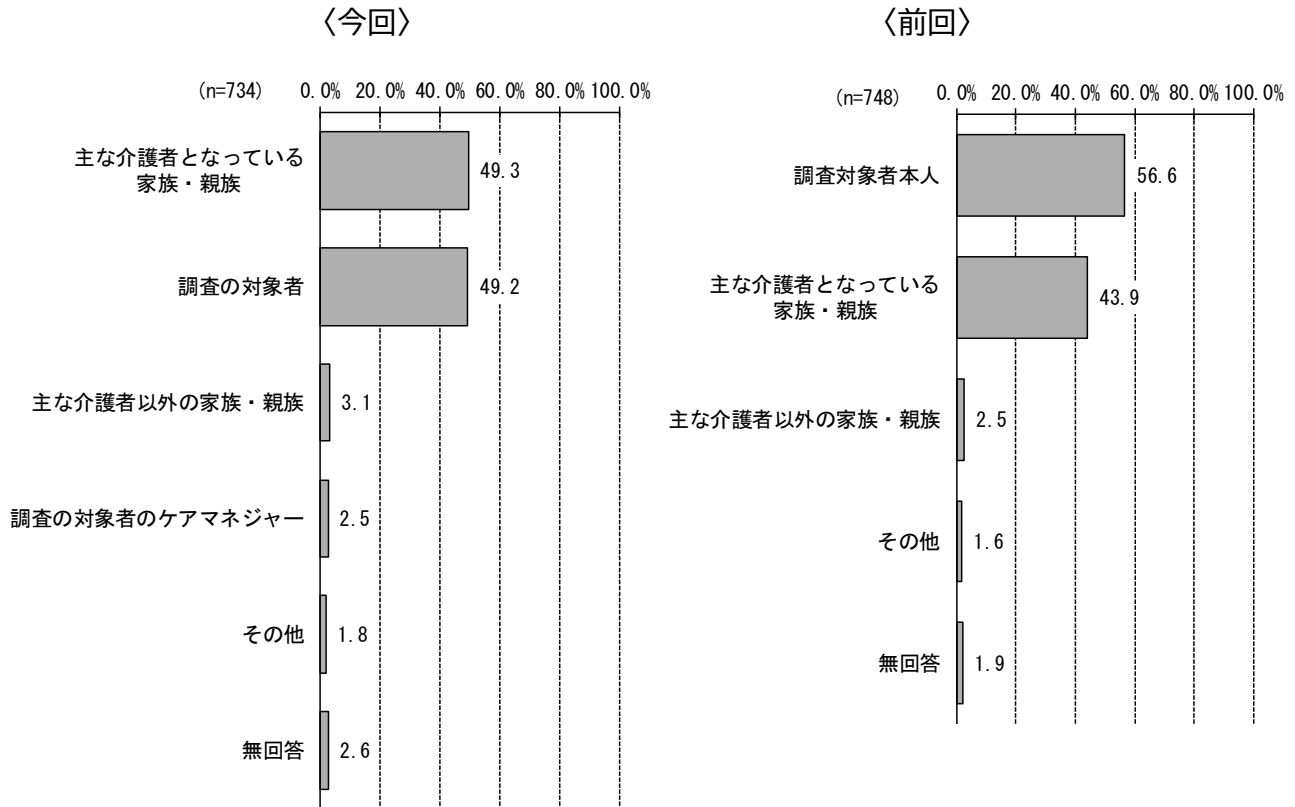
(2) 調査の回答者

●問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(いくつでも)

【全体】

○ 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が49.3%で最も多く、次いで「調査の対象者」が49.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.1%となっています。

【回答者(MA)】



単位：%

		母数 (n)	回答者(MA)					無回答
			調査の対象者	族な主 ・つな 親て介 族い護 る者 家と	の主 家な 族介 ・護 親者 者以 族外	ケ調 ア査 マの ネ対 ジ象 ャ者 の	そ の 他	
全体		734	49.2	49.3	3.1	2.5	1.8	2.6
性・年齢	男性 64歳以下	9	33.3	55.6	-	-	11.1	11.1
	65~74歳	46	54.3	52.2	6.5	2.2	4.3	-
	75歳以上	203	47.8	50.2	2.5	3.0	2.5	3.0
	女性 64歳以下	13	53.8	38.5	7.7	-	-	7.7
	65~74歳	61	45.9	47.5	3.3	3.3	-	3.3
	75歳以上	401	49.9	49.1	3.0	2.2	1.2	2.2
圏域	安威川以北圏域	391	47.6	50.6	2.3	2.6	1.8	3.8
	安威川以南圏域	343	51.0	47.8	4.1	2.3	1.7	1.2
要介護度	要支援 1・2	320	47.5	50.9	2.2	2.2	1.6	2.2
	要介護 1・2	277	49.8	50.5	3.2	2.9	2.2	2.2
	要介護 3~5	136	51.5	43.4	5.1	2.2	1.5	4.4

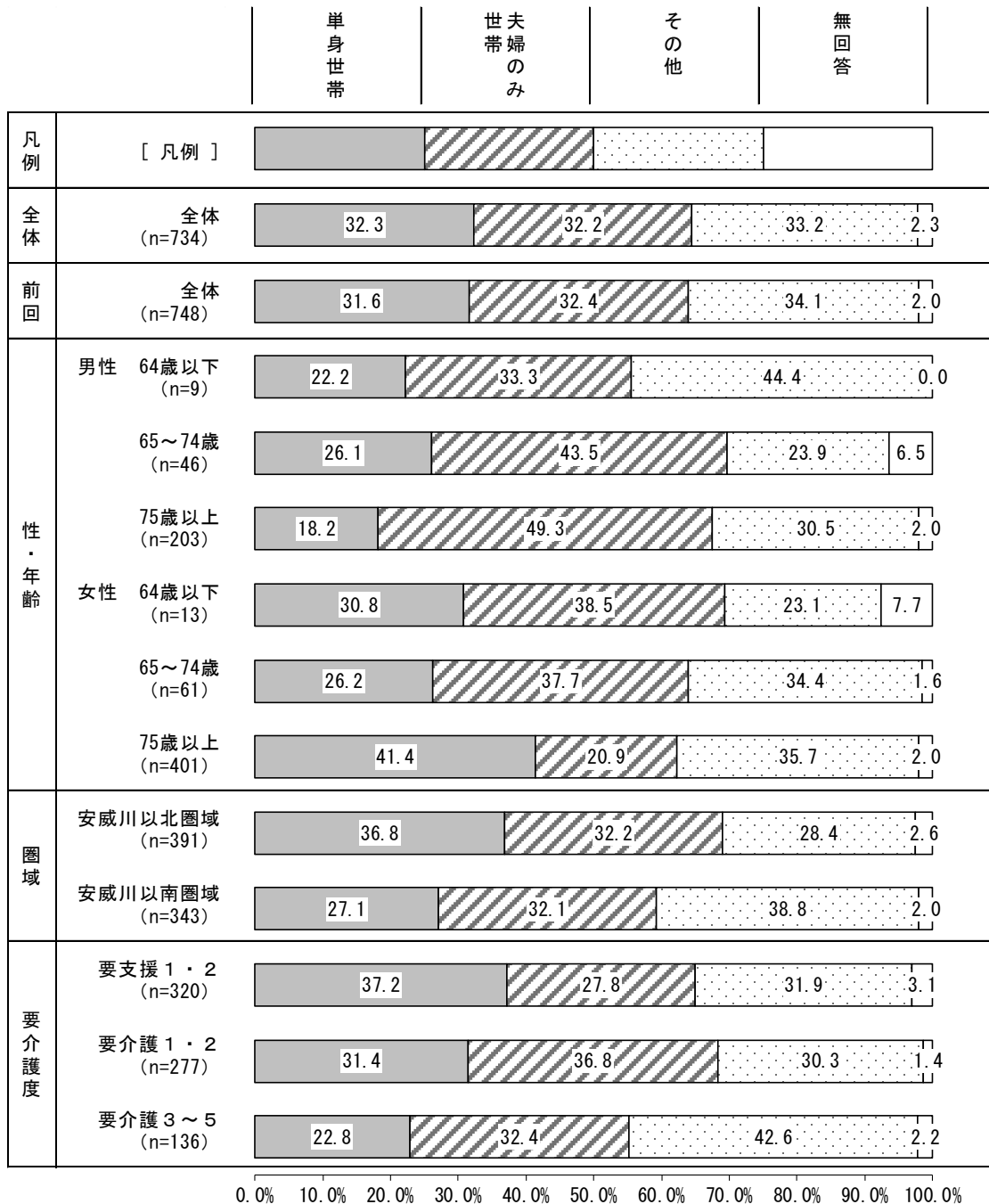
(3) 世帯類型

●問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 世帯類型について、「その他」が33.2%で最も多く、次いで「単身世帯」が32.3%、「夫婦のみ世帯」が32.2%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「単身世帯」は、要支援1・2で37.2%、「夫婦のみ世帯」は要介護1・2で36.8%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。

【世帯類型】



## 2. 家族等による介護について

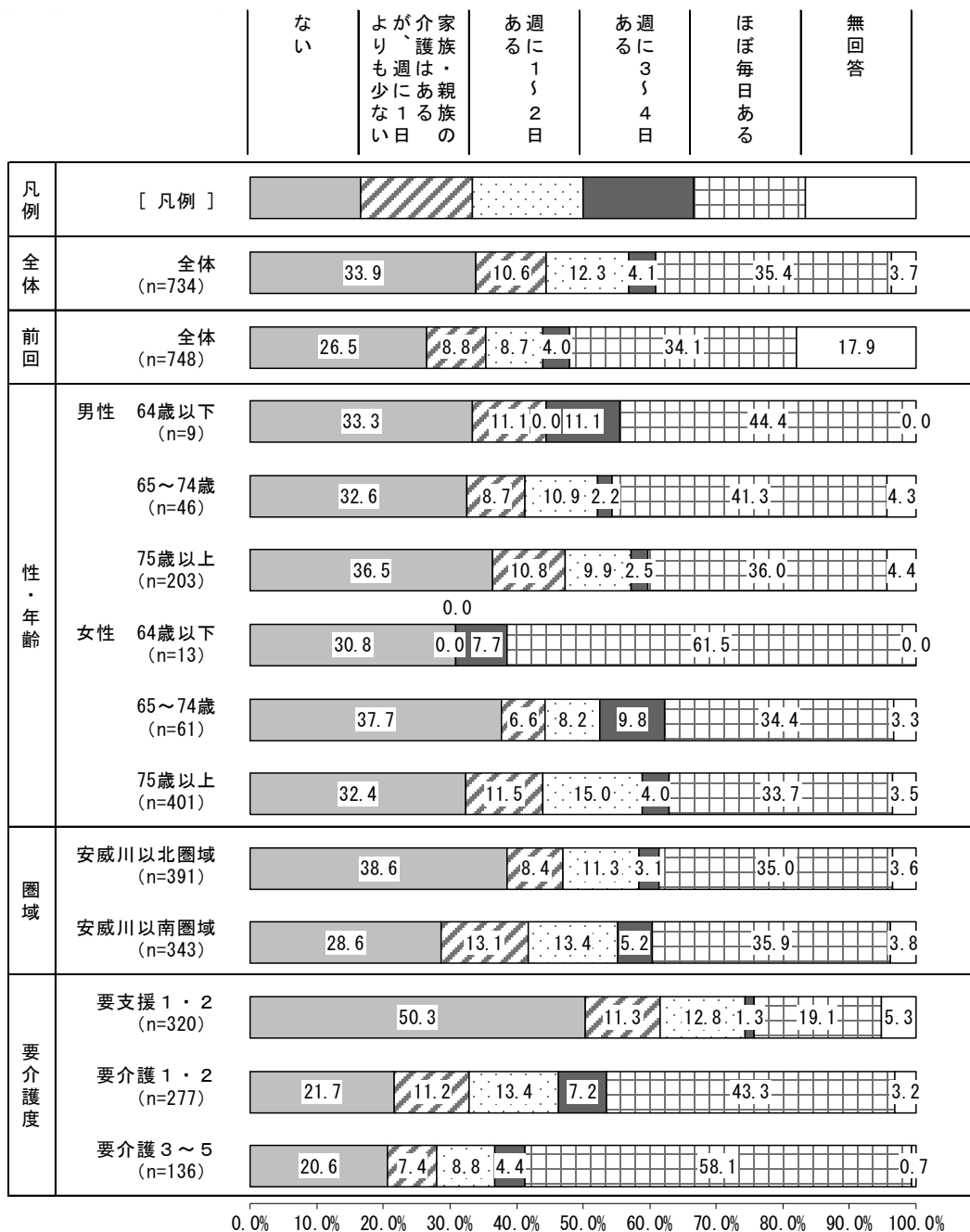
### (1) 介護の頻度

- 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。  
(1つだけ)

**【全体】**  
○ 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が 35.4%で最も多く、次いで「ない」が 33.9%、「週に1～2日ある」が 12.3%となっています。

**【要介護度】**  
○ 「ほぼ毎日ある」は、要介護1・2では 43.3%、要介護3～5では 58.1%となっています。

【介護の頻度】



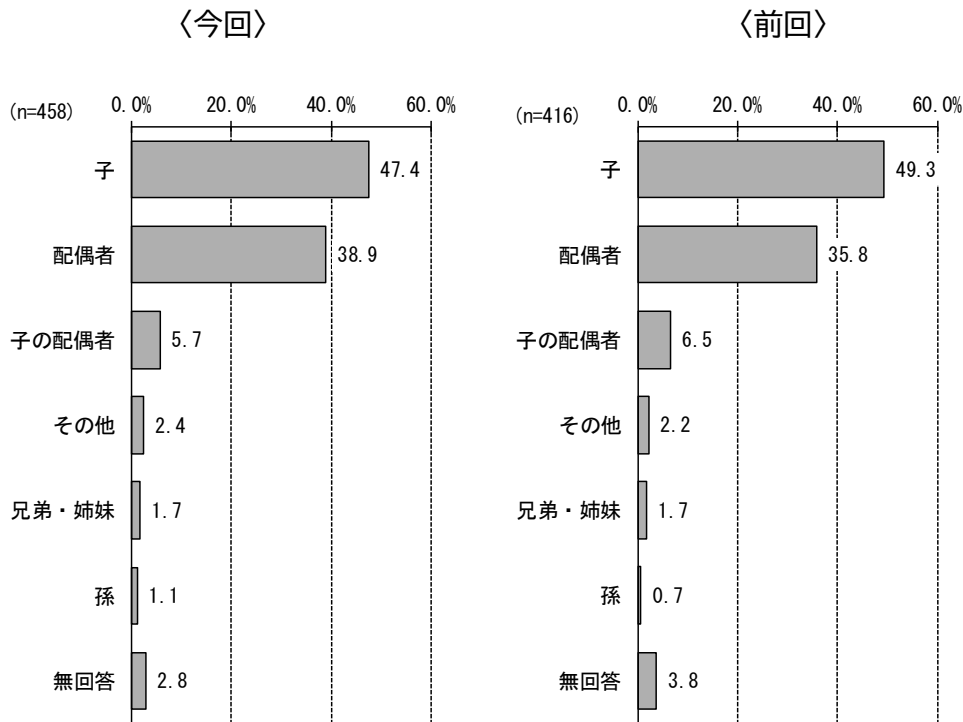
(2) 主な介護者の属性

① 主な介護者

●問4 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護しているのは、どなたですか。(1つだけ)

【全体】  
○ 主な介護者について、「子」が47.4%で最も多く、次いで「配偶者」が38.9%、「子の配偶者」が5.7%となっています。

【主な介護者】



単位：%

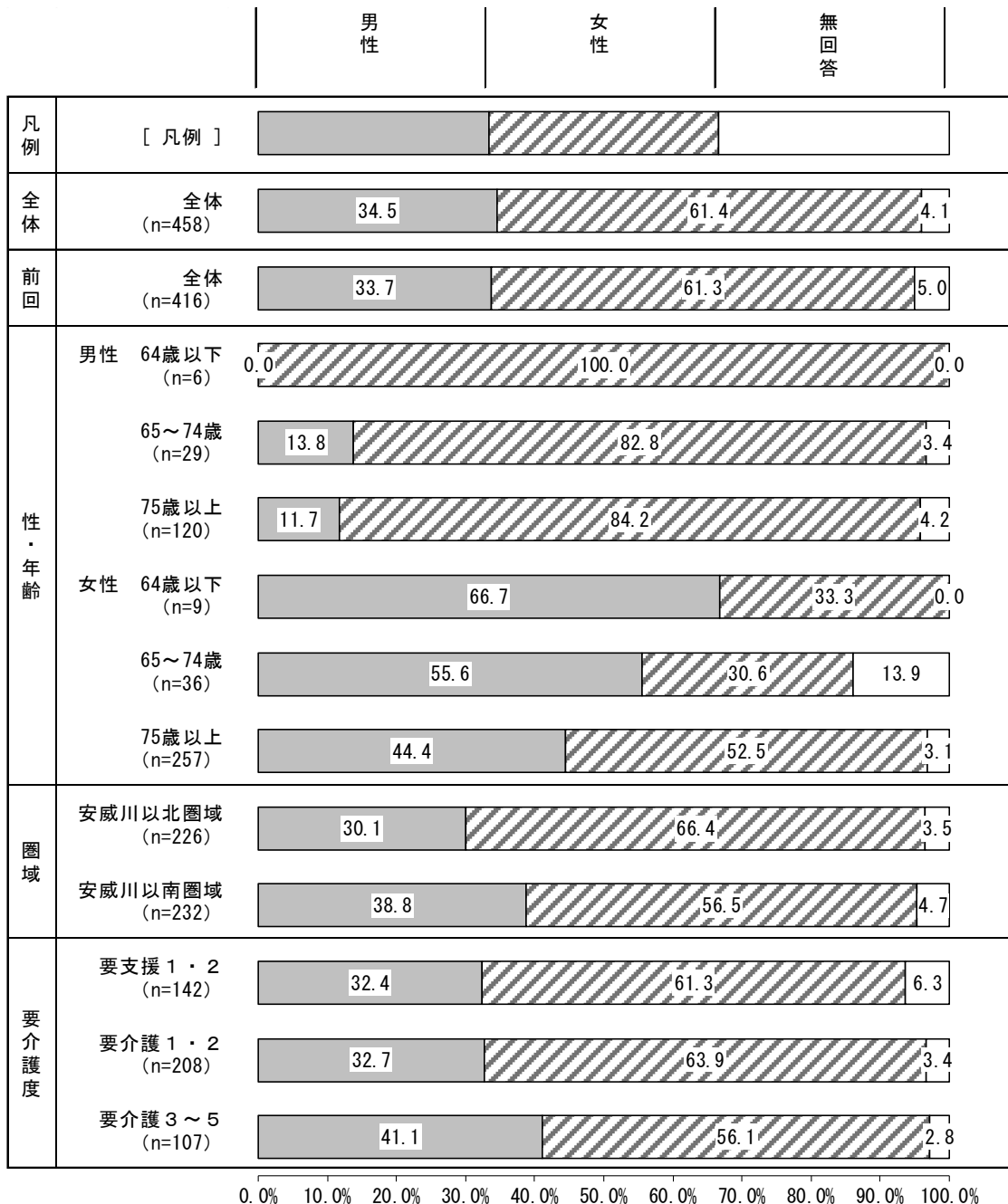
	母数 (n)	主な介護者						
		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	458	38.9	47.4	5.7	1.1	1.7	2.4	2.8
性・年齢	男性 64歳以下	6	100.0	-	-	-	-	-
	65～74歳	29	72.4	10.3	3.4	-	3.4	10.3
	75歳以上	120	65.8	25.8	3.3	-	-	2.5
	女性 64歳以下	9	66.7	11.1	-	-	11.1	11.1
	65～74歳	36	50.0	38.9	-	-	2.8	2.8
75歳以上	257	18.3	65.4	8.2	1.9	1.9	1.2	
圏域	安威川以北圏域	226	35.8	53.1	5.3	1.3	1.8	2.2
	安威川以南圏域	232	41.8	41.8	6.0	0.9	1.7	2.6
要介護度	要支援1・2	142	27.5	57.0	4.9	-	2.8	3.5
	要介護1・2	208	40.9	42.3	8.2	1.9	1.9	1.9
	要介護3～5	107	49.5	44.9	1.9	0.9	-	1.9

② 主な介護者の性別・年齢

●問5 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体】  
○ 主な介護者の性別について、「男性」が34.5%、「女性」が61.4%となっています。

【主な介護者の性別】



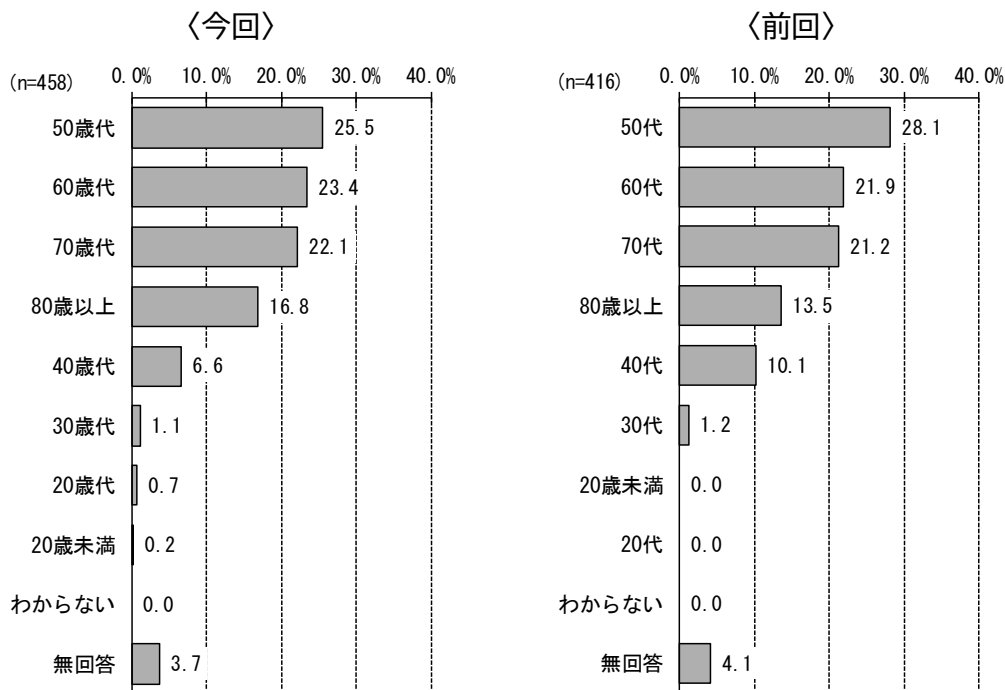
●問6 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 主な介護者の年齢について、「50 歳代」が 25.5%で最も多く、次いで「60 歳代」が 23.4%、「70 歳代」が 22.1%となっています。

**【年齢】**  
 ○ 85 歳以上では、「60 歳以上」の介護者が 70.8%と多くなっています。  
 ○ 前回調査では、0.0%であった「20 歳未満」「20 歳代」が 0.9%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要支援 1・2 では、「60 歳以上」が 55.7%であるのに対し、要介護 1・2 では 65.9%、要介護 3～5 では 63.6%と多くなっています。

【主な介護者の年齢】



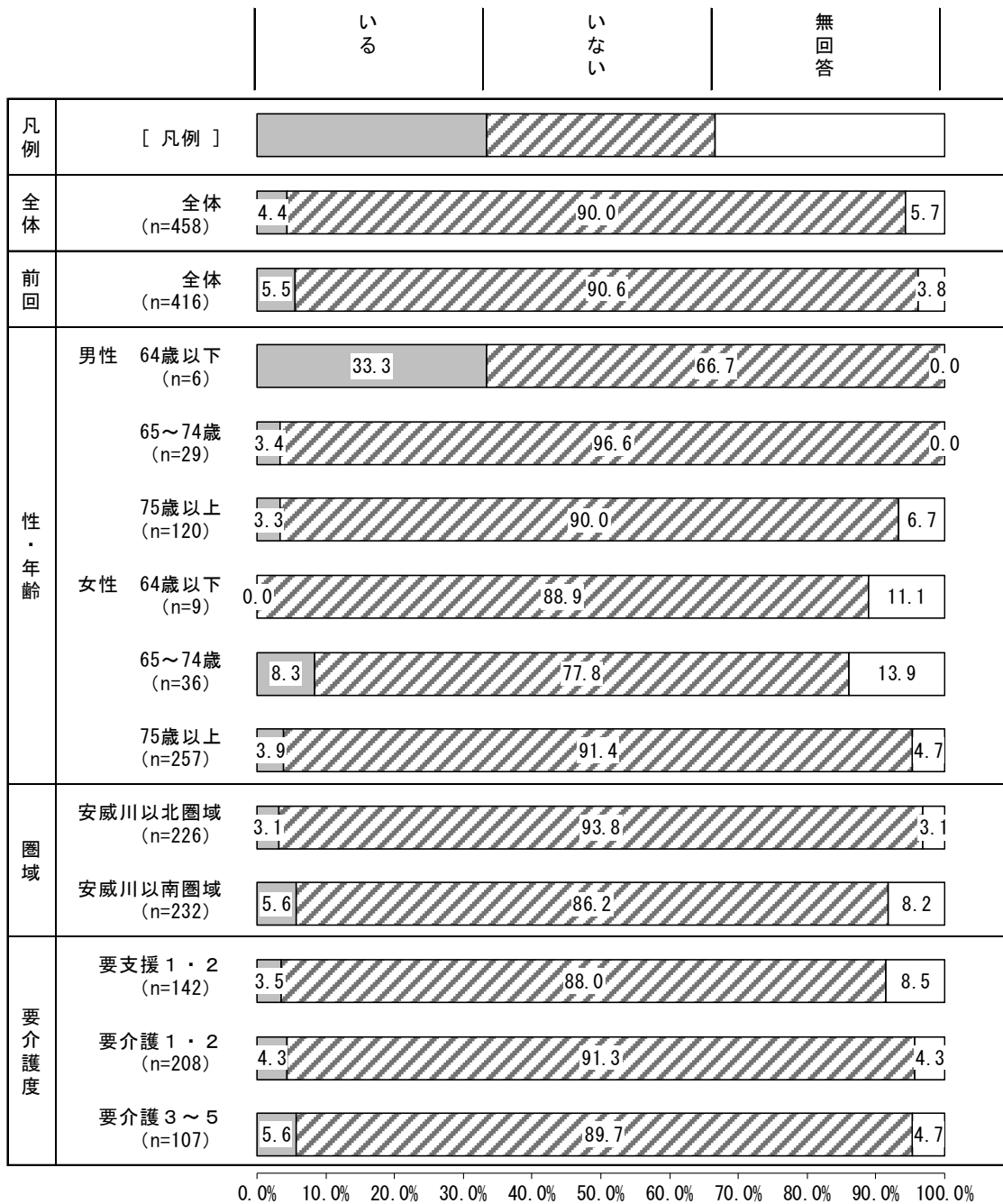
単位：%

	母数 (n)	主な介護者の年齢										“60歳以上”	
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答		
全体	458	0.2	0.7	1.1	6.6	25.5	23.4	22.1	16.8	-	3.7	62.3	
年齢	64歳以下	15	-	6.7	-	26.7	6.7	53.3	-	-	-	6.7	53.3
	65～69歳	16	-	-	12.5	12.5	6.3	31.3	31.3	-	-	6.3	62.6
	70～74歳	49	-	2.0	6.1	14.3	6.1	14.3	46.9	2.0	-	8.2	63.2
	75～79歳	94	-	-	-	11.7	24.5	3.2	37.2	21.3	-	2.1	61.7
	80～84歳	101	-	1.0	-	3.0	46.5	8.9	16.8	21.8	-	2.0	47.5
	85歳以上	182	0.5	-	-	1.6	23.1	41.2	11.5	18.1	-	3.8	70.8
圏域	安威川以北圏域	226	0.4	0.4	1.3	8.4	23.5	28.8	20.8	14.2	-	2.2	63.8
	安威川以南圏域	232	-	0.9	0.9	4.7	27.6	18.1	23.3	19.4	-	5.2	60.8
要介護度	要支援 1・2	142	-	1.4	0.7	9.2	27.5	26.8	17.6	11.3	-	5.6	55.7
	要介護 1・2	208	-	0.5	1.0	4.3	25.5	19.7	25.5	20.7	-	2.9	65.9
	要介護 3～5	107	0.9	-	1.9	7.5	23.4	26.2	21.5	15.9	-	2.8	63.6

- 問7 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方には、15歳未満の子どもはいますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 15歳未満の主な介護者の有無について、「いる」が4.4%、「いない」が90.0%となっています。  
**【要介護度】**  
 ○ 「いる」は、要支援1・2では3.5%、要介護1・2では4.3%、要介護3～5では5.6%となっています。

【15歳未満の主な介護者の有無】

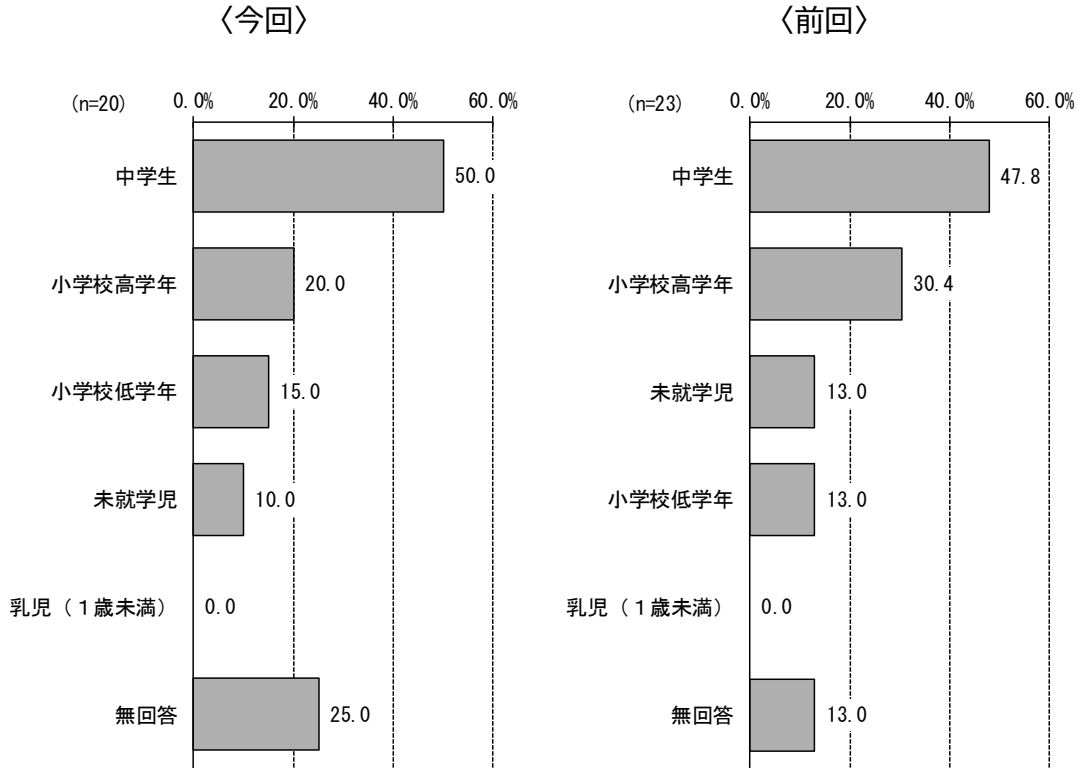




●問8 「主な介護者に15歳未満がいる方のみ」子どもの年齢はどのくらいですか。(複数いる場合はいくつでも)

【全体】  
○ 15歳未満の主な介護者の年齢について、「中学生」が50.0%で最も多く、次いで「小学校高学年」が20.0%、「小学校低学年」が15.0%となっています。

【15歳未満の主な介護者の年齢(MA)】



単位：%

		母数 (n)	15歳未満の主な介護者の年齢(MA)					
			乳児 (1歳未満)	未就学児	小学校低学年	小学校高学年	中学生	無回答
全体		20	-	10.0	15.0	20.0	50.0	25.0
性・年齢	男性 64歳以下	2	-	-	-	50.0	100.0	-
	65~74歳	1	-	-	-	-	-	100.0
	75歳以上	4	-	25.0	-	25.0	50.0	-
	女性 64歳以下	-	-	-	-	-	-	-
	65~74歳	3	-	33.3	66.7	33.3	-	33.3
	75歳以上	10	-	-	10.0	10.0	60.0	30.0
圏域	安威川以北圏域	7	-	14.3	42.9	14.3	42.9	14.3
	安威川以南圏域	13	-	7.7	-	23.1	53.8	30.8
要介護度	要支援1・2	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	要介護1・2	9	-	11.1	22.2	22.2	55.6	22.2
	要介護3~5	6	-	-	-	16.7	66.7	33.3

(3) 主な介護者が行う介護の内容

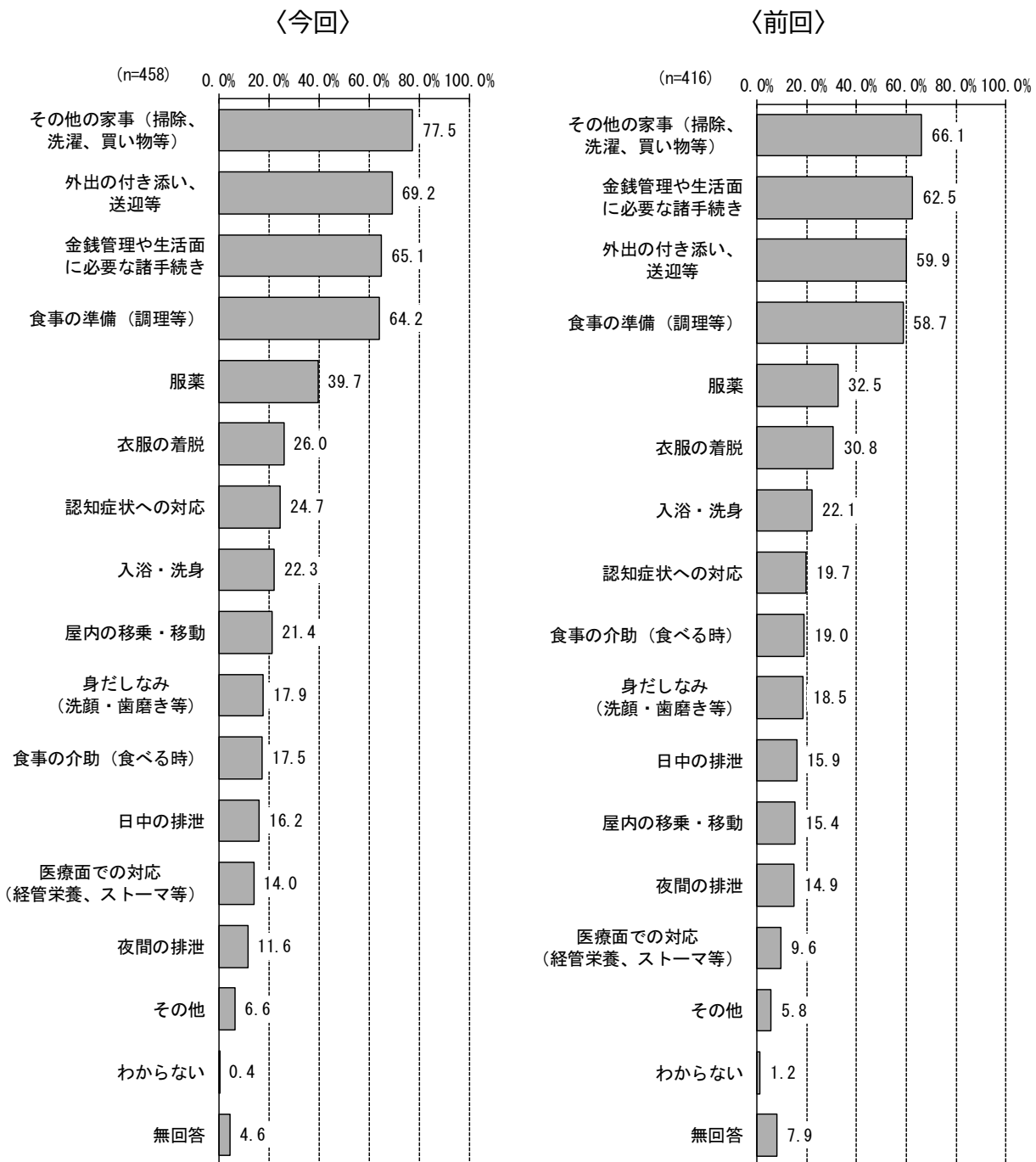
① 現在行っている介護

●問9 「家族、親族から介護を受けている方のみ」現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

**【全体】**

- 主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が77.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が69.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が65.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が11.4ポイント、「外出の付き添い、送迎等」が9.3ポイント多くなっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】



【要介護度】

- ほとんどの項目で、要介護度が上がるほど、主な介護者が行っている割合が多くなる傾向がみられます。
- 「外出の付き添い、送迎等」と生活援助は、要介護度が低くても割合が高く、また、どの要介護度でも他の項目と比べて主な介護者が行っている割合が高くなっています。

単位：％

		母数 (n)	主な介護者が行う介護(MA)								
			身体介護								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		458	16.2	11.6	17.5	22.3	17.9	26.0	21.4	69.2	39.7
性・年齢	男性 64歳以下	6	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	50.0	66.7	100.0	33.3
	65～74歳	29	41.4	31.0	31.0	31.0	34.5	51.7	31.0	75.9	55.2
	75歳以上	120	16.7	11.7	15.8	21.7	16.7	30.8	13.3	61.7	47.5
	女性 64歳以下	9	44.4	22.2	33.3	11.1	44.4	44.4	55.6	66.7	66.7
	65～74歳	36	13.9	13.9	19.4	19.4	16.7	25.0	30.6	72.2	27.8
	75歳以上	257	11.7	8.2	14.8	21.8	15.6	19.8	20.6	71.2	35.4
圏域	安威川以北圏域	226	16.8	10.6	16.8	21.7	17.7	26.5	23.5	70.8	38.1
	安威川以南圏域	232	15.5	12.5	18.1	22.8	18.1	25.4	19.4	67.7	41.4
要介護度	要支援1・2	142	2.1	2.1	5.6	8.5	4.9	10.6	12.0	66.2	9.9
	要介護1・2	208	9.1	5.3	14.4	25.5	13.5	22.1	14.4	72.1	49.5
	要介護3～5	107	48.6	36.4	38.3	34.6	43.9	54.2	47.7	68.2	60.7

単位：％

		母数 (n)	主な介護者が行う介護(MA)							わからない	無回答
			身体介護		生活援助			その他			
			応認知症状への対応	ト(経管栄養、対応)	理(食事の準備)調	買(掃除、洗濯、家事)	続(その他)の家事		面(必要)な生活		
全体		458	24.7	14.0	64.2	77.5	65.1	6.6	0.4	4.6	
性・年齢	男性 64歳以下	6	16.7	50.0	66.7	66.7	66.7	16.7	-	-	
	65～74歳	29	27.6	17.2	75.9	89.7	72.4	-	-	3.4	
	75歳以上	120	29.2	12.5	70.0	76.7	65.0	5.8	-	5.8	
	女性 64歳以下	9	11.1	11.1	77.8	77.8	66.7	11.1	-	11.1	
	65～74歳	36	11.1	13.9	55.6	69.4	58.3	2.8	-	8.3	
	75歳以上	257	24.5	13.2	60.7	78.2	65.0	7.8	0.8	3.5	
圏域	安威川以北圏域	226	24.8	13.3	65.0	78.3	68.6	6.2	0.9	3.1	
	安威川以南圏域	232	24.6	14.7	63.4	76.7	61.6	6.9	-	6.0	
要介護度	要支援1・2	142	7.0	4.9	46.5	65.5	43.0	6.3	-	7.7	
	要介護1・2	208	30.3	13.5	70.2	82.2	75.0	6.7	1.0	2.4	
	要介護3～5	107	36.4	26.2	75.7	85.0	74.8	6.5	-	4.7	

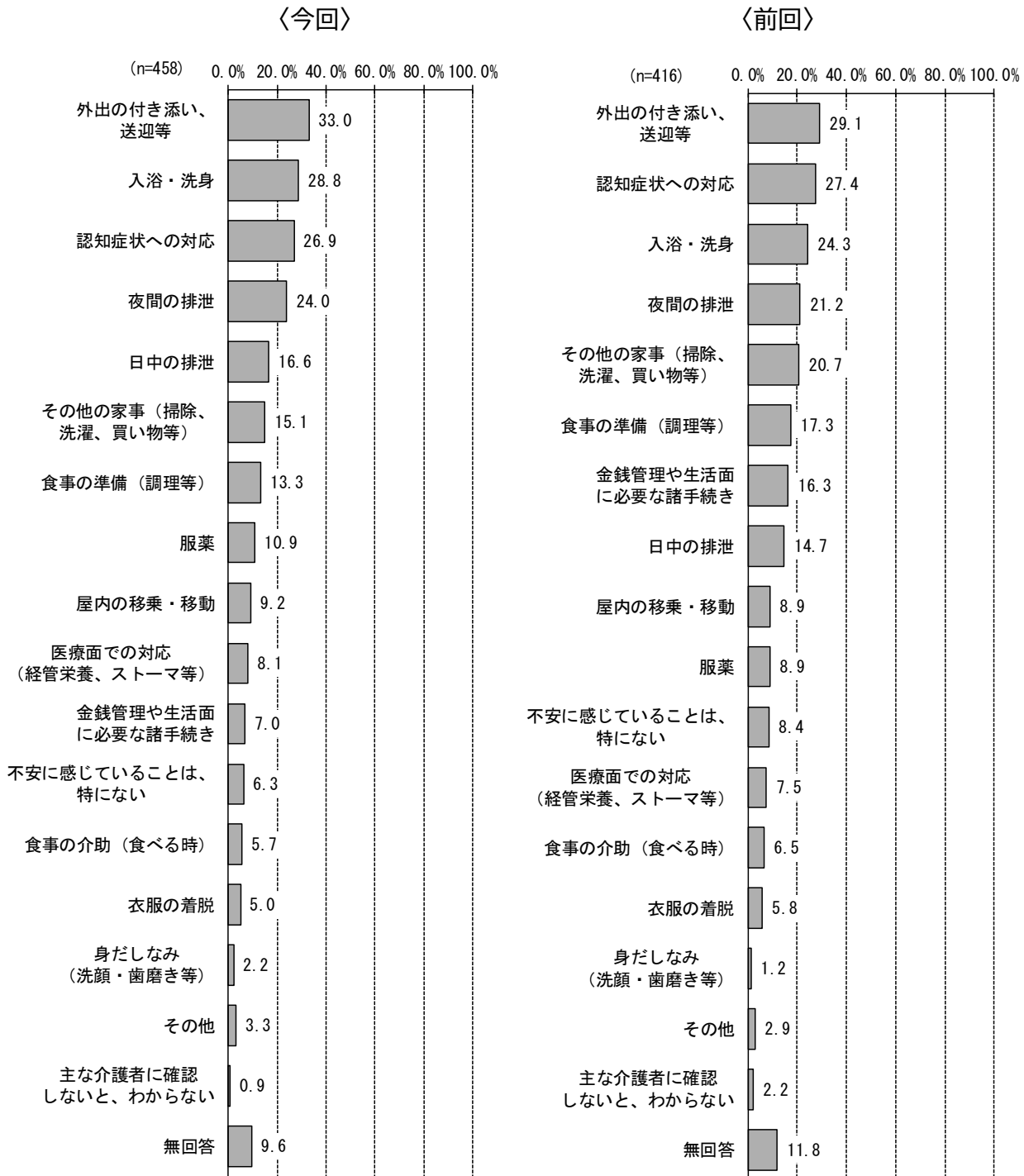
② 不安に感じる介護

●問32 〔家族、親族から介護を受けている方のみ〕現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで)

【全体】

○ 主な介護者が不安に感じる介護等について、「外出の付き添い、送迎等」が33.0%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が28.8%、「認知症状への対応」が26.9%となっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】



- 【要介護度】**
- 要介護度が上がるほど、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」が多くなる傾向がみられます。
  - 要介護1・2では「服薬」、要介護3～5では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が他の介護度と比べて高くなっています。
  - 「認知症状への対応」は、要介護1以上で約3割となっています。

単位：％

	母数 (n)	主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)									
		身体介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	458	16.6	24.0	5.7	28.8	2.2	5.0	9.2	33.0	10.9	
性・年齢	男性 64歳以下	6	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7	50.0	-
	65～74歳	29	10.3	27.6	3.4	34.5	-	6.9	10.3	31.0	3.4
	75歳以上	120	23.3	28.3	5.8	32.5	6.7	5.0	7.5	32.5	14.2
	女性 64歳以下	9	33.3	11.1	33.3	11.1	-	11.1	22.2	22.2	11.1
	65～74歳	36	8.3	11.1	2.8	27.8	-	11.1	8.3	41.7	16.7
	75歳以上	257	15.2	24.1	5.1	26.8	0.8	3.5	9.3	31.9	9.7
圏域	安威川以北圏域	226	19.0	29.6	4.9	31.4	3.1	4.9	8.8	32.7	8.4
	安威川以南圏域	232	14.2	18.5	6.5	26.3	1.3	5.2	9.5	33.2	13.4
要介護度	要支援1・2	142	5.6	16.2	2.1	21.8	0.7	4.9	9.9	34.5	4.2
	要介護1・2	208	18.8	25.0	6.3	31.3	2.9	4.3	8.2	35.1	17.8
	要介護3～5	107	27.1	32.7	9.3	32.7	2.8	6.5	10.3	26.2	6.5

単位：％

	母数 (n)	主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)										
		身体介護			生活援助			その他	不安に感じている	ない	主な介護者に確認	無回答
		認知症状への対応	トーマ等(経管栄養、対応)	医療面での対応	食事の準備(調理等)	買い物(掃除、洗濯、その他家事)	継続的な生活管理や諸生活					
全体	458	26.9	8.1	13.3	15.1	7.0	3.3	6.3	0.9	9.6		
性・年齢	男性 64歳以下	6	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7		
	65～74歳	29	44.8	20.7	-	6.9	13.8	3.4	3.4	6.9		
	75歳以上	120	23.3	5.8	13.3	8.3	5.0	-	6.7	8.3		
	女性 64歳以下	9	11.1	-	-	22.2	-	11.1	-	11.1		
	65～74歳	36	19.4	8.3	16.7	19.4	13.9	5.6	2.8	8.3		
	75歳以上	257	28.4	7.4	14.8	18.7	6.6	4.3	7.4	0.8		
圏域	安威川以北圏域	226	25.7	7.5	14.2	14.6	8.4	3.1	7.1	0.9		
	安威川以南圏域	232	28.0	8.6	12.5	15.5	5.6	3.4	5.6	0.9		
要介護度	要支援1・2	142	17.6	7.0	12.7	20.4	8.5	5.6	9.9	1.4		
	要介護1・2	208	32.7	5.8	17.8	14.4	5.3	3.4	4.3	1.0		
	要介護3～5	107	28.0	13.1	5.6	9.3	8.4	-	5.6	-		

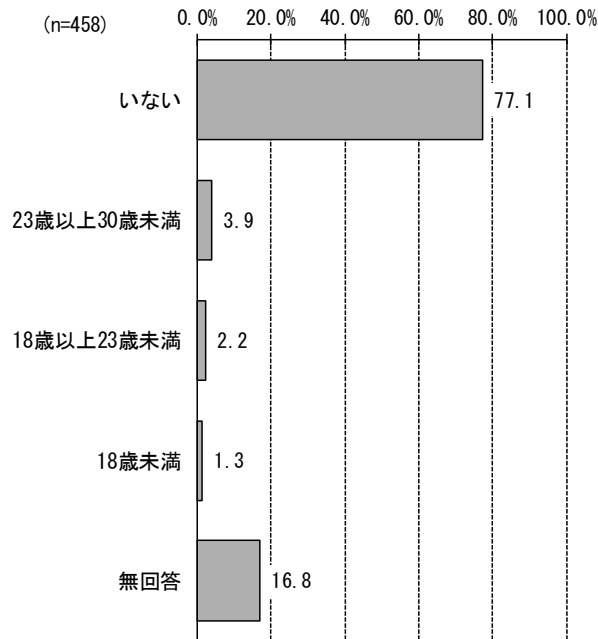
(4) 主な介護者以外の家族等介護者

① 主な介護者以外の家族等介護者の年齢

●問11 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者以外に調査対象者の介護をしている方で、下記の年齢の方はいますか。(1つだけ)

【全体】  
○ 主な介護者以外の介護者の年齢について、「いない」が77.1%で最も多く、次いで「23歳以上30歳未満」が3.9%、「18歳以上23歳未満」が2.2%となっています。

【主な介護者以外の介護者の年齢(MA)】



単位：%

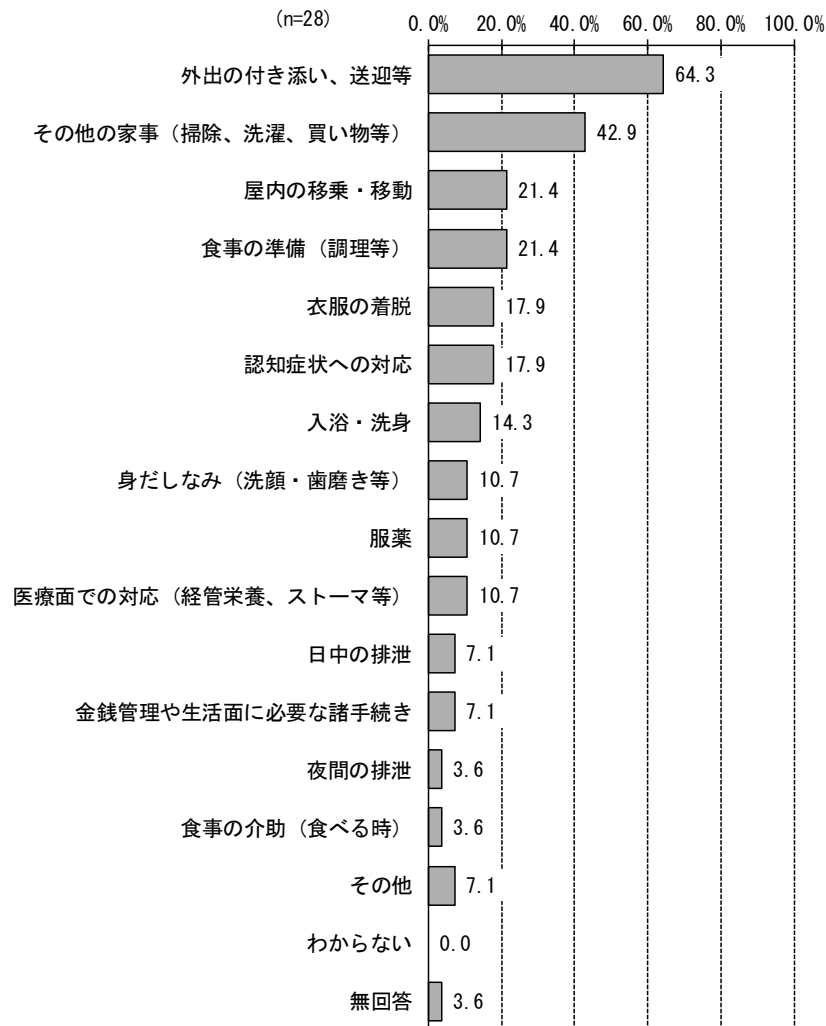
		母数 (n)	主な介護者以外の介護者の年齢(MA)				
			1 8 歳 未 満	2 1 3 8 歳 未 満 以 上	3 2 0 3 歳 未 満 以 上	い な い	無 回 答
全体		458	1.3	2.2	3.9	77.1	16.8
性・年齢	男性 64歳以下	6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7
	65～74歳	29	-	-	3.4	86.2	10.3
	75歳以上	120	1.7	0.8	2.5	77.5	18.3
	女性 64歳以下	9	-	-	-	77.8	22.2
	65～74歳	36	-	-	2.8	80.6	16.7
	75歳以上	257	0.4	3.1	4.7	76.3	16.7
圏域	安威川以北圏域	226	0.9	1.8	3.5	79.2	15.0
	安威川以南圏域	232	1.7	2.6	4.3	75.0	18.5
要介護度	要支援1・2	142	1.4	2.1	1.4	75.4	19.7
	要介護1・2	208	1.0	1.9	5.8	79.3	13.5
	要介護3～5	107	1.9	2.8	3.7	74.8	19.6

② 現在行っている介護

●問12 「主な介護者以外の家族等介護者に30歳未満の方がいる方のみ」その方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 主な介護者以外の介護者が行う介護について、「外出の付き添い、送迎等」が64.3%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が42.9%、「屋内の移乗・移動」「食事の準備（調理等）」が21.4%となっています。

【主な介護者以外の介護者が行う介護(MA)】



【圏域】

○ 安威川以南圏域では、安威川以北圏域と比べて、割合の高い項目が多くなっています。

【要介護度】

○ 要介護3～5では、他の要介護度と比べて、割合の高い項目が多くなっています。  
○ 要介護1・2では、「認知症状への対応」が33.3%となっています。

単位：%

	母数 (n)	主な介護者以外の介護者が行う介護(MA)									
		身体介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	28	7.1	3.6	3.6	14.3	10.7	17.9	21.4	64.3	10.7	
性・年齢	男性 64歳以下	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	66.7	100.0	-
	65～74歳	1	-	-	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-
	75歳以上	5	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	女性 64歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	75歳以上	18	-	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	66.7	11.1
圏域	安威川以北圏域	13	-	-	-	15.4	-	7.7	23.1	61.5	7.7
	安威川以南圏域	15	13.3	6.7	6.7	13.3	20.0	26.7	20.0	66.7	13.3
要介護度	要支援1・2	7	14.3	-	-	-	14.3	14.3	28.6	85.7	-
	要介護1・2	15	-	-	-	6.7	6.7	6.7	6.7	46.7	20.0
	要介護3～5	6	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	50.0	83.3	-

単位：%

	母数 (n)	主な介護者以外の介護者が行う介護(MA)								
		身体介護			生活援助			その他	わからない	無回答
		認知症状への対応	トーマ(経管栄養、対応)	医療面で対応	食事の準備(調理等)	買い物(掃除、洗濯、その他)	継続的な生活管理や諸手続に必要			
全体	28	17.9	10.7	21.4	42.9	7.1	7.1	-	3.6	
性・年齢	男性 64歳以下	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	1	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	75歳以上	5	20.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-
	女性 64歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	75歳以上	18	22.2	5.6	11.1	50.0	5.6	11.1	-	5.6
圏域	安威川以北圏域	13	7.7	7.7	15.4	46.2	-	7.7	-	7.7
	安威川以南圏域	15	26.7	13.3	26.7	40.0	13.3	6.7	-	-
要介護度	要支援1・2	7	-	14.3	14.3	42.9	28.6	-	-	14.3
	要介護1・2	15	33.3	6.7	20.0	40.0	-	13.3	-	-
	要介護3～5	6	-	16.7	33.3	50.0	-	-	-	-



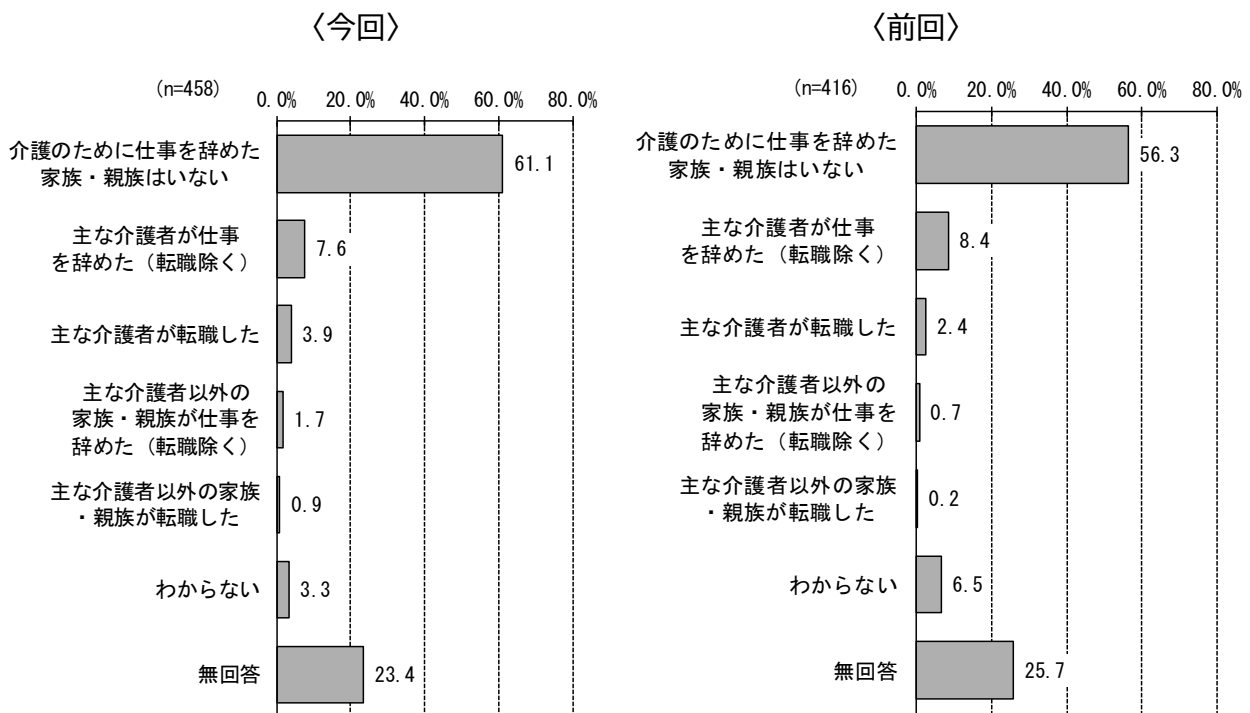
(5) 介護離職

① 介護離職者の有無

●問10 「家族、親族から介護を受けている方のみ」 ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.1%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が7.6%、「主な介護者が転職した」が3.9%となっています。  
**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が多くなる傾向がみられ、要介護3～5では14.0%となっています。

【介護離職(MA)】



単位：%

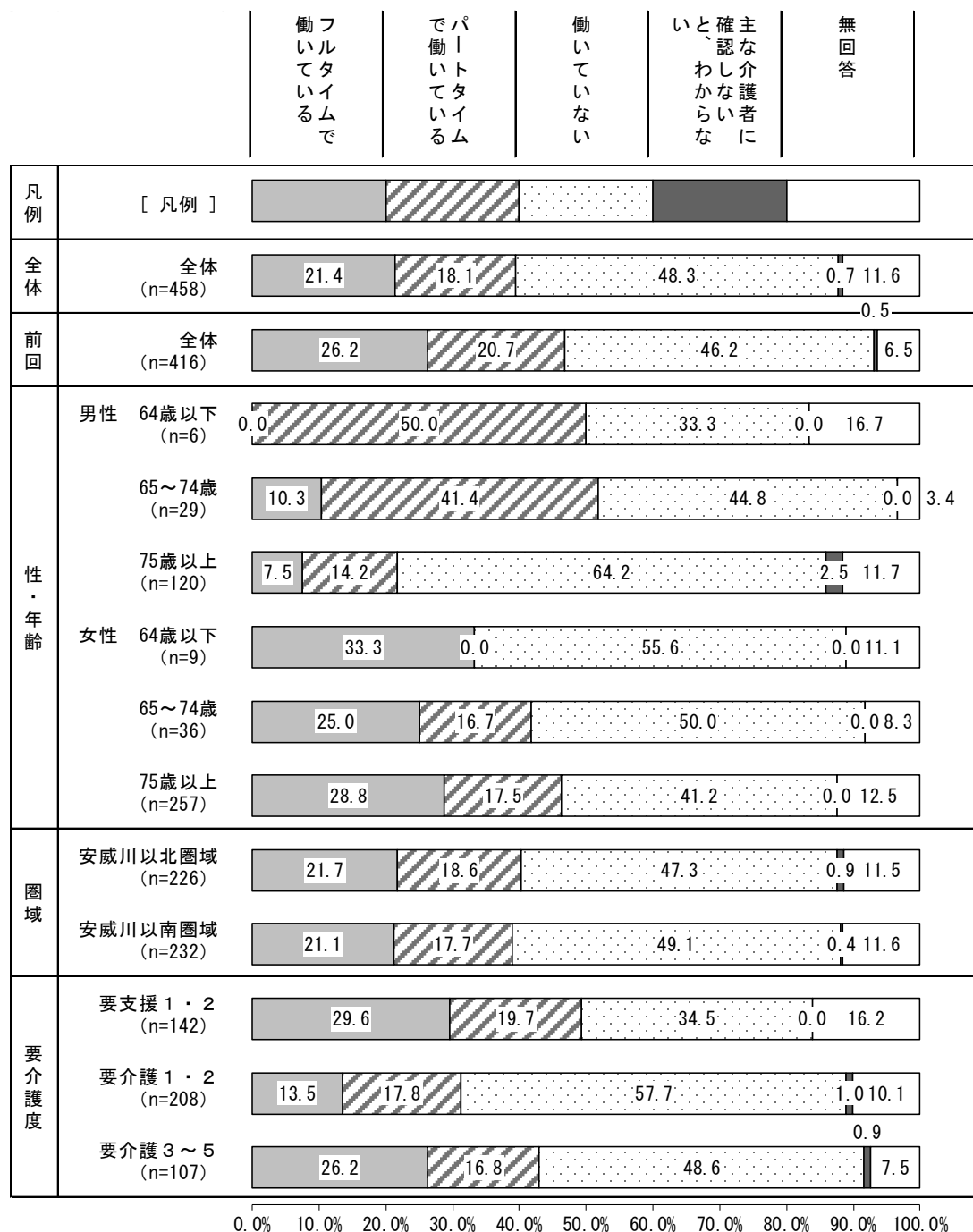
	母数 (n)	介護離職(MA)							無回答
		職事を除く(辞めた者が転)	主な介護者(辞めた者が転)	仕事(辞めた親族以外)	主な介護者(辞めた親族以外)	職した介護者が転	主な介護者(辞めた親族以外)	家族・親族を辞めたため(家族・親族以外)	
全体	458	7.6	1.7	3.9	0.9	61.1	3.3	23.4	
性・年齢	男性 64歳以下	6	-	-	16.7	16.7	66.7	-	16.7
	65～74歳	29	-	-	6.9	-	75.9	3.4	17.2
	75歳以上	120	9.2	1.7	2.5	1.7	60.0	2.5	25.0
	女性 64歳以下	9	22.2	-	-	-	33.3	22.2	22.2
	65～74歳	36	11.1	2.8	5.6	2.8	52.8	2.8	27.8
75歳以上	257	7.0	1.9	3.9	-	61.9	3.1	23.0	
圏域	安威川以北圏域	226	9.3	0.9	3.5	0.4	62.4	4.0	20.4
	安威川以南圏域	232	6.0	2.6	4.3	1.3	59.9	2.6	26.3
要介護度	要支援1・2	142	2.8	0.7	4.2	0.7	61.3	3.5	27.5
	要介護1・2	208	7.7	1.9	2.9	0.5	63.5	2.9	21.6
	要介護3～5	107	14.0	2.8	5.6	1.9	56.1	3.7	21.5

② 主な介護者の勤務形態

●問28 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が48.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が18.1%となっています。  
**【要介護度】**  
 ○ 「フルタイムで働いている」は、要支援1・2、要介護3～5では約3割であるのに対し、要介護1・2では13.5%と少なくなっています。

【主な介護者の勤務形態】



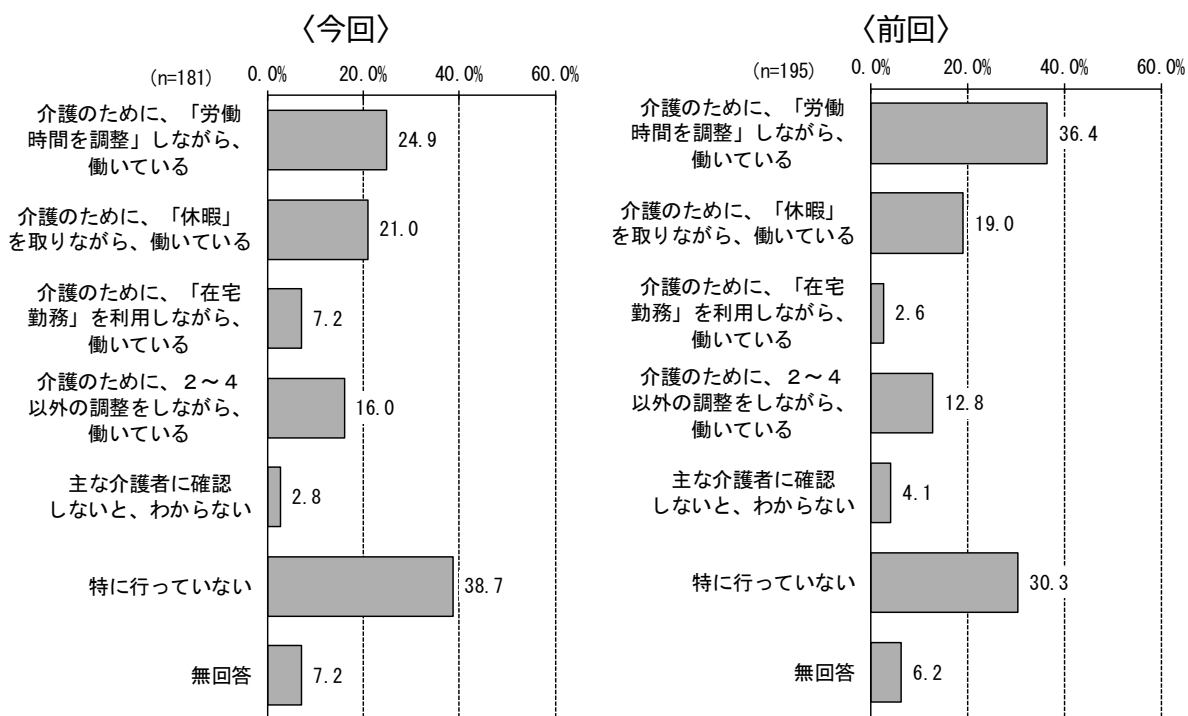
③ 働き方の調整

●問29 〔主な介護者が働いている方のみ〕主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 働き方の調整について、「特に行っていない」が38.7%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が24.9%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が21.0%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど「特に行っていない」が少なくなる傾向がみられます。  
 ○ 要介護3～5では、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が41.3%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。

【働き方の調整(MA)】



単位：%

	母数 (n)	働き方の調整(MA)							
		特に行っていない	調整して働いている	介護のために、労働時間を調整している	「在宅勤務」を利用している	2～4以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないとわからない	特に行っていない	無回答
全体	181	38.7	24.9	21.0	7.2	16.0	2.8	38.7	7.2
性・年齢	男性 64歳以下	3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-
	65～74歳	15	46.7	26.7	13.3	6.7	33.3	-	-
	75歳以上	26	46.2	15.4	11.5	3.8	11.5	3.8	11.5
	女性 64歳以下	3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-
	65～74歳	15	33.3	20.0	33.3	20.0	-	-	13.3
75歳以上	119	37.0	25.2	21.8	6.7	16.0	3.4	6.7	
圏域	安威川以北圏域	91	30.8	24.2	20.9	8.8	16.5	4.4	9.9
	安威川以南圏域	90	46.7	25.6	21.1	5.6	15.6	1.1	4.4
要介護度	要支援1・2	70	45.7	17.1	14.3	1.4	11.4	7.1	8.6
	要介護1・2	65	36.9	21.5	27.7	7.7	16.9	-	4.6
	要介護3～5	46	30.4	41.3	21.7	15.2	21.7	-	8.7

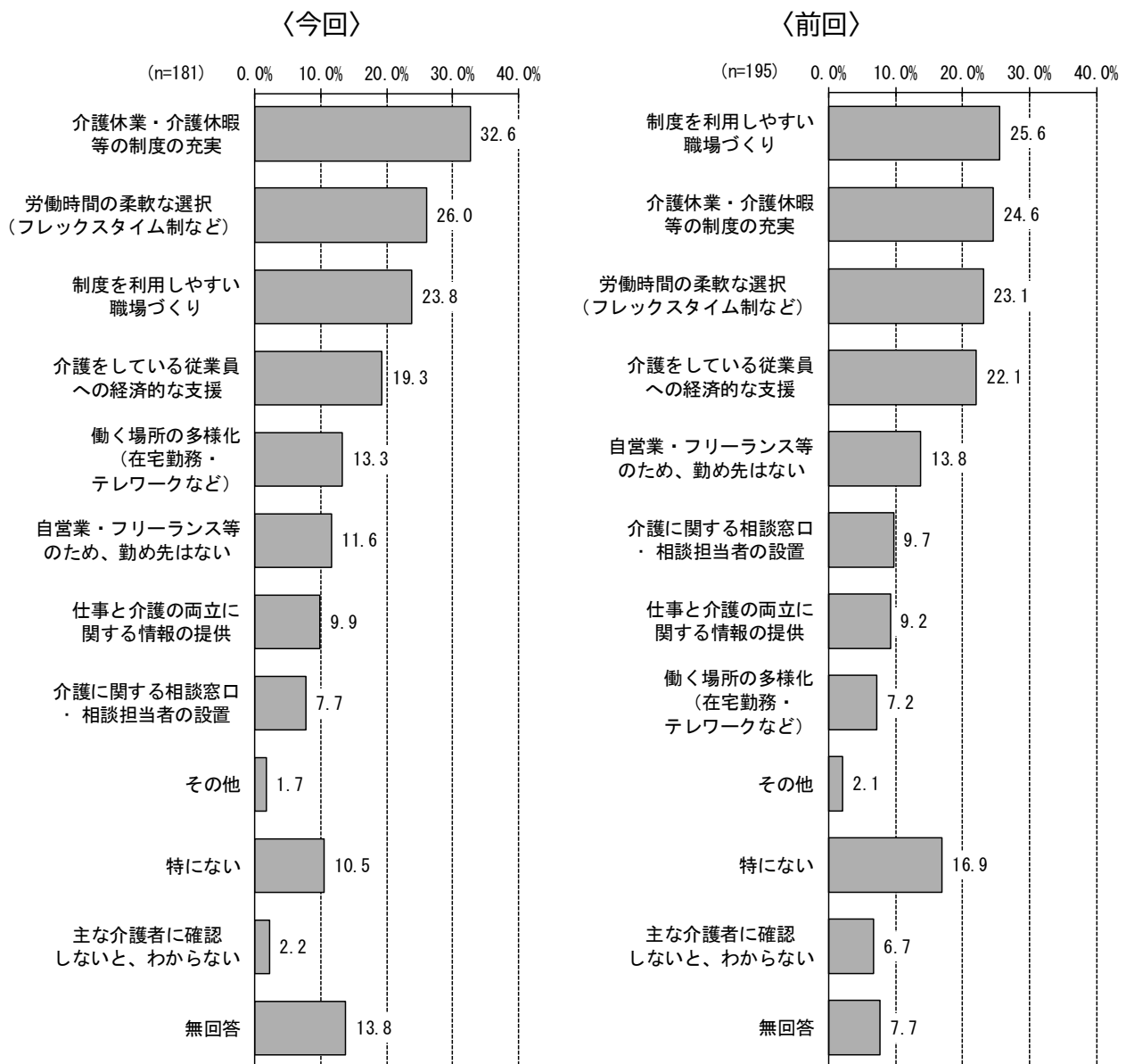
④ 今後の介護と仕事の両立

●問30 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)

**【全体】**

- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.6%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 26.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 23.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 8.0 ポイント多くなっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】



【要介護度】

○ 要介護度が上がるほど、「特にない」が減り、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている家族への経済的な支援」が多くなる傾向がみられます。

単位：％

		母数 (n)	仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 (3LA)								
			め 先 は な い	自 営 業 の た め 、 勤 ラ	暇 等 の 制 度 の 充 実	介 護 休 暇 の 制 度 の 充 実	い 制 度 を 利 用 し や す	タ 選 イ ム 制 な ど	選 択 制 の 柔 軟 な ス	ワ ー ク な ど	働 く 場 所 の 多 様 化
全体		181	11.6	32.6	23.8	26.0	13.3	9.9			
性・年齢	男性 64歳以下	3	-	33.3	33.3	-	66.7	-			
	65～74歳	15	13.3	6.7	20.0	20.0	13.3	13.3			
	75歳以上	26	3.8	23.1	23.1	38.5	7.7	11.5			
	女性 64歳以下	3	-	66.7	33.3	33.3	-	33.3			
	65～74歳	15	6.7	33.3	13.3	33.3	13.3	-			
	75歳以上	119	14.3	37.0	25.2	23.5	13.4	10.1			
圏域	安威川以北圏域	91	11.0	29.7	24.2	24.2	17.6	12.1			
	安威川以南圏域	90	12.2	35.6	23.3	27.8	8.9	7.8			
要介護度	要支援1・2	70	8.6	21.4	17.1	14.3	10.0	4.3			
	要介護1・2	65	7.7	38.5	24.6	40.0	16.9	10.8			
	要介護3～5	46	21.7	41.3	32.6	23.9	13.0	17.4			

単位：％

		母数 (n)	仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 (3LA)							
			者 の 設 置	窓 口 に 関 相 談 担 当	介 護 員 へ の 経 済 的 な 従	支 業 介 護 を し て い る 従	そ の 他	特 に な い	な し な い と、 主 な 介 護 者 に 確 認	無 回 答
全体		181	7.7	19.3	1.7	10.5	2.2	13.8		
性・年齢	男性 64歳以下	3	-	33.3	-	-	-	-		
	65～74歳	15	13.3	26.7	-	26.7	-	6.7		
	75歳以上	26	3.8	11.5	-	19.2	3.8	15.4		
	女性 64歳以下	3	-	66.7	-	-	-	-		
	65～74歳	15	13.3	6.7	-	-	-	33.3		
	75歳以上	119	7.6	20.2	2.5	8.4	2.5	12.6		
圏域	安威川以北圏域	91	8.8	14.3	2.2	8.8	2.2	17.6		
	安威川以南圏域	90	6.7	24.4	1.1	12.2	2.2	10.0		
要介護度	要支援1・2	70	4.3	15.7	1.4	17.1	5.7	24.3		
	要介護1・2	65	12.3	21.5	-	7.7	-	6.2		
	要介護3～5	46	6.5	21.7	4.3	4.3	-	8.7		

●問31 【主な介護者が働いている方のみ】主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ)

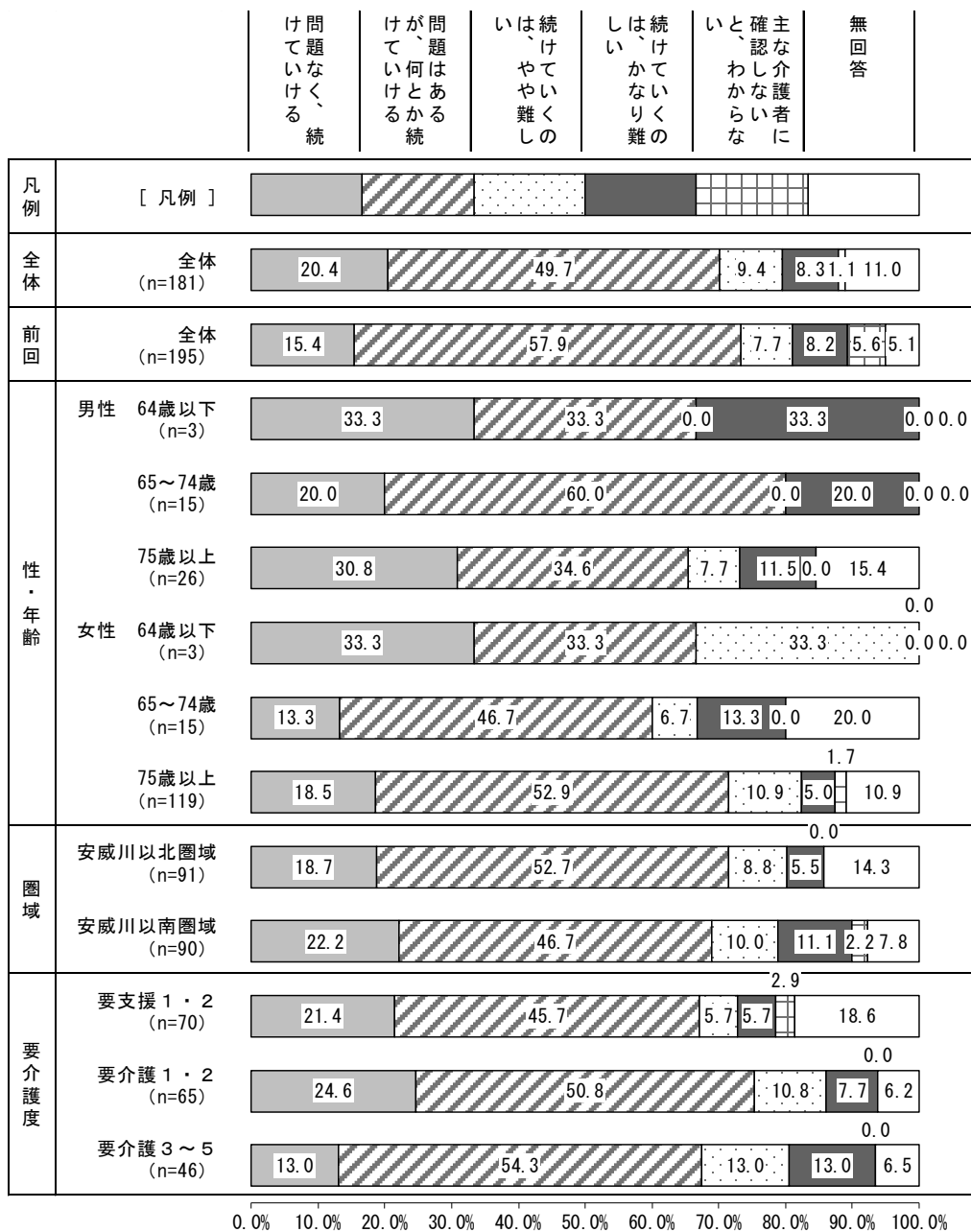
**【全体】**

- 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が49.7%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が20.4%、「続けていくのは、やや難しい」が9.4%となっています。
- 「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“続けていくのは難しい”は17.7%となっています。

**【要介護度】**

- 「問題なく、続けていける」は、要支援1・2、要介護1・2では約2割であるのに対し、要介護3～5では13.0%と少なくなっています。
- 要介護度が上がるほど“続けていくのは難しい”が多くなる傾向がみられます。

【今後の仕事と介護の両立】

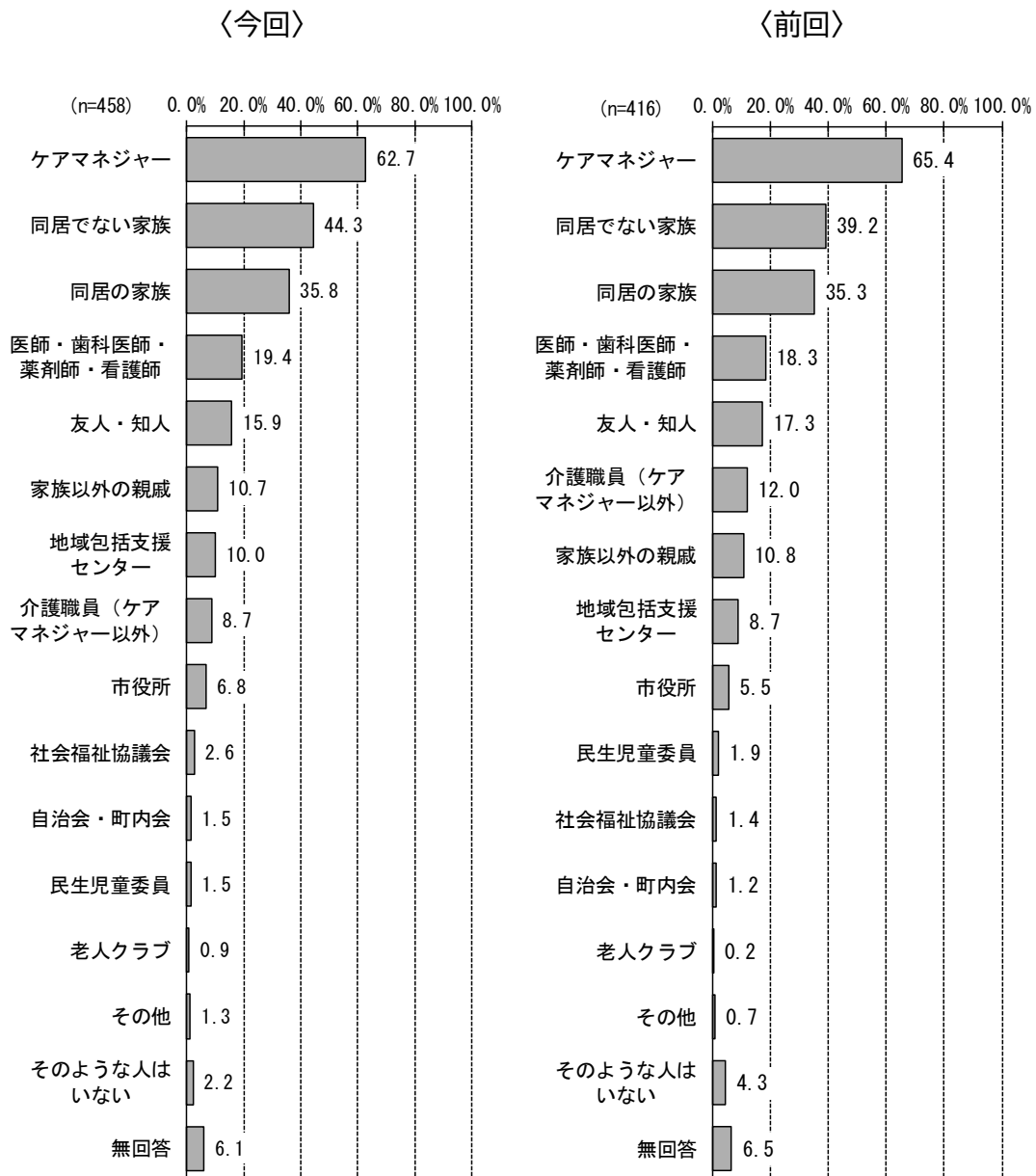


(6) 介護についての相談相手

●問33 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方が、介護に悩んだときに相談する人はいますか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 介護に悩んだときに相談する人について、「ケアマネジャー」が 62.7%で最も多く、次いで「同居でない家族」が 44.3%、「同居の家族」が 35.8%となっています。

【介護に悩んだときに相談する人(MA)】



【中学校区】

○ 「そのような人はいない」は第一中学校が3.2%、第三中学校が2.8%と他の校区に比べて多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	介護に悩んだときに相談する人(MA)								
		同居の家族	同居でない家族	家族以外の親戚	友人・知人	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	民生児童委員	
全体	458	35.8	44.3	10.7	15.9	1.5	0.9	2.6	1.5	
性・年齢	男性 64歳以下	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	
	65～74歳	29	31.0	58.6	10.3	-	-	3.4	-	
	75歳以上	120	34.2	53.3	13.3	-	-	2.5	0.8	
	女性 64歳以下	9	11.1	55.6	-	-	-	-	-	
	65～74歳	36	36.1	38.9	2.8	5.6	-	-	-	
	75歳以上	257	38.1	39.7	10.9	17.5	2.7	1.6	3.1	2.3
圏域	安威川以北圏域	226	39.4	44.7	10.2	18.1	0.9	1.3	4.9	1.8
	安威川以南圏域	232	32.3	44.0	11.2	13.8	2.2	0.4	0.4	1.3
中学校区	第一中学校	124	39.5	49.2	12.1	17.7	0.8	1.6	4.0	2.4
	第二中学校	86	24.4	37.2	11.6	14.0	1.2	-	-	1.2
	第三中学校	107	39.3	40.2	9.3	20.6	0.9	0.9	5.6	0.9
	第四中学校	85	35.3	48.2	7.1	12.9	4.7	1.2	-	2.4
	第五中学校	56	39.3	46.4	14.3	10.7	-	-	1.8	-
要介護度	要支援1・2	142	33.8	38.0	8.5	13.4	0.7	1.4	2.1	1.4
	要介護1・2	208	36.1	51.9	13.0	18.8	2.4	1.0	3.4	2.4
	要介護3～5	107	38.3	38.3	9.3	14.0	0.9	-	1.9	-

単位：％

	母数 (n)	介護に悩んだときに相談する人(MA)								
		ケアマネジャー	外マ ネ ジ ャ ー (ケ ア )	介 護 職 員 （ケ ア ）	護 師 ・ 薬 師 ・ 歯 科 医 生 ・ 看 護 士	地 域 支 援 セ ン タ ー	市 役 所	そ の 他	い な い よ う な 人 は	無 回 答
全体	458	62.7	8.7	19.4	10.0	6.8	1.3	2.2	6.1	
性・年齢	男性 64歳以下	6	66.7	-	16.7	-	-	-	16.7	
	65～74歳	29	62.1	10.3	17.2	3.4	3.4	6.9	3.4	
	75歳以上	120	60.8	6.7	19.2	10.8	5.0	0.8	7.5	
	女性 64歳以下	9	88.9	11.1	-	-	-	-	-	
	65～74歳	36	58.3	13.9	22.2	5.6	-	-	2.8	8.3
	75歳以上	257	63.0	8.9	20.2	11.7	9.3	1.2	2.7	5.4
圏域	安威川以北圏域	226	61.9	7.5	19.9	11.1	6.6	2.7	3.1	4.0
	安威川以南圏域	232	63.4	9.9	19.0	9.1	6.9	-	1.3	8.2
中学校区	第一中学校	124	61.3	5.6	22.6	9.7	4.8	2.4	3.2	3.2
	第二中学校	86	59.3	7.0	19.8	9.3	4.7	-	1.2	11.6
	第三中学校	107	62.6	9.3	16.8	12.1	9.3	2.8	2.8	4.7
	第四中学校	85	67.1	10.6	15.3	9.4	9.4	-	1.2	10.6
	第五中学校	56	64.3	14.3	23.2	8.9	5.4	-	1.8	-
要介護度	要支援1・2	142	43.0	1.4	16.9	15.5	7.0	2.1	4.2	10.6
	要介護1・2	208	68.8	9.1	17.8	9.1	7.7	0.5	1.0	3.4
	要介護3～5	107	76.6	17.8	26.2	4.7	4.7	1.9	1.9	5.6



### 3. 支援・サービスについて

#### (1) 介護保険サービス以外の支援・サービス

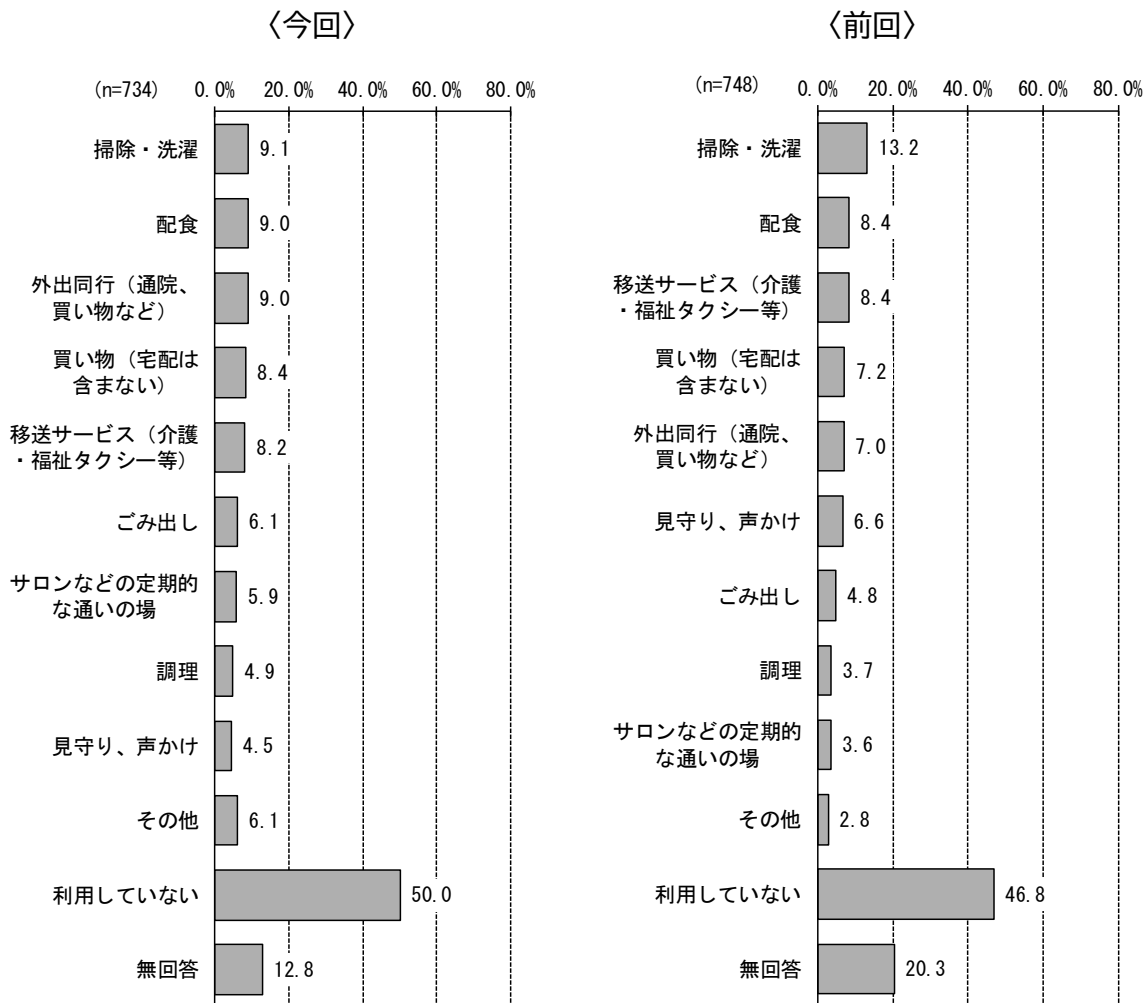
##### ① 現在利用している支援・サービス

●問13 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

**【全体】**

○ 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が50.0%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が9.1%、「配食」「外出同行（通院・買い物など）」が9.0%となっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)】



【要介護度】

- 要介護度が上がるほど、「配食」「ごみ出し」「移送サービス」が多くなる傾向がみられます。
- 「利用していない」は、いずれの要介護度でも約5割となっています。

単位：％

		母数 (n)	「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況 (MA)					
			配食	調理	掃除・洗濯	含 買 ま い 物 （ 宅 配 は	ご み 出 し	ど 院 外 ・ 出 行 物 （ 通
全体		734	9.0	4.9	9.1	8.4	6.1	9.0
性・年齢	男性 64歳以下	9	11.1	-	-	-	-	-
	65～74歳	46	10.9	2.2	6.5	6.5	2.2	2.2
	75歳以上	203	8.4	6.4	8.4	8.9	6.4	8.9
	女性 64歳以下	13	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7
	65～74歳	61	14.8	9.8	6.6	8.2	9.8	13.1
	75歳以上	401	8.2	3.5	10.5	8.5	6.0	9.5
圏域	安威川以北圏域	391	9.2	5.1	9.0	7.4	4.9	7.7
	安威川以南圏域	343	8.7	4.7	9.3	9.6	7.6	10.5
要介護度	要支援1・2	320	6.9	5.3	9.4	9.1	3.8	9.4
	要介護1・2	277	10.1	4.0	8.7	7.6	6.9	9.4
	要介護3～5	136	11.8	5.9	9.6	8.8	10.3	7.4

単位：％

		母数 (n)	「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況 (MA)					
			ク （ 移 送 サ ー ビ ス ・ 福 祉 ス タ 等）	見 守 り 、 声 か け	期 サ ロ ン な 通 い の 場 定	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
全体		734	8.2	4.5	5.9	6.1	50.0	12.8
性・年齢	男性 64歳以下	9	11.1	-	-	11.1	66.7	-
	65～74歳	46	10.9	-	6.5	6.5	54.3	10.9
	75歳以上	203	8.9	2.5	5.4	4.9	55.2	12.8
	女性 64歳以下	13	7.7	-	-	15.4	53.8	7.7
	65～74歳	61	11.5	3.3	8.2	9.8	52.5	8.2
	75歳以上	401	7.0	6.5	6.0	5.7	46.1	14.0
圏域	安威川以北圏域	391	6.9	4.6	5.4	5.6	48.6	14.1
	安威川以南圏域	343	9.6	4.4	6.4	6.7	51.6	11.4
要介護度	要支援1・2	320	5.3	5.9	5.0	6.6	50.9	14.1
	要介護1・2	277	8.3	3.6	6.1	3.6	49.8	13.4
	要介護3～5	136	14.7	2.9	7.4	10.3	48.5	8.1

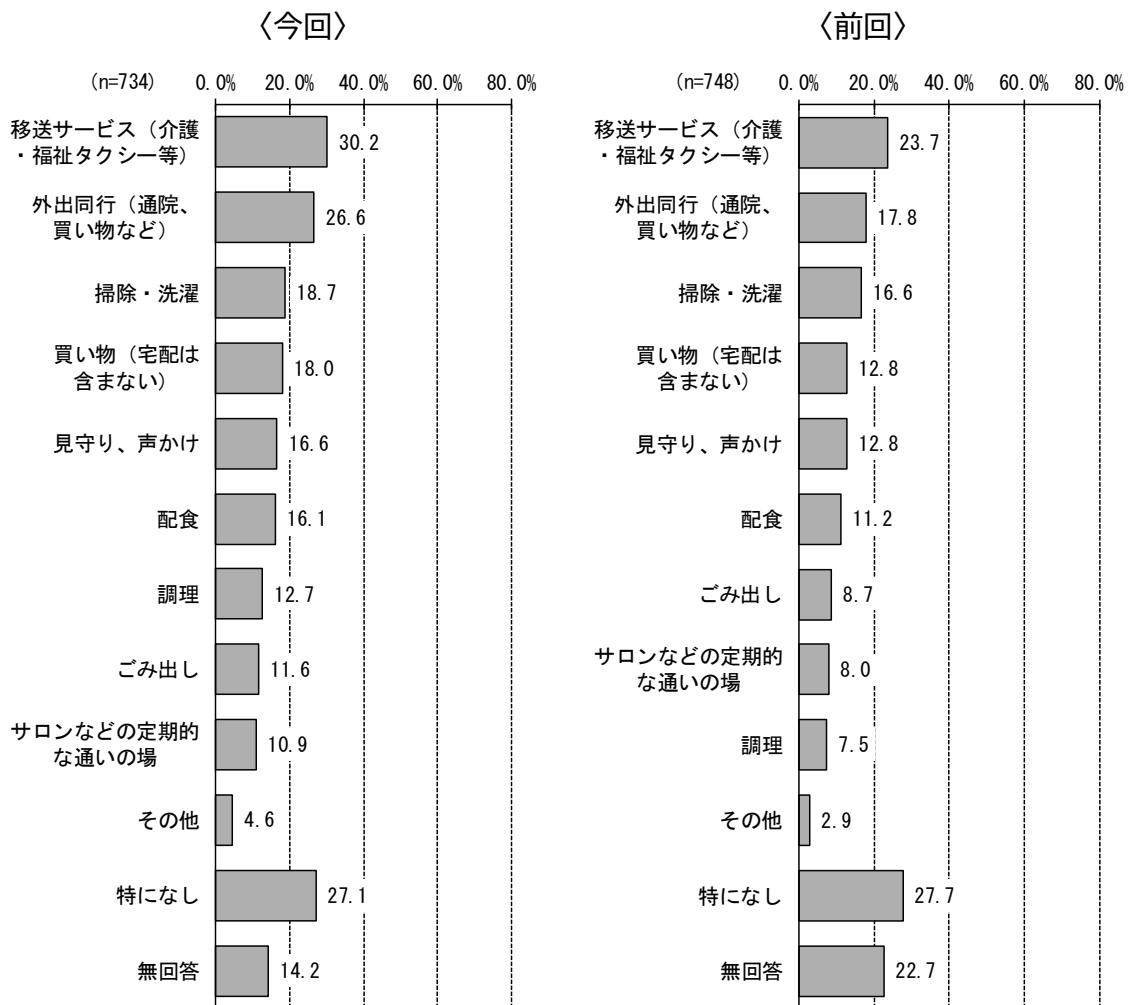
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

●問14 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

**【全体】**

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.2%で最も多く、次いで「特になし」が27.1%、「外出同行（通院・買い物など）」が26.6%となっています。
- 前回調査に比べて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.5ポイント、「外出同行（通院・買い物など）」が8.8ポイント多くなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



【圏域】

- 安威川以南圏域では、「外出同行（通院・買い物など）」が 28.6%と安威川以北圏域の 24.8%に比べて多くなっています。

【要介護度】

- 「特になし」は、要支援1・2、要介護3～5では約3割であるのに対し、要介護1・2では19.5%と少なくなっています。
- 要介護1・2では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 35.4%、「外出同行（通院・買い物など）」が 31.4%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 15.5%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)					院外 ・ 出 行 物 （ 通
			配 食	調 理	掃 除 ・ 洗 濯	含 買 い 物 （ 宅 配 は ま ない ）	ご み 出 し	
全体		734	16.1	12.7	18.7	18.0	11.6	26.6
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	11.1	11.1	-	-	-	11.1
	65～74歳	46	17.4	15.2	17.4	13.0	13.0	28.3
	75歳以上	203	14.3	14.8	14.3	14.3	10.3	26.1
	女性 64歳以下	13	-	-	7.7	7.7	-	-
	65～74歳	61	14.8	11.5	23.0	23.0	14.8	29.5
	75歳以上	401	17.7	11.7	20.9	20.4	12.2	27.2
圏 域	安威川以北圏域	391	15.6	11.3	19.4	17.9	12.0	24.8
	安威川以南圏域	343	16.6	14.3	17.8	18.1	11.1	28.6
要 介 護 度	要支援1・2	320	12.2	11.9	18.4	19.1	9.4	23.8
	要介護1・2	277	18.8	13.0	19.5	18.8	12.6	31.4
	要介護3～5	136	19.9	13.2	16.9	14.0	14.7	22.8

単位：％

		母数 (n)	在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)					無 回 答
			ク ー 移 送 サ ー ビ ス （ 等 ）	見 守 り 、 声 か け	期 サ 的 ン な 通 い の 場 定	そ の 他	特 に な し	
全体		734	30.2	16.6	10.9	4.6	27.1	14.2
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	22.2	11.1	11.1	22.2	44.4	-
	65～74歳	46	43.5	19.6	15.2	2.2	32.6	8.7
	75歳以上	203	29.1	13.3	10.3	2.0	26.6	18.7
	女性 64歳以下	13	-	7.7	-	-	92.3	-
	65～74歳	61	37.7	11.5	4.9	8.2	27.9	6.6
	75歳以上	401	29.4	19.2	12.0	5.5	24.2	14.5
圏 域	安威川以北圏域	391	30.2	17.1	11.5	3.8	28.9	14.6
	安威川以南圏域	343	30.3	16.0	10.2	5.5	25.1	13.7
要 介 護 度	要支援1・2	320	25.0	14.7	7.5	3.8	31.6	15.9
	要介護1・2	277	35.4	18.8	15.5	4.7	19.5	14.4
	要介護3～5	136	32.4	16.9	9.6	6.6	32.4	9.6

(2) 介護保険サービス

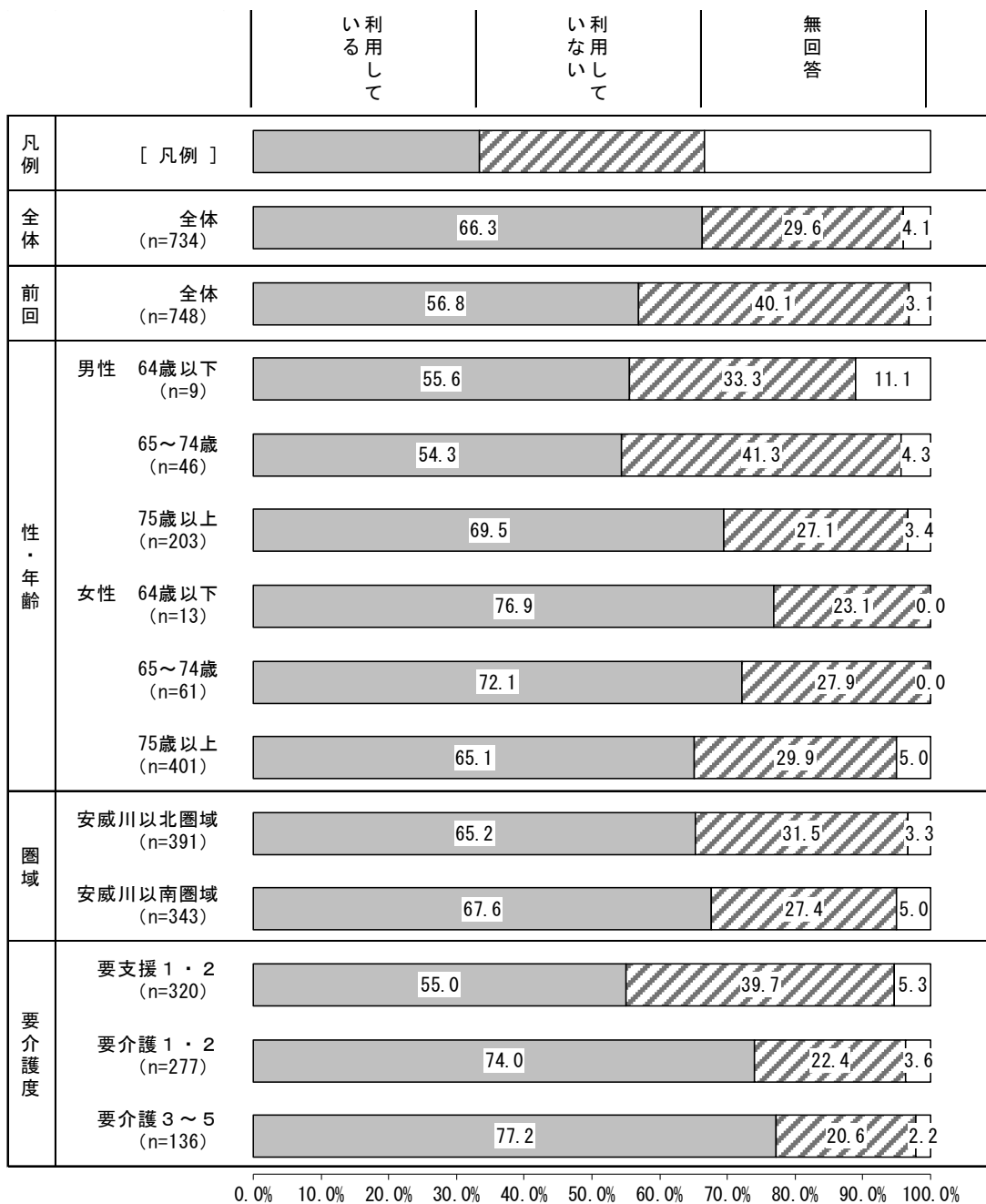
① 利用状況

- 問20 調査の対象者は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用してありますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が66.3%、「利用していない」が29.6%となっています。  
 ○ 前回調査に比べて、「利用している」が9.5ポイント多くなっています。

**【要介護度】**  
 ○ 「利用している」は、要支援1・2では55.0%であるのに対し、要介護1・2では74.0%、要介護3～5では77.2%となっています。

【住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況】

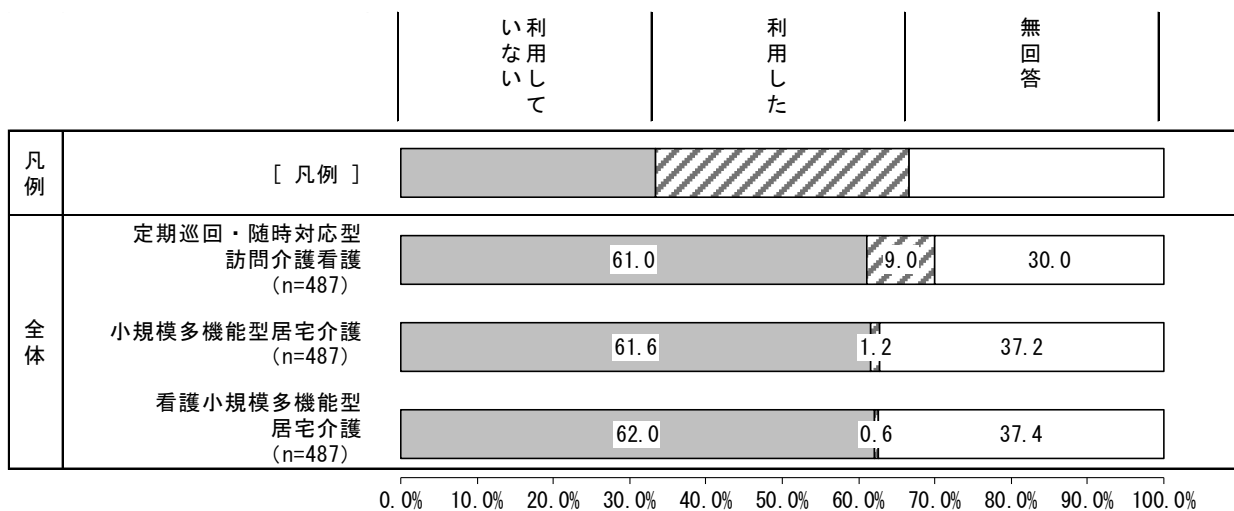
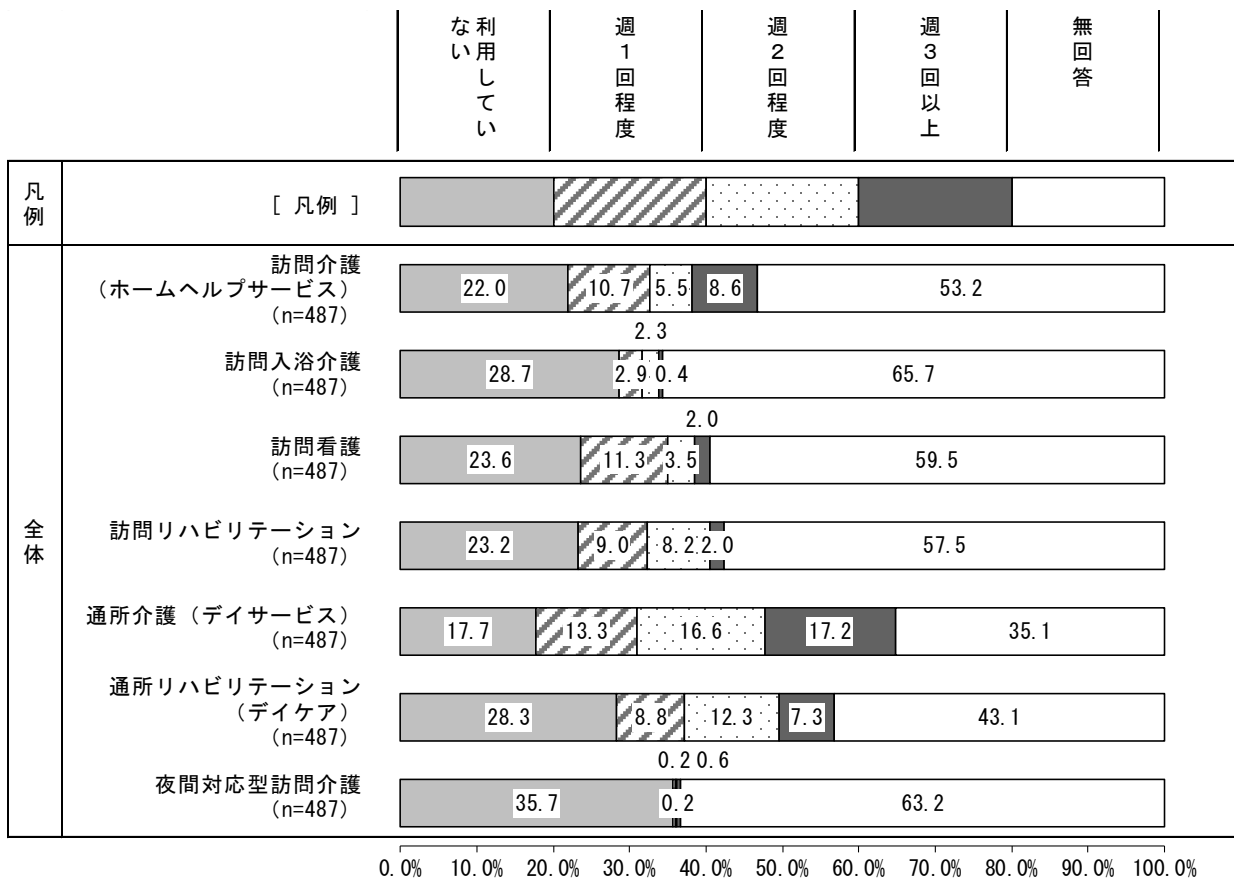


●問21 〔介護保険サービスを利用している方のみ〕以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つだけ)

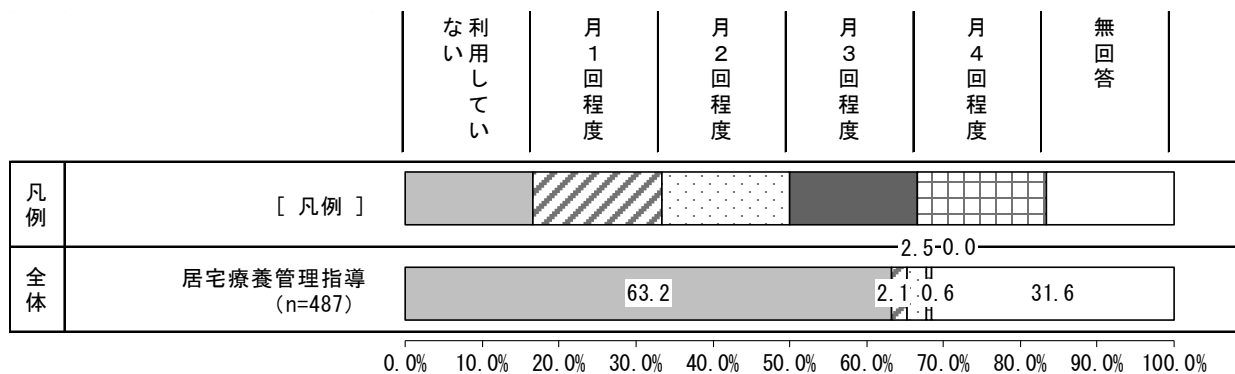
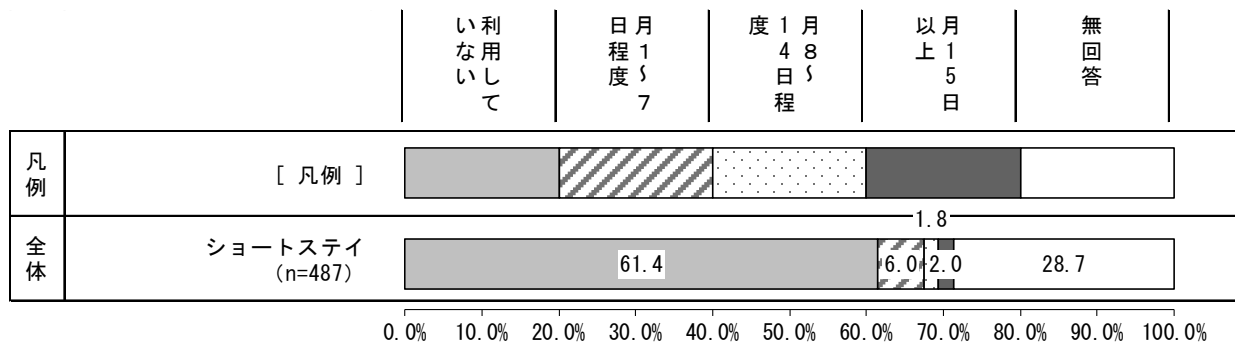
【全体】

○ 介護保険サービスの利用状況について、「週1回程度」「週2回程度」「週3回以上」を合わせた“1回以上利用した”は、「通所介護（デイサービス）」が47.1%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が28.4%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が24.8%となっています。

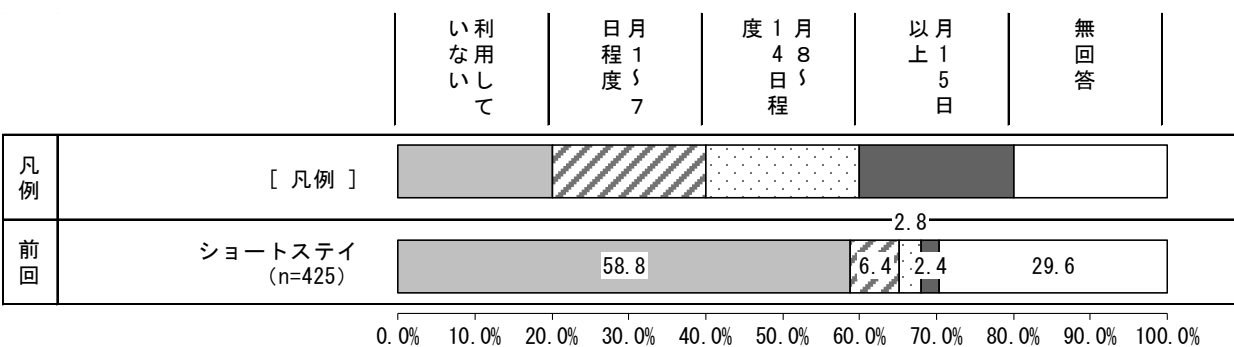
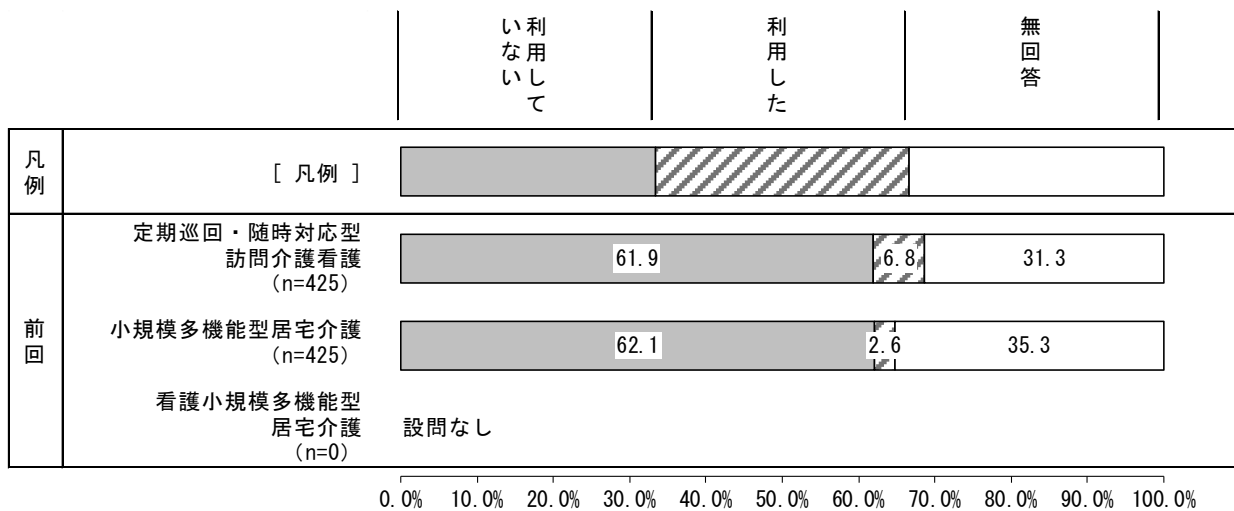
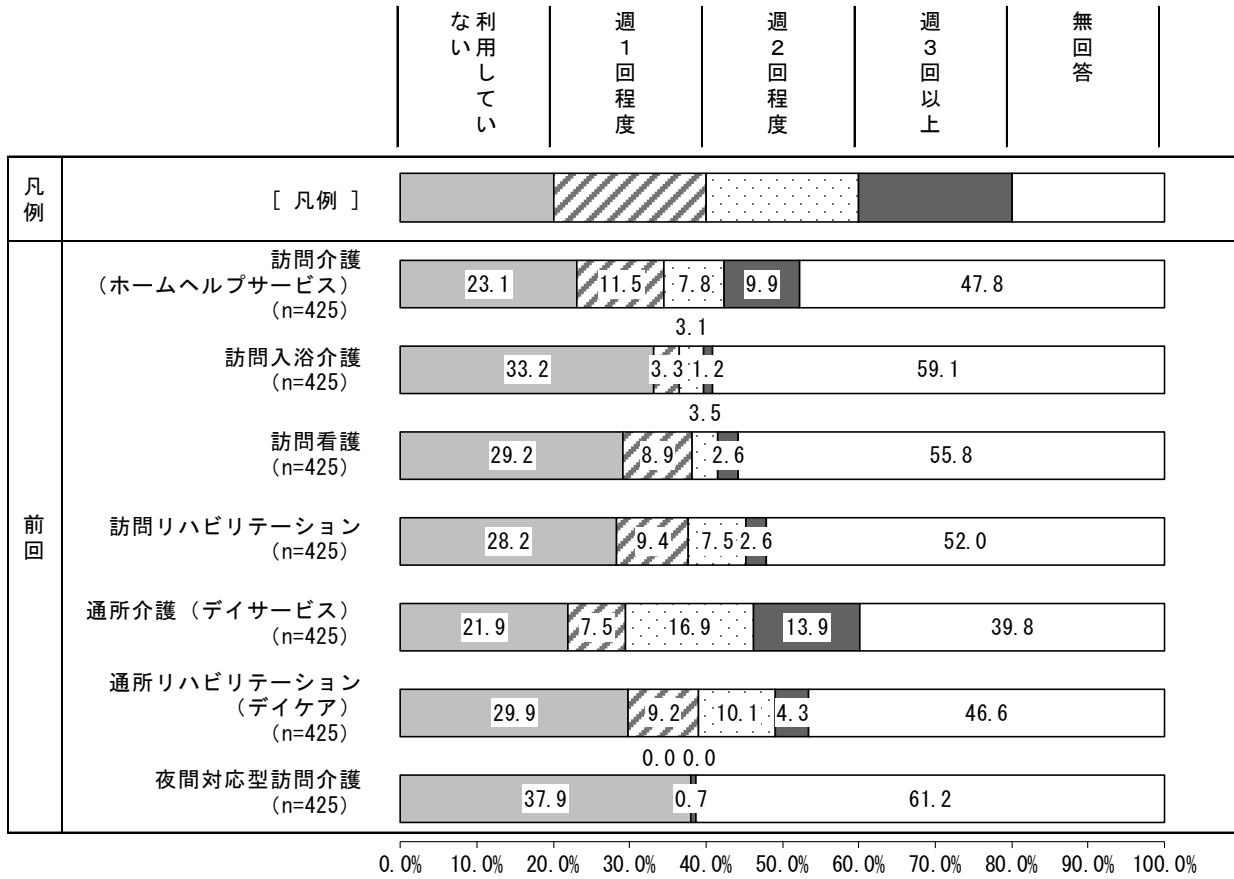
【介護保険サービスの利用状況】



第3章 在宅介護実態調査 3. 支援・サービスについて



第3章 在宅介護実態調査 3. 支援・サービスについて





【要介護度】

○ 要支援1・2では、「通所リハビリテーション（デイケア）」が最も多いのに対し、要介護1以上では「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっています。また、要介護3～5では、次いで「訪問看護」が43.0%と多くなっているほか、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「訪問リハビリテーション」も3割以上と多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	“1回以上利用した”						
		プ サ ー ビ ス （ ヘル プ ）	訪 問 入 浴 介 護	訪 問 看 護	テ ー シ ョ ン リ ハ ビ リ	イ 通 所 介 護 （ デ イ サ ー ビ ス ）	（ デ イ ケ ア ） テ 通 所 リ ハ ビ リ	
全体	487	24.8	5.6	16.8	19.2	47.1	28.4	
性・年齢	男性 64歳以下	5	-	20.0	20.0	40.0	-	60.0
	65～74歳	25	40.0	-	36.0	28.0	44.0	24.0
	75歳以上	141	24.1	4.9	14.8	14.9	48.9	32.6
	女性 64歳以下	10	40.0	-	50.0	60.0	30.0	10.0
	65～74歳	44	22.6	4.6	20.5	22.7	59.1	25.0
75歳以上	261	23.7	6.2	14.1	18.4	45.8	27.6	
圏域	安威川以北圏域	255	29.0	5.8	16.0	21.6	45.9	29.0
	安威川以南圏域	232	20.2	5.2	17.6	16.8	48.8	28.1
要介護度	要支援1・2	176	22.2	2.2	5.1	14.2	33.5	36.3
	要介護1・2	205	22.5	4.4	13.7	18.1	56.7	28.3
	要介護3～5	105	33.4	13.4	43.0	30.5	51.4	16.3

単位：%

	母数 (n)	“1回以上利用した”						
		間 夜 介 護 対 応 型 訪 問	介 時 定 期 巡 回 訪 問 随 時	型 小 居 規 模 多 機 能	護 機 看 能 型 小 居 規 模 多 機 能	イ シ ョ ー ト ス テ	指 居 宅 療 養 管 理	
全体	487	1.0	9.0	1.2	0.6	9.8	5.2	
性・年齢	男性 64歳以下	5	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0
	65～74歳	25	-	12.0	4.0	-	20.0	20.0
	75歳以上	141	1.4	9.2	-	-	9.2	6.3
	女性 64歳以下	10	-	10.0	-	-	-	-
	65～74歳	44	-	9.1	2.3	2.3	6.9	4.6
75歳以上	261	0.8	8.0	0.8	-	9.6	3.0	
圏域	安威川以北圏域	255	-	9.0	0.4	0.4	8.3	4.4
	安威川以南圏域	232	2.0	9.1	2.2	0.9	11.7	6.1
要介護度	要支援1・2	176	1.2	5.7	0.6	-	0.6	4.0
	要介護1・2	205	0.5	8.3	0.5	0.5	10.7	4.5
	要介護3～5	105	2.0	16.2	3.8	1.9	23.9	8.7

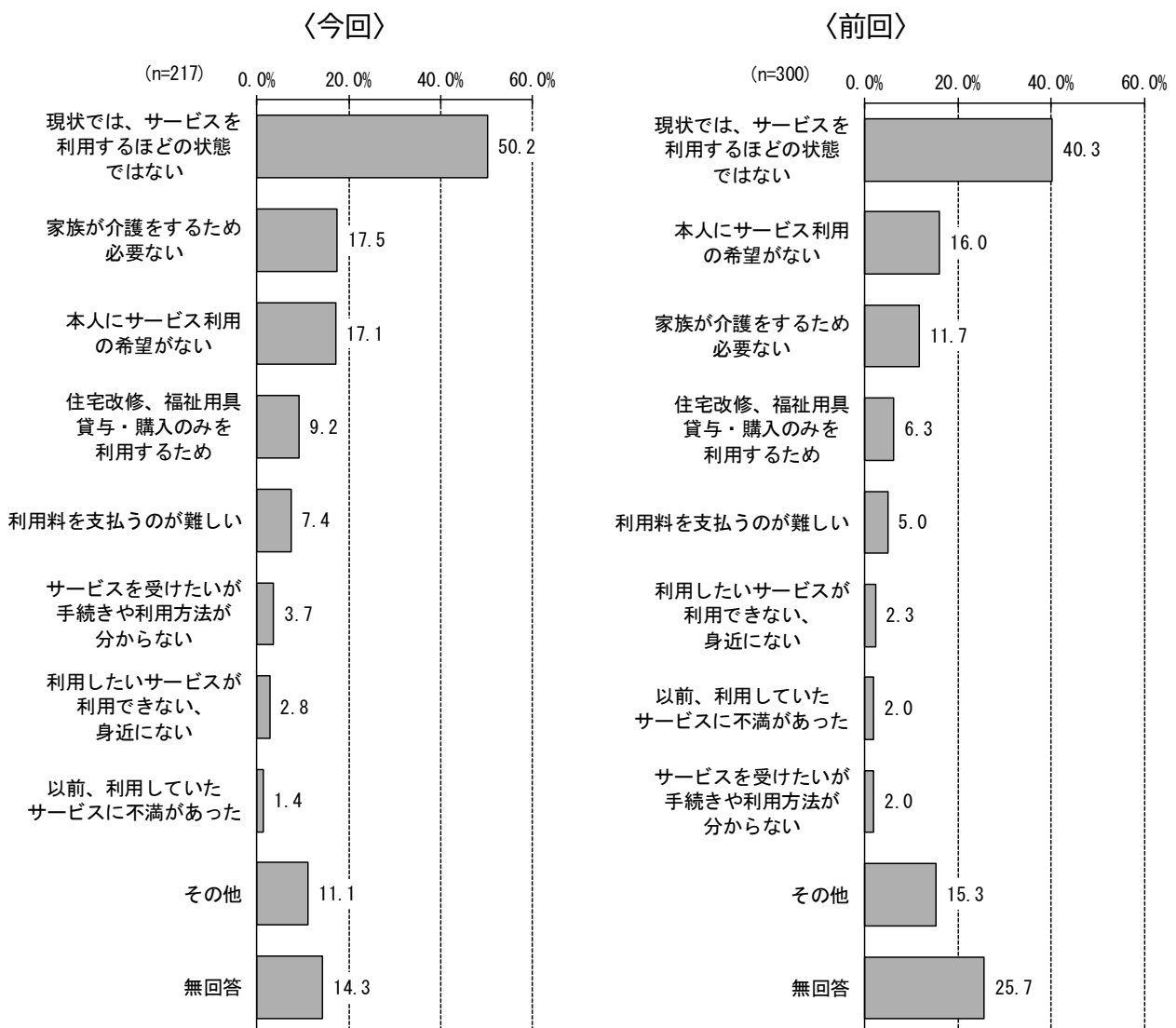
② 利用していない理由

●問22 「介護保険サービスを利用していない方のみ」介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(1つだけ)

**【全体】**

- 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.2%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が17.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が17.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が9.9ポイント多くなっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】



【圏域】

- 安威川以南圏域では、安威川以北圏域と比べて「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要がない」が多くなっています。

【要介護度】

- 要介護2以下では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっています。
- 要介護3～5では「その他」が最も多くなっており、その内容は入院中・入所中が多くなっています。また、要介護3～5では、「家族が介護をするため必要ない」が25.0%となっています。

【世帯類型】

- 単身世帯では、他の世帯類型と比べて「家族が介護をするため必要がない」が少なくなっています。また、「その他」の内容は、入院中・入所中が多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	介護保険サービスを利用していない理由(MA)					利用料 が支 払い 難い
		現 状 は ほ ど の 利 用 が 希 望 が あ ら な い	本 人 に サ ー ビ ス を 利 用 す る の 希 望 が あ ら な い	家 族 が 介 護 を す る の 希 望 が あ ら な い	あ ら な い 理 由 が あ ら な い	そ の 他	
全体	217	50.2	17.1	17.5	1.4	7.4	
性・年齢	男性 64歳以下	3	66.7	-	33.3	-	-
	65～74歳	19	47.4	15.8	15.8	5.3	5.3
	75歳以上	55	60.0	18.2	9.1	-	5.5
	女性 64歳以下	3	33.3	-	66.7	-	-
	65～74歳	17	41.2	23.5	23.5	-	11.8
	75歳以上	120	47.5	16.7	19.2	1.7	8.3
圏域	安威川以北圏域	123	50.4	10.6	14.6	2.4	7.3
	安威川以南圏域	94	50.0	25.5	21.3	-	7.4
要介護度	要支援1・2	127	54.3	15.7	11.8	0.8	7.1
	要介護1・2	62	54.8	21.0	25.8	3.2	8.1
	要介護3～5	28	21.4	14.3	25.0	-	7.1
世帯類型	単身世帯	69	47.8	13.0	10.1	-	5.8
	夫婦のみ世帯	84	56.0	20.2	21.4	3.6	10.7
	その他	59	44.1	16.9	20.3	-	5.1

単位：％

	母数 (n)	介護保険サービスを利用していない理由(MA)					無 回 答
		身 近 に な い 理 由 が あ ら な い	利 用 す る の 希 望 が あ ら な い	住 宅 改 修 の 費 用 が あ ら な い	そ の 他	そ の 他	
全体	217	2.8	9.2	3.7	11.1	14.3	
性・年齢	男性 64歳以下	3	-	66.7	-	-	-
	65～74歳	19	-	21.1	-	10.5	5.3
	75歳以上	55	-	7.3	-	9.1	18.2
	女性 64歳以下	3	-	-	-	-	-
	65～74歳	17	-	5.9	5.9	17.6	11.8
	75歳以上	120	5.0	7.5	5.8	11.7	15.0
圏域	安威川以北圏域	123	2.4	8.9	1.6	12.2	15.4
	安威川以南圏域	94	3.2	9.6	6.4	9.6	12.8
要介護度	要支援1・2	127	2.4	11.8	3.1	8.7	15.0
	要介護1・2	62	4.8	4.8	3.2	3.2	11.3
	要介護3～5	28	-	7.1	7.1	39.3	17.9
世帯類型	単身世帯	69	-	10.1	-	15.9	17.4
	夫婦のみ世帯	84	3.6	7.1	6.0	4.8	14.3
	その他	59	5.1	11.9	5.1	15.3	10.2

(3) 施設等への入所・入居の検討状況

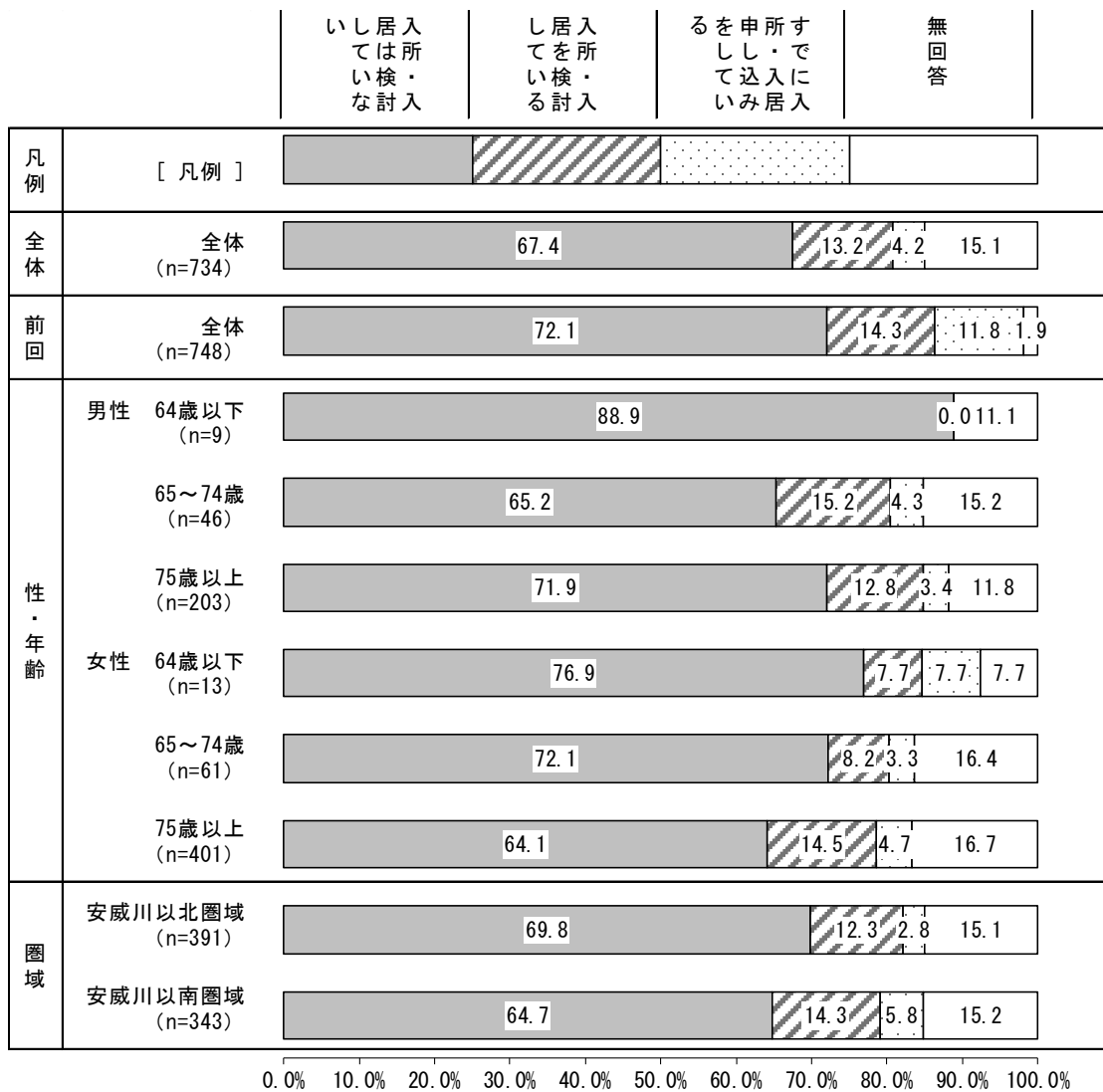
① 検討状況

- 問15 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。  
(1つだけ)

**【全体】**

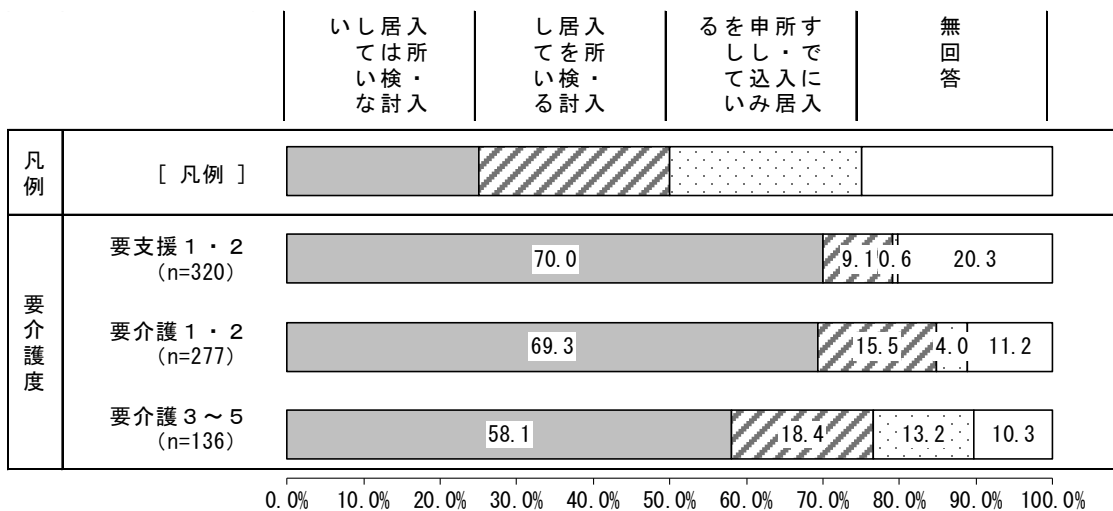
- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が67.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が13.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が4.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.6ポイント少なくなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



【要介護度】

○ 要介護3～5では、「入所・入居は検討していない」が58.1%、「入所・入居を検討している」が18.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が13.2%となっています。



② 希望する施設

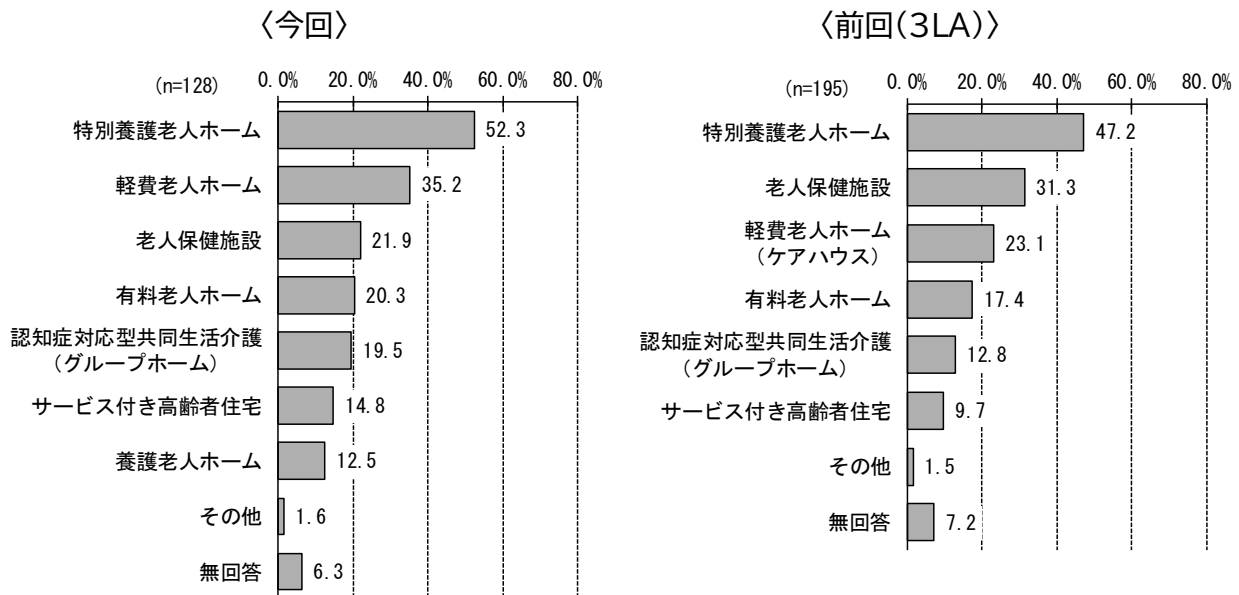
●問16 【入所・入居を検討、申し込みをしている方のみ】どのような施設を希望しますか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 希望する施設について、「特別養護老人ホーム」が 52.3%で最も多く、次いで「軽費老人ホーム」が 35.2%、「老人保健施設」が 21.9%となっています。

**【圏域】**  
 ○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「特別養護老人ホーム」「養護老人ホーム」が多くなっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要支援1・2では、「軽費老人ホーム」が 64.5%で最も多くなっています。  
 ○ 要介護1以上では、「特別養護老人ホーム」が最も多く、特に要介護3～5では 72.1%となっています。

【希望する施設(MA)】



単位：%

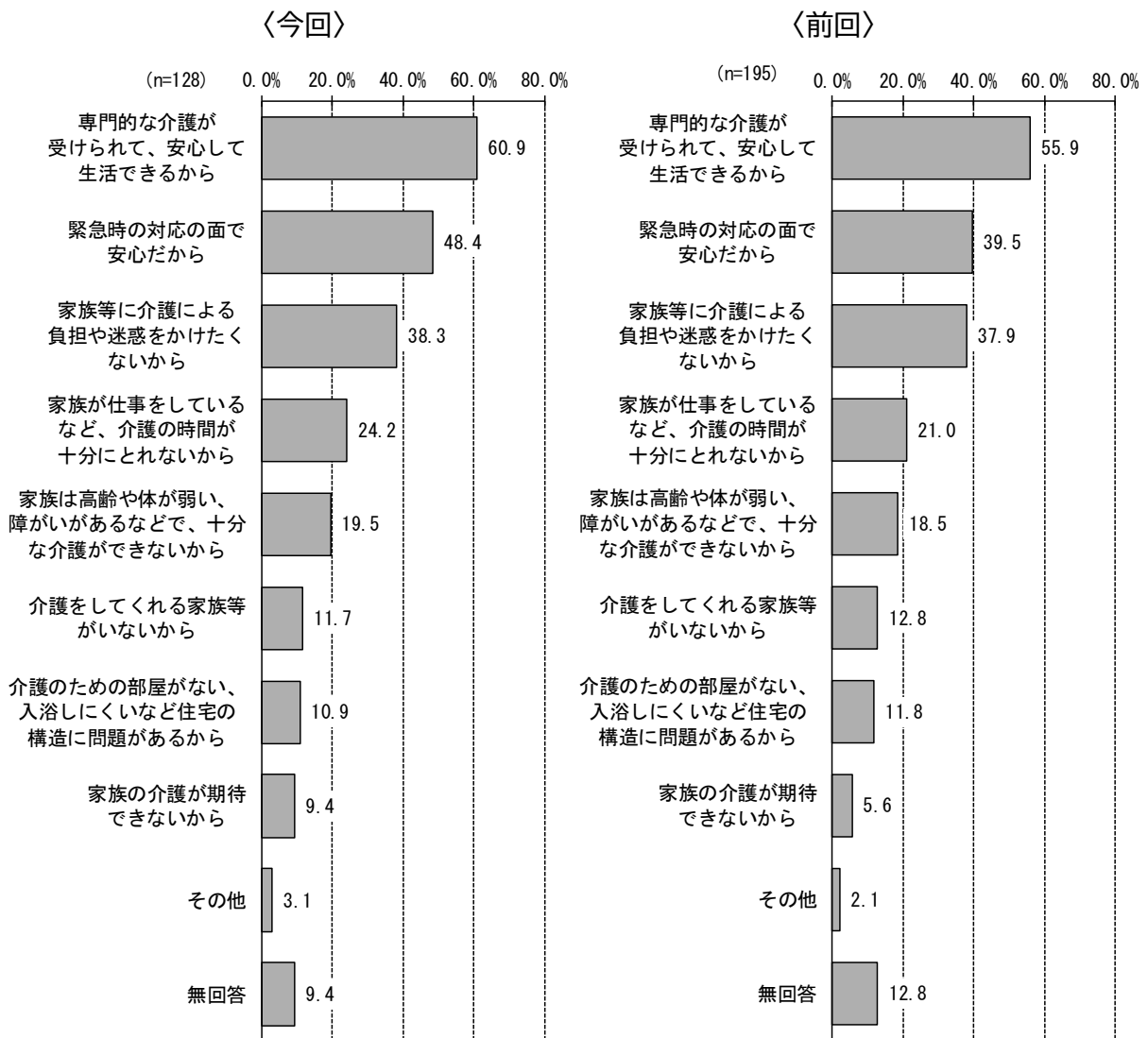
	母数 (n)	希望する施設 (MA)								
		特別養護老人ホーム	老人保健施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者住宅	軽費老人ホーム	養護老人ホーム	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	その他	無回答
全体	128	52.3	21.9	20.3	14.8	35.2	12.5	19.5	1.6	6.3
性・年齢	男性 64歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～74歳	9	77.8	44.4	33.3	11.1	66.7	22.2	44.4	-
	75歳以上	33	51.5	21.2	21.2	9.1	27.3	12.1	15.2	3.0
	女性 64歳以下	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
年齢	65～74歳	7	71.4	28.6	28.6	28.6	71.4	28.6	28.6	-
	75歳以上	77	49.4	19.5	18.2	15.6	32.5	10.4	16.9	1.3
圏域	安威川以北圏域	59	47.5	23.7	18.6	16.9	35.6	8.5	16.9	1.7
	安威川以南圏域	69	56.5	20.3	21.7	13.0	34.8	15.9	21.7	1.4
要介護度	要支援1・2	31	32.3	12.9	22.6	25.8	64.5	19.4	12.9	3.2
	要介護1・2	54	48.1	22.2	14.8	13.0	35.2	7.4	27.8	-
	要介護3～5	43	72.1	27.9	25.6	9.3	14.0	14.0	14.0	2.3

●問17 [入所・入居を検討、申し込みをしている方のみ] あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか。(3つまで)

**【全体】**

- 施設での介護を希望する主な理由について、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が 60.9%で最も多く、次いで「緊急時の対応の面で安心だから」が 48.4%、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が 38.3%となっています。
- 前回調査に比べて、「緊急時の対応の面で安心だから」が 8.9 ポイント多くなっています。

【施設での介護を希望する主な理由(3LA)】



【要介護度】

- 要支援1・2では、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が58.1%で最も多く、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が54.8%、「緊急時の対応の面で安心だから」が51.6%となっています。また、「介護をしてくれる家族等がないから」が25.8%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。
- 要介護1・2では、「緊急時の対応の面で安心だから」が53.7%で最も多く、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が50.0%、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が33.3%となっています。
- 要介護3～5では、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が79.1%で最も多く、次いで「緊急時の対応の面で安心だから」が39.5%、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」「家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」が30.2%となっています。

単位：％

	母数 (n)	施設での介護を希望する主な理由(3LA)										
		らて専 安 心な し て 生 活 で け ら れ か	か 緊 急 時 の 対 応 の 面 で 安 心 だ	迷 家 族 等 に か け た く な い る 負 担 や	れ ど 家 族 に 介 護 の 時 間 が 十 分 な と	造 入 介 護 に た め の 部 屋 が 住 ま な い 構	介 護 が あ ら ず な い か ら	介 護 が あ ら ず な い か ら	い 介 護 を し て く れ る 家 族 等 が	か 家 族 の 介 護 が 期 待 で き な い	そ の 他	無 回 答
全体	128	60.9	48.4	38.3	24.2	10.9	19.5	11.7	9.4	3.1	9.4	
性・年齢	男性 64歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～74歳	9	55.6	33.3	66.7	22.2	11.1	22.2	11.1	-	11.1	
	75歳以上	33	66.7	48.5	42.4	15.2	9.1	39.4	18.2	9.1	3.0	
	女性 64歳以下	2	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
	65～74歳	7	71.4	57.1	42.9	-	28.6	-	-	28.6	14.3	-
	75歳以上	77	59.7	50.6	32.5	29.9	9.1	13.0	10.4	9.1	3.9	11.7
圏域	安威川以北圏域	59	57.6	52.5	35.6	23.7	10.2	18.6	8.5	10.2	3.4	10.2
	安威川以南圏域	69	63.8	44.9	40.6	24.6	11.6	20.3	14.5	8.7	2.9	8.7
要介護度	要支援1・2	31	54.8	51.6	58.1	19.4	9.7	6.5	25.8	16.1	3.2	6.5
	要介護1・2	54	50.0	53.7	33.3	22.2	9.3	25.9	7.4	11.1	3.7	9.3
	要介護3～5	43	79.1	39.5	30.2	30.2	14.0	20.9	7.0	2.3	2.3	11.6



(4) 医療的な支援・サービス

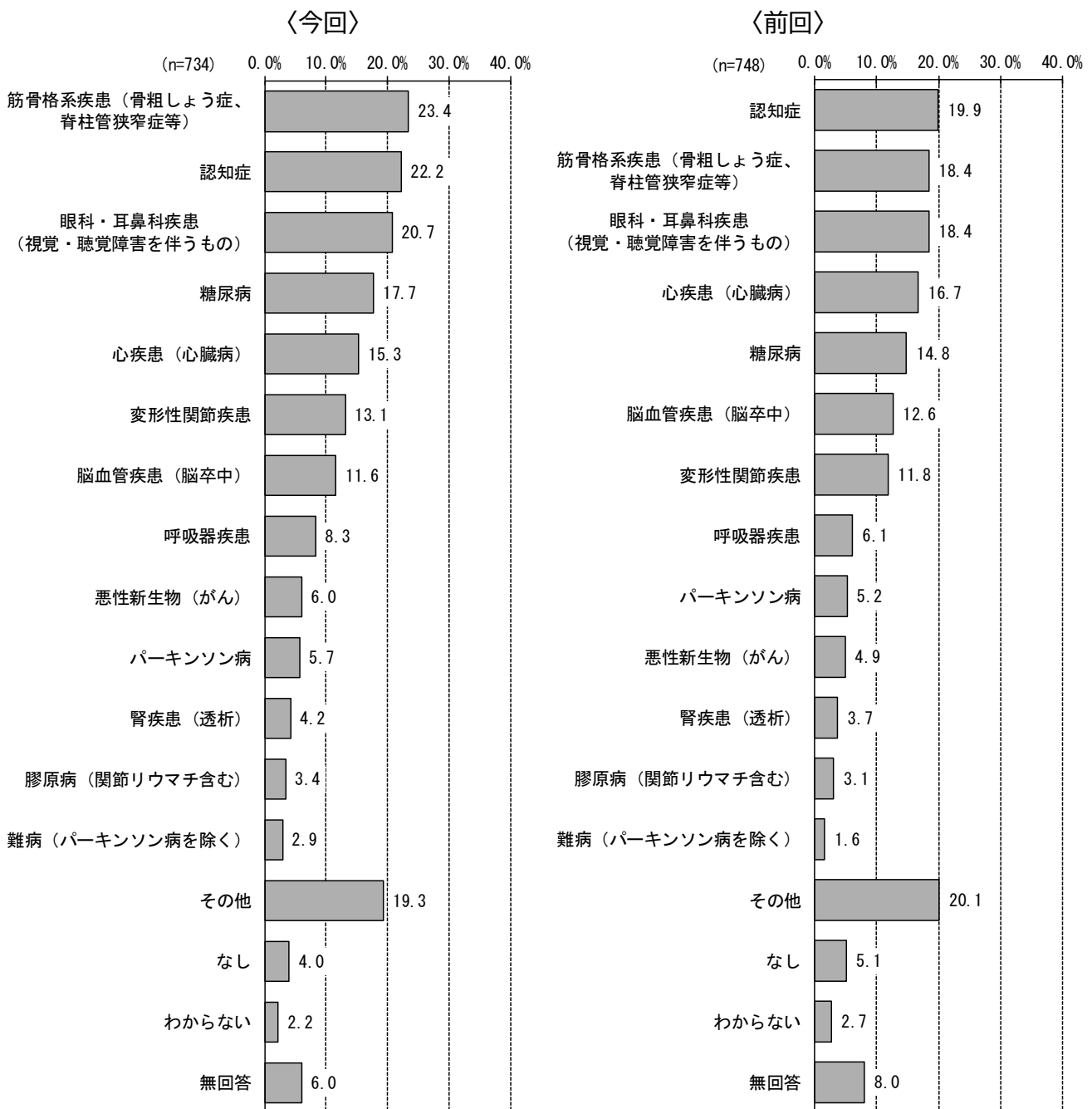
① 現在抱えている傷病

●問18 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも)

**【全体】**

- 現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.4%で最も多く、次いで「認知症」が22.2%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.7%となっています。
- 「その他」としては、高血圧、高脂血症、消化器疾患等があります。
- 前回調査に比べて、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が5.0ポイント多くなっています。

【現在抱えている傷病(MA)】



【要介護度】

○ 要支援1・2では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が30.6%で最も多いのに対し、要介護1以上では「認知症」が最も多くなっています。また、要介護1・2では、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、要介護3～5では、「脳血管疾患（脳卒中）」となっています。

単位：%

		母数 (n)	現在抱えている傷病(MA)								
			中 脳 血管 疾患 (脳卒 中)	心 疾 患 (心 臓 病)	悪 性 新 生 物 (が ん)	呼 吸 器 疾 患	腎 疾 患 (透 析)	管 粗 筋 骨 格 系 疾 患 (骨 粗 しょう 症、 脊 柱 管 狭 窄 症 等)	マ チ 原 病 (関 節 リ ウ マチ 含 む)	変 形 性 関 節 疾 患	認 知 症
全体		734	11.6	15.3	6.0	8.3	4.2	23.4	3.4	13.1	22.2
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	22.2	11.1	-	11.1	11.1	11.1	-	-	11.1
	65～74歳	46	21.7	13.0	6.5	4.3	8.7	2.2	-	-	17.4
	75歳以上	203	15.8	16.3	10.3	9.4	4.4	13.8	2.0	5.4	23.6
	女性 64歳以下	13	23.1	-	15.4	-	-	7.7	-	7.7	23.1
	65～74歳	61	11.5	13.1	1.6	9.8	6.6	24.6	9.8	18.0	14.8
75歳以上	401	7.5	15.7	4.2	8.2	3.2	31.4	3.7	18.2	23.4	
圏 域	安威川以北圏域	391	11.8	14.6	5.6	8.4	4.6	25.8	3.1	15.9	19.9
	安威川以南圏域	343	11.4	16.0	6.4	8.2	3.8	20.7	3.8	9.9	24.8
要 介 護 度	要支援1・2	320	9.4	15.9	5.3	6.9	4.1	30.6	3.4	18.8	4.1
	要介護1・2	277	9.4	14.1	5.1	7.6	5.8	17.3	3.6	9.7	32.1
	要介護3～5	136	20.6	15.4	9.6	13.2	1.5	19.1	2.9	6.6	44.9

単位：%

		母数 (n)	現在抱えている傷病(MA)							無 回 答
			パ ー キ ン ソ ン 病	難 病 (パ ー キ ン ソ ン 病 を 除 く)	糖 尿 病	を 伴 う も の (眼 科 ・ 耳 鼻 科 疾 患 障 害 患 者)	そ の 他	な し	わ か ら な い	
全体		734	5.7	2.9	17.7	20.7	19.3	4.0	2.2	6.0
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	44.4	-	11.1	-	33.3	11.1	-	-
	65～74歳	46	8.7	4.3	23.9	13.0	23.9	6.5	4.3	8.7
	75歳以上	203	6.4	1.0	19.7	18.7	17.2	3.4	2.0	6.9
	女性 64歳以下	13	-	23.1	7.7	-	23.1	-	-	-
	65～74歳	61	9.8	8.2	31.1	16.4	14.8	1.6	3.3	3.3
75歳以上	401	3.7	2.2	14.5	24.4	20.2	4.2	2.0	6.0	
圏 域	安威川以北圏域	391	6.4	2.3	15.6	19.9	20.7	3.6	2.0	5.9
	安威川以南圏域	343	5.0	3.5	20.1	21.6	17.8	4.4	2.3	6.1
要 介 護 度	要支援1・2	320	3.1	2.5	16.9	18.8	24.4	3.8	1.3	7.2
	要介護1・2	277	8.3	1.1	17.7	24.2	14.8	5.1	3.2	6.1
	要介護3～5	136	6.6	7.4	19.9	18.4	16.9	2.2	2.2	2.9

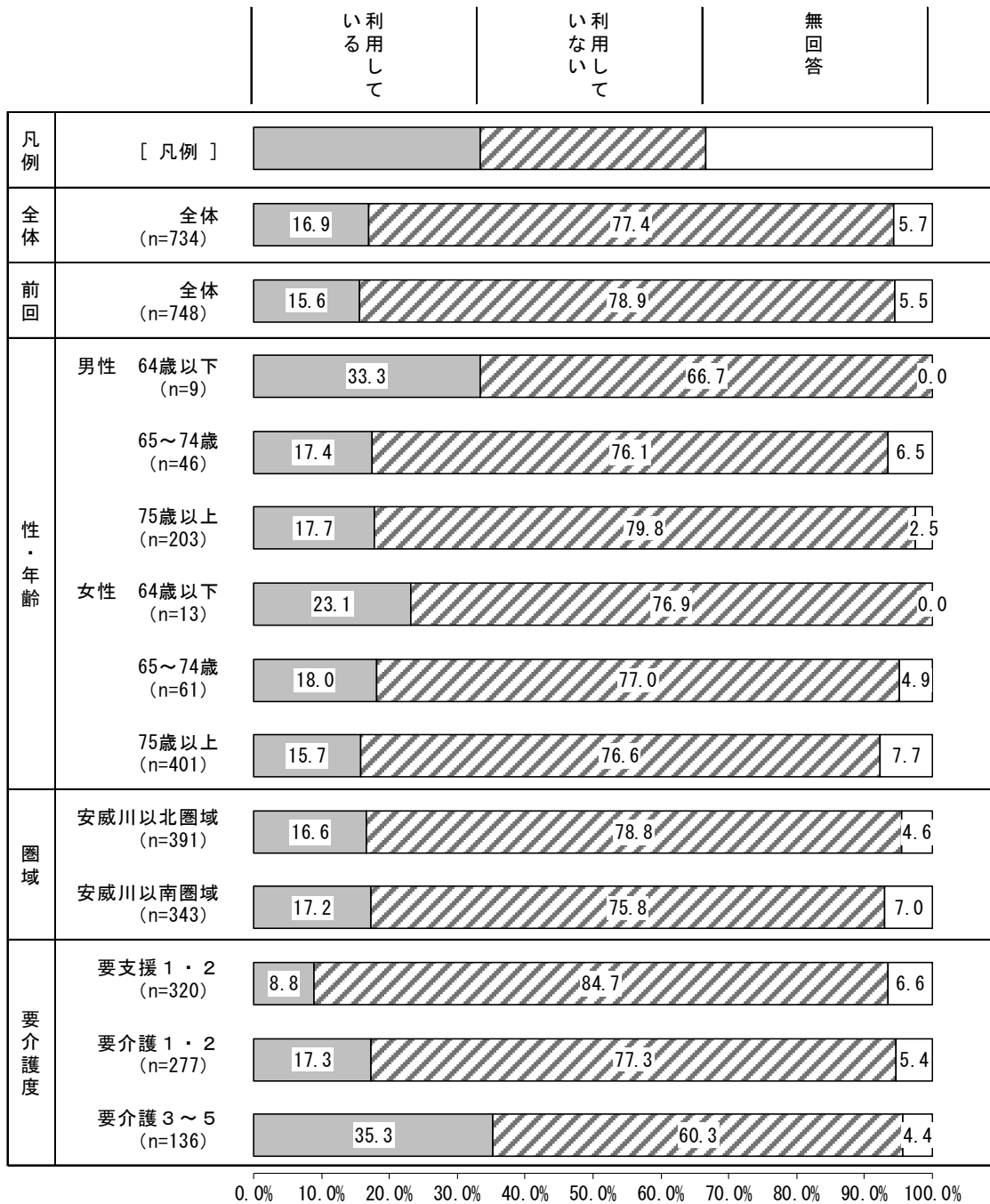
② 訪問診療の利用状況

●問19 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ)

**【全体】**  
 ○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」が16.9%、「利用していない」が77.4%となっています。

**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど「利用している」が多くなる傾向がみられ、要介護3～5では35.3%となっています。

【訪問診療の利用状況】



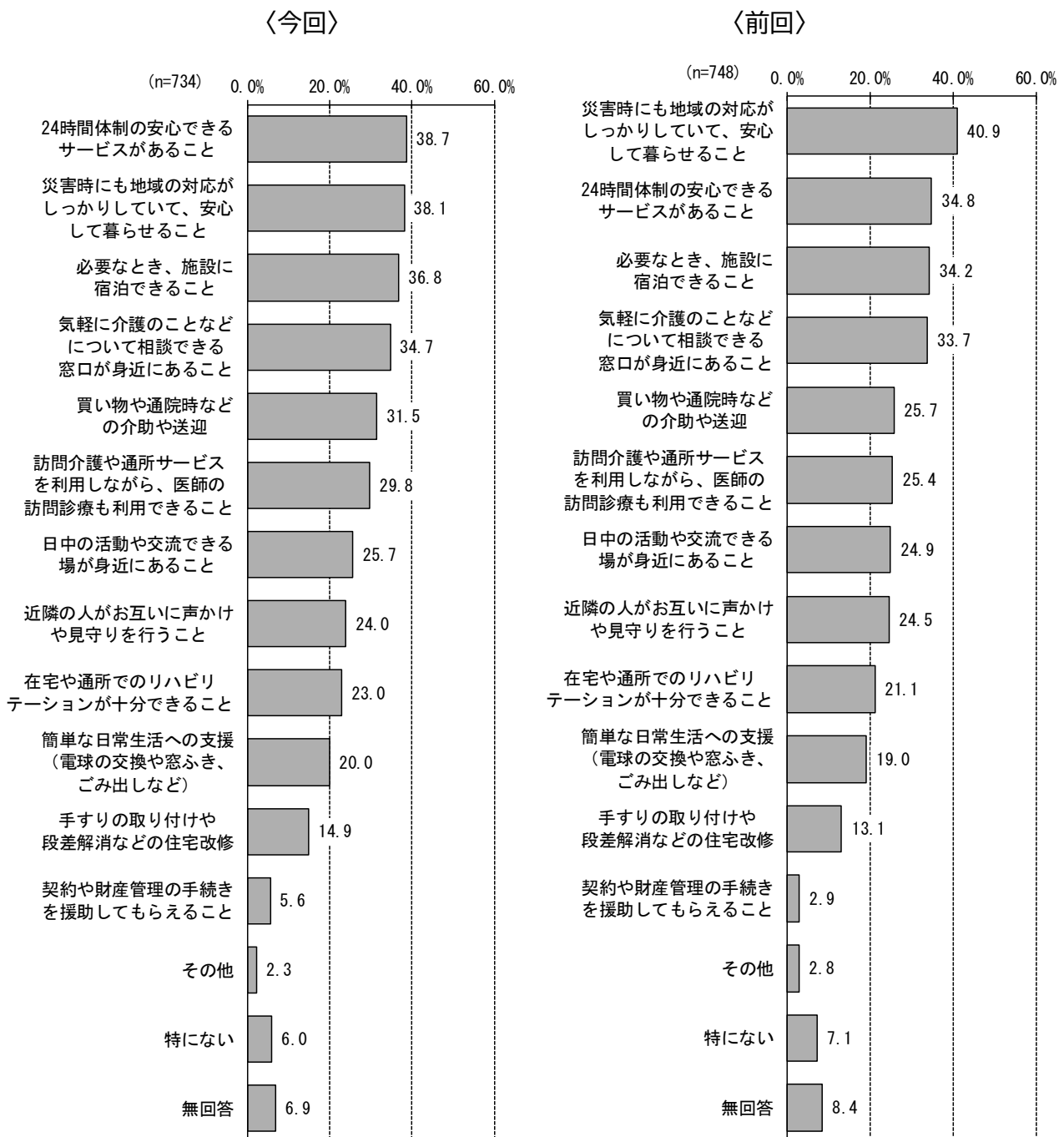
(5) 高齢者の身近な地域での生活の継続に必要な支援

●問25 高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(5つまで)

**【全体】**

- 身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援について、「24 時間体制の安心できるサービスがあること」が 38.7%で最も多く、次いで「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」が 38.1%、「必要なとき、施設に宿泊できること」が 36.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「買い物や通院時などの介助や送迎」が 5.8 ポイント多くなっています。

**【身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援(5LA)】**



【圏域】

- 安威川以北圏域では、「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」が41.7%で最も多く、次いで「24時間体制の安心できるサービスがあること」が40.4%、「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」が35.5%となっています。
- 安威川以南圏域では、「必要なとき、施設に宿泊できること」が40.5%で最も多く、次いで「24時間体制の安心できるサービスがあること」が36.7%、「買い物や通院時などの介助や送迎」が35.9%となっています。

【中学校区】

- 第一中学校、第三中学校では「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」、第二中学校、第五中学校では「必要なとき、施設に宿泊できること」、第四中学校では「買い物や通院時などの介護や送迎」が最も多くなっています。
- 「気軽に介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること」は、第三中学校、第五中学校で4割以上と他の中学校区に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援(5LA)																
			あ で き 中 こ と	日 の 活 動 が 身 近 に 流 れ	を 行 う こ け や 見 守 り	近 隣 の 人 が お 互 に	に あ る こ と	な ど に つ い て	気 に 入 る こ と	が あ る こ と	2 時 間 制 の サ ビ ス	に 必 要 な と き に 施 設 を 使 う	暮 ら せ て こ と	対 応 し て こ と	災 害 時 に も こ と	も 手 続 を 簡 便 に し て	契 約 を 結 ぶ こ と	住 宅 改 修 の 消 費 を 減 ら す	や 差 り 修 繕 な り の 付 け
全体		734	25.7	24.0	34.7	38.7	36.8	38.1	5.6	14.9									
性・年齢	男性 64歳以下	9	22.2	-	22.2	22.2	33.3	22.2	-	44.4									
	65～74歳	46	26.1	26.1	43.5	50.0	47.8	41.3	8.7	6.5									
	75歳以上	203	21.7	24.1	37.9	33.5	37.4	33.5	3.9	13.3									
	女性 64歳以下	13	23.1	15.4	23.1	61.5	15.4	53.8	15.4	15.4									
	65～74歳	61	19.7	11.5	24.6	37.7	39.3	47.5	8.2	19.7									
	75歳以上	401	28.9	26.2	34.4	39.9	35.4	38.7	5.5	15.2									
圏域	安威川以北圏域	391	25.6	25.1	35.5	40.4	33.5	41.7	7.4	16.1									
	安威川以南圏域	343	25.9	22.7	33.8	36.7	40.5	34.1	3.5	13.4									
中学校区	第一中学校	214	24.8	27.1	29.9	39.3	35.0	39.7	6.1	17.8									
	第二中学校	126	23.8	25.4	30.2	41.3	44.4	37.3	2.4	14.3									
	第三中学校	184	27.2	23.9	41.8	40.8	31.5	44.0	8.7	13.6									
	第四中学校	123	26.0	21.1	33.3	30.1	35.0	35.0	4.1	13.8									
	第五中学校	87	27.6	18.4	40.2	41.4	43.7	27.6	4.6	12.6									

単位：%

		母数 (n)	身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援(5LA)												
			が ハ ビ 分 り で き し こ と	在 宅 通 り の 利 便 さ	問 診 や 療 養 の 支 援	な ら ば 良 い 支 援	サ ブ シ ジ ブ の 利 用	訪 問 介 護 士 の 利 用	ど の 介 助 や 送 迎	買 い 物 や 通 院 時 の 送 迎	出 換 や 窓 ふ き 、 電 球 の 交 換	簡 便 な 日 常 生 活 の 交 渉	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		734	23.0	29.8	31.5	20.0	6.0	2.3	6.9						
性・年齢	男性 64歳以下	9	44.4	22.2	33.3	11.1	-	-	11.1						
	65～74歳	46	26.1	37.0	37.0	28.3	4.3	-	4.3						
	75歳以上	203	19.7	30.5	26.1	15.3	7.4	3.0	6.9						
	女性 64歳以下	13	38.5	23.1	15.4	-	7.7	-	-						
	65～74歳	61	24.6	19.7	41.0	21.3	6.6	1.6	9.8						
	75歳以上	401	22.9	30.7	32.7	21.9	5.5	2.5	7.0						
圏域	安威川以北圏域	391	23.8	28.6	27.6	20.2	5.9	2.3	7.7						
	安威川以南圏域	343	22.2	31.2	35.9	19.8	6.1	2.3	6.1						
中学校区	第一中学校	214	22.4	28.5	27.6	17.8	5.6	2.8	8.9						
	第二中学校	126	21.4	34.9	34.9	14.3	7.1	2.4	6.3						
	第三中学校	184	24.5	27.7	26.6	22.3	6.0	1.6	6.5						
	第四中学校	123	24.4	25.2	37.4	22.0	5.7	3.3	6.5						
	第五中学校	87	21.8	36.8	37.9	26.4	5.7	1.1	4.6						

【要介護度】

- 要支援1・2では、「災害時にも地域の対応がしっかりしていて、安心して暮らせること」が42.8%で最も多くなっています。
- 要介護1以上では、「必要なとき、施設に宿泊できること」「24時間体制の安心できるサービスがあること」が4割以上と多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援(5LA)																		
			あ で こ る こ と 場 が 身 近 に	日 中 の 活 動 や 交 流	を 行 う こ と や 見 守 り	近 隣 の 人 が お 互 い	に あ る こ と や 身 近	で あ る こ と や 身 近	な ど に つ い て	気 に い る こ と や 身 近	が あ る こ と や 身 近	心 を あ げ る こ と や 身 近	2 4 時 間 制 の 安 心	に 必 要 な と き に 施 設	暮 ら せ る こ と や 身 近	対 応 が あ る こ と や 身 近	災 害 時 に も 地 域	も ら え る こ と や 身 近	契 約 や 財 産 管 理	住 宅 改 修 な ど	や 手 取 り の 付 け
全体		734	25.7	24.0	34.7	38.7	36.8	38.1	5.6	14.9											
要 介 護 度	要支援1・2	320	22.8	25.9	33.1	33.1	26.3	42.8	4.7	15.3											
	要介護1・2	277	31.4	26.0	36.1	40.1	41.5	36.8	7.2	14.4											
	要介護3～5	136	21.3	14.7	36.0	49.3	51.5	30.1	4.4	14.7											

単位：%

		母数 (n)	身近な地域や自宅での生活を続けていくために必要だと思う支援(5LA)													
			が ハ 十 分 で き る こ と	在 宅 や 通 所 の リ	問 診 も 利 用 で き	な ら ば 、 医 生 の 訪	サ イ ン ト の 利 用	訪 問 介 護 士 の 通 所	ど の 介 助 や 送 迎	買 物 や 通 院 時 な	出 し な ど	換 気 機 や 電 球 の 交 換	簡 単 な 日 常 生 活 へ	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		734	23.0		29.8	31.5	20.0	6.0	2.3	6.9						
要 介 護 度	要支援1・2	320	20.3		24.4	32.2	24.4	7.8	2.8	9.1						
	要介護1・2	277	23.8		32.9	33.9	17.0	3.6	1.8	5.8						
	要介護3～5	136	27.2		36.8	25.0	15.4	6.6	2.2	4.4						

(6) 認知症の人の住み慣れた地域での生活の継続に大切なこと

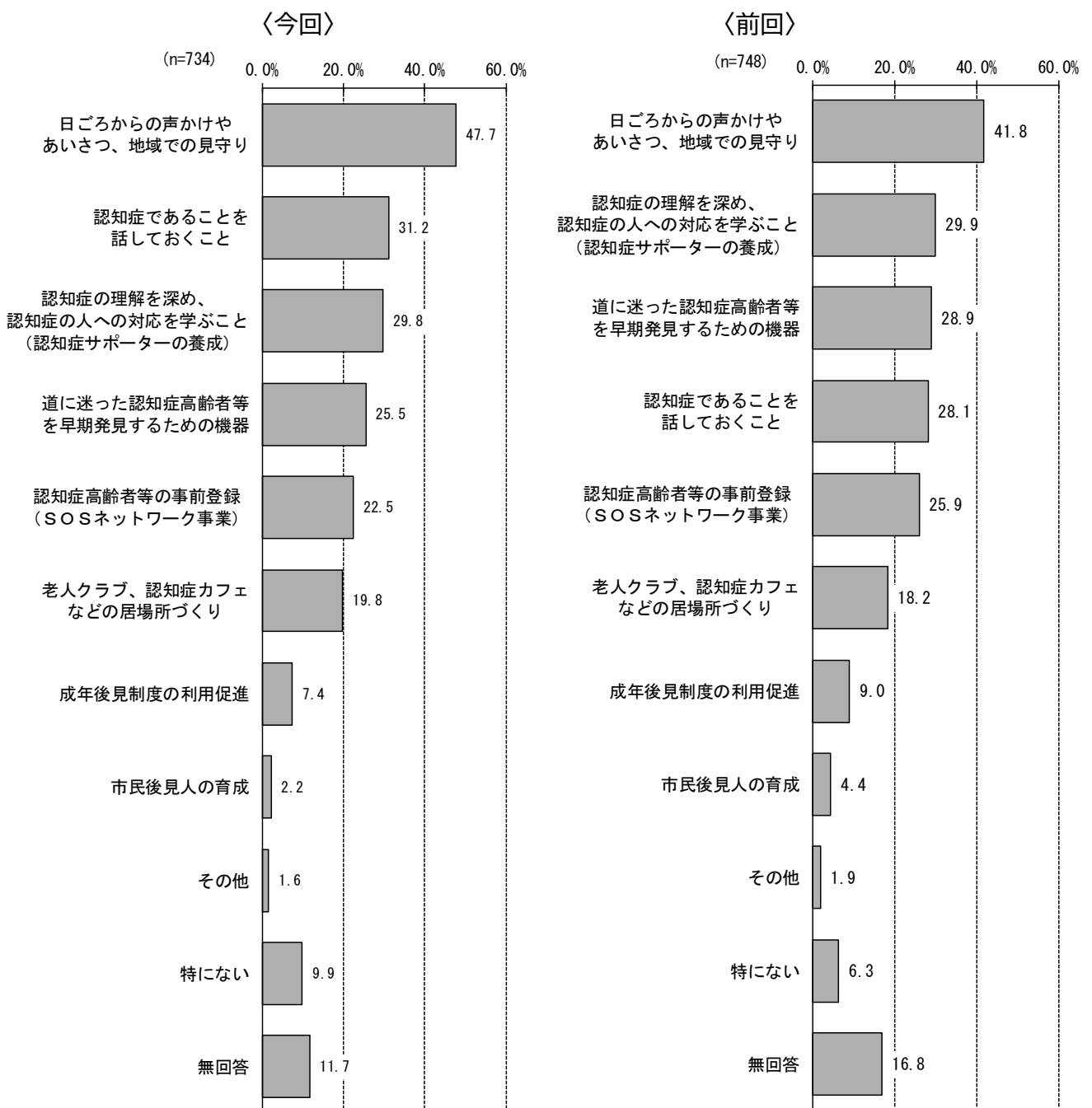
●問26 認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために、どのようなことが大切だと思いますか。(3つまで)

**【全体】**

○ 認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために大切だと思うことについて、「日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り」が47.7%で最も多く、次いで「認知症であることを話しておくこと」が31.2%、「認知症の理解を深め、認知症の人への対応を学ぶこと（認知症サポーターの養成）」が29.8%となっています。

○ 前回調査に比べて、「日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り」が5.9ポイント多くなっています。

【認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために大切だと思うこと(3LA)】



【要介護度】

○ 要支援1・2、要介護1・2では「日ごろからの声かけやあいさつ、地域での見守り」が最も多いのに対し、要介護3～5では、「認知症の理解を深め、認知症の人への対応を学ぶこと（認知症サポーターの養成）」が42.6%と最も多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために大切だと思うこと(3LA)					
			守りあ日 りいご さろ つ、 地 域 の 声 か け 見 や	リフ老 エ人 なク どの ラ ブ、 居 場 所 知 づ 症 く カ	し認 て知 お症 くで こあ と こ を 話	ボ学認 ーぶ知 タこ ーと の 養 成 サ ポ ー タ ー の 養 成	認 知 症 の 理 解 を 深 め 、 認 知 症 の 人 へ の 対 応 を	ワ登認 ー録知 ク(症 事高 業)齡 者 等 の サ ポ ー ト 事 前
全体		734	47.7	19.8	31.2	29.8	22.5	25.5
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	33.3	22.2	44.4	44.4	33.3	11.1
	65～74歳	46	50.0	19.6	45.7	43.5	32.6	30.4
	75歳以上	203	45.3	19.7	27.1	24.1	19.7	25.6
	女性 64歳以下	13	38.5	7.7	38.5	38.5	23.1	15.4
	65～74歳	61	34.4	11.5	26.2	31.1	23.0	31.1
75歳以上	401	51.4	21.2	31.9	30.2	22.4	24.4	
圏 域	安威川以北圏域	391	48.8	18.9	30.9	32.0	21.5	25.1
	安威川以南圏域	343	46.4	20.7	31.5	27.4	23.6	25.9
要 介 護 度	要支援1・2	320	49.1	15.9	31.3	27.5	20.9	24.7
	要介護1・2	277	49.5	23.8	31.4	26.0	22.0	26.7
	要介護3～5	136	41.2	19.9	30.9	42.6	27.2	24.3

単位：%

		母数 (n)	認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために大切だと思うこと(3LA)				
			進成 年 後 見 制 度 の 利 用 促	市 民 後 見 人 の 育 成	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		734	7.4	2.2	9.9	1.6	11.7
性・ 年 齢	男性 64歳以下	9	11.1	-	-	-	11.1
	65～74歳	46	10.9	2.2	4.3	-	6.5
	75歳以上	203	4.9	1.0	16.3	1.0	12.8
	女性 64歳以下	13	7.7	-	15.4	-	7.7
	65～74歳	61	9.8	3.3	14.8	-	11.5
75歳以上	401	7.7	2.7	6.7	2.5	12.0	
圏 域	安威川以北圏域	391	7.7	1.5	10.0	2.0	10.2
	安威川以南圏域	343	7.0	2.9	9.9	1.2	13.4
要 介 護 度	要支援1・2	320	7.2	2.5	8.8	1.6	14.7
	要介護1・2	277	8.7	2.5	10.1	2.5	9.7
	要介護3～5	136	5.1	0.7	12.5	-	8.8



## 4. 人生会議について

- 問23 【本人向け】あなたは、今後の医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つだけ)

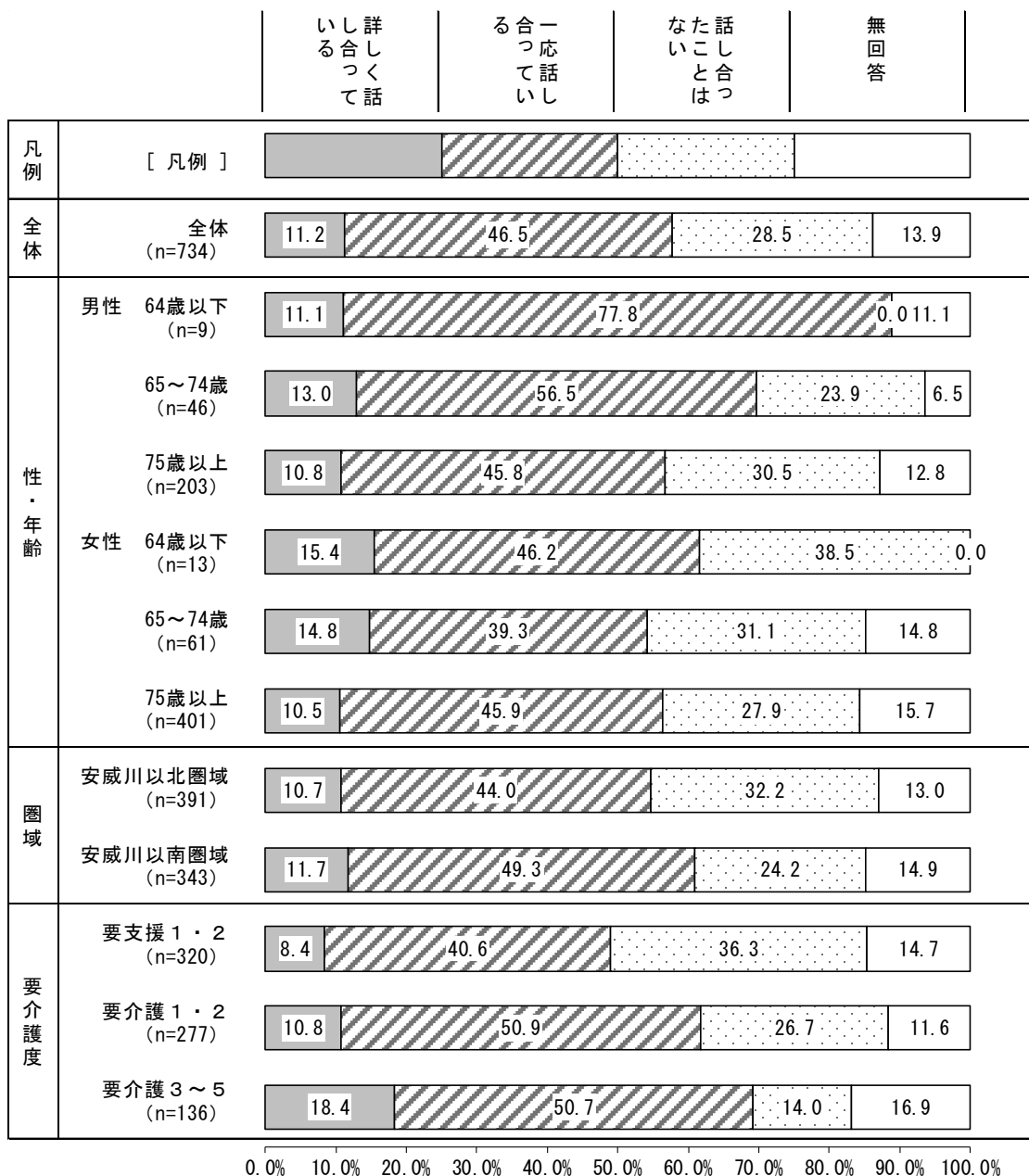
**【全体】**

- 今後の医療・療養についての話し合いについて、「一応話し合っている」が46.5%で最も多く、次いで「話し合ったことはない」が28.5%、「詳しく話し合っている」が11.2%となっています。
- 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」を合わせた“話し合っている”は57.7%となっています。

**【要介護度】**

- 要介護度が上がるほど“話し合っている”が多くなる傾向がみられ、要介護3～5では69.1%となっています。

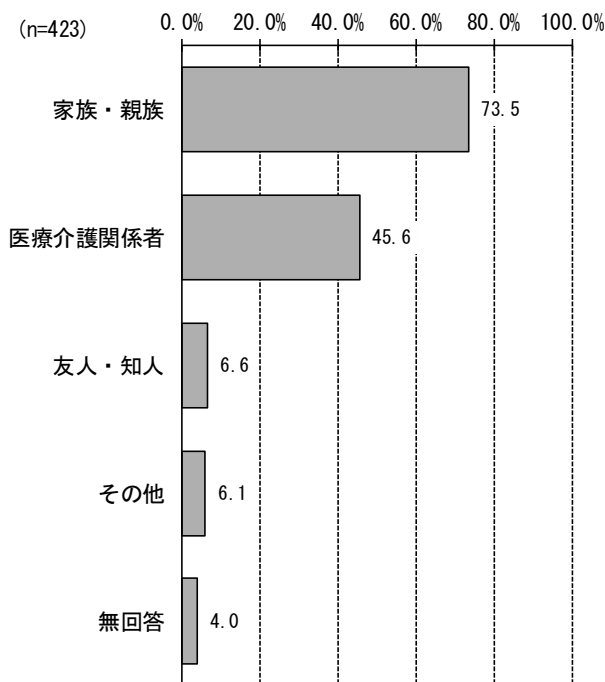
【今後の医療・療養についての話し合い(調査の対象者本人)】



●問24 「話し合ったことがある方のみ」 どなたと話し合いましたか。(いくつでも)

**【全体】**  
 ○ 話し合った相手について、「家族・親族」が73.5%で最も多く、次いで「医療介護関係者」が45.6%、「友人・知人」が6.6%となっています。

【話し合った相手(MA)】



単位：%

		母数 (n)	話し合った相手(MA)				
			家族・親族	医療介護関係者	友人・知人	その他	無回答
全体		423	73.5	45.6	6.6	6.1	4.0
性・年齢	男性 64歳以下	8	100.0	37.5	-	12.5	-
	65～74歳	32	65.6	56.3	6.3	3.1	3.1
	75歳以上	115	67.8	41.7	5.2	8.7	7.0
	女性 64歳以下	8	62.5	75.0	-	-	-
	65～74歳	33	75.8	42.4	3.0	9.1	3.0
	75歳以上	226	77.0	45.6	8.4	4.9	3.1
圏域	安威川以北圏域	214	72.4	49.1	9.3	4.2	2.3
	安威川以南圏域	209	74.6	42.1	3.8	8.1	5.7
要介護度	要支援1・2	157	74.5	39.5	5.7	5.1	4.5
	要介護1・2	171	73.1	48.0	7.0	7.0	4.1
	要介護3～5	94	73.4	51.1	7.4	6.4	3.2

●問34 【介護者向け】〔家族、親族から介護を受けている方のみ〕主な介護者の方は、調査の対象者と今後の医療・療養について話し合ったことがありますか。(1つだけ)

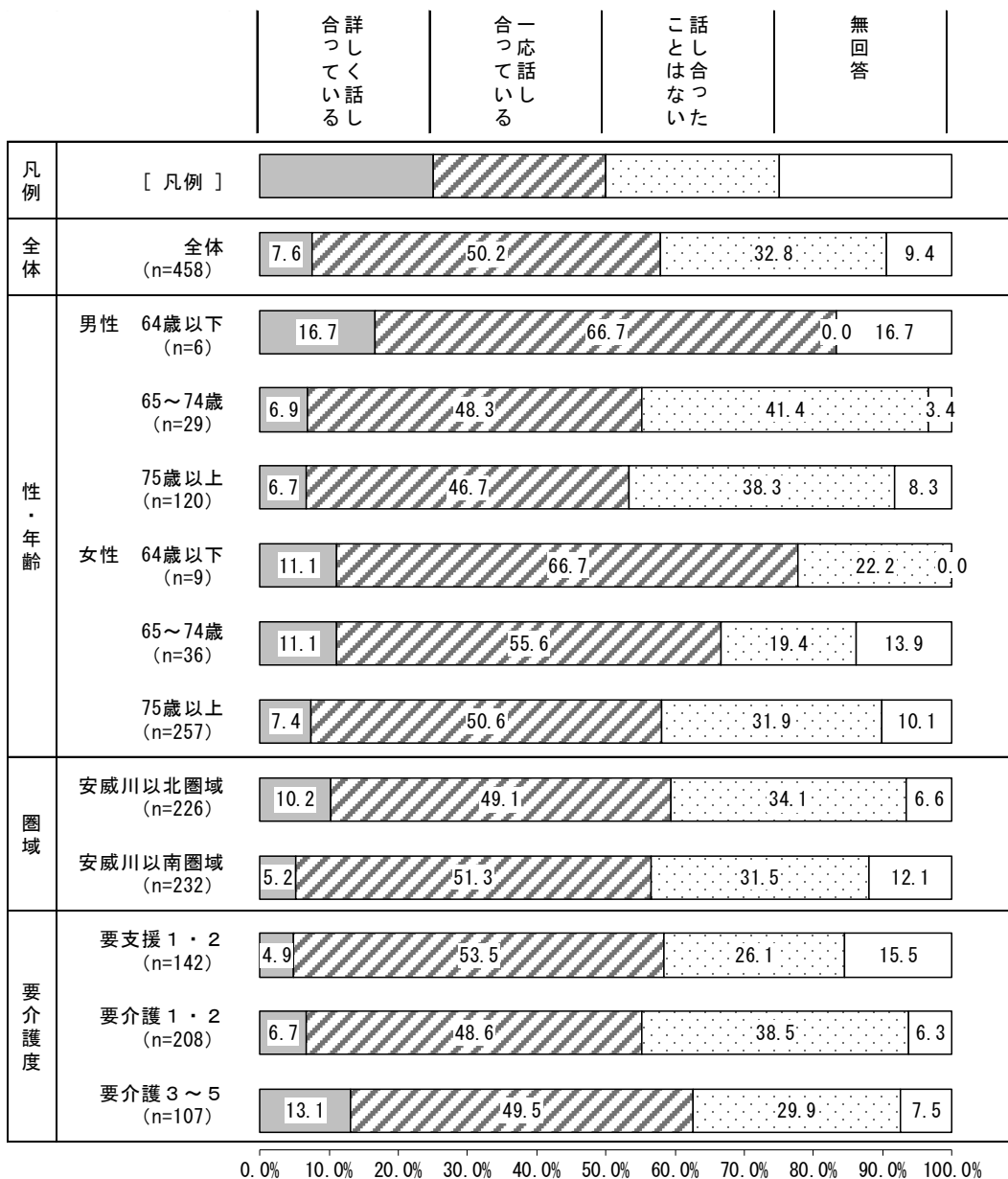
**【全体】**

- 本人との今後の医療・療養についての話し合いについて、「一応話し合っている」が50.2%で最も多く、次いで「話し合ったことはない」が32.8%、「詳しく話し合っている」が7.6%となっています。
- 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」を合わせた“話し合っている”は57.8%となっています。
- “話し合っている”は、調査の対象者本人の回答とほぼ同じですが、調査の対象者本人の回答と比べて「詳しく話し合っている」が少なく、「一応話し合っている」が多くなっています。

**【要介護度】**

- 調査の対象者本人の回答に比べて、要支援1・2の人では、“話し合っている”が多いのに対し、要介護1以上の人では少なくなっています。

【本人との今後の医療・療養についての話し合い(主な介護者である家族・親族等)】



## 5. その他について

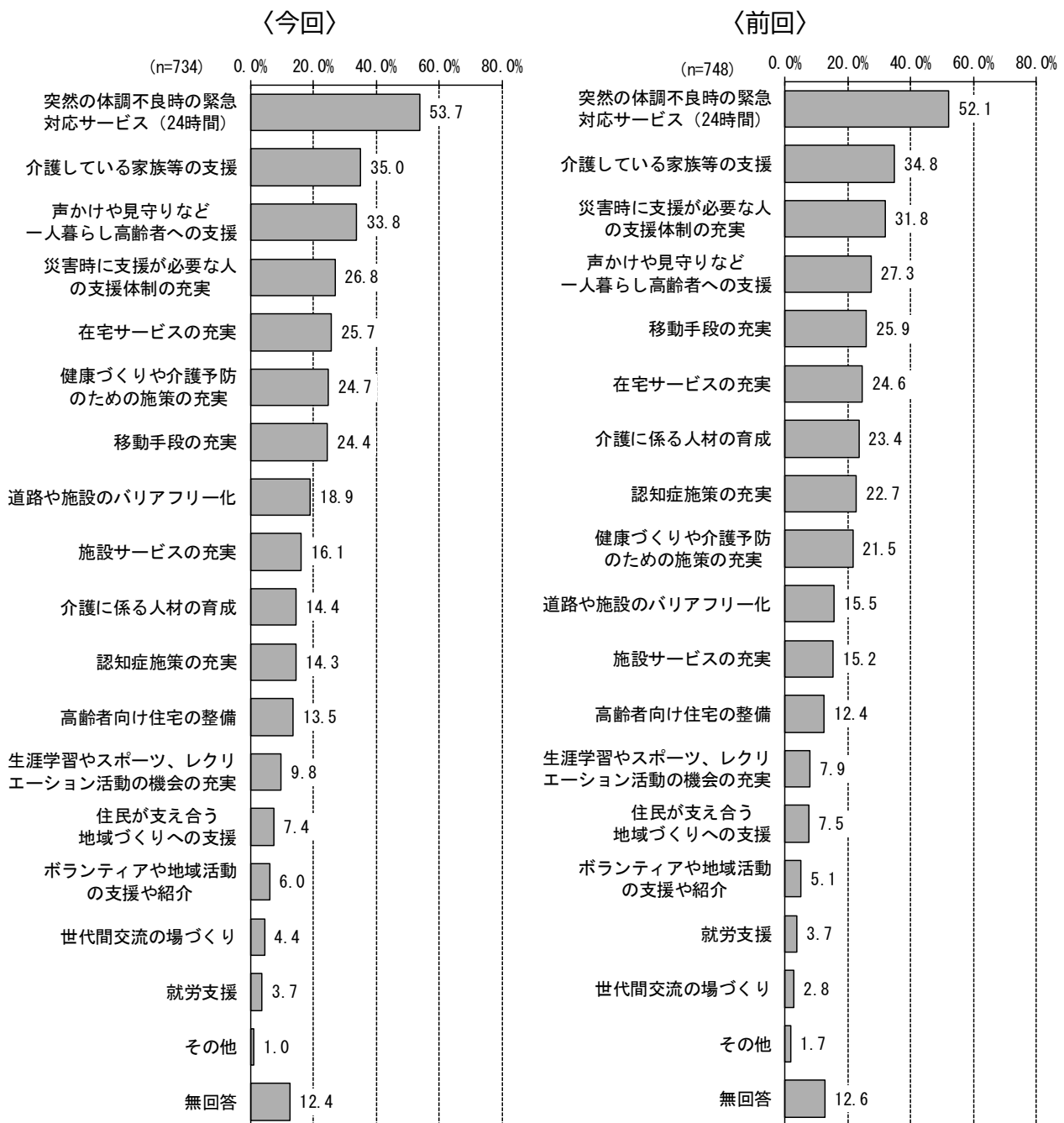
### (1) 高齢者福祉施策

- 問27 高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。(5つまで)

#### 【全体】

- 今後拡充が重要な高齢者福祉施策について、「突然の体調不良時の緊急対応サービス(24時間)」が53.7%で最も多く、次いで「介護している家族等の支援」が35.0%、「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」が33.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」が6.5ポイント多くなっています。

#### 【今後拡充が重要な高齢者福祉施策(5LA)】



【圏域】

○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて、「移動手段の充実」「災害時に支援が必要な人の支援体制の充実」が多くなっています。

【中学校区】

○ 「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」に次いで、第一中学校、第二中学校、第四中学校では「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」、第三中学校、第五中学校では「介護している家族等の支援」が多くなっています。

○ 「認知症施策の充実」「移動手段の充実」は、第四中学校、第五中学校で他の中学校区に比べて多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	今後拡充が重要な高齢者福祉施策(5LA)										
		実防健康 のため のりや 策の充 予	ン活 動の 機 会 の充 実	ツ、生 活、レ ク リ エ ー シ ョ	就 労 支 援	在 宅 サ ー ビ ス の 充 実	の 支 援	一 人 暮 ら し 高 齢 者 へ の	声 か け や 見 守 り な ど ( 2 4 時 間 )	突 然 の 体 調 不 良 時 の 緊 急 対 応 サ ー ビ ス	認 知 症 施 策 の 充 実	の 支 援 し て い る 家 族 等
全体	734	24.7	9.8	3.7	25.7	33.8	53.7	14.3	35.0	16.1	24.4	
性・年齢	男性 64歳以下	9	22.2	-	33.3	33.3	11.1	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1
	65～74歳	46	21.7	4.3	6.5	34.8	39.1	65.2	13.0	39.1	13.0	34.8
	75歳以上	203	25.1	8.9	3.0	22.7	30.5	53.2	14.3	35.0	15.3	22.2
	女性 64歳以下	13	23.1	15.4	15.4	23.1	38.5	46.2	23.1	46.2	30.8	7.7
	65～74歳	61	24.6	11.5	6.6	23.0	29.5	49.2	13.1	32.8	14.8	31.1
75歳以上	401	24.7	10.7	2.2	26.7	35.9	54.1	14.5	34.7	16.7	24.2	
圏域	安威川以北圏域	391	23.8	10.5	3.6	26.6	34.3	52.7	13.6	34.0	17.4	20.2
	安威川以南圏域	343	25.7	9.0	3.8	24.8	33.2	54.8	15.2	36.2	14.6	29.2
中学校区	第一中学校	214	22.4	12.1	2.3	25.7	38.3	54.7	15.9	36.0	16.8	22.4
	第二中学校	126	27.8	8.7	3.2	27.0	34.9	57.9	7.1	34.1	18.3	25.4
	第三中学校	184	25.0	8.2	4.9	26.6	29.9	49.5	10.9	31.5	17.9	17.4
	第四中学校	123	22.0	9.8	3.3	20.3	34.1	49.6	21.1	32.5	11.4	31.7
	第五中学校	87	28.7	9.2	5.7	29.9	28.7	59.8	18.4	44.8	13.8	32.2

単位：％

	母数 (n)	今後拡充が重要な高齢者福祉施策(5LA)									
		フ道 り 路 や 施 設 の バ リ ア	備 高 齢 者 向 け 住 宅 の 整	活 ポ ラ ン テ イ ア や 地 域	づ 住 民 が 支 え 合 う 地 域	り 世 代 間 交 流 の 場 づ く	成 介 護 に 係 る 人 材 の 育	実 な 災 害 の 時 に 支 援 体 制 が 必 要	そ の 他	無 回 答	
全体	734	18.9	13.5	6.0	7.4	4.4	14.4	26.8	1.0	12.4	
性・年齢	男性 64歳以下	9	33.3	22.2	22.2	-	11.1	33.3	33.3	-	11.1
	65～74歳	46	30.4	17.4	4.3	10.9	6.5	23.9	39.1	-	4.3
	75歳以上	203	16.3	9.4	4.4	9.9	3.4	8.4	25.6	1.5	15.3
	女性 64歳以下	13	15.4	7.7	7.7	-	-	7.7	15.4	-	15.4
	65～74歳	61	26.2	23.0	8.2	6.6	1.6	13.1	32.8	-	11.5
75歳以上	401	17.7	13.7	6.0	6.2	4.7	16.2	25.4	1.0	12.0	
圏域	安威川以北圏域	391	19.9	15.1	5.6	7.4	3.8	15.6	24.0	0.3	13.3
	安威川以南圏域	343	17.8	11.7	6.4	7.3	5.0	13.1	30.0	1.7	11.4
中学校区	第一中学校	214	22.9	14.5	7.5	5.6	4.7	14.5	23.4	0.5	12.6
	第二中学校	126	19.0	15.1	4.8	4.8	4.8	15.9	31.0	-	14.3
	第三中学校	184	16.3	15.2	4.3	9.2	2.7	16.8	25.0	0.5	14.1
	第四中学校	123	20.3	13.8	7.3	8.1	7.3	8.9	32.5	1.6	8.9
	第五中学校	87	12.6	4.6	5.7	10.3	2.3	14.9	25.3	3.4	10.3

【要介護度】

- 「認知症施策の充実」は、要支援1・2が8.1%であるのに対し、要介護1以上では約2割と多くなっています。
- 「介護している家族等の支援」は、要支援1・2が24.4%であるのに対し、要介護1以上では約4～5割と多くなっています。
- 「介護に係る人材の育成」は、要介護3～5が23.5%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	今後拡充が重要な高齢者福祉施策(5LA)									
			実防健康 のため のりや の施 策の 充 予	ンツ生 活動レ のク習 の機や 会のエ の充ス 実シポ ヨ	就 労 支 援	在 宅 サ ー ビ ス の 充 実	の 一 声 か け や 見 守 り な ど	( 2 4 時 間 ) 突 然 の 体 調 不 良 時 の	認 知 症 施 策 の 充 実	の 介 護 し て い る 家 族 等	施 設 サ ー ビ ス の 充 実	移 動 手 段 の 充 実
全体		734	24.7	9.8	3.7	25.7	33.8	53.7	14.3	35.0	16.1	24.4
要 介 護 度	要支援1・2	320	27.8	10.3	2.5	23.8	35.0	55.0	8.1	24.4	13.4	24.1
	要介護1・2	277	23.8	8.7	4.0	27.1	34.7	50.9	19.1	40.8	18.1	25.6
	要介護3～5	136	18.4	11.0	5.9	27.9	29.4	55.9	19.1	48.5	18.4	22.8

単位：%

		母数 (n)	今後拡充が重要な高齢者福祉施策(5LA)								無 回 答
			フ道 路 や 施 設 の バ リ ア	備高 齢 者 向 け 住 宅 の 整	活ポ 動 の 支 援 や ア や 地 域 介	づ住 民 が 支 え 合 う 地 域	り世 代 間 交 流 の 場 づ く	成介 護 に 係 る 人 材 の 育	実な 災 害 の 時 に 支 援 体 制 が 必 要	そ の 他	
全体		734	18.9	13.5	6.0	7.4	4.4	14.4	26.8	1.0	12.4
要 介 護 度	要支援1・2	320	18.4	14.1	5.3	8.1	2.8	11.9	28.1	0.6	15.0
	要介護1・2	277	19.1	13.0	7.9	6.1	5.4	12.6	25.6	1.1	10.8
	要介護3～5	136	19.9	13.2	2.9	8.1	5.1	23.5	26.5	1.5	9.6

(2) ご意見

●問35 在宅介護について、記載したいことがあれば、ご記入ください。(自由記述)

【自由意見(主な意見)】

①在宅介護の継続について

主な意見
■ 介護者も高齢のため、いつまで在宅介護を続けられるのか不安。
■ できることなら最期まで在宅生活を継続したいが、介護者も年々不調が出てきており、いつまで続けられるか不安。
■ 住み慣れたところで生活するのが一番良い。
■ いつまで自宅で過ごせるか心配。高齢者が一人でいると近所の人から心配されるが、心配をかけたくない。

②介護者(家族)に対する支援について

主な意見
■ 介護をする家族に対しての支援が必要。
■ 日中の家事や介護を手伝って貰っているが、なかなか外出出来ず、自分のまとまった時間を連続してとれない。2人で介護をしているが、夜間も起こされるので、仕事の融通をしてもらっているものの、心身共に休まらない。
■ 介護者も歳を取っていくが、病気になっても病院に行く時間がとれない。
■ 介護者が悩んだときにはケアマネジャーや行政に相談しているが、もっと相談や話ができる場所があればうれしい。

③介護者の仕事と介護の両立について

主な意見
■ 介護をしている人が、1日2~3時間、週に1~2日でも働けるような場所を、市役所等が窓口になって紹介してほしい。どこで聞いても、介護中だと難しいと言われる。
■ 仕事をしながら介護をしようと思っても、介護を優先せざるを得ず、働きたくても仕事ができなくなる。介護と両立できる仕事をもっとあればと思う。
■ 今後、介護を続けながら今まで通りの仕事ができるか不安。
■ 両親とも介護サービスを受けており、子ども2人で分担して介護をしているが、仕事を続けていくのが難しい状態。
■ 私は現在パートで働いている。介護を受ける本人は年金で施設に入ることができるかもしれないが、私が働けなくなったときに、私自身が経済的に生活をしていけるのか心配。

④介護保険事業の利用について

主な意見
■ 同居者がいるということで、掃除してもらえない場所がある。「制度だから」と型にはまった支援しか受けられない。
■ ショートステイを利用しやすくしてほしい。
■ ケアマネジャーがいろいろと手配をしてくださるので助かっている。

⑤必要とする支援について

主な意見
■ 外出の際の送迎や車をボランティアで使えるよう希望。
■ デイサービス以外で、介護者が仕事などで外出している際に、見守りをしてもらい、家族以外の人とコミュニケーションをとれる場所があればよいと思う。
■ 後期高齢者のみの2人暮らしの家庭を行政がもっと見守ってほしい。
■ 今後在宅介護になった場合に、週に何度か医師や看護師に訪問してもらえると安心。

⑥経済的な支援、負担について

主な意見
■ 介護を受けるのにかかる金額が大きい。非課税者には負担軽減があるが、課税者にはない。毎月ギリギリで生活している。
■ 老人医療費助成や紙おむつ券が廃止され、毎日の生活が大変。

⑦認知症への対応について

主な意見
■ わけがわからないことを言ったり、行動したりするときの対応が難しい。
■ これから認知症が進んだ場合が心配。

⑧介護を必要とする人への接し方について

主な意見
■ 本人の希望を第一に聞いていただき「制度だから」と決めつけず、温かく見守ってほしい。
■ ヘルパーに迷惑をかけたくない。でも、死にたくない。生きたい。私も頑固ですが、ヘルパーも十人十色。このような思いを汲み取ってもらえればと思います。



⑨その他

主な意見
■ 今は家族の支援があって生活できているが、今後家族に何かあったときに、どのような場所でどのような支援を受けることができるのか、勉強しておきたい。
■ 本人が介護を受けることを嫌がるので困る。
■ すべての人が若い時から家事全般や身の回りのことを一通りできるようにならないと、今後の介護は立ち行かない。そうしたことの周知が必要。

## 6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果

この章では、国において、在宅介護実態調査を活用する5つの検討項目についての集計を掲載しています。

5つの検討項目は下記の通りです。

- (1) 要介護者の在宅生活の継続のための支援・サービスの提供体制の検討
- (2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討
- (3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討
- (4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討
- (5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

なお、この章での介護保険サービスの利用状況・利用回数については、アンケート調査の回答ではなく、直近の介護認定を受ける際の認定調査時のデータとなります。

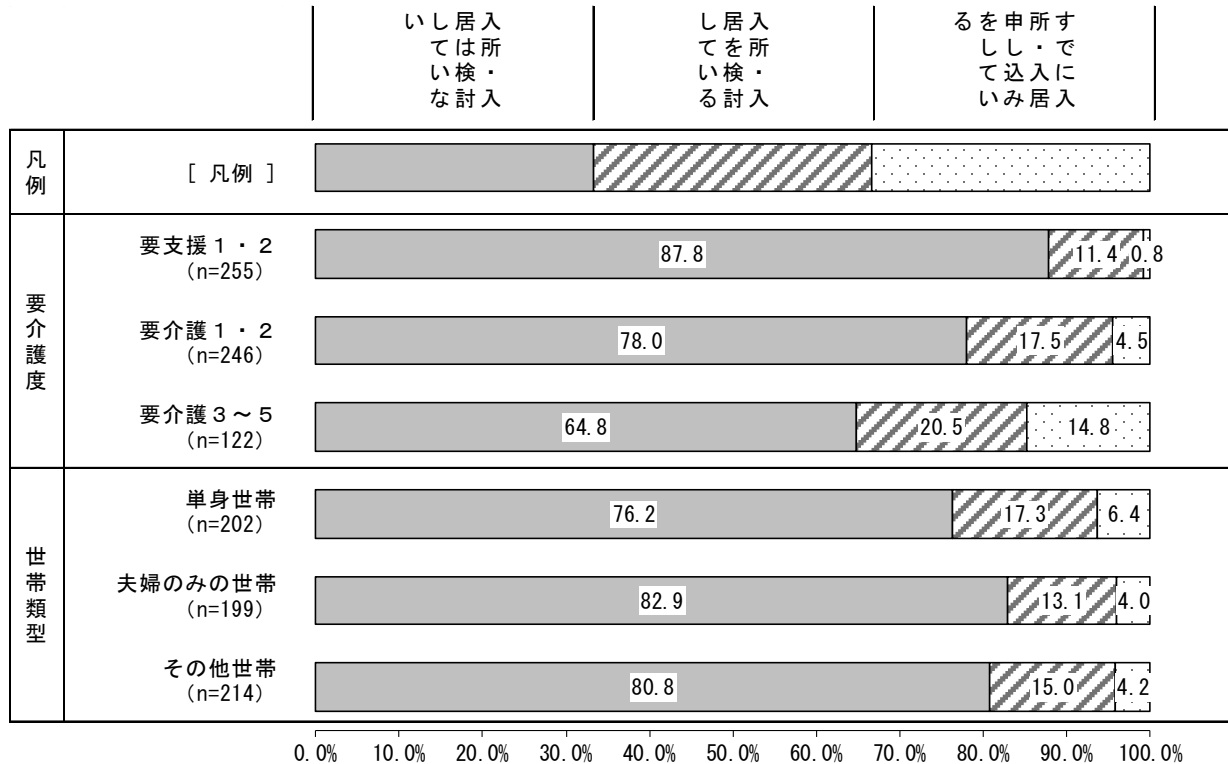
また、介護サービスの「0回」「未利用」には、新規申請によるサービス未利用者を含みます。

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 在宅生活の継続が困難になり得る状況

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3～5では、「入所・入居を検討している」が20.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.8%となっています。  
**【世帯類型】**  
 ○ 単身世帯では、「入所・入居を検討している」が17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.4%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

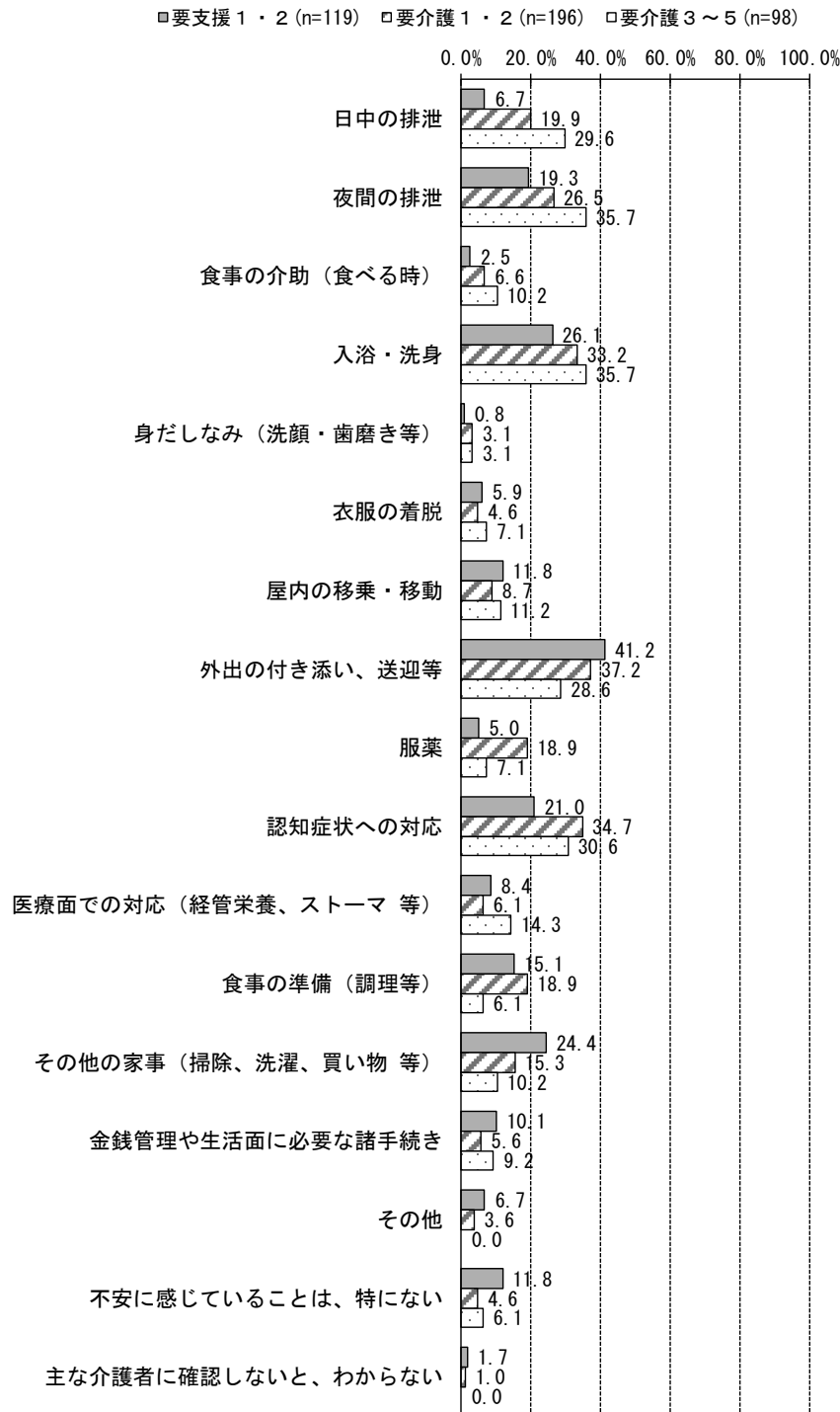


② 在宅限界点となり得る介護の内容

**【要介護度】**

- 要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」が41.2%で最も多くなっています。
- 要介護1・2では、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「入浴・洗身」が3割以上と多くなっています。
- 要介護3～5では、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症状への対応」が3割以上と多くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】

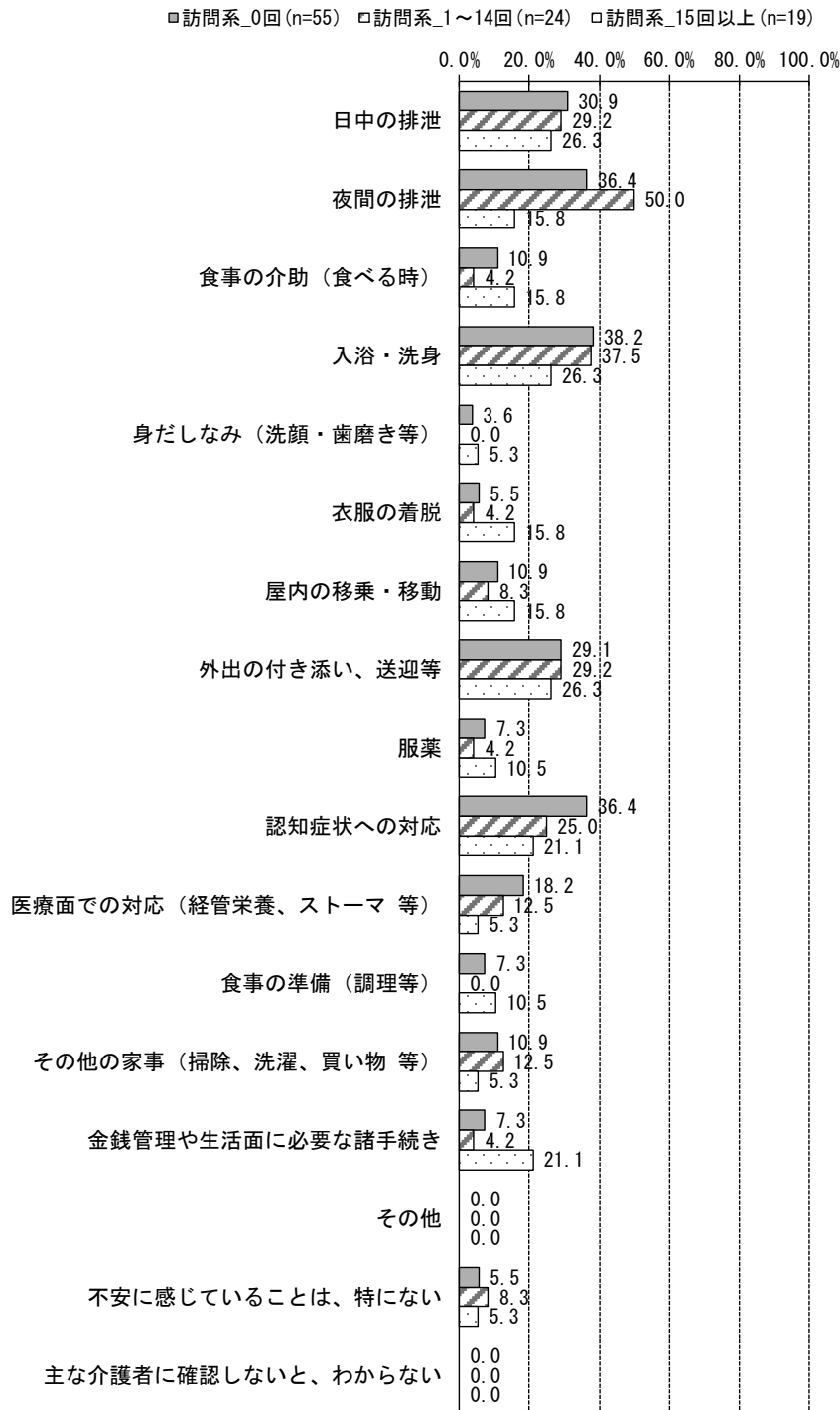


③ 在宅生活の継続に寄与する可能性のあるサービス

**【訪問系サービスの利用回数(要介護3以上)】**

- 要介護3以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「認知症状への対応」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が少なくなっています。

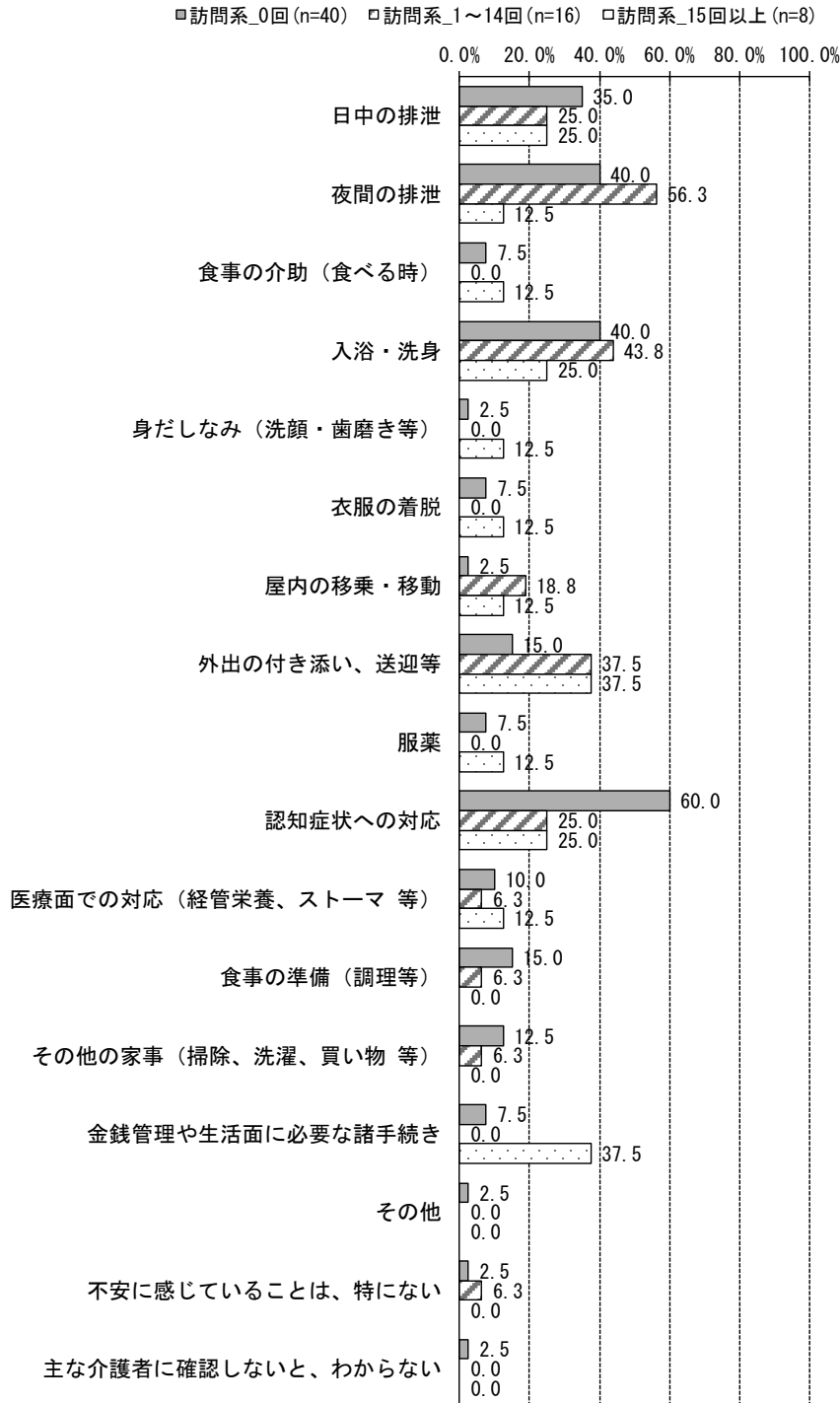
**【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(要介護3以上)】**



【訪問系サービスの利用回数(認知症自立度Ⅲ以上)】

- 認知症自立度Ⅲ以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「日中の排泄」「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が少なくなっています。

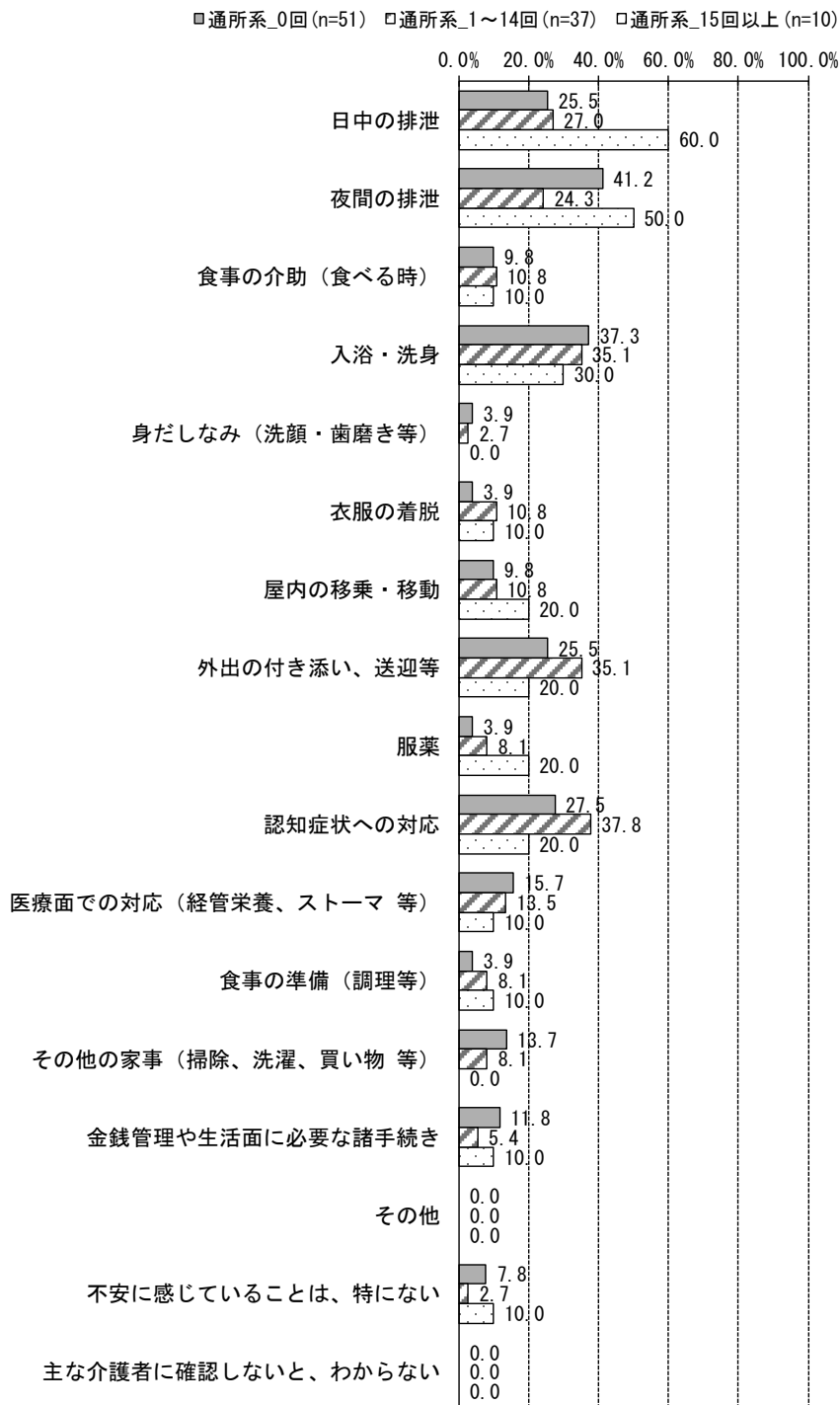
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(認知症自立度Ⅲ以上)】



【通所系サービスの利用回数(要介護3以上)】

- 要介護3以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「入浴・洗身」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 通所系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が少なくなっています。

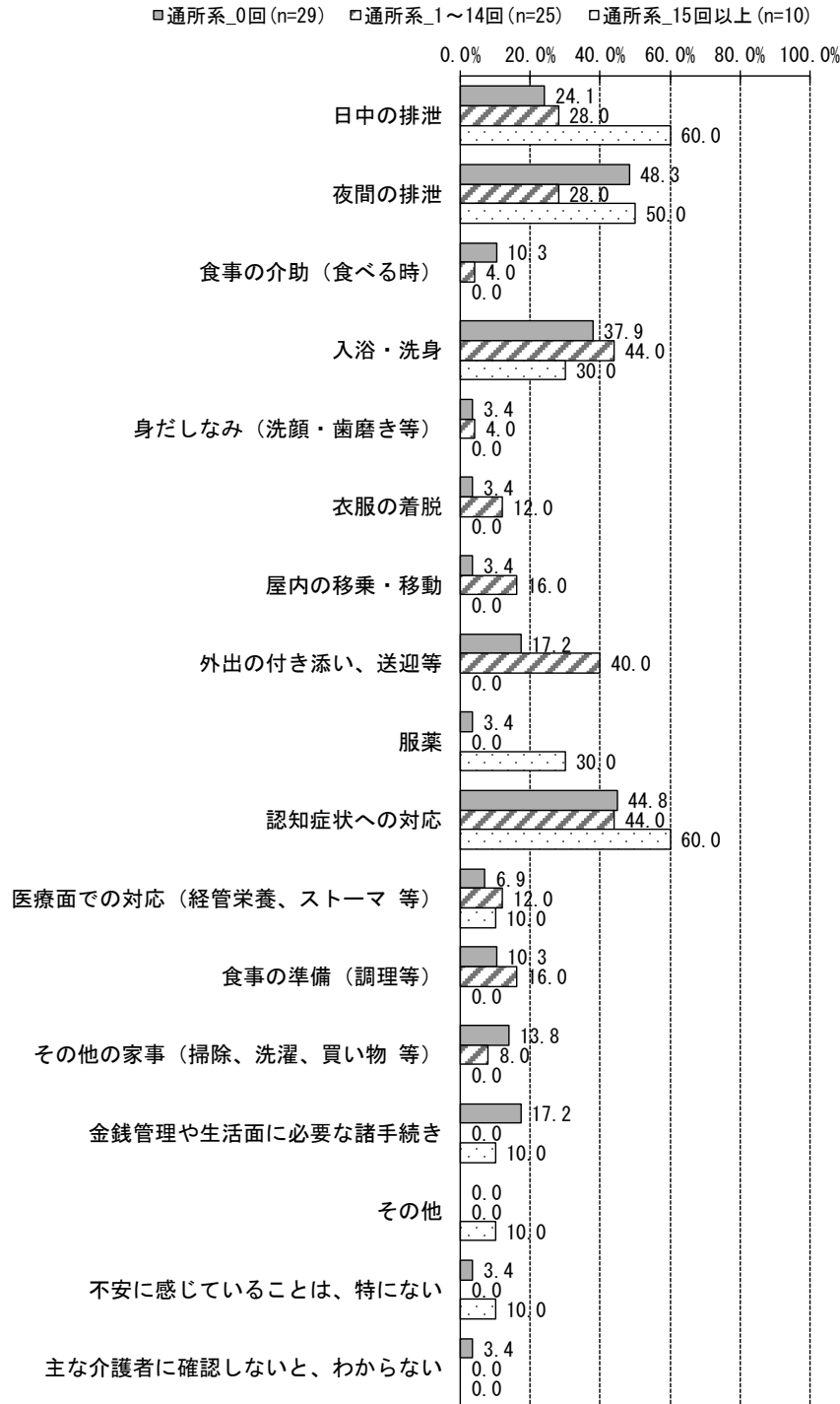
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(要介護3以上)】



【通所系サービスの利用回数(認知症自立度Ⅲ以上)】

- 認知症自立度Ⅲ以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「食事の介助(食べる時)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 通所系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(認知症自立度Ⅲ以上)】

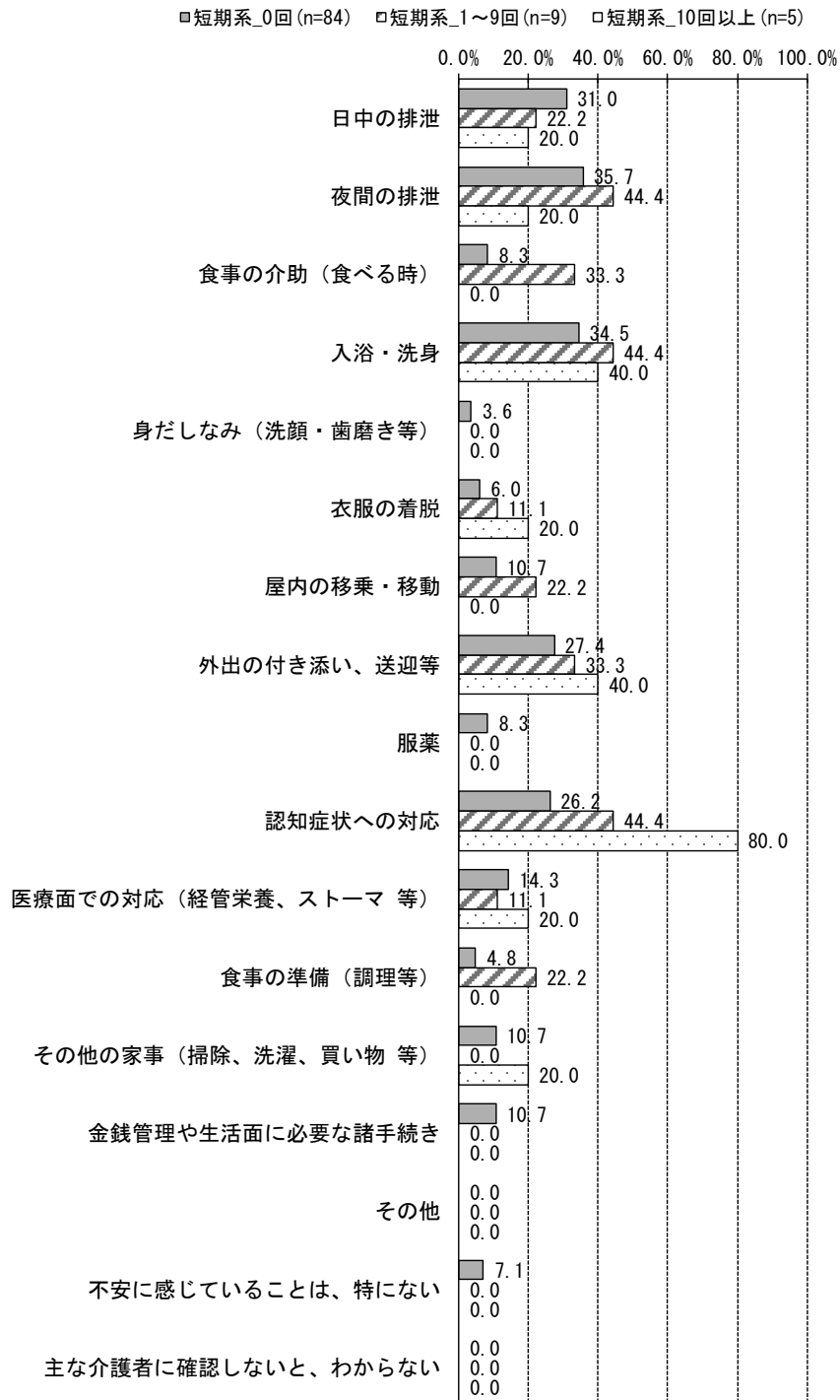




【短期系サービスの利用回数(要介護3以上)】

- 要介護3以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「日中の排泄」「服薬」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 短期系サービスを月10回以上利用している人では9回以下の人に比べて、「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」が少なくなっています。

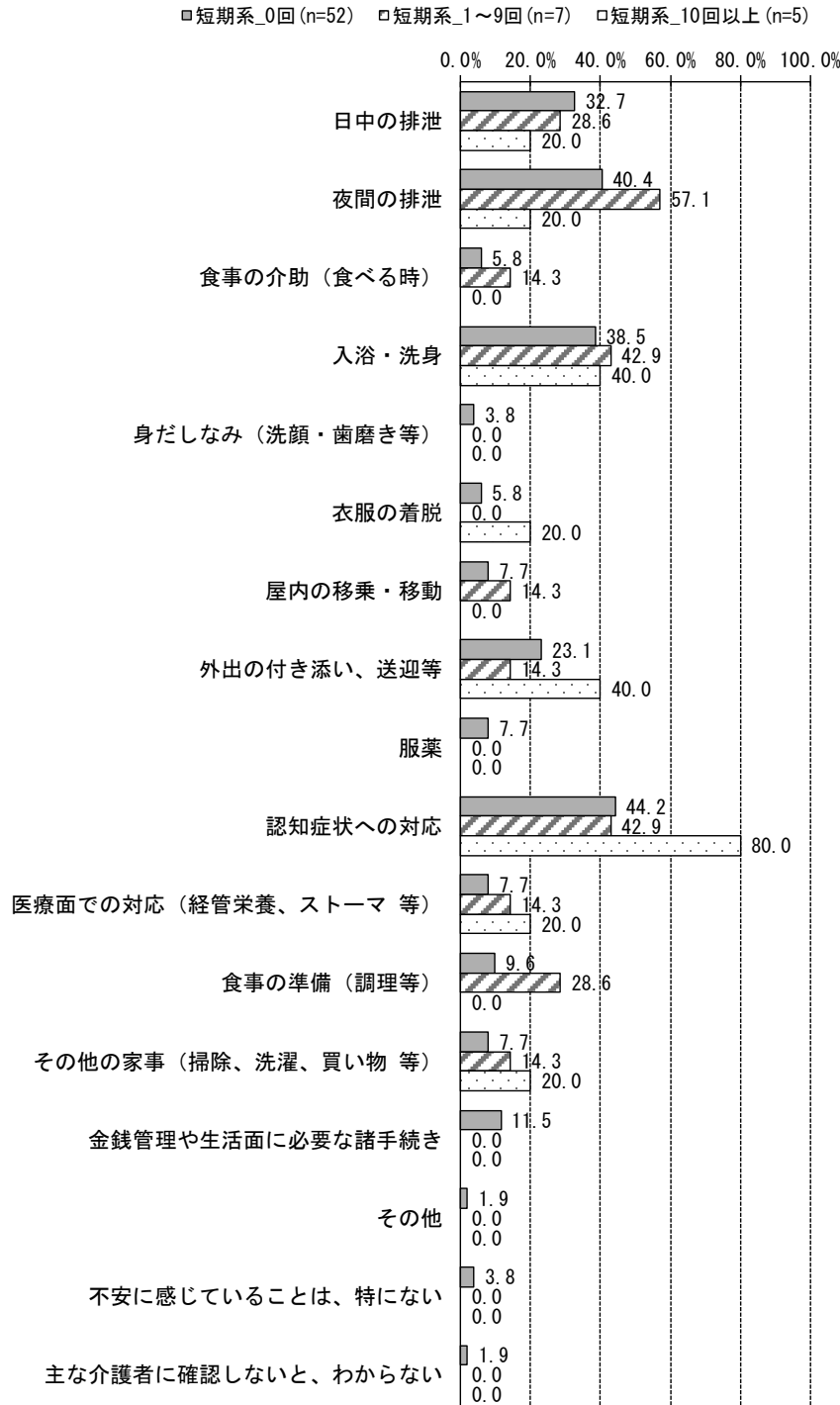
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(要介護3以上)】



【短期系サービスの利用回数(認知症自立度Ⅲ以上)】

- 認知症自立度Ⅲ以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「日中の排泄」「服薬」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 短期系サービスを月10回以上利用している人では9回以下の人に比べて、「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」「屋内の移乗・移動」「食事の準備(調理等)」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)(認知症自立度Ⅲ以上)】

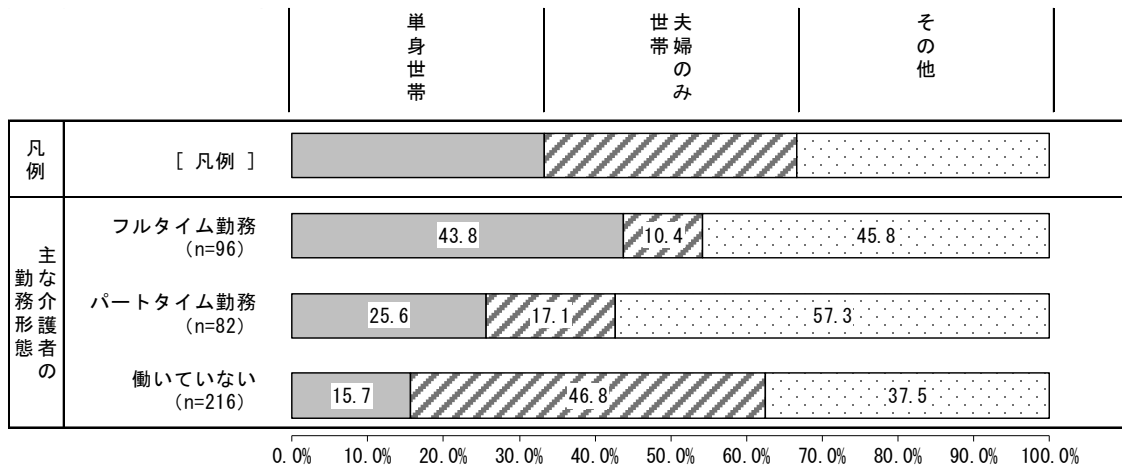


(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討

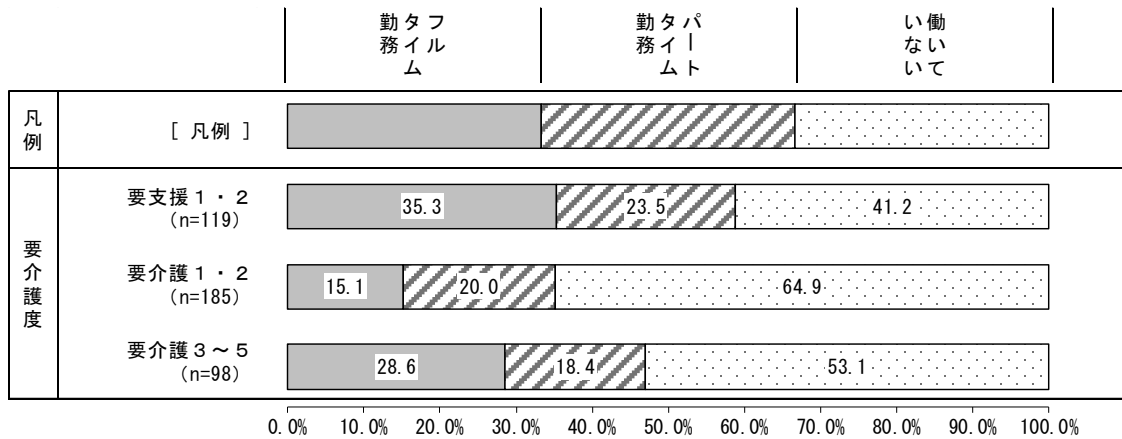
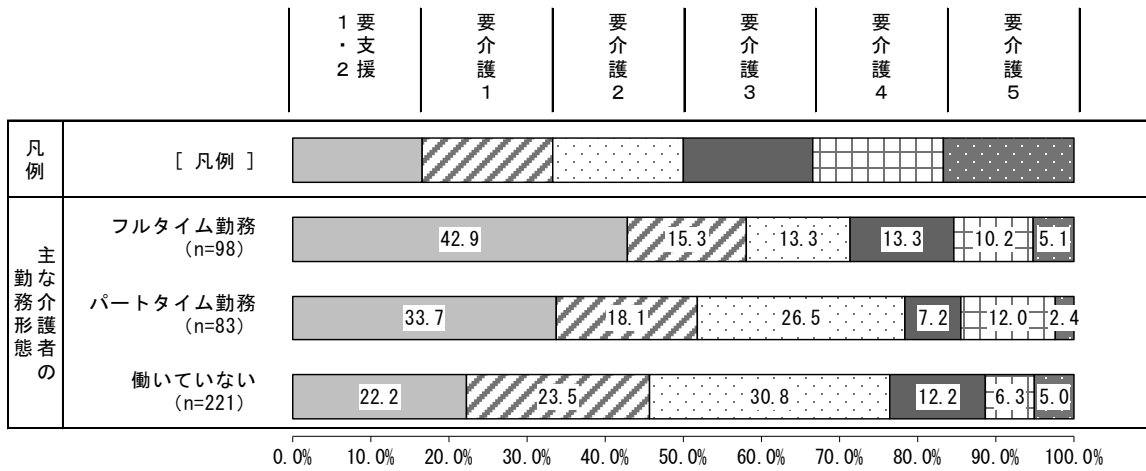
① 就労継続が困難になり得る状況

【調査の対象者の世帯類型】  
 ○ フルタイム勤務では、「単身世帯」が43.8%となっています。  
 【調査の対象者の要介護度】  
 ○ 勤務時間が短くなるほど要介護1以上が多くなる傾向がみられます。特に、要介護1・2で「パートタイム勤務」「働いていない」が多くなっています。

【調査の対象者の世帯類型】



【調査の対象者の要介護度】



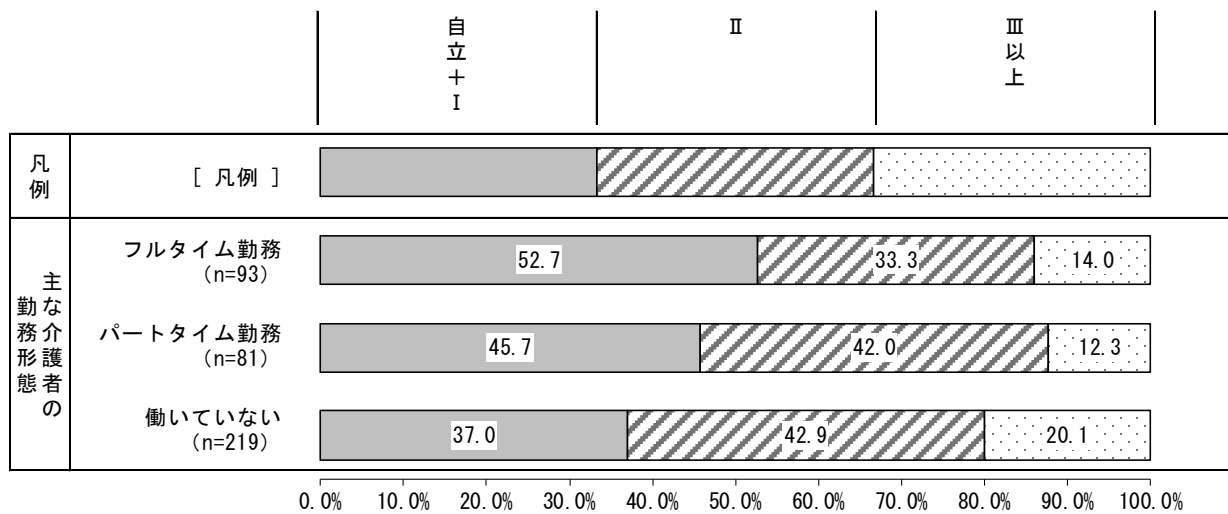
【調査の対象者の認知症自立度】

- フルタイム勤務では、「Ⅱ」が 33.3%であるのに対し、パートタイム勤務、働いていない人では4割以上となっています。
- 働いていない人では、「Ⅲ以上」が 20.1%と他の勤務形態区分に比べて多くなっています。

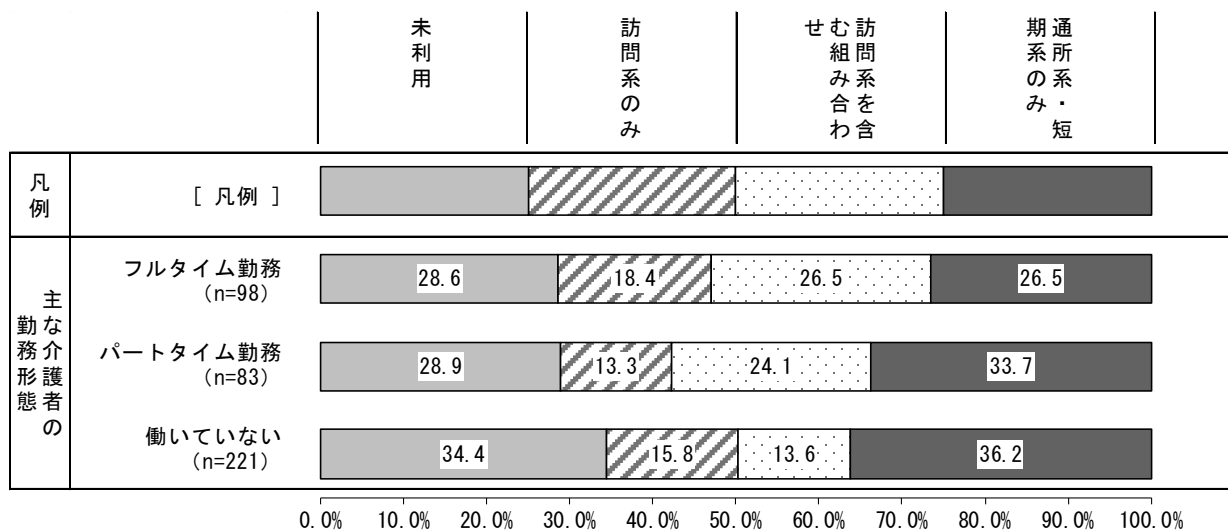
【サービス利用の組み合わせ】

- 勤務時間が短くなるほど「通所系・短期系のみ」が多くなる傾向がみられます。
- フルタイム勤務、パートタイム勤務では、「訪問系を含む組み合わせ」がそれぞれ 26.5%、24.1%であるのに対し、働いていない人では 13.6%となっています。
- 働いていない人では、「未利用」が 34.4%と他の勤務形態区分に比べて多くなっています。

【調査の対象者の認知症自立度】

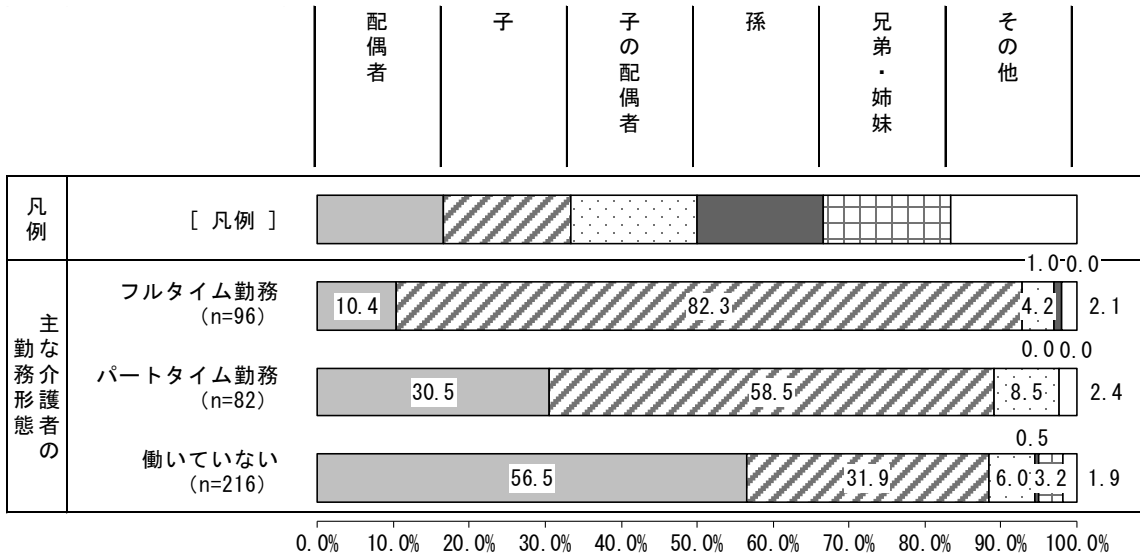


【サービス利用の組み合わせ】

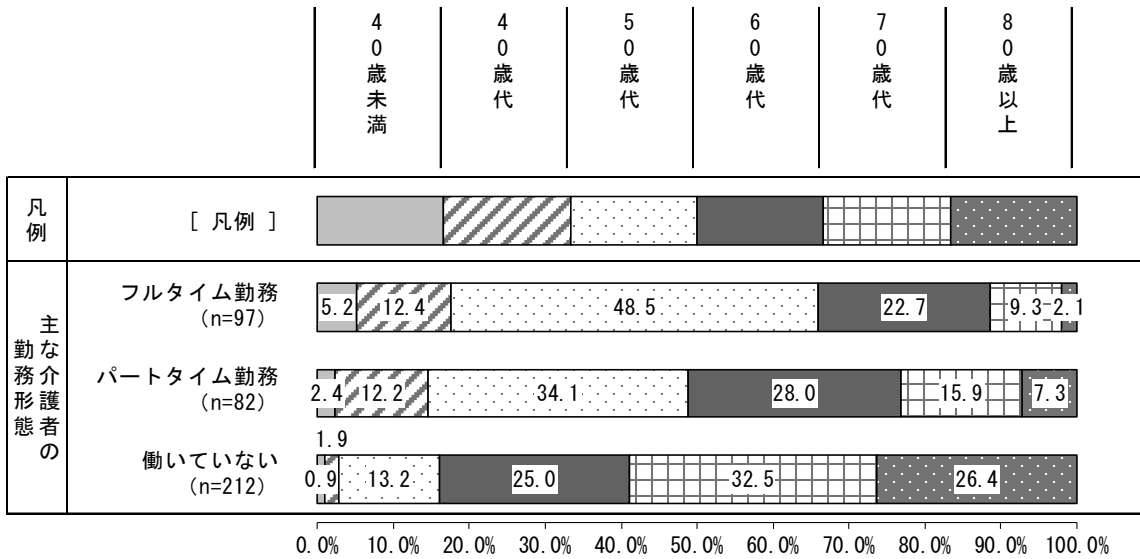


**【主な介護者】**  
 ○ 勤務時間が長くなるほど「配偶者」が少なく「子」が多くなる傾向がみられます。  
**【主な介護者の年齢】**  
 ○ 勤務時間が短くなるほど高齢になる傾向がみられます。

【主な介護者】



【主な介護者の年齢】

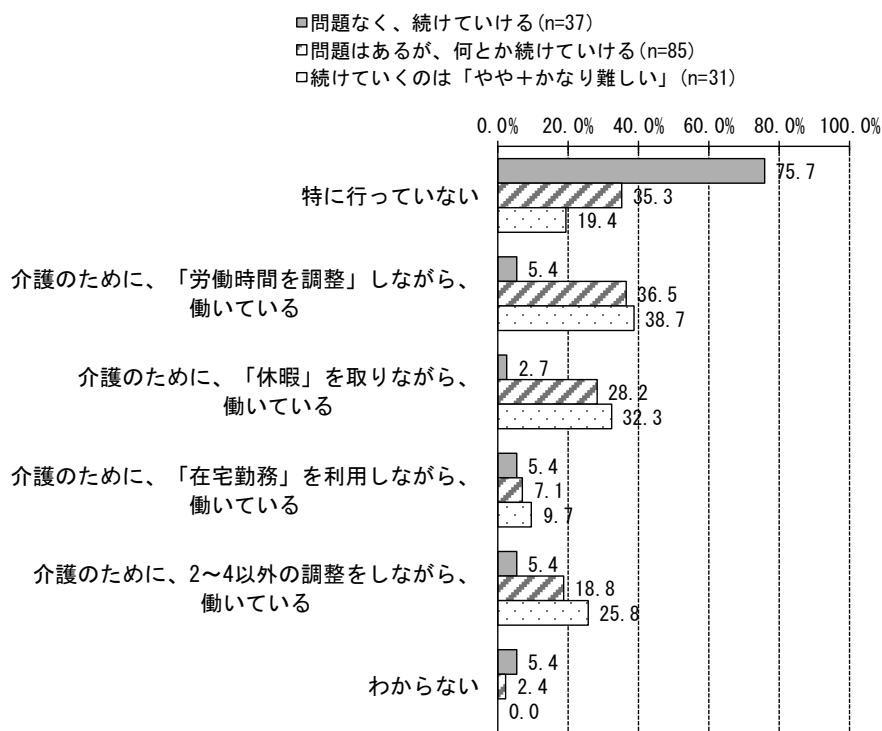


② 就労継続のために必要な支援

【今後の仕事と介護の両立】

- 問題はあるが、何とか続けていける人では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 36.5%と多くなっています。
- 続けていくのは難しい人では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 38.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 32.3%と多くなっています。
- 就労の継続が難しくなるほど「特に行っていない」が少なく、そのほかの項目が多くなる傾向がみられます。

【働き方の調整(MA)】

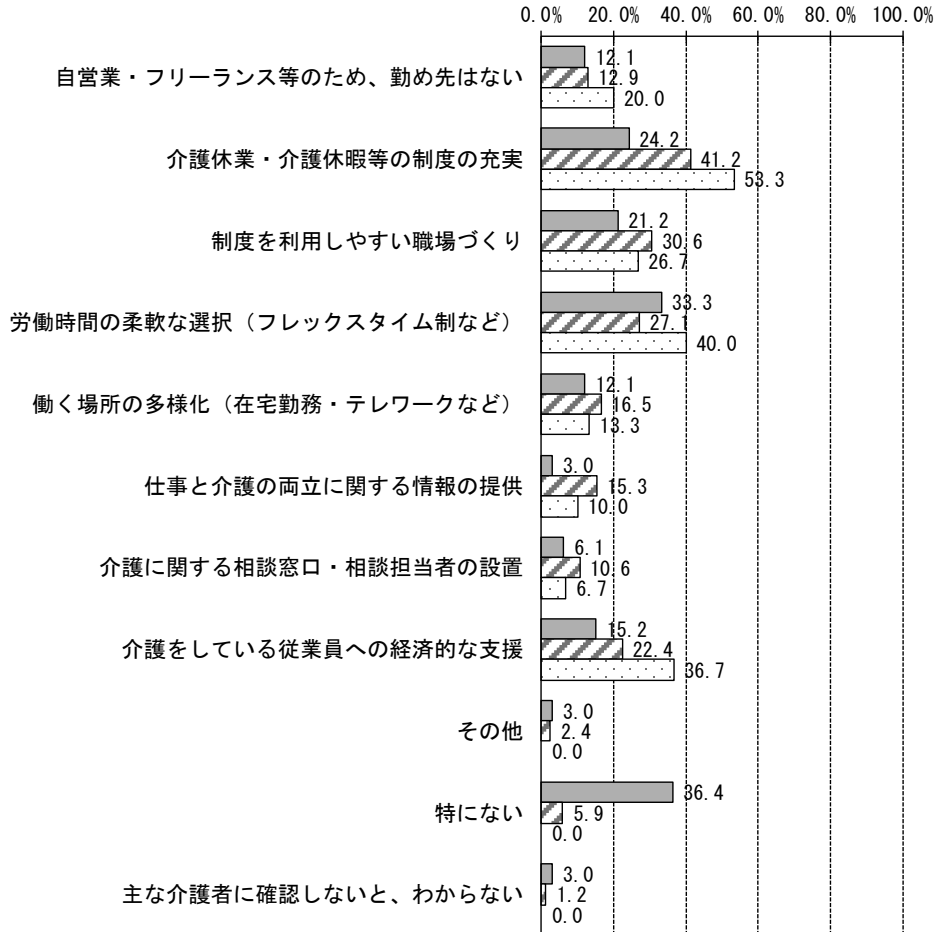


【今後の仕事と介護の両立】

○ 就労の継続が難しくなるほど「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」が多くなる傾向がみられます。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】

- 問題なく、続けていける (n=33)
- ▨問題はあるが、何とか続けていける (n=85)
- 続けていくのは「やや+かなり難しい」 (n=30)



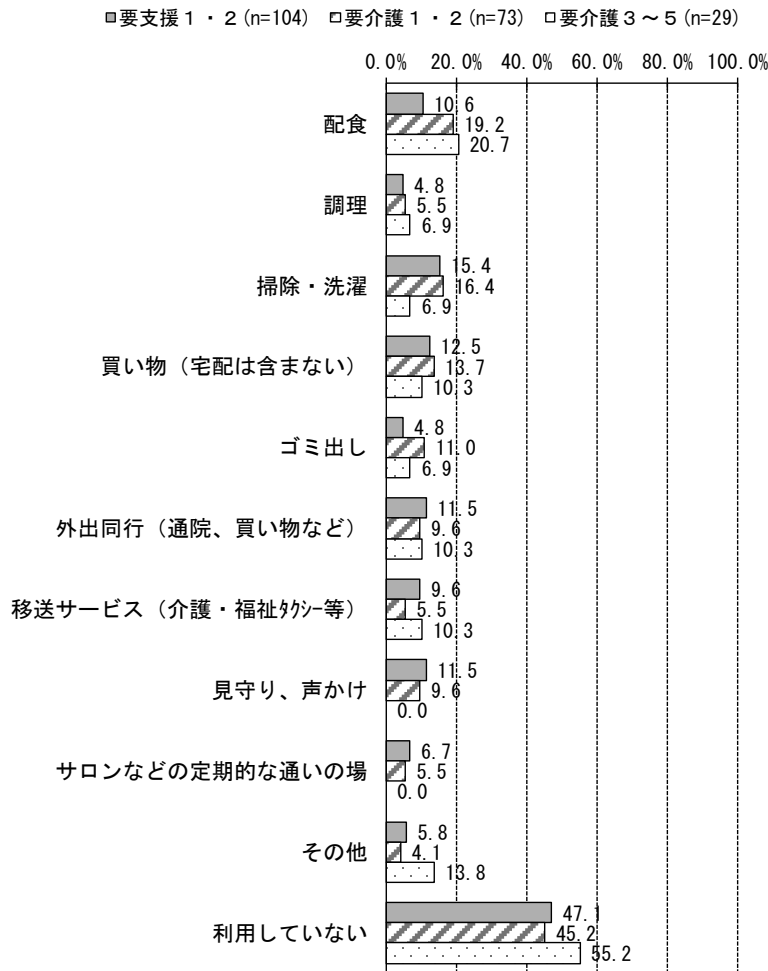
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

【要介護度(単身世帯)】

- 単身世帯では、要介護3～5で「利用していない」が55.2%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。
- 要介護2以下では「掃除・洗濯」、要介護1以上では「配食」が多くなっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)(単身世帯)】

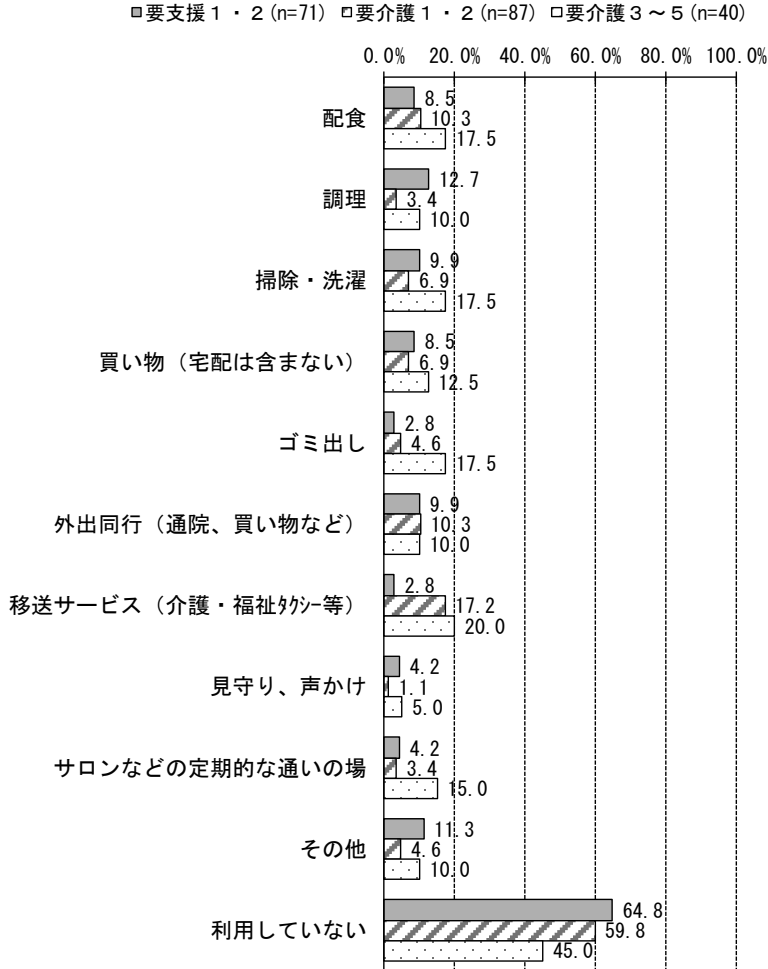




【要介護度(夫婦のみ世帯)】

- 夫婦のみ世帯では、要介護度が上がるほど「利用していない」が少なくなる傾向がみられます。
- 要介護1以上では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が多くなっています。

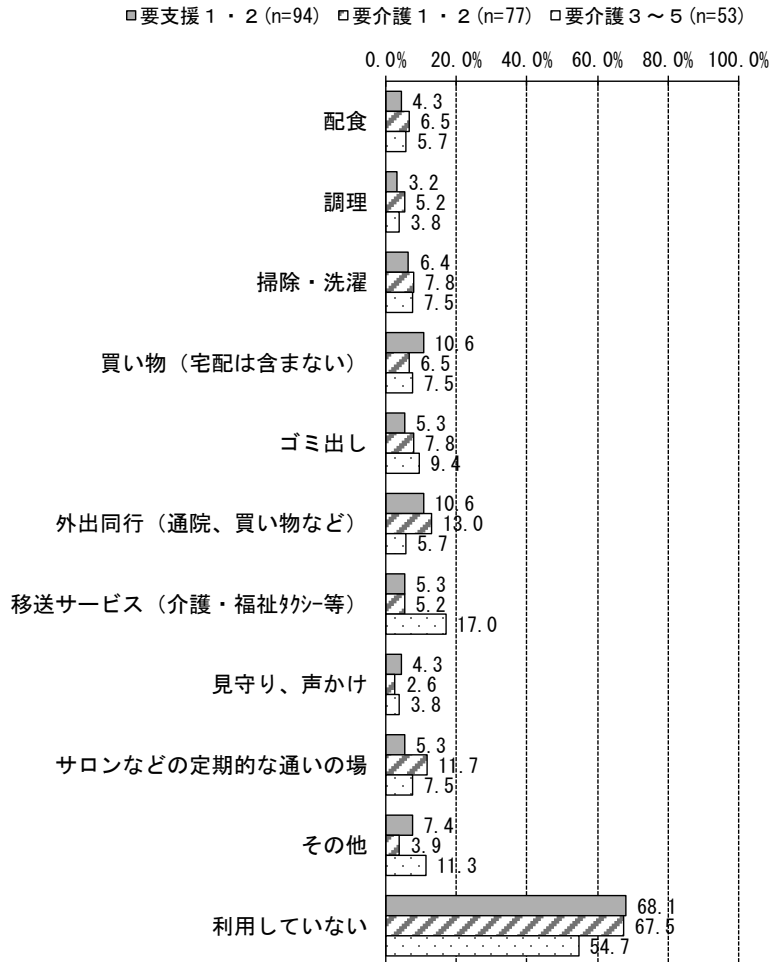
【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)(夫婦のみ世帯)】



【要介護度(その他世帯)】

- その他世帯では、要介護3～5で「利用していない」が54.7%と他の要介護度区分に比べて少なくなっています。
- 要介護3～5では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が多くなっています。

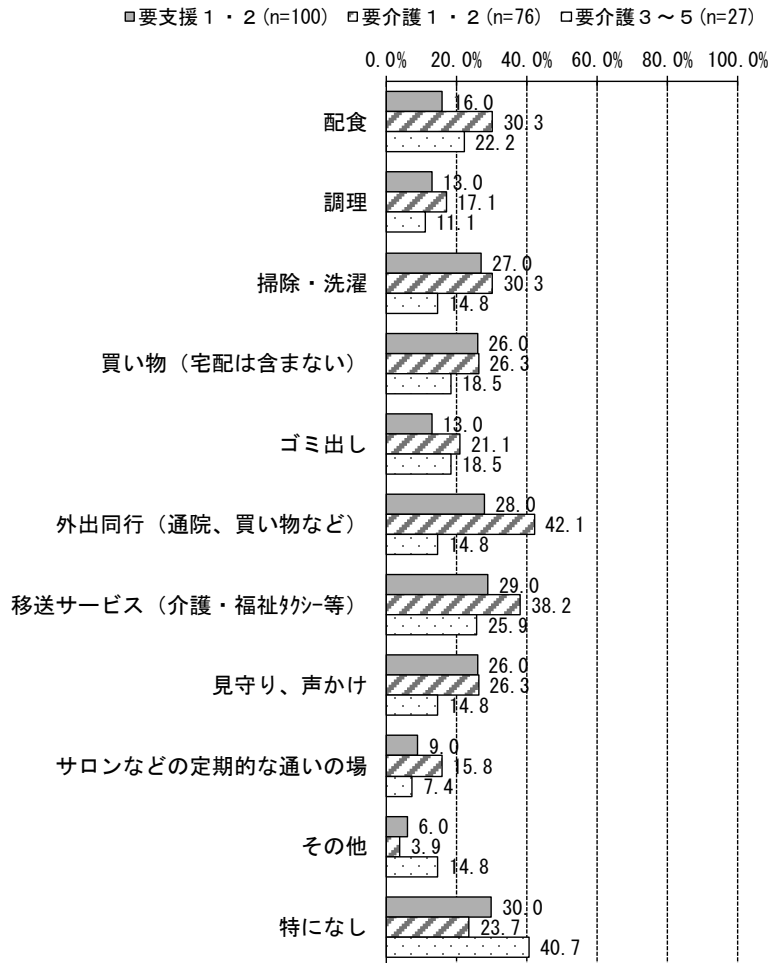
【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)(その他世帯)】



② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

- 【要介護度(単身世帯)】**
- 単身世帯では、要介護3～5で「特になし」が40.7%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。
  - いずれの項目でも現在利用している割合を上回っています。
  - 要介護1・2では、「外出同行(通院、買い物など)」が42.1%で最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が38.2%となっています。

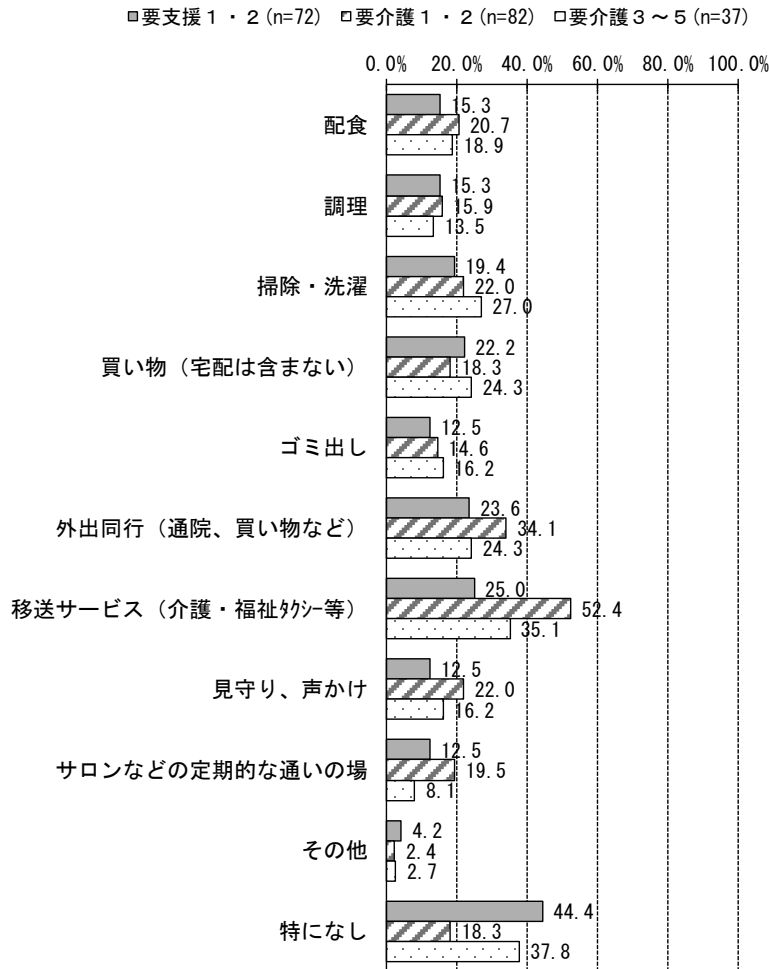
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)(単身世帯)】



【要介護度(夫婦のみ世帯)】

- 夫婦のみ世帯では、要支援1・2、要介護3～5で「特になし」が約4割と多くなっています。
- ほとんどの項目・要介護度区分で、現在利用している割合を上回っています。
- 要介護1・2では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が52.4%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が34.1%となっています。

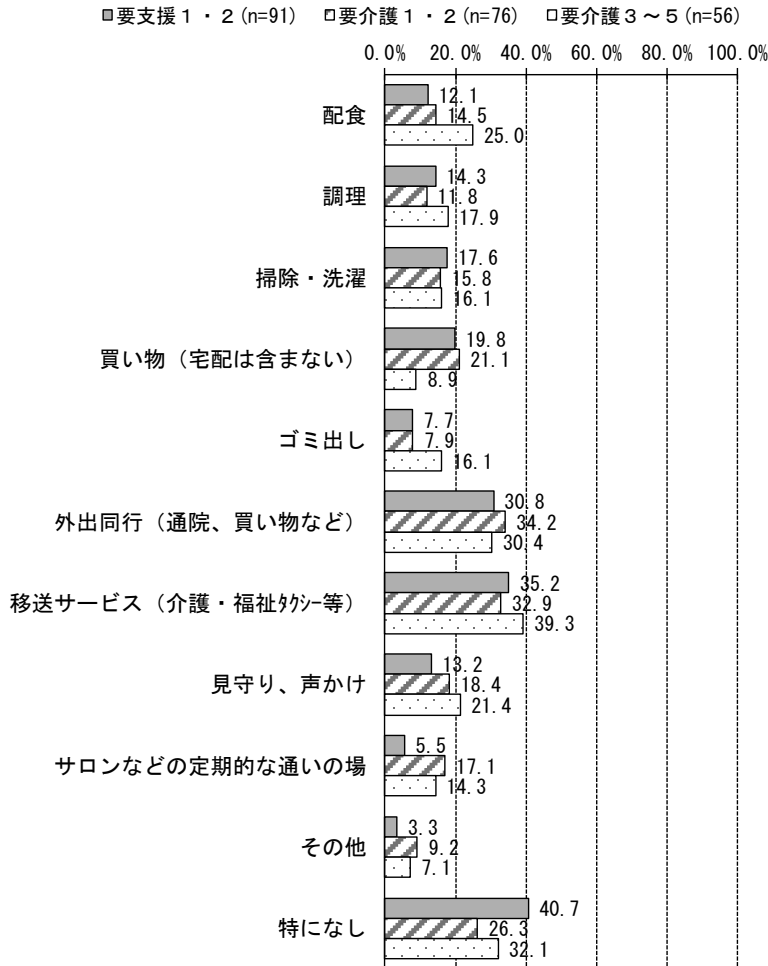
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)(夫婦のみ世帯)】



【要介護度(その他世帯)】

- その他世帯では、要支援1・2で「特になし」が40.7%となっています。
- ほとんどの項目・要介護度区分で、現在利用している割合を上回っています。
- いずれの要介護度でも「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「外出同行(通院、買い物など)」が約3~4割となっています。
- 要介護度が上がるほど「見守り、声かけ」が多くなる傾向がみられます。

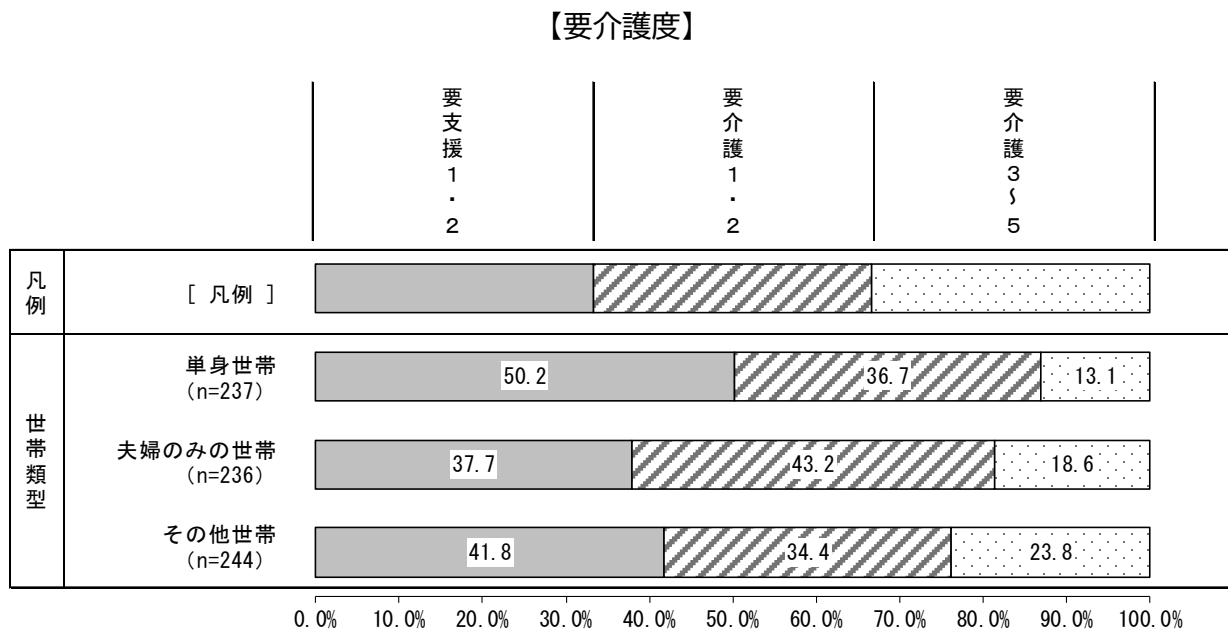
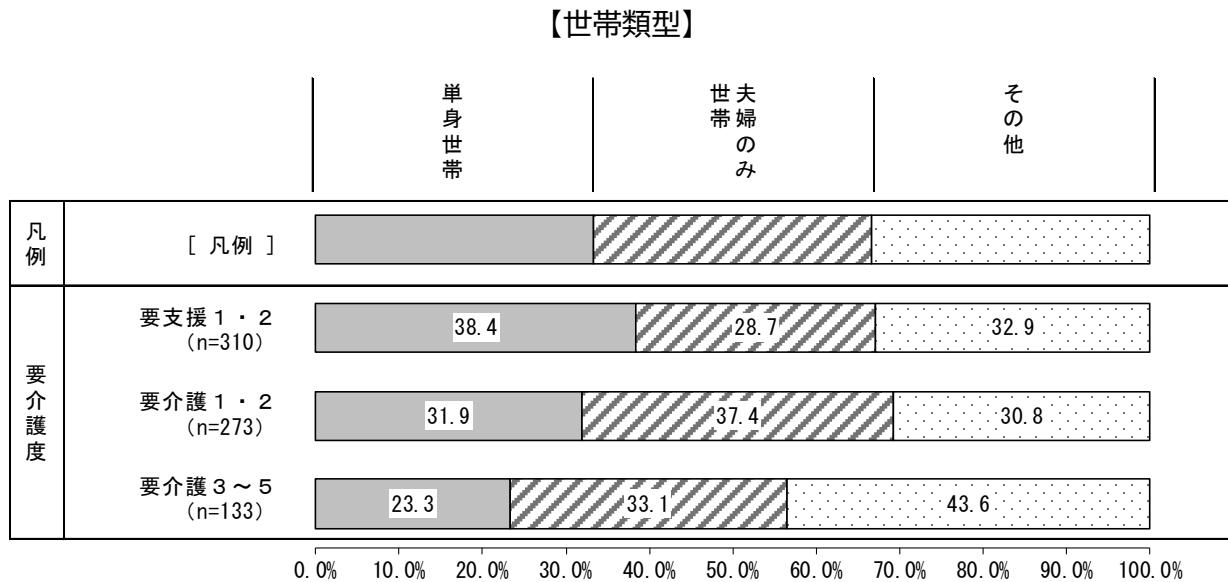
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)(その他世帯)】



(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型と要介護度

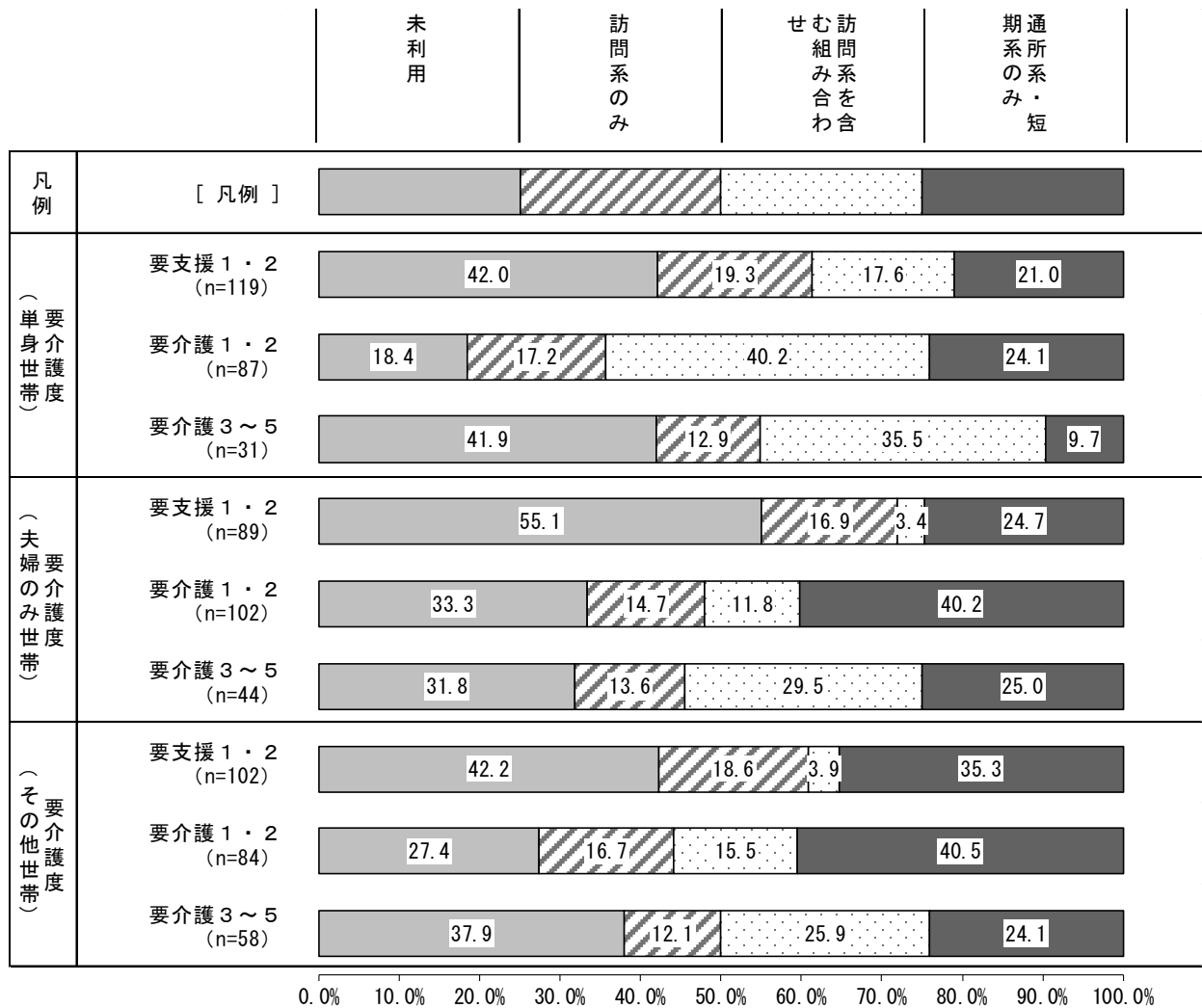
**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。  
**【世帯類型】**  
 ○ 「要介護3～5」は、単身世帯では13.1%、夫婦のみ世帯では18.6%、その他世帯では23.8%となっています。



② 世帯類型ごとのサービス利用の特徴

**【要介護度(世帯類型別)】**  
 ○ 単身世帯では他の世帯に比べて、「訪問系を含む組み合わせ」が多く、「通所系・短期系のみ」が少なくなっています。また、単身世帯の要介護1・2では、「未利用」が18.4%と他の要介護度区分に比べて少なくなっています。

【サービス利用の組み合わせ】

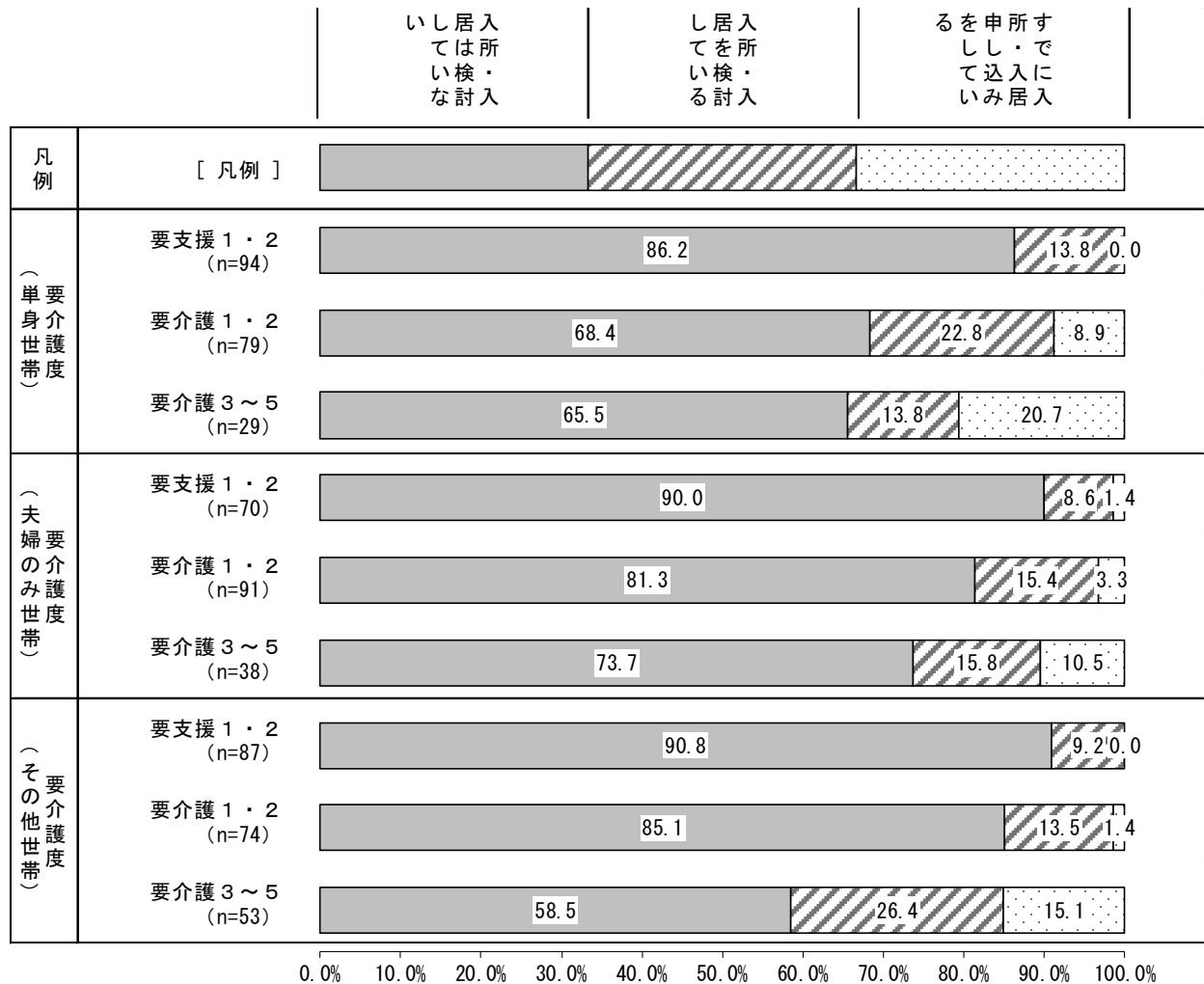


③ 世帯類型ごとの施設等のニーズ

【要介護度(世帯類型別)】

○ 単身世帯では、要介護1・2の「入所・入居は検討していない」が68.4%と他の世帯類型に比べて少なくなっています。また、要介護3～5の「すでに入所・入居申し込みをしている」が20.7%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】





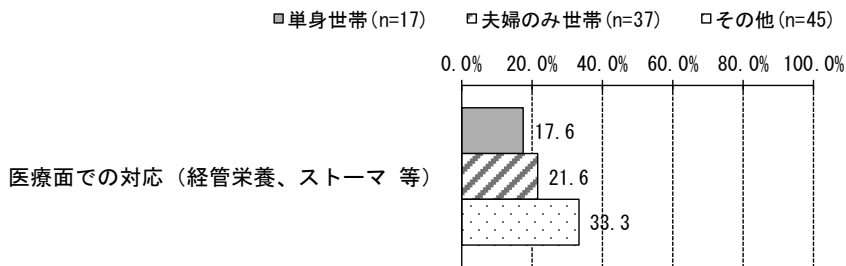
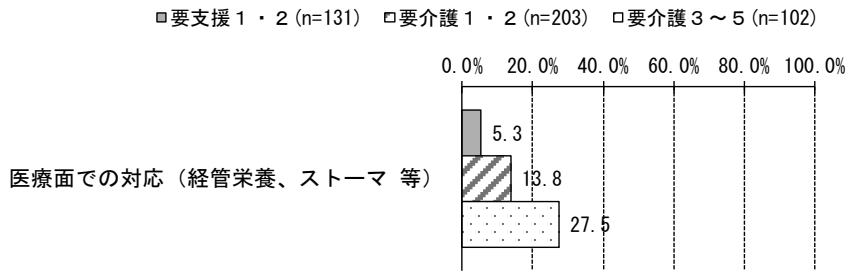
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 医療ニーズの高い在宅療養者

**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど多くなる傾向がみられ、要介護3～5では27.5%となっています。

**【世帯類型】**  
 ○ 単身世帯では17.6%、夫婦のみ世帯では21.6%、その他世帯では33.3%となっています。

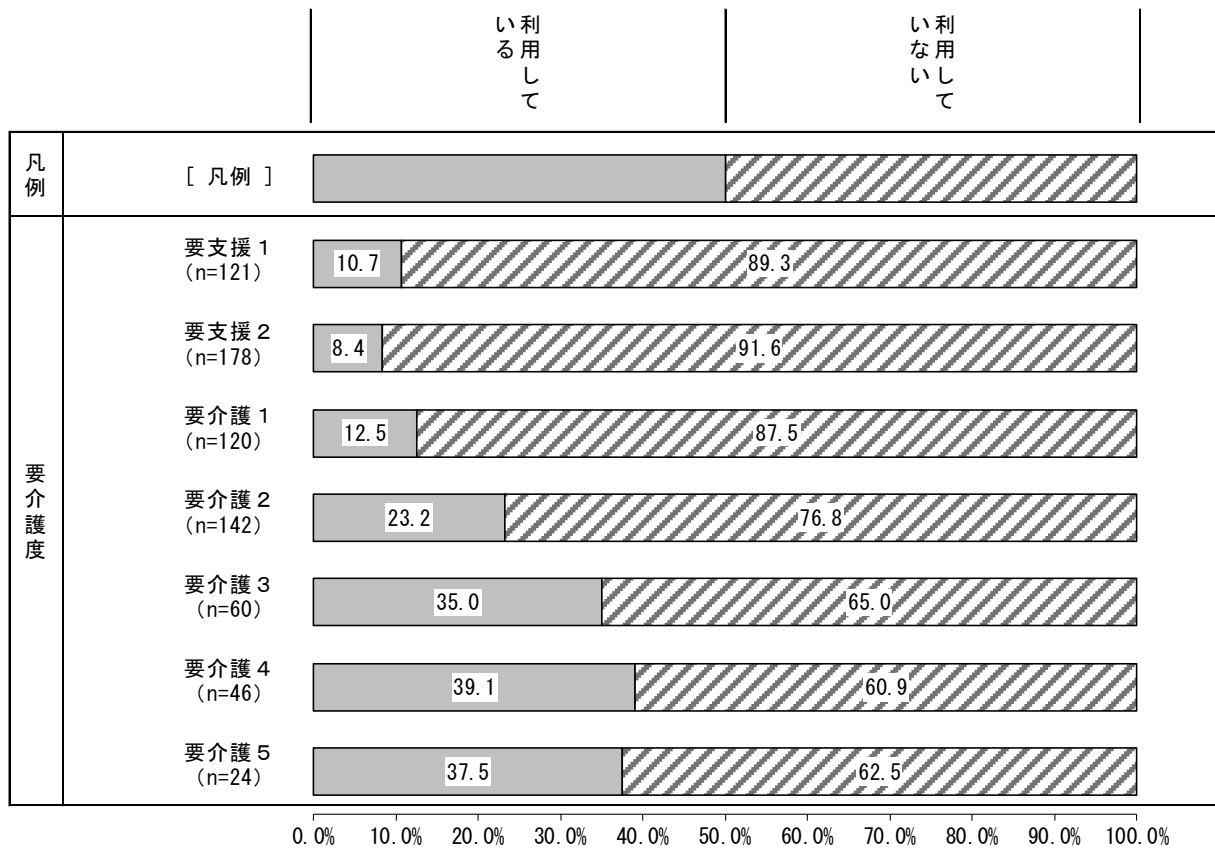
【主な介護者が行う介護(MA)(医療面での対応のみ抜粋)】



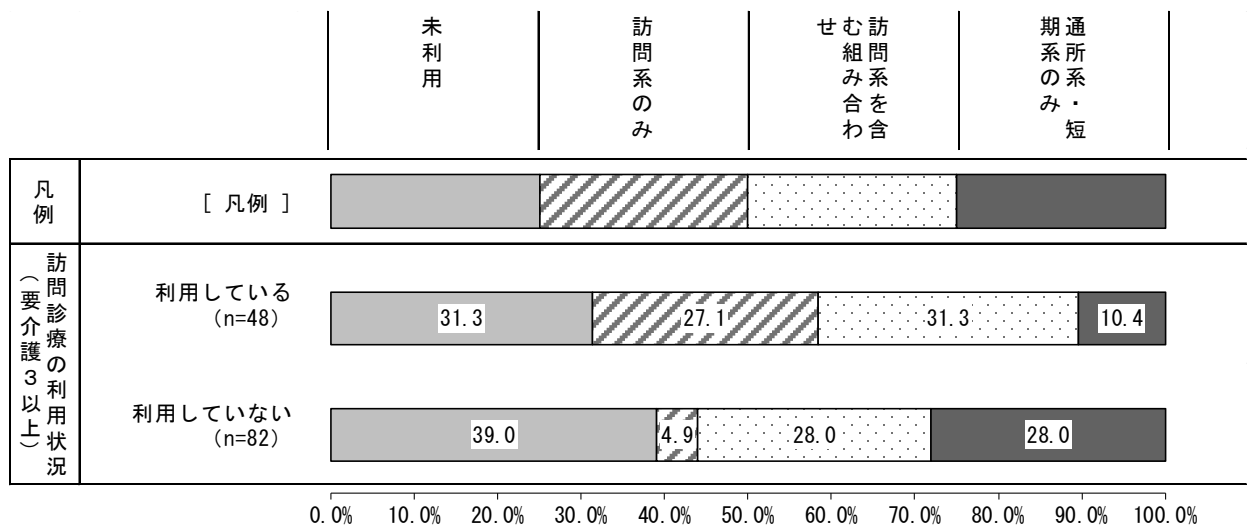
② 訪問診療利用者におけるサービス利用の特徴

**【要介護度】**  
 ○ 要介護度が上がるほど「利用している」が多くなる傾向がみられます。要介護1以下では約1割、要介護2では約2割、要介護3以上では約4割となっています。  
**【サービスの利用状況(要介護3以上)】**  
 ○ 要介護3以上で訪問診療を利用している人では利用していない人に比べて、「訪問系のみ」が多くなっています。

【訪問診療の利用状況】



【サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)】





## 資料編



# 摂津市高齢者の保健福祉に関するアンケート調査

## 【令和4年度 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

### はじめに

市民の皆さまには、日頃から市政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、摂津市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

そこで、50歳以上の市民の方に対し、心身の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等をよりの確に把握するため、「高齢者の保健福祉に関するアンケート」を実施します。

この調査は、今後の高齢者を取り巻く様々な環境に柔軟に対応し、また介護予防の情報を正確に整理するために、多くの質問項目を設けております。身近な内容となっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年12月

調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、  
令和5年1月13日(金)までに投函してください。

### 【お問い合わせ先】

## 摂津市役所 保健福祉部 高齢介護課

電話 06-6170-1561(直通) または 072-638-0007(内線2541)

#### 【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護および活用目的は以下の通りですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### ■個人情報の保護及び調査目的について

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市の高齢者保健福祉計画策定及び介護保険事業計画策定の目的以外には使用いたしません。また、当該情報については、摂津市個人情報保護条例に基づき、市で適切に管理いたします。ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。(お名前などの個人情報は登録されません。)

## 記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年11月1日現在、50歳以上65歳未満の方から500人、65歳以上の方から1,500人（いずれも要介護1～5の方を除く）を無作為抽出しています。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。
3. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。

**介護**…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

**介助**…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

### 記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

①はい      2. いいえ

数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。

	6	2	kg
--	---	---	----

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄\_\_\_\_\_）
3. その他（\_\_\_\_\_）

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

年齢・性別	（      ）歳		男      ・      女		
介護度	要介護度なし	要支援1	要支援2	わからない	
お住まいの地域	1. 千里丘	2. 千里丘新町	3. 千里丘東	4. 庄屋	5. 阪急正雀
	6. 南千里丘	7. 三島	8. 正雀	9. 正雀本町	10. 東正雀
	11. 昭和園	12. 桜町	13. 学園町	14. 香露園	15. 鶴野
	16. 北別府町	17. 東別府	18. 一津屋	19. 西一津屋	20. 南別府町
	21. 別府	22. 浜町	23. 安威川南町	24. 鳥飼本町	25. 鳥飼野々
	26. 鳥飼八防	27. 新在家	28. 鳥飼八町	29. 鳥飼上	30. 鳥飼銘木町
	31. 鳥飼中	32. 鳥飼新町	33. 鳥飼下	34. 鳥飼西	35. 鳥飼和道
	36. 東一津屋	37. その他（町名・丁: _____町 _____丁目）			

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

<b>1</b>	家族構成を教えてください。(1つだけ○)
	1. 一人暮らし 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上) 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他 ( )
<b>2</b>	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)
	1. 介護・介助は必要ない ⇒ <b>3</b> へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ <b>2-1</b> へ 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ <b>2-1</b> ～ <b>2-2</b> へ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
<b>2</b> で、「2」または「3」と答えた方のみお答えください。	
<b>2-1</b>	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)
	1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物) 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 ( ) 15. 不明
<b>2</b> で、「3」と答えた方のみお答えください。	
<b>2-2</b>	主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)
	1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ( )
<b>3</b>	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)
	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある



<b>4</b>	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)	
	1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)
	3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small> 公営賃貸住宅	4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅 (一戸建て)
	5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家
	7. その他 ( )	

※分譲マンションは「2. 持家 (集合住宅)」、市営住宅、府営住宅は「3. 公営賃貸住宅」、賃貸マンション、アパートは「5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)」に○をつけてください。文化住宅、長屋は「集合住宅」となります。

※サービス付き高齢者住宅は「5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)」、住宅型有料老人ホームは「7. その他」に○をつけてください。

※一般的な賃貸借契約がない場合は「6. 借家」に○をつけてください。

<b>5</b>	ご自宅にお風呂はありますか。(1つだけ○)	
	1. ある	2. あるが利用していない ⇒ <b>5-1</b> へ
	3. ない ⇒ <b>5-1</b> へ	

**5**で、「2」または「3」と答えた方のみお答えください。

<b>5-1</b>	お風呂はどこで入っていますか。(いくつでも○)	
	1. デイサービス	2. 公衆浴場・スーパー銭湯
	3. 友人宅などにお風呂を借りる	
	4. その他 (老人福祉センターせつ桜苑等) ( )	

<b>6</b>	あなたの現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)	
	1. フルタイムで働いている	⇒ <b>6-1</b> へ
	2. パートタイムで働いている	⇒ <b>6-1</b> へ
	3. 働いていない	

**6**で、「1」または「2」と答えた方のみお答えください。

<b>6-1</b>	働いている理由は何ですか。(いくつでも○)	
	1. 経済上の理由	2. 健康上の理由
	3. 生きがい、社会参加のため	4. 時間に余裕があるから
	5. 専門知識や技術を活かしたい	6. その他 ( )

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

## 問2 からだを動かすことについて

<b>1</b>	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)	
	1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
<b>2</b>	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)	
	1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
<b>3</b>	15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)	
	1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
<b>4</b>	過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)	
	1. 何度もある	2. 1度ある 3. ない
<b>5</b>	転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)	
	1. とても不安である	2. やや不安である 3. あまり不安ではない 4. 不安ではない
<b>6</b>	週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)	
	1. ほとんど外出しない	2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
<b>7</b>	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)	
	1. とても減っている	2. 減っている
	3. あまり減っていない	4. 減っていない
<b>8</b>	外出を控えていますか。(1つだけ○)	1. はい ⇒8-1へ
		2. いいえ ⇒9へ

**8**で、「1」と答えた方のみお答えください。

**8-1** 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 病気(新型コロナウイルス以外) | 2. 新型コロナウイルスの感染予防  |
| 3. 障害(脳卒中の後遺症など)   | 4. 足腰などの痛み         |
| 5. トイレの心配(失禁など)    | 6. 耳の障害(聞こえの問題など)  |
| 7. 目の障害            | 8. 外での楽しみがない       |
| 9. 経済的に出られない       | 10. 交通手段がない ⇒8-1①へ |
| 11. その他( )         |                    |

**8-1**で、「10」と答えた方のみお答えください。

**8-1①** (本人または家族が)車の運転免許を返納しましたか。(1つだけ○)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 返納した | 2. 返納していない |
|---------|------------|

<b>9</b>	外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他( )			

### 問3 食べることについて

<b>1</b>	身長・体重を教えてください。(小数点以下は記入不要)													
身長	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">百 の 位</td> <td style="text-align: center;">十 の 位</td> <td style="text-align: center;">一 の 位</td> </tr> </table> cm				百 の 位	十 の 位	一 の 位	体重 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">百 の 位</td> <td style="text-align: center;">十 の 位</td> <td style="text-align: center;">一 の 位</td> </tr> </table> kg				百 の 位	十 の 位	一 の 位
百 の 位	十 の 位	一 の 位												
百 の 位	十 の 位	一 の 位												
<b>2</b>	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)													
	1. はい	2. いいえ												
<b>3</b>	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つだけ○)													
	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし												
	3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし												
<b>4</b>	どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)													
	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある											
	4. 年に何度かある	5. ほとんどない												

### 問4 毎日の生活について

<b>1</b>	物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)		
	1. はい	2. いいえ	
<b>2</b>	バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つだけ○)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
<b>3</b>	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
<b>4</b>	自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない



<b>2</b>	地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)
	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している
<b>3</b>	地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)
	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している
<b>4</b>	今後、あなたが社会的活動に参加する場合、どのような条件や環境があれば参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)
	1. 時間や期間にあまりしぼられないこと 2. 身近なところで活動できること 3. 気軽に参加できそうな活動があること 4. 友人や知り合いと一緒に参加できること 5. 活動内容や団体の情報が豊富に提供されること 6. 活動団体の人達と知り合う機会があること 7. 活動拠点となる場所があること 8. 活動の雰囲気や動画でわかること 9. 日付毎に活動がわかること 10. その他 ( )

## 問6 たすけあいについて(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

<b>1</b>	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
	(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも○)
	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない
	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも○)
	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない
	(3) あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも○)
	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない



<b>3</b>	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)
	1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>
<b>4</b>	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)
	1. はい <span style="margin-left: 200px;">2. いいえ</span>
<b>5</b>	タバコは吸っていますか。(1つだけ○)
	1. ほぼ毎日吸っている <span style="margin-left: 100px;">2. 時々吸っている</span> 3. 吸っていたが、やめた <span style="margin-left: 100px;">4. もともと吸っていない</span>
<b>6</b>	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)
	1. ない <span style="margin-left: 200px;">2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧</span> 3. <small>のうそつちゅう のうしゅつっつ のうこうそく</small> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <span style="margin-left: 100px;">4. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病</span> 5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病 <span style="margin-left: 100px;">6. <small>こうしけつしやう ししつじしやう</small> 高脂血症 (脂質異常)</span> 7. <small>こきゅうき びょうき はいえん きかんしえん</small> 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) <span style="margin-left: 100px;">8. <small>いちやう かんぞう たん</small> 胃腸・肝臓・胆のうの病気</span> 9. <small>じんぞう ぜんりつせん びょうき</small> 腎臓・前立腺の病気 <span style="margin-left: 100px;">10. <small>きんこつかく びょうき こつそ</small> 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)</span> 11. <small>がいしやう てんとう こっせつ</small> 外傷 (転倒・骨折等) <span style="margin-left: 100px;">12. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)</span> 13. <small>けつえき めんえき びょうき</small> 血液・免疫の病気 <span style="margin-left: 100px;">14. <small>びょう</small> うつ病</span> 15. <small>にんちしやう びょう</small> 認知症 (アルツハイマー病等) <span style="margin-left: 100px;">16. <small>ぱーきんそん びょう</small> パーキンソン病</span> 17. <small>め びょうき</small> 目の病気 <span style="margin-left: 100px;">18. <small>みみ びょうき</small> 耳の病気</span> 19. その他 ( <span style="margin-left: 100px;">)</span>
<b>7</b>	かかりつけ医 (かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師) がいますか。 (1) ~ (3) のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つだけ○)
	(1) かかりつけ医 <span style="margin-left: 100px;">1. いる</span> <span style="margin-left: 100px;">2. いない</span> (2) かかりつけ歯科医 <span style="margin-left: 100px;">1. いる</span> <span style="margin-left: 100px;">2. いない</span> (3) かかりつけ薬剤師 <span style="margin-left: 100px;">1. いる</span> <span style="margin-left: 100px;">2. いない</span>
<b>8</b>	お薬手帳を使っていますか。(1つだけ○)
	1. 紙のお薬手帳を使っている <span style="margin-left: 100px;">2. 電子お薬手帳を使っている</span> 3. 使っていない
<b>9</b>	あなたは、定期健診・検診を受けていますか。(1つだけ○)
	1. 受けている (過去1年ないしは2年間) ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9-1</span> へ 2. 受けていない

9で、「1」と答えた方のみお答えください。

9-1 受けている定期健診・検診の種類をお答えください。(受けたものすべてに○)

- |       |           |            |          |
|-------|-----------|------------|----------|
|       | 1. 特定健診   | 2. 後期高齢者健診 | 3. 職場の健診 |
| 過去1年間 | 4. 人間ドック  | 5. 肺がん検診   | 6. 胃がん検診 |
|       | 7. 大腸がん検診 | 8. 前立腺がん検診 | 9. 歯科健診  |
| 過去2年間 | 10. 乳がん検診 | 11. 子宮がん検診 |          |

10 「せつつみんなで体操四部作」をご存知ですか。(1つだけ○)

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1. 知っている    | 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. まったく知らない |                     |

※「せつつみんなで体操四部作」：摂津市で暮らす誰もがいつまでも元気でいきいきと過ごせるように、「せつつみんなで体操四部作」を作っています。筋力、ストレッチ(柔軟運動)、バランス調整力、有酸素運動などの運動機能を向上させるための四つの体操で、摂津市のホームページで動画を配信しています。



## 問8 にんちしょう 認知症 支援について

1 にんちしょう 認知症 の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

2 にんちしょう 認知症 に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

2で、「1」と答えた方のみお答えください。

2-1 それはどちらですか。(いくつでも○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 地域包括支援センター     | 2. かかりつけ医        |
| 3. 認知症専門の医療機関     | 4. 認知症疾患医療センター   |
| 5. 摂津市老人介護者(家族)の会 | 6. 若年性認知症コールセンター |
| 7. 認知症初期集中支援チーム   | 8. 市役所(高齢介護課)    |
| 9. その他( )         |                  |

3 にんちしょう 認知症 予防の方法として重要なものは次のうちどれだと思いますか。(いくつでも○)

- |  |                |
|--|----------------|
| 1. 家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる                             | 3. 定期健診・検診を受ける |
| 2. 運動をする   |                |
| 4. 単調な生活を送らないよう努める                                       |                |
| 5. <small>とうによびょう</small> 糖尿病、高血圧など(生活習慣病)の予防や悪化しないようにする |                |
| 6. 仕事をする   |                |



**4** にんちしょう 認知症の人への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。(いくつでも○)

1. にんちしょう 認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催
2. にんちしょう 認知症についての正しい知識を持った支援者の養成
3. にんちしょう 認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動
4. 若年性 にんちしょう 認知症の人への相談支援
5. 近隣住民による見守り
6. 道に迷った にんちしょう 高齢者等を早期発見するための機器
7. 成年後見制度の利用促進
8. 市民後見人の育成
9. その他 ( )
10. わからない
11. 特にない

※「成年後見制度」とは、判断能力が不十分な方に対し、契約の締結等を代わりに行う代理人等を選任し、本人の権利を守る制度です。

**5** にんちしょう 認知症 サポーター養成講座についてご存知ですか。(1つだけ○)

1. 受講したことがある
2. 聞いたことはあるが、受講したことはない
3. まったく知らない

※「認知症サポーター養成講座」は、認知症について学び、認知症の人や家族への接し方などに関する知識を習得する講座です。講座の受講者には「認知症サポーターカード」を配付しています。

**6** 「せつつはつらつ脳トレ体操」をご存知ですか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. まったく知らない

※「せつつはつらつ脳トレ体操」：認知症予防に向けて、脳を鍛える「せつつはつらつ脳トレ体操」を作っています。頭と体を同時に動かし、徐々に動きのパターンを増やしていく体操で、摂津市のホームページで動画を配信しています。



## 問9 人生会議について

※人生会議とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

**1** あなたは介護が必要になったときの生活について考えることがありますか。(1つだけ○)

1. ある
2. ない

**2** あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(1つだけ○)

1. 自宅
2. 病院 ⇒  へ
3. 介護施設 ⇒  へ
4. その他 ( )

**2**で、「2」「3」と答えた方のみお答えください。

**2-1** 病院あるいは施設を選んだ理由をお教えてください。(1つだけ○)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 家族に負担がかかる    | 2. 往診してもらえるかかりつけ医がない |
| 3. 介護してくれる家族がない | 4. 急に悪くなった時の対応に困る    |
| 5. 家の環境が整っていない  | 6. 経済的負担が大きい         |
| 7. その他 ( )      |                      |

**3** あなたは、人生の最終段階における医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つだけ○)

- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 詳しく話し合っている ⇒ <b>3-1</b> ハ | 2. 一応話し合っている ⇒ <b>3-1</b> ハ |
| 3. 話し合ったことはない                |                             |

**3**で、「1」「2」と答えた方のみお答えください。

**3-1** それはどなたと話し合いましたか。(いくつでも○)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 医療介護関係者 |
| 3. 友人・知人 | 4. その他 ( ) |

## 問10 災害時の対応について

**1** 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか (いくつでも○)

1. 災害に関する情報が入手できるかわからない
2. どこ(誰)に助けをもとめてよいかわからない(身近に頼れる人がいない)
3. 安全な場所まで自力で避難できるかわからない
4. 地域の避難場所がどこなのか知らない
5. 地域の危険な箇所がわからない
6. 防災用品や非常食を常備していない
7. 健康面に不安がある(治療の必要な持病がある、服薬など)
8. その他 ( )
9. 不安は特にない

**2** 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。(いくつでも○)

- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 家族・親族   | 2. 近所の人   | 3. 友人・知人    |
| 4. 自治会の人   | 5. 民生児童委員 | 6. 老人クラブの人  |
| 7. その他 ( ) |           | 8. 頼れる人はいない |

<b>3</b>	市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方（災害時要援護者）を対象に市への登録申請を受け付けています（摂津市災害時要援護者支援制度※）。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか（1つだけ○）
	1. 登録したい（検討したい） <span style="margin-left: 150px;">2. すでに登録している</span> 3. 登録したいとは思わない

※「摂津市災害時要援護者支援制度」とは、災害時に高齢者や障がいのある人などの、自力で避難が難しい方（避難行動要支援者）が迅速かつ安全に避難することができるよう、災害時に支援を必要とされる方から申請（災害時要援護者登録）を受付け、地域の支援者にその情報を提供・共有することで、日頃からの防災訓練に役立て、地域での連携を強化し、災害時に備えるための制度のことをいいます。

## 問11 ICTの活用について

※ICTとは、Information and communication Technology の略で、デジタル化された情報の通信技術です。

<b>1</b>	携帯電話・スマートフォンを持っていますか。（1つだけ○）
	1. スマートフォンを持っている 2. 携帯電話（スマートフォン以外）を持っている 3. 持っていない
<b>2</b>	スマートフォンの利用に関する講座があれば参加しますか。（1つだけ○）
	1. 有料でも参加する ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2-1</span> へ <span style="margin-left: 100px;">2. 無料なら参加する ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2-1</span> へ</span> 3. 参加しない

2で、「1」「2」と答えた方のみお答えください。

2-1 どのような内容を希望しますか。（いくつでも○）

1. スマートフォンについての説明（携帯電話との違い）
2. 利用料金等について
3. 基本的な操作に関する説明（電源の入れ方等）
4. 電話やメールのやり方に関する説明
5. 写真や動画の撮影
6. インターネットの閲覧方法
7. LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス※）の利用方法
8. Web会議の方法
9. 生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）
10. 電子決済の方法
11. 安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）
12. その他（）

※SNSとは、Social Networking Service の略で、Web上で社会的ネットワークを構築するサービスのことで、代表的なものでは、LINE、Twitter、Facebook、Instagram などがあります。

## 問12 その他について

<b>1</b>	新型コロナウイルスの感染拡大を契機に下記の内容に変化はありましたか。 ①～③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つだけ○)			
	① 周辺の人とのつながり	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った
	② 地域活動への参加	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った
	③ IT機器の活用	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った
<b>2</b>	地域包括支援センターについてご存知ですか。(1つだけ○)			
	1. 知っている		2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない	
	3. まったく知らない			

※「地域包括支援センター」は、高齢者のための総合相談窓口です。健康や医療、福祉や生活に関すること、介護保険サービスに関すること、高齢者の人権や財産を守るための制度に関すること、虐待の防止に関することなどの相談を受け付けています。

<b>3</b>	新鳥飼公民館内に「地域包括支援センター鳥飼分室」があることを知っていますか。 (1つだけ○)	
	1. 知っている	2. 知らない
<b>4</b>	市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実してほしいことは何ですか。 (5つまで○)	
	1. 健康づくりや介護予防のための施策の充実	
	2. 生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	
	3. 就労支援	
	4. 在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	
	5. 声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援	
	6. 突然の体調不良時の緊急対応サービス (24時間)	
	7. 認知症高齢者への支援	8. 高齢者を介護している家族等への支援
	9. 特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	10. 移動手段の充実
	11. 道路や施設のバリアフリー化	12. 高齢者向け住宅の整備
	13. ボランティアや地域活動の支援や紹介	14. 住民が支え合う地域づくりへの支援
	15. 世代間交流の場づくり	16. 介護に係る人材の育成
	17. 災害時に支援が必要な人の支援体制の充実	
	18. その他 ( )	

<b>5</b>	現在困っていることや、不安なことはありますか。(いくつでも○)														
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 自分の健康に関すること</td> <td style="width: 50%;">2. 自分の介護に関すること</td> </tr> <tr> <td>3. 家族の健康や介護に関すること</td> <td>4. 仕事に関すること</td> </tr> <tr> <td>5. 人間関係に関すること</td> <td>6. 生きがいに関すること</td> </tr> <tr> <td>7. 買物や通院時の交通手段のこと</td> <td>8. 収入や家計に関すること</td> </tr> <tr> <td>9. 食事作りやごみ出し等の家事に関すること</td> <td>10. 自分の子どもや孫の将来のこと</td> </tr> <tr> <td>11. 災害に関すること</td> <td>12. 終活に関すること</td> </tr> <tr> <td>13. その他 (</td> <td>) 14. 不安は特にな</td> </tr> </table>	1. 自分の健康に関すること	2. 自分の介護に関すること	3. 家族の健康や介護に関すること	4. 仕事に関すること	5. 人間関係に関すること	6. 生きがいに関すること	7. 買物や通院時の交通手段のこと	8. 収入や家計に関すること	9. 食事作りやごみ出し等の家事に関すること	10. 自分の子どもや孫の将来のこと	11. 災害に関すること	12. 終活に関すること	13. その他 (	) 14. 不安は特にな
1. 自分の健康に関すること	2. 自分の介護に関すること														
3. 家族の健康や介護に関すること	4. 仕事に関すること														
5. 人間関係に関すること	6. 生きがいに関すること														
7. 買物や通院時の交通手段のこと	8. 収入や家計に関すること														
9. 食事作りやごみ出し等の家事に関すること	10. 自分の子どもや孫の将来のこと														
11. 災害に関すること	12. 終活に関すること														
13. その他 (	) 14. 不安は特にな														
<b>6</b>	高齢者福祉施策や介護保険事業について、記載したいことがあれば、ご記入ください。(自由記述)														
	<div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; width: 100%;"></div>														

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票は全て（表紙も含みます）を同封した返信用封筒に入れ

**令和5年1月13日（金）までに**

切手を貼らずに投函してください。

## 摂津市高齢者の在宅介護に関するアンケート調査 【令和4年度在宅介護実態調査】

### 調査へのご協力をお願い

日頃から、市政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

摂津市では、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに向けて、摂津市にお住まいの要支援・要介護認定を受けている方々を対象にアンケート調査を実施することとなりました。

本調査は、摂津市において「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施させていただきます。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年12月

本調査票記入後は、調査票を三つ折りにして同封の返送用封筒に入れ、**令和5年1月13日（金）**までに投函してください。

### 【お問い合わせ先】

摂津市役所 保健福祉部 高齢介護課

電話 06-6170-1561(直通) または 072-638-0007(内線2541)

### 本調査に係る要介護認定データ等個人情報の取扱いについて

本調査票のご返送をもちまして、下記「個人情報の保護及び活用目的」にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 個人情報の保護及び活用目的

- この調査は、地域における課題や効果的な高齢者施策・介護保険施策等の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市が保有する要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）と紐づけし、本市における高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の検討の際の基礎資料として活用させていただきます。
- 当該情報については、摂津市個人情報保護条例に基づき、市で適切に管理いたします。
- ただし、個人が識別されない形で、厚生労働省が管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析などで利用することがあります。

## 記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和4年11月1日現在、要支援・要介護認定を受けている方から1,200人を無作為に抽出しています。
- ご回答にあたっては調査の対象者についてお答えいただきますが、ご家族の方やご本人を担当しているケアマネジャーがご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。
- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。

**介護**…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

**介助**…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

## 記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

- ①. はい                      2. いいえ



数字に○をしてください

## A票：基本事項について

問1	現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(いくつでも○)
	1. 調査の対象者 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査の対象者のケアマネジャー 5. その他 (                      )
問2	調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ○)
	1. 単身世帯              2. 夫婦のみ世帯              3. その他 (                      )
問3	調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つだけ○)
	1. ない <b>→ 5ページ、問13に進んでください。</b> 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある

<b>問4</b>	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ○)		
	1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
	4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他( )
<b>問5</b>	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ○)		
	1. 男性	2. 女性	
<b>問6</b>	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ○)		
	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
	7. 70歳代	8. 80歳以上	9. わからない
<b>問7</b>	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。調査の対象者を、主に介護している方には、15歳未満の子どもはいますか。(1つだけ○)		
	1. いる	2. いない	
<b>問8</b>	問7で「1」と回答した方にお伺いします。子どもの年齢はどのくらいですか。(複数いる場合はいくつでも○)		
	1. 乳児(1歳未満)	2. 未就学児	3. 小学校低学年
	4. 小学校高学年	5. 中学生	
<b>問9</b>	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも○)		
	<b>【身体介護】</b>		
	1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	
	3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身	
	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱	
	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	
	9. 服薬	10. 認知症状への対応	
	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)		
	<b>【生活援助】</b>		
	12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	
	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		
	<b>【その他】</b>		
	15. その他( )	16. わからない	



問10	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも○)
1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない	
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。	
問11	問3で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。主な介護者以外に調査対象者の介護をしている方で、下記の年齢の方はいますか。(いくつでも○)
1. 18歳未満 2. 18歳以上23歳未満 3. 23歳以上30歳未満 4. いない	
問12	問11で「1」～「3」と回答した方にお伺いします。その方が行っている介護などについて、ご回答ください。(いくつでも○)
<p><b>【身体介護】</b></p> 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) <p><b>【生活援助】</b></p> 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き <p><b>【その他】</b></p> 15. その他( ) 16. わからない	

●問13からは再び、全員が回答してください。

<b>問13</b>	現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 配食</td> <td style="width: 50%;">2. 調理</td> </tr> <tr> <td>3. 掃除・洗濯</td> <td>4. 買い物(宅配は含まない)</td> </tr> <tr> <td>5. ゴミ出し</td> <td>6. 外出同行(通院・買い物など)</td> </tr> <tr> <td>7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)</td> <td>8. 見守り、声かけ</td> </tr> <tr> <td>9. サロンなどの定期的な通いの場</td> <td>10. その他( )</td> </tr> <tr> <td>11. 利用していない</td> <td></td> </tr> </table>		1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他( )	11. 利用していない	
1. 配食	2. 調理												
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)												
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)												
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ												
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他( )												
11. 利用していない													

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

<b>問14</b>	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(いくつでも○)												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 配食</td> <td style="width: 50%;">2. 調理</td> </tr> <tr> <td>3. 掃除・洗濯</td> <td>4. 買い物(宅配は含まない)</td> </tr> <tr> <td>5. ゴミ出し</td> <td>6. 外出同行(通院・買い物など)</td> </tr> <tr> <td>7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)</td> <td>8. 見守り、声かけ</td> </tr> <tr> <td>9. サロンなどの定期的な通いの場</td> <td>10. その他( )</td> </tr> <tr> <td>11. 特になし</td> <td></td> </tr> </table>		1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他( )	11. 特になし	
1. 配食	2. 調理												
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)												
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)												
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ												
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他( )												
11. 特になし													

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。



## ●問18からは再び、全員が回答してください。

問18	調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)																
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 脳血管疾患 (脳卒中)</td> <td style="width: 50%;">2. 心疾患 (心臓病)</td> </tr> <tr> <td>3. 悪性新生物 (がん)</td> <td>4. 呼吸器疾患</td> </tr> <tr> <td>5. 腎疾患 (透析)</td> <td>6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)</td> </tr> <tr> <td>7. 膠原病 (関節リウマチ含む)</td> <td>8. 変形性関節疾患</td> </tr> <tr> <td>9. 認知症</td> <td>10. パーキンソン病</td> </tr> <tr> <td>11. 難病 (パーキンソン病を除く)</td> <td>12. 糖尿病</td> </tr> <tr> <td colspan="2">13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)</td> </tr> <tr> <td>14. その他 ( )</td> <td>15. なし      16. わからない</td> </tr> </table>	1. 脳血管疾患 (脳卒中)	2. 心疾患 (心臓病)	3. 悪性新生物 (がん)	4. 呼吸器疾患	5. 腎疾患 (透析)	6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	7. 膠原病 (関節リウマチ含む)	8. 変形性関節疾患	9. 認知症	10. パーキンソン病	11. 難病 (パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病	13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)		14. その他 ( )	15. なし      16. わからない
1. 脳血管疾患 (脳卒中)	2. 心疾患 (心臓病)																
3. 悪性新生物 (がん)	4. 呼吸器疾患																
5. 腎疾患 (透析)	6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)																
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)	8. 変形性関節疾患																
9. 認知症	10. パーキンソン病																
11. 難病 (パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病																
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)																	
14. その他 ( )	15. なし      16. わからない																
問19	調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)																
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 利用している</td> <td style="width: 50%;">2. 利用していない</td> </tr> </table>	1. 利用している	2. 利用していない														
1. 利用している	2. 利用していない																

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問20	調査の対象者は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ○)																																																							
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 利用している</td> <td style="width: 50%;">2. 利用していない</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">—————→ <b>8ページ、問22に進んでください。</b></p>	1. 利用している	2. 利用していない																																																					
1. 利用している	2. 利用していない																																																							
問21	問20で「1」と回答した方にお伺いします。 以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。 対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに○)																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">1週間あたりの利用回数 (それぞれ1つに○)</th> </tr> <tr> <th>利用して いない</th> <th>週1回 程度</th> <th>週2回 程度</th> <th>週3回 程度</th> <th>週4回 程度</th> <th>週5回 以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(※回答例) ●●●サービス</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> <tr> <td>A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> <tr> <td>B. 訪問入浴介護</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> <tr> <td>C. 訪問看護</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> <tr> <td>D. 訪問リハビリテーション</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> <tr> <td>E. 通所介護 (デイサービス)</td> <td>0回</td> <td>週1回</td> <td>週2回</td> <td>週3回</td> <td>週4回</td> <td>週5回以上</td> </tr> </tbody> </table>		1週間あたりの利用回数 (それぞれ1つに○)						利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上	(※回答例) ●●●サービス	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	B. 訪問入浴介護	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	C. 訪問看護	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	D. 訪問リハビリテーション	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上	E. 通所介護 (デイサービス)	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上
	1週間あたりの利用回数 (それぞれ1つに○)																																																							
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上																																																		
(※回答例) ●●●サービス	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		
B. 訪問入浴介護	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		
C. 訪問看護	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		
D. 訪問リハビリテーション	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上																																																		

F. 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

利用の有無(1つに○)	
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない      2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない      2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない      2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月1~7日 程度	月8~14日 程度	月15~21日 程度	月22日 以上
K. ショートステイ	0回	月1~7日	月8~14日	月15~21日	月22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	0回	月1回	月2回	月3回	月4回

<b>問22</b>	問20で「2」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)
------------	---

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他( )

<b>問23</b>	あなたは、今後の医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つだけ○)
------------	--

1. 詳しく話し合っている      2. 一応話し合っている
3. 話し合ったことはない      **9ページ、問25に進んでください。**

<b>問24</b>	問23で「1」「2」と回答した方にお伺いします。どなたと話し合いましたか。(いくつでも○)
------------	---

1. 家族・親族      2. 医療介護関係者      3. 友人・知人      4. その他( )



**問27** 高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。(5つまで○)

1. 健康づくりや介護予防のための施策の充実
2. 生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実
3. 就労支援
4. 在宅サービスの充実
5. 声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援
6. 突然の体調不良時の緊急対応サービス (24 時間)
7. 認知症施策の充実
8. 介護している家族等の支援
9. 施設サービスの充実
10. 移動手段の充実
11. 道路や施設のバリアフリー化
12. 高齢者向け住宅の整備
13. ボランティアや地域活動の支援や紹介
14. 住民が支え合う地域づくりへの支援
15. 世代間交流の場づくり
16. 介護に係る人材の育成
17. 災害時に支援が必要な人の支援体制の充実
18. その他 (具体的に )

●ここからは、以下の指示に従って進んでください。2ページ、問3で「1」を選択された方 (ご家族などから介護を受けていない方)



質問は以上です。  
ご協力ありがとうございました。

2ページ、問3で「2」～「5」を選択された方 (ご家族などから介護を受けている方)



11 ページ、  
**B票**に進んでください。

## B票：主な介護者の方について



数字に○をしてください

問28 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

12 ページ、  
問32に進んでください。

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問29 問28で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問30 問28で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない      | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実            |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり             | 4. 労働時間の柔軟な選択<br>(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化<br>(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供           |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置        | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援          |
| 9. その他( )                     |                                |
| 10. 特にない                      | 11. 主な介護者に確認しないと、わからない         |

問31 問28で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない



## ●問 32 は再び、全員が回答してください。

<b>問 32</b>	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで○)																				
	<p><b>【身体介護】</b></p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 日中の排泄</td> <td>2. 夜間の排泄</td> </tr> <tr> <td>3. 食事の介助(食べる時)</td> <td>4. 入浴・洗身</td> </tr> <tr> <td>5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)</td> <td>6. 衣服の着脱</td> </tr> <tr> <td>7. 屋内の移乗・移動</td> <td>8. 外出の付き添い、送迎等</td> </tr> <tr> <td>9. 服薬</td> <td>10. 認知<sup>にんちしょうじょう</sup>症状への対応</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)</td> </tr> </table> <p><b>【生活援助】</b></p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>12. 食事の準備(調理等)</td> <td>13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き</td> </tr> </table> <p><b>【その他】</b></p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>15. その他( )</td> <td>16. 不安に感じていることは、特にない</td> </tr> <tr> <td colspan="2">17. 主な介護者に確認しないと、わからない</td> </tr> </table>	1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬	10. 認知 <sup>にんちしょうじょう</sup> 症状への対応	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)		12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		15. その他( )	16. 不安に感じていることは、特にない	17. 主な介護者に確認しないと、わからない	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄																				
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身																				
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱																				
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等																				
9. 服薬	10. 認知 <sup>にんちしょうじょう</sup> 症状への対応																				
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)																					
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)																				
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き																					
15. その他( )	16. 不安に感じていることは、特にない																				
17. 主な介護者に確認しないと、わからない																					
<b>問 33</b>	主な介護者の方が、介護に悩んだときに相談する人はいますか。(いくつでも○)																				
	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 同居の家族</td> <td>2. 同居でない家族</td> </tr> <tr> <td>3. 家族以外の親戚</td> <td>4. 友人・知人</td> </tr> <tr> <td>5. 自治会・町内会</td> <td>6. 老人クラブ</td> </tr> <tr> <td>7. 社会福祉協議会</td> <td>8. 民生児童委員</td> </tr> <tr> <td>9. ケアマネジャー</td> <td>10. 介護職員(ケアマネジャー以外)</td> </tr> <tr> <td>11. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師</td> <td>12. 地域包括支援センター</td> </tr> <tr> <td>13. 市役所</td> <td>14. その他( )</td> </tr> <tr> <td colspan="2">15. そのような人はいない</td> </tr> </table>	1. 同居の家族	2. 同居でない家族	3. 家族以外の親戚	4. 友人・知人	5. 自治会・町内会	6. 老人クラブ	7. 社会福祉協議会	8. 民生児童委員	9. ケアマネジャー	10. 介護職員(ケアマネジャー以外)	11. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師	12. 地域包括支援センター	13. 市役所	14. その他( )	15. そのような人はいない					
1. 同居の家族	2. 同居でない家族																				
3. 家族以外の親戚	4. 友人・知人																				
5. 自治会・町内会	6. 老人クラブ																				
7. 社会福祉協議会	8. 民生児童委員																				
9. ケアマネジャー	10. 介護職員(ケアマネジャー以外)																				
11. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師	12. 地域包括支援センター																				
13. 市役所	14. その他( )																				
15. そのような人はいない																					
<b>問 34</b>	あなたは、本人と今後の医療・療養について話し合ったことがありますか。(1つだけ○)																				
	1. 詳しく話し合っている    2. 一応話し合っている    3. 話し合ったことはない																				
<b>問 35</b>	在宅介護について、記載したいことがあればご記入ください。(自由記述)																				

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、今一度お確かめの上、調査票は全て(表紙も含みます)を3つ折りにして、同封している返信用封筒に入れ、

**令和5年1月13日(金)** までに切手を貼らずに投函してください。

---

第9期せつつ高齢者かがやきプラン  
(摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)  
策定にかかるアンケート調査  
報告書

編集・発行／摂津市 保健福祉部 高齢介護課

住 所 〒566-8555 摂津市三島一丁目1番1号

電 話 06-6383-1111 (大代表)

072-638-0007 (代表)

ホームページ <https://www.city.settsu.osaka.jp/>

---

令和5年3月

